【表紙】

【提出書類】	**有価証券報告書**
【根拠条文】	**金融商品取引法第24条第1項**
【提出先】	**関東財務局長**
【提出日】	**平成28年6月30日**
【事業年度】	**自　平成27年1月1日　至　平成27年12月31日**
【会社名】	**ディー・エヌ・ビー・バンク　エイ・エス・エイ** (DNB Bank ASA)
【代表者の役職氏名】	**レイダー・ボルム** **エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント**
【本店の所在の場所】	**ノルウェー王国 オスロ市 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30** (Dronning Eufemias gate 30, Oslo, Norway)
【代理人の氏名又は名称】	**弁護士　　多賀　大輔**
【代理人の住所又は所在地】	**東京都港区元赤坂一丁目2番7号　赤坂Ｋタワー** **アンダーソン・毛利・友常法律事務所**
【電話番号】	03-6888-1181
【事務連絡者氏名】	**弁護士　　林　達朗** **弁護士　　寺尾　裕真** **弁護士　　奥田　美希**
【連絡場所】	**東京都港区元赤坂一丁目2番7号　赤坂Ｋタワー** **アンダーソン・毛利・友常法律事務所**
【電話番号】	03-6888-4753/5827/4061
【縦覧に供する場所】	**該当なし**

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除き、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	**ディー・エヌ・ビー・バンク　エイ・エス・エイをいう。**
「当行グループ」とは、	**ディー・エヌ・ビー・バンク　エイ・エス・エイ及びその子会社をいう。**
「DNB」、「当グループ」又は「DNBグループ」とは、	**ディー・エヌ・ビー　エイ・エス・エイ及びその子会社をいう。**
「ノルウェー」とは、	**ノルウェー王国をいう。**

(注2) 別段の記載がある場合を除き、本書に記載のすべての「米ドル」「US$」及び「$」はアメリカ合衆国ドルを、「CHF」はスイス・フランを、「NOK」はノルウェー・クローネを、「円」は日本円を、「ポンド」及び「£」は英貨ポンドを、「ユーロ」、「EUR」及び「€」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき欧州経済通貨統合の第3段階の開始時に導入された通貨を指す。2016年6月1日現在(日本時間)、株式会社三菱東京UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1ノルウェー・クローネ＝13.20円であった。本書におけるノルウェー・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、ノルウェー・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「見込みである」、「目指す」、「見積もっている」、「予想している」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、「対処すべき課題」、「事業等のリスク」、「経営上の重要な契約等」並びに「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」において言及される記載を含む(これらに限られない。)本書の複数箇所に登場する。このような将来の見通しに関する記述により、以下を含む事項が記載される。

- **当行の事業戦略及び財務目標**
- **金融市場の業績**
- **当行の成長率予測、コスト計画に基づくコストの動向、将来の貸出金評価損等、将来の予想値**
- **信用リスク、市場リスク、流動性リスク及びその他のリスクの将来のエクスポージャー**

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行は誠実に、かつ当行が合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。

第一部【企業情報】

第１【本国における法制等の概要】

当行は、2005年ノルウェー民事訴訟法第4-6条に基づき、日本の裁判所の管轄に服することを選択できる。ノルウェーの裁判所は、2005年ノルウェー民事訴訟法第19-16条に基づき、日本の裁判所で下された一定の金額の支払いを命ずる最終確定判決を有効とみなし、かつその執行を承認する。ただし、その結果がノルウェーの公序に違反しないか又はこれを損うことはないかという検討を常に条件とする。

１【会社制度等の概要】

（１）【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

当行は銀行であり、公開有限責任会社として組織されている。ノルウェー法に基づき、銀行は公開有限責任会社又は非公開有限責任会社として組織されなければならない。

公開有限責任会社として、当行は1997年ノルウェー公開有限責任会社法(以下「PLCA」という。)に定める規制に服する。同法は、当行の組織、株式の譲渡、定款の要件、配当、議決権、増資等に関する規則を定めている。

銀行は、その設立、定款の要件、運営機関等に関し、2016年1月1日付で施行され、銀行及びその他の金融機関に関する一部の従前の法律を統合しかつ置き換える2015年金融機関・金融グループ法(以下「FEA」という。)に定められた追加的な規則に服する。当行の法的枠組みに関する詳細は、「(ⅱ)ノルウェーにおける規制の枠組み」を参照のこと。

また、当行の事業は定款により規律されている。定款は、当行を統治する基本的な規則について定めており、FEA及びPLCAの規定する銀行に関する強行規定により補完されているので、定款を読む場合には、かかる点に留意する必要がある。

会社組織

PLCAに基づき、公開有限責任会社は取締役会(以下「取締役会」という。)及び最高経営責任者(以下「最高経営責任者」という。)を設けなければならない。詳細は下記及び「(2)提出会社の定款等に規定する制度」を参照のこと。

株主資本

公開有限責任会社である銀行に要求される最低株主資本は、5百万ユーロである。当行の株主資本は、18,314,311,000ノルウェー・クローネである。

株式

当行のすべての株式(以下「当行株式」という。)には、すべての点で平等かつ完全な株主の権利が付帯しており、当行株式で異なる権利が付帯するものはない。当行株式は一種類のみである。

当行株式は自由に譲渡できる。当行の定款には、当行株式の所有に制限を課す条項は含まれず、また、ノルウェー法において、非居住者又は外国人保有者が当行株式を保有する権利又は当行株式の議決権を行使する権利に関する制限は存在しない。しかし、FEAには無差別の所有制限規則が含まれている。かかる規則に基づき、当行株式又は当行株式に対する権利の10%以上の取得にあたっては、ノルウェー規制当局による事前の許可が必要である。

議決権

当行株式1株につき、株主総会における議決権1個が付帯する。

一般に、株主がノルウェー法又は当行の定款に基づき行うことのできる決議には、投票数の過半数が必要である。しかし、以下のいずれかに関する決議を含む一定の決定のためには、株主総会において出席した投票数及び株主資本の3分の2以上の承認を得なければならない。

(ⅰ)株式、転換社債又は新株引受権の発行に際しての先買権の排除
(ⅱ)合併又は分割の承認
(ⅲ)定款の変更
(ⅳ)増資又は減資の承認
(ⅴ)転換権付ローン又は新株引受権の発行の承認
(ⅵ)取締役会が当行のために当行株式の買戻しを行うことの承認
(ⅶ)当行の解散

当行の定款の一定の変更(当行の増資又は減資を含むが、これらに限られない。)には、ノルウェー金融監督庁の承認も必要である。

(ⅰ)配当の支払い若しくはその他の当行の資産に対する権利に関し、既存の株主の権利を縮小することになる決定、又は(ⅱ)譲渡にあたっての同意要件、第一先買権若しくは株主となるための一定の資格要件の導入により当行株式の譲渡を制限することになる決定には、定款の変更のための要件としての過半数とともに、株主総会において代表される株主資本の90%以上にあたる賛成票が必要である。その他、発行済株式の地位の根本的な変更(株主の義務の増加、上記以外の譲渡制限及び強制償還の導入を含むが、これらに限られない。)を伴う一定の決定には、当行の定款の変更のための要件としての過半数とともに、かかる決定により影響を受けるすべての株主の同意が必要である。

この点につき、当行の定款には、PLCAと異なる条項は含まれていない。

株主総会において議決権を行使する資格を得るためには、一般的に、株主は、ノルウェー中央証券預託機関(VPS)が保管する当行の株主名簿に当行株式の保有者として登録されなければならない。

株主総会

株主総会は、ノルウェーの公開有限責任会社の最高機関である。当行は、定款に従い、各年の4月末以前に年次株主総会を開催する義務がある。かかる年次株主総会においては、特に、年次会計書類の承認及び取締役報告の承認を行う。臨時株主総会は、取締役会の決議又は監査人若しくは当行の株主資本を合計5%以上保有する株主の要求により招集される。

当行のすべての株主は、本人又は代理人により株主総会に出席し議決権を行使する権利を有する。

取締役会

取締役会の構成員は、FEAに基づき3名を下限、当行の定款に基づき4名を上限とし、うち1名は当行の従業員でなければならない。従業員以外の取締役会の構成員は、株主総会により選任される。

取締役会の主たる任務は、当行の経営及び当行の業務の監督ガイドラインの制定である。また、取締役会は最高経営責任者及び最高経営責任者による日常業務運営並びに事業活動全般を監督する。

取締役会会長及び副会長は、株主総会により個別に選任される。

定足数を満たすため、取締役会の構成員の過半数が会議に出席しなければならない。取締役会の決議は、単純多数決により可決される。

業務執行取締役/最高経営責任者

最高経営責任者は、取締役会により選任される。最高経営責任者の主要任務は、当行の日常業務を取締役会の指示に従い運営することである。

取締役及び最高経営責任者の責任

取締役会及び当行の最高経営責任者は、当行に対し忠実義務を負い、したがって当行の株主に対しても忠実義務を負う。かかる忠実義務により、取締役会の構成員及び最高経営責任者は任務を遂行するにあたり当行の最善の利益になるよう行為すること、及び当行に対し善管注意義務を果たすことが要求される。取締役会の構成員及び最高経営責任者の主たる任務は、当行の利益を保護することである。

取締役会の構成員及び最高経営責任者は、過失又は故意により当行に与えた損害に関し、個別に責任を問われる場合がある。

ノルウェー法は、かかる者の責任を株主総会において免責することを認めているが、この免責は、当該決議を可決する株主総会に対し実質的に正確かつ完全な情報が提供されない限り、拘束力を持たない。

取締役又は最高経営責任者の責任を免除する株主総会の決議によって、当該取締役又は最高経営責任者は、株主以外の第三者(債権者等)が提起した請求又は訴訟から保護されない。

配当

配当は、取締役会による提案を受けて株主総会により決定され、現金又は現物により支払われる。PLCA及びFEAには、当行による配当の分配に関し、下記のとおりいくつかの制限が規定されている。

- PLCA第8-1条は、会社は配当の分配後に会社の株式資本並びにPLCA第3-2条(未実現利益のための資金)及び第3-3条(評価差額のための資金)に基づくその他の制限資本をカバーする純資産を保有する範囲でのみ、配当を行うことができると定めている。かかる計算は、直近で承認された会社の財務書類の貸借対照表に基づき行われ、決定時の登記済株式資本が適用される。
- 配当金は、前年度末後に生じた可能性があるか又は将来生じる見込みの損失及び資本に対する当行の必要性を勘案し、分配後に当行が健全な資本及び流動性を有する限りにおいて分配することができる。FEA第10-6条を参照のこと。

配当の分配は、取締役会からの株主総会に対する提案に基づき決議される。株主総会は、配当を分配すべきか否かを決定するが、取締役会の提案より高額の配当金を決議することはできない。ノルウェー金融監督庁は、配当の分配に関しさらなる制限を課すことができる。

残余財産の分配

PLCAに基づき、会社の年次株主総会において定款の修正に必要な投票数と同じ投票数をもって株主により会社を清算する旨が決議されることにより、当該会社を清算することができる。清算の場合又はその他の事由を問わず、当該会社の資本の払戻しにおける株式の優先順位は同じである。

当行の清算決議が可決された場合、当行の資産は、当行の債務を返済するため及び現物による分配にすべての株主の賛成が得られなかった範囲での株主への分配のため、現金に変換される。当行はノルウェー金融監督庁の同意を得ずに清算することはできない。FEAを参照のこと。下記の銀行行政に関する情報も参照のこと。

流動性及び自己資本要件の問題並びに決済及び信頼性の問題に関する規制については、下記「(ⅱ)ノルウェーにおける規制の枠組み－自己資本要件」も参照のこと。

(ⅱ)ノルウェーにおける規制の枠組み

概観

当行は、イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイとデン・ノルスク・バンク・エイ・エス・エイがイェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイを買収者として合併したことにより誕生し、当該合併は、2004年1月19日付で企業登記所に登記された。イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイは後にその名称をDnB NORバンク　エイ・エス・エイに変更し、さらに2011年11月にDNBバンク　エイ・エス・エイに変更した。

ノルウェーの銀行に適用されるノルウェーの法律のうち最も重要なものは、以下のとおりである。

・PLCA
・金融機関(*ノルウェー語で finansforetak*)の承認、組織的規制、金融活動及び自己資本規制要件について規定するFEA並びに預金を保護する銀行保護基金並びに財務的困難に直面している銀行及び一部のその他の金融機関の公的管理に関する規則
・ノルウェー金融監督庁による金融機関及び投資会社の監督について規定する1956年ノルウェー金融監督法

当行及び当行の子会社は、ノルウェー金融監督庁の監督に服するものである。ノルウェー金融監督庁は、規制を整備及び/又は公布し、かつノルウェーの金融機関の事業(とりわけ自己資本規制、会計、ガバナンス構造、リスク管理及びリスク処理手順に関する事項)を監督している。ノルウェー金融監督庁は、査察を実施する権利、ノルウェー金融監督庁の監督下の金融機関の従業員を尋問する権利並びに当該金融機関が所有する帳簿及び記録について検査を行う権利等、監督を促進するための様々な手段を有している。ノルウェー金融監督庁により金融機関の業務が健全でないとみなされる場合、又は当該金融機関がノルウェー金融監督庁管轄の適用法令に違反している場合、当該金融機関に対し行政処分を課し、かつ当該金融機関の免許を剥奪することもできる。

ノルウェーは、EU加盟国ではないものの、欧州経済領域の加盟国として、金融サービス関連の当該EU指令及びEU規制のほぼすべてをノルウェー国内の法律に組み入れている。ノルウェーは、CRD Ⅳの枠組みによる規則に対応する規則を実施した(詳細については、下記「第3－3 対処すべき課題」及び「第3－4 事業等のリスク」を参照のこと。)。

免許

(ⅰ)一般公衆からの預金の受入れと(ⅱ)信用供与の両方を行う場合、ノルウェー法の下での銀行業免許が必要となる。当行は当初、貯蓄銀行として、1961年5月24日ノルウェー貯蓄銀行法第1号(現在は廃止され、FEAに置き換えられた。)に基づく免許が与えられていた。しかしながら、公開有限責任会社への組織変更後、2006年1月1日から、当行はノルウェー商業銀行法(同法もまたFEAに置き換えられた。)に基づく商業銀行として免許が与えられた。ノルウェーの銀行である当行は、現行のFEAにおける規制要件に従っている。

銀行業務の規制

FEAには、とりわけ、銀行の設立、定款、株主資本、運営機関、事業及び解散・清算に関する規則が含まれている。また、FEAにおいては、預金に関する規則並びに不動産で構成される資産合計(不動産を所有又は開発する目的で設立された会社の株式を含む。)の比率並びにその他の株式及び持分で構成される資産合計の比率に関する規定も定められている。

銀行は、慣行的又は通常の銀行の事業及びサービスのすべてを実施することができる。銀行は、貿易、工業、輸送、保険又はその他の商業活動の運営に関し、かかる事業が銀行により行われることが慣行的又は通常である場合を除き、主たる参加者又は主たる共同所有者として引受け又は参加することができない。しかしながら、銀行は、銀行が債権を回収するのに必要な範囲で、かかる事業を一時的に運営すること又は一時的にかかる事業に参加することができる。

当行は、銀行として、FEAに基づく多数の具体的規則に従っている。かかる規則に基づき、当行の定款はノルウェー金融監督庁による承認を得なければならない。その後の当該定款の変更についても同様である。さらに、ノルウェー金融監督庁により承認されない限り、留保利益を通じた方法以外で当行の資本を増やすことはできない。減資に関する決議はノルウェー金融監督庁により承認された場合のみ有効であり、当行は劣後ローンを借り入れるにあたりノルウェー金融監督庁の同意を得る必要がある。

自己資本要件

ノルウェーの銀行は現行の自己資本規制要件に従っているが、かかる自己資本規制要件はバーゼルⅢ体制に基づきEU指令を実施するものである。バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委員会」という。)の提言に従い、FEAにおける規制方法は以下の3つの柱に分類されている。

・*第1の柱-最低所要自己資本の計算*：銀行は、信用リスク、オペレーショナル・リスク及び市場リスクを反映した自己資本規制要件を常に満たしていなければならない。現在、かかるリスクを反映した計算基準の8%以上は自己資本で構成されなければならない。株主資本の形式は、中核的自己資本と補完的自己資本に分類される。一般に、中核的自己資本は株式資本で構成され、補完的自己資本は劣後債で構成されている。さらに、銀行は普通株式等Tier 1資本で構成される様々なバッファーを保有しなければならない。かかる自己資本要件は常に満たされていなければならない。銀行は、要件の達成につき四半期毎にノルウェー金融監督庁に報告することにより、かかる要件の達成を証拠化することを義務付けられている。

・*第2の柱-必要資本全般及び個別の監督上の検証*：当行は、自己資本水準を維持するためのリスク・プロファイル及び戦略に関連して、自己資本規制全般について評価する手続を特に有していなければならない。ノルウェー金融監督庁は、かかる内部の自己資本規制の評価及び戦略につき審査及び評価を行い、評価手続の結果に満足しない場合は監督措置を採ることができる。
・*第3の柱-情報開示*：銀行は、事業活動、リスク・プロファイル及び資本状況に関する情報を開示することを義務付けられている。

金融機関における支払い及び自己資本規制に関する問題

FEAは、一部の金融機関(銀行を含む。)の流動性及び自己資本規制に関する問題について規制している。ノルウェーに設立されているすべての銀行は、FEAによりノルウェー銀行保証基金に加盟するよう義務付けられている。加盟金融機関又は当行が債務を履行できない場合、ノルウェー銀行保証基金は、各銀行に対し1預金者当たり2百万ノルウェー・クローネの預金保証を供与する。EEAに含まれる予定の銀行保証基金に係るEU指令は、保証金の水準に制限を課す。指令に基づき、2018年から合計額は100,000ユーロを超えることはできない。

FEA第21章Ⅰは、問題となっている銀行の支払い及び堅実性に関する問題の深刻さの度合いによって、それぞれの特徴に合わせて強化される様々な通知規則及び介入規則を定めている。

金融機関の取締役会及び最高経営責任者はそれぞれ、下記の事項に関して懸念する理由がある場合にはノルウェー金融監督庁に通知を行うよう義務付けられている。

(ⅰ)当該金融機関が満期を迎える債務を履行できないこと、
(ⅱ)当該金融機関が最低自己資本要件若しくは法律若しくは規制により定められるその他の堅実性及び健全性の要件を満たすことができないこと、又は
(ⅲ)当該金融機関の堅実性を著しく弱める若しくは脅かす深刻な信用毀損若しくは損失をもたらし得る状況の発生。

ノルウェー金融監督庁は、かかる場合(通知がなされたかどうかを問わない。)において速やかに必要と考える措置を採れるよう、比較的広範な権限を与えられている。上記(ⅰ)の場合は、当該金融機関自身がかかる方策に参加するものとされている。ノルウェー金融監督庁の政策手段の一つに、金融機関による「監査済財政状態報告書」の提供を確保することが挙げられるが、これは金融機関の財政状態を見極めるのに不可欠な手段となっている。

監査済財政状態報告書において自己資本の「多くの部分」及び/又は株主資本の25%が失われたことが示される場合、取締役会は直ちに株主総会を招集する義務を負う。これに関して「自己資本」とは中核的自己資本及び追加資本の総額を意味する。「多くの」とはどの程度を指すかについては、裁量的評価により決定される。株主総会においては、金融機関が継続的かつ満足できる事業を行うための十分な自己資本を有しているか否かについての決定がなされ、十分な自己資本を有していると決定された場合、かかる事業を継続すべきか否かについても決定がなされる。かかる決定は3分の2以上の多数決によりなされる。かかる事業を継続すべきでないと決定された場合、株主総会は単純多数決により、当該金融機関の事業全体を他の金融機関に移転することを決議する。かかる決議が採択されない場合、株主総会は当該金融機関を清算する決議を採択するものとされている。株主総会においてかかる決議が採択されない場合(又はノルウェー金融監督庁が承認しない決議が採択された場合)、ノルウェー金融監督庁は、当該金融機関を清算するために清算委員会を任命するものとされている。かかる場合、下記の公的管理に関する規則が適用される。

監査済財政状態報告書が株主資本の75%以上が失われたことを示す場合、取締役会は、被った損失に相当する額の株主資本を消却することを株主総会において提案するものとする。この旨の決議が株主総会において採択されない場合、ノルウェー財務省は、監査済財政状態報告書における自己資本の損失額と同額の株主資本の消却を決定することができる。劣後債の消却に関し、同様の決議を採択することができる(ただし貸出契約において別段の定めがある場合を除く。)。さらに、継続的かつ満足できる事業を確保するために必要な場合、ノルウェー財務省は、株主資本の増額を決定することができる。これに関連し、ノルウェー財務省は引受条件を指定し、既存株主の先買権を排除することを決定できる。株主資本の増額は、株式発行において民間資本及び公的資本が利用可能であることを前提とする。民間資本及び公的資本が利用可能でない場合、下記に詳述される公的管理がその代替となる。かかる過程により、1990年代初頭に、国が多数のノルウェーの銀行について持分権を取得した。

公的管理及び清算

ノルウェーの銀行は通常の破産手続(すなわち、通常の破産法制に基づいて開始される債務整理手続及び/又は倒産手続)に従うものではない。その代わりとして、FEA第21章Ⅱにおいて規定されるとおり、ノルウェーの銀行には特別な手続の枠組み(公的管理)が適用される。

流動性を喪失した場合又は自己資本要件を達成できない場合、ノルウェー金融監督庁は直ちにノルウェー財務省に通知を行う。銀行が満期を迎える債務を履行することができない場合、また、継続的かつ満足できる事業のための十分な財政基盤が確保されない場合、ノルウェー財務省は、銀行を公的管理下に置くことを決定することができる。ノルウェー金融監督庁により自己資本規制要件が免除されない限り、銀行が自己資本規制要件を達成することができない場合についても同様である。金融グループの親会社が公的管理下に置かれた場合、ノルウェー財務省は、当該グループのすべて又は一部を公的管理下に置くことを決定することもできる。ノルウェー財務省の決定はその裁量により行われる。ノルウェー財務省が銀行を公的管理下に置かないと決定する場合、上記のFEA第21章Ⅱの規定が適用される。

（２）【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は当行の定款の規定の一部の概要であり、上記では言及されていない事項も含まれている。

目的

当行の目的は、定款の第1条の2に従い、その時々において有効なノルウェーの法律の範囲内で、銀行が従事する事業として慣例的又は一般的なあらゆる種類の事業及びサービスを行うことである。

取締役会

取締役会は、最長2年の任期で選任され、最大4名の取締役で構成される。取締役のうち1名は当行の従業員の中から選任されるものとする。この取締役に加え、当行の従業員は取締役会のオブザーバー1名を任命することができる。従業員の中から選任される取締役及びオブザーバーには、当行の従業員の中から代理人が選任される。

取締役会の会長及び副会長の選任並びに4人目の取締役は従業員により又は従業員から選任されてはならず、選任委員会により準備され、株主総会により選任されるものとする。

選任委員会

選任委員会は最大5名の委員で構成され、その各々が2年を任期として株主総会で選任される。選任委員会は、取締役会会長、取締役会副会長及びその他の取締役会のメンバー(当行の従業員から選任される取締役を含まない。)の選任の準備を行う。選任委員会は、選任委員会の委員の選任の準備も行う。

２【外国為替管理制度】

一定の国家的危機状態にある場合を除き、現在、ノルウェーにおいて、ノルウェー国外の当行が発行した社債(日本で発行した社債を含む。)(以下「本社債」という。)の保有者への元本の支払い又は利息の支払いを制限する外国為替管理制限は存在しない。また、現在、ノルウェー国外に居住する本社債の保有者(以下「本社債権者」という。)が保有する本社債を処分し、ノルウェー国外における本社債の処分からの対価を受領する権利に影響を与える制限は存在しない。

ノルウェーへ移転できる額又はノルウェーから移転できる額の上限は存在しない。しかし、銀行は、ノルウェーへの支払い又はノルウェーからの支払いについてノルウェーの税務当局に報告するよう義務付けられている。かかる情報は、本社債権者が居住する国の当局にも伝達される場合がある。

３【課税上の取扱い】

(1)ノルウェーにおける課税上の取扱い

当行により発行される本社債を保有しているという事情以外にノルウェーとの関連を有しない者に対する本社債の元本及び利息の支払いには、現行のノルウェー法の下では、ノルウェーの租税は課せられず、したがって、いかなるノルウェーの税金、賦課金又は公租公課のための源泉徴収又は控除も行われない。

本社債を保有しているという事情以外にノルウェーとの関連を有しない者による本社債の売却、処分又は償還により実現した譲渡益又は収益には、現行のノルウェー法の下では、ノルウェーの租税は課せられない。

現行のノルウェー法の下では、本社債の発行に関して、支払われるべきノルウェーの発行税又は印紙税は存在せず、本社債には、ノルウェーのいかなる相続税も課せられない。

税務上ノルウェーに居住しているとみなされる者は、本社債に関して受領する利息に対して一律25%のノルウェーの所得税が課せられる。ノルウェー政府と野党との間の2016年5月4日付の税金に関する合意において、法人所得税率を2018年度までに23%へ引き下げることが合意された。同様に、かかる者による本社債の売却、処分又は償還により実現した譲渡益又は収益は、ノルウェーの課税対象となる。

2015年10月7日に発表された税制改革に関するノルウェー政府の提案を受けて、ノルウェー議会の金融委員会は、2016年5月4日、金融サービスの付加価値に対し2017年度から新たな税金を導入することに合意した。詳細は公表されておらず、課税形式は、2016年10月の国家予算の公表前には提示されない。

(2)日本における課税上の取扱い

日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、申告不要制度又は申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。ただし、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。

本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。ただし、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したものにおける本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。

日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。

本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

４【法律意見】

当行の法律顧問であるアドヴォカトフィルマ・ヴィエルスホルム・エイ・エスより、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

(イ)当行は、ノルウェー法に基づく公開有限責任会社として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。

(ロ)本書中の当行の設立及び法的地位並びにノルウェーの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第２【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

当行グループ[1)]

	12月31日現在及び同日に終了した事業年度 (別途記載する場合を除き百万ノルウェー・クローネ)				
	2011年度	2012年度[2)]	2013年度	2014年度	2015年度
純利息収入	25,232	27,557	30,379	32,607	35,535
収益合計	39,945	39,404	43,535	46,729	52,444
当期利益	12,498	12,593	15,692	19,110	23,222
1株当たり利益/希薄化後利益[3)] (ノルウェー・クローネ)	71.09	68.76	85.68	104.34	126.79
資産合計	1,884,948	2,068,884	2,130,779	2,361,990	2,315,603
顧客預金	750,102	819,945	891,256	951,049	957,322
顧客向貸出金	1,291,660	1,308,864	1,350,656	1,447,465	1,531,932
株主資本合計	104,304	116,190	126,407	141,309	173,412
Tier 1資本	101,336	106,209	118,285	133,944	161,156
移行ルールに基づくTier 1資本比率(%)	9.9	10.8	11.8	12.9	15.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,697	18,100	(95,274)	(142,368)	(40,387)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(3,153)	(3,484)	(581)	(989)	1,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	97,060	63,943	(50,430)	16,629	(16,415)
ネット・キャッシュ・フロー	205,571	75,090	(132,350)	(107,460)	(41,118)
従業員数(名)	12,982	12,655	11,601	11,257	11,047[4)]

(注1)ノルウェー会計法セクション3-9に基づき、当行グループはEUにより採用された国際財務報告基準(IFRS)に準拠した年次連結財務書類を作成する。
(注2)2013年度から発効した会計原則の変更により、一部の比較数値が修正再表示された。
(注3)当期利益を期末現在の株式数で除した額。
(注4)2014年度から2015年度にかけての従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。

当行[1)]

	12月31日現在及び同日に終了した事業年度 (別途記載する場合を除き百万ノルウェー・クローネ)				
	2011年度	2012年度[2)]	2013年度	2014年度	2015年度
純利息収入	21,308	22,170	21,378	21,859	24,215
収益合計	33,658	37,636	38,917	40,558	41,509
当期利益	10,633	13,423	14,472	18,458	20,638
1株当たり利益/希薄化後利益[3)] (ノルウェー・クローネ)	60.48	73.29	79.02	100.78	112.69
資産合計	1,615,166	1,792,280	1,825,656	1,997,646	1,965,419
顧客預金	704,438	787,245	849,137	903,033	896,488
顧客向貸出金	711,966	713,743	680,114	723,456	705,532
株主資本合計	97,643	105,094	114,591	127,720	151,533
Tier 1資本	98,370	103,439	109,677	125,430	146,766
移行ルールに基づくTier 1資本比率(%)	11.2	11.8	11.7	13.6	16.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,622	65,889	(49,076)	(102,423)	25,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	(15,475)	(19,596)	(19,670)	(5,105)	(34,662)
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,237	27,033	(79,271)	(18,891)	(42,529)
ネット・キャッシュ・フロー	198,404	70,364	(134,538)	(108,601)	(37,921)
従業員数(名)	8,232	8,338	8,123	8,084	7,898[4)]

(注1)当行の法定財務書類は、ノルウェー財務省の年次財務書類に関する規則の、IFRSの適用に関するセクション1-5に準拠して作成されている。
(注2)2013年度から発効した会計原則の変更により、一部の比較数値が修正再表示された。
(注3)当期利益を期末現在の株式数で除した額。
(注4)2014年度から2015年度にかけての従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。

２【沿革】

DnBホールディング・エイ・エス・エイ及びイェーンシディーゲNORエイ・エス・エイの合併は、2003年12月4日付で企業登記所に登記され、DnB NORエイ・エス・エイが新たな持株会社の名称となった。DnBホールディング・エイ・エス・エイが買収側の持株会社であった。

2つの銀行子会社であった、デン・ノルスク・バンク・エイ・エス・エイ及びイェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイの合併は、2004年1月19日付で企業登記所に登記された。イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイが買収側の銀行であった。当行は様々な合併を行ってきたが、その起源はノルウェーの最初の貯蓄銀行であるクリスティアナ・スパーレバンクが設立された1822年まで遡ることができる。合併後、銀行の名称は、DnB NORバンク　エイ・エス・エイとなった。

2002年9月10日、イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイは、その形態を自己所有機関から公開有限責任会社へと変更し、1961年5月24日第2号ノルウェー商業銀行法に基づく登録番号984,851,006を持つ公開有限責任会社として法人化した。

2011年11月11日に、当行は名称をDnB NORバンク　エイ・エス・エイからDNBバンク　エイ・エス・エイに変更した。DNBグループのその他のいくつかの会社も同日付で名称を変更し、その中には持株会社のDnB NORエイ・エス・エイからDNBエイ・エス・エイへの名称変更も含まれる。

ノルドランズ・バンケンは、2012年10月1日付で当行に正式に統合されたが、最大2年間の移行期間は、当行グループの別ブランドとして存続する予定である。

当行の本店の所在地は、ノルウェー王国 オスロ市 N-0191 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30に所在し、電話番号は+47 915 03000である。

３【事業の内容】

概観

当行グループは、当行及びその子会社を含み、総資産で測定するとノルウェー最大の銀行グループである(2015年12月31日現在の資産は2,316十億ノルウェー・クローネ)。当行は、ノルウェー並びにスウェーデン、ポーランド並びにエストニア、ラトビア及びリトアニアのバルト諸国を含む海外において、顧客に対しコーポレート・バンキング、リテール・バンキング及び投資銀行のサービス及び商品を提供する。当行は、DNBグループ内で最大の会社である。2016年3月31日現在、当行グループの総資産は2,343十億ノルウェー・クローネ、顧客向貸出金は1,524十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して2015年12月31日現在の総資産は2,316十億ノルウェー・クローネ、顧客向貸出金は1,532十億ノルウェー・クローネであった。当行グループの利益は、2016年3月31日に終了した3ヶ月間において4.9十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して2015年度同期は6.2十億ノルウェー・クローネであった。2015年12月31日に終了した事業年度における利益は23.2十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して前年度は19.1十億ノルウェー・クローネであった。

当行グループの本店はオスロに所在する。当行は、DNBグループの持株会社であるDNBエイ・エス・エイの100%子会社である。DNBグループは、その総資産においてノルウェー最大の金融サービス・グループであり、2015年12月31日現在の総資産は2,599十億ノルウェー・クローネである。下記「*―DNBグループの組織体系*」に記載のとおり、DNBエイ・エス・エイは、当行を通じて銀行業務を行っており、100%子会社であるDNBリフスフォルシクリン・エイ・エス、DNBフォルシクリン・エイ・エス及びDNBアセット・マネジメント・ホールディング・エイ・エスを通じて生命保険商品及び年金貯蓄商品、損害(物損及び人身)保険商品並びに資産運用サービスを提供している。当グループは、個人顧客及び法人顧客向けの、融資、貯蓄及び投資、送金、アドバイザリー・サービス、不動産仲介、保険商品及び年金商品を含むあらゆる金融サービスを行っている。DNBは、国際的な優先分野、とりわけエネルギー、海運及び海産部門において世界の主要銀行の一つである。当行は、24時間年中無休の顧客サービス並びにテレフォン・バンキング及びオンライン・バンキングを提供し、支店、郵便局並びに店内郵便局及び店内銀行を通じ、19ヶ国及びノルウェー全土で物理的なプレゼンスを有している。

当行は、住宅用不動産を担保とする融資をかかる不動産評価額の最大75%で提供する会社であるDNBボーリ・クレジット・エイ・エスを完全所有している。DNBボーリ・クレジットは、カバード・ボンドを発行する権利を持つ抵当ローン機関としての営業許可を有しており、DNBグループの長期資金調達を確実にするための重要な役割を果たしている。

2016年3月31日現在、DNBグループは約2.1百万名の個人顧客、約230,000の法人顧客並びに約1.1百万名の生命保険及び年金保険の顧客をノルウェー国内に有している。

最近の変更及び今後予定されている変更

当行グループは、ほぼすべての顧客がデジタルな方法でのやりとりを好むことに着目した。したがって、当行は支店の構造を顧客の行動の変化に適応させるための幅広い措置を実施している。これと並行して、顧客サービス・センター及び人気の高い金融取引用モバイル・ソフトウェア・アプリケーションであるVippsの拡張といった新たなデジタル・サービスの開発に追加の資源が割り当てられている。

DNBは、個人顧客にサービスを提供している支店数を2016年度の当初6ヶ月間で116から57に削減する予定である。法人市場についても、63から46へと拠点を削減する変更が行われている。

DNBアイェンダムは、現在の所在地でプレゼンスを維持している。

削減が予定されているものの、DNBは引続きノルウェーのすべての郡に支店を置く予定である。支店数の削減により、従業員数が減少する。2015年度において、支店では主に自然減により200名の常勤従業員が削減された。上記の支店数の減少により、2016年度中にDNBの支店で約600名の常勤従業員がさらに削減される見込みである。

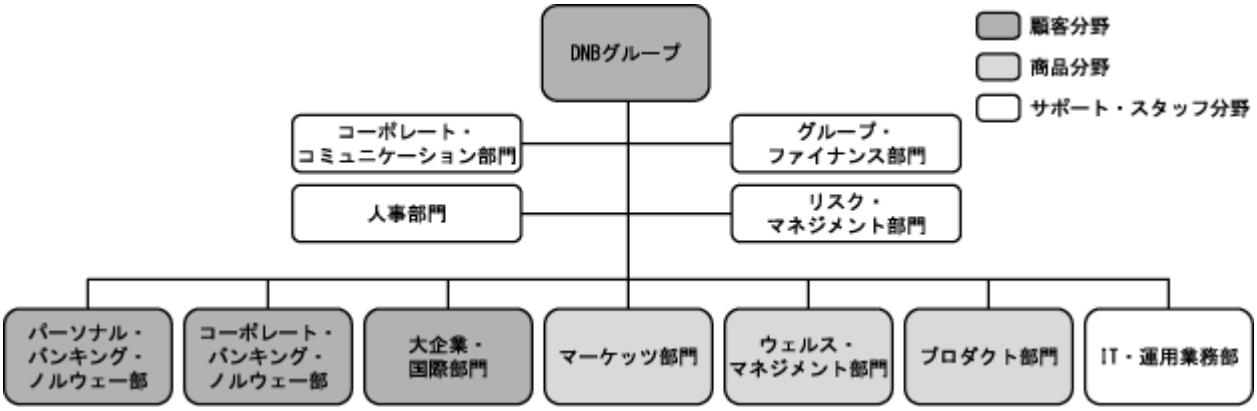
当行グループの運営体系

当行グループの中核事業は、パーソナル・バンキング・ノルウェー部、コーポレート・バンキング・ノルウェー部及び大企業・国際部門のそれぞれの事業分野を通じて運営する、リテール・バンキング及びコーポレート・バンキングである。

当行グループはまた、DNBマーケッツを通じて投資銀行サービスを提供し、保険及び資産運用会社が提供する一定の資産運用商品及び生命保険商品のクロス販売を行い、当行グループが手数料等を受け取っている。当行は、ノルウェーにおける大規模民間決済銀行でもある。2015年12月31日現在、当行グループの総資産は、DNBグループの総資産の89%を占めており、当行グループの当期利益は、DNBグループの当期利益の94%を占めていた。

DNBグループのサポート・スタッフ分野は、事業分野に対してインフラ・サービスを提供している。さらに、同部はDNBグループの運営機関及び管理部門としての機能を果たしている。DNBグループにおけるサポート部の規模及び能力は、取引高及びDNBグループの戦略によって決まる。サポート部はそれぞれ個別の独立した組織に指定されているが、DNBグループの運営体系は、組織体系とは異なる。

以下の図は、本書の日付現在のDNBグループの運営体系を示したものである。



報告体系－事業セグメント

DNBの財務ガバナンスは、異なるセグメントに適応している。セグメントの損益計算書及び貸借対照表は、内部の財務報告原則に従って表示されており、これにより収益、費用及び自己資本要件が多くの前提に基づきセグメントに割り当てられる。したがって、異なるセグメントに関する報告数値は、当該セグメントに対する当グループの商品及びサービスの売上合計を反映している。全体的な顧客関係及びセグメントの利益性の追跡調査は、戦略的優先事項の決定及び当グループの資源をどこに配分するかの決定における2つの重要な側面である。

以下は、本書の日付現在の当行グループの財務報告上の事業セグメントに関する記載である。

個人顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける2.1百万名の個人顧客が含まれる。支店、24時間年中無休のテレフォン・バンキング、デジタル・バンキング、モバイル・バンキング・ソリューション、不動産仲介並びに郵便局並びに店内郵便局及び店内銀行等の外部チャネルから成るノルウェー最大の販売網を通じて、顧客に対して広範囲のサービスが提供される。

個人顧客部門には、当グループのノルウェーにおける個人顧客に対するすべてのデジタル及び実物の形態による商品及びサービスの売上合計が含まれる。ただし、収益が保険契約者のものとなる従来型の年金商品に基づき計上された住宅ローンを除く。

2016年3月31日に終了した3ヶ月間において、個人顧客部門は2,258百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2015年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は2,238百万ノルウェー・クローネであった。2014年度の8,949百万ノルウェー・クローネと比較して、2015年12月31日に終了した事業年度において、個人顧客部門は9,979百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2015年度及び2014年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ32.2%及び35.4%にあたる。2015年12月31日現在、顧客向貸出金は685十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は合計393十億ノルウェー・クローネとなった。

当行は、商品、サービス、コンセプト及び費用水準を将来の銀行市場に適応させるよう取り組んでいる。セルフ・サービス比率の上昇に対応し、2015年度に合計20のノルウェーにおける支店が閉鎖され、200名の常勤従業員が主に自然減により削減された。個人顧客にサービスを提供する支店数が2016年度上半期中に116から57へと削減されるため、当行は支店体系の合理化を継続する予定である。これにより、2016年度中にさらに約500名の常勤従業員の削減が見込まれる。

当行グループの連結財務書類において、DNBボーリ・クレジットの住宅ローン・ポートフォリオは個人顧客部門の一部として報告されている。DNBボーリ・クレジットの事業の残りの部分は、その他の事業の一部として報告されている。20十億ノルウェー・クローネ弱の固定金利貸出金のポートフォリオは、2015年11月にDNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。

DNBアイェンダムはノルウェー最大の不動産仲介業者であり、個人顧客部門に含まれて報告される。同社は、住宅用不動産及び別荘の販売並びに住宅開発プロジェクトに関連するサービス並びにその他の不動産の売却に関するアドバイザリー・サービスを提供している。近年、DNBアイェンダムの市場シェア及び売上高は堅調に伸びており、ノルウェーに125のオフィスを有している。

中小企業部門

この部門は、ノルウェーの中小企業向けの商品販売及びアドバイザリー・サービスに責任を負う。当行は、大手銀行としての商品及び専門知識を提供する一方、ノルウェー全体にとっての地域銀行であることを目指している。この部門の顧客は、小企業及び新興企業から比較的大規模な法人顧客に及び、顧客の様々なニーズに合わせた商品提供が行われる。中小企業は、デジタル・バンキング及び24時間年中無休のテレフォン・バンキングに加え、ノルウェー中の当行グループの大規模な物理的販売網を通じてサービス提供を受ける。

企業のニーズは、急速にデジタル化している。過去2年間において、80%を超える手作業の法人向サービスが支店から削減され、当行のカスタマー・サービス・センターへのすべての問い合わせの70%が、現在デジタルなプラットフォームから行われている。顧客の行動の変化及びデジタル化の加速は、単純なニーズを持つ顧客に対しては、当行のデジタル・チャネルを通じて十分かつより効率的にサービスを提供できるということを意味している。

報告上、この部門には当行グループのノルウェーにおける中小企業向けの商品及びサービスの売上合計が含まれている。

2016年3月31日に終了した3ヶ月間において、中小企業部門は877百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2015年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は803百万ノルウェー・クローネであった。2014年度の3,117百万ノルウェー・クローネと比較して、2015年12月31日に終了した事業年度において、中小企業部門は3,414百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2015年度及び2014年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ11.0%及び12.3%にあたる。2015年12月31日現在、顧客向貸出金は220十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は167十億ノルウェー・クローネとなった。

大企業・国際部門

この部門には、当行におけるノルウェーの大企業顧客、公共部門並びにバルト諸国及びポーランドにおけるすべての顧客セグメントを含む海外の顧客が含まれる。

2016年3月31日に終了した3ヶ月間において、大企業・国際部門は1,510百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2015年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は2,806百万ノルウェー・クローネであった。2014年度の10,924百万ノルウェー・クローネと比較して、2015年12月31日に終了した事業年度において、大企業・国際部門は10,829百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2015年度及び2014年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ34.9%及び43.2%にあたる。2015年12月31日現在、顧客向貸出金は570十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は380十億ノルウェー・クローネとなった。

DNBグループのTier 1資本比率を引き上げるため、一部のローンの売却並びにシンジケーション契約及び保証契約の締結により同部門の資本利用を削減する調整が行われた。かかる変更は、リターンが少ない場合又は利益の成長の可能性が十分でない場合に行われた。

大企業・国際部門は、ノルウェーの大企業顧客にサービスを提供し、バルト諸国及びポーランドの現地顧客へのサービス提供を含む当行グループの国際事業に責任を負う。業界及び商品についての適切な専門知識に基づく長期的な顧客関係は、この事業分野での成功の鍵である。国際的な取組みは、事業分野の戦略的な優先分野である海運、エネルギー及び水産の専門知識に基づいている。

DNBナーリングス・クレジットは、当行の100%子会社である。この抵当ローン機関は、商業用不動産から成るカバー・プールによる担保が付されたカバード・ボンドの発行のために設立された。DNBナーリングス・クレジットは、大規模な商業用不動産のアドバイザー及び仲介業者であり、カバード・ボンドの発行を通じて当行グループのための長期資金調達に利用されるポートフォリオを管理する。

大企業・国際部門は、中央の顧客サービス部門、金融サービス・センター及び事業センター並びにノルウェーの地域オフィスを通じて、また当行グループのテレフォン・バンキング及びインターネット・バンキングを通じて、ノルウェーの顧客にサービスを提供している。さらに、当行グループの法人顧客に対しては、世界中のいくつかの国のオフィス及び支店を通じて国際的にサービスを提供する。

トレーディング部門

この部門は、顧客取引に固有の市場リスクのヘッジを含む債券、外国為替及びコモディティ商品並びにエクイティのマーケット・メイキング及び自己勘定取引で構成される。顧客活動は、トレーディング活動によって支えられている。

2016年3月31日に終了した3ヶ月間において、トレーディング部門は211百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2015年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は474百万ノルウェー・クローネであった。2014年度の1,500百万ノルウェー・クローネと比較して、2015年12月31日に終了した事業年度において、トレーディング部門は1,087百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2015年度及び2014年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ3.5%及び5.9%にあたる。

2015年度における為替レート、金利及びコモディティ価格の大幅な変動により、ヘッジ商品への需要が高まった。低金利の影響で、法人顧客の間で貸出金の金利ヘッジに対する需要が生まれた。石油価格の下落は、ノルウェー・クローネ安並びに外国為替及びコモディティのヘッジによる収益の増加をもたらした。石油価格の下落及び脆弱な市場は、資本市場及び債券発行市場の活動並びにノルウェーの買収及び合併に関するアドバイザリー・サービスに影響を及ぼした。

競争

当行グループは、特にパーソナル・バンキング・ノルウェー部の事業分野の主要商品である住宅ローンについて、競争の激しい市場で事業を行っている。当行グループの競合他社には、ノルデア・バンク・ノルゲ(北欧の銀行グループであるNordeaの子会社)、スパーレバンク1、ダンスケ・バンク及びハンデルスバンケンが含まれる。「第3－4 事業等のリスク－当行グループの事業に関するその他のリスク－当行グループが事業を行うノルウェー及び海外の市場における競争が、当行グループの事業にマイナスの影響を及ぼす可能性がある」も参照のこと。

以下の表は、2015年、2014年及び2013年12月31日現在の当行グループのノルウェーにおける貸出金及び預金の市場シェアを示したものである。

	12月31日現在		
	2015年	2014年	2013年
	(単位：%)		
リテール顧客[1)]			
一般家庭向貸出金合計[2) 3)]	25.4	26.0	26.5
一般家庭預金[2) 4)]	30.6	30.9	31.9
法人顧客[1)]			
法人顧客向貸出金合計[5)]	10.9	11.3	11.3
法人顧客預金[6)]	38.3	38.1	36.6

出典：スタティスティクス・ノルウェー、DNB

(注1)額面金額に基づく。

(注2)一般家庭とは、従業員、財産所得、年金及び社会保険の受取人、学生等、住宅協同組合等、一般家庭内の非法人事業者並びに一般家庭にサービスを提供する非営利機関をいう。

(注3)貸出金合計には、国内の商業銀行及び貯蓄銀行、国営銀行、保険会社並びに金融会社によるノルウェーの顧客へのあらゆる貸付が含まれる。

(注4)国内の商業銀行及び貯蓄銀行。

(注5)貸出金合計には、国内の商業銀行及び貯蓄銀行、国営銀行、保険会社、金融会社並びに国外機関によるノルウェーの顧客へのあらゆる貸付に加え、債券及びコマーシャル・ペーパーが含まれる。金融機関、中央政府及び社会保障サービスへの貸付を除く。

(注6)金融機関、中央政府及び社会保障サービスからの預金を除く。

情報技術

IT・運用業務部は、DNBグループ内のサポート部である。IT・運用業務部は、ノルウェー及び海外のすべての事業部門及びサポート部の従業員向けにツールを提供し、また当行の顧客に対し使い勝手の良いソリューションを提供している。同部は、コーポレート・バンキング・ノルウェー部、パーソナル・バンキング・ノルウェー部及び大企業・国際部門に財務、与信及び決済のサービスを提供している。IT・運用業務部は、当グループの調達、建物及びセキュリティ・サービスにも責任を負う。

ITグループ理事会を含む多数の諮問機関が、DNBグループ内に設置されている。同理事会は、当行の戦略的目標の達成を確実にすることを目的とした当行のIT開発プロジェクトの優先順位の決定、意思決定及び追跡調査に関するIT・運用業務部部長のための諮問機関である。

保険

当行グループの保険プログラムは、オペレーショナル・リスク管理の不可分の要素である。当行グループは、既存のセキュリティ慣行及びその他のリスクの低減措置にも関わらず発生する好ましくない事象による財政面への影響を制限するため、保険契約を締結している。当行グループは幅広い保険プログラムを有しており、その中には、特に専門職業賠償責任(PI)、役員責任(D&O)並びに財産侵害及び犯罪的攻撃(「銀行包括保証及びコンピューター犯罪／サイバー・リスク」を含む内部及び外部の不正行為及び犯罪)に係るカバレッジが含まれる。

不動産

当行の本店はノルウェーのオスロ市に所在する。当行はまた、北欧市場、バルト諸国市場及びその他の海外に所在する数々のその他オフィス及び支店を通じて事業を行っている。当行は、重要な不動産を所有していない。

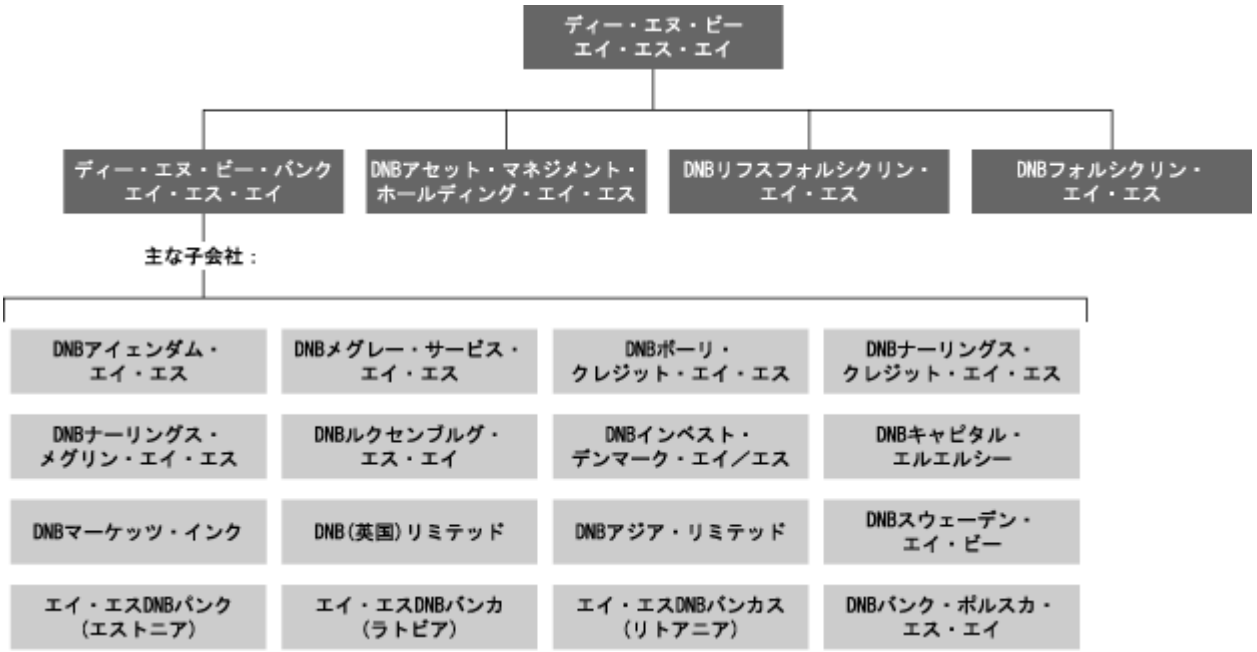
４【関係会社の状況】

DNBグループ―本書の日付現在の組織体系

DNBグループの組織体系

ノルウェーの規制当局の要件に従い、DNBグループの銀行業務、資産運用業務及び保険業務は、持株会社であるDNBエイ・エス・エイの下で別個の有限責任会社として組織されている。銀行業務は、当行及びその子会社により運営されている。すべての資産運用業務は、共通の持株会社であるDNBアセット・マネジメント・ホールディング・エイ・エスの下で組織されている。DNBリフスフォルシクリン・エイ・エスは、生命保険商品及び年金貯蓄商品について、利回り保証型商品及び投資特性選択型商品の双方を提供している。DNBフォルシクリン・エイ・エスは、個人顧客及び中小企業向けの包括的な商品パッケージの一部として、損害(物損及び人身)保険商品を提供している。

以下の図は、2016年3月31日現在のDNBグループの組織体系を示したものである。



当行の親会社であるDNBエイ・エス・エイは、DNBグループの持株会社である。当行は、DNBエイ・エス・エイの完全所有子会社である。DNBエイ・エス・エイは、オスロ証券取引所に上場しており、ノルウェー王国 オスロ市 N-0191に所在している。

以下の表は、2015年12月31日現在の当行の重要な子会社及び関連会社を示している。

千ノルウェー・クローネ単位(別途記載する場合を除きノルウェー・クローネ)

	株主資本	株式数	額面金額	株式所有割合(%)	帳簿価額
海外子会社					
DNBインベスト・デンマーク	12,765,228 デンマーク・クローネ	12,765,228,468	12,765,228 デンマーク・クローネ	100.00	10,684,100
DNBバンカス	190,205ユーロ	5,710,134	190,205ユーロ	100.00	3,550,993
DNBバンカ	191,178ユーロ	191,178,337	191,178ユーロ	100.00	2,255,764
DNBパンク	9,376ユーロ	937,643	9,376ユーロ	100.00	965,233
DNBバンク・ポルスカ	1,257,200 ポーランド・ズロチ	1,257,200,000	1,257,200 ポーランド・ズロチ	100.00	1,773,565
DNBアジア[1)]	1,500,000 米ドル	150,000,000	1,500,000米ドル	100.00	13,196,625
DNBアジア[1)]	20,000 シンガポール・ドル	20,000,000	20,000 シンガポール・ドル	100.00	100,769
DNBブラジル	600ブラジル・レアル	600,000	600ブラジル・レアル	100.00	2,727
DNBキャピタル[2)]				100.00	21,114,600
DNBルクセンブルグ	70,000ユーロ	70,000	70,000ユーロ	100.00	672,200
DNBマーケッツ・インク	1米ドル	1,000	1米ドル	100.00	3,224
DNBスウェーデン	100,000 スウェーデン・クローナ	100,000,000	100,000 スウェーデン・クローナ	100.00	15,163,666
DNB(英国)リミテッド	200英ポンド	200,000	200英ポンド	100.00	15,041,659
国内子会社					
アクシェ・オ・アイェンダムス・インベスト	100	100,000	100	100.00	38,721
ブリゲットルゲット・ホールディング	3,250	2,500	3,250	100.00	107,076
デジタル・ウォレット	297	2,971	297	100.00	7,500
DNBボーリ・クレジット	3,497,000	34,970,000	3,497,000	100.00	29,784,000
DNBアイェンダム	10,003	100,033	10,003	100.00	158,021
DNBアイェンドムストヴィクリング	91,000	91,000,000	91,000	100.00	238,731
DNBヤンスタンドスアドミニストラション	3,000	30	3,000	100.00	3,000
DNBインベスト・ホールディング	100,000	200,000	100,000	100.00	229,480
DNBメグレー・サービス	1,200	12	1,200	100.00	10,221
DNBナーリングス・クレジット	550,000	550,000	550,000	100.00	5,240,942
DNBナーリングス・メグリン	1,000	10,000	1,000	100.00	24,000
DNBポーシッシュ・プロパティーズ	1,200	1,200	1,200	100.00	65,113
E6ロジスティック	30	3,000	30	100.00	22,398
ゴッドフェレット	8,030	8,030	8,030	100.00	8,447
コングスバルグ・インダストリエイェンドム	100	1,000	100	100.00	10,000
子会社への投資合計					**120,472,774**

(注1)DNBアジア・リミテッドは、株主資本の一部をシンガポール・ドル(現地の規制による。)、一部を米ドルで保有している。

(注2)有限責任会社であるDNBキャピタル・エルエルシーの払込資本は、2.4十億米ドルである。

DNBボーリ・クレジット

DNBボーリ・クレジットは、当行グループの住宅用不動産に基づくカバード・ボンドの発行を担っている。

2015年度におけるDNBボーリ・クレジットの収益合計は、7,315百万ノルウェー・クローネであり、同期間における当行グループの収益合計の約19.7%となった。2015年度におけるDNBボーリ・クレジットの当期純利益は、6,340百万ノルウェー・クローネであった。2015年12月31日現在の資産合計は649,797百万ノルウェー・クローネであり、株主資本合計は39,198百万ノルウェー・クローネであった。

ノルウェー輸出金融公社

当行は、現在、ノルウェー輸出金融公社の40%の所有持分を有している。ノルウェー輸出金融公社の他の大株主は、ノルデア・バンク・ノルゲ　エイ・エス・エイ(23.21%)、ノルウェー政府(15%)及びダンスケ・バンク　エイ/エス(8.09%)である。当行グループの会計において、ノルウェー輸出金融公社に対する投資は、持分法で計上されている。2015年12月31日現在、当行グループの貸借対照表に反映されたノルウェー輸出金融公社に対する株式投資は、約3,139百万ノルウェー・クローネであった。

当行グループは、ノルウェー輸出金融公社の経営に関与していないが、当行の最高投資責任者であるビョルン・ベルグ氏は、ノルウェー輸出金融公社の取締役会構成員であり、監査委員会及びリスク委員会双方の会長である。ゲイル・ベルグボル氏は、2014年11月に最高経営責任者に任命された。任命前、同氏は2008年からノルウェー輸出金融公社の取締役会会長を、また2007年から2014年まで当行の合併・買収部門部長を務めていた。

５【従業員の状況】

当行グループの最も重要なリソースは、常に従業員である。顧客へのサービス提供能力を通じた価値を創造しているのは、DNBの人材である。

より厳格な自己資本規制要件及び顧客の行動の急速な変化を伴う銀行を取り巻く新たな現実への適応の特徴は、2015年度における組織及びリーダーシップの構築であった。特に、顧客の行動の変化にDNBが対応するための準備が重点的に行われた。当グループの「ニューディール」戦略に関連し、2015年春にノルウェー国内外で8回開催された大規模な管理職及び従業員向けのセミナーを含む数々の措置が実施された。関与、管理、コミュニケーション及び「私のお客様から私達のお客様へ」が、当グループの企業文化を向上させるための取組みを律する要素である。採用、従業員能力開発及び組織の境界を超えた流動性について、組織的な努力がなされた。

2015年12月31日現在、当行グループは常勤ベースで算定すると11,840名の従業員を有しており、そのうち3,174名はノルウェー国外で勤務していた。2015年12月31日現在の12,064名(そのうち3,312名は海外で勤務)から減少した。

当行の従業員は7,896名であり、そのうち868名は海外で勤務していた。当行グループの従業員は11,047名であり、そのうち3,122名は海外で勤務していた。

当行グループは、2015年度にさらなるリストラクチャリング及び規模縮小のプロセスを実施し、これにより常勤従業員が263名減少した。かかるプロセスは、DNBグループのリストラクチャリング規則に則って行われ、当グループの従業員代表との協議の後に実施された。個人からの申請に基づき、2015年度において合計271名分の早期退職金パッケージが付与された。年功及び年齢に応じて早期退職金の額が決定され、早期退職の対象となる従業員が置き換わることは無いという条件付きで申請が承認された。

2016年2月3日、当行は、デジタル化時代において銀行を取り巻く新たな環境に支店数及び従業員数を適応させるため、大規模な措置を実施すると発表した。

当行は、2016年当初6ヶ月間において個人顧客にサービスを提供する支店数を116から57へ削減する。法人市場についても、支店を63から46へと削減する変更が実施されている。DNBアイェンダムは、現在の所在地においてプレゼンスを維持すると見込まれる。上記の変更により、2016年度中にDNBの支店で約600名の常勤従業員がさらに削減される予定である。

当行グループの平均年齢は、女性が42.2歳、男性が42.8歳であった。従業員に関する詳細は、「第6－1－(1) 2015年12月31日に終了した事業年度の財務書類－注21」も参照のこと。

第３【事業の状況】

１【業績等の概要】

「7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

２【生産、受注及び販売の状況】

「7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

３【対処すべき課題】

戦略、ビジョン及び価値

当行はDNBグループの主要子会社であるため、当行の戦略はDNBグループ全体の戦略と連動する。

DNBの戦略的プラットフォームは、当グループのビジョン、価値及び共有された顧客への価値提案で構成される。かかるプラットフォームは、当グループの特徴を示し、共通の目標を設定する。

DNBのビジョン、価値観及び顧客への価値提案は、顧客を重視するものである。DNBは、顧客が必要とする金融サービスを適切に提供し、顧客を満足させることにより、ノルウェーにおける主要な銀行であり、また選別した顧客セグメント、商品及び地域における主要な世界的企業となることを目指している。

DNBのビジョン：*顧客へのサービス提供能力を通じた価値の創造*　DNBは、顧客、事業主、従業員及び社会全般にとっての価値を創造する。

DNBの価値：*有用で、専門的かつ自発性があること*　この価値は、DNBの特徴を反映している。有用で専門的かつ自発的な従業員により、DNBは、顧客がDNBに関わる際に常に良い経験ができるように期している。

DNBの顧客への価値提案：*顧客のため、毎日、最も重要な時に*　これは、DNBがいつ、どこで、どのように顧客のために存在するかということにほかならない。そこに存在することとは、最善のソリューションを提供できるようにするため、顧客のニーズを特定することである。

DNBは、株主のための長期的な価値創造を優先し、北欧の同業者に対し競争力の高い株主資本利益率、成長率及び時価総額の達成を目指している。

DNBは、当行の業界についての専門知識を活用すること並びに顧客の全体的な金融ニーズに商品及びサービスを適応させることにより、より多くの顧客にとっての戦略アドバイザーとなることを目指している。主要銀行としての魅力ある地位を築くため、DNBはあらゆる金融サービスが競争力を持つようにしければならない。

リスク管理

リスク管理の主な目的は、長期的な視野でのDNBグループの損失のリスクと利益の可能性との最適なバランスを達成することである。リスク管理とは、当グループが意図しないリスクから保護されるようにする一方、リスクに対する収益性が考慮されることを意味する。健全なリスク管理は、強固なリスク文化に基づき、組織内のリスク及びリスク管理に対する高い意識に特徴付けられる。一般的なリスク管理の枠組みは、健全な文化の発達及び当グループの効果的な管理の基礎をもたらす。

すべてのマネージャーは、自身の責任分野におけるリスクに責任を負う。リスクは、個人の承認及びリスク限度枠を通じて管理される。リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、個々の事業分野における業務から独立した部門が請け負う。

当行グループの不可分の要素として、DNBグループは本項に概説されるDNBグループのリスク管理方針に服する。

責務及び組織

DNBグループのリスク管理は、3つの防衛線のモデルに基づいている。主なリスク管理の原則は、明確な目標及び戦略、方針及び指針並びに効果的な運営体系及び透明性のある報告である。

第1の防衛線は、運営の効率性に関して定められた目標達成のためのプロセス及び活動を含む、運営管理のガバナンス及び内部統制、信頼性のある財務報告並びに法律及び規制の遵守である。事業部は個々のリスクを有しており、各分野における日常的なリスク管理に責任を負う。事業部は、リスク管理及びリスク・エクスポージャーが、常に取締役会により決定された限度枠及び包括的原則の枠内に確実に収まるようにする。

第2の防衛線は、運営管理のガバナンス及び内部統制を監視及び追跡調査する独立した機能を表している。かかる機能は、第1の防衛線が適切に設計され、かつ意図したとおりに機能することを確実にするために設定される。第2の防衛線は、リスク管理及び組織間の調整のための前提を置くことに責任を負う。リスク管理機能は、第1の防衛線における効果的なリスク管理の実施を監督し、またすべてのリスクの特定、定量化、分析及び報告に責任を負う。かかる機能は、事業部がリスクを管理するために役立つ分類モデル及び分類プロセスを構築する。コンプライアンス機能は、業務が適用ある法律及び規制を確実に遵守して実施されるようにする。財務報告に対する内部統制は、財務リスク及び会計上の問題を監視する。

第3の防衛線は、グループ経営陣の全体的なガバナンス及び内部統制を審査及び評価するグループ監査部門である。グループ監査部門は、第1及び第2の防衛線におけるリスク管理を審査し、リスク管理及び内部監査の評価により事業の潜在的な改善点を特定する。グループ監査部門は、当グループの上級経営陣から独立しており、DNBエイ・エス・エイの取締役会に直属する。

取締役会

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク及び事業範囲に対し適切な自己資本が当グループに備わっていること並びに法律及び規制に定められた自己資本要件を充足していることを確実にすることに責任を負う。DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク選好度の枠組みを通じてDNBグループのリスク・プロファイルの長期目標を設定する。取締役会は、DNBグループの資本状況を継続的に監視する。

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、DNBグループの主要なリスク分野及び内部統制を毎年審査する。かかる審査は、グループ最高経営責任者からの報告に基づき行われ、主要なリスク分野で行われた作業の質を検証し、弱点及び改善の必要性を特定することを目的としている。当行及びその他の重要子会社の取締役会は、各社の主要なリスク分野及び内部統制を毎年評価する。

リスク管理委員会は、DNBグループの内部統制体制及びリスク管理体制を監視し、これらが有効に機能していることを確認する。さらに、同委員会は、将来のリスク選好度及びリスク戦略を含む、当グループのリスク・プロファイルに関して取締役会に助言を行う。取締役会への助言には、資本管理及び流動性管理、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク、コンプライアンス及びレピュテーションに関するリスク並びにDNBグループにおけるその他のリスクに関する戦略が含まれる場合がある。同委員会は、取締役会がDNBグループにおけるリスク管理を監視するための準備を行い、かかる準備にはグループ経営陣のリスク報告の審査及び評価が含まれる。

監査委員会は、DNBグループ監査部門及び監査役が行った作業の質を評価し、当グループの外部及び内部の監査手続が独立しかつ効果的であること、並びに財務報告が法律及び規制を十分に遵守していることを確実にする。監査委員会は、当グループの監査役の人選及び監査役の報酬に関して検討し、提言を提出する。同委員会は、監査役の独立性を評価及び監視する。また、同委員会は、財務報告のプロセスを監視し、年次財務書類及び連結財務書類の法定監査を審査する。同委員会は、取締役会が財務報告のプロセスを監視するための準備を行い、また当グループの財務報告の審査及び評価も行う。

グループ最高経営責任者及び執行機関

グループ最高経営責任者は、効果的な管理体制及び内部統制の構築を含む、DNBエイ・エス・エイの取締役会が設定した事業目標の達成に役立つリスク管理措置の実施に責任を負う。グループ経営陣の会議は、グループ・レベルの経営に関するグループ最高経営責任者の合議体である。リスク管理及び資本管理に関するすべての重要な決定は、通常、グループ経営陣チームと協議した上でなされる。与信供与並びにすべての重要な財務分野におけるポジション及び取引の限度枠について、承認が必要である。承認は、すべて個別のものである。承認は、全体的な限度枠と併せてDNBエイ・エス・エイの取締役会により決定され、組織に委任されるが、追加の委任には、当該個人の直属の上司による承認及び追跡調査が必要となる。

様々な専門分野における書類作成並びに監視及び統制の実施を補佐するため、多くの諮問機関が設置されている。

グループ・リスク管理部

グループ・リスク管理部は、DNBグループ内の中核かつ独立したリスク管理部である。同組織は、DNBグループの最高リスク管理責任者が率い、最高リスク管理責任者はグループ最高経営責任者に直属する。グループ最高経営責任者は、リスク負担及び内部統制のための前提を置き、DNBグループのリスク状況の評価及び報告を行う。DNBグループのリスク関連組織の大半は、グループ・リスク管理部内に組織される。

信用リスク、市場リスク及び流動性リスク、オペレーショナル・リスク、モデル構築及びストレス・テスト、検証、リスク報告及びリスク分析、コンプライアンス並びにマネー・ロンダリング防止／制裁に対するグループ全体の責任を負う部署が、グループ・リスク管理部内に設置されている。リスク管理の公平性及び独立性に関する要件があり、リスク管理における特別な機能を有するすべての部は、一般に独立し、かつ高い信頼性を有するものとする。しかし、リスク機能及び事業運営の良好な相互作用は、良好なリスク文化の発達のため必須条件である。運営上のリスク管理は、事業分野において組織される。

コンプライアンス

コンプライアンス機能は、DNBグループのコンプライアンス・リスクの特定、評価、助言、監視及び報告を行う独立した機能である。かかる機能はDNBのグループ・コンプライアンス・オフィサーが率い、グループ・コンプライアンス・オフィサーは、グループ最高経営責任者を通じて取締役会に直属する。すべて事業部門及びサポート部並びに大規模な子会社及び海外の事業体には、関連する規制の確実な遵守に責任を負うコンプライアンス機能がある。海外の事業体並びにバルト諸国及びポーランドにおける当グループの事業におけるコンプライアンス機能は、グループ・コンプライアンス・オフィサーに直属する。DNBグループにおける倫理責任についても、コンプライアンス機能の下に組織される。

監査

独立した効果的な監査は、良好なリスク管理及び内部統制並びに信頼性のある財務報告の確保に役立つ。グループ監査部は、DNBエイ・エス・エイの取締役会から指示を受け、部門の年次計画及び年次予算の承認も行う。

グループ監査部は、適切かつ効果的なリスク管理及び内部統制が行われていることを検証する。また、グループ監査部は、リスクの特定、策定された管理プロセス及び統制措置がDNBグループの目標達成能力の強化に効果的に寄与しているか否かも評価する。

リスク報告

DNBグループは、DNBグループのリスク管理方針に従い、低リスク・プロファイルを維持することを目指し、また、理解されかつ継続管理することのできるリスクのみを負担する。DNBグループは、倫理に反する行為、人間若しくは労働者の権利の侵害、汚職又は深刻な環境への悪影響を助長する重大なリスクにつながる商品若しくはサービスの提供又はその他の行為を行わないことを約束している。

リスク管理に関する当グループの方針

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、DNBグループの全体的なリスク管理の指針となりDNBグループに存在するリスクに対する態度及び取組みの意欲を示す、リスク管理に関する当グループの方針を承認した。当該リスク管理方針は、DNBグループのすべての部署におけるリスク管理に共通する枠組みである。

取締役会はまた、法令遵守及び倫理に関するグループの方針も承認し、これは、当グループの最高リスク管理責任者によっても承認された。

当グループのすべての活動はリスクを伴う。リスクを管理する能力は、金融活動の中核であり、また、長期間にわたる価値創造のための必須条件である。DNBグループは、DNBグループのリスク管理方針に従い、低リスク・プロファイルの維持を目指している。DNBグループは、理解されかつ継続管理することができるリスクのみを負担し、また、その評判を損なう可能性のある活動には関与しない。リスクには、利益の最大化を狙い積極的に引き受けられるリスクと、容認可能な低水準で引き受けられるリスクとで、明確な区別がある。当グループの文化は、良好なリスク管理を支える個人責任並びに透明性のある方法及びプロセスにより特徴付けられる。リスク管理には、高い質及び高い情報価値が必要である。

自己資本管理

リスク・プロファイルの評価及び自己資本要件

ノルウェー公開有限責任会社法に従い、すべての会社は、常に、会社の活動及び関与するリスクの範囲を考慮した適正な株主資本を保たないければならない。自己資本規制では、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクを含む最低第一次資本要件が定められている。DNBグループは、当該最低要件を満たすとともに、様々なバッファー要件を満たさなければならない。バッファー要件と最低要件との違いは、遵守しなかった場合の結果による。最低要件を遵守しなかった場合、当該銀行の再編又は清算につながる可能性がある一方、バッファー要件を遵守しなかった場合は、自己資本を強化するための措置が行われなけらばならない。バッファー要件を遵守しなかった場合、配当金の支払い、ハイブリッド証券の利息の支払い及び従業員に対する様々な報酬の支払いが制限されることになる。

当グループは、DNBグループの資本戦略及び配当方針に従い、同等の自己資本原則に基づく北欧地域における最良の自己資本を有する金融サービスグループの一つになることを目指している。配当は、十分な財務力を維持する必要性及び外部パラメータの変動などの要因に基づき決定される。当行の自己資本指針では、目標とする自己資本水準、当行の自己資本の状況の見直しの頻度並びにリスク調整後自己資本及びストレス・テストの使用といった使用される評価方法が示されている。自己資本指針は、内部自己資本充実度評価プロセス(以下「ICAAP」という。)及び監督上の検証・評価プロセス(以下「SREP」という。)を通じた当局からのフィードバックに基づいて毎年見直される。

ストレス・テスト

ストレス・テストは、当グループの自己資本の評価において重要な手段であり、また、財政計画にも使用される。ストレス・テストは、マクロ経済環境の変化が自己資本の必要性にどのような影響を与えるかを判断するための自己資本計画の過程で使用される。当グループの管理チームは、ストレス・テストの改良に関わり、その結果に基づく措置及び戦略を検討している。

DNBは、2011年及び2014年に、欧州銀行監督機構が取りまとめた欧州銀行のストレス・テストに参加した。当該ストレス・テストは、貸付損失、市場リスク及び純利息収入の減少などの深刻な衝撃及び損失に対する欧州の銀行の回復力並びにその結果が当行の普通株式等Tier 1資本の比率に与える影響を評価するものである。DNBはまた、2016年にEUのストレス・テストに参加する予定である。

ICAAPのストレス・テストは、マクロ経済状況の著しい悪化を仮定し、変化した状況が当グループの全体的なリスク状況、収益性及び自己資本にどのような影響を与える可能性があるかを示す。該当するリスク要因に基づくストレス・シナリオが毎年策定される。かかるシナリオは、資産負債委員会(以下「ALCO」という。)により検討され、最高リスク管理責任者により承認される。当該ストレス・テストは、DNBの損失見積りのためのリスク調整後自己資本のモデルを使用している。

リスク選好度

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、2012年度に策定され2013年1月1日付で利用が開始されたリスク選好度の枠組みを通じ、DNBグループのリスク・プロファイルの長期目標を設定する。リスク選好度の枠組みは、リスクが管理され、DNBグループのガバナンスのプロセスに実践的に、体系的に、透明性があり、かつ同期的な方法で統合されていることを確実にすることを意図している。リスク選好度の枠組みによって、全体的かつバランスのとれたビジネス上のリスクについての見方が提供されなければならない。かかる枠組みを支えるため、一連のガバナンスの原則及び運営手順並びにDNBグループ内の責任が定められた。目標とするリスク・プロファイルも、承認及び事業限度枠の設定を含むリスク管理の枠組みのその他の部分に反映される。リスク選好度の枠組みは、少なくとも年1回見直される。また、取締役会も定期的にリスク水準、枠組みの構造及び当該リスク・カテゴリーの報告を審査する。

DNBグループのリスク選好度に基づき決定される限度枠は、事業部門及びサポート部において運用される。DNBグループのガバナンス体制において、リスク選好度は選ばれた指標の目標数値の形で示される。カバーする業務を反映するリスク指標を監視することにより、DNBグループはリスクが目標とする水準にとどまっているかどうかを確認することができる。リスク指標は、一般に(定量化可能なリスクについては)リスク水準の限度枠又は定性的評価により表示される。これらは同様のリスク・トピック及びリスク・トレンドを裏付けるが、必ずしもDNBグループと同じ測定のパラメータを使用して表示されるとは限らない。これらの目標数値を継続的に監視することにより、最重要と定義されるリスク・トピックもまた、確実に組織の業務範囲内で監視されかつ議論される。

リスク・カテゴリー

リスク管理の目的上、当行グループは、リスク・カテゴリーを以下のとおり区別している。

信用リスク

信用リスク(又はカウンターパーティ・リスク)とは、DNBグループの顧客(取引先)側がDNBグループに対する支払債務を履行できないことに起因する財務上の損失のリスクをいう。信用リスクは主として貸出金等顧客/取引先に対するすべての債権のみならず、その他の承認済みの信用供与、保証、債券、未使用の与信枠及び銀行間預金に係る債務並びに通貨デリバティブ取引及び金利デリバティブ取引に関して生じるカウンターパーティ・リスクを含む。さらに、決済の支払い及び契約の合意に関して生じる決済リスクには、カウンターパーティ・リスクの重要な要素がある。また、信用リスクには、単一かつ同一の顧客に対する多額のエクスポージャー、地理的範囲内若しくは業界内での集中又は均質な顧客集団に対するエクスポージャーに関連するリスクを含む、集中リスクも含まれる。残存リスクとは、信用エクスポージャーのための担保が期待に沿わないリスクをいう。

DNBグループの与信プロセスは、取締役会によって承認されるDNBグループの与信方針に基づくものである。与信業務の主たる目的は、当行の短期的及び長期的収益性を確保できる構成及び質の与信ポートフォリオを維持することである。与信ポートフォリオの質は、DNBグループの低リスク・プロファイル目標に合致しなければならない。

DNBグループは、単一の顧客又は顧客グループに対する多額のエクスポージャー、並びに高リスクのカテゴリー、産業及び地域に係る多数の融資契約等、大規模なリスクの集中を回避することを目指している。リスクの集中動向は金額、リスク・カテゴリー及びリスク調整後(所要)自己資本に関して厳重に監視されている。大口の顧客及び顧客グループに対するエクスポージャーは、リスク・カテゴリー及びリスク調整後(所要)自己資本に基づき追跡調査される。

リスク分類システムは意思決定支援として利用され、また、継続的なリスク監視及び報告のため利用されている。個別毎及びポートフォリオ毎の融資契約のデフォルト確率、予想損失及びリスク調整後(所要)自己資本は、与信戦略の進度管理を含む与信プロセス及び継続的モニタリングの一環として組み込まれている。

市場リスク

市場リスクとは、外国為替、金利、コモディティ及び資本市場においてヘッジされていないポジションをとる結果生じる損失のリスクをいう。市場リスクは、市場価格又は為替レートの変動による利益の変動の結果生じる。市場リスクには、通常のトレーディング活動を通じて生じるリスク並びに銀行活動及びその他の業務の一部として生じるリスクの双方が含まれる。

流動性リスク

流動性リスクとは、DNBグループが支払期限の到来した債務を履行できなくなるリスク及びDNBグループが付随する費用を大幅に増加させなくては流動性債務を履行できなくなるリスクをいう。このリスク・カテゴリーは、他の事象によりDNBグループの債務履行能力に関心が生じるまで実体化しないという点で、しばしば条件付とされるが、流動性は金融事業にとって極めて重要である。流動性リスクは、リスク調整後(所要)自己資本の形で数値化されてはいないが、限度枠管理及びストレス・テストを通じて追跡調査される。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、内部のプロセス及びシステムの不備若しくは誤謬、人為的過失、又は外部の事由に起因する損失のリスクをいう。また、オペレーショナル・リスクには、法律及び規制又は類似の義務の違反による損失のリスクであるコンプライアンス・リスク、並びに契約書の作成及び解釈並びにDNBグループが事業を行う地域における異なる法的慣行に関連してしばしば生じる法的リスクも含まれる。

事業リスク

事業リスクは、市況、政府の規制又はレピュテーションの低下による収益の喪失等の外的要因の変化に起因する利益の変動に関連している。レピュテーション・リスクは、他のリスク・カテゴリーによる結果であることが多い。DNBグループの事業リスクには、主に戦略プロセス及びDNBグループのレピュテーションを守り、向上させる継続的な努力を通じて対処する。DNBグループのリスク選好度を決定し追跡調査する際には、レピュテーション・リスクは個別のリスク要因として定義される。

以上に記載したリスクのほか、DNBグループは戦略リスクにもさらされており、かかるリスクはDNBグループが既存の戦略的機会を生かせなかった場合に利益が減少するリスクと定義できる。DNBグループの戦略リスクについて個別の測定又は報告はなされていないが、年間の戦略プロセスの一部として議論される。

新たな規制の枠組み

欧州監督当局に関する合意

国際機関へ権限を委譲する政府の能力を制限するノルウェー憲法の規定により、欧州監督当局を設置するためのEUの規制、CRR／CRD Ⅳ及びその他数々の法令をEEA協定及びノルウェーの法律に盛り込むことはできなかった。2014年10月14日、EEA協定加盟国の財務大臣は、欧州銀行監督機構の超国家的権力のEEAにおける施行方法の原則についてEU加盟国と合意した。一部のEU規制及びEU指令のEEA協定への施行に関するEEA委員会による一部の決議の施行案(欧州銀行監督機構の設立に係る決議(欧州議会及び欧州理事会規制(EU)1093/2010)を含む。)が、2015年4月15日付で承認のためノルウェー議会へ送られた。議会の審議及び採決は、2016年6月13日に行われた。2016年秋の間に、ノルウェー銀行法委員会は関連するノルウェーの法律におけるBRRD及び改正の施行についての意見をノルウェー政府に提出する予定である。

新たな自己資本規制及び流動性規制

ノルウェーは、EUの自己資本要件に関する規制であるCRR／CRD Ⅳ適用の第一段階として、2013年7月1日付で新たな自己資本規制を導入し、2016年7月1日を期限とする正式な自己資本要件の段階的引上げに取り組んだ。2015年7月1日現在、バッファー要件を含む普通株式等Tier1資本の最低所要比率は、ノルウェー当局がシステム上重要なO-SIIs(その他のシステム上重要な金融機関)として定義した3行の金融機関(単体及び連結ベースでのDNBエイ・エス・エイ並びに当行を含む単体ベースでの一部の子会社を含む。)については12%であり、その他の銀行については11%であった。2016年7月1日付で、当該最低所要比率は、O-SIIsについては13.5%に、またその他の銀行については11.5%に引き上げられる予定である。

銀行の自己資本規制要件は、2つの柱で構成される。第1の柱には、政治上の権限者が決定する最低要件及びバッファー要件が含まれる。ノルウェー金融監督庁の第2の柱に基づく要件は、第1の柱に基づく要件を補完するものであり、第1の柱ではカバーされないか又は一部しかカバーされないリスクに関する金融機関固有の自己資本要件を反映する見込みである。当行、当行グループ及びDNBグループの第2の柱に基づく要件は、普通株式の1.5%に設定されている。このため、当行、当行グループ及びDNBグループの普通株式等Tier 1資本比率の合計は、2016年度末現在で15%となる見込みである。当行、当行グループ及びDNBグループは、利益剰余金及び資本効率対策により当該要件を充足する予定である。

将来新たなEUの規制が実施される可能性に備えるため、ノルウェー財務省は、資本等式の分子及び分母の定義を含むノルウェーにおけるノンリスクベースの自己資本要件に関する規則案の策定をノルウェー金融監督庁に要請した。ノンリスクベースの自己資本要件がその他の自己資本要件が置き換わることなく導入されることを考慮し、ノルウェー金融監督庁は、ノルウェーの銀行、抵当機関及び金融機関の親会社にとって最も適切な資本水準についても、水準を区別するべきか否かを含めて検討するよう求められている。規制案は、2016年4月12日付で2016年8月25日まで公聴会へ送られた。

EUの自己資本要件の規制には、流動性カバレッジ比率(LCR)に関する規定が含まれている。ノルウェーでは、ノルウェー財務省がEUの予定より前にLCRを導入することを決定した。O-SIIsは、早くも2015年12月31日から100%のLCR要件を満たす必要があった。その他の銀行については、かかる要件は2015年12月31日現在で70%、2016年12月31日現在で80%、2017年12月31日現在で100%と段階的に引き上げられる。

金融機関固有のカウンターサイクリカルな資本バッファー比率

EUの規制に基づき、カウンターサイクリカルな資本バッファー要件の相互認識が2016年1月1日付で義務化されている。これは、かかる要件の対象となるすべての金融機関が、事業を行う国の現行の要件に基づき金融機関固有のカウンターサイクリカルなバッファー要件を算出しなければならないことを意味している。この規定は、ノルウェーではまだ導入されておらず、当該要件は、国際的なエクスポージャーを含めたリスク加重資産合計の1%(2016年6月30日からは1.5%)である。最低自己資本要件合計は、上記のとおりである。

ノルウェー金融監督庁は、3月31日付のノルウェー財務省宛の書簡において、EEA加盟国及び第三国の双方で定められたすべてのカウンターサイクリカルなバッファー要件を認識するよう提言している。これは、EUの規制に従っている。EUは通常、当局がバッファー要件を定めていない国におけるエクスポージャーについて、カウンターサイクリカルなバッファー要件を定めない予定である。これに反し、ノルウェー金融監督庁は、ノルウェーで広く使用されるカウンターサイクリカルな資本バッファー比率が常に用いられることを提案している。

ノルウェーは、スウェーデンとともに、EEA加盟国の中でカウンターサイクリカルな資本バッファー比率が最も高い。大半のEU／EAA加盟国及び一部の第三国は、カウンターサイクリカルな資本バッファーを導入している。これらの国々の大半は、比率を0%に設定している。したがって、ノルウェー金融監督庁の提案によると、DNBに適用されるバッファー比率はノルウェーの比率より低くなる。DNBのエクスポージャーの約25%が、2016年度のバッファー比率が0%に設定されている国に対するものである。

新たな危機管理規制

2014年7月2日、銀行の清算及びリストラクチャリングに関するEU指令であるBRRDが施行された。かかる指令は、EEA協定を通じてノルウェーにおいても施行されなければならない。BRRDの目的は、大規模銀行の清算であっても、政府資金を注入せずに清算を進めることである。かかる銀行の劣後債務及び無担保優先債務の債務減額又は株式資本への転換(ベイルイン)による銀行の全体又は一部の資本構成の変更を通じ、システム上重要な機能の継続性が確保される。

BRRDに基づき、各国は国営の破綻処理基金を設立する。修正版預金保証指令に従い、各国は預金保証基金も設立しなければならない。ノルウェーには、すでに欧州において最も資本を十分に備えた預金保証基金の一つがあり、その資金は、保証対象の預金の1.8%という預金保証基金及び破綻処理基金に関するEUの統合された要件を大きく上回っている。

BRRD及び修正版預金保証指令の実施には、行政に関する規則及びノルウェー銀行保証基金の役割を含む、ノルウェーの危機解決システムの大幅な変更が必要となる。銀行法委員会は、かかる指令のノルウェー法における実施方法を検討している。この過程及び法案の策定作業は、2016年度下半期に完了する見込みである。

カードによる支払取引のインターチェンジ手数料に関する規制

ノルウェー財務省は、カードによる支払取引に係るインターチェンジ手数料(以下「インターチェンジ」という。)に関するEUの規制に対応してノルウェー法で施行する規則案について、意見を求めて回覧した。デビット・カードでの購入については、銀行は取引価格の0.2%を超える手数料を課すことはできないが、クレジット・カードでの購入については、最大で0.3%の手数料が認められている。その結果、カードによる支払取引による銀行の利益は減少する。ノルウェー金融監督庁は、2016年7月1日時点でノルウェーにおいてインターチェンジ手数料の最大利率を導入するよう提言した。公聴会は2016年4月1日に終了し、決議案は本書の日付現在まだ可決されていない。EUにおいては、かかる規則は2015年4月に承認され、2015年12月に最大手数料が有効となった。

４【事業等のリスク】

当行に関するリスク

マクロ経済情勢に関するリスク

世界の金融市場の混乱及び変動は、当行グループに悪影響を及ぼす可能性がある。

近年の世界の資本市場及び信用市場は、変動及び混乱により特徴付けられた。厳しい市場環境により、ボラティリティが上昇しただけでなく流動性が低下し、信用スプレッドが拡大し、信用市場における価格の透明性が失われてきている。世界の市場環境及び経済情勢は、ギリシア、アイルランド、イタリア、ポルトガル及びスペインを含む一部のEU加盟国のソブリン債務の返済能力についての市場認識を含む様々な要因により、数年間にわたってマイナスの影響を受けてきた。信用リスク(政府の信用リスクを含む。)に関する懸念は、世界経済全般についての市場認識及び欧州の銀行部門の強さについての認識に影響される。中国経済の不確実性の高まり並びにそれが金融市場及び実体経済に影響を及ぼす可能性は、2015年の夏以降増してきている。中国経済の成長率(GDP成長率を含む。)のさらなる低下は、世界経済及び欧州の経済情勢にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。欧州における予想を上回る成長の鈍化及び失業率の上昇は、金融市場の信用リスクの増大をもたらす可能性がある。

世界経済の見通しの結果、DNBが直面するすべてのリスク及び不確定要素の性質を正確に特定することはできず、これらのリスクの多くはDNBに制御できる範囲を超えている。いずれの市場における将来の経済情勢又はいずれの市場における発展の持続可能性についても、保証することはできない。

信用市場又はその他の市場のさらなる混乱は、とりわけ、許容範囲内の金銭的条件で当行グループが資本及び流動性を利用する能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。上記の要因のいずれも、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を行う市場における好ましくない経済動向及び経済情勢は、当行グループの事業及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があり、それらの状況が継続又は再発した場合、悪影響が継続する可能性がある。

当行グループの事業活動は、顧客から要求される銀行取引、資金調達及び金融サービスの水準に依存している。特に、借入れの水準は、顧客の信用、雇用傾向、経済情勢及び随時の市場金利に大きく依存している。当行グループの業績は、ノルウェーの経済情勢全般により大きく影響され、またこの影響に比べると程度は小さいものの、事業を行うその他の国々の経済情勢及び当行グループの事業にとって重要な特定の経済分野に影響を及ぼす可能性のある世界の経済情勢全般にも影響を受ける。当行グループは現在、事業の大部分をノルウェーにおいて運営しているため、当行グループの業績はノルウェーにおける事業活動の水準及びその周期性に影響され、それらは、上記「*世界の金融市場の混乱及び変動は、当行グループに悪影響を及ぼす可能性がある。*」に記載の世界の金融市場にマイナスの影響を及ぼすものを含む、(例えば、石油価格及びガス価格の変動といった)国内及び国際的な経済的要因及び政治事象に影響される。

2014年度末にかけて石油価格が下落した結果、大幅なノルウェー・クローネ安が進み、信用スプレッドが拡大した。2015年度中、主に供給過剰及び将来の需要の不確実性から石油価格は引続き下落し、ノルウェー・クローネ安がさらに進んだ。主要な産油国は、今後数年間の投資計画を大幅に見直し、顧客の信用は悪影響を受けた。石油投資は、2014年度から2015年度にかけて約15%減少した(出典：ノルウェー中央銀行)。さらに、ノルウェーのGDP成長率は、2014年度の2.3%と比較して下落し、2015年度は1.0%となった(出典：スタティスティクス・ノルウェー)。石油価格の安値及び石油関連投資の減少が継続すると、ノルウェー経済及びDNBグループの顧客にさらなる悪影響を及ぼす可能性がある。これらの状況は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

ノルウェーでは、実質賃金の上昇及び低金利に加え、住宅供給が比較的低水準であったことにより、住宅価格が大幅に上昇した。スタティスティクス・ノルウェーによると、ノルウェーの住宅価格は2007年以降40%を超えて上昇しており、2015年度中は約6%の上昇であった。ノルウェーの一般家庭のレバレッジ(可処分所得に対する債務)比率は、過去10年間で大幅に上昇しており、2015年度末現在は約215%であった(出典：ノルウェー中央銀行)。ノルウェーの住宅価格上昇率は、(オスロ以外の地域においては)次第に下落すると見込まれており、実際の住宅価格は長期的にはある程度下落する可能性がある。住宅価格の調整は、経済情勢の後退及び／又は失業率の上昇と同時に生じると、ノルウェー経済に重大な悪影響を及ぼし、また当行の財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

欧州への移民の大量流入及びその結果として欧州諸国の間で貿易又は移民に対する障壁が高くなる可能性が生じることにより、かかる地域の成長がマイナスの影響を受ける可能性もある。

ノルウェーの失業率は、欧州において記録的な低水準であった。2008年12月31日現在のノルウェーの失業率は、2.9%であった(労働力調査に基づく。出典：スタティスティクス・ノルウェー及びノルウェー中央銀行)。しかし、失業率は過去数年にわたり上昇しており、今後数年間もさらに上昇が見込まれる。2015年度末現在、失業率は4.5%であった(労働力調査に基づく。出典：スタティスティクス・ノルウェー及びノルウェー中央銀行)。失業率の上昇といった労働市場の動向は、石油業界の活動の低下及びノルウェー経済の成長の弱まりを反映している。

上記のような経済動向の悪化に加え、特に欧州諸国における市場の混乱及び経済情勢の後退は、当行グループの事業に多くの点で影響を及ぼし、かかる動向は、特に当行グループの顧客の収益、財産、流動性、事業及び／又は財政状態に引続き影響を及ぼす可能性があり、その結果、今度は当行グループの貸出金ポートフォリオの信用の質が低下し、当行グループの金融商品及び金融サービスへの需要がさらに減少する可能性がある。さらに、市場の混乱が継続し、経済情勢が後退しかつ消費者支出の減少を伴って失業率が上昇する状況において、当行グループの担保付貸出金を担保する資産の価値が大幅に下落し、減損が増加する可能性がある。「*―当行グループは、貸出金ポートフォリオの質が著しく悪化するリスクにさらされており、減損が生じる可能性がある。*」を参照のこと。

上記の状況のいずれか又はすべてが、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性があり、当行グループが実施する措置が信用リスク、市場リスク及び流動性リスクの低減のために十分でない可能性がある。

当行グループの貸出金ポートフォリオに関するリスク

当行グループの事業は、信用リスクの影響を大きく受ける。

当行グループは、信用リスク、すなわち当行グループの借手及びその他の相手方当事者が支払義務を履行できないリスクにさらされている。当行グループの借手若しくは相手方当事者の信用の質の悪化、若しくはノルウェー、米国、欧州若しくは世界の経済情勢全般の悪化又は世界の金融システムのシステミック・リスクに起因する悪化は、当行グループの資産の復元可能性及び価値に影響を及ぼし、当行グループの減損の増加が必要となる可能性がある。当行グループの信用リスクの大幅な高まりは、当行グループの経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、貸出金ポートフォリオの質が著しく悪化するリスクにさらされており、減損が生じる可能性がある。

当行グループは、IFRSに基づき貸出金及び保証に係る減損を計上しているが、減損は利用可能な情報、見積り及び仮定に基づいており、不確実なものであるため、損失が発生した際に実際の損失額を網羅するために十分な金額であるという保証はない。2016年3月31日に終了した3ヶ月間における当行グループの減損は、合計1,174百万ノルウェー・クローネであるのに対して2015年度の前記に対応する期間の減損は575百万ノルウェー・クローネであり、また2014年度の減損が1,639百万ノルウェー・クローネであったのに対して2015年度の減損は2,270百万ノルウェー・クローネであった。当行グループの借手及び相手方当事者の信用の質の悪化又は担保価値の減少により、個別減損及び／又は集合的減損の増加が必要となる可能性があり、その結果当行グループの業績が悪化する可能性がある。

当行グループの法人顧客に対するエクスポージャーは、特に当行グループの市場における現在の経済情勢における信用の質の悪化にさらされている。さらに、実際の貸倒損失及びその他の約定に係る損失は、景気循環にわたり変化する。例えば、当行グループが事業を行う市場の経済の一部が過去3年にわたり悪化しており、これらの市場の一部の借手及び相手方当事者に関連する信用リスクは増大している。当行グループの減損規模又は減損でカバーされない貸出金及び保証の償却の大幅な増加は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

石油関連のエクスポージャー

2016年3月31日現在、当行グループの石油、ガス及びオフショアのポートフォリオは、デフォルト時エクスポージャー合計の8%に相当していた。2014年度下半期以降の大幅な石油価格の下落により、このポートフォリオに関連するリスクが高まっている。深海掘削の日量平均は、それ以降下落しており、掘削利用も同様である。全体的な市場のバランスが、今後数年間改善されないリスクがある。掘削活動の低下は、OSV(海洋補給船)への需要の減少にもつながり、係船中の船団が増加している。2016年度第1四半期において、DNBは掘削ポートフォリオ及びOSVポートフォリオ内で大幅なリスクの増加を計上した。石油価格の下落は、引続き石油関連業界に影響を与え、この業界で事業を行う企業のキャッシュ・フローに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。これにより、石油、ガス及びオフショアの企業の収益性、また結果的にそれらの各企業の信用の質に重大な影響を与え、貸出金ポートフォリオについて当行グループの損失に係る減損の大幅な増加につながる可能性がある。

海運業界

2016年3月31日現在、海運業界の顧客向貸出金は、デフォルト時エクスポージャー合計の6%に相当していた。当行グループは、海運業界に対する主要な与信の供給者である。海運業界は、特に国際貿易の成長が推進力である。世界経済の後退は国際貿易にマイナスの影響を及ぼし、その結果海運業界の貨物量及び船舶運賃が大幅に減少し、またこれに付随する海運業界の事業収益も大幅に減少した。タンカー業界、ドライ・バルク業界及びコンテナ業界は、特に影響を受けた。当行グループの海運業界に関する内部の与信分析は、低水準の予想運賃の見積りに基づいているが、近年、船舶運賃は著しい下落圧力を示しており、DNBの海運業界に対する実際の運賃は今までになく不安定で、予想を下回る可能性がある。海運、オフショア及びロジスティクス部門の個別減損は、2011年度の160百万ノルウェー・クローネから2012年度には943百万ノルウェー・クローネへと増加した。一部の減損は、その後数年で戻し入れられたが、経済情勢の悪化が引続き海運業界に影響を及ぼし、その結果この業界で事業を行う企業のキャッシュ・フロー並びに船舶価値及びこの業界内で貸手に提供される与信の担保となるその他の資産の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。これらの悪影響のいずれかが、海運企業の収益性、また結果的にそれぞれの信用の質に重大な影響を及ぼし、貸出金ポートフォリオについて当行グループが計上する減損及び損失の大幅な増加につながる可能性がある。

不動産市場

当行グループは、リテール市場及び法人市場の双方に抵当貸付を提供している。2015年12月31日現在、当行グループの(商業用)不動産における貸出金及び債権は、196.3十億ノルウェー・クローネとなった。さらに、その大半が住宅ローン貸付である個人向貸出金及び債権は、2015年12月31日現在で724.1十億ノルウェー・クローネとなった。したがって、不動産価値の下落は、より広範な経済動向、与信の利用可能性の減少又はその他の要因によるものであるか否かを問わず、これらの貸出金のための担保価値を大幅に減少させ、経済情勢の後退及び／又は失業率の上昇が伴った場合、当行グループの不動産貸付の質に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。その結果、この部門において貸出金ポートフォリオについて当行グループが計上する減損が大幅に増加する可能性がある。

一部の部門に対するエクスポージャーに加え、当行グループは、個々の事業体に対しても多額の信用エクスポージャーを有している。これらの事業体の一つ又は複数について、事業又は事業環境が悪化し、当行グループの貸出金又は保証が減損した場合、当行グループの経営成績に重大な影響を及ぼす可能性がある。

相手方当事者の債務不履行が、当行グループに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、ブローカー及びディーラー、銀行、投資銀行、ファンド並びにその他の機関顧客及び法人顧客を含む金融サービス業界の相手方当事者と日常的に取引を行っている。これらの取引の多くにより、当行グループは、外国為替、金利、コモディティ、株式又は信用デリバティブ契約において、当行グループが相手方当事者に対し未決済の債権を有している場合、相手方当事者が満期到来前に債務不履行に陥るリスクにさらされている。外国為替市場及びフィックス・インカム市場が2007年以降不安定であるため、世界的な金融及び経済危機の前の期間と比較して、このリスクは高水準にとどまっている。このカウンターパーティ・リスクは、当行グループが保有する担保が現金化できないか、又はカウンターパーティ・エクスポージャーの全額を回収するのに不十分な価格でしか清算できない場合にも、悪化する可能性がある。前述のいずれの要因も、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。外国為替レート及びデリバティブ契約を含む金融商品の取引の結果、当行グループは決済リスク及び送金リスクにもさらされている。決済リスクは、相手方当事者の債務不履行により、又は当行グループが取消不能の元本若しくは有価証券の移転指示を出した後かつ対応する支払い若しくは有価証券の受取りが最終的に確認される前に、金融取引契約の元本を失うリスクである。送金リスクは、借手の居住国以外の国からの送金が、当該国の経済情勢及び政治情勢の変化の影響を受けていることに起因するリスクである。

当行グループは、部門別及び個人の借手の与信集中リスクにさらされている。

当行グループは、一部の部門に対し多額の信用エクスポージャーを有している。その最大部門は住宅ローンで、2016年3月31日現在、デフォルト時エクスポージャー合計の44%に相当する。次いでこれより小さな程度ではあるものの、商業用不動産が信用エクスポージャー合計の11%、石油、ガス及びオフショアが信用エクスポージャー合計の8%、海運がエクスポージャー合計の6%に相当した。これらの部門のいずれかの事業状況又は経営状況が悪化した場合に、当行グループの資産の質及び経営成績、財政状態又は見通しに重大な影響を及ぼす可能性がある。2016年度第1四半期の財務報告において、当行は石油、ガス及びオフショアのポートフォリオについて、特に掘削及びOSV(油田補給船)に関する借手の信用プロファイルの大幅な悪化を示し、今後数年間の減損を増加させた。

さらに、当行グループは、一部の個人の借手に対し多額の信用エクスポージャーを有している。これらのうちいずれかの借手の事業状況又は経営状況が悪化した場合に、当行グループの経営成績に重大な影響を及ぼす可能性がある。

市場エクスポージャーに関するリスク

当行グループの事業は、金利のボラティリティ、並びに当行グループの貸出金スプレッド及び預金スプレッドに影響する競争環境の変化の影響を受ける。

当行グループは、金利の変動等、銀行業務に特有のリスクにさらされている。金利水準、イールド・カーブ及びスプレッドの変動は、当行グループの貸出金スプレッド及び預金スプレッドに影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、預金に対して支払う金利又はホールセールに係る資金調達コストと、顧客向貸出金及びその他の銀行向けの貸出金に課す金利との間のスプレッドの変動にさらされている。当行グループが預金に対して支払う金利並びに顧客向貸出金及び金融機関向貸出金に課す金利はいずれも、主として変動金利であるか又は変動金利にスワップされるものであるが、当行グループは、その変動金利資産及び負債について金利改定を同時に行うことができず、短期又は長期的に金利改定ギャップが生じるリスクがある。いくつかの預金の適用金利はほぼゼロであるため、将来において、顧客向貸出金の金利低下分の全部又は一部を、預金の金利を同様に引き下げることにより相殺することができない可能性がある。

また、当行グループは顧客預金に関して競争の激化にさらされており、現行の低金利環境も当行グループの預金スプレッドに圧力をかけている。当行グループは、その有利子資産の金利低下に見合う水準へ、(預金に関するか又はホールセール資金調達に関するかを問わず)資金調達コストを削減することができない可能性がある。

金利は、政府及び中央銀行の財政政策及び金融政策並びに国内外の政治情勢等、当行グループの支配の及ばない様々な要因の影響を受ける。金利が上昇した場合、信用への需要が減少し、また当行グループの顧客の債務不履行が増加する可能性がある。逆に、金利水準が低下した場合、当行グループは、とりわけ、預金需要の減少並びに預金受入及び顧客向貸出金における競争の激化により、悪影響を受ける可能性がある。これらの要因に起因して、金利の大幅な変動又はボラティリティは、当行グループの事業、財政状態又は経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、これらの市場リスク及びその他の市場リスクを緩和し、管理するリスクマネジメント手法を導入しており、エクスポージャーは常に測定及び監視されている。しかし、経済情勢及び市場環境の変動を予測すること、並びにかかる変動が当行グループの業績及び経営成績に対して与え得る影響について予想することは困難である。当行グループは、金利リスクに対するエクスポージャーを軽減する目的でヘッジ取引を行っているが、すべてのリスクに対するエクスポージャーをヘッジするものではないため、そのヘッジ戦略が成功裡に遂行されるという保証はない。当行グループが預金に対して支払う金利を、貸出金について受け取る市場金利の変動に合わせて調整することができない場合、又は当行グループの監視手続により金利リスクを適切に管理することができない場合、受取利息はあまり増加しないか又は支払利息を下回る可能性があり、その場合、当行グループの経営成績及び財政状態又は見通しに悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、為替リスク及び当行グループが事業を行う通貨の切下げ又は下落のリスクにさらされている。

為替レート(特にノルウェー・クローネ/米ドル間及びノルウェー・クローネ/ユーロ間)の変動は、外貨建ての資産及び負債の評価額に影響し、また、外国為替貸出金及び取引による収入に影響を及ぼす可能性がある。2014年度末にかけて、また2015年度においても石油価格が著しく下落した結果、ノルウェー・クローネは、米ドル、ユーロ及び他通貨に対して大幅安となった。ノルウェー・クローネの対米ドル平均レートは、2013年度において1米ドル＝5.8768ノルウェー・クローネであったが、2015年度には1米ドル＝8.0739ノルウェー・クローネに上昇した(出典：中央銀行)。ノルウェー・クローネの対ユーロ平均レートは、2013年度において1ユーロ＝7.8087ノルウェー・クローネ、2015年度において1ユーロ＝8.9530ノルウェー・クローネであった(出典：中央銀行)。当行グループの報告通貨は、ノルウェー・クローネである。しかし、その資産及び負債の大部分は、ノルウェー・クローネ以外の通貨建てであるため、換算リスクが生じる。貸出金の大半はノルウェー・クローネ建てであるが、外貨建て貸出金(主に米ドル建て、ユーロ建て及びスウェーデン・クローナ建て)は、2016年3月31日現在、当行グループの貸出金ポートフォリオ全体の31%を占めた。ノルウェー・クローネ以外の通貨による海外支店及び子会社の貸借対照表項目(貨幣性資産及び負債を含む。)については、貸借対照表日の実勢為替レートでノルウェー・クローネに換算され、損益項目については、取引日の為替レートで換算される。為替レートの変動により生じる純資産の変動は、損益計算書において認識される。当行グループが事業を行う(又は信用エクスポージャーを有する)他通貨の切下げ又は下落により、当行グループは多額の損失を被る可能性がある。さらに、顧客向貸出金が他通貨による場合、当該他通貨に対するノルウェー・クローネの下落により、当行グループの貸出金ポートフォリオは増加し、その結果、リスク加重資産が増加し、自己資本比率に悪影響が及ぶ可能性がある。かかる換算リスクを軽減する目的で、当行グループは、資産の通貨とその調達源泉である負債の通貨をマッチングさせることにより、為替リスクのヘッジを図っている。しかし、かかるヘッジ活動の全部又は一部が有効となるという保証はなく、ヘッジ・カウンターパーティは信用リスクにさらされている。

当行グループは、市場価格リスクにさらされている。

市場リスクには、通常のトレーディング活動により生じるリスク並びに銀行業務及びその他の営業活動により生じるリスクの両方が含まれる。当行のトレーディング活動には、主にマーケット・メイキング、企業金融の促進及び自己勘定取引が含まれる。銀行業務における市場リスクは、株式投資の運用に関連するリスク及びグループ・トレジャリーから生じるリスクに大別することができる。グループ・トレジャリーは、資金調達活動、流動性管理及び資産負債管理から生じる市場リスクの管理を担っている。最も重要な市場リスク要因は、金利リスク、債券ポートフォリオにおいて生じる信用スプレッド・リスク、及び外貨での資金調達に関連する為替リスクのヘッジにより生じるベーシス・スワップ・スプレッド・リスクである。当行グループが保有する金融商品(債券(国債、社債及び担保付債券)、株式、各種通貨による現金、プライベート・エクイティ・ファンド、ヘッジ・ファンド及びクレジット・ファンドへの投資、コモディティ並びにデリバティブ(クレジット・デリバティブを含む。)等)の公正価値は、様々な市場変数(金利、信用スプレッド、株価及び為替レート等)のボラティリティ及び相関関係の影響を受ける。変動の激しい市況が持続するか又は繰り返される限り、当行グループの債券ポートフォリオ、デリバティブ・ポートフォリオ及びストラクチャード・クレジット・ポートフォリオ並びに他の種類の資産の公正価値は、予想を超えて下落する可能性があり、その結果として、当行グループは時価評価損を計上することとなる。当行グループが時価評価損の計上又は見積りを既に行った資産について、将来においてその時点の実勢市況を反映した評価が行われた場合、当該資産の公正価値は著しく変動する可能性がある。また、特定の金融商品は公正価値で計上されるが、かかる公正価値は、不確実性が内在する仮定、判断及び見積りを盛り込んだ財務モデルを用いて決定され、時の経過とともに変動するか又は最終的に不正確となる可能性がある。これらの要因が生じた場合、当行グループは追加で時価評価損を認識しなければならない可能性があり、その場合、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。また、当行グループのトレーディング収益及び投資収益が金融市場の業績に大きく左右されることから、変動の激しい市況によって、当行グループのトレーディング収益及び投資収益が著しく減少するか又はトレーディング損失が生じる可能性があり、その結果、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に悪影響が及ぶ可能性がある。

また、特定の資産クラスについて流動性を欠く市況が続いたため、当行グループのエクスポージャーの一部については公正価値を見積ることが困難であった。将来においてその時点の実勢市況を反映した評価が行われた場合、当行グループのエクスポージャーの公正価値は著しく変動する可能性があり、当行グループが評価損を既に計上した信用市場エクスポージャー等のエクスポージャーについても同様である。さらに、金融商品の価値は、見積り、仮定及び入手可能な情報に基づいているため、不確実性を伴う。その結果、公正価値の見積りは、他の金融機関による見積り及び当該資産について容易に利用可能な市場が存在していたならば使用されたと想定される価値の両方と大きく乖離する可能性がある。したがって、当行グループが最終的に実現する価値は、現行の公正価値又は見積公正価値と大きく乖離する可能性がある。かかる乖離により、当行グループの財政状態及び/又は流動性に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、その資産の一部について市場原理による価格設定のボラティリティに対するエクスポージャーを軽減する目的で、長期借入金に係る金利リスクを管理するために公正価値ヘッジを行う。混乱した市場においては、ヘッジ・カウンターパーティ(クレジット・デリバティブ商品会社等)の信用力の低下も一因となって、ヘッジ戦略及びその他のリスク管理戦略は通常の市況における場合ほど有効ではないことが証明されている。景気及び金融市場の状況の悪化が続いた場合、減損損失及び追加の評価減が生じる可能性があり、また、金融商品について流動性を欠く市況は、スプレッドを拡大させ、金融商品の価格設定に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、当行グループがさらされているこれらの市場リスク及びその他の市場リスクを緩和し、管理するリスクマネジメント手法を導入しており、エクスポージャーは常に測定及び監視されている。しかし、経済情勢及び市場環境の変動を予測すること、並びにかかる変動が当行グループの業績及び事業運営に対して与え得る影響について予想することは困難である。

流動性及び資金調達に関するリスク

流動性リスクは、当行グループの事業に内在している。かかるリスクは、世界の金融市場の現況により高まる。

当行グループは、その債務を期日に履行するにあたり、許容可能な条件で十分な流動性を確保することに依存している。この流動性リスクは、銀行業務に特有のものであり、特定の資金調達源(例えば、短期資金調達及び翌日返済資金調達等)への過度の依存を含む、いくつかの企業固有の要因、信用格付の変更又は市場全体の現象(市場の混乱及び大規模災害等)により高まることがある。

当行グループは、その貸出業務を遂行するにあたり、十分な資金調達の確保に依存している。当行の資金調達所要額は、大半の商業銀行と同様に、主として顧客預金により賄われている。2016年3月31日現在、DNBボーリ・クレジットの有する貸出金のすべてがカバード・ボンドにより賄われていることを反映して、当行単体の預貸率は、125.5%であった。預金は、当行グループの支配の及ばない一定の要因(例えば、競争圧力、顧客の信用の喪失、景気全般、金融サービス業界又は特に当行グループに関する預金者の懸念、格付の格下げ、経済情勢のさらなる悪化、並びに預金保証(ノルウェー法において、現行では、2百万ノルウェー・クローネを上限として預金に適用されているが、2018年度末までに100,000ユーロに引き下げられる。)の存在及び範囲)により増減する。これらの要因が単独で又組み合わさって生じた場合、将来において許容可能な条件で顧客預金による資金調達を確保する当行グループの能力が低下し、短期間での継続的な預金流出を生じさせる可能性がある(いずれも、当行グループが事業資金を調達しかつ流動性の最低所要額を満たすことができるか否かに影響することがある。)。さらに、当行グループの財政状態に対する不安により預金が引き出される可能性があり、その場合、当行グループは資金不足に陥る。

当行グループの流動性所要額及び資金調達所要額の大部分は、ホールセール貸出市場を継続的に利用すること(カバード・ボンド等の長期債券市場商品の発行を含む。)により賄われている。特に長期の資金調達に関して、これらの資金調達源は、流動性の減少時に制限されることがある。また、金融機関がより大きな流動性リスクに直面しているとの認識が市場参加者間で生じた場合も、当該金融機関に重大な損害が及ぶ可能性がある。

当行グループがその資産を売却又は投資を回収することができない場合、その他現金が流出した場合又はその担保価値が下落した場合にも、当行グループの流動性が損なわれる可能性がある。これらの状況は、当行グループの支配の及ばない状況(例えば、市場全般の混乱の継続、金融市場における信用喪失、市場参加者の支払能力に関する不安及び憶測、信用格付の格下げ、又は第三者に影響する業務上の問題)に起因して生じることがある。当行グループは流動性リスクの管理に莫大な労力を費やし、短期的には流動性余剰の維持に取り組んでいるものの、当行グループは、流動性不足の一般的なリスクにさらされており、かかるリスクを管理するために実施している手続が流動性リスクの解消に適していると保証することはできない。世界の金融市場及び経済に混乱が生じた場合、当行グループの流動性、並びに特定の取引先及び顧客の当行グループと取引を行う意欲に悪影響が及ぶ可能性があり、さらに、当行グループが想定外の資金調達源の減少又は変動を予測できず、また、それに備えることができない場合、当行グループの事業、経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループの資金調達コスト及び債券発行市場へのアクセスは、信用格付に大きく左右される。

当行グループの信用格付は、当行グループの事業において重要なものである。本書の日付現在、当行は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(以下「ムーディーズ」という。)から「Aa2」、スタンダード＆プアーズから「A+」及びドミニオン・ボンド・レーティング・サービス(以下「DBRS」という。)から「AA(下位)」の格付を付与されている。ムーディーズ及びスタンダード＆プアーズからの格付はネガティブな見通しを示しているが、DBRSからの格付は安定的な見通しを示している。2016年3月、見通しがネガティブに変更されたのと同時に、当行の無担保優先債務の格付は、ムーディーズにより1段階引き上げられた。ネガティブな見通しは、低い石油価格及び石油投資の減少に起因するノルウェーの景気減速は時間とともに当行の業績に悪影響を及ぼすであろうとのムーディーズの予想を反映している。ムーディーズは、これが利益に悪影響を及ぼし、また、オフショア、海運及び商業用不動産に関連するエクスポージャーの信用力を低下させるものであると予想している。さらに、ムーディーズは、油田サービス及びオフショアに対する当行のエクスポージャーについて、短中期的に損失が増大すると予想している。スタンダード＆プアーズによるネガティブな見通しは、ノルウェーの銀行部門に影響している消極的な景気動向に関するスタンダード＆プアーズの見解を反映している。スタンダード＆プアーズの見解では、ノルウェーの住宅ローンの市場シェアに関する国内競争が資産価格及び家計債務のさらなる上昇を支え、経済にとってはリスクを増大させる。さらに、消費者の信用が潜在的に揺らいだ場合、企業投資が減少し、雇用が低下し、資産の質が悪化する可能性がある。また、当行グループの事業は、当行の子会社であるDNBボーリ・クレジット・エイ・エス(以下「ボーリ・クレジット」という。)の信用格付によっても大きく左右される。2016年3月31日現在、ボーリ・クレジットの発行済カバード・ボンドは、ムーディーズから「Aaa」及びスタンダード＆プアーズから「AAA」の格付を付与された。当行グループ若しくはボーリ・クレジットの財政状態又はムーディーズ及びスタンダード＆プアーズ並びにその他の関連する格付機関が使用する格付方法の変化により、格付機関が当行又は当行若しくはボーリ・クレジットの債券(プログラム及びプログラムに基づき発行される本社債を含む。)の格付を格下げしないという保証はない。格付機関による当行グループ又はボーリ・クレジットの評価は、金融サービス業一般に影響を与える事象等、当行グループ又はボーリ・クレジットが完全には管理できない多数の要因にも基づいている可能性がある。当行又は当行若しくはボーリ・クレジットの債券の格付の格下げは、当行グループの流動性及び競争上の地位に悪影響を及ぼし、当行グループに対する信頼を揺るがし、当行グループの借入費用を増加させ、当行グループの資本市場へのアクセスを制限し、また、当行グループとの取引を行う意思のある取引先の範囲を限定する可能性がある。かかる事態は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループの事業に関するその他のリスク

当行グループの成功は、顧客基盤をいかに維持できるかに左右される。

当行グループの成功は、いかに顧客基盤を維持し、またいかに顧客が質の高い競争力のある多様な商品(かかる商品は顧客が利用可能なチャネルを通じて販売される。)、及び一貫してレベルの高いサービスを顧客に提供できるかに左右される。当行グループは、業種により異なる様々なニーズへの対応の質を高めるため、ほとんど利用されていない支店を閉鎖する一方で、支店網のセグメント化、特にマーケティング及び販売のネットワークを通じた当グループの子会社の商品及びサービスのクロス販売並びにデジタル上の販売チャネルへの投資により、かかる目的の達成を目指してきた。当行グループが顧客基盤を維持できず又は当行グループの顧客に広範な質の高い競争力のある商品若しくは一貫してレベルの高いサービスを提供できない場合には、当行グループの経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、システミック・リスクにさらされている。

金融機関の間では相互依存の度合いが高いことを考慮すると、当行グループは、他の金融機関の経営及び財務の健全性、すなわち認識可能な健全性の低下のリスクにさらされており、また、さらされ続ける。金融サービス業界では、1社のデフォルトが、他社のデフォルトに繋がりかねない。多数の金融機関の経営及び財務の健全性は、信用、取引、決済又は他の関係性により、密接な関連性を有する可能性があるため、1社についての懸念又はそのデフォルトは、他社の重大な流動性に関する問題、損失又はデフォルトに繋がりかねないのである。取引先の信用度が足りないことが認識されたか、又は取引先について懸念がある場合でさえ、当行グループ又は他の機関の市場規模の流動性に関する問題及び損失又はデフォルトが生じる可能性がある。かかるリスクは、「システミック・リスク」と称されることがあり、日常的に当行グループと関わりのある決済機関、手形交換所、銀行、証券会社及び取引所等の金融仲介機関に悪影響を及ぼす可能性がある。システミック・リスクは、当行グループが新規に資金調達を行う能力、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び／又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、オペレーショナル・リスク(ネットワーク障害並びにその他のリスク管理及び内部統制手続の不備又は不完全性を含む。)にさらされる。

当行グループの事業は、いかに極めて大量の取引を効率良く正確に処理できるかに左右される。業務は、多数の事業体及びインターネット・バンキング・プラットフォームを通じて、遂行される。金銭的損害、風評被害、費用並びに財務上の損失及び／又は減損(直接間接を問わない。)を含むオペレーショナル・リスク及び損失は、詐欺又はその他の犯罪行為、従業員による過失、外部に委託したサービスの不履行、顧客、ベンダー、下請業者、提携関係にある会社及びその他の第三者との間の取引若しくは契約に関して適切に文書化できなかったこと、又は適切な承認を取得若しくは維持できなかったこと、適切な認可の取得又は維持ができなかったこと、顧客からの苦情、規制上の要件（マネー・ロンダリング禁止、データ処理及び反トラストに関する規制、又は業務規則の遂行を含むが、これらに限られない。)を遵守できなかったこと、設備の不備、当行グループの資産(知的財産権及び担保を含む。)を保全できなかったこと、身体及び安全を保護できなかったこと、天災又は外部システム(当行グループのサプライヤー又は取引先のシステムを含む。)の欠陥、当行グループに課された義務の履行懈怠(契約に基づく義務か否かを問わない。)といった内部プロセス、システム(情報技術システム等)又は外部から取得した免許の不完全性又は欠陥といった多様な事由に起因しうる。特に、当行グループ及び顧客は、近年多数の深刻なネットワーク上の問題の影響を受けており、また今後も受け続ける可能性があるが、この問題は当行グループのインターネット・バンキング及び現金払出機の特定の機能に影響を与え、これにより、インターネット・サービスの障害が生じている。

当行グループは、リスク管理及び損失軽減予防を実施し、相当量の資源が効率的な手続の開発及び従業員研修に投入されたものの、オペレーショナル・リスクの管理において十分に効率的な手続を実施することは可能ではない。当行グループが利用するリスク軽減措置の中には過去の情報に基づくものがあり、当行グループの現行方針は、グローバルな金融危機又はその他の予測不能な状況による影響のすべてに対して包括的には対処できない可能性がある。したがって、将来の展開はこれまでに見られた展開と著しく異なる可能性があるため、かかる手続は将来のリスク・エクスポージャーの予測において不十分であるというリスクが存する。さらに、リスク管理手法は、予測、仮定及び正確でない又は更新されていない可能性のある入手可能な情報に依存する可能性がある。当行グループのオペレーショナル・リスクの管理及び統制方針を首尾よく実施できなかった場合、当行グループの財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、情報技術システム(かかるシステムは、正常に機能しない可能性があるか、職務に適しない可能性があるか、又はもはや利用できない可能性がある。)にますます左右される。

銀行及びそれらの事業活動は、高性能の情報通信技術(以下「ICT」という。)システムにますます依存するようになってきており、かかるシステムは、インターネット・ウェブサイト並びにスマートフォンの新アプリケーションの開発及び利用に対する依存度を増してきている。ICTシステムは、ソフトウェア又はハードウェアの機能不全、悪質なハッキング、きわめて重要なICTセンターへの物理的損傷及びコンピュータ・ウイルスといった多くの問題に対して脆弱である。一貫性のあるICTアーキテクチャの構築を目的として、当行グループ全体でICTシステムの整合性を図ることが、重大な課題として課されている。

ICTシステムは、変わりゆく事業及び規制要求のニーズを満たし、また、新規市場への参入の可能性、並びに情報通信技術のより一層の利用、開発及びこれへの依存により幅広く対応するため、定期的にアップグレードすることが必要である。当行グループは、適時に必要なアップグレードを実行できない可能性があり、また、アップグレードは計画どおりに機能しない可能性がある。ICTシステムのアップグレードに一般的にかかる費用及びICTシステムの不備又はICTシステムのアップグレードに関連する技術的問題を解決できないことにより発生する可能性がある費用に加えて、当行グループが、ICTシステムのために、適用される銀行業又は報告に関する規則(データ保護に関する規則を含む。)を遵守できなかった場合、銀行規制当局から罰金を課されることもあり得る。

当行グループは、業務目的のバックアップ・システムを維持しているが、そのうちの一つは敷地外のノルウェーに存在する。しかしながら、当行グループが、例えば、ノルウェー国内業務について直近の入力済データの一部を消失するか又は海外業務について大部分を超える部分のデータを消失するといった、情報システムに不備が生じた結果として大惨事となるような事態は限定的である。

当行グループは、ICTシステムの維持及び運用に関して、契約に基づく外注に頼っている。万一、これらの外注先が当該外注契約に基づく義務を履行する意思がないか、又は履行できなかった場合、当行グループは、ICTシステムの重要な機能の危機に直面する。特に、当行グループ及び顧客は、ネットワーク上の問題(かかる問題は、第三者である外注先に関連があり、また、当行グループのインターネット・バンキング及び現金払出機の機能のいくつかに影響を与えており、又は将来影響を与えかねないが、かかる影響のためサービス障害が引き起こされる。)の影響を受けており、また、将来影響を受けることとなる可能性がある。当行グループのICTシステムに対する重大な障害は、上記事態又はその他の事態のいずれに基づくにせよ、当行グループの事業の通常業務、ひいては財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

サイバー犯罪

すべての主要金融機関と同様、当行グループの業務は、トロイの木馬型及びサービス拒否攻撃型のICT犯罪のリスクの増加にさらされており、また、さらされ続けることが予測され、その性質は今なお複雑化し続けている。サイバーセキュリティー・リスクは、当行グループのインターネット・バンクユーザーに最も関係あるものであり、これには部外秘の慎重に扱うべき顧客情報(インターネット・バンキングの資格審査並びに口座及びクレジットカードの情報を含む。)に対して権限なくアクセスが行われる可能性が含まれる。当行グループは、サイバー攻撃からの脅威に対処するために、投資を行っている。しかしながら、かかる投資の一部若しくは全部が成功するか、又は多額の追加費用を要しないという保証はない。当行グループは、セキュリティ上の侵害や、システム及びサービスの想定外の混乱を将来経験する可能性があり、これにより今度は当行グループ、顧客及び／又は第三者に負債又は損失を負わせ、また、当行グループの事業、評判及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、ノルウェーの国外市場における事業により、多様なリスクにさらされる。

当行グループのノルウェーの国外市場(ポーランド、バルト海沿岸諸国、インド及び中国等)での事業は、様々な新興国市場のリスク(ノルウェーの国内市場における事業への適用されないか、適用されるとしても低い程度で適用される。)を生じさせている。特に、当行グループは、経済リスク及び政治リスク(政情不安、モラトリアム、為替管理の実施、特定国への制裁、収用、国有化、現契約の再交渉又は解除、ソブリン・デフォルト及び法律又は租税政策の変更だけでなく、経済変動、一時的景気後退、インフレ圧力、為替変動リスク及び事業の中断を含む。)の増加という問題を抱えている。

当行グループが事業を行うノルウェー及び海外の市場における競争が、当行グループの事業にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、当行グループが事業を行っているノルウェーの国内市場及び海外市場の両方で、すべての業務分野(とりわけ、コーポレート・バンキング及びパーソナル・バンキング、投資銀行及び不動産仲介業務を含む。)において、熾烈な競争に直面している。顧客向け貸付及び預金に関する競争は、顧客による需要、技術進歩、銀行業界における再編の影響、規制措置及びその他の要因により影響を受けている。当行グループの競合他社は、主に商業銀行及び投資銀行である。金融危機が再び起きれば、かかる危機の間、多くの中央政府は、様々な形での支援をその法域で設立された銀行に提供しようと努力するため、さらなる競争上の課題を生じかねない。政府支援及び該当する銀行の財務力のレベルに応じて、かかる支援は、これらの銀行の競争力を強化し、また、当行グループが直面する競争を激化させることがある。ノルウェーの大手銀行が関わった合併買収により、市場シェアの著しい集中が生じており、この傾向は今後も継続する可能性がある。競争は、インターネット・バンキング及び携帯によるテレフォン・バンキング等の販売チャネルのさらなる出現により、より一層激しさを増している。仮に当行グループが競合力のある商品及びサービスを提供できない場合には、当行グループは、新規顧客を開拓し、かつ／又は既存顧客を引き留め、利息収入並びに手数料収入及び／又は市場シェアの減少を経験する可能性があり、このうちの一つでも起きた場合、事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、自らが事業を行っている市場において競争力を持ち続けることのできる確固たる地位を築いたと考えているが、当行グループが今後も引続き競争力を持ち続けることができるという保証はない。

当行グループは、有能な上級経営陣又はその他の重要な従業員を惹きつけ、又は引き留めることができない可能性がある。

当行グループの業績は、相当程度まで、高度な特殊技能を持つ個人の資質及び努力に左右され、また、当行グループが継続的に、競争で優位に立ち、かつ、戦略を遂行できるかは、当行グループが、新入社員を惹きつけ、また、現従業員を引き留め、かつ、その士気を高められるかに左右される。重要な従業員が関わる金融サービス業以外の事業だけでなく、他の金融機関を含む金融サービス業内の競争は、熾烈を極めている。(特に競合先への移籍により)重要な従業員による役務の提供がなくなるか、又は将来高度な特殊技能を持つ人材を惹きつけ、引き留めることができないか、又は当行グループの経営上の失策(それを認識しているか否かを問わない。)による上級経営陣の刷新の必要性が存在することは、当行グループの事業に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を行う法律環境及び規制環境に関するリスク

金融サービス業界は自己資本規制を含む厳しい規制に服しており、規制の枠組みに対し主要な変更が加えられている。

当行グループの事業は、現行の規制及びこれに関連するリスクによる影響を受ける。当行グループは、ノルウェー及び当行グループが事業を行うその他の各法域における金融サービスに関する法令(自己資本規制、事業経営、マネー・ロンダリング防止、支払い、消費者金融、報告及びコーポレート・ガバナンスに関するものを含むがこれらに限られない。)、並びに行政処分及び政策に従っている。当行グループは、その支店及び営業所が所在する、ポーランド及びバルト海沿岸諸国を含む各国の規制当局の監督にも服しているが、ノルウェー金融監督庁が当行グループの主たる監督当局である。

当行グループは、ノルウェーの法令において施行されているバーゼルIII規制(バーゼルⅠの資本フロアに係る移行ルールを含む。)に基づき計算される一定の自己資本比率を維持しなくてはならない。とりわけ貸付先の内部信用格付の引下げ、市場のボラティリティ、信用スプレッドの拡大、為替レートの変動、担保価値の低下又は経済環境のさらなる悪化に起因する当行グループのリスク加重資産の増加は、当行グループの自己資本比率を低下させる潜在的可能性がある。(規制上の資本の枠組みの変更に起因する場合を含め)理由のいかんを問わず、当行グループの自己資本比率が低下するような事態になれば、当行グループは、貸出金若しくは他の事業に対する投資を削減するか、又はより深刻な状況下では追加の資本調達を行わなければならない可能性がある。

金融機関に対する監督及び規制の変更は、特にノルウェーにおいては、当行グループの事業、提供する商品及びサービス又は資産価値に重大な影響を及ぼす可能性がある。規制及び/又は監督の変更若しくは強化が悪影響を及ぼす可能性のある分野には、(ⅰ)投資家の判断に重大な影響を及ぼすか、又は北欧市場及びその他のヨーロッパ市場並びに当行グループが事業を行うその他の市場における事業運営コストを増加させる可能性のある、政府及び規制上の政策若しくは体制に係る全般的な変更、(ⅱ)自己資本規制の枠組みの変更及び負担の重いコンプライアンス義務の強制、(iii)競争環境及び価格環境の変化、(iv)顧客の預金に対する保証の供与及びかかる保証の条件に関する、政府による金融機関の分類、並びに(ⅴ)法的な不確定要因を生じさせ、ひいては当行グループの商品及びサービスに対する需要に影響を及ぼす可能性のある、資産の収用、国有化及び没収並びに外国資本の保有比率に係る法律の改正が含まれるがこれらに限られない。

自己資本規制及び流動性規制

国際的なレベルでは、過去数年間、銀行部門において自己資本要件を引き上げ、資本の量及び質を引き上げ、流動性水準を高めるために、多くの規制及び監督に係る取組みが実施されてきた。かかる取組みには、バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委員会」という。)により提案され、CRD Ⅳ(以下に定義される。)に基づきEUにおいて実施されている多くの具体策がある。

ノルウェーは、EUの自己資本要件に関する規制であるCRR／CRD Ⅳ適用の第一段階として、2013年7月1日付で新たな自己資本規制を導入し、2016年7月1日を期限とする正式な自己資本要件の段階的引上げに取り組んだ。2015年7月1日現在、バッファー要件を含む普通株式等Tier1資本の最低所要比率は、ノルウェー当局がシステム上重要な0-SIIs(その他のシステム上重要な金融機関)として定義した3行の金融機関(当行を含む。)については12%であり、その他の銀行については11%であった。2016年7月1日付で、当該最低所要比率は、0-SIIsについては13.5%に、またその他の銀行については11.5%に引き上げられる予定である。

銀行の自己資本要件は、2つの柱で構成される。第1の柱には、政治上の権限者が決定する最低要件及びバッファー要件が含まれている。ノルウェー金融監督庁の第2の柱に基づく要件は、第1の柱に基づく要件を補完するものであり、第1の柱ではカバーされないか又は一部しかカバーされないリスクに関する金融機関固有の自己資本要件を反映する見込みである。当行、当行グループ及びDNBグループに対する第2の柱に基づく要件は、普通株式の1.5%に設定されている。このため、当行、当行グループ及びDNBグループの普通株式等Tier 1資本比率の合計は、2016年度末現在で15%になる見込みである。当行、当行グループ及びDNBグループは、利益剰余金及び資本効率対策により当該要件を充足する予定である。

当行グループの事業の性質及び外部状況は、常に変化している。その結果として、また、変化する規制情勢に確実に適合できるようにするため、当行グループは、将来的に、貸出金若しくはその他の事業に対する投資の削減又は追加の資金調達により、自己資本比率を引き上げなくてはならない可能性がある。かかる資本は、デット・ファイナンス、ハイブリッド・キャピタル又は追加資本の形であるかを問わず、魅力的な条件で利用可能とはならないか、又は全く利用できない可能性がある。さらに、将来どのような資本に関する規制要件が課されるかを予想すること又は現在提案されている規制の変更が、当行グループが提供する事業、商品及びサービス並びにそれらの資産価値に与える影響を正確に見積ることは困難である。例えば、金融機関の規制強化への取組みの結果、当行グループの企業が追加の引当金の計上、準備金若しくは資本の強化又は特定の事業へのアプローチの終了若しくは変更を求められた場合、当行グループの業績又は財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

また、CRD IVには流動性カバレッジ比率(LCR)に関する要件が含まれる。ノルウェー財務省は、EUが企図した日程に先立ちLCRを導入することを決定した。当行、当行グループ及びDNBグループを含む、ノルウェー国内のシステム上重要な銀行は、2015年12月31日現在、LCR要件を完全に充足することを要求されていた。その結果として、また、当該規則の変更に確実に適合できるようにするため、当行グループは、追加の流動資産を保有しなければならなくなる可能性があり、このことはその業績又は財政状態に悪影響を及ぼす可能性がある。

銀行の清算及び危機管理

2014年7月2日、金融機関及び投資会社の再建と破綻処理のためにEU域内共通の枠組みを構築することを定めた指令2014/59/EU(以下「銀行再建・破綻処理に関する指令」又は「BRRD」という。)が施行された。BRRDは、金融機関の破綻が経済及び金融システムに及ぼす影響を最小化しつつ、金融機関の重要な財務上及び経済上の機能が継続することを確保するため、不健全又は破綻している金融機関に十分に早期かつ迅速に介入するための信頼できる一連の手段を当局に与えることを目的として策定されている。

BRRDは、その規定により、2016年1月1日から適用が求められた一般的ベイルイン・ツール(以下を参照のこと。)を除き、2015年1月1日からEU加盟国への適用が求められていた。ノルウェーは、1994年1月1日に締結された欧州経済領域に関する協定(以下「EEA協定」という。)において実施されるよりも前にBRRDに直接拘束されることはなく、ノルウェーがEEA協定における施行に先立ってEU指令及び規制の採用を目指していても、現時点でノルウェーにおいて具体的な規制案は提案されていない。また、欧州銀行監督機構の超国家的権限に関するBRRD規定の一部が、ノルウェー憲法に抵触するように思われるため、施行にはノルウェー議会の4分の3の承認が必要となる。欧州銀行監督機構の超国家的権限のEEA協定における実施方法の原則について、2014年10月14日にEEA協定加盟国の財務大臣がEU加盟国と合意に達し、EEA委員会によりなされた、EEA協定における一定のEU規制及びEU指令の実施を求める一定の決議、とりわけ欧州銀行監督機構の設立に係る決議(欧州議会及び欧州理事会規則(EU)1093/2010)の実施を求める提案が、2015年4月15日にノルウェー議会の承認を得るために提出された。議会における協議及び決議は2016年6月13日に実施された。さらに、ノルウェーの銀行法制委員会は、2016年秋におけるBRRDの実施及びノルウェーの法律改正に係る検討事項を、ノルウェー政府に対し伝える提示する見込みである。

BRRDには、(a)金融機関が破綻しているか、破綻する可能性があり、(b)民間部門の代替措置がかかる金融機関の破綻を合理的な時間の枠内で防ぐという合理的な見込みがなく、かつ(c)破綻処理が公共の利益になると当該破綻処理当局が判断した場合に、単独で又は組み合わせて使用される以下の4つの破綻処理ツール及び権限が含まれる。

（ｉ）　事業の売却－これにより、破綻処理当局は、商業上の条件で会社又はその事業の全部若しくは一部の売却を指示することができる。

（ii）　承継金融機関－これにより、破綻処理当局は、会社の事業の全部又は一部を(かかる目的のために設立され、完全に又は部分的に公的支配の下にある)「承継金融機関」に移転することができる。

(iii)　資産の分離－これにより、破綻処理当局は、最終的な売却又は秩序だった業務縮小を通じて減損した資産又は問題のある資産の価値を最大化する目的で、1つ又は複数の公営資産運用ビークルに管理を委ねるためかかる資産を移転することができる(これは、他の破綻処理ツールとの併用でのみ使用される。)。

(iv)　ベイルイン－これは、破綻処理当局に、破綻している金融機関の無担保債権者の一定の債権(債券／社債(日本で発行した社債を含む。)(以下「本社債」という。)に係る債権を含む場合がある。)を減額する権限及び／又は本社債を含む一定の無担保債権を資本に転換する権限(以下「一般的ベイルイン・ツール」という。)を付与する。かかる資本もまた、一般的ベイルイン・ツールの将来の適用対象である。

BRRDはまた、上記の破綻処理ツールのみでは財務上の安定性を維持するために不十分である場合、追加の財務安定化ツールを通じて、加盟国が臨時の公的財務支援を提供することができると規定している。これは、パブリックエクイティ・サポート及び一時的な公的所有ツールで構成される。かかる臨時の財務支援は、EU加盟国の救済枠組みに基づき提供されなければならない。

認可継続の要件に違反しているか、近い将来に違反する可能性がある場合、資産が負債を下回っているか、近い将来に下回る可能性がある場合、支払期限が到来する債務が支払えないか、近い将来支払えなくなる可能性がある場合、又は(限られた状況を除き、)臨時の公的財務支援を必要とする場合、金融機関は、破綻しているか、破綻する可能性があると見なされる。

一般的ベイルイン・ツールに加え、BRRDは破綻処理当局に対し、実質的な破綻状態において、他の破綻処理措置が採られる前に、恒久的に本社債等を債務減額し又は資本商品へ転換する追加の権限を付与している(実質的な破綻状態における損失吸収)。かかる資本への転換に際し本社債の所有者に対し発行された株式もまた、一般的ベイルイン・ツール又はBRRDに基づくその他の権限の適用対象である。

実質的な破綻状態における損失吸収措置の適用において、BRRDに基づく実質的な破綻状態とは、金融機関が破綻処理条件を満たしている(が、いかなる破綻処理措置も採られていない)と関係当局が判断した場合、(本社債等の)関連資本商品が債務減額若しくは転換されない限り金融機関が存続できないと関係当局が判断した場合、又は臨時の公的支援が提供される予定であり、かかる支援がなければ金融機関が存続できないと適切な関係当局が判断した場合をいう。

BRRDに規定された権限は、関連金融機関及び投資会社の運営方法並びに特定の状況における債権者の権利に影響を及ぼす。

EUの法律に沿って、ノルウェーにおいてBRRDが実施された場合、本社債の所有者は、一般的ベイルイン・ツールの適用に際し、減額又は株式資本への転換に服する場合があり、結果的に、かかる所有者は本社債に対する投資の全部若しくは一部を失い、かつ／又はかかる所有者の本社債に係る権利及び／若しくは投資価値がその他の重大な悪影響を受ける可能性がある。

また、本社債の市場価格は、ノルウェーにおけるBRRDの実施若しくは実施予定により、及び／又は、かかる実施後、BRRDに基づく当行及び／若しくは本社債に係る権限の現実の若しくは想定される行使により、悪影響を受ける可能性がある。かかる法律に基づき当行若しくはDNBグループに関し取られる措置もまた、当行が本社債に基づく義務を履行する能力に影響を及ぼす可能性がある。

BRRDに基づき、EUの金融機関に対し、破綻している銀行の救済若しくは破綻処理に充当するために、減額若しくはベイルインの対象として利用できるような一定の最低基準の自己資本及びその他の適格債務(以下「MREL」という。)の維持を求める規制も存在する。かかる規制は、EUにおいて2016年1月1日に(経過規則に従い)施行された。ノルウェーはBRRDをまだ実施していないが、将来、かかる規制が当行のようなノルウェーの銀行にどのように適用されるかについては、現在のところ不明確である。

いつ、どのようにBRRDがノルウェーにおいて実施されるのかが不確定的であり、いずれにしてもノルウェー当局がEUの法律よりもより負担の重い規定を採択する可能性もあるため、当行又は本社債に対する潜在的影響を予測するのは困難である。

金融機関に対する監督及び規制の変更又は今後のその他の変更は、当行グループの事業及び運営、流動性、業績並びに財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、規制当局と密接に連携し、規制の枠組み及びコンプライアンスを継続的に監視しているが、今後の規制の変更の時期及び態様は予測不可能であり、当行グループには管理できない事項である。法令法規が、当行グループの事業、財政状態、業績、流動性及び／又は見通しに重大な悪影響を及ぼさないような形で採択、施行又は解釈されるという保証はない。

また、債券及び株式への投資家、アナリスト及びその他の市場の専門家が、より高い資本バッファーを期待せず、かかる市場の期待が当行グループの借入コストを増加させず、その資本市場へのアクセスを制限せず、又はその格付けの引下げにつながらないという保証はない。

ドッド＝フランク法

米国において、2010年米国ドッド＝フランク・ウォールストリート改革・消費者保護法(以下「ドッド＝フランク法」という。)は、とりわけ、システミックリスクの監督、銀行の自己資本比率、破綻しているシステム上重要な金融機関の適切な破綻処理及び店頭デリバティブに関する取組みにより、米国外の銀行を含め、金融サービス業界に影響を与える重大な構造改革をもたらした。ドッド＝フランク法には、当行及びその世界中の全関係会社を含む銀行業者に対し、ヘッジ・ファンド、プライベート・エクイティ・ファンドその他類似のファンドの自己勘定取引及びそれらに対する投資又は保証の供与を(多くの例外を除き)大幅に禁止する、ボルカー・ルールも含まれる。

財務省、金融安定監督評議会、証券取引委員会、商品先物取引委員会(以下「CFTC」という。)、連邦準備制度理事会、通貨監督庁(以下「OCC」という。)及び連邦預金保険公社(以下「FDIC」という。)が、ドッド＝フランク法により義務付けられる広範な規則制定に取り組んでいる。ドッド＝フランク法に基づく多くの規則は確定しているか、又は提案済みであるが、ドッド＝フランク法が当行又は金融サービス業会全体に及ぼす可能性のある全般的影響については重大な不確定要因が残存している。

ドッド＝フランク法及び関連規則又はその他新たに施行される法改正が、当行に重大な影響を及ぼさないという保証はない。

最近の市場の混乱に対する政府の対応は不十分であり、予期せぬ結果が生じる可能性がある。

当行グループは、事業を行う国々における最近の市場の混乱に対する政府の対応により悪影響を受ける可能性がある。世界的な金融危機及びその後の政府の介入の結果、財政支出の削減及びさらなる財政緊縮策の強制、並びに金融政策及び金利政策の変更を含め、最近の市場の混乱に対する政策による対応が大幅に増加しており、今後も増加し続ける可能性がある。

当行グループは、政府の政策変更又は税務当局による財政法の解釈変更を制御することはできない。とりわけ、最近の銀行救済策及び緊縮策を含め、経済を刺激し、かつ／又は銀行制度を支援するために、最近、ヨーロッパ諸国の政府により採られている措置は、税負担の増加又は優遇税制措置の縮小につながる可能性がある。ノルウェー又は当行グループが事業を行うその他の国々における政策による対応の重大な変更、又はかかる対応実施の難しさ若しくはかかる対応の影響の種類及び効果毎の難しさは、それぞれに当行グループの事業活動、財政状態及び業績にそれぞれ悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、とりわけ新興国市場における事業運営について、贈収賄、マネー・ロンダリング活動及び制裁措置違反に関するリスクにさらされており、マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の遵守には、重大なコスト及び努力を要する。

当行グループは、腐敗防止、マネー・ロンダリング防止、テロ資金供与防止及び経済制裁に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、贈収賄又はマネー・ロンダリングに関して負う若しくはそれらに利用されるリスクは、世界的に増大している。かかるリスクは、ノルウェー及び当行グループが事業を行っているその他の先進国市場よりも、バルト海沿岸諸国等の新興国市場において高い。新興国市場における従業員の高い離職率、関連する政策及び技術システムを一貫して実施することの難しさ、並びに全般的な事業状況は、マネー・ロンダリングの発生リスクがかかる国々においてより高いことを意味している。マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止規則の遵守の監視は、銀行及びその他の金融機関に対し重大な財務負担及び重大な技術的問題を強いる可能性がある。当行グループは、その現行の方針及び手続きが適用規則及び規制の遵守に十分であると判断しているが、グループ全体で、マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続きが、マネー・ロンダリング又はテロ資金供与の事例を防止すると保証することはできない。マネー・ロンダリング防止規則の違反、又はかかる違反の示唆でさえ、当行グループにとり深刻な法的効果及び風評に関わる影響を及ぼす可能性があり、結果として、当行グループの財政状態及び業績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、上記の理由により、その新興国市場における事業運営において、増大するコンプライアンス・リスク及びオペレーショナル・リスクにも直面している。

当行グループとその顧客との法的関係は、多数の商業契約のために作成された標準契約及びその書式に基づいている。このため、かかる書類中の条件に関する問題又はかかる書類中の誤記は、多数の顧客契約に影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、多数の顧客との間で契約関係を維持している。当行グループは、多数の事業分野及び部門において、契約及びその書式に関し、一般的な約款及び標準書式を使用している。標準契約及びその書式の使用は、契約数の多さから重大なリスクを包含している。日常的な法改正及び新たな法制上の決定、並びに増大するヨーロッパの法律の国内法に対する影響の結果、当行グループが使用する一般的な約款、標準契約及びその書式のすべてが、常に適用ある法律上の要件を遵守しているとは限らない。書類作成時の誤謬若しくは解釈上の問題があったり、又は個別の約款若しくは契約につきその全部若しくは一部が無効であるとみなされたりする場合、多数の顧客関係が悪影響を受ける可能性があり、当行グループの財政状態及び業績に悪影響を及ぼす可能性のある、損害賠償請求又はその他の法的効果につながる可能性がある。

当行グループの事業の実施に法的及び規制上の請求が発生する。

通常の業務において、当行グループは規制上の監視及び責任リスクにさらされている。当行グループは、事業を行う各法域の規制に服する。規制及び規制上の要件は継続的に修正され、当行グループに新たな要件(事業の実施、マネー・ロンダリング防止、支払い、消費者金融、自己資本要件、報告及びコーポレート・ガバナンスについての規制を含むが、これらに限定されない。)が課される。

さらに、銀行業務の一環として、当行グループは顧客に投資アドバイス、その他の投資サービス及び投資商品並びに内部及び外部の運用資金へのアクセスを提供しており、第三者の資金の管理人の役割を果たしている。当行グループの投資アドバイス、その他のサービス若しくは商品又は投資サービスの提供、投資商品の販売若しくはその他に関連した不正行為若しくは違法行為により顧客が損失を被った場合、当行グループの顧客は当行グループに対し補償を要求するか、又は法的手続をとる可能性がある。場合によって、当グループがかかるリスクに対し直接のエクスポージャーを有していない場合又は顧客に対しかかる相手方当事者を勧めていない場合であっても、当行グループが補償を要求される可能性がある。

当行グループは、事業を行う法域において、様々な訴訟、紛争、法的手続及び政府調査の対象となっている。かかる訴訟、紛争及び法的手続は多くの不確定要素にさらされており、これらの結果及び最終的な結論は、特に訴訟又は調査の初期段階においては予想が困難であることが多い。これらの種類の訴訟及び手続により、当行グループは、金銭的損害、直接若しくは間接の費用(訴訟費用を含む。)、直接若しくは間接の財務損失、民事上及び刑事上の罰則、許認可若しくは承認の喪失、レピュテーション(評判)の喪失並びに事業に対する規制上の制限の可能性にさらされており、これらのいずれかが当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

特に、2016年6月21日、ノルウェー消費者審議会は、DNBエイ・エス・エイの100%子会社であり資産運用サービスを提供するDNBアセット・マネジメントに対し訴訟を起こした。同審議会は、ファンドが実際は単に指数を追跡しているだけにもかかわらず、積極的な運用のための高額な手数料を課している旨の主張に関して、DNBアセット・マネジメントが運用するファンド及び当該ファンドに統合された2つのファンドの137,000名の現在の投資家及び多数の元投資家に対し、最大で約690,000,000ノルウェー・クローネの補償を求めている。DNBアセット・マネジメントは、すでにかかる主張を否定しており、ノルウェー消費者審議会の召喚状への回答においても否定する予定である。ノルウェー消費者審議会が起こす法的措置は、DNBグループを潜在的な債務にさらす可能性及び／又は評判を損なう可能性がある。

当行グループは、訴訟、裁判及びその他の手続に関する偶発債務への備えを適切に行っていると考えているが、かかる訴訟、裁判又は手続のいずれかの結果が経営陣の予想と異なり、当行グループは予期しない費用及び損失、評判及びその他財務面以外の影響並びに経営陣の注力の転換にさらされる可能性がある。

上記の要因のいずれか又は金融機関の事業に対するその他の制限若しくは制約は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び／又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、税金及び付加価値税に関する法律並びにかかる法律の解釈の変更並びにかかる税率の変更のリスクにさらされている。

当行グループの活動は、事業を行う法域において、現地の法律及び慣行に従って算出される様々な税率の税金及び付加価値税の対象となっている。ノルウェー政府又はその他の政府が、将来、税率若しくは付加価値税率を引き上げるか、又は追加の税金若しくは負担を課した場合、当行グループの収益性が減少する。税金若しくは付加価値税に関する法律の改正又はその解釈の変更及び当行グループと課税当局との間の当該法律の解釈に関する意見の相違は、当行グループの将来の財政状態にも影響を及ぼす可能性がある。税金及び付加価値税に関する法律についての当行グループの解釈が課税当局により異議を呈され場合、かかる変更及び継続中の手続の結果が当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び／又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。さらに、かかる税金及び付加価値税に関する法律の変更又は税金及び付加価値税に関する法律の解釈の変更が、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び／又は見通しに遡及効を有さないという保証はない。

当行グループは、会計方針又は会計基準の変更並びにかかる方針及び基準の解釈の変更により影響を受ける可能性がある。

国際会計基準審議会(以下「IASB」という。)は、当行グループの財務書類の作成に影響を与える財務会計基準及び財務報告基準を随時変更する。さらに、変更はかかる基準の解釈の変更によりなされる可能性があり、又は当行グループと管轄当局との間でかかる基準の適用に関し意見の相違が生じる可能性がある。これらの変更は予想が困難であり、当行グループの財政状態及び経営成績の計上及び報告の方法に重大な影響を及ぼす可能性がある。場合によって、当行グループは、新たな基準若しくは修正された基準の適用又は現行基準の適用の変更を求められる可能性があり、遡及的に過去期間の財務書類に必要な修正再表示を行う可能性がある。当行グループの会計方針又は適用ある会計基準のかかる変更は、報告済みの財政状態及び／又は経営成績に重大な影響を及ぼす可能性がある。

実際に利益相反である事態又は利益相反と解釈される事態により、当行グループがマイナスの影響を受ける可能性がある。

当行グループは事業の範囲及び顧客基盤を拡大しているため、コーポレート・ガバナンス方針をグループ全体で実施し、当行グループによる特定の顧客へのサービス提供若しくは自己勘定投資若しくはその他の利益が、別の顧客の利益に反するか又は反すると解釈される状況及び当行グループの事業の1つ又は複数が当行グループ内のその他の事業と共有してはならない重要な非公開情報にアクセスする状況を含む、潜在的な利益相反に対処する必要性がますます高まっている。内部の方針違反は発見が困難なこともあり、利益相反の適切な特定及び対処は複雑である。当行グループが利益相反を適切に特定しかつ取り扱うことができないか又はできないように見える場合、当行グループのレピュテーションは損なわれ、利益相反が生じる可能性がある取引を行う顧客の意欲に影響を及ぼす可能性がある。

金融サービス事業には、固有のレピュテーション・リスクが伴う。

当行グループのレピュテーション(評判)は、最も重要な資産の一つである。レピュテーション・リスクは、否定的な世論による利益及び資本に対するリスクを含み、金融サービス事業に固有のリスクである。否定的な世論は、従業員による不正行為、当行グループの構成員による適用ある内部の方針及び規制への違反、当行グループの制御が限られているか若しくは制御できない事業の相手方の活動、深刻な若しくは長引く金融損失、当行グループの財務面の健全性若しくは信頼性(インターネット・バンキングのプラットフォームの信頼性を含む。)の不確実性又は当行グループの事業の遂行を含む、様々な要因が原因となって生じる。否定的な世論は、顧客、預金者及び投資家を維持しかつ惹きつける当行グループの能力並びに規制当局及び一般公衆との関係に悪影響を及ぼす可能性がある。例えば、当行グループは最近、極秘書類の「パナマ文書」の漏洩後、その事実に関して世間の注目を集めた。2016年4月11日、取締役会は、通商産業省に報告書を提出した。かかる報告の理由は、当行のルクセンブルグにおける子会社が2006年から2008年の期間に、顧客のためセイシェルに42の会社を設立する手助けをしたためであった。かかる報告書において、取締役会は、内部調査によりこれまでに判明した調査結果を提示した。入手可能な情報によれば、この問題においていかなる法律違反もなかった。取締役会は事態を完全に把握するため、この問題について調査し取締役会へ報告するよう法律事務所のヨルトに要請した。当行は、かかる報告の主な調査結果を追って公表する予定である。取締役会は、この事象に対し一定の追加的なリスク措置を取るようグループ経営陣に要請したが、この事象及び将来の類似の事象は、当行グループの事業、経営成績、財政状態及び見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループが、レピュレーション・リスクによる事業への損失を回避できる保証はない。

５【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

６【研究開発活動】

通常の事業活動の一環としてのIT開発を除き、当行グループは研究開発活動を行っていない。

７【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

2015年度の業績

当行グループは、2015年度において23,222百万ノルウェー・クローネの当期利益を計上し、2014年度から4,112百万ノルウェー・クローネ増加した。ベーシス・スワップの影響を調整後の利益は、2,439百万ノルウェー・クローネの増加であった。

利益の改善は、主に純利息収入の増加、その他の営業収益純額の増加及び費用の減少を反映していた。

貸出高及び預金高の増加並びに預金スプレッドの拡大は、2015年度において純利息収入にプラスの影響を及ぼしたが、これは主に為替レートの変動によるものであった。その他の営業収益は、ベーシス・スワップの影響及びその他の金融商品に係る利得の増加を反映し、2014年度から2,787百万ノルウェー・クローネ増加した。

営業費用は、2014年度から645百万ノルウェー・クローネ減少したが、これは主に確定給付型年金制度から確定拠出型年金制度への移行に関する人件費の削減によるものであった。貸出金及び保証に係る減損損失は、2014年度と比較して631百万ノルウェー・クローネ増加したが、これは海運セグメント及びオフショア・セグメントにおける個別減損の増加を反映していた。集合的減損も増加したが、これは一部の業界における経済情勢の後退に一部起因していた。

当行グループの普通株式等Tier 1資本は、2014年12月末から2015年度末までの間に21十億ノルウェー・クローネ増加した。移行ルールに基づき計算された普通株式等Tier 1資本比率は、12.5%から14.3%へ増加した。株主資本利益率は、同期間中に14.5%から15.1%へ増加した。ベーシス・スワップの影響を調整後の株主資本利益率は、14.2%から13.8%へ減少した。当行グループは十分な資本を有しているが、法定要求を満たすため、引続き資本増強を計画的に行う予定である。

銀行業界のデジタル化及び顧客行動の変化が2015年度の特徴であった。当年度中、DNBのモバイル銀行は156百万回超利用され、ノルウェーにおいて最も利用されている銀行サービスとしての地位を確立した。

DNBは、銀行として、また不動産業者及び保険会社として、住宅購入の過程のあらゆる側面について助言することをコンセプトとした「Home Journey」を1月上旬に立ち上げた。

5月下旬、DNBはVippsと呼ばれる新たな決済ソリューションを開始した。1ヶ月後にはVippsの登録済ユーザーは早くも約236,000名となり、2015年12月末現在は986,000名超まで増加した。

第3四半期の初め、DNBは赤十字の支援を得て「A Valuable Lesson」のコンセプトを導入した。「A Valuable Lesson」とは、子どもたちにお金、収支、金融の権利の内容及び良い貯蓄習慣についての基礎知識を教えるために学校で利用する、無料のデジタル教育プログラムである。

9月下旬、DNBは、ノルウェーにおける延滞した貸出金のポートフォリオを売却する契約をリンドルフ・キャピタル・エイ・エスと締結した。かかる売却は、2015年度において約1.1十億ノルウェー・クローネのプラスの税引前効果をもたらした。

2015年度末にかけて、DNBはノルウェーの従業員向けの確定給付型年金制度を、確定拠出型に変更することを決定した。これにより、2015年度の収益に約1.8十億ノルウェー・クローネの効果があった。

DNBは、ノルゲス・バンク(ノルウェー中央銀行)による主要政策金利の引下げに基づき、2015年度中に金利を数回切り下げた。2015年度末現在、住宅ローン金利は記録的な低水準であった。

Prosperaは、2015年度の株式仲介についてDNBマーケッツをノルウェーの最優秀企業に位置づけた。DNBマーケッツは、国内株式売買及び国内株式の分野における全体的な実績で最高のスコアを、またリサーチ及びアドバイザリーの分野で2番目に高いスコアを獲得した。

従業員調査のエンゲージメント指数は、2014年度からわずかに1ポイント下落して、2015年度は84ポイントとなった。これは、大幅なリストラクチャリングを通じて巧みに対処した健全な組織という実態を表しているが、組織再編プロセスにより必然的に影響を受けている。当行の病気休暇は、2015年度において4.5%であり、2014年度の4.4%からわずかに増加した。病気休暇率の高い部門への特別なフォローアップは継続された。

当局は、過去数年間にわたりより厳格な自己資本規制を導入し、そのうちいくつかは2015年度中に施行されたか又は強化された。システム上重要な金融機関として、当行には2015年7月1日より2%の個別の資本バッファー要件である0-SIIが課された。第2四半期において、ノルウェー財務省は、銀行向けのカウンターサイクリカルな資本バッファーの水準を、2016年6月30日現在で1.5%に引き上げることを決定した。同省は、すでに2015年6月30日現在の要件を1.0%に設定すると決定していた。10月下旬、DNBの第2の柱の要件が1.5パーセント・ポイントに設定された。したがって、普通株式等Tier 1資本合計の要件は、2016年度末までに15%となる。

DNBは、11月のキャピタル・マーケッツ・デイにおいて、普通株式等Tier 1資本要件を達成するための計画を含む、新たな財務目標を発表した。第4四半期中、DNBは数々の資本効率策を実施した。その中には、個別のローンの売却、保証契約の締結及び資産の売却が含まれる。

年次決算の概要

ノルウェー会計法の規定に基づき、取締役会は、財務書類が継続企業の基準で作成されたこと及び継続企業の前提が適用されることを確認している。

ノルウェー会計法セクション3-9に基づき、当行グループはEUにより承認されている国際財務報告基準(IFRS)に準拠した年次連結財務書類を作成する。当行の法定財務書類は、ノルウェーのIFRS規制に準拠して作成された。

純利息収入

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度	変動	2014年度
純利息収入	35,535	2,928	32,607
為替レートの変動		1,813	
貸出高及び預金高		1,024	
その他の純利息収入		177	
貸出金スプレッド及び預金スプレッド		78	
長期資金調達費用		(164)	

純利息収入は、2014年度から2,928百万ノルウェー・クローネ増加した。かかる増加は、主に為替レートの変動並びに貸出高及び預金高の増加に起因していた。平均貸出金スプレッドは、2014年度から2015年度にかけて0.16パーセント・ポイント縮小した一方、預金スプレッドは0.23パーセント・ポイント拡大した。健全な貸出金ポートフォリオは、平均で122.3十億ノルウェー・クローネ増加した一方、預金の平均残高は2014年度と比較して94.6十億ノルウェー・クローネ増加した。

その他の営業収益純額

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度	変動	2014年度
その他の営業収益純額	16,909	2,787	14,122
ベーシス・スワップ		2,291	
その他の金融商品に係る純利得		1,922	
その他の営業収益		(90)	
ローンの売却に係る純利得		(424)	
ネッツへの投資額		(913)	

その他の営業収益純額は、2015年度において16,909百万ノルウェー・クローネとなり、2014年度から2,787百万ノルウェー・クローネ増加した。ベーシス・スワップの影響を調整後のその他の営業収益純額は、496百万ノルウェー・クローネの増加であった。その他の金融商品に係る純利得の増加は、主に債券及び通貨商品の顧客取引による収益に起因していた。

営業費用合計

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度	変動	2014年度
非経常効果を除く営業費用合計	(20,275)	(657)	(19,618)
うち：			
ノルウェー国外の部門に対する為替変動の影響		(492)	
通貨調整後の営業費用	(19,783)	(165)	(19,618)
非経常効果を除く営業費用合計	(20,275)	(657)	(19,618)
収益関連費用			
オペレーティング・リースに係る通常の減価償却		(81)	
業務関連費用			
その他の費用		249	
土地及び建物		108	
手数料		(85)	
年金費用		(153)	
給与その他の人件費		(203)	
ノルウェー国外の部門に対する為替変動の影響		(492)	
非経常効果	1,084	1,303	(218)
その他のリストラクチャリング費用及び非経常効果	1,670	1,582	88
リストラクチャリング費用－従業員	(352)	(115)	(237)
ITリストラクチャリング	(234)	(164)	(70)
営業費用合計	(19,191)	645	(19,836)

2015年度の営業費用合計は19,191百万ノルウェー・クローネとなり、2014年度から3.3%減少した。大規模な非経常効果が費用にプラスの影響を及ぼし、営業費用は全体で1,303百万ノルウェー・クローネ減少した。かかる減少は、主にノルウェーにおけるDNBの従業員向けの確定給付型年金制度を確定拠出型年金制度に移行したことによるものであった。非経常効果を調整後の営業費用合計は3.3%の増加であった。為替レートの変動により、費用は492百万ノルウェー・クローネ増加した。実施されたリストラクチャリング措置は、従業員数、支店数及び生産ユニット数の減少により長期的に費用の減少をもたらすと見込まれる。当行グループの従業員数は、2014年度から2015年度にかけて210名減少した。

貸出金及び保証に係る減損

貸出金及び保証に係る減損は、2015年度には合計2,270百万ノルウェー・クローネとなり、2014年度から631百万ノルウェー・クローネ増加した。

海運セグメント及びオフショア・セグメントの個別減損損失が増加した一方、個人顧客部門においては2014年度から1,060百万ノルウェー・クローネ減少した。これは、主に2015年度第3四半期におけるリンドルフへのポートフォリオの売却によるものであった。個別減損損失純額は、2014年度から2015年度にかけてほぼ変動がなかった。

集合的減損損失は、597百万ノルウェー・クローネ増加して2015年度には255百万ノルウェー・クローネとなった。正味貸出金と比べると、2014年度の0.12%から2015年度には0.15%へと増加した。

延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、2015年12月末現在で14.0十億ノルウェー・クローネとなり、2014年度末現在の17.3十億ノルウェー・クローネから減少した。延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、貸出金ポートフォリオの0.76%に相当し、2014年12月末現在から0.20パーセント・ポイント減少した。

法人税

2015年度における当行グループの税金費用は7,755百万ノルウェー・クローネであり、税引前営業利益の25.0%であった。税率は、2014年度から0.6パーセント・ポイント上昇した。

資金調達、流動性及び貸借対照表

2015年度において、短期資金調達市場は高い信用格付を有する銀行にとって全般に健全であった。米国の公社債投資信託は今後予定されている規制に適応する必要があるため、長期満期は以前ほど魅力的ではなくなった。借手側の長期投資に対する需要の高まりと相まって、下半期において価格が上昇した。当行グループは、年間を通じて短期資金調達を十分に利用することができた。

長期資金調達市場において、上半期における資本の供給も健全であった。しかし、夏が近づくにつれてギリシアの不安が増大したため、市場の活動水準が大幅に低下し、新規発行の価格が上昇した。9月には、活動水準は上向きとなったが、利鞘は拡大した。2015年度下半期を通じて、カバード・ボンド及び普通のシニア債務の利鞘は、いずれも全般に拡大した。DNBは2015年度を通じて長期資金調達を十分に利用できたが、新規の長期資金調達費用は、2016年度の経過とともに増加が見込まれる。

当行グループの発行済負債証券は、2015年12月末現在で合計807十億ノルウェー・クローネとなり、前年度末は814十億ノルウェー・クローネであった。

当行グループの流動性リスクを低い水準に抑えるために、短期及び長期の限度枠が設定された。かかる限度枠は、バーゼルⅢ／CRD Ⅳの算定方法に従っている。とりわけ、これは顧客向貸出金が、一般に顧客預金、長期負債証券及び第一次資本により調達されていることを意味している。当行グループは、2015年度を通じて流動性限度額の枠内にとどまった。バーゼル委員会及びノルウェー当局が定める期限内に、流動性規制に徐々に適応させる計画である。

当行グループの貸借対照表上の資産合計は、2015年12月31日現在2,316十億ノルウェー・クローネであり、前年同日現在は2,362十億ノルウェー・クローネであった。

正味顧客向貸出金の平均残高は、2014年12月末から122十億ノルウェー・クローネ(9.0%)増加した。顧客預金の平均残高は、同期間中に95十億ノルウェー・クローネ(9.3%)増加した。正味顧客向貸出金に対する顧客預金の比率は、2014年12月末現在の65.7%から1年後には62.5%へと低下した。

リスク及び自己資本規制

組織及び監視

取締役会は、当行グループの資本状況を継続的に監視しており、当行が普通長期債務のAA水準の格付を維持することを目指している。

DNBのリスク管理方針は、当行グループ全体のリスク管理の指針として機能し、リスクに対する目標、態度及び取組みを定めている。当グループは、リスク・プロファイルを低く維持することを目指し、理解及び追跡調査が可能でレピュレーションを害さないリスクのみを引き受ける。当行グループの企業文化は、健全なリスク管理を促進する透明性のある方法及びプロセスにより特徴付けられる。すべての経営陣が、各自の担当分野におけるリスクについて責任を負う。当行グループにとってリスクを伴う契約の締結に関する責任は、個人の授権及び制限を通じて組織に委任される。リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、事業運営に携わる部門から独立した部門で編成される。

リスク選好度の概念は金融サービス業界においてベスト・プラクティスとなり、金融機関はリスクを戦略及び計画プロセスの不可分の要素とすることが容易になり、その結果、変化する環境により迅速に対応することが可能となる。DNBのリスク選好度の枠組みは、リスクが管理され、かつ当行グループのその他の統制プロセスに統合されるようにするための当行グループのリスク政策及びリスク指針の運用を表している。かかる枠組みは、当グループの取締役会が主体となり、少なくとも1年に1度見直される。枠組みに基づき測定される実際のリスク水準は、月次で報告される。

DNBグループのリスク管理の指針並びに流動性リスク及び市場リスクの年間限度枠は、DNBエイ・エス・エイ及び当行の取締役会の共同会合により承認される。市場リスクは、株式、不動産、通貨、金利及びコモディティのエクスポージャーを反映している。DNBエイ・エス・エイの取締役会は、個別のリスク管理委員会を設置している。DNBのその他の事業会社の取締役会は、それぞれの事業に関する関連リスクについて、限度枠を設けている。

DNBグループのグループ経営陣会議には、事業部門並びにサポート・スタッフ分野のグループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントが出席する。様々な専門分野における書類作成並びに追跡調査及び管理の実施を支援するため、数々の諮問機関が設置されている。

資産負債委員会(ALCO)は、最高財務責任者及び最高リスク管理責任者のための諮問機関であり、市場リスク及び資金調達リスク、リスクモデリング、資本構成並びに収益目標の管理に係る事項を扱う。

リスク管理における当グループの専門部門が、グループ・リスク管理部門というサポート部に編成されている。この部門は最高リスク管理責任者が率い、最高リスク管理責任者はグループ最高経営責任者に直属する。下部部門は、信用リスク、市場及び流動性リスク、オペレーショナル・リスク、リスクの数値化、検証、リスクの報告及び分析並びに遵守について、グループ全体の責任を負う。当グループがマネー・ロンダリング防止及び制裁に関する規制を確実に遵守するため、マネー・ロンダリング防止に関する制裁措置部門が設置された。

グループ与信諮問委員会は、金額の大きい個別の与信提案及びその他の特別な与信に関し、グループ最高経営責任者及び取締役会に助言し、複数の事業分野の顧客である借手に対する金額の大きい与信を承認する。

オペレーショナル・リスク諮問グループは、最高リスク管理責任者のための諮問委員会である。オペレーショナル・リスク諮問グループは、グループ全体に対する権限を有し、オペレーショナル・リスクの管理における当グループの取組み及びソリューションの開発を担っている。

マネー・ロンダリング防止及び国際的制裁措置に関するフォーラムは、最高リスク管理責任者が率いる諮問機関である。マネー・ロンダリング防止及び制裁措置の遵守に関する当グループの取組みへの幅広い支持を確保するため、数名のグループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及びグループ・ジェネラル・カウンセルがフォーラムに出席する。

2015年度の展開

ノルウェー経済の見通しは弱まり、石油価格の下落及び石油投資の減少が、それまで持続して成長していた部門へ波及しつつある兆候が見られる。大半のノルウェーの産業部門の成長見込みは悪化している。失業率は、主に石油中心の地域において依然として上昇している。しかし、アナリストたちは、2016年度及び2017年度におけるノルウェー本土のGDPの成長は、低いながらもプラスになると予測している。

2015年度末にかけて、世界経済の展開は複雑で、国によって様々であった。2016年度初め、中国の経済動向に関して新たな不確実性が生じたため、株式市場が大幅に下落した。中東の地政学的状況及び混乱により、将来の見通しは不確実性を増している。

当行グループは、リスク調整後(所要)自己資本を算定することにより、リスクを定量化している。自己資本規制は、2014年度末から4.3十億ノルウェー・クローネ減少し、2015年度において68.5十億ノルウェー・クローネとなった。

リスク調整後(所要)自己資本に係る進展

(単位：十億ノルウェー・クローネ)	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
信用リスク	55.5	58.8
市場リスク	6.9	9.1
オペレーショナル・リスク	8.4	8.2
事業リスク	6.2	6.0
リスク調整後(所要)自己資本総額	77.0	82.1
分散化効果[1)]	(8.5)	(9.3)
リスク調整後(所要)自己資本純額	68.5	72.8
リスク調整後(所要)自己資本総額の分散化効果比率[1)]	11.1	11.4

(注1)分散化効果とは、想定外の損失が同時に発生する可能性が低い異なる種類のリスクに影響を受ける事業を行うことにより当行グループが得られるリスクの低減効果をいう。

与信に係るリスク調整後(所要)自己資本は、年度末にかけて大企業向けのポートフォリオにおける与信額が減少したことを反映し、2015年度において3.3十億ノルウェー・クローネ減少した。大半のポートフォリオに係る信用力は、引続き質的に健全で安定していた。しかし、主に石油サービス及びオフショア部門であるが、エネルギー及び一部の海運業界といった一部の部門においても、2015年度においてマイナスの傾向を示した。石油及びガスへの投資の減少により、石油サービス会社は最も顕著に影響を受けた。多くの企業が、現在タイトな流動性及び債務返済能力の低下に苦しんでいる。

石油価格に直接影響を受ける部門に加え、長引く石油価格の低迷によりその他の部門及び特にノルウェーの無防備な地理的範囲にも波及効果をもたらすと予想される。2015年度末現在、石油価格は1バレルあたり37米ドルと、2004年以来の最安値であった。

予想されたとおり、2015年度を通じてドライ・バルク海運セグメントは引続き困難な状況であった。船舶運賃は記録的な低水準となり、このセグメントの見通しは低迷している。コンテナ・セグメントもまた不振傾向を示し、この市場は大幅な供給過剰に陥っている。

商業不動産の資金調達に伴うリスクは増大しているが、ノルウェーの商業用不動産における貸出金ポートフォリオは質的に健全であると考えられている。石油及びオフショア部門の活動水準の低下により、石油中心の地域並びにリサケル並びにアスケル及びバールムにおいて失業率が上昇し、レンタル価格が下落した。

ノルウェー経済の後退により、失業率がわずかに上昇し、消費者の信用が減退した。全国的に、2015年度第4四半期において住宅市場は落ち込んだ。2015年度における住宅販売戸数は、引続き高い水準を維持したが、地域間格差は年間を通じて拡大した。

不動産投資の売却及び当グループの従業員向けの年金制度の確定給付型から確定拠出型への移行を反映し、DNBの市場リスクに対するエクスポージャーもまた、2015年度中に減少した。株式投資及び不動産投資の売却が予定されているため、2016年度においてもさらなる減少が見込まれる。2016年度の通貨及び金利リスクの取引限度枠は引き下げられた。

2015年度における事業リスクの状況は良好であり、損失は低水準であった。当年度中、DNBは非常に大規模なプロジェクトである「MoveIT」を完了し、これによりITインフラがアップグレードされ、当グループのデータ処理センターが1つに移行された。最適な運用上の安全性を達成し、かつプロジェクトに係るリスクを低減させるため、総合的な措置が採られた。2015年度において、デジタル・サービス及びデジタル商品の変化速度が加速していることを踏まえ、情報技術は銀行にとって主要なリスク分野の一つとして再認識された。

移行ルールに基づき算出されたリスク加重資産は、2014年度末から18.3十億ノルウェー・クローネ増加し、1,057十億ノルウェー・クローネとなった。自己資本比率が17.9%であった一方、普通株式等Tier 1資本比率は14.3%であった。

セグメント

当行グループの財務ガバナンスは、異なる顧客セグメントに合わせて構成されている。全体的な顧客関係及びセグメントの利益性の追跡調査は、戦略的優先事項の決定及び資源をどこに配分するかの決定における重要な側面である。報告数値は、該当するセグメントに対する当行グループの商品及びサービスの売上合計を反映する。

個人顧客部門

この部門には、DNBのノルウェーにおける2.1百万名の個人顧客が含まれる。2015年度において利益は安定して推移し、減損前税引前営業利益は前年度と同水準であった。延滞した消費者ローンのポートフォリオの売却による減損損失の戻入純額により、税引前営業利益が2014年度から11.5%増加した。

			増減	
損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度	2014年度	百万ノルウェー・クローネ	%
純利息収入	13,655	13,484	171	1.3
その他の営業収益純額	3,691	3,528	164	4.6
収益合計	17,346	17,012	334	2.0
営業費用合計	(8,307)	(7,949)	(357)	(4.5)
減損前税引前営業利益	9,039	9,062	(23)	(0.3)
固定資産及び無形資産に係る純利得	0	(3)	3	(100.1)
貸出金及び保証に係る減損	939	(110)	1,049	
税引前営業利益	9,979	8,949	1,029	11.5
税金費用	(2,694)	(2,416)	(278)	(11.5)
売却目的で保有する事業からの利益、税引後	2		2	
当期利益	7,286	6,533	753	11.5
平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ)				
正味顧客向貸出金	690.5	660.7	29.8	4.5
顧客預金	381.6	356.8	24.8	7.0
主要な数値(%)				
貸出金スプレッド[1)]	2.08	2.37		
預金スプレッド[1)]	0.01	(0.45)		
配賦資本に対するリターン[2)]	22.7	23.3		
費用/収益の比率	47.9	46.7		
預貸率	55.3	54.0		

(注1)3ヶ月物市場金利に対して計算されている。

(注2)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

2015年度は、住宅ローン顧客をめぐる激しい競争により特徴付けられたが、正味顧客向貸出金は良好に推移した。2015年11月、20十億ノルウェー・クローネ弱の固定金利貸出金のポートフォリオがDNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンへ売却された。この取引を調整後の平均貸出高は、2014年度から4.8%増加した。顧客には、依然として銀行がサービスを提供している。

貸出高の増加及び預金スプレッドの拡大により、貸出金スプレッドの縮小が相殺され、純利息収入の2014年度からの増加が確実になった。出来高加重金利スプレッドは、前年度から0.04パーセント・ポイント縮小した。

不動産仲介、株式及び外国為替商品からの収益の増加を反映して、純利息収入は良好に推移した。カードの利用に関連するデジタル化及び割引制度が進んだため、決済サービスからの収益は減少した。

2014年度からの費用の増加は、主に早期退職金パッケージ引当金の増加及びIT費用の増加をもたらした支店網のリストラクチャリング並びに資本化システムの構築の減損の結果であった。当年度中のDNBアイェンダムの活発な活動もまた、費用の増加につながった。

貸出金に係る正味減損損失は、延滞した消費者ローンのポートフォリオの売却を反映しており、かかる金額は2015年度において990百万ノルウェー・クローネの戻入れであった。かかる戻入れを調整後の正味減損損失は、51百万ノルウェー・クローネ(平均貸出金の0.01%)となった。住宅ローン・ポートフォリオのリスクは低く、2015年度に過去の減損損失の正味戻入れがあった。年間を通じて、消費者ローンに係る減損の水準も安定していた。

一般家庭向貸出金の市場シェアは、2014年12月末現在の26.0%から減少し、2015年11月末現在で25.6%であった。一般家庭貯蓄合計の市場シェアは、32.3%であった。DNBアイェンダムは、2015年12月末現在で18.7%の市場シェアを有し、ノルウェーにおける市場のリーダーである。

DNBは、個人顧客部門における継続的な利益の成長の達成を目指しており、商品、サービスのコンセプト及び費用水準を、将来の銀行市場に適応させるよう取り組んでいる。セルフ・サービスの比率が上昇した結果、2015年度において合計20のノルウェーの支店が閉鎖され、スタッフは主に自然減を通じて200名の常勤従業員が削減された。

中小企業部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける中小企業顧客に対する商品販売及びアドバイザリーサービスが含まれる。収益の増加及び比較的安定した営業費用により、税引前営業利益は、貸出金に係る減損損失が増加したにもかかわらず、2014年度から9.5%増加した。

			増減	
損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度	2014年度	百万ノルウェー・クローネ	%
純利息収入	6,131	5,643	488	8.7
その他の営業収益純額	1,190	1,103	88	8.0
収益合計	7,322	6,745	576	8.5
営業費用合計	(2,840)	(2,779)	(61)	(2.2)
減損前税引前営業利益	4,481	3,966	515	13.0
固定資産及び無形資産に係る純利得	(2)	42	(44)	(104.1)
貸出金及び保証に係る減損	(1,068)	(869)	(199)	(22.9)
再取得した業務からの利益	3	(23)	25	112.5
税引前営業利益	3,414	3,117	297	9.5
税金費用	(922)	(842)	(80)	(9.5)
当期利益	2,492	2,275	217	9.5
平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ)				
正味顧客向貸出金	216.0	206.6	9.5	4.6
顧客預金	171.4	159.8	11.6	7.2
主要な数値(%)				
貸出金スプレッド1)	2.43	2.55		
預金スプレッド1)	0.27	(0.05)		
配賦資本に対するリターン2)	12.0	11.6		
費用/収益の比率	38.8	41.2		
預貸率	79.3	77.4		

(注1)3ヶ月物市場金利に対して計算されている。

(注2)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

正味顧客向貸出金の平均残高は、2014年度から4.6%増加した一方、預金は同期間中に7.2%増加した。貸出金高及び預金高の増加並びに預金スプレッドの拡大により、純利息収入は2014年度と比較して堅調に増加した。

その他の営業収益純額は、2014年度から堅調に推移した。通貨ヘッジ商品及び金利ヘッジ商品の需要はいずれも満足できる水準であり、収益の増加に寄与した。その他の商品分野もまた、好ましい傾向を示した。

2014年度からの費用の緩やかな増加は、主にITプロジェクトに係る減損及びリストラクチャリング費用から生じた。クロス・セールスの増加も、費用を増加させた。

貸出金に係る正味減損は、199百万ノルウェー・クローネ増加して2015年度には合計1,068百万ノルウェー・クローネとなった。平均正味貸出金に対する減損損失は2014年度の0.42%から増加し、2015年度には0.49%となった。2015年度の減損損失は、主に顧客数が少なかったことに関連しており、鉱業における貸出金に係る減損損失が大半を占めた。DNBの中小企業向けのその他の貸出金のポートフォリオの質に、全般的に悪化は見られなかった。ポートフォリオは、質的に満足できるものであるとみなされており、顧客に関する綿密な追跡調査及び予防措置は、質の水準を維持するために不可欠である。最も深刻な影響を受ける石油関連の部門及び地域の動向は、注意深く監視されている。

大企業・国際顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける大企業顧客並びにバルト諸国及びポーランドにおけるすべての顧客セグメントを含む海外の顧客が含まれる。費用の増加及び貸出金に係る減損損失の増加により利益はわずかに減少したが、貸出高の増加及び安定したスプレッドにより、2014年度からの純利息収入の健全な増加が確実となった。

			増減	
損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度	2014年度	百万ノルウェー・クローネ	%
純利息収入	15,196	13,553	1,643	12.1
その他の営業収益純額	5,232	4,893	339	6.9
収益合計	20,427	18,446	1,981	10.7
営業費用合計	(7,476)	(6,767)	(710)	(10.5)
減損前税引前営業利益	12,951	11,679	1,272	10.9
固定資産及び無形資産に係る純利得	53	21	32	154.4
貸出金及び保証に係る減損	(2,108)	(674)	(1,435)	(213.0)
再取得した業務からの利益	(67)	(102)	35	(34.4)
税引前営業利益	10,829	10,924	(95)	(0.9)
税金費用	(3,140)	(3,387)	246	7.3
売却目的で保有する事業からの利益、税引後		2	(2)	100.0
当期利益	7,689	7,540	149	2.0
平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ)				
正味顧客向貸出金	568.1	496.2	71.9	14.5
顧客預金	393.0	373.6	19.3	5.2
主要な数値(%)				
貸出金スプレッド[1)]	2.18	2.20		
預金スプレッド[1)]	(0.09)	(0.14)		
配賦資本に対するリターン[2)]	10.9	13.6		
費用/収益の比率	36.6	36.7		
預貸率	69.2	75.3		

(注1)3ヶ月物市場金利に対して計算されている。

(注2)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

ノルウェー・クローネが弱まったことで貸出金の伸びが強く影響を受け、正味顧客向貸出金の平均残高は、2014年度から14.5%増加した。しかし、2014年度末から2015年度末にかけて、貸出金の伸びは5.3%であった。為替レートの変動を調整後の当年度中のポートフォリオの減少は、リスク加重資産の削減措置を一部反映し、4.5%であった。当行グループの自己資本比率を強化するため、2015年度中、特に第4四半期において、DNBは一定のローンを売却し、その他のエクスポージャーに係る保証契約を締結した。今後は、最もリターンの高いセグメントに資本が再配分されるため、ポートフォリオ管理もまた利益性の向上に役立つと見込まれる。顧客預金の平均残高は2014年度から5.2%増加した一方、預金高は2014年度末から2015年度末にかけて変動がなかった。為替レートの変動を調整後の預金高は、当年度中に7.7%減少した。

貸出高の増加に加え貸出金スプレッドが変動せず預金スプレッドが拡大したため、純利息収入は2014年度から増加した。出来高加重スプレッドは、2014年度の1.18%から2015年度には1.25%へと増加した。

2015年度を通じてボラティリティの高さが続いた結果、外国為替及び金利ヘッジ商品並びにコモディティ・ヘッジ商品への需要は堅調で、収益の増加につながった。さらに、債券発行のアレンジ業務及びシンジケーション業務も高水準であった。リスク加重資産の削減措置に係る費用及び損失は、年度末にかけて収益にマイナスの影響を及ぼした。

ノルウェー・クローネ安により、ノルウェー・クローネで測定した当行グループの国際的な事業部における営業費用は、2014年度から約500百万ノルウェー・クローネの増加と見積もられた。

貸出金及に係る正味減損損失は、2014年度と比較して増加したが、これは石油関連業界に対するエクスポージャーに一部起因していた。2015年度の正味減損は平均貸出金の0.37%に相当し、前年度から0.24パーセント・ポイント増加した。個別減損損失は0.13パーセント・ポイント増加し、2015年度において0.33%となった。経済情勢の後退を反映し、集合的減損損失の増加は残りの増加分の主な原因となった。延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、前年度末の11.6十億ノルウェー・クローネと比較して、2015年12月末現在9.5十億ノルウェー・クローネとなった。

DNBは、最も有益な顧客をめぐる激しい競争にもかかわらず、利益性の向上を目指している。競争条件は、銀行向けの異なる自己資本規制の影響を受ける。利益性は、積極的なポートフォリオ管理を通じて及び適切な顧客を優先することによって達成されるが、その場合には幅広い銀行の商品及びサービスを販売できる可能性がある。DNBは、業界についての銀行の専門知識の活用並びに顧客の全体的な金融ニーズに商品及びサービスを適応させることにより、より多くの顧客の戦略アドバイザーになることを目指している。主要銀行としての魅力的な地位を達成するため、DNBは、あらゆる金融サービスが確実に競争力を持つようしなければならない。

自己資本規制の厳格化及び減損損失が増加する見込みとなった結果、2016年度はDNBの大企業部門にとって厳しい年になると見込まれる。しかし、金利スプレッドにはプラスの傾向も期待され、新規貸出取引もより長期的には配賦資本に対するリターンの増加につながると予想される。主要企業との緊密な関係を通じ、DNBは、例えば投資銀行、貿易金融及び確定拠出型年金における貸付以外の商品及びサービスのシェアを拡大する体制を整えている。

トレーディング部門

この部門は、顧客取引に固有の市場リスクのヘッジを含む債券、外国為替及びコモディティ商品並びにエクイティのマーケット・メイキング及び自己勘定取引で構成される。顧客活動は、トレーディング活動によって支えられている。

			増減	
損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度	2014年度	百万ノルウェー・クローネ	%
収益合計	1,592	2,013	(421)	(20.9)
営業費用合計	(505)	(513)	8	1.5
税引前営業利益	1,087	1,500	(413)	(27.6)
当期利益	804	1,095	(291)	(26.6)
主要な数値(%)				
配賦資本に対するリターン[1)]	11.2	16.1		

(注1)3ヶ月物市場金利に対して計算されている。

(注2)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

信用スプレッドの拡大により、2015年度中の債券ポートフォリオの時価が下落し、マーケット・メイキング及び自己勘定取引からの収益は、前年度より減少した。時価の下落は、ノルウェーの確定収益商品からの収益の増加及びデリバティブに係るカウンターパーティー・リスク引当金の減少により一部相殺された。

第４【設備の状況】

１【設備投資等の概要】

該当事項なし。

２【主要な設備の状況】

該当事項なし。

３【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第５【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

（１）【株式の総数等】

①【株式の総数】

(2016年5月20日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
該当なし	183,143,110	該当なし

ノルウェー法及び当行には、授権資本の概念が存在しない。

②【発行済株式】

(2016年6月10日現在)

記名・無記名の別及び額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名
記名式 額面価額：100ノルウェー・クローネ	普通株式	183,143,110	該当なし
計	-	183,143,110	-

（２）【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

（３）【発行済株式総数及び資本金の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	株式資本増減額(ノルウェー・クローネ)	株式資本残高(ノルウェー・クローネ)
2011年12月16日	8,000,000	183,143,110	800,000,000	18,314,311,000

(注)上記の発行済株式総数及び株式資本の増加は、既存株主に対する株式の割当によるものである。

（４）【所有者別状況】

当行の株主はDNBエイ・エス・エイのみである。

（５）【大株主の状況】

当行は、DNBエイ・エス・エイにより100%所有されている。下記の表は、2016年3月31日現在のDNBエイ・エス・エイの上位20位までの株主、かかる各株主により所有されている株式数及び発行済株式総数に対する各株主の所有株式数の割合を示している。

2016年3月31日現在のDNBエイ・エス・エイの株主構成[1)]	所有株式数(千株)	持分割合(%)
ノルウェー政府/通商産業省	553,792	34.00
DNB貯蓄銀行基金	152,564	9.37
フォルケトリドフォンデト	93,085	5.71
フィデリティ・インターナショナル・リミテッド(FIL)	50,259	3.09
ブラックロック	39,203	2.41
MFSインベストメント・マネジメント	39,058	2.40
シュローダー・インベストメント	30,112	1.85
T.ロウ・プライス・グループ	26,510	1.63
ヴァンガード・グループ	22,428	1.38
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	21,193	1.30
ニュートン・インベストメント・マネジメント／BNYメロン	20,951	1.29
SAFEインベストメント・カンパニー	20,508	1.26
DNBアセット・マネジメント	18,305	1.12
KLPアセット・マネジメント	16,030	0.98
BNPパリバ・インベストメント／アルフレッド・ベルグ	15,721	0.97
ストアブランド・アセット・マネジメント	15,579	0.96
ヘンダーソン・グローバル・インベスターズ	15,048	0.92
ダンスケ・キャピタル	14,132	0.87
キャピタル・グループ	13,193	0.81
アーネスト・パートナーズ	13,178	0.81
大株主による所有株式総数	**1,190,848**	**73.11**
その他	437,951	26.89
合計	**1,628,799**	**100.00**

1）名義人口座における株式の所有者は、第三者の分析に基づき決定される。

２【配当政策】

配当政策 - DNBグループ

DNBグループの長期的な配当政策に変更はなく、配当性向は年間利益の約50%である。ただし、自己資本規制を強化するため、2013年度から2016年度までの間の配当性向は、約25%となる。

利益の配分 - 当行グループ

2015年度の当行の当期利益は、2014年度の18,458百万ノルウェー・クローネと比較して、20,638百万ノルウェー・クローネであった。取締役会は、当行からDNBエイ・エス・エイに対して5,000百万ノルウェー・クローネ(税引後)のグループ寄与をすることを提案した。

取締役会はまた、11,680百万ノルウェー・クローネ(税引後)に相当する16,000百万ノルウェー・クローネ(税引前)のグループ寄与を、DNBボーリ・クレジット・エイ・エスに割り当てることを提案する。同時に、当行はDNBボーリ・クレジット・エイ・エスから15,700百万ノルウェー・クローネのグループ寄与を受領する。当行は、4,020百万ノルウェー・クローネのグループ寄与純額をDNBボーリクレジット・エイ・エスから受領する。さらに、子会社のE6ロジクティック・エイ・エスに対する、11百万ノルウェー・クローネ(税引後)に相当する15百万ノルウェー・クローネのグループ寄与が提案された。残りの利益は、その他の株主資本に配分される。

2015年12月31日現在、当行グループの自己資本比率は17.9%であり、普通株式等Tier 1資本比率は14.3%であった。これに対し、当行の自己資本比率は19.3%であり、普通株式等Tier 1資本比率は15.1%であった。

３【株価の推移】

該当事項なし。

４【役員の状況】

取締役会

責務及び組織

取締役会は、当行の事業に関する計画及び予算を設定し、当行の財政状態についての情報を常に入手し、かつ当行の事業、会計及び資産及び負債の運用が十分な管理の対象となるようにする。上記の責務を遂行するため、取締役会は必要と考える場合に調査を行わなければならず、また、当行及びその業務全般の日々の運営も監督しなければならない。当行の定款に従い、取締役会は、最大4名の取締役で構成されなければならず、そのうち3名は株主総会により選任され、そのうち2名は従業員代表である。さらに、従業員は取締役会のオブザーバー1名を任命する権利を有する。取締役会の構成員は、最長2年の任期で選出される。取締役会の会長及び副会長は、最長2年を任期として定時株主総会により個別に選任される。現会長はアンネ・カリーネ・タヌム、現副会長はヤーレ・ベルゴである。2015年度において取締役会に支払われた報酬総額は、3,709,000ノルウェー・クローネであった。

当行の取締役会の構成は、以下のとおりである。

本書の日付現在、当行の取締役会は4名で構成され、女性の割合は50%である。

名前	職務上の住所	役職	任期	2015年度の報酬
アンネ・カリーネ・タヌム(女性)	ノルウェー王国 オスロ市 NO-0021	会長	2018年	958,000 ノルウェー・クローネ
ヤーレ・ベルゴ(男性)	ノルウェー王国 オスロ市 NO-0107 セントラム私書箱117	副会長	2018年	619,000 ノルウェー・クローネ
リリアン・ハットレム(女性)	ランガス2 1405 オデガルドスヴィンゲン2	取締役	2017年	324,000 ノルウェー・クローネ
キム・ワール(男性)	オスロ市 0111 ヴィカ 私書箱1273 オラフ フスガテ 5(9階)	取締役	2017年	307,000 ノルウェー・クローネ

当行は、上記の表に記載されている者の当行以外での主要な活動は、当行にとって重要なものであるとは考えていない。

当行はDNBエイ・エス・エイの100%子会社であるため、当行の取締役会の構成員はいずれも当行の株式を保有していない。

株主により選任されたメンバー

ヤーレ・ベルゴ氏(1945年3月18日生まれ)は、1960年代後半からノルゲス・バンクにおける様々な役職を歴任し、最終役職は2008年において、副総裁であった。その後、同氏は2010年末まで国際通貨基金(IMF)において理事代理を務めた。

ベルゴ氏は以前、ノルウェー銀行保証基金のビジネス・マネージャーであり、またオスロ証券取引所の取締役会のメンバーでもあった。同氏は、2002年の政府年金基金－グローバルの倫理委員会を含む、様々な委員会及び専門家グループのメンバーであった。

ベルゴ氏は、オスロ大学の経済学位を取得している。

アンネ・カリーネ・タヌム女史(1954年11月27日生まれ)は、1999年からDNBエイ・エス・エイの取締役である。同女史は以前、DnBホールディング、デン・ノルスク・バンク及びヴィタル・フォルシクリンの取締役であった。同女史は、ハウス・オブ・リトレチャー・ファウンデーション、キルデンIKS及びオスロ・キノ・エイ・エスの取締役会会長である。同女史は、東南ノルウェー地域保健局、カッペレン・ダム・エイ・エス、Tryエイ・エス、ヘニー・オンスタッド・アート・センター及びIRISの取締役である。

以前、同女史はノルウェー放送協会(NRK)の取締役会会長であり、ノルウェー国立オペラの取締役会副会長であり、また長年にわたってタヌム・エイ・エスのマネージング・ディレクター及びオーナーであった。

タヌム女史は、オスロ大学の法学位を取得している。

キム・ワール氏(1960年生まれ)は、未公開株式投資会社ストロムスタンゲン・エイ・エスの取締役会会長であり、同社の経営者である。同氏は創設者の一人であり、20年にわたって欧州の株式投資会社であるIKインベストメント・パートナーズのパートナーであった。ワール氏はまた、ロンドン及びニューヨークにおいて、米国の投資銀行であるゴールドマン・サックスでの経験も有している。

ワール氏は、異なる支店においていくつかの取締役会の構成員であった。同氏は、2008年に設立された基金であるヴォクストラの取締役会会長である。ヴォクストラは、東アフリカにおいて地域への投資を行い、地域開発を支援している。同氏はまた、UPMキミーン・コーポレーション、インターメディエイト・キャピタル・グループ・ピーエルシー及びカヴリフォンデットの取締役でもある。ワール氏は、ハーバード大学でMBAを取得している。

リリアン・クリスチャン・ハットレム女史(1972年生まれ)は、BIの経済学、会計学及びプロジェクト・マネジメントの学位を取得している。同女史は、1999年にスパーレバンケンNORのリテール・マーケット部門に顧客担当として入社し、2003年以降は常勤の管財人を務めている。2006年以降、同女史はDNBの組合代表を務めている。

グループ経営陣

最近の変更

2016年1月1日から、ノルウェーにおいて金融機関に関する新規制であり、とりわけ統治機関の変更を示唆する金融機関・金融グループ法が施行された。かかる規制に基づき、監督委員会及び管理委員会は廃止された。管理委員会の任務は内部監査機関及びその他の統治機関に移管された。監督委員会に替わる機関として、新規制ではコーポレート集会を設置する可能性が提供されている。コーポレート集会の設置の要否は、経営陣と従業員がともに決定する。DNBは、コーポレート集会を設置しないことを決定した。

新規制では、取締役会及びその構成員数に関する変更も示唆されている。法律の改正を受けて、DNB　エイ・エス・エイの取締役会は、当行の取締役の人数を4名(そのうち1名は従業員代表)に削減することを決定した。さらに、DNB　エイ・エス・エイの取締役会の構成員数は7名に削減され、そのうち5名は株主代表、2名は従業員代表である。

2015年12月31日まで、DNBグループ及び当行グループは、管理委員会及び監督委員会をいずれも設置していた。管理委員会の主な任務は、当行の活動がすべての適用ある法律、規制及び許認可並びに当行の定款及び当行の意思決定機関が採択した決議を確実に遵守するよう監視することであった。監督委員会の主な任務は、当行の取締役会及び最高経営責任者の管理を監督することであった。

責任及び組織

当行の経営管理チームは、12名で構成される。最高経営責任者は、取締役会の会議において選任され、当行の日々の経営について責任を負う。当行の経営に対する責任は、事業部門毎に割り当てられている。以下の表は、経営管理チームの各構成員について、氏名、現在の役職、任命年度及び職務上の住所を示している。

名前	職務上の住所	役職	任命年度	当行グループにおける職務
ルネ・ビェルク	オスロ市 NO-0021	グループ最高経営責任者	2007年	グループ最高経営責任者
オッター・エルツァイド	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2003年	マーケッツ部門部長
ハラルド・サーク‐ハンセン	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	大企業・国際部門部長
リフ・フィクスダール	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	IT・運用業務部門部長
ソルヴァイ・ヘレブスト	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2009年	人事部門部長
カリ・オルド・モーエン	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	プロダクト部門部長
トマス・ミドテイド	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	コーポレート・コミュニケーション部門部長
ビョルン・エリーク・ナス	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2008年	グループ財務部門部長
トム・ラトケ	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	ウェルス・マネジメント部門部長
トロンド・ベンテスチェン	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	パーソナル・バンキング・ノルウェー部門部長
シェルスティン・B・ブローテン	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	コーポレート・バンキング・ノルウェー部門部長
テリエ・テュルネス	オスロ市 NO-0021	グループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2015年	リスク・マネジメント部門部長

グループ経営陣には、固定の任期はない。

当行の経営陣の略歴

以下は、関連する経営陣としての専門知識及び経験並びに過去5年間において当行の経営陣が運営、経営若しくは監督の機関若しくはパートナーの構成員であるか又は構成員であった企業及びパートナーシップの名称を含む、当行の経営陣の略歴である(当行の子会社における取締役及び経営陣の役職は含まない。)。

ルネ・ビェルク　グループ最高経営責任者(1960年生まれ)

ビェルク氏は、2007年に、当行グループの最高経営責任者に就任した。同氏は、ハフスルンド・エイ・エス・エイの前社長兼最高経営責任者であり、またスキャンセム・インターナショナルの社長兼最高経営責任者を務めていた。ビェルク氏は、大企業において取締役職を歴任した。同氏はまた、オスロ市議会の財務理事及びノルウェーの石油エネルギー省の政務アドバイザーを務めた。ビェルク氏は、ノルウェー銀行協会の取締役会会長を務めている。同氏は、オスロ大学から経済学学位及びハーバード大学から行政学修士号を取得している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	**スタトイル・エイ・エス・エイ(コーポレート集会構成員)、スティペンディエンフォンドス E.ONルルガス(理事)、ドアステップ・エイ・エスの取締役会会長、フィナンスナーリンゲンス・サービスコントールFNSの取締役、フィナンスナーリンゲンス・フェレソルガニサションFNOの取締役、FNOサービスコントールの取締役**
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	**ハフスランド・エイ・エス・エイ(社長兼最高経営責任者)、ハフスランド・マークド・エイ・エス(取締役)、取締役会(取締役)、ハフスランド・ベンチャー・エイ・エス(取締役)、ハフスランド・シッケルヘット・エイ・エス(取締役)、トムラ・エイ・エス・エイ(取締役)、EBL(エネルジベドリフテネス・ランズフォレニング)(取締役)、RECエイ・エス・エイ(取締役)、NETエイ・エス(ノルディック・エクスチェンジャー・テクノロジー)(取締役)**

ビョルン・エリーク・ナス　最高財務責任者(1954年生まれ)

ナス氏は、2008年3月に、当行の最高財務責任者に就任した。それより前は、同氏は、アーカー・クヴァナ・エイ・エス・エイ、オルクラ・エイ・エス・エイ及びカールスバーグ・ブルワリーズ・エイ・エス(デンマーク)の業務執行副社長兼最高財務責任者であった。。ナス氏は、過去25年間にわたり、ノルウェー及び海外での豊富な経営職経験を有する。ナス氏は、ノルウェー経済経営大学を卒業し、米国のダーデン・ビジネス・スクールの経営プログラムを修了している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	オスロ・ボースVPSの選任委員会会長、エクスポートフィナンスの選任委員会委員
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	エイカー・クヴァナール・エイ・エス・エイ(最高財務責任者)、エイカー・ペンショーンズカッセ・エイ・エス(取締役会会長)、エイカー・インシュランス・エイ・エス(取締役会会長)、エイカー・クヴァナール・シェアード・サービシーズ・エイ・エス(取締役会会長)、エイカー・クヴァナール・オイル・アンド・ガス・グループ・エイ・エス(取締役会会長)、エイカー・ソリューションズ・エイ・エス(取締役会会長)、エイカーピーエルシー・グループ・エイ・エス(取締役)、エイカー・クヴァナールE&Cグループ・エイ・エス(取締役)、エイカー・クヴァナールE&Cヨーロッパ・エイ・エス(取締役会会長)、エイカー・クヴァナールE&Cアメリカス・エイ・エス(取締役会会長)

ハラルド・サーク-ハンセン　グループ副社長 - 大企業・国際部門(1965年生まれ)

サーク-ハンセン氏は、以前は海運・オフショア・物流部門(以下「SOL部門」という。)の部長を務めており、2013年1月に大企業・国際部門の部長に就任した。サーク-ハンセン氏は、1998年にDNBに入社し、SOL部門の様々な課の課長を歴任した。同氏は、これまでストルト-ニールセン・海運及びオドフェル・グループにおける経験を有している。サーク-ハンセン氏は、スターリング大学から経営学の学位(優等学位)を取得し、またINSEADフォンテーヌブローの上級経営プログラムを修了している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	クラッグス・ファミリエレガート(取締役)
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	DNB大企業・国際部門 - 海運(業務執行副社長)

オッター・エルツァイド　グループ業務執行副社長 - DNBマーケッツ部門(1965年生まれ)

エルツァイド氏は、2003年にDNBマーケッツ部門のグループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントに就任した。それより前は、DNBマーケッツ部門の部長及び副部長を務め、また以前の当行では為替／財務の分野で様々な他の役職を歴任していた。エルツァイド氏の職歴には、DnBボーリ・クレジット・エイ・エスの最高財務責任者及びリアル・クレジット・エイ・エスの財務部長として過ごした期間が含まれる。同氏は、バンケネス・シクリングスフォンドの取締役会会長及びヴェルディパピルフォレタケネス・シクリングスフォンドの取締役会副会長である。エルツァイド氏は、BIノルウェー経営ビジネススクールを卒業している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	オスロ・ボースVPSホールディング・エイ・エス・エイ(取締役)、デクストラ・アルテス・エイ・エス(取締役会副会長)、ヴェルディパピルフォレタケネス・シクリングスフォンド(取締役会副会長)、バンケネス・スィークリングスフォンド(取締役会会長)
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	オスロ・ボース・エイ・エス・エイ(取締役)

トム・ラトケ　業務執行副社長 - ウェルス・マネジメント部門(1956年生まれ)

ラトケ氏は、2013年1月にウェルス・マネジメント部門の部長に就任した。同氏は、これまで保険・アセットマネジメント部門の部長を務めていた。ラトケ氏は、DNBグループの子会社であるDNBリフスフォルシクリンの最高経営責任者であり、DNBアセット・マネジメント及びDNBフォルシクリンの取締役会会長を務めている。同氏は、それより前は、ヤンシディエNORの投資ファンド会社であるアヴァンセの常務取締役を務め、その前はヴェスタ及びIfスカーデ―フォルシクリンにおいて管理職を歴任していた。ラトケ氏は、スカンジナビア航空及びディノにおいても職務経験を有する。ラトケ氏は、BIノルウェー経営大学を卒業し、ウィスコンシン大学から経営学修士号を取得し、ハーバード大学の上級経営プログラムを修了している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	ノルスク・ティリッツマンの指名委員会委員、スタトイル・エイ・エス・エイ(取締役)
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	フォー・シーズン・ベンチャーV(取締役、諮問機関構成員)

ソルヴァイ・ヘレブスト　グループ業務執行副社長 - 人事部門(1967年生まれ)

ヘレブスト女史は、2009年4月1日に人事部門のグループエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントに就任した。その前は、ヘレブスト女史は、プロノバ・バイオファーマ・エイ・エス・エイの人事・広報部門副社長であった。同女史の過去の職歴には、テレノール・エイ・エス・エイ(コーポレートスタッフ人事部)及びBIノルウェー経営大学(経済学准教授)での数年間が含まれる。ヘレブスト女史は、ノルウェー生命科学大学から国際経済学博士号を、イリノイ大学から農業経済学修士号(マスター・オブ・サイエンス)を、BIノルウェー経営大学から経営学及び経済学の修士号(マスター・オブ・サイエンス)を取得している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	フィナンス・ノルゲ・ブランシェスティーレ・アルベイツシーヴィ(最高経営責任者)、グルヘイム・エイ・エス(副会長/最高経営責任者)
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	プロノバ・バイオファーマ・エイ・エス・エイ(人事・広報部門副社長)

シェルスティン・ブローテン　グループ業務執行副社長 - コーポレート・バンキング・ノルウェー部門
(1970年生まれ)

ブローテン女史は、オスロ市におけるSOL部門の部長を経て、2013年1月にコーポレート・バンキング・ノルウェー部門の部長に就任した。同女史は、SOL部門において、取引先関係担当マネージャー及び取引先関係担当シニア・マネージャーとして長年の経験を有している。同女史は、ハイドロ・アグリ・インターナショナルから、1999年にDNBに入社した。ブローテン女史は、ニース・ソフィア・アンティポリス高等商業学校から経営学の修士号を取得している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	なし
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	なし

リフ・フィクスダール　グループ業務執行副社長 - IT・運用業務部門(1965年生まれ)

フィクスダール女史は、2013年1月にIT・運用業務部門の部長に就任した。同女史は、これまで運用業務部門の部長を務め、運用業務及び総務において様々な重役の地位を歴任し、コーポレート・バンキング及び支払サービス部門においてバンク・プロダクション部長を務めていた。その前には、フィクスダール女史は、ユニオン・バンク・オブ・ノルウェー、ハンデルスバンケン及びフォクス・バンクにおいて顧客を対象とする役職を歴任していた。同女史は、トロンハイム・ビジネス・スクールから修士号を取得している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	スパーレバンクフォレニンゲン(副会長)、ドアステップ・エイ・エス(取締役)
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	なし

トロンド・ベンテスチェン　グループ業務執行副社長 - パーソナル・バンキング・ノルウェー部門(1970年生まれ)

ベンテスチェン氏は、2013年1月にパーソナル・バンキング・ノルウェー部門の部長に就任した。同氏は、これまでマーケティング・広報及びeビジネス部門の部長を務めていた。ベンテスチェン氏は、エキスパート・エイ・エス・エイのマーケティング及びコミュニケーション部門の部長を務め、またテレノールで広報担当兼コミュニケーション・アドバイザーとして勤務していたが、2009年にDNBに入社した。ベンテスチェン氏は、カリフォルニア州のテンプル大学からジャーナリズム及び政治学の文学士号を取得し、国防軍の訓練を受けている。

現在の取締役及び経営陣の役職：	ドアステップ・エイ・エス(取締役)
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	エキスパート・エイ・エス・エイ(グループ業務執行副社長)

カリ・オルド・モーエン　グループ業務執行副社長 - プロダクト部門(1969年生まれ)

オルド・モーエン女史は、2013年1月にプロダクト部門の部長に就任した。同女史は、これまでコーポレート・センターの部長を務めていた。オルド・モーエン女史は、2005年にDNBに入社するまで、財務省で副大臣を務めていた。さらに同女史は、マッキンゼー・アンド・カンパニーにおいてコンサルタントとして、また保守党会派のアドバイザー及び財務省予算局のコンサルタントとして勤務していた。オルド・モーエン女史は、ノルウェー経済大学を卒業し、カリフォルニア大学バークレー校から経営学修士号を取得している。

現在の取締役及び経営陣の役職：	セルマック・エイ・エス・エイ(指名委員会委員)
過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：	なし

トマス・ミドテイド　グループ業務執行副社長 - コーポレート・コミュニケーション部門(1974年生まれ)

ミドテイド氏は、2013年1月にコーポレート・コミュニケーション部門の部長に就任した。同氏は、これまで外部コミュニケーション部門の業務執行副社長として務めていた。ミドテイド氏は、スカンジナビア航空のコミュニケーション部門の部長を経て、2009年にDNBに入社した。同氏は、VISAノルウェーのコミュニケーション責任者として、またNRKのレポーターとして勤務していた。ミドテイド氏は、オスロ大学からジャーナリストの学位を取得している。

現在の取締役及び経営陣の役職：　なし

過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：　なし

テリエ・テュルネス　グループ業務執行副社長 - 2015年より最高リスク管理責任者(1963年生まれ)

テュルネス氏は、トロンドハイム・ビジネス・スクール及びノルウェー経営大学で学んだ。テュルネス氏は、DNBのバルト諸国事業の元部長及びDNBロンドン支店の責任者であり、それ以前はコーポレート・バンキング部門の製造業セクション及びエネルギー・セクションの双方を率いていた。1989年にDNBに入社した。

現在の取締役及び経営陣の役職：　なし

過去5年間に勤めた取締役及び経営陣の役職：　なし

当行グループのいずれの会社も、取締役会又は当行グループの従業員にとって通常の条件ではない当行の経営陣のいかなる構成員に対しても貸付又は有価証券の発行を行っていない。

当行グループは、上記「取締役会」、「当行の経営陣」の項目に挙げた各関係者の当行グループに対する義務と、それぞれの私益やその他の義務との間のいかなる利益相反の可能性も認識していない。

５【コーポレート・ガバナンスの状況等】

（１）【コーポレート・ガバナンスの状況】

コーポレート・ガバナンス

DNBの運営は、とりわけノルウェー会計法及びノルウェー企業統治実務規則に基づいている。

2015年度中、当行の取締役会は12回開催された。当行グループの資本増強及び金融サービス業界における外部パラメータの変動に関する議題に加え、当行グループの戦略、金融発展及びリスク管理に関する議題が主要議題であった。

DNBエイ・エス・エイの取締役会の分科委員会である監査委員会及びリスク管理委員会は、当行及び当行グループの年次決算及び報告書を審査した。

2016年1月1日から、当行の内部監査機関及びその他の運営機関は、すべての適用ある法律、規制及び認可並びに当行の定款及び当行の意思決定機関により採択された決議を確実に遵守するため、当行の活動の監督に責任を負うようになった。

取締役に対する報酬に関する詳細は、下記「第6－1－(1) 2015年12月31日に終了した事業年度の財務書類－注46」を参照のこと。

取締役会委員会

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、監査委員会、リスク管理委員会及び報酬委員会を設置した。当行グループの事業は、これらの委員会により管轄される。

監査委員会

監査委員会は、とりわけ当行の財務報告プロセスの監視、当行の取締役会、最高経営責任者及び当行の経営陣により設立された内部統制体制及びリスク管理体制の有効性の監視、並びに当行の内部監査機能の効率性の監視により、当行の取締役会の監督責任の遂行を補佐する。さらに、監査委員会は、年次連結財務書類の法定監査の把握、外部監査役の公平性及び独立性の審査及び監視、並びにとりわけ追加的業務の提供について責任を有する。また、監査委員会は、当行の内部監査機能に関する指導及び評価についても責任を有する。現在の監査委員会の委員は、2011年度の年次株主総会に伴う法定の取締役会において任命された、トーレ・オラフ・リメレイド、ヤーレ・ベルゴ、ベーリット・スヴェンセン及びヤーン・イーヴァル・セムリッチである。最高経営責任者及び監査執行役員は会合に出席し、議論に参加する権利を有するが、議決権は有しない。監査委員会の委員は、当行、当行の上級経営陣及び当行の主要株主から独立している。

リスク管理委員会

リスク管理委員会は、当行の内部統制体制及びリスク管理体制並びに内部監査を監視し、これらが有効に機能していることを確認する。さらに、同委員会は、当行の現在及び将来のリスク選好度及びリスク戦略を含む、当行のリスク・プロファイルに関して取締役会に助言を行う。取締役会への助言には、資本管理及び流動性管理、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク並びにコンプライアンス及びレピュテーションに関するリスク、並びに当行におけるその他のリスクに関する戦略が含まれる場合がある。同委員会は、取締役会による、当行のリスクの監視及び管理(経営陣によるリスク報告の審査及び評価を含む。)を補佐する。同委員会は、特に、自己資本構成(ICAAP)、リスク調整後(所要)自己資本及びリスク調整後利益の算定モデルの大幅な変更、並びにリスク限度枠及びリスク戦略の監視に重点を置いている。同委員会は、取締役会により選任された4名の委員から成り、その任期は最長で2年である。現在のリスク管理委員会の委員は、トーレ・オラフ・リメレイド、ヤーレ・ベルゴ、ベーリット・スヴェンセン及びヤーン・イーヴァル・セムリッチである。

報酬委員会

報酬委員会は、報酬に関する問題について取締役会に対する提案の作成及び提示に責任を負う。かかる提案を作成する際、報酬委員会は、当グループの株主、投資家及びその他の利害関係者の長期的な利益を考慮する。報酬委員会の職務には、当行の報酬方針並びに年次株主総会で決定される執行役員の報酬の基本的な指示及び指針に関する提案の作成が含まれる。さらに、報酬委員会は最高経営責任者、当行のその他の経営陣及び監査執行役員の報酬に関する提案を作成し、また最高経営責任者による提案に基づき、グループ・コンプライアンス・オフィサー及びグループ与信管理部門部長の報酬に関する提案を作成する。報酬委員会は、当行の報酬方針及び基本的な指示の適用について、グループ内部監査役による独立した審査並びに適切なグループ管理機能が参加する当行の報酬方針及び報酬制度の評価を通じて、少なくとも年1回追跡調査を行う。報酬委員会はまた、当行の経営陣の変動報酬プログラムについて及び執行役員の報酬に関する指針の適用について、毎年監視し、評価しかつ取締役会に報告する義務も負う。取締役会の要請により、報酬委員会はまた、取締役会が検討するためのその他の議題についても準備する。現在の報酬委員会の委員は、アンネ・カリーネ・タヌム、トーレ・オラフ・リメレイド、ビグジス・マーティンセン及びベーリット・スヴェンセンである。最高経営責任者は会合に出席するが、議決権は有しない。さらに、最高経営責任者は、自身の雇用条件の検討には参加しない。報酬委員会の委員は、当行及び当行の上級経営陣から独立している。すべての委員は、当行の主要株主から独立している。

監督委員会

監督委員会は、2015年12月31日付で廃止された。上記を参照のこと。

管理委員会

管理委員会は、2015年12月31日付で廃止された。上記を参照のこと。

（２）【監査報酬の内容等】

下記「第6－1－(1) 2015年12月31日に終了した事業年度の財務書類－注46」を参照のこと。

第６【経理の状況】

a.　本書記載の当行グループ及び当行の邦文の財務書類(以下「邦文の財務書類」という。)は、本書記載の2015年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類(英語)を翻訳したものである。本書記載の原文の財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び当行の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採用された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)に準拠して作成されている。当行の個別財務書類は、ノルウェー財務省の年次計算書類に関する規則の、IFRSの使用に関する第1条の6の規定(以下「ノルウェーIFRS規則」という。)に準拠して作成されている。また、DNBグループ及び当行の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、ノルウェーIFRS規則と日本の相違点については、下記「第6－4 ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

b.　当行グループと当行の原文の財務書類は、ノルウェーにおける独立監査人であるアーンスト・アンド・ヤング・エイ・エス(Ernst & Young AS)の監査を受けており、独立監査人の2016年3月16日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりアーンスト・アンド・ヤング・エイ・エスの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

c.　日本円への換算及び「第6－2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6－4 ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

d.　邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2016年6月1日(日本時間)現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1ノルウェー・クローネ＝13.20円のノルウェー・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているノルウェー・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、ノルウェー・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

１【財務書類】

（１）【年次財務書類】

2015年12月31日に終了した事業年度の財務書類

損益計算書

DNBバンク　エイ・エス・エイ				DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	注	2015年度	2014年度
41,906	38,287	受取利息合計	17	57,793	61,682
(20,048)	(14,072)	支払利息合計	17	(22,258)	(29,074)
21,859	**24,215**	**純利息収入**	17	**35,535**	**32,607**
6,112	6,220	受取手数料等	19	8,694	8,148
(2,186)	(2,676)	支払手数料等	19	(2,737)	(2,258)
5,963	3,964	公正価値で測定される金融商品に係る純利得	20	8,704	5,404
		持分法による投資からの利益	35	(72)	226
		投資不動産に係る純利得		269	82
8,811	9,786	その他の収益		2,051	2,519
18,699	**17,294**	**その他の営業収益純額**		**16,909**	**14,122**
40,558	**41,509**	**収益合計**		**52,444**	**46,729**
(8,394)	(7,245)	給与その他の人件費	21	(9,140)	(10,095)
(6,327)	(6,591)	その他の費用	22	(7,892)	(7,714)
(1,986)	(2,035)	固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損	23	(2,159)	(2,028)
(16,708)	**(15,871)**	**営業費用合計**		**(19,191)**	**(19,836)**
23,850	**25,638**	**減損前の税引前営業利益**		**33,253**	**26,893**
233	91	固定資産及び無形資産に係る純利得		45	52
(1,725)	(1,638)	貸出金及び保証に係る減損	9，10	(2,270)	(1,639)
22,358	**24,090**	**税引前営業利益**		**31,028**	**25,306**
(3,900)	(3,452)	法人所得税費用	25	(7,755)	(6,174)
		売却目的保有の事業による利益（税引後）		(51)	(22)
18,458	**20,638**	**当期利益**		**23,222**	**19,110**
18,458	20,264	株主帰属分		22,848	19,110
	374	その他Tier1資本の所有者帰属分		374	
18,458	**20,638**	**当期利益**		**23,222**	**19,110**
100.78	112.69	1株当たり利益/希薄化後利益（ノルウェー・クローネ）		126.79	104.34
		売却目的保有の事業に対する1株当たり利益（ノルウェー・クローネ）		(0.28)	(0.12)
100.78	112.69	売却目的保有の事業を除いた1株当たり利益（ノルウェー・クローネ）		127.07	104.46

DNBバンク　エイ・エス・エイ				DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万円）*	注	2015年度	2014年度
553,159	505,388	受取利息合計	17	762,868	814,202
(264,634)	(185,750)	支払利息合計	17	(293,806)	(383,777)
288,539	**319,638**	**純利息収入**	17	**469,062**	**430,412**
80,678	82,104	受取手数料等	19	114,761	107,554
(28,855)	(35,323)	支払手数料等	19	(36,128)	(29,806)
78,712	52,325	公正価値で測定される金融商品に係る純利得	20	114,893	71,333
		持分法による投資からの利益	35	(950)	2,983
		投資不動産に係る純利得		3,551	1,082
116,305	129,175	その他の収益		27,073	33,251
246,827	**228,281**	**その他の営業収益純額**		**223,199**	**186,410**
535,366	**547,919**	**収益合計**		**692,261**	**616,823**
(110,801)	(95,634)	給与その他の人件費	21	(120,648)	(133,254)
(83,516)	(87,001)	その他の費用	22	(104,174)	(101,825)
(26,215)	(26,862)	固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損	23	(28,499)	(26,770)
(220,546)	**(209,497)**	**営業費用合計**		**(253,321)**	**(261,835)**
314,820	**338,422**	**減損前の税引前営業利益**		**438,940**	**354,988**
3,076	1,201	固定資産及び無形資産に係る純利得		594	686
(22,770)	(21,622)	貸出金及び保証に係る減損	9，10	(29,964)	(21,635)
295,126	**317,988**	**税引前営業利益**		**409,570**	**334,039**
(51,480)	(45,566)	法人所得税費用	25	(102,366)	(81,497)
		売却目的保有の事業による利益（税引後）		(673)	(290)
243,646	**272,422**	**当期利益**		**306,530**	**252,252**
243,646	267,485	株主帰属分		301,594	252,252
	4,937	その他Tier1資本の所有者帰属分		4,937	
243,646	**272,422**	**当期利益**		**306,530**	**252,252**
1,330	1,488	1株当たり利益/希薄化後利益（円）		1,674	1,377
		売却目的保有の事業に対する1株当たり利益（円）		(4)	(2)
1,330	1,488	売却目的保有の事業を除いた1株当たり利益（円）		1,677	1,379

包括利益計算書

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
18,458	**20,638**	**当期利益**	**23,222**	**19,110**
(1,812)	615	数理計算上の差異、税引後	592	(1,877)
(1,812)	615	純損益に組替調整されないその他の包括利益、税引後	592	(1,877)
460	238	在外営業活動体の活動から生ずる換算差額、税引後	9,618	7,145
		純投資ヘッジ、税引後	(6,203)	(4,526)
		持分法による投資からのその他の包括利益*1)*	889	
		後に純損益に組替調整される可能性がある		
460	238	その他の包括利益、税引後	4,304	2,619
(1,352)	**853**	**当期その他の包括利益**	**4,896**	**742**
17,106	**21,492**	**当期包括利益**	**28,118**	**19,851**

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万円）*	2015年度	2014年度
243,646	**272,422**	**当期利益**	**306,530**	**252,252**
(23,918)	8,118	数理計算上の差異、税引後	7,814	(24,776)
(23,918)	8,118	純損益に組替調整されないその他の包括利益、税引後	7,814	(24,776)
6,072	3,142	在外営業活動体の活動から生ずる換算差額、税引後	126,958	94,314
		純投資ヘッジ、税引後	(81,880)	(59,743)
		持分法による投資からのその他の包括利益*1)*	11,735	
		後に純損益に組替調整される可能性がある		
6,072	3,142	その他の包括利益、税引後	56,813	34,571
(17,846)	**11,260**	**当期その他の包括利益**	**64,627**	**9,794**
225,799	**283,694**	**当期包括利益**	**371,158**	**262,033**

1)　DNBは、Visa Norgeへの加盟を通じて Visa Europe の間接的な所有持分を有している。2015年12月31日現在のVisa Europeの持分の評価に関連し、889百万ノルウェー・クローネの利得がその他の包括利益に認識されていた。その他の包括利益の中の価値の増加は、実現日に、純損益の中で「持分法による投資からの利益」として計上される。注記35を参照。

貸借対照表

DNBバンク　エイ・エス・エイ				DNBバンク　グループ	
2014年 12月31日 現在	2015年 12月31日 現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	注	2015年 12月31日 現在	2014年 12月31日 現在
		資産			
53,505	16,004	現金及び中央銀行預け金	26，27，28	19,317	58,505
608,036	630,700	金融機関向貸出金及び預け金	6，7，26，27，28	297,457	355,577
723,456	705,532	顧客向貸出金	6，7，26，27，28	1,531,932	1,447,465
211,746	210,062	公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	26，28，30	207,063	187,765
9,205	7,504	株式	26，28，30，31	8,794	9,709
248,768	213,797	デリバティブ	15，26，28	203,273	236,389
31,927	19,162	満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	26，27，33	19,162	31,927
		投資不動産	34	2,333	4,743
975	975	持分法による投資	35	4,091	3,275
79,266	120,473	子会社への投資	36	0	0
3,794	3,675	無形資産	37	4,176	4,315
2,995	6,320	繰延税金資産	25	1,138	1,197
7,390	7,480	固定資産	38	8,059	8,128
		売却目的保有の資産		200	692
16,581	23,735	その他資産	40	8,608	12,301
1,997,646	**1,965,419**	**資産合計**		**2,315,603**	**2,361,990**
		負債及び資本			
268,531	262,330	金融機関からの借用金及び預金	26，27，28	161,267	214,211
903,033	896,488	顧客預金	26，27，28，41	957,322	951,049
274,846	240,518	デリバティブ	15，26，28	154,878	186,230
366,205	340,099	発行済負債証券	26，27，28，42	806,810	813,909
537	703	未払法人税	25	2,493	1,920
25	12	繰延税金	25	6,461	4,537
21,104	39,438	その他負債	26，44	18,409	12,840
		売却目的保有の負債		71	100
1,003	1,101	引当金		1,225	1,133
5,322	2,246	年金債務	24	2,301	5,434
29,319	30,953	劣後債	26，27，28，43	30,953	29,319
1,869,926	**1,813,886**	**負債合計**		**2,142,191**	**2,220,681**
18,314	18,314	株主資本		18,314	18,314
19,895	19,895	資本剰余金		20,611	20,611
	8,353	その他Tier１資本		8,353	
89,511	104,970	その他の資本		126,133	102,383
127,720	**151,533**	**資本合計**	45	**173,412**	**141,309**
1,997,646	**1,965,419**	**負債及び資本合計**		**2,315,603**	**2,361,990**
		オフ・バランスシート取引、偶発事象	48		

DNBバンク　エイ・エス・エイ				DNBバンク　グループ	
2014年 12月31日 現在	2015年 12月31日 現在	*（単位：百万円）*	注	2015年 12月31日 現在	2014年 12月31日 現在
		資産			
706,266	211,253	現金及び中央銀行預け金	26，27，28	254,984	772,266
8,026,075	8,325,240	金融機関向貸出金及び預け金	6，7，26，27，28	3,926,432	4,693,616
9,549,619	9,313,022	顧客向貸出金	6，7，26，27，28	20,221,502	19,106,538
2,795,047	2,772,818	公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	26，28，30	2,733,232	2,478,498
121,506	99,053	株式	26，28，30，31	116,081	128,159
3,283,738	2,822,120	デリバティブ	15，26，28	2,683,204	3,120,335
421,436	252,938	満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	26，27，33	252,938	421,436
		投資不動産	34	30,796	62,608
12,870	12,870	持分法による投資	35	54,001	43,230
1,046,311	1,590,244	子会社への投資	36	0	0
50,081	48,510	無形資産	37	55,123	56,958
39,534	83,424	繰延税金資産	25	15,022	15,800
97,548	98,736	固定資産	38	106,379	107,290
		売却目的保有の資産		2,640	9,134
218,869	313,302	その他資産	40	113,626	162,373
26,368,927	**25,943,531**	**資産合計**		**30,565,960**	**31,178,268**
		負債及び資本			
3,544,609	3,462,756	金融機関からの借用金及び預金	26，27，28	2,128,724	2,827,585
11,920,036	11,833,642	顧客預金	26，27，28，41	12,636,650	12,553,847
3,627,967	3,174,838	デリバティブ	15，26，28	2,044,390	2,458,236
4,833,906	4,489,307	発行済負債証券	26，27，28，42	10,649,892	10,743,599
7,088	9,280	未払法人税	25	32,908	25,344
330	158	繰延税金	25	85,285	59,888
278,573	520,582	その他負債	26，44	242,999	169,488
		売却目的保有の負債		937	1,320
13,240	14,533	引当金		16,170	14,956
70,250	29,647	年金債務	24	30,373	71,729
387,011	408,580	劣後債	26，27，28，43	408,580	387,011
24,683,023	**23,943,295**	**負債合計**		**28,276,921**	**29,312,989**
241,745	241,745	株主資本		241,745	241,745
262,614	262,614	資本剰余金		272,065	272,065
	110,260	その他Tier１資本		110,260	
1,181,545	1,385,604	その他の資本		1,664,956	1,351,456
1,685,904	**2,000,236**	**資本合計**	45	**2,289,038**	**1,865,279**
26,368,927	**25,943,531**	**負債及び資本合計**		**30,565,960**	**31,178,268**
		オフ・バランスシート取引、偶発事象	48		

持分変動計算書

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	株主資本	資本剰余金	その他Tier１資本	数理計算上の差異	外貨換算準備金	その他の資本	資本合計
2013年12月31日現在の残高	**18,314**	**19,895**		**(929)**	**(71)**	**77,381**	**114,591**
当期利益						18,458	18,458
その他の包括利益				(1,812)	460		(1,352)
当期包括利益				(1,812)	460	18,458	17,106
収益に計上された外貨換算準備金					25		25
DNBエイ・エス・エイに対する2014年度のグループ配当						(4,001)	(4,001)
2014年12月31日現在の残高	**18,314**	**19,895**		**(2,741)**	**414**	**91,838**	**127,720**
当期利益			374			20,264	20,638
その他の包括利益				615	238		853
当期包括利益			374	615	238	20,264	21,492
廃止された確定給付年金[1)]				1,667		(1,667)	
その他Tier１資本の発行			8,053			(31)	8,023
その他Tier１資本に係る利払			(75)				(75)
貸出ポートフォリオの子会社への譲渡（継続）						(627)	(627)
DNBエイ・エス・エイに対する2015年度のグループ配当						(5,000)	(5,000)
2015年12月31日現在の残高	**18,314**	**19,895**	**8,353**	**(459)**	**652**	**104,777**	**151,533**

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	株主資本	資本剰余金	その他Tier１資本	数理計算上の差異	外貨換算準備金	純投資ヘッジ準備金	その他の資本	資本合計
2013年12月31日現在の残高	**18,314**	**20,611**		**(957)**	**1,412**	**(1,119)**	**88,146**	**126,407**
当期利益							19,110	19,110
その他の包括利益				(1,877)	7,145	(4,526)		742
当期包括利益				(1,877)	7,145	(4,526)	19,110	19,851
収益に計上された外貨換算準備金					80		(29)	51
DNBエイ・エス・エイに対する2014年度のグループ配当							(5,000)	(5,000)
2014年12月31日現在の残高	**18,314**	**20,611**		**(2,834)**	**8,637**	**(5,645)**	**102,226**	**141,309**
当期利益			374				22,848	23,222
その他の包括利益				592	9,618	(6,203)	889	4,896
当期包括利益			374	592	9,618	(6,203)	23,736	28,118
廃止された確定給付年金[1)]				1,763			(1,763)	
収益に計上された外貨換算準備金					34		4	38
その他Tier１資本の発行			8,053				(31)	8,023
その他Tier１資本に係る利払			(75)					(75)
DNBエイ・エス・エイに対する2015年度のグループ配当							(4,001)	(4,001)
2015年12月31日現在の残高	**18,314**	**20,611**	**8,353**	**(479)**	**18,289**	**(11,848)**	**120,171**	**173,412**

1)　2015年第4四半期に、DNBはグループの年金制度を、2015年12月31日から確定給付型から確定拠出型へと変更することを決定した。この変更には、当グループのクローズド型確定給付制度の加入者であったノルウェー国内の従業員の大半が含まれる。

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万円）	株主資本	資本剰余金	その他Tier１資本	数理計算上の差異	外貨換算準備金	その他の資本	資本合計
2013年12月31日現在の残高	**241,745**	**262,614**		**(12,263)**	**(937)**	**1,021,429**	**1,512,601**
当期利益						243,646	243,646
その他の包括利益				(23,918)	6,072		(17,846)
当期包括利益				(23,918)	6,072	243,646	225,799
収益に計上された外貨換算準備金					330		330
DNBエイ・エス・エイに対する2014年度のグループ配当						(52,813)	(52,813)
2014年12月31日現在の残高	**241,745**	**262,614**		**(36,181)**	**5,465**	**1,212,262**	**1,685,904**
当期利益			4,937			267,485	272,422
その他の包括利益				8,118	3,142		11,260
当期包括利益			4,937	8,118	3,142	267,485	283,694
廃止された確定給付年金[1)]				22,004		(22,004)	
その他Tier１資本の発行			106,300			(409)	105,904
その他Tier１資本に係る利払			(990)				(990)
貸出ポートフォリオの子会社への譲渡（継続）						(8,276)	(8,276)
DNBエイ・エス・エイに対する2015年度のグループ配当						(66,000)	(66,000)
2015年12月31日現在の残高	**241,745**	**262,614**	**110,260**	**(6,059)**	**8,606**	**1,383,056**	**2,000,236**

DNBバンク グループ

（単位：百万円）	株主資本	資本剰余金	その他Tier１資本	数理計算上の差異	外貨換算準備金	純投資ヘッジ準備金	その他の資本	資本合計
2013年12月31日現在の残高	**241,745**	**272,065**		**(12,632)**	**18,638**	**(14,771)**	**1,163,527**	**1,668,572**
当期利益							252,252	252,252
その他の包括利益				(24,776)	94,314	(59,743)		9,794
当期包括利益				(24,776)	94,314	(59,743)	252,252	262,033
収益に計上された外貨換算準備金					1,056		(383)	673
DNBエイ・エス・エイに対する2014年度のグループ配当							(66,000)	(66,000)
2014年12月31日現在の残高	**241,745**	**272,065**		**(37,409)**	**114,008**	**(74,514)**	**1,349,383**	**1,865,279**
当期利益			4,937				301,594	306,530
その他の包括利益				7,814	126,958	(81,880)	11,735	64,627
当期包括利益			4,937	7,814	126,958	(81,880)	313,315	371,158
廃止された確定給付年金[1)]				23,272			(23,272)	
収益に計上された外貨換算準備金					449		53	502
その他Tier１資本の発行			106,300				(409)	105,904
その他Tier１資本に係る利払			(990)					(990)
DNBエイ・エス・エイに対する2015年度のグループ配当							(52,813)	(52,813)
2015年12月31日現在の残高	**241,745**	**272,065**	**110,260**	**(6,323)**	**241,415**	**(156,394)**	**1,586,257**	**2,289,038**

1)　2015年第4四半期に、DNBはグループの年金制度を、2015年12月31日から確定給付型から確定拠出型へと変更することを決定した。この変更には、当グループのクローズド型確定給付制度の加入者であったノルウェー国内の従業員の大半が含まれる。

キャッシュ・フロー計算書

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
		営業活動		
(13,240)	50,461	顧客向貸出金に係る純受取/支払額	(32,213)	(49,290)
31,586	30,885	顧客からの利息の受取額	51,863	55,209
15,685	(44,221)	顧客預金の純受取/支払額	(34,447)	18,692
(14,481)	(10,485)	顧客に対する利息の支払額	(7,475)	(14,171)
(225,502)	(20,697)	金融機関向貸出金に係る純支払額	3,917	(210,787)
4,616	3,870	金融機関からの利息の受取額	1,617	1,785
(2,199)	(1,558)	金融機関に対する利息の支払額	(1,355)	(2,119)
97,652	16,386	投資又はトレーディング目的で保有する金融資産の売却代金の純受取/支払額	(16,600)	63,856
5,757	5,080	債券及びコマーシャル・ペーパーに関する利息の受取額	4,592	4,962
3,932	3,553	手数料の純受取額	5,965	5,880
(16,141)	(16,346)	営業関連の支払額	(19,210)	(20,037)
(1,733)	(800)	税金の支払額	(2,473)	(1,903)
11,643	9,595	その他の受取額	5,433	5,554
(102,423)	**25,723**	**営業活動によるキャッシュ・フロー**	**(40,387)**	**(142,368)**
		投資活動		
(1,978)	(1,866)	固定資産の取得に係る純支払額	(1,853)	(2,133)
		投資不動産に係る純受取額	2,833	566
463	223	長期投資株式の売却に係る受取額	76	463
(3,754)	(33,124)	長期投資株式の取得に係る支払額		(50)
164	104	長期投資株式に係る配当の受取額	6	164
(5,105)	**(34,662)**	**投資活動によるキャッシュ・フロー**	**1,062**	**(989)**
		財務活動		
1,409,986	3,072,165	債券及びコマーシャル・ペーパーの発行による収入（注42参照）	3,142,451	1,461,093
(1,412,585)	(3,110,990)	債券及びコマーシャル・ペーパーの償還支払による支出（注42参照）	(3,145,857)	(1,423,956)
(3,400)	(5,097)	債券及びコマーシャル・ペーパーに係る利息の支払額	(15,129)	(12,511)
	3,805	劣後債の発行による調達（注43参照）	3,805	
	(4,604)	劣後債の償還額（注43参照）	(4,604)	
(1,053)	(1,027)	劣後債に係る利息の支払額	(1,029)	(1,053)
	8,023	その他Tier１資本の発行による収入	8,023	
	(75)	その他Tier１資本に係る利息の支払額	(75)	
(11,840)	(4,729)	配当金/グループ配当の支払/受取額	(4,001)	(6,944)
(18,891)	**(42,529)**	**財務活動によるキャッシュ・フロー**	**(16,415)**	**16,629**
17,819	**13,547**	**現金及び現金同等物に係る為替変動の影響**	**14,622**	**19,269**
(108,601)	**(37,921)**	**ネット・キャッシュ・フロー**	**(41,118)**	**(107,460)**
166,406	57,805	１月１日現在の現金残高	64,312	171,771
(108,601)	(37,921)	現金の純支払額	(41,118)	(107,460)
57,805	19,884	期末現金残高*）	23,194	64,312
		＊）うち、		
53,505	*16,004*	*現金及び中央銀行預け金*	*19,317*	*58,505*
4,300	*3,880*	*金融機関預け金（要求払い）1)*	*3,876*	*5,807*

1）貸借対照表の「金融機関向貸出金及び預け金」に計上されている。

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万円）*	2015年度	2014年度
		営業活動		
(174,768)	666,085	顧客向貸出金に係る純受取/支払額	(425,212)	(650,628)
416,935	407,682	顧客からの利息の受取額	684,592	728,759
207,042	(583,717)	顧客預金の純受取/支払額	(454,700)	246,734
(191,149)	(138,402)	顧客に対する利息の支払額	(98,670)	(187,057)
(2,976,626)	(273,200)	金融機関向貸出金に係る純支払額	51,704	(2,782,388)
60,931	51,084	金融機関からの利息の受取額	21,344	23,562
(29,027)	(20,566)	金融機関に対する利息の支払額	(17,886)	(27,971)
1,289,006	216,295	投資又はトレーディング目的で保有する金融資産の売却代金の純受取/支払額	(219,120)	842,899
75,992	67,056	債券及びコマーシャル・ペーパーに関する利息の受取額	60,614	65,498
51,902	46,900	手数料の純受取額	78,738	77,616
(213,061)	(215,767)	営業関連の支払額	(253,572)	(264,488)
(22,876)	(10,560)	税金の支払額	(32,644)	(25,120)
153,688	126,654	その他の受取額	71,716	73,313
(1,351,984)	**339,544**	**営業活動によるキャッシュ・フロー**	**(533,108)**	**(1,879,258)**
		投資活動		
(26,110)	(24,631)	固定資産の取得に係る純支払額	(24,460)	(28,156)
		投資不動産に係る純受取額	37,396	7,471
6,112	2,944	長期投資株式の売却に係る受取額	1,003	6,112
(49,553)	(437,237)	長期投資株式の取得に係る支払額		(660)
2,165	1,373	長期投資株式に係る配当の受取額	79	2,165
(67,386)	**(457,538)**	**投資活動によるキャッシュ・フロー**	**14,018**	**(13,055)**
		財務活動		
18,611,815	40,552,578	債券及びコマーシャル・ペーパーの発行による収入（注42参照）	41,480,353	19,286,428
(18,646,122)	(41,065,068)	債券及びコマーシャル・ペーパーの償還支払による支出（注42参照）	(41,525,312)	(18,796,219)
(44,880)	(67,280)	債券及びコマーシャル・ペーパーに係る利息の支払額	(199,703)	(165,145)
	50,226	劣後債の発行による調達（注43参照）	50,226	
	(60,773)	劣後債の償還額（注43参照）	(60,773)	
(13,900)	(13,556)	劣後債に係る利息の支払額	(13,583)	(13,900)
	105,904	その他Tier１資本の発行による収入	105,904	
	(990)	その他Tier１資本に係る利息の支払額	(990)	
(156,288)	(62,423)	配当金/グループ配当の支払/受取額	(52,813)	(91,661)
(249,361)	**(561,383)**	**財務活動によるキャッシュ・フロー**	**(216,678)**	**219,503**
235,211	**178,820**	**現金及び現金同等物に係る為替変動の影響**	**193,010**	**254,351**
(1,433,533)	**(500,557)**	**ネット・キャッシュ・フロー**	**(542,758)**	**(1,418,472)**
2,196,559	763,026	１月１日現在の現金残高	848,918	2,267,377
(1,433,533)	(500,557)	現金の純支払額	(542,758)	(1,418,472)
763,026	262,469	期末現金残高*）	306,161	848,918
		＊）うち、		
706,266	*211,253*	*現金及び中央銀行預け金*	*254,984*	*772,266*
56,760	*51,216*	*金融機関預け金（要求払い）1)*	*51,163*	*76,652*

1）貸借対照表の「金融機関向貸出金及び預け金」に計上されている。

キャッシュ・フロー計算書は、期中における現金及び現金同等物の受取と支払を示している。この計算書は、直接法に準拠して作成している。キャッシュ・フローは、営業活動、投資活動及び財務活動に分類されている。貸借対照表の項目は為替変動の影響が調整されている。現金は、現金及び中央銀行預け金、並びに金融機関向預け金（要求払い）と定義されている。

次へ

注１　会計方針

会社情報

DNBバンク　エイ・エス・エイはDNBエイ・エス・エイの子会社で、DNBエイ・エス・エイはオスロ証券取引所（Oslo Børs）に上場しているノルウェーの公開有限責任会社である。2015年度の連結財務諸表は2016年３月16日に取締役会により承認された。

当行グループは、ノルウェー国内外のリテール市場及びコーポレート市場において、銀行業務及び証券業務と投資業務を行っている。

当行グループ本店の住所は、Dronning Eufemias gate 30, Bj01FFrvika, Oslo, Norwayである。

作成基準

DNBバンク グループは、国際会計基準審議会（「IASB」）によって公表され、欧州連合（「EU」）により承認された国際財務報告基準（「IFRSs」）に準拠して、2015年度連結財務諸表を作成している。

DNBバンク　エイ・エス・エイは、ノルウェー財務省の年次計算書類に関する規則の、IFRSの使用に関する第１条の６の規定（「ノルウェーIFRS規則」）に準拠して個別財務諸表を作成した。これは、認識と測定がIFRSに準拠していることを意味している。唯一の例外は、ノルウェーIFRS規則では、子会社における予定配当金額及び予定グループ配当金額を収益として認識し、取締役会の予定配当金額と予定グループ配当金額を貸借対照表日現在の負債として認識することが認められているという点である。IFRSに従った場合には、株主総会で承認されるまでは、配当金は株主資本として表示されなければならない。DNBバンク　エイ・エス・エイは、IFRSに従って開示情報を表示している。

連結財務諸表は取得原価主義に基づいているが、公正価値で測定される金融資産及び金融負債及び投資不動産に関しては、例外として除外されている。連結財務諸表はノルウェー・クローネ建てで表示されている。別途指定がある場合を除き、すべての金額は百万単位に四捨五入されている。

当行グループの連結貸借対照表は、主として資産及び負債の流動性評価に基づく配列で表示されている。

連結

DNBバンク　エイ・エス・エイ（以下「DNBバンク」又は「当行グループ」という。）の連結財務諸表には、DNBバンク及び子会社が含まれている。

子会社の所有持分を連結する場合には首尾一貫した会計方針が適用されており、連結財務諸表は親会社で使用されているものと同じ報告期間をベースにしている。

連結財務諸表を作成する場合、グループ内の内部取引及び関連残高は、グループの事業ユニット間取引に係る損益とともに消去される。

子会社

子会社とは、DNBバンクが直接的又は間接的に支配する会社をいう。会社に対する支配は、当該会社への関与により当行グループがさらされている変動リターンに影響を及ぼす目的でパワーを行使する当行グループの能力により裏付けされる。議決権に関する場合、他の投資者が関連性のある活動を一方的に指図する実質上の能力を有するという証拠がある場合を除き、当行グループによる直接的又は間接的な所有が会社の議決権の50%を上回る場合に、支配しているとみなしている。当行グループの所有が議決権の50%未満である会社の場合、他に事実上の支配を示す要因があるか否かの評価を行う。子会社は、支配が獲得された日から支配が終了する日まで連結される。

関連会社

関連会社とはDNBバンクが重要な影響力を保有する会社をいう。この重要な影響力とは、会社の財務方針及び営業方針の決定に加わる権限があっても、その会社を支配又は共同支配しないものをいう。当行グループが他の会社の議決権株式又は第一次自己資本の20%から50%を保有する場合、DNBバンクには重要な影響力があるとみなしている。

連結財務諸表において、関連会社は持分法により認識されている。投資は取得時には取得原価で認識され、その後の変動については当行グループが所有する関連会社の持分割合に従って調整される。のれんは取得原価に含まれる。当行グループの損益割合は損益計算書において認識され、損益計算書に反映されていない持分のその他の変動と併せて貸借対照表の投資の取得原価に加算される。当該投資の帳簿価額がマイナスとなる場合は、損失に対する当行グループの割合は損益計算書に反映されない。但し、当行グループが関連会社の債務の引受又は保証の発行を行っている場合はその限りではない。

各報告期間末に、当行グループは減損の兆候の有無を検討する。かかる兆候がある場合には、当該投資の減損テストが実施される。当該投資の帳簿価額は回収可能価額（売却費用を差し引いた公正価値と、使用価値のいずれか高い価額）と比較される。必要に応じ、帳簿価額は回収可能価額まで評価減が行われることになる。

当行グループと関連会社の間で行われた取引に係る未実現利益に対する当行グループの持分は消去される。当該取引が譲渡資産の減損を示していない場合に限り、同じことが未実現損失にも適用される。

外貨建取引の換算

当行グループの連結財務諸表における表示通貨は、ノルウェー・クローネである。当行グループの親会社であるDNBバンク　エイ・エス・エイの機能通貨は、ノルウェー・クローネである。他の機能通貨を使用している海外支店及び子会社の貸借対照表項目については、貸借対照表日の実勢為替レートで表示通貨であるノルウェー・クローネに換算され、損益項目については取引日の為替レートで換算される。為替レートの変動により生じた純資産の変動は、その他の包括利益に認識される。

外貨建ての貨幣性資産及び負債は、貸借対照表日の実勢為替レートで当該事業体の機能通貨に換算される。取引日と貸借対照表日の為替レート変動により生じたそれらの資産の帳簿価額の変動は、損益計算書において認識される。

セグメント情報

DNBバンク における財務ガバナンスは異なる顧客セグメントごとに対応している。顧客関係とセグメント別の利益率をフォローアップすることは、戦略上の優先順位を定め、当行グループの経営資源の配分を決定するに当たって重要な二大要素である。さまざまなセグメントに関して報告された計数は、個別のセグメントに対する、当行グループの商品及びサービスの売上総額を反映している。

セグメント情報は、経営動向を評価しリソースの配分を決定するために当行グループ経営陣（最高経営意思決定機関）への内部財務報告に基づいて作成されている。事業セグメントに関する計数は、DNB バンクの管理モデルと当行グループの会計方針に基づいている。計数の決定には、多数の仮定、見積り及び判断が充てられている。

DNBの管理モデルによれば、事業セグメントは独立したプロフィット・センターとして、割り当てられた資本に求められる税引後利益及び収益目標の達成に全面的な責任を負っている。当行グループのすべての顧客向業務は、関連する貸借対照表項目、収益及び費用とともに、事業セグメントごとに配賦されている。

事業セグメントの過剰流動性及び流動性不足については、市場並みの条件で銀行の資金部門に対する預託又は資金部門からの借入で対応している。この場合の金利は、期間及び当行グループの財政状態に基づいて決定される。

複数の事業セグメントが協力して顧客に金融サービスを提供する場合、社内間の授受は市場価格に基づいて行われる。

グループ・サービス及びスタッフ部門により提供されたサービスは、サービス契約に従って事業セグメントに費用が計上される。事業セグメントの活動に間接的に連動している共通費用は、配賦算式に基づいて当該事業セグメントの勘定に計上される。

事業セグメントの戦略的業務に関係ないいくつかの重要な職務とその活動から生ずる利益が、グループユニットに表示されている。この項目は、当行グループの流動性管理に関する収益と費用、トレーディング目的ポートフォリオに含まれていない資本性金融商品への投資による収益、当行グループの非配賦資本に割当てられた受取利息、当行の不動産ポートフォリオ管理から生ずる所有権関連の費用と収益が含まれる。

当行グループに全部連結される再取得された業務からの純利益は、セグメント報告の中では、「再取得した業務からの利益」として表示されている。再取得した企業の連結による影響はグループユニットに表示されている。

自己資本利益率は、リスク調整後所要自己資本の社内測定に基づいて推定される。資本配賦に関する方針の詳細に関しては、（注２）「セグメント」を参照のこと。

損益計算書及びその他の包括利益における認識

受取利息は実効金利法を使用して認識される。これは利息が発生主義で認識され、フロントエンド・フィーと実効金利に欠かせない部分とみなされる他の手数料の償却額が加算されて認識されることを意味する。

実効金利は、契約上のキャッシュ・フローを当該資産の予想残存期間に基づいて割り引くことにより設定される。キャッシュ・フローは、フロントエンド・フィー及び顧客により直接支払われない直接取引費用を含んでいる。

償却原価で計上される貸借対照表項目及び公正価値で計上される貸借対照表項目に関する利息は、いずれも実効金利法により損益計算書に認識される。但し、公正価値で計上される貸出金に係るフロントエンド・フィーは例外で、これは稼得時に認識される。減損が生じた貸出金に関する利息は、減損控除後の帳簿価額に係る実効金利に対応している。

貸出金として表示された金融商品に係る利息は「純利息収入」に認識される。

「その他の営業収益純額」は、主に送金、成功報酬、信用仲介、不動産仲介、コーポレート・ファイナンス及び証券サービス等に関するその他手数料を含んでいる。信用仲介手数料は、DNBバンクが幹事行としてシンジケート・ローンをその一部を保有せず組成した場合、又は他の参加行が受け取る実効金利を上回る報酬を稼得した場合に、当該取引から得られる手数料であるシンジケート・ローン収益を含んでいる。手数料に加え、実効金利の算定に含まれない手数料は、役務の提供があった時又は取引の完了した期間の損益計算書に認識される。

成功報酬は、その手数料が高い確実性をもって稼得され、信頼できる方法で測定できる場合に認識される。

金融保証を行った際に発生した手数料は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中で、当該契約期間にわたって認識される。

投資に係る配当は、その配当が株主総会で承認された日に認識される。

純損益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る純利益から得られる収益については「金融商品」に、投資不動産から得られる収益については「投資不動産及び固定資産」に記載されている。

その他の包括利益の中の利益及び費用項目は、将来的に損益計算書の純損益に振り替え可能であるかどうかに基づいて分類される。

金融商品

認識と認識中止

資産及び負債の認識

金融資産及び負債は、取引日、すなわち当行グループが金融商品に係る契約上の規定の当事者となった日に、貸借対照表に認識される。

金融資産の認識中止

金融資産は、当該資産からのキャッシュ・フローを受領し保持する権利が消滅又は移転した時点で、認識が中止される。当行グループは、貸借対照表において認識されている資産がカウンター・パーティに移転されるものの、その移転された資産のリスクと経済価値の全部又は一部が当行グループに保持されるような契約を締結している。リスクと経済価値のすべて又は大半が保持されている場合、貸借対照表におけるその移転された金融資産の認識は中止されず、当該移転により生じた又は保有された権利及び義務を反映する個別の資産又は負債に振り替えられる。そのような取引には、移転された貸出金ポートフォリオに関するすべてのリスクを当行グループが保証するか、又はトータル・リターン・スワップ契約を締結することにより、当行グループがそのポートフォリオに関するリスクとリターンを保持するような貸出ポートフォリオの移転の場合がある。

金融負債の認識中止

金融負債は、契約上の債務が支払われた、若しくは取り消された、又は消失となった時点で、その認識が中止される。

レポ取引及びリバース・レポ取引

売戻し条件付で買い入れられた有価証券は、通常当行グループによるリスクとリターンの引受がないため、財務諸表上認識されないのが通例である。これは、当行グループがその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているかどうかは関係ない。受領した有価証券を売却した時点で、当行グループは貸借対照表に債務を認識する。詳細については（注32）「売却又は再担保差入可能な受入有価証券」を参照。

買戻し条件付で売り渡した有価証券は、通常リスクとリターンが移転されないため、財務諸表上認識を中止されないのが通例である。これは、受け取り相手がその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているかどうかは関係ない。これらの有価証券は当行グループの貸借対照表に有価証券として表示されており、（注31）「譲渡資産又はその他の制約を受ける資産」に詳細が記載されている。

有価証券の貸借契約

この取引を構成するのは主に株式の借入又は貸出である。有価証券の借入又は貸出に係る契約は、一般に現金又は有価証券の担保をベースにしている。

そのような取引において受領又は移転された株式は、通常その資産の所有に伴うリスクとリターンの引受又は移転が行われないため、認識も認識中止も行われない。

受領した株式（担保として受領した株式を含む）は、当行グループがその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているか否かにかかわらず、オフ・バランス項目として計上される。受領した有価証券を売却した時点で、当行グループは貸借対照表に債務を認識する。詳細については（注32）「売却又は再担保差入可能な受入有価証券」を参照。

移転された株式又は担保で、受領者が売却や再担保の権利を有するものは、当行グループの貸借対照表に株式又は有価証券として表示されており、（注31）「譲渡資産又はその他の制約を受ける資産」に詳細が記載されている。

分類と表示

金融資産は、商品の種類及び投資の目的により、当初認識時に以下のカテゴリーのいずれか一つに分類される。

- 公正価値で計上され、その価値の変動が純損益で認識される、トレーディング目的で保有する金融資産及びデリバティブ（トレーディング目的ポートフォリオ）
- 公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融資産
- ヘッジ手段に指定されたデリバティブ
- 償却原価で計上される貸出金及び債権
- 償却原価で計上される満期保有目的の投資
- 公正価値で計上され、その価値の変動がその他の包括利益で認識される、売却可能金融資産

金融負債は当初認識時に以下のカテゴリーのいずれか一つに分類される。

- 公正価値で計上され、その価値の変動は純損益で認識される、トレーディング目的で保有する金融負債及びデリバティブ（トレーディング目的ポートフォリオ）
- 公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融負債
- ヘッジ手段に指定されたデリバティブ
- 償却原価で計上されるその他の金融負債

当行グループの様々なポートフォリオの分類に関するガイドラインは以下のとおり。

トレーディング目的ポートフォリオの金融資産及び負債

トレーディング目的ポートフォリオの金融商品は当初に公正価値で認識される。認識後の評価における公正価値の決定については下の段落を参照。

金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」で表示される。利付有価証券に係る受取利息及び支払利息は「純利息収入」で表示される。デリバティブは、公正価値がプラスの場合は資産として表示され、公正価値がマイナスの場合は負債として表示される。

トレーディング目的ポートフォリオは、主にマーケッツ部門の金融資産及び金融負債に加え、ヘッジ会計目的ではないデリバティブで構成されている。さらにこのポートフォリオには、金利と流動性の管理に積極的に使用され、かつ残存期間が短い借入有価証券及び預金が含まれている。

公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融資産及び負債

このポートフォリオの金融商品は公正価値で認識される。認識後の公正価値の評価の決定については下の段落を参照。以下に記載された基準のいずれか一つを満たす金融商品は、このカテゴリーに分類される。

- この分類によると、異なる根拠に基づく場合の金融資産又は負債の測定や、それらの資産負債に係る損益の認識から生ずる測定上又は認識上の不整合が消滅、又は大幅に減少するもの
- 文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従い、公正価値に基づいて管理され評価されるポートフォリオの一部である金融商品

金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」に表示されている。公正価値で測定する貸出金及びその他の固定金利債券に関する受取利息及び支払利息は「純利息収入」に表示されている。

このポートフォリオは、コマーシャル・ペーパー及び債券、株式、ノルウェー・クローネ建の固定金利貸出金、インデックス・リンク債及び株式リンク銀行預金のようなノルウェー・クローネ建て固定金利の債券並びにその他のノルウェー・クローネ建て固定金利預金を含んでいる。

ヘッジ手段に指定されたデリバティブ

当行グループは、外国通貨建ての長期借入金及び預金に係る金利リスクを管理するために、ヘッジ取引を締結している。これらの取引は公正価値ヘッジとして認識されている。「ヘッジ会計」参照。

償却原価で計上される貸出金及び債権

償却原価で計上される貸出金及び債権は、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。認識及び以後の測定は実効金利法に従っている。実効金利法については、「損益計算書及びその他の包括利益における認識」に記載されている。事後測定においては、償却原価は、契約上のキャッシュ・フローを当該金融商品の予想残存期間に基づき実効金利で割り引いた正味現在価値に設定される。

貸出金に分類された金融商品に係る受取利息は、実効金利法により「純利息収入」の中に表示される。

償却原価で評価された貸出金の減損の客観的な兆候に基づく貸借対照表日の価値の減少、及び公正価値で測定された固定金利貸出金のポートフォリオの価値の減少は、「貸出金及び保証に係る減損」の中に表示される。

公正価値で測定された固定金利貸出金ポートフォリオの価値のその他の変動及びトレーディング目的ポートフォリオに含まれた貸出金の価値の変動は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中に表示される。

償却原価で計上される満期保有目的投資

満期保有目的投資の帳簿価額は償却原価であり、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。認識及び以後の測定は実効金利法に従って行われる。実効金利法については損益計算書の「損益計算書及びその他の包括利益における認識」に説明されている。

以後の測定時に、償却原価は、契約上のキャッシュ・フローを当該金融商品の予想残存期間に基づき実効金利で割り引いた、正味現在価値に設定される。

金融商品に関する受取利息は、「純利息収入」にの中に表示されている。このカテゴリーに含まれるものは、主としてDNBマーケッツ部門の海外債券ポートフォリオである。

公正価値で計上され、その価値の変動がその他の包括利益で認識される、売却可能金融資産

売却可能に分類された金融資産は、公正価値で認識され、その後の公正価値の変動はその他の包括利益に表示される。公正価値の決定については下記を参照。公正価値の変動は、実現時に損益計算書に表示される収益に含められる。金融資産は上述されている他のどのカテゴリーに分類される条件も満たさない場合、このカテゴリーに分類される。

償却原価で計上されるその他の金融負債

償却原価で計上される金融負債は、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。かかる金融商品に関する支払利息は、実効金利法により「純利息収入」の中に表示されている。このカテゴリーには、顧客及び金融機関からの預金、発行されたコマーシャル・ペーパー、債券、劣後債、及び永久劣後債が含まれる。

発行済金融保証

特定の債務者が期日に支払をしなかったために生じた損失を当行グループが保有者に弁済しなければならなくなるような契約は、「発行済金融保証」に分類される。

当初認識時に、発行された金融保証は保証に関して受領した対価で認識される。

発行済の金融保証は、その後当該保証に関して受領した対価（損益計算書に認識された償却額を除く）と、保証を履行すると仮定した場合に支払うべき対価の最善の見積額の、いずれか高い方の金額で測定される。

金融保証を発行する場合、保証の対価は貸借対照表の「引当金」の項目に表示される。個別に減損が生じた貸出金の一部を構成する保証に関する変動を除き、金融保証の帳簿価額の変動は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の項目の中で認識される。かかる保証契約の価値の変動は、「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中で認識される。

持分の性質を有する金融商品

発行されたその他Tier１資本調達手段は投資者に対して利息又は元本の支払いを行わない一方的な権利をDNBが有する商品である。このような条件により、当該金融商品は負債の要件を満たさないため、当グループの資本にその他Tier１資本として表示される。取引費用及び未払利息はその他の資本からの控除として、利息に係る税効果はその他の資本に対する加算として表示される。

外貨建ての資本は取引日の為替レートでノルウェー・クローネに換算され、その後の再評価の対象にはならない。

相殺

金融資産及び金融負債は、当行グループがそれらの認識金額を相殺する法的強制力のある権利を保有していて、かつ当行グループがその残高を純額決済する又は、同時にその資産を実現し負債を決済することに合意している場合に相殺され、貸借対照表に純額で表示される。マスターネッティング契約又は類似の契約により、債務不履行時に相殺する権利が与えられる。かかる契約は、債務不履行時に当行グループのエクスポージャーを削減するが、IFRSに従った場合、継続的に契約上のキャッシュ・フローを決済する意図を持つ必要があるため、それのみでは相殺の要件を満たさなくなる。相殺契約の対象となる金融資産及び金融負債に関する詳細については（注29）「相殺」を参照のこと。

公正価値の決定

公正価値とは、測定日現在、市場参加者間の秩序ある取引においてある資産を売却する際に受け取る又は負債を譲渡する場合に支払う金額である。活発な市場における金融資産及び負債は、測定日現在の公正価値を最もよく表すビッド・アスク・スプレッドの範囲で測定される。多くの場合、当該金融商品に関する買呼値又は売呼値は、それぞれ資産及び負債の価格を最もよく表している。純額で計上されるデリバティブは、貸借対照表日における仲値で認識されている。

公正価値で測定される金融商品は、月次又は四半期ごとに評価が行われるいくつかの金融商品を除いては、日次で評価が行われる。可能な限り、直接観察可能な市場価格が用いられている。さまざまな種類の金融商品の評価は、広く認識されている手法やモデルに基づいている。使用される価格やインプットパラメーターは、確立した業務手順と統制手続に基づいて管理され、評価されている。

金融商品の公正価値測定に係る統制環境は、当社の財務報告に欠かせない要素である。トレードポジションに係る初日損益に対する統制や、評価における重要なインプットパラメーターに対する統制など、多数の統制が日次で行われている。各月末及び四半期末には、公正価値に関する会計方針と整合するよう確実を期すために、変動分析を含めさらに多くの統制が行われている。レベル３の公正価値ヒエラルキーの評価は影響が大きい、若しくは非常に困難なため、特別な注意が払われている。また、評価方針、このカテゴリーに含まれる主な資産に関する四半期ごとの影響及び評価上の課題も文書化され、グループの経営チーム、グループ監査部門及び監査及びリスク管理委員会に報告されている。

活発な市場で取引されている金融商品

活発な市場で取引されている金融商品に関する市場相場は、証券取引所、ブローカー又は価格設定業者より入手したものが使用される。

第三者間で観察可能な価格、為替レート又は金利を入手することが可能で、かつそれらの価格が現実にそして頻繁に行われる市場取引を表している場合に、市場は「活発」とみなされる。

一部の株式及びコマーシャル・ペーパーへの投資及び債券は活発な市場で取引されている。

活発な市場で取引されていない金融商品

活発な市場で取引されていない金融商品は様々な評価技法によって評価されており、それらは二つのカテゴリーに分けられる。

観察可能な市場データに基づく評価

- 知識があり、取引を希望している独立した立場の当事者間において、最近観察された当該商品の取引
- 活発な市場において取引された、評価対象の金融商品と実質的に同じ金融商品
- 主要パラメーターが観察可能な市場データに基づいているその他の評価技法

観察可能な市場データ以外の要素に基づく評価

- 見積キャッシュ・フロー
- 複数の会社の資産及び負債の評価
- 主要パラメーターが観察可能な市場データに基づいていないモデル
- 想定される業界標準

評価技法を用いる場合には、店頭デリバティブの公正価値の見積りは、カウンターパーティの信用リスク（CVA）又は当行グループ自信の信用リスク（DVA）によって調整されている。当行グループはCVAを、シミュレートされたプラスの期待エクスポージャー、カウンターパーティーのデフォルト確率及びデフォルト時損失率いかんによって変化するものと評価している。当行グループのデリバティブ・カウンターパーティの大半は、マーケットインプライドの信用スプレッドを取得しておらず、外部格付も取得していない。従って、クレジット・デフォルト・スワップ（CDS）スプレッドの見積りを行うために、現在のCDS指数と、過去のCDSのスプレッドとを組み合わせて内部格付を算定している。これは当行グループが独自の信用モデル及び特徴的な手法を開発しているものの、市場参加者間の類似の信用リスクに関するプライシング水準に対して調整を行っていることを意味している。DVAも、当行グループの信用スプレッドを評価する際に用いるのと同じアプローチに基づいて算定されている。

評価技法を用いて測定される金融商品については、見積り公正価値が実際の取引価格と異なる場合に、時として当初認識時に損益が発生する可能性もある。測定が観察不可能な入力パラメータに基づいている場合（レベル３）には、損益は繰り延べられ初日利得は認識はされない。その後の期間の公正価値の変動は、かかる変動が、市場参加者が考慮するであろうと考えられる要因によって生じた範囲でのみ認識される。

金融資産の減損

各報告期間末に、当行グループは減損の客観的証拠があるか否かを検討する。減損の客観的証拠がある場合には、金融資産又は金融資産グループの減損が行われる。減損の客観的証拠には、

- 債務者の財務上の深刻な問題
- 不払い、又はその他の重大な契約違反
- 債務者が貸出条件の緩和等を求める可能性があること

● その他特別な状況の発生

などが含まれる。

債務者が置かれている状況を緩和するための貸出条件の再交渉も、減損の客観的兆候とされる。

貸出金に係る個別減損

減損の客観的証拠がある場合、貸出金の減損は、帳簿価額と、当初の実効金利で割り引かれた見積将来キャッシュ・フローの正味現在価値との差額として、計算される。

貸出金の個別減損は、貸出金及び保証の帳簿価額を減少させる。期中の減損は、純損益の中の「貸出金及び保証に係る減損」として認識される。

貸出金の集合的減損

個別に減損が行われなかった貸出金は、集合的に減損のための評価が行われる。評価は、金融資産のグループに関連する可能性がある減損の客観的証拠があるかどうかに基づいて行われる。

貸出金は、信用リスクの特性の類似性を基準として、顧客のセクター別又は業種別区分とリスク・カテゴリーに従ってグループ分けされる。減損は、一般経済状況の判断と各グループの既損失実績に基づいて、金融資産のグループ毎に判断される。

集合的減損は貸借対照表の「顧客向貸出金」の項目の帳簿価額を減少させる。期中に生じた変動は純損益計算書の「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中で認識される。個別の減損同様、集合的減損も割り引かれる。割引要因は個別の減損から導き出された統計値に基づいている。利息は集合的減損の対象となる貸出金に対して計算されるが、個別に評価された貸出金と同じ原則と実績に従う。

資産の回収

不良債権化し減損が生じた貸出金の管理の一環として回収された資産は、取得時の公正価値で認識される。かかる資産は、その資産の性質に応じて貸借対照表に認識されている。当該貸出金の帳簿価額と当該資産の公正価値との差額は、損益計算書の中で「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中に表示されている。また以後の損益計算書に与える影響の評価と表示は、関連する貸借対照表項目に関する原則に従って行われる。

ヘッジ会計

金融商品が個別にヘッジされる場合、ヘッジ対象リスクから生ずるヘッジ対象の価値の変動と、そのデリバティブ（ヘッジ手段）の価値変動との間には、明確で、直接の、そして文書化された相関関係がある。

ヘッジ関係が成立した時点で、ヘッジ対象とヘッジ手段の間の相関関係は文書化される。さらに、ヘッジ取引の裏付けとなるリスク管理目標と戦略も文書化される。ヘッジ対象リスクに関連したヘッジ対象とヘッジ手段の公正価値変動は、必要なヘッジ効果を確認するため定期的に評価される。ヘッジ手段は公正価値で財務諸表上認識され、公正価値の変動は損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中に表示される。

ヘッジ対象リスクに起因するヘッジ対象の公正価値の変動は、貸借対照表の金融負債及び資産の価値に対する加算又は控除として認識され、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中に表示される。

ヘッジ関係が終了した場合、又は充分なヘッジ効果が確認されなかった場合、ヘッジ対象の公正価値の累積変動額は残存期間にわたって償却される。

当行グループは海外子会社に投資した金額に係る為替リスクをヘッジするため、海外子会社に対する投資のヘッジを行っている。ヘッジ取引は、通貨スワップ又は長期の外貨借入の形で行われている。連結財務諸表では、ヘッジ関係は在外営業体に対する純投資のヘッジとして表示されている。

投資不動産及び固定資産

賃貸収入又は値上がりにより利益を得る目的で保有されている不動産は、貸借対照表上投資不動産に表示されている。その他の有形資産は貸借対照表上固定資産に表示されている。

投資不動産は、当初の認識時に取得費用を含む取得原価で測定される。

以後の期間において、投資不動産は公正価値で測定される。投資不動産には毎年の減価償却が適用されない。投資不動産については、広く認められている評価手法を用いて公正価値で評価が行われる。評価には社内及び社外の専門家の見解が活用される。統制上、いくつかの社外評価が入手され、社内の評価と比較される。評価の実施者は、個々の不動産の評価に関する対話や質問を通じて、継続的にフォローアップを行っている。四半期ごとに主な投資不動産の評価に関するメモが作成されており、このメモは、グループの経営チーム、グループ監査部門及び監査及びリスク管理委員会に報告されている。投資不動産の公正価値の変動は、損益計算書の「投資不動産に係る純利得」の項目の中で認識される。

その他の有形資産は、取得原価から減価償却累計額及び減損額を控除した金額で測定される。取得原価には、資産の取得に直接関連した費用が含まれる。以後の費用は、その支出に関連した将来の経済的便益がDNBバンクに流入する可能性がありかつ信頼できる測定が可能であれば、関連資産項目に資産計上される。修繕及び保守に関する費用は、発生時に損益計算書に認識される。

資産の残存価額及び耐用年数は毎年見直しを行い、必要があれば調整を行う。固定資産の売却に係る損益は、損益計算書の「固定資産及び無形資産に係る純利得」の項目の中で認識される。

無形資産

のれん

のれんは、譲渡対価と非支配持分の認識額の合計が企業結合による識別可能な取得資産及び引受負債の公正価値を上回る場合に、その差額として当初に取得日に測定される。取得したのれんは、当該事業結合によるシナジーからの便益が見込まれる各資金生成単位、又はその単位グループに配分される。当初認識後、のれんは減損損失累計額控除後の取得価額で測定される。

ITシステム及びソフトウェアの開発

取得したソフトウェアは、取得原価にソフトウェアを使用可能にするために生じた費用を加算して認識される。当行グループにより管理されている社内開発ソフトウェアは、その経済的便益が貸借対照表日時点でソフトウエアの開発費をカバーする可能性が高い場合、識別可能な原価が無形資産に認識される。貸借対照表の価額を評価する場合、経済的便益は収益性分析に基づいて評価する。開発費には、プロジェクトに直接関与した従業員の給与、資材及び直接関係する間接費などが費用として含まれる。ソフトウェア及びITシステムの保守に関する費用は、発生の都度損益計算書に費用認識される。貸借対照表に計上されたソフトウェア費用は、見積耐用年数（通常は5年）にわたり定額法で償却される。減損の必要性の評価は、下記の原則に従って検討される。

固定資産及び無形資産の減損

各報告期間末に当行グループは、固定資産又は無形資産の減損の兆候があるかどうかを検討する。かかる兆候がある場合には、生ずる可能性のある減損損失を見積るため当該資産の回収可能価額を算定する。のれん及び耐用年数が確定できない無形資産に関しては、当該資産の減損の兆候がない場合にも、少なくとも年に一度は減損テストが行われている。DNBはこの年次のテストを第４四半期に実施することを選択している。

回収可能価額とは、資産の売却コスト控除後公正価値と使用価値の、いずれか高い方を意味する。資産の帳簿価額が予想回収可能価額を上回る場合、その資産は評価損を計上して帳簿価額を回収可能価額に引き下げる。減損テストの説明については、（注37）「無形資産」を参照。

減損を示す兆候の有無を検討する際には、以下の関連する基準が検討されている。

- 資産の市場価値の低下
- 資産の使用価値計算に使用される割引率に影響する可能性がある長期期待収益率の変動
- 資産を再構築又は清算する計画
- 資産の生み出す収益が予定を下回る場合

のれんの減損テストが行われる際には、適切な資金生成単位の評価は、業務に関連する独立したキャッシュ・インフローを識別し、分類できるかどうかに基づいて行われる。資金生成単位には、複数の取引から生じるのれんが含まれる場合があり、当該単位の減損テストは、その単位に配分されたのれんすべてを対象とする。

使用価値の算定は、過去の結果、及び経営陣が承認した計画値に基づいて行われる。資金生成単位に関する計画値に基づいて将来キャッシュ・フローが見積もられ、株主に対する潜在的なリターンであると定義される。このリターンには、将来見込まれる所要自己資本を充足するために十分な自己資本を調達する必要性を考慮した調整後の業務からの利益が含まれる。事業拡大に伴う所要自己資本の増加が求められる際に、業務からの利益では必要な自己資本の確保が不十分となる場合には、業務からの利益が一部留保されたり、株主からの追加の資本注入が求められる可能性がある。キャッシュ・フローの推移は、計画期間である３年間を超えた期間にわたり、資金生成単位によって遂行される業務の種類に対する市場の期待を反映させるものと考えられている。予想将来キャッシュ・フローは、含められるターミナルバリューの見積りにゴードン成長モデルが使用される場合に、10年の期間について決定される。

要求収益率は、資金生成単位によって遂行される業務の種類に対して市場が求める収益率の評価に基づいている。要求収益率は当該業務のリスクを反映している。外国通貨建てのキャッシュ・フローを生成する企業の取得から生じるのれんは、貸借対照日現在の為替レートで換算される。

年金

確定給付年金制度

確定給付制度において、雇用者は将来の所定年金給付の支払を確約している。

年金費用計算の基礎は、退職時の見積累積債務に対して測定された年金受給権の線型分布である。生命保険会社に管理されている年金債務は、制度内の基金に対応している。年金基金総額が貸借対照表日の見積年金債務を上回る場合、その積立超過が将来債務のカバーに使用できる可能性が高いと思われる時にはその純額が貸借対照表の資産に分類される。年金債務が年金基金を上回る場合は、債務の純額が貸借対照表の負債に分類される。各制度は別個のものとして取り扱われる。

年金債務は貸借対照表日現在見積将来年金支払額の現在価値に基づいて見積もられている。年金債務の計算は、平均寿命、昇給及び早期退職に関する保険数理上及び経済的な仮定に基づいている。使用される割引率は、貸借対照表日のカバード・ボンドの利回りを参考に、年金債務のデュレーションを加味して決定される。

年金制度の変更が及ぼす財務的影響は、以下のうちいずれか早いほうの時点で費用認識される。

- **制度の改正や縮小が発生した時点**
- **関連する再編費用又は解雇給付がある場合には、事業体が当該費用を認識した時点**

年金費用は、期首に決定された仮定に基づいている。年金費用を算定する際には、正味の年金債務に対して割引率が使用される。年金費用は以下のとおり表示される。

- **当年度と過年度の勤務費用、清算に係る利得及び損失、並びに純利息収益/費用は、給与その他の人件費として純損益に認識する必要がある。**
- **数理計算上の差異などの再測定は、発生した期間のその他の包括利益に認識される。**

会社の拠出金は、年金費用及び年金債務に含まれている。当行グループの生命保険会社であるDNB リフスフォルシクリン　エイ・エスは、当行グループのノルウェーにおける年金制度の大部分を管理している。年金に関する詳細については（注24）「年金」を参照のこと。

確定拠出年金制度

確定拠出年金制度の下では、当行グループは所定の将来年金給付の支払いを約束していないが、従業員の年金財形に対しては毎年拠出を行っている。将来の年金は、年間拠出額の規模と年金積立金の年間収益によって決まる。年間拠出額の支払後は、当行グループは従業員の勤務成績と連動したいかなる債務も負わない。確定拠出年金制度から生じる費用は損益計算書に認識される。

法人所得税

当期法人所得税は、当事業年度の未払法人所得税と前事業年度の未払法人所得税及び一時差異に係る繰延税金の変動で構成される。一時差異とは、資産又は負債に関する帳簿価額と課税価額との差異を意味する。最も重要な一時差異は、金融資産及び金融負債の公正価値の変動、年金債務、固定資産及び不動産の減価償却、並びにのれんの減損損失に関するものである。繰延税金は、貸借対照表日に適用されているか又は承認される可能性が高く、かつ繰延税金資産の回収時又は繰延税金負債の決済時に適用されると予想される税率及び課税規則に基づいて計算される。

繰延税金資産は、将来利用できる課税所得が生ずる可能性が高い範囲内で、貸借対照表に認識される。同一の納税グループにおける繰延税金及び繰延税金資産は貸借対照表に純額で表示される。

その他の包括利益の要素に関連した未払税金及び繰延税金は、包括利益計算書の中で、関連する利益又は費用と合わせ、純額で表示されている。

組織再編

当行グループの事業の範囲や業務遂行方法を変更する事業再編計画が承認され、影響を受ける従業員に対して周知された場合は、事業再編引当金の必要性が検討される。これには、従業員との特別退職金に関する合意が組織再編の一部として用いられる場合、当該合意に係る引当金が含まれる。引当金は各報告日に見直しを行い、費用が発生した時には取り崩される。

リース

リースは、所有権に係るすべてのリスクと経済価値が実質的に移転する場合に、ファイナンス・リースに分類される。その他のリースはオペレーティング・リースに分類される。

DNBバンクが貸手の場合

オペレーティング・リース

リース期間の満了時に、リース対象物への投資に関するリスクと経済価値のわずかとはいえない持分がDNBバンクに帰属するリースが、オペレーティング・リースである。オペレーティング・リースに供している資産は、貸借対照表では固定資産として認識される。オペレーティング・リースによる収益はリース期間にわたり定額法で認識される。当該固定資産の減価償却は、損益計算書上通常の減価償却として表示される。

ファイナンス・リース

ファイナンス・リースは貸借対照表において貸出金として表示され、リースは開始時に当該リースに対する純投資額に等しい金額で測定される。純投資額は、最低支払リース料、無保証残存価額及びリースの交渉において貸手が負担した直接費用を、内在する金利（内部収益率）で割り引いたものに相当する金額である。リース収益は年金法で損益計算書に認識されて金利部分が「純利息収入」の項目に認識され、毎月の分割払金により貸借対照表の貸出金額が減少する。

DNBバンクが借手の場合

オペレーティング・リース

リース支払額は、リース期間にわたり定額法で費用として損益計算書上に認識される。但し、他の体系的基準がDNBバンクによる資産使用の時間的パターンをよりよく表している場合はこの限りではない。

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、源泉と使途によりグループ分けされたキャッシュ・フローを示している。キャッシュ・フローは、営業活動によるもの、投資活動によるもの及び財務活動によるものに分けて表示されている。キャッシュとは、現金、中央銀行預け金及び金融機関向預け金（要求払い）と定義されている。キャッシュ・フロー計算書は直接法により作成されている。

配当

予定配当は、株主総会で承認されるまでは株主資本の一部である。この時点では、配当は財務諸表上負債に表示されている。予定配当は自己資本比率の計算に含まれない。

承認されたがまだ効力を発していない基準と解釈指針

2015年の年末までにIASBは、現行規則に対する多数の改訂を公表しているが、それらはまだ効力を発していない。下記は、銀行グループの将来の財務報告に影響を及ぼす可能性がある改訂の詳細である。

IFRS第９号「金融商品」

2014年７月にIASBは、現行のIAS第39号に差し替わるIFRS第９号「金融商品」という、金融商品に関する新基準を公表した。新基準は金融資産の分類に関する事業モデル志向型のアプローチ、減損に関する予想損失モデルに加え、新しい一般的なヘッジ会計モデルを導入している。IASBは、依然としてマクロヘッジ会計に関する新しい要求事項について検討中である。この作業は別個のプロジェクトとして設立され、今後最終決定される見込みである。

IFRS第９号は2018年１月１日から適用開始されるが、早期適用も認められている。本基準はまだEUによる承認を受けていないものの、2016年中には承認される見通しである。DNBバンクは、早期適用の機会を利用しない予定である。

IFRS第９号では、金融資産はその資産を管理するためのビジネスモデルと、組込デリバティブを含む契約上のキャッシュ・フローの性質に基づいて分類される。単に元本及び利息の支払いのみからなる、契約上のキャッシュ・フローの回収を目的に保有される資産は、償却原価で測定される。契約上のキャッシュ・フローの回収及び売却の両方を目的として保有され、同時に元本及び利息の支払いのみである契約上のキャッシュ・フローを有している資産は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される。この結果、資産は貸借対照表上では公正価値で認識され、損益計算書上では償却原価ベースで認識されることになる。その他の金融資産は純損益を通じて公正価値で測定される。特定の要件を充足した場合に純損益を通じて公正価値で保有するものとして指定する、IAS第39号に規定されている選択肢については、新基準の中でも引き継がれている。

金融負債に関する要求事項は、現行のIAS第39号と比較して概ね変更はない。主な規則として、公正価値で測定されるデリバティブ、トレーディング目的ポートフォリオの一部を成す金融商品及び純損益を通じて公正価値で保有される金融負債を例外として、金融負債は依然として償却原価で測定される。ただし、純損益を通じて公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の、当社自身の信用リスクに関連した公正価値の変動は、その他の包括利益で認識されている。

現行の規則では、信用損失の減損は減損損失の客観的な証拠が存在する場合のみ認識される。金融危機の影響を受けて、このモデルでは減損損失の認識が遅過ぎ、かつ少な過ぎると批判されてきた。IFRS第９号に基づく減損引当金は、IAS第39号における発生損失モデルに代わって予想損失モデルを用いて測定される。IFRS第９号における減損の規則は、償却原価で認識される金融資産又は、公正価値の変動がその他の包括利益に認識される公正価値で測定される金融資産全てに適用される。ローン・コミットメント、金融保証契約及びリース債権もこの基準の対象となる。

金融資産に対する予想信用損失の引当金の測定は、当該信用リスクが当初認識以降に著しく増大したかどうかによって決まる。当初認識時及び当該信用リスクが著しく増大していない場合には、引当金は12カ月間の予想信用損失額に等しくする必要がある。当該信用リスクが著しく増大していた場合には、引当金は全期間の予想信用損失額に等しくする必要がある。この二段階のアプローチは現在の集合的減損モデルに置き替わるものである。個別減損については現行の規則と比べて大きな変更はない。

2015年度にDNBバンクは、減損引当金に関する新規則の導入に合わせて、当行のモデルとITシステムを変更する必要性について分析するプロセスを継続して実施した。当行は現在のIRBの枠組みの上に構築することを期待しているが、IFRS第９号は当行のモデルとITシステムのさらなる開発を必要とする新規則及び概念を導入している。この作業はすでに着手されており、2016年から2017年にかけて続けられる予定である。当行グループの財務諸表に見込まれる影響を見積もるにはまだ時期尚早である。IFRS第９号の導入によって、発生損失モデルから予想損失モデルへと変更されることにより、信用損失の引当金が増加する可能性がある。

IFRS第15号 「顧客との契約から生じる収益」

IFRS第15号は、2014年５月にIASBによって公表され、顧客との契約から生じる収益に対して適用されることになる、新しい５つのステップのモデルが定められている。IFRS第15号のもとでは、収益は、事業体が顧客に対する財又はサービスの移転と交換に受け取ると見込まれる対価を反映した金額で認識される。IFRS第15号の原則は、収益の測定と認識に対し、より体系立ったアプローチを設けている。

新しい収益基準はすべての事業体に適用され、IFRS下の現行のすべての収益認識要件に差し替わるものとなる。IFRS第９号「金融商品」に従って会計処理されることになる顧客との契約は、IFRS第15号の対象範囲からは除外されるため、IFRS第９号の要件に従うことになる。

IFRS第15号は2018年１月１日以降に開始する年度から適用される。早期適用も認められている。当行グループは目下、IFRS第15号による影響を評価している段階であり、当行グループの財務諸表に見込まれる影響を見積もるにはまだ時期尚早である。

重要な会計上の見積り、判断及び仮定

当行及び当行グループの連結財務諸表を作成する場合、経営陣は、会計方針の適用に加え、資産及び負債の帳簿価額、収益及び費用に影響を与える見積り、判断及び仮定を行う。見積りと仮定は継続的評価を前提にしており、過去の実績及び貸借対照表日時点で発生が見込まれる将来事象の予想を含めたその他の要因に基づいている。

貸出金の減損

将来キャッシュ・フローの見積りは、経験的データ及びマクロ経済の今後の成長や実際の貸出金の履行状況、貸借対照表日現在の状況に関する経営陣の判断に基づいて行われる。見積りは、事業部門及び本部の与信部門が関与したプロセスの結果であり、経営陣による最善の見積りである。貸出金の減損を検討する場合には、担保評価を含め、減損の客観的な証拠の識別、将来キャッシュ・フローの金額及びタイミングの見積り等の、複数の不確実な要素が存在する。

個別減損

個別の貸出金及び保証に関する減損を見積る場合は、顧客の現在及び将来の財政状態が検討される。法人顧客に関しては、顧客の債務弁済能力に影響を与えうる関連業界の市場環境及び一般市場環境とともに、市場全体の状況もレビューされる。さらに、貸出条件の緩和、リファイナンス、及び資本再編成の可能性も考慮される。これらの要因の総合評価が将来キャッシュ・フロー見積りの根拠となる。割引期間は個別に推定されるか、又は減損の客観的な兆候を引き起こした問題の解決に至るまでに通常要する期間に関する経験的データに基づいて、推定される。

集合的減損

予想将来キャッシュ・フローは、グループ毎の予想損失及び予想される経済状況に基づいて見積りが行われる。予想損失は、関連するグループの過去の損失実績に基づいて算出される。経済状況は、当該市場についての外部情報に基づき、各グループに関する経済指標を使用して推定される。対象のグループに応じて、様々なパラメーターが使用される。主なパラメーターは、経済における設備稼働率を示す生産ギャップ、住宅価格、原油価格、サーモンの価格及び海上輸送費である。用いられた経済指標と過去の減損との間には高い相関がみられる。集合的減損の貸出金に関する予想将来キャッシュ・フローの正味現在価値を見積るために、個別評価の貸出金において観察された経験的データに基づいた割引係数が使用される。

デリバティブ及びその他金融商品の公正価値

活発な市場で取引されていない金融商品の公正価値は、種々の評価技法を使用して決定される。当行グループは、可能な限り貸借対照表日の市場環境を表す観察可能な市場データに基づいた技法と仮定を考慮して選択する。観察可能な市場データが入手できない金融商品を測定する場合、当行グループは、市場参加者が類似した金融商品の評価基準として使用すると予想されるものについて、仮定を行う。中でも流動性リスク、信用リスク及びボラティリティを計算する場合には、その評価にはかなりの判断が必要となる。これらの要因が変動した場合は、当行グループが保有する金融商品の見積り公正価値が影響を受ける。詳細については（注28）「公正価値で測定される金融商品」を参照のこと。

繰延税金資産及び不確実な税金負債を含む、法人税

当行グループは多くの法域において法人税の課税対象となっている。当行グループの連結財務諸表において、繰延税金資産及び不確実な税金負債の認識に関する評価を含む法人税を決定する時には、かなりの判断が必要となる。

繰延税金資産は当行グループが将来の課税所得を利用できる可能性が高い範囲で認識できる。認識可能な金額を決定するためには、利用可能と見込まれる期間、税務目的で算定される利益の水準に加え、タックスプランニング戦略や将来加算一時差異の有無など、広範な評価が必要となる。

多くの取引に関する最終的な税金負債額とその算定には不確実性が伴っている。当行グループは、税の不服審査に係る将来の結果に関する債務を、法人所得税の変動の見積りに基づいて認識している。貸借対照表に認識される不確実な税金債務の評価を行う場合は、当該債務の発生する蓋然性が検討される。税の不服審査の最終結果が貸借対照表に認識されていた金額と乖離していた場合には、その乖離は当該期間の損益計算書に計上された法人所得税費用に影響を与えることになる。

注２　セグメント

DNB における財務ガバナンスは異なる顧客セグメントを対象としている。全体的な顧客関係とセグメント別の利益率の追及は、戦略上の優先順位を定め、当行グループの経営資源の配分を決定するに当たって重要な二大要素である。特殊商品部門には当該分野の商品の組成と開発に加え、当行グループが多様な顧客セグメントのニーズを満たすよう確実を期す責任がある。セグメント毎に報告された数値は、当該顧客セグメントに対する、当行グループの商品及びサービスの売上総額を反映している。顧客セグメントについては最近になって見直しが行われた。2015年１月１日から、スウェーデンとデンマークにおけるDNB Finansの業務は大企業・国際部門に含められている。従前においては、これらの業務は中小企業部門と個人顧客部門に分割されていた。当該変更に対応して、過年度の数値は修正されている。

個人顧客部門　－　電子的なチャネル及び対面のチャネルの両方を含むすべてのチャネルを通じた、個人顧客向けの当行グループの全商品及びサービスを含む。DNB は、外部チャネル（郵便局や店舗内の郵便及び銀行業務）に加え、支店、テレフォンバンキング（年中無休）、デジタルバンキング、不動産売買仲介などから成るノルウェー最大の流通網を通じて、多様な商品を展開している。

中小企業部門　－　ノルウェー国内の中小企業に向けて、商品販売と助言業務を行っている。DNB は、大手行としての商品展開と専門知識を生かしつつ、ノルウェー全体にわたって地元に密着した銀行となることを目指している。 このセグメントの顧客は、小企業や設立間もない企業から比較的大規模な法人顧客まで多岐にわたっており、展開している商品も顧客のさまざまなニーズに応じて柔軟に対応している。中小企業に対しては、デジタルとテレフォンバンキング（年中無休）に加え、ノルウェー全土にわたる当行グループの大規模な物流ネットワークを通じてサービスを提供している。

大企業・国際部門－　ノルウェー国内外の大手法人企業のみならず、バルト諸国やポーランドにある DNB の子会社銀行のすべての顧客を対象としている。業務は十分な金融業界の専門知識と長期的な顧客関係の維持に基づいて行われている。

トレーディング部門－マーケット・メイキングのほか、顧客取引に内在するリスクのリスク管理を含む株式、債券、通貨及びコモディティ（FICC）に関するその他のトレーディング業務が含まれている。マーケッツ部門のトレーディング業務は顧客の活動をサポートするものである。

各セグメントに関する損益計算書及び貸借対照表は、現在の事業展開の評価及び資源配分のため、グループ経営陣（最高経営意思決定機関）向けに報告される、DNBバンク グループの機能組織別のセグメントに関する内部財務報告に基づいて作成されている。各セグメントの数値は、DNBの管理モデル及び会計方針に基づいている。数値は、当行グループのセグメント間での費用及び資本の配賦に関する現在の方針に従って修正再表示されており、多くの仮定、見積り及び裁量的な配分に基づいている。

各セグメントに配賦された資本は、当行グループの普通株式等Tier１資本及び長期的な資本構成目標に基づいて算定される。すべてのユニットに対し、当行グループによるバーゼルIIIのIRB手法の全面的な実施に基づく資本配賦が行われており、2015年度の配賦資本は普通株式等Tier１資本比率である14.5%に対応する。信用リスクの配賦は、当行グループの、信用に係るリスク調整後所要資本の内部測定に基づいている。市場リスクに対する所要自己資本は、加重リスク量に従って直接配賦され、オペレーショナル・リスクは個々のユニットの収益合計に基づいて配賦されている。

損益計算書

DNBバンク グループ

	個人顧客部門		中小企業部門		大企業・国際部門		トレーディング部門		その他の事業／消去1)		DNBバンクグループ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
純利息収入	13,655	13,484	6,131	5,643	15,196	13,553	89	429	464	(502)	35,535	32,607
その他の営業収益純額	3,691	3,528	1,190	1,103	5,232	4,893	1,503	1,584	5,292	3,014	16,909	14,122
収益合計	17,346	17,012	7,322	6,745	20,427	18,446	1,592	2,013	5,756	2,512	52,444	46,729
営業費用	(8,176)	(7,862)	(2,521)	(2,478)	(6,341)	(5,746)	(504)	(504)	510	(1,220)	(17,032)	(17,809)
固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損	(131)	(88)	(320)	(301)	(1,135)	(1,021)	(2)	(9)	(572)	(608)	(2,159)	(2,028)
営業費用合計	(8,307)	(7,949)	(2,840)	(2,779)	(7,476)	(6,767)	(505)	(513)	(62)	(1,828)	(19,191)	(19,836)
減損前の税引前営業利益	9,039	9,062	4,481	3,966	12,951	11,679	1,087	1,500	5,694	685	33,253	26,893
固定資産及び無形資産に係る純利得	0	(3)	(2)	42	53	21		(0)	(7)	(7)	45	52
貸出金及び保証に係る減損2)	939	(110)	(1,068)	(869)	(2,108)	(674)		0	(33)	13	(2,270)	(1,639)
再取得した業務からの利益			3	(23)	(67)	(102)			64	125		
税引前営業利益	9,979	8,949	3,414	3,117	10,829	10,924	1,087	1,500	5,719	816	31,028	25,306
法人所得税費用	(2,694)	(2,416)	(922)	(842)	(3,140)	(3,387)	(283)	(405)	(716)	875	(7,755)	(6,174)
売却目的保有の事業による利益（税引後）	2					2			(53)	(24)	(51)	(22)
当期利益	7,286	6,533	2,492	2,275	7,689	7,540	804	1,095	4,951	1,667	23,222	19,110

1) その他の事業／消去に関する詳細については、下記の表を参照。

2) 当行グループの減損の総変動額の分析については、（注10）「主要顧客グループ別の貸出金及び保証に係る減損」を参照。

貸借対照表

DNBバンク グループ

	個人顧客部門		中小企業部門		大企業・国際部門		トレーディング部門		その他の事業／消去		DNBバンクグループ	
（単位：十億ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
顧客向貸出金1)	685	678	220	209	570	541	33	10	24	10	1,532	1,447
売却目的保有の資産	0	0			0	0			0	1	0	1
その他の資産	27	16	7	4	125	143	1,241	1,067	(617)	(316)	783	914
資産合計	713	693	227	213	695	684	1,274	1,077	(593)	(305)	2,316	2,362
顧客預金1)	393	366	167	166	380	380	13	31	4	8	957	951
売却目的保有の負債					(0)				0	0	0	0
その他の負債	289	300	40	27	246	242	1,253	1,039	(644)	(339)	1,185	1,270
負債合計	682	666	207	193	626	623	1,266	1,070	(640)	(331)	2,142	2,221
配賦資本2)	31	28	20	20	69	61	7	6	47	26	173	141
負債及び資本合計	713	693	227	213	695	684	1,274	1,077	(593)	(305)	2,316	2,362

1) 顧客向貸出金には、未収利息、減損及び評価調整を含んでいる。同時に顧客預金には未払利息及び評価調整を含んでいる。2015年11月に合計約20十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオが、DNBボーリ・クレジットからDNBエイ・エス・エイが保有する生命保険会社であるDNBリフスフォルシクリンに売却された。DNBリフスフォルシクリンの代わりにノルウェーの個人顧客部門が当該ポートフォリオを管理する予定である。

2) セグメントに対する配賦資本は、当行グループが充足しなければならない外部の自己資本適正要件（バーゼルIII）に基づき算出している。当行グループへ配賦された資本は、資本に計上されている。外部の自己資本規制要件の厳格化に加え、住宅ローンに対する所要自己資本の追加を当局が示唆したことにより、個人顧客部門への配賦資本額は2015年度に上方修正された。これにより過年度と比較して自己資本利益率が低下した。

主要な数値

DNBバンク グループ

	個人顧客部門		中小企業部門		大企業・国際部門		トレーディング部門		その他の事業／消去		DNBバンクグループ	
（単位：%）	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
収益に対する費用の比率1)	47.9	46.7	38.8	41.2	36.6	36.7	31.7	25.5			36.6	42.4
12月31日現在の預金の貸出に対する比率2)	57.3	53.9	75.8	79.2	66.8	70.4					62.5	65.7
配賦資本に対するリターン3)	22.7	23.3	12.0	11.6	10.9	13.6	11.2	16.1			15.1	14.5

1) 収益合計に対する営業費用合計。

2) 顧客向貸出金に対する顧客預金。

3) セグメントに対する配賦資本は、当行グループが充足しなければならない外部の自己資本適正要件（バーゼルIII）に基づいて算出されている。計上された資本は当行グループのために使用される。外部の自己資本規制要件の厳格化に加え、住宅ローンに対する所要自己資本の追加を当局が示唆したことにより、個人顧客部門への配賦資本額は2015年度に上方修正された。これにより過年度と比較して自己資本利益率が低下した。

その他の事業／消去

その他の事業／消去には、IT、オペレーション、HR（人事）、グループ・トレジャリーを含むグループ・ファイナンス、リスク管理、コーポレートコミュニケーション、部分保有している会社であるノルウェー輸出金融公社、ITインフラへの投資並びに株主関連費用が含まれる。それに加え、その他の事業／消去には、セグメントには配賦されない当行グループの資本の一部が含まれている。DNBバンクグループに全部連結されている再取得した業務からの利益は、当社の内部報告セグメントの中に「再取得した業務からの利益」として純額表示されている。取得した企業及びすべてのグループ内の消去はその他の事業／消去に含められている。

税引前営業利益

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
未配賦の受取利息	148	(707)
Nets Holdingに対する投資		913
持分投資による利益（注20を参照のこと。）	126	(125)
固定資産及び無形資産に係る利得	(6)	(7)
グループ・トレジャリーによる時価調整及び貸出金の公正価値（注20を参照のこと。）	1,000	(222)
ベーシス・スワップ（注15を参照のこと。）	2,685	394
ノルウェー輸出金融公社	(45)	248
投資不動産に係る純利得	312	78
再取得した業務からの利益	64	125
貸出金及び保証に係る未配賦の減損	(33)	14
未配賦の人件費(注21を参照のこと。)	1,450	(188)
未配賦のIT及びオペレーション費用	278	234
のれんに係る資金調達費用	(27)	(36)
のれん及び資産化されたシステム開発に係る減損損失(注37及び38を参照のこと。)	(21)	(1)
ITリストラクチャリング費用	(234)	(21)
引当金の戻入れ(注22を参照のこと。)	46	73
投資不動産及び固定資産に係る減損	(60)	(61)
その他	35	105
税引前営業利益	5,719	816

地域別

損益計算書

DNBバンク グループ

	バルト諸国及びポーランド事業部		その他の国際業務		ノルウェー		DNBバンク グループ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
純利息収入	1,388	1,252	6,933	5,329	27,214	26,026	35,535	32,607
その他の営業収益純額	837	700	3,048	2,536	13,024	10,886	16,909	14,122
収益合計	2,225	1,952	9,981	7,865	40,237	36,912	52,444	46,729

貸借対照表　　**DNBバンク グループ**

（単位：十億ノルウェー・クローネ）	バルト諸国及びポーランド事業部		その他の国際業務		ノルウェー		DNBバンク グループ	
	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	2014 12月31日現在	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
顧客向貸出金	66	62	233	207	1,233	1,179	1,532	1,447
資産合計	77	91	263	581	1,975	1,690	2,316	2,362
保証	2	2	35	32	74	69	110	103

プロダクト情報

プロダクトの詳細については、（注17）「純利息収入」、（注18）「貸借対照表項目（抜粋）に係る金利」、並びに（注19）「正味手数料」を参照のこと。

注３　自己資本対策及び自己資本規制

バーゼル委員会は2010年に新しい自己資本及び流動性に関する要件（バーゼルIII）を提示した。またEUの所要自己資本指令であるCRD IVと、所要自己資本規制であるCRRを導入した。これらの規制は2014年1月1日から発効した。バーゼルIII規則の重要な部分は、2013年７月１日付でノルウェーで国内法化された。当グループの適正自己資本に関する内部評価プロセス（ICAAP）の一環として、取締役会は当グループの自己資本対策に関し、Finanstilsynetとの間で協議した。

2015年11月のキャピタル・マーケッツ・デーに、DNBは、普通株式等Tier１資本比率の2016年度末から及び2017年度末からの目標値をそれぞれ最低15.0%及び15.5%に引き上げた。資本構成の目標値は常に、グループの加重リスク量を踏まえたものである。

DNBグループの自己資本水準は、通常の長期資金調達に関するAAレベルの格付目標に対応している。DNBグループの普通株式等Tier１資本比率及び自己資本規制比率は、2015年度末現在でそれぞれ14.4%及び17.8%であった。2014年度末ではそれぞれ12.7%及び15.2%であった。

2015年度末のDNBバンク グループの普通株式等Tier１資本比率は14.3%、自己資本規制比率は17.9%であり、2014年度末ではそれぞれ12.5%及び15.2%であった。加えて、ニューヨークの子会社であるDNBマーケッツインクの事業に関しては、米国当局が当行グループに課した別の規制を充足させなければならず、それによれば、当行グループのTier１資本比率は6%、合計自己資本規制比率は10%でなければならないとされている。2015年度末現在、その条件も余裕を持って達成されている。

2015年度末現在、DNBバンク　エイ・エス・エイの普通株式等Tier１資本比率は15.1%、自己資本比率は19.3%であり、2014年度末ではそれぞれ13.2%及び16.3%であった。

2015年度末現在、移行ルールに基づき計算されたDNBボーリ・クレジット　エイ・エスの普通株式等Tier１資本比率は15.2%であり、自己資本比率は17.3%であった。

当行グループの取引主体としての規制評価と資本配賦に加え、ガバナンス上、事業部門への資本配賦が行われている。当行グループの自己資本はすべて事業部門へと配賦される。この配賦は、規制要件とリスク調整後所要自己資本の算定の双方を反映したものである。

自己資本規制

適正自己資本は銀行及び投資会社に対するEUの新たな自己資本規制（CRD Ⅳ／CRR）に従って報告されている。法定財務諸表に適用される評価規則は、連結規則により定められている特別な連結規則に従う連結会計の基礎を成すものである。

DNBバンク　エイ・エス・エイ　　第一次自己資本　　DNBバンク グループ

2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
127,720	151,533	資本合計	173,412	141,309
		規制上の連結による影響	(541)	(56)
	(8,053)	資本合計に含まれるその他Tier１資本調達手段	(8,053)	
	(219)	その他Tier１資本調達手段に係る正味未払利息	(219)	
127,720	143,261	普通株式等Tier１資本調達手段	164,599	141,253
		控除		
(7)	(38)	年金債務を上回る年金基金	(38)	(7)
(2,963)	(3,012)	のれん	(3,029)	(2,979)
	(195)	一時差異に係るものを除く繰延税金資産	(640)	(514)
(831)	(663)	その他の無形資産	(1,075)	(1,224)
		グループ配当（未払）	(5,000)	(4,000)
(1,466)	(1,383)	IRBポートフォリオの実損失を上回る予想損失	(2,309)	(2,075)
(509)	(671)	慎重な価値評価の要件に基づく評価調整(AVA)	(1,055)	(917)
278	(15)	公正価値で計上された負債に係る未実現損失／（利得）に対する調整	(412)	646
(821)	(785)	デリバティブ負債に係る当該機関の自己の信用リスクから生じる未実現損失／（利得）に対する調整(DVA)	(150)	(268)
121,402	136,499	普通株式等Tier1資本	150,889	129,915
4,028	10,267	その他Tier１資本調達手段	10,267	4,028
125,430	146,766	Tier1資本	161,156	133,944
4,792	5,702	永久劣後債	5,702	4,792
19,322	22,185	期限付劣後債	22,185	19,322
24,115	27,887	Tier2資本	27,887	24,115
149,545	174,653	適格自己資本合計	189,043	158,058
919,238	906,084	リスク加重資産、 移行ルール	1,056,731	1,038,396
73,539	72,487	最低所要自己資本、 移行ルール	84,539	83,072
13.2	15.1	普通株式等Tier1資本比率、 移行ルール(%)	14.3	12.5
13.6	16.2	Tier1資本比率、移行ルール(%)	15.3	12.9
16.3	19.3	自己資本比率、移行ルール(%)	17.9	15.2

バーゼルIII

信用ポートフォリオの大半はIRB手法に従って報告されている。ただし、銀行及び金融機関（DNBバンク）という一つのポートフォリオについては依然として、IRBに関するFinanstilsynet からの最終的な承認を待っている状況にある。シミュレーションモデルで格付けした大手法人顧客(DNBバンク)ポートフォリオは2015年12月に承認されている。

リスク加重資産及び所要自己資本の詳細

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	名目エクスポージャー 2015年12月31日 現在	EAD[1] 2015年12月31日 現在	平均リスク加重（%） 2015年12月31日 現在	リスク加重資産 2015年12月31日 現在	所要自己資本 2015年12月31日 現在	所要自己資本 2014年12月31日 現在
IRB手法						
事業法人	798,955	640,170	48.3	309,397	24,752	25,158
特別貸出（SL）	8,946	8,175	60.6	4,955	396	134
リテール－住宅ローン	86,769	86,769	29.5	25,565	2,045	1,402
リテール－その他のエクスポージャー	111,886	92,132	26.7	24,568	1,965	2,016
証券化	19,162	19,162	78.3	15,007	1,201	1,820
信用リスク合計、IRB手法	1,025,717	846,407	44.8	379,493	30,359	30,529
標準的手法						
中央政府	50,761	61,162	0.6	374	30	3
金融機関	1,063,569	804,772	21.0	169,311	13,545	13,357
事業法人	115,485	90,237	93.0	83,915	6,713	12,060
リテール－住宅ローン	5,915	5,447	40.5	2,206	177	146
リテール－その他のエクスポージャー	71,793	26,672	74.4	19,836	1,587	1,573
株式	122,228	122,228	100.3	122,589	9,807	6,543
その他の資産	12,109	12,109	175.9	21,297	1,704	1,059
信用リスク合計、標準的手法	1,441,860	1,122,627	37.4	419,528	33,562	34,740
信用リスク合計	2,467,578	1,969,034	40.6	799,021	63,922	65,269
市場リスク						
ポジション・リスク－負債性金融商品				23,116	1,849	1,661
ポジション・リスク－資本性金融商品				243	19	39
為替リスク						
コモディティ・リスク				38	3	9
信用評価調整リスク（CVA）				11,832	947	1,016
市場リスク合計				35,230	2,818	2,725
オペレーショナル・リスク				71,833	5,747	5,545
移行ルール適用前のリスク加重資産及び所要自己資本合計				906,084	72,487	73,539
移行ルール適用による追加の所要自己資本						
リスク加重資産及び所要自己資本合計				906,084	72,487	73,539

1）EAD（デフォルト時のエクスポージャー）

リスク加重資産及び所要自己資本の詳細

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	名目エクスポージャー 2015年12月31日 現在	EAD1) 2015年12月31日 現在	平均リスク加重（%） 2015年12月31日 現在	リスク加重資産 2015年12月31日 現在	所要自己資本 2015年12月31日 現在	所要自己資本 2014年12月31日 現在
IRB手法						
事業法人	1,108,681	903,210	46.3	417,760	33,421	29,699
特別貸出（SL）	10,813	10,042	58.2	5,844	468	179
リテール－住宅ローン	667,612	667,612	22.9	153,008	12,241	8,705
リテール－その他のエクスポージャー	111,886	92,132	26.7	24,568	1,965	2,016
証券化	19,162	19,162	78.3	15,007	1,201	1,820
信用リスク合計、IRB手法	1,918,154	1,692,158	36.4	616,187	49,295	42,419
標準的手法						
中央政府	60,174	74,103	0.6	411	33	18
金融機関	356,867	121,152	24.7	29,874	2,390	2,899
事業法人	183,450	145,598	87.3	127,046	10,164	16,196
リテール－住宅ローン	48,498	46,475	47.4	22,046	1,764	1,657
リテール－その他のエクスポージャー	93,085	43,513	75.9	33,024	2,642	2,757
株式	2,921	2,921	112.4	3,281	263	228
証券化	2,474	2,474	30.2	748	60	66
その他の資産	8,779	8,779	108.7	9,539	763	774
信用リスク合計、標準的手法	756,247	445,015	50.8	225,970	18,078	24,596
信用リスク合計	2,674,401	2,137,172	39.4	842,157	67,373	67,014
市場リスク						
ポジション・リスク－負債性商品				14,261	1,141	1,380
ポジション・リスク－資本性商品				456	36	39
為替リスク						
コモディティ・リスク				38	3	9
信用評価調整リスク（CVA）				6,429	514	602
市場リスク合計				21,184	1,695	2,030
オペレーショナル・リスク				84,281	6,742	6,558
移行ルール適用前のリスク加重資産及び所要自己資本合計				947,622	75,810	75,603
移行ルール適用による追加の所要自己資本2)				109,110	8,729	7,469
リスク加重資産及び所要自己資本合計				1,056,731	84,539	83,072

1）EAD（デフォルト時のエクスポージャー）
2）移行ルールのため、最低所要自己資本は、バーゼルIに則って算出した所要自己資本の80%を下回ることはできない。

次へ

注４　リスク管理

DNBバンク グループにおけるリスク管理

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、全般的にリスク・プロファイルに対しては保守的な姿勢を維持するという目標を明確に掲げており、それは通常の長期負債に関して最低でもAAレベルの格付を維持するというDNBバンク エイ・エス・エイの目標に反映されている。DNBバンク グループの収益性は、金融サービスに伴い生ずるリスクを特定し、管理し、正確にプライシングをすることができるかどうかという能力に掛かっている。

組織体制及び承認手順

- *取締役会*。DNB エイ・エス・エイの取締役会は、当行グループのリスク・プロファイルに関して長期目標を設定している。リスク・プロファイルは、承認の設定を含むリスク管理の枠組みの中で管理される。リスク・テイキングは、決められた限度内にとどめなければならない。
- *承認*。信用供与並びにすべての重要な金融分野におけるポジション及びトレーディングの限度枠に関して承認を受けなければならない。
- *すべての承認は個々に行われる*。承認及びグループの限度枠は取締役会が決定し、組織内で委任されるが、さらに他に委任する際には直属の上司の承認を必要とする。
- *限度枠の年次見直し*。リスク限度枠は、予算策定及び計画立案のプロセスに関連して年に最低でも一回見直される。
- *独立したリスク管理機能*。リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、個々の事業部門の業務からは独立した部門によって行われる。

リスク情報のモニタリング及び利用

- *説明責任*。すべての役員は、自身の担当分野のリスクに関して責任を負い、常に最新のリスク状況を完全に把握していなければならない。
- *リスクに関する報告*。DNBグループのリスクに関する報告は、すべての役員が現在のリスク水準及び将来の動向に関する必要な情報を持てるようにするためのものである。高品質かつ独立したリスク報告を行えるように、報告に関する責任は、事業部門からは独立した部門に課せられる。
- *資本評価*。DNBグループの自己資本及びリスク状況に関する概要及び分析は、DNB エイ・エス・エイの取締役会に四半期ごとのリスク報告書で提出される。
- *リスク情報の利用*。リスクは事業部門の管理及びモニタリングの不可欠な部分である。リスク調整後自己資本に対するリターンは、商品の価格算定、利益の計算並びに事業部門の業績モニタリングに反映される。

関連するリスク測定

- *リスク選好度*。2013年１月から、DNBバンク グループは明確化された目標値を通じてリスクをモニタリングしている。リスク選好度フレームワークは、DNBバンク グループにとって重要であると考えられるリスクを網羅した16のステートメントで構成され、その合計を通じて当行のリスクの全体像が俯瞰できるようになっている。目標値に対するリスクの動向がモニタリングされ、月次で当行グループの経営チームに報告され、四半期ごとにDNBの取締役会に報告されている。詳細については「リスク選好度」の項を参照のこと。
- *当行グループで共通のリスク測定*。当行グループのリスクは、当行グループのすべての事業部門において、流動性リスクを除く主要なリスク・カテゴリーに関して算定され、リスク調整後自己資本の形で測定される。「DNBバンク グループのリスク調整後自己資本」の項を参照のこと。
- *補完的なリスク測定*。さらに、リスクは、多岐にわたる事業部門の運営に適用される補完的なリスク測定によってフォローアップされる。この補完的なリスク測定は、例えば、限度枠、主要数値及びポートフォリオのリスク目標値と関連したポジションのモニタリング等である。

リスク・カテゴリー

リスク管理上、当行グループは以下のリスク・カテゴリーで分類している。

- *信用リスク*（又はカウンターパーティ・リスク）は、当行グループの顧客（カウンターパーティ）が、DNBバンク グループに対する債務の支払いができなかったことによって生じる金銭上の損失リスクである。信用リスクには、貸付金を中心とする顧客又はカウンターパーティに対する債権すべてのみならず、それ以外の承認済み与信、保証、固定利付債券、未実行与信残高及び銀行間預金に関する債務、並びにデリバティブ取引に関して生じるカウンターパーティ・リスクなどが含まれる。さらに、契約に基づく送金や決済に関して生じる決済リスクの中にも、カウンターパーティ・リスクの重要な要素がある。信用リスクはまた、単一又は同一顧客に対する大口与信、特定の地域や業種への集中、又は同質の顧客グループに対する与信に関するリスクを含む、集中リスクを含んでいる。残余リスクとは、与信に対して供された担保が期待通りの結果とならないリスクである。（注５）には、2014年度末及び2015年度末のDNBバンク グループの信用リスクに関する評価が記載されている。
- *市場リスク*は、外国為替、金利、コモディティ及び株式市場における当行の未ヘッジポジションがもたらす損失のリスクである。当リスクは、市場価格及び為替相場の変動による利益の変動の結果生じる。市場リスクは、通常のトレーディング業務を通じて生じるリスク並びに銀行業務及びその他の事業運営の一環として生じるリスクの双方を含む。（注12）から（注15）には、2014年度末及び2015年度末のDNBバンク グループの市場リスクに関する評価が記載されている。
- *オペレーショナル・リスク*は、内部プロセス及びシステムの不備又は誤謬、人為的エラー又は外部事象が引き起こす損失のリスクである。オペレーショナル・リスクはまた契約の書類作成及び解釈、DNBバンク グループが業務を行う立地における異なる法律実務に関連して生じることが多い法的リスクと同様に、法令や規則、同様の義務違反に起因する損失のリスクであるコンプライアンス・リスクを含む。

- ***流動性リスク***は、DNBバンク グループが期限の到来した債務を履行できないリスクであるほか、DNBバンク グループが付随費用の大幅な増加なくして流動性確保義務を満たすことができなくなるリスクである。流動性は金融業に不可欠なものであるが、他の事象がDNBバンク グループの債務履行能力に関する懸念を引き起こすまで顕在化しないという点で、このリスク・カテゴリーは条件付きとなることが多い。（注16）には、2014年度末及び2015年度末のDNBバンク グループの流動性リスクに関する評価が記載されている。
- ***事業リスク***は、市況又は政府の規制などの外部要因の変動による収益の変動又は風評の悪化による収益の喪失に関するものである。風評リスクは、多くの場合、その他のリスク・カテゴリーの結果として生じる。DNBバンク グループのビジネスリスクは、主としてDNBバンク グループの評判を守り、高めるための戦略プロセス及び継続的取組みを通じて対処されている。DNBバンク グループのリスク選好度の決定及びフォローアップを行う際に、風評リスクは独立したリスクとして定義されている。

上述のリスク・カテゴリーに加え、DNBバンク グループが既存の戦略的チャンスを有効に生かすことができなかった場合に収益が悪化するリスクとして定義される戦略リスクにさらされている。DNBバンク グループの戦略リスクは、個別に測定並びに報告はされないが、年次戦略プロセスの一環として議論されている。

リスク選好度

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、2012年に策定され、2013年１月１日から使用されているリスク選好度フレームワークを通じて、DNBグループのリスク・プロファイルの長期的な目標を設定している。リスク選好度フレームワークは、実践的かつ体系的で透明性があり、かつ他と整合性の取れた方法により、リスクが管理され、DNBグループのガバナンスプロセスと一体化されるよう確実を期すことを目的としている。リスク選好度フレームワークは、事業におけるリスクに関して、バランスよく全体像を俯瞰できるものでなければならない。2015年には、フレームワークは、リスクの内容とレベルに関する目標値を定めた16のステートメントで構成されていた。このフレームワークを支えるために、DNBグループにおける一連のガバナンス原則、運用手続き及び責任が明確化されている。目標とするリスク・プロファイルも、権限及びビジネスリミットの策定を含め、リスク管理体制の他の部分に反映されている。当該リスク選好度フレームワークについては、少なくとも一年に一度は検証が行われる。また取締役会も、リスクレベル、フレームワークのありかたに加え、関連するリスク・カテゴリーの報告についても定期的に検証を行っている。

リスク選好度ステートメント

リスク選好度のフレームワークは、DNBグループにとって最も重要であると考えられるリスクの特徴を網羅したステートメントで構成されており、それを取り纏めたものがリスクの全体像を捉えるものとなっている。このステートメントは下記の内容に沿って体系化されている。

- 収益性及び利益
- 自己資本充実度
- 市場リスク

- **保険リスク**
- **信用リスク**
- **流動性リスク**
- **オペレーショナル・リスク**
- **風評リスク**
- AML(マネー・ロンダリング防止)

DNBグループのリスク選好度に基づいて決定されたリミットは、各事業部門及びサポート部門で実際に使われている。DNBグループのガバナンスシステムでは、リスク選好度は選択された指標に対する目標値として表されている。対象とする業務を反映したリスク指標をモニタリングすることにより、DNBグループは当該リスクが目標範囲内に収まっているかどうかを確認できるようになっている。通常、リスク指標は（定量化が可能なリスクに対する）リミット又は、リスクレベルに対する定性的な評価として表される。この指標は、対応すべきリスク上の課題や傾向は同じであっても、必ずしもDNBグループに対して用いられているものと同じ測定パラメーターを用いて表されているわけではない。これらの目標値を継続的にモニタリングすることにより、最重要であると定義づけられたリスク上の課題が、組織の業務部門でもモニタリングされ討議されるよう確実を期すことができるようになっている。

ガバナンス原則

このフレームワークを支えるために、DNBグループにおける一連のガバナンス原則、運用手続き及び責任が明確化されている。これらは、リスク選好度の設定が、組織における他の主要なガバナンスプロセスと一体化したリスク管理に資するよう確実を期すと同時に、組織の戦略的計画及び財務的計画に対するリスクの影響を図る基準として必要な独立性を維持するために不可欠なものである。

- **オーナーシップ：　フレームワークに関するオーナーシップは取締役会にある。フレームワーク及びガバナンス原則に対するすべての変更は、取締役会の承認を受けなければならない。**
- **年次の検証：　リスク選好度フレームワークについては、DNBグループのチーフ・リスク・オフィサー（CRO）が主導するプロセスに従って、少なくとも一年に一度は検証を行わなければならない。当該年次検証は、戦略的計画・財務的計画策定プロセスからは独立して実施される。**
- **報告：　「交通信号」形式の表示で、DNBグループにおける実際のリスク・エクスポージャーを月次で報告している。この報告体制に基づいて、リスク選好度ステートメントと比較して限度に近いレベルに近づいているリスクや限度を超過しているリスク要素をフォローアップし管理するための所定の手続が設けられている。**
- **責任：　選任された者は、各リスク選好度ステートメントに対し責任をもち、リスクレベルが限度を超える場合には、リスクのフォローアップと行動計画の作成を行う。**

DNBバンク グループのリスク調整後自己資本

リスク調整後自己資本はさまざまな事業活動から生じる損失のリスクの算定である。リスク調整後自己資本により、さまざまなリスク・カテゴリーにわたってリスクを比較することが可能になる。通常のビジネスサイクルで生じる平均的な損失は、当行グループの商品に対する正しい価格設定を通じてカバーすべき期待費用を表している。リスク調整後自己資本は、予期せぬ損失をカバーしなければならない。リスク調整後自己資本の定量化は、過去のデータについての様々なリスク・カテゴリーの統計的確率計算に基づいて行われる。潜在的な損失のすべてを防ぐことは不可能であるため、DNBグループでは、リスク調整後自己資本は、一年内のタイム・ホライズンで潜在的な損失を99.97%カバーするものとすると規定している。この水準は、DNBバンク　エイ・エス・エイの通常の長期負債に対するAAレベルの格付に従ったものである。

リスク調整後自己資本と通常のビジネスサイクルにわたる平均的な損失は、リスク調整後リターンを算定する際の要素であり、DNBバンク グループの内部管理にあたっての、重要な財務上の管理パラメーターである。算定は、事業部門の財務計画の中で行われ、毎月報告される。リスク調整後リターンはプライシング・モデルの中の測定パラメーターであり、自動化された管理システムで月次で報告されている。リスク調整後自己資本も、リスク管理の意思決定支援に用いられている。

当行グループのエクスポージャーの大半をIRB手法で報告することに伴って、リスク調整後自己資本に関する枠組みと、自己資本規制との類似性は次第に高まっている。信用リスク及びオペレーショナル・リスクの一部に関していえば、そのリスクドライバーはおおむね同じものである。ただし、その信頼水準は異なっている。

DNBバンク グループでは、信用リスク、市場リスク、保険リスク、オペレーショナル・リスク及び事業リスクといった各リスク・カテゴリーに対し、リスク調整後自己資本を定量化している。さまざまなリスクをあわせて検討した場合、すべての損失が同時に発生する可能性は高くないため、大幅な分散化又はポートフォリオ効果が生じる。通常、景気の低迷は大半の事業部門に対しマイナスの影響を及ぼすが、分散化の影響により、すべての事業部門が同じように大きな打撃を受けるとは限らない。リスク・カテゴリーと事業部門の間にみられる分散化効果は、DNBバンク グループのリスク調整後自己資本が、仮に事業部門が独立した企業であったと想定した場合よりも、かなり低くなっていることを意味している。

2015年12月末現在、DNBバンク グループの正味リスク調整後自己資本は68.5十億ノルウェー・クローネであると見積もられており、2014年12月末現在に比べ、4.3十億ノルウェー・クローネ減少している。

DNBバンク グループ

（単位：十億ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
信用リスク	55.5	58.8
市場リスク	6.9	9.1
オペレーショナル・リスク	8.4	8.2
事業リスク	6.2	6.0
リスク調整後自己資本総額	77.0	82.1
分散化効果 1)	(8.5)	(9.3)
正味リスク調整後自己資本	68.5	72.8
リスク調整後自己資本総額に占める分散化効果の割合（%）1)	11.1	11.4

1) 分散化効果とは、予想できない損失が同時に起きる可能性が低い場合に複数のリスク・カテゴリーで事業展開を行うことによってリスクを削減するような、当行グループによる効果のことである。

リスク調整後自己資本が減少した主な要因

与信に係るリスク調整後自己資本は、2015年度に3.3十億ノルウェー・クローネ減少した。これは主に大口のコーポレート・ポートフォリオにおける貸出額の減少による。年間を通して特定のセクターで信用度が低下する傾向がみられたが、全般的に信用度は事実上変化はなかった。

市場リスクに対するエクスポージャーは、2015年度に2.2十億ノルウェー・クローネ減少した。これは投資不動産の売却並びに当行グループの従業員を対象とした確定給付年金制度が確定拠出年金制度へ移行したことを反映している。

リスクの集中

金融リスクの集中は、同一の特性を持つ金融商品が、経済又はその他の要因の変動により同様な影響を受ける場合に生じる。リスク集中の特定は、裁量的な評価によって行われる。DNBバンク グループのリスク管理の全般的な目的は、リスク集中を減らし、管理することである。DNBバンク グループは、単一の顧客又は顧客グループ、並びに（注２）、（注６）及び（注７）にみられる高リスクのカテゴリー、業界及び地域における貸出金の集中等の大きなエクスポージャーを含む、高リスクへの大規模な集中を避けることを目指している。2015年12月31日現在の信用リスク合計は、（注５）に記載されている。市場リスクについては、リスクの集中は、エクスポージャーを多数の商品に分け、株価、為替レート、コモディティ価格及び金利水準の変動に合わせて適切に多様化するための限度枠により制限されている。金利リスクの集中は（注13）に表示されている。通貨リスクは（注14）に明記されている。DNBバンク グループの株式、投資信託及びエクイティ証書における最大の投資先については（注30）に明記されている。DNBバンク グループは、上記で述べた戦略的に重要な分野等の中核事業以外には、重大なリスク集中を確認していない。

注５　信用リスク

信用リスク又はカウンターパーティ・リスクは、当行グループの顧客又はカウンターパーティが、当行グループに対して支払債務を履行できなくなることによる財務上の損失リスクである。信用リスクは貸出金を中心とする顧客又はカウンターパーティに対する債権すべてに関連しているだけでなく、他の幅広い信用供与、保証、利付証券、未使用の与信枠、銀行間の預け金や貸出枠という形態でのコミットメント、並びに為替及び金利デリバティブの取引を通じて生じるカウンターパーティ・リスクなどがそれに含まれる。加えてカウンターパーティ・リスクは、契約に係る支払送金や決済に関して生じる決済リスクの主要因である。

信用リスクは、ある地域や産業、あるいは同質の顧客グループに貸出金がかたまってしまう等、特定の顧客に対するエクスポージャーが大きくなってしまうことに関するリスクを含む、集中リスクを含んでいる。残余リスクは、貸出金を裏付ける担保が予想よりも効果的でなくなってしまうリスクである。信用リスク管理及び測定に関しては、リスク及び自己資本管理（第３の柱）レポートの中にさらに詳細が記載されている。与信業務に係る当行グループのガイドラインは、DNBバンク　エイ・エス・エイの取締役会による承認を受けている。与信業務の主な目的は、貸出ポートフォリオの質と構成が、当行グループの短期及び長期の収益性の適切な基盤となるよう確実を期すことである。貸出ポートフォリオの質は、リスクの低いポートフォリオを維持するというDNBの目標と整合すべきである。当行グループの信用リスクがリスク調整後自己資本として計量化されている（注４）「リスク管理」もあわせて参照されたい。

信用リスクの最大エクスポージャーには、金融資産の帳簿価額に加え、主として保証や未使用の与信枠と貸出枠等による未計上のエクスポージャーがある。保証、未使用の与信枠と貸出枠については、（注48）「オフ・バランスシート取引及び偶発事象」に記載されている。最大信用リスク・エクスポージャーとそれに関連する担保は下記の通りである。

信用エクスポージャー及び担保　　**DNBバンク　エイ・エス・エイ**

2015年12月31日現在

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	信用リスクの最大エクスポージャー	不動産による担保	有価証券による担保	その他の担保[1)]
中央銀行預け金	14,748			
金融機関向貸出金及び預け金	630,700		278,973	2
顧客向貸出金	705,532	239,554	43,429	238,366
コマーシャル・ペーパー及び債券	229,224			
デリバティブ	213,797		1,675	86,785
その他資産	23,209			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	1,817,210	239,554	324,078	325,153
保証	95,867	10,827	227	31,498
未使用の与信枠と貸出枠	963,486	8,704	97	57,588
その他のコミットメント	4,576			
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	1,063,930	19,531	323	89,086
合計	2,881,140	259,085	324,401	414,239

信用エクスポージャー及び担保　　**DNBバンク　エイ・エス・エイ**

2014年12月31日現在

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	信用リスクの最大エクスポージャー	不動産による担保	有価証券による担保	その他の担保[1)]
中央銀行預け金	52,370			
金融機関向貸出金及び預け金	608,036		332,548	121
顧客向貸出金	723,456	249,628	13,071	258,594
コマーシャル・ペーパー及び債券	243,673			
デリバティブ	248,768		1,536	135,099
その他資産	12,136			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	1,888,440	249,628	347,155	393,814
保証	99,929	8,173	154	30,525
未使用の与信枠と貸出枠	995,350	9,276	56	73,009
その他のコミットメント	4,212			
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	1,099,491	17,448	210	103,534
合計	2,987,931	267,076	347,365	497,348

信用エクスポージャー及び担保 **DNBバンク グループ**

2015年12月31日現在

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	信用リスクの最大エクスポージャー	不動産による担保	有価証券による担保	その他の担保1)
中央銀行預け金	16,911			
金融機関向貸出金及び預け金	297,457		279,056	44
顧客向貸出金	1,531,932	877,625	44,559	346,155
コマーシャル・ペーパー及び債券	226,224			331
デリバティブ	203,273		1,675	86,821
その他資産	7,920			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	2,283,719	877,625	325,291	433,351
保証	98,595	11,077	227	31,710
未使用の与信枠と貸出枠	600,523	61,667	97	91,169
その他のコミットメント	4,841			
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	703,959	72,745	324	122,879
合計	2,987,677	950,370	325,615	556,230

信用エクスポージャー及び担保 **DNBバンク グループ**

2014年12月31日現在

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	信用リスクの最大エクスポージャー	不動産による担保	有価証券による担保	その他の担保1)
中央銀行預け金	56,316			
金融機関向貸出金及び預け金	355,577		332,675	121
顧客向貸出金	1,447,465	872,441	14,273	312,282
コマーシャル・ペーパー及び債券	219,693			
デリバティブ	236,389		1,536	135,121
その他資産	11,730			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	2,327,171	872,441	348,485	447,524
保証	103,017	8,230	154	30,813
未使用の与信枠と貸出枠	606,912	55,270	75	85,158
その他のコミットメント	4,522	1		43
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	714,451	63,501	229	116,013
合計	3,041,622	935,942	348,714	563,537

1）その他の担保には、ネッティング契約や受領した保証のようなその他の信用補完と合わせ、公正価値で評価された動産、保証、船舶、現金が含まれている。

上記の表には、信用リスク及びそれに関連した担保の評価額に係る、オンバランスシート及びオフバランスシート項目が記載されている。入手可能な場合には公正価値が表示されている。総じて公正価値は、担保の種類によって異なる評価技法を用いて見積もられている。不動産に関しては、同種の不動産に係る市場のパラメーターに基づいて、担保価値を見積もるモデルが用いられている。これに準じた手法が、その他の非金融担保で用いられている。入手可能で実効的な担保価値とするために、上記の表に含まれている担保の公正価値は、個々の貸出金又はエクスポージャーの最大信用エクスポージャーを上限としている。

2015年12月31日現在の主な項目の説明は以下の通りである。

- *中央銀行への預け金：*　12,556百万ノルウェー・クローネにのぼるノルウェー銀行への預け金である。DNBバンクはノルウェー国外の、主としてOECD諸国の中央銀行との間で短期取引のみ行っている。
- *顧客向貸出金：*　詳細に関しては、後述の「与信業務に係るガイドライン」を参照のこと。
- *コマーシャル・ペーパー及び債券：*　詳細に関しては、後述の「その他の金融資産の信用エクスポージャー」を参照のこと。
- *デリバティブ：*　その他の担保は、顧客との他の取引残高に対する相殺の機会及び受領した現金担保である。
- *保証：*　詳細に関しては、後述の「与信業務に係るガイドライン」を参照のこと。
- *未使用の与信枠及び貸出枠：*　78,832百万ノルウェー・クローネ及び78,079百万ノルウェー・クローネにのぼるDNBバンク グループ及びDNBバンク　エイ・エス・エイにとっての貸出、与信及び与信枠の供与が最大信用エクスポージャーに含まれている。かかるエクスポージャーに対しては、正式な担保は設定されておらず、評価額も上記の表には含まれていない。いったん顧客によってかかる供与が受け入れられた場合に担保が設定される。かかる供与に関連した担保価値の評価は、後述の「与信業務に係るガイドライン」の箇所に記載されている手続及び基準に従って行われる。

貸出金及びコミットメントに係る信用リスクのエクスポージャー

（注６）及び（注７）では、主要顧客グループ別、地域別に当行グループの信用リスクのエクスポージャーが示されている。（注８）から（注11）まででは、減損した貸出金及び保証、並びに貸出金及び保証の減損が示されている。

貸出金及びコミットメントの分類

DNBの、顧客に係るリスク分類の内部モデルは、継続的に改善され吟味されている。モデルは、業界やセグメントが異なってもそれに合わせて対応できるようになっており、モデルで用いられている変数が、モデルに含まれている個々のパラメーターに対する主なリスク要因に基づいて常に高い説明力を有するよう確実を期すために、定期的に更新されている。DNBは自己資本充実度の算定にIRBAモデルを使用することに対する許可を得ている。所要自己資本の計算とリスク管理において同じ分類が使用されている。

与信が供与されているすべての法人顧客は、重要な与信への承認ごとに関連したリスクに従って、別段の定めがなされた場合を除いて、少なくとも一年に一度は分類されている。個人顧客市場では顧客の数が多いため、与信の供与の大半は自動化されたスコアリングと意思決定支援システムに基づいて行われている。リスク分類は各顧客及び当該顧客の与信コミットメントに関連した、長期リスクを反映したものでなければならない。

リスク分類システムは意思決定支援、モニタリング及び報告に用いられている。分類システムで用いられているリスク・パラメーターは与信プロセスだけでなく、与信方針のフォローアップを含めた継続的なリスクモニタリングに欠かせないものである。

質を測定するためにデフォルト確率（PD）が用いられている。当行ではポートフォリオを、各与信コミットメントのデフォルト確率に基づいて10段階のリスクレベルに分類している。

DNBのリスク分類1)

	デフォルト確率（%）		外部格付	
リスク分類	から	まで	ムーディーズ	スタンダード＆プアーズ
1	0.01	0.10	Aaa－A3	AAA－A-
2	0.10	0.25	Baa1－Baa2	BBB+－BBB
3	0.25	0.50	Baa3	BBB-
4	0.50	0.75	Ba1	BB+
5	0.75	1.25	Ba2	BB
6	1.25	2.00		
7	2.00	3.00	Ba3	BB-
8	3.00	5.00	B1	B+
9	5.00	8.00	B2	B
10	8.00	減損	B3，Caa/C	B-，CCC/C

1）DNBのリスク分類システムでは、1が最も低いリスクで10が最も高いリスクを表す。

リスク分類による貸出金及びコミットメント　　DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	顧客向総貸出額	保証コミットメント	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
デフォルト確率に基づくリスク分類				
1－4	385,382	66,055	349,040	800,477
5－6	221,782	20,242	81,060	323,084
7－10	104,677	5,438	19,992	130,107
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	17,573	289		17,862
2014年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計1)	729,414	92,024	450,092	1,271,530
デフォルト確率に基づくリスク分類				
1－4	417,736	65,665	298,095	781,495
5－6	156,660	11,024	45,850	213,534
7－10	124,398	8,605	21,974	154,976
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	11,972	647		12,619
2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計1)	710,766	85,941	365,918	1,162,625

1）額面金額に基づく。

貸倒水準1)

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
受取利息の損失を含む標準化された損失（正味貸出額に対する比率%）	0.34	0.36

1）貸倒水準の算定は、将来の損失（デフォルトの頻度）の確率、デフォルト時のエクスポージャー及び見積損失の大きさ（損失率）の評価に基づいている。なお、算定は一定の裁量及び見積りに基づいている。

リスク分類による貸出金及びコミットメント　　**DNBバンク グループ**

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	顧客向総貸出額	保証コミットメント	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
デフォルト確率に基づくリスク分類				
１－４	916,794	68,512	464,456	1,449,762
５－６	363,476	21,071	94,487	479,034
７－10	147,298	5,922	22,106	175,326
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	26,744	306		27,051
2014年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計1)	1,454,312	95,811	581,049	2,131,173
デフォルト確率に基づくリスク分類				
１－４	1,014,114	68,542	458,666	1,541,321
５－６	327,057	11,519	66,033	404,609
７－10	176,823	8,742	29,143	214,708
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	21,970	675		22,645
2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計1)	1,539,964	89,479	553,841	2,183,284

1) 額面金額に基づく。

貸倒水準1)

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
受取利息の損失を含む標準化された損失（正味貸出額に対する比率%）	0.25	0.27

1) 貸倒水準の算出は、将来の損失（デフォルトの頻度）の確率、デフォルトに対するエクスポージャー及び見積損失の大きさ（損失率）の評価に基いている。なお、算定は一定の裁量及び見積りに基づいている。

与信業務に係るガイドライン

与信承認に係るDNBのガイドライン及びプロセスは与信業務に係る当行グループのガイドラインに記載されている。当ガイドラインは、様々なセグメントにおいて、どのように信用が供与され、信用エクスポージャーがフォローアップされるかについて記載している。新規顧客評価、健全な信用エクスポージャーのフォローアップ、経営不振に陥った顧客のフォローアップ及び貸倒懸念並びに収益不計上貸出金の対応手続きを詳細に記載している。

DNBにおける与信供与は、認可及び承認マトリクスをもとに行われる。基本原則として、認可及び承認マトリクスに基づき、担当者一人が申請し、別の者が承認を行う。マトリクスは規模、リスク、並びに関連がある場合は、業界単位で区別されている。住宅ローンにおける低リスク・エクスポージャーの場合は、2人のみの関与(申請、承認)となるが、重要で複雑なエクスポージャーの提案は、上級審査役の承認を受けなければならない。さらに、信用調査委員会の意見が求められ、また業界専門家の関与が求められる可能性がある。

信用供与における判断要素は、稼得した収入及び融資を受けた営業活動からの収入など、継続的な将来キャッシュ・フローの形による顧客の債務返済能力である。当行は、キャッシュ・フローの将来的な減少又はデフォルトに関連する損失リスクを、担保の徴求により軽減しようと努めている。例外的なケースでのみ、顧客が担保を提供しない場合であっても、信用を供与することがある。

担保としては、現物資産、保証、現金預金又はネッティング契約などの形式が考え得る。原則として、現物による担保は付保されていなければならない。他の債権者が資産に対する抵当権の設定を行わない、ネガティブ・プレッジ（担保制限条項）も同様にリスク軽減対策として使用される。

担保に加え、法人向けの金銭消費貸借契約書の多くは、初期段階においてDNBが財務上の問題を把握し関与できるよう確実を期すための追加的なリスク緩和要素を表した財務制限条項を含む可能性がある。財務制限条項の例としては、最低限のネット・キャッシュ・フローの金額や自己資本比率要件がある。

信用リスクのモニタリング

正常先顧客

法人顧客に関する与信業務に係るガイドラインに従い、信用評価はすべての顧客に対し１年に1度は行われる。これは顧客に関してDNBが識別したすべてのリスクの徹底した見直しである。すべての差し入れられた担保の新たな評価は年次検証の不可欠な一部である。意思決定及び認可マトリクスはすべての既存の貸付金の更新にも使用される。従って大口の複雑なエクスポージャーを見直す場合、関連する専門知識を有する者が常に関与することとなる。

個人顧客は系統的なポートフォリオ管理システムを介しフォローアップされる。高リスクが識別された場合は、エクスポージャーは個別にフォローアップされる。

ウォッチリスト

ウォッチリストは、特別な監視が必要となるリスクが生じた場合の、法人顧客のフォローアップのための当グループの主要ツールとなる。顧客が財務制限条項に抵触又は特別な監視が必要となるような損失事象が発生した場合、ウォッチリストに当該エクスポージャーを含めるかの判断がなされる。損失事象とは、深刻な財務上の問題又は市況における大きな変化を含む。さらに、高リスクセグメント（リスク評価で８から10）に該当するすべての顧客はウォッチリスト候補となる。高リスクの顧客をウォッチリストに含めるかを検討することは、与信業務に不可欠な部分である。ウォッチリストに含められた顧客は特別な監視の対象となる。より頻繁な場合もあるが、多くの場合、担保の最新評価を含む、四半期のリスク評価が必要となる。加えて、生じたリスク状況から抜け出すために、アクションプランの作成が要求される。特に、大きな困難に直面した顧客の徹底的なフォローアップは、特別な監視によって損失が発生するリスクを軽減し実際に発現した損失を最小限に抑えるという、当行の経験に基づいたものである。ウォッチリストエクスポージャーの見直しを行う都度、減損損失の必要性が検討される。

顧客への譲歩措置

顧客が経営不振に陥った場合、DNBは場合によっては、財務制限条項の緩和又は金利もしくは分割払いの減免／延期の形で、任意の譲歩を行うことがある。顧客が後に債務を弁済することが見込まれる場合には、財政面で厳しい期間を通じて顧客を支援することを目的として、このような施策が当行グループの信用ガイドラインに従い提案されている。これは損失を軽減するDNBの戦略の一部である。

損失及び収益不計上ポーフォリオ

損失又は収益不計上の場合には、顧客は厳重に監視される。当行の経験から、この段階では、正常先顧客に対する対応以外に他の補完的手段が必要となる。当カテゴリーに分類される顧客エクスポージャーは、この分野の専門知識を持つ独立した部門へ移管されるか、又は当該部門の関係者が顧客担当チームに参加することとなる。

差し押さえ企業並びに資産

減損並びに収益不計上エクスポージャーのフォローアップに関連し、場合によっては、DNBは貸付金及び保証の担保として供された資産を継承する。債務不履行により企業や資産が差し押さえられた場合、すべての取得先は、財務リストラクチャリングを通じてDNBの株主に対する価値の保証／回復を主要目的とする、当行グループの投資ユニットによりフォローアップされる。差し押さえ資産に係る詳細は以下の段落を参照のこと。

減損の対象ではない延滞貸出金

下表は、貸出金の延滞金額及び与信／預金の貸越額及びかかる貸出金の残債合計について、顧客の支払能力の悪化又は支払う意志がないものと想定し、延滞日数別に表示している。延滞貸出金及び与信／預金の貸越額は継続的にモニタリングされている。何らかの減損の客観的証拠がみられた貸出金及び保証については、減損の可能性が評価される。かかる評価は、下表に含まれる、減損の必要性がないとみられる貸出金及び保証についても同様に実施されている。減損の対象となった延滞貸出金は下表には含まれていないが、減損貸出金及び保証に関する表に含まれている。（注８）「主要顧客グループ別の減損貸出金及び保証」を参照のこと。

DNBバンク　エイ・エス・エイ

	2015年12月31日現在		2014年12月31日現在	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	延滞/貸越	延滞貸出金残高	延滞/貸越	延滞貸出金残高
10－29日	90	2,719	630	5,784
30－59日	73	1,369	501	2,260
60－89日	7	365	139	328
90日以上	1,353	3,756	24	863
合計	1,523	8,208	1,294	9,235

DNBバンク グループ

	2015年12月31日現在		2014年12月31日現在	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	延滞/貸越	延滞貸出金残高	延滞/貸越	延滞貸出金残高
10－29日	129	8,278	697	12,458
30－59日	272	2,743	526	3,347
60－89日	32	758	149	608
90日以上	1,706	5,076	203	960
合計	2,139	16,855	1,575	17,373

その他の金融資産の信用エクスポージャー

コマーシャル・ペーパー及び債券を含むその他の金融資産に対する当行グループの投資は、取締役会が承認したリスクリミットの範囲におさめられている。マーケッツ部門の海外債券ポートフォリオの詳細については、（注33）「満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券」を参照のこと。

デリバティブのカウンターパーティ・リスク

DNBは、顧客需要に基づきデリバティブ取引を行い、またかかる取引の結果生じるポジションをヘッジするためにデリバティブ取引を行う。さらにデリバティブは、取引ポートフォリオのポジションをヘッジするために加え、金利、通貨、コモディティ及び株式市場でのポジションを取るために使用される。デリバティブは、オンバランス商品が取引されるポートフォリオで取引されている。デリバティブは、個々の契約が当事者間で合意されることを意味する、「店頭」（OTC）において一般的に取引される。

デリバティブは多数の異なるカウンターパーティとの間で取引されており、そのうちの大半は、他の種類の取引にも関わっている。デリバティブ取引に関連して生じる信用リスクは、DNBグループの信用リスク測定全体の中に含められている。この測定及びフォローアップは日次で実施される。個々のカウンターパーティのカウンターパーティ・リスクを最小限に抑えるため、ネッティング契約又は相対の保証契約が締結されている。さらにさまざまな金利商品はLCHクリアネット社等、いわゆる清算機関で清算されている。従って、当事者個々に対するカウンターパーティー・リスクはLCHへ移転する。

当行は、大半の大手銀行のカウンターパーティ及びその他多数のカウンターパーティとCSA（クレジット・サポート・アネックス）を締結している。これは、DNBとカウンターパーティとの間で締結されたすべてのデリバティブ取引について、その市場価値を日次又は週次で決済できることを意味しており、その結果カウンターパーティ・リスクは大幅に消去されている。国債及びカバード・ボンドも使用されるが、こうした取引は一般に現金担保により裏付けされている。担保契約には通常、格付けトリガー条項は含まれていないが、ごく少数の契約については、DNBが格下げされた場合に最低エクスポージャーレベルが引下げられることになっている。格下げの可能性による影響は極めて限定的である。個人向けの株式先物取引、証券発行及び通貨取引は日次でモニタリング並びに管理されている。

回収した不動産及びその他資産－帳簿価額

回収資産は、収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証の管理の一環として、当行グループ内の部門が取得した資産である。取得時点では、かかる資産は見積実現可能価値で評価される。取得時点での収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証の帳簿価額との差額は、貸出金の減損に分類される。回収資産は、資産の種類に従い、貸借対照表に計上される。株式又は投資信託の持分を取得した場合は、当該資産は（注１）「会計方針」に規定された方針に従い評価される。最終的な売却に当たり、帳簿価額との差額は資産の種類に従い損益計算書に認識される。2014年度の不動産の増加は主にPolish Properties AS社の取得によるものであり、その他資産の増加はBRPH Top Holding AB社の取得であった。2014年度の不動産の処分は、主に Propinvest 社の一部売却に関連したものであった。2015年度の不動産の増加はラトビア及びリトアニアの住宅市場に関連したものであった。2015年度の不動産の処分は、København Ejendomme 社及びBRPH Top Holding AB社の子会社であるKomanditbolaget Europahuset Buildingの売却に関連したものであった。

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
83	71	１月１日現在の回収資産及びその他資産	5,185	4,838
1		不動産の取得	620	750
		その他資産の取得	33	482
(13)	(20)	不動産の売却	(3,426)	(883)
		その他資産の売却	(14)	(63)
		公正価値の調整から生じた純損益（投資不動産）	(68)	61
71	50	12月31日現在の回収した不動産及びその他資産	2,330	5,185

2015年度に取得した企業又は企業の一部

Handelspark Invest I AS

Fortinの清算に関連して、DNBバンク　エイ・エス・エイはHandelspark Invest I AS社を継承した。子会社を介し、Handelspark Invest I AS社はスウェーデンのTöcksforsのショッピングセンターの75%を保有している。2015年度末現在、かかるショッピングセンターは240百万スウェーデン・クローネと評価された。不動産評価額は上記の表に含まれている。

当行の方針は、承継日から12か月以内に可及的速やかにこの事業を売却することである。当該事業は2015年12月末現在の当行グループの財務諸表の中で、売却目的保有に分類されている。この資産の価額は上表に含まれている。

2014年度に取得した企業又は企業の一部

Polish Properties AS

ポーランドでの清算の結果、当行は３つの不動産を回収した。かかる不動産はポーランドにて３社で構成されており、DNB Polish Properties ASが完全所有している。DNBバンク　エイ・エス・エイはDNB Polish Properties ASを完全所有している。かかる不動産は合計32百万ユーロで引き継がれた。2014年度末現在、かかる不動産は232百万ノルウェー・クローネと評価された。不動産評価額は上表に含まれている。

BRPH Top Holding AB

2014年度第４四半期のスウェーデンのBastuban 1 ABに対するDNBの貸付金のリストラクチャリングに関して、当行は、2014年12月18日に１スウェーデン・クローナで子会社BRPH Top Holding ABの全株式を引き継いだ。BRPH Top Holdingグループは、スウェーデンのモルンダルに評価額427百万スウェーデン・クローナの商業用不動産を所有している。

当行の方針は、承継日から12か月以内に可及的速やかにこの事業を売却することである。当該事業は2014年12月31日現在の当行グループの財務諸表の中で、売却目的保有に分類されている。この資産の価額は上表に含まれている。

公正価値で測定される貸出金及び預け金[1)]

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
57,976	48,784	公正価値で測定される貸出金及び預け金	85,779	105,952
57,976	48,784	信用リスクに対するエクスポージャー合計	85,779	105,952
253	185	信用リスクによる価額調整2)	231	334
(68)	(68)	信用リスクの変動による価額調整2)	(103)	(160)

1) 2015年11月に、約20十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオがDNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリン　エイ・エスに売却された。
2) 公正価値測定に反映された信用リスクは、関連ポートフォリオの標準化された損失及び標準化された損失の変動に基づく。

信用スプレッドの変動による影響

高格付の銀行の短期資金調達市場での調達は、2015年度を通じて概ね安定していた。年間を通じて、DNBの短期資金調達は潤沢であった。長期資金調達市場においても、年度の上半期の資金供給は安定していた。ただし、夏が近づくにつれてギリシャの不安定が増したことにより、新発債の価格の上昇と合わせ、市場での取引量は著しく低下した。9月に入ると、スプレッドは拡大したものの取引量は持ち直した。2015年度の下半期を通じて、カバード・ボンドに関しても通常のシニア債券に関しても、総じてスプレッドは拡大した。2015年度を通じてDNBの長期資金調達は順調であった。信用スプレッドの変動は当行グループの貸借対照表上の多くの項目にも影響している。

流動性管理の一環として、マーケッツ部門は海外のカバード・ボンドに対するポートフォリオに投資している。かかる投資は2015年度を通じて増加した。2014年度末時点のこのポートフォリオに関する未実現利益が620百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2015年12月末時点は172百万ノルウェー・クローネの未実現損失となった。この未実現損失は、当該債券の信用度に変動がない限りは、満期までの残存期間を通じ解消するものと考えられる。2015年度のポートフォリオではかなりの入れ替えがあった。

ムーディーズとスダンダード・アンド・プアーズが2011年度第４四半期にノルウェー輸出金融公社の信用格付を引下げた結果、同社の長期資金調達には多額の未実現利益が生じた。この未実現利益がDNBの持分に及ぼした影響は、税引後で11.8十億ノルウェー・クローネとなった。決算に伴って同社の公正価値を見直しした結果、DNBは、2011年度第４四半期にノルウェー輸出金融公社の自社負債に対する未実現利益に相当する金額の評価減を行った。2012年度、2013年度、2014年度及び2015年度に、市場における期待収益率が低下し、ノルウェー輸出金融公社には自社負債に係る多額の未実現損失が生じた。2011年第４四半期にDNBが計上した減損損失は、この未実現損失に対応する金額により戻し入れられた。2015年度に合計199百万ノルウェー・クローネが戻し入れられた。2015年度末現在の残りの減損損失は144百万ノルウェー・クローネである。2011年度の減損損失及びそれ以降の戻入額は、同社からの利益に対するDNBの持分に従って、「持分法による投資からの利益」の項目に計上されている。

ノルウェー・クローネ建ての長期借入金は、純損益を通じて公正価値で測定されている。2015年下半期に信用スプレッドは改善した。2014年度末時点の長期借入金に対する未実現損失が1,348百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2015年度12月末時点の未実現利益は116百万ノルウェー・クローネとなった。DNBバンク グループの負債に対する未実現利益は、満期までの残存期間を通じ解消するものと考えられる。

DNBバンク グループのノルウェー・クローネ建ての固定金利貸出と、ノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸しの貸出ポートフォリオの一部は、純損益を通じて公正価値で測定されている。これらの貸出に対する要求スプレッド（当該貸出金に対するスワップレートと比較して測定される）の上昇から生じる未実現損失は、2014年度12月末時点で397百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2015年度末時点で773百万ノルウェー・クローネとなった。この未実現損失は、貸出金の信用度に変更がない限りは、満期までの残存期間を通じ解消するものと考えられる。

注６　主要顧客グループ別の貸出金及びコミットメント[1)]

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　　DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
個人	144,472	262	145,259	289,993
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	56,187	9,725	15,499	81,411
不動産	148,038	2,282	25,950	176,269
製造	52,025	23,736	32,578	108,339
サービス	80,255	5,370	18,382	104,007
貿易	32,500	5,025	20,278	57,803
石油・ガス	21,659	4,135	11,543	37,337
運輸及び通信	36,081	8,375	11,918	56,374
建設	44,812	12,916	24,133	81,861
電力及び水道	27,823	8,261	16,365	52,449
水産業	15,127	264	4,459	19,850
ホテル及びレストラン	6,375	408	2,343	9,126
農林業	4,938	52	2,467	7,457
中央及び地方政府	9,213	347	8,839	18,398
その他のセクター	26,621	4,607	25,907	57,135
顧客向合計（個別減損控除後の名目金額）	706,126	85,765	365,918	1,157,810
－集合的減損、顧客	(1,709)			(1,709)
＋その他の調整	1,115	(186)		929
顧客向貸出金	**705,532**	**85,579**	**365,918**	**1,157,029**
金融機関向（個別減損控除後の名目金額）	630,553	9,751	597,568	1,237,872
＋その他の調整	146			146
金融機関向貸出金及び預け金	**630,700**	**9,751**	**597,568**	**1,238,018**

2014年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　　DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
個人	145,282	305	135,640	281,227
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	81,315	11,358	30,603	123,276
不動産	152,541	2,643	22,042	177,225
製造	59,962	25,488	39,876	125,325
サービス	63,207	6,801	25,711	95,719
貿易	31,409	4,860	25,217	61,486
石油・ガス	17,412	4,986	25,079	47,478
運輸及び通信	42,057	8,747	27,419	78,223
建設	42,848	12,777	26,556	82,182
電力及び水道	29,724	11,930	23,689	65,343
水産業	16,613	177	6,603	23,392
ホテル及びレストラン	5,134	306	1,245	6,685
農林業	5,815	64	3,479	9,358
中央及び地方政府	8,598	304	6,981	15,883
その他のセクター	21,877	1,279	49,953	73,109
顧客向合計（個別減損控除後の名目金額）	723,794	92,024	450,092	1,265,910
－集合的減損、顧客	(1,562)			(1,562)
＋その他の調整	1,224	(150)		1,074
顧客向貸出金	**723,456**	**91,875**	**450,092**	**1,265,423**
金融機関向（個別減損控除後の名目金額）	607,856	7,771	545,258	1,160,885
＋その他の調整	180			180
金融機関向貸出金及び預け金	**608,036**	**7,771**	**545,258**	**1,161,066**

1）主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
個人	724,094	284	199,188	923,567
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	126,222	9,933	42,701	178,856
不動産	196,336	2,341	26,165	224,841
製造	92,767	24,229	72,416	189,412
サービス	97,914	6,074	25,566	129,554
貿易	41,006	5,451	25,756	72,212
石油・ガス	31,906	4,554	38,117	74,577
運輸及び通信	59,283	8,555	26,733	94,571
建設	48,737	13,674	25,180	87,590
電力及び水道	33,784	8,366	23,860	66,010
水産業	16,289	266	5,075	21,630
ホテル及びレストラン	8,896	421	2,588	11,905
農林業	6,846	56	2,657	9,559
中央及び地方政府	14,440	483	10,870	25,793
その他のセクター	32,962	4,609	26,970	64,542
顧客向合計（個別減損控除後の名目金額）	1,531,480	89,297	553,841	2,174,619
－集合的減損、顧客	(2,524)			(2,524)
＋その他の調整	2,976	(198)		2,778
顧客向貸出金	**1,531,932**	**89,099**	**553,841**	**2,174,873**
金融機関向（個別減損控除後の名目金額）	297,399	8,935	46,682	353,016
＋その他の調整	58			58
金融機関向貸出金及び預け金	**297,457**	**8,935**	**46,682**	**353,074**

2014年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
個人	709,947	330	182,428	892,708
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	121,413	11,730	47,544	180,687
不動産	193,984	2,679	22,225	218,888
製造	77,414	26,660	59,522	163,596
サービス	79,583	7,182	30,769	117,533
貿易	36,710	5,330	26,771	68,812
石油・ガス	28,591	4,987	58,512	92,089
運輸及び通信	45,280	9,033	28,690	83,003
建設	49,160	13,584	27,774	90,518
電力及び水道	35,100	12,122	26,191	73,413
水産業	17,405	202	7,011	24,618
ホテル及びレストラン	6,961	321	2,331	9,613
農林業	8,359	69	3,664	12,091
中央及び地方政府	13,020	304	7,054	20,379
その他のセクター	21,739	1,279	50,563	73,581
顧客向合計（個別減損控除後の名目金額）	1,444,666	95,811	581,049	2,121,527
－集合的減損、顧客	(2,139)			(2,139)
＋その他の調整	4,937	(154)		4,783
顧客向貸出金	**1,447,465**	**95,657**	**581,049**	**2,124,171**
金融機関向（個別減損控除後の名目金額）	355,494	7,063	25,863	388,420
＋その他の調整	84			84
金融機関向貸出金及び預け金	**355,577**	**7,063**	**25,863**	**388,503**

1）主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

前へ　次へ

注７　地域別の貸出金及びコミットメント1)

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　　DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
オスロ	271,914	12,539	703,277	987,729
東部・南部ノルウェー	180,434	18,918	89,470	288,822
西部ノルウェー	105,454	8,505	43,201	157,160
北部・中部ノルウェー	113,135	9,142	33,033	155,310
ノルウェー合計	670,938	49,104	868,981	1,589,022
スウェーデン	63,596	7,336	17,008	87,941
英国	152,946	2,997	1,884	157,827
その他の西欧諸国	274,207	4,956	24,891	304,054
ロシア	184	4	5	194
エストニア	2,090		1	2,090
ラトビア	7,193	654	2	7,849
リトアニア	7,201	341	27	7,569
ポーランド	12,818	124	163	13,105
その他の東欧諸国	618	261	31	911
ノルウェー以外の欧州合計	520,852	16,674	44,013	581,539
米国及びカナダ	69,352	16,316	13,131	98,799
バミューダ及びパナマ2)	18,315	2,658	3,000	23,972
その他の中南米諸国	14,091	2,635	3,004	19,730
米州合計	101,758	21,609	19,135	142,502
シンガポール2)	25,087	1,952	27,365	54,404
香港	2,623		2	2,625
その他のアジア諸国	14,280	3,852	2,395	20,527
アジア合計	41,990	5,804	29,762	77,556
リベリア2)	455	2,043		2,498
その他のアフリカ諸国	370	89	546	1,005
オセアニア2)	4,962	369	1,050	6,381
コミットメント3)	1,341,324	95,692	963,486	2,400,502
－個別減損	(4,639)	(176)		(4,815)
－集合的減損	(1,709)			(1,709)
＋その他の調整	1,261	(186)		1,075
貸出金及びコミットメントの純額	**1,336,231**	**95,330**	**963,486**	**2,395,048**

1）顧客の所在地に基づく。
2）海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。
3）すべての金額は、個別減損前の貸出金及び保証の総額をそれぞれ表す。

2014年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　　DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
オスロ	272,700	12,455	684,027	969,182
東部・南部ノルウェー	182,562	19,501	111,660	313,722
西部ノルウェー	97,789	10,064	46,446	154,300
北部・中部ノルウェー	112,585	10,426	35,393	158,405
ノルウェー合計	665,636	52,446	877,527	1,595,609
スウェーデン	67,220	6,437	31,724	105,382
英国	141,622	5,085	17,566	164,273
その他の西欧諸国	274,115	10,109	30,982	315,206
ロシア	554	162	7	722
エストニア	1,465	0	2	1,467
ラトビア	8,040	575	636	9,252
リトアニア	10,816	309	2,326	13,451
ポーランド	11,040	87	582	11,709
その他の東欧諸国	901	218	32	1,151
ノルウェー以外の欧州合計	515,774	22,982	83,858	622,615
米国及びカナダ	64,570	13,481	26,252	104,303
バミューダ及びパナマ[2)]	17,322	2,275	1,554	21,151
その他の中南米諸国	7,867	2,268	1,961	12,096
米州合計	89,758	18,024	29,767	137,550
シンガポール[2)]	29,430	1,247	106	30,783
香港	2,961		10	2,970
その他のアジア諸国	15,349	2,830	2,622	20,802
アジア合計	47,739	4,078	2,738	54,555
リベリア[2)]	8,332	1,970	503	10,805
その他のアフリカ諸国	741	93	148	983
オセアニア[2)]	9,289	337	808	10,434
コミットメント[3)]	1,337,271	99,929	995,350	2,432,550
－個別減損	(5,620)	(134)		(5,754)
－集合的減損	(1,562)			(1,562)
＋その他の調整	1,404	(150)		1,255
貸出金及びコミットメントの純額	**1,331,493**	**99,646**	**995,350**	**2,426,489**

1）顧客の所在地に基づく。
2）海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。
3）すべての金額は、個別減損前の貸出金及び保証の総額をそれぞれ表す。

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　　DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
オスロ	268,847	12,527	190,376	471,750
東部・南部ノルウェー	460,311	18,918	115,592	594,821
西部ノルウェー	194,641	8,515	52,410	255,565
北部・中部ノルウェー	201,741	9,142	39,898	250,781
ノルウェー合計	1,125,540	49,101	398,275	1,572,917
スウェーデン	61,739	7,337	38,139	107,215
英国	118,315	3,536	17,597	139,448
その他の西欧諸国	296,492	5,430	34,741	336,663
ロシア	926	4	5	935
エストニア	5,132	110	184	5,425
ラトビア	16,798	395	1,451	18,644
リトアニア	28,951	849	3,301	33,101
ポーランド	18,680	732	3,090	22,502
その他の東欧諸国	801	262	33	1,095
ノルウェー以外の欧州合計	547,834	18,653	98,541	665,029
米国及びカナダ	47,033	17,046	80,907	144,985
バミューダ及びパナマ[2)]	29,861	2,665	5,647	38,174
その他の中南米諸国	18,891	2,638	6,585	28,115
米州合計	95,785	22,349	93,139	211,273
シンガポール[2)]	14,204	1,952	505	16,661
香港	3,452		702	4,154
その他のアジア諸国	16,768	3,854	3,493	24,115
アジア合計	34,425	5,806	4,700	44,930
リベリア[2)]	10,044	2,043	601	12,688
その他のアフリカ諸国	1,093	90	551	1,733
オセアニア[2)]	22,649	372	4,715	27,736
コミットメント[3)]	1,837,370	98,414	600,523	2,536,300
－個別減損	(8,484)	(181)		(8,665)
－集合的減損	(2,524)			(2,524)
＋その他の調整	3,034	(198)		2,836
貸出金及びコミットメントの純額	**1,829,390**	**98,034**	**600,523**	**2,527,947**

1）顧客の所在地に基づく。
2）海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。
3）すべての金額は、個別減損前の貸出金及び保証の総額をそれぞれ表す。

2014年12月31日現在の貸出金及びコミットメント　DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及びコミットメント合計
オスロ	262,349	12,451	173,744	448,544
東部・南部ノルウェー	460,017	19,475	137,478	616,970
西部ノルウェー	183,794	10,064	53,693	247,551
北部・中部ノルウェー	197,774	10,426	40,388	248,588
ノルウェー合計	1,103,934	52,416	405,303	1,561,653
スウェーデン	67,408	6,438	31,736	105,582
英国	142,020	5,087	19,338	166,445
その他の西欧諸国	274,681	10,329	39,241	324,251
ロシア	1,498	162	253	1,912
エストニア	4,801	187	356	5,344
ラトビア	16,575	395	2,511	19,482
リトアニア	26,893	1,010	5,160	33,063
ポーランド	18,133	709	2,626	21,812
その他の東欧諸国	937	218	36	1,191
ノルウェー以外の欧州合計	552,946	24,535	101,601	679,083
米国及びカナダ	56,164	15,041	80,054	151,259
バミューダ及びパナマ[2)]	22,384	2,276	3,026	27,686
その他の中南米諸国	10,104	2,268	4,388	16,760
米州合計	88,651	19,585	87,468	195,704
シンガポール[2)]	13,426	1,247	1,526	16,200
香港	5,835		65	5,901
その他のアジア諸国	20,258	2,832	4,361	27,451
アジア合計	39,520	4,079	5,952	49,551
リベリア[2)]	9,590	1,970	504	12,064
その他のアフリカ諸国	765	95	165	1,025
オセアニア[2)]	14,401	337	5,918	20,656
コミットメント[3)]	1,809,807	103,017	606,912	2,519,736
－個別減損	(9,647)	(143)		(9,790)
－集合的減損	(2,139)			(2,139)
＋その他の調整	5,021	(154)		4,867
貸出金及びコミットメントの純額	**1,803,042**	**102,720**	**606,912**	**2,512,675**

1）顧客の所在地に基づく。
2）海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。
3）すべての金額は、個別減損前の貸出金及び保証の総額をそれぞれ表す。

注８　主要顧客グループ別の減損貸出金及び保証1)

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	減損貸出金及び保証の総額 2015年12月31日現在	減損貸出金及び保証の総額 2014年12月31日現在	個別減損合計 2015年12月31日現在	個別減損合計 2014年12月31日現在	減損貸出金及び保証の純額 2015年12月31日現在	減損貸出金及び保証の純額 2014年12月31日現在
個人	1,833	2,316	(712)	(1,102)	1,121	1,213
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	2,454	4,370	(1,075)	(1,095)	1,379	3,276
不動産	1,792	2,516	(656)	(868)	1,137	1,649
製造	1,298	1,443	(689)	(746)	609	697
サービス	851	1,116	(528)	(527)	323	590
貿易	747	1,544	(362)	(372)	385	1,172
石油・ガス		42		(41)		
運輸及び通信	799	727	(311)	(281)	488	446
建設	586	1,095	(252)	(484)	333	612
電力及び水道	389	41	(75)	(14)	314	27
水産業	13	146	(8)	(119)	5	26
ホテル及びレストラン	54	52	(17)	(20)	36	32
農林業	112	177	(44)	(62)	67	115
中央及び地方政府	11		(5)		7	
その他のセクター	99	37	(81)	(22)	19	15
顧客向合計	11,038	15,623	(4,815)	(5,754)	6,223	9,869
金融機関向						
減損貸出金及び保証合計	11,038	15,623	(4,815)	(5,754)	6,223	9,869
減損対象でない収益不計上貸出金及び保証	1,582	2,240			1,582	2,240
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証合計	12,619	17,862	(4,815)	(5,754)	7,804	12,109

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	減損貸出金及び保証の総額 2015年12月31日現在	減損貸出金及び保証の総額 2014年12月31日現在	個別減損合計 2015年12月31日現在	個別減損合計 2014年12月31日現在	減損貸出金及び保証の純額 2015年12月31日現在	減損貸出金及び保証の純額 2014年12月31日現在
個人	4,502	5,368	(1,841)	(2,297)	2,661	3,071
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	3,665	5,753	(1,620)	(1,891)	2,045	3,862
不動産	3,716	3,864	(1,426)	(1,347)	2,289	2,517
製造	2,643	2,149	(1,113)	(1,373)	1,530	776
サービス	952	1,293	(593)	(620)	359	673
貿易	977	1,855	(502)	(590)	476	1,265
石油・ガス		42		(41)		
運輸及び通信	1,825	859	(726)	(363)	1,099	495
建設	1,020	1,899	(550)	(937)	470	962
電力及び水道	394	45	(77)	(16)	317	29
水産業	13	146	(8)	(120)	5	26
ホテル及びレストラン	167	160	(49)	(57)	118	103
農林業	172	231	(63)	(87)	110	144
中央及び地方政府	11		(5)		7	
その他のセクター	126	68	(92)	(49)	34	19
顧客向合計	20,184	23,733	(8,665)	(9,790)	11,519	13,943
金融機関向						
減損貸出金及び保証合計	20,184	23,733	(8,665)	(9,790)	11,519	13,943
減損対象でない収益不計上貸出金及び保証	2,461	3,318			2,461	3,318
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証合計	22,645	27,051	(8,665)	(9,790)	13,980	17,261

1) 主要顧客グループ別の個別減損の対象である貸出金及び保証、並びに減損対象ではない収益不計上貸出金及び保証合計を含む。主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

注９　貸出金及び保証に係る減損

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度			2014年度		
	貸出金[1)]	保証	合計	貸出金[1)]	保証	合計
償却	(1,407)		(1,407)	(930)	(0)	(930)
新規の／増加した個別減損	(2,205)	(121)	(2,326)	(2,277)	(92)	(2,370)
新規の／増加した個別減損総額	(3,612)	(121)	(3,733)	(3,208)	(92)	(3,300)
過年度の個別減損の再査定	590	82	672	613	237	850
以前償却された貸出金及び保証の戻入[2)]	1,715		1,715	645		645
個別減損純額	(1,306)	(40)	(1,346)	(1,950)	145	(1,805)
貸出金に係る集合的減損の変動	(292)		(292)	80		80
貸出金及び保証に係る減損	**(1,599)**	**(40)**	**(1,638)**	**(1,870)**	**145**	**(1,725)**
過年度に行われた個別減損でカバーされた償却	2,463		2,463	2,319		2,319

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度			2014年度		
	貸出金[1)]	保証	合計	貸出金[1)]	保証	合計
償却	(1,446)		(1,446)	(823)	(0)	(823)
新規の／増加した個別減損	(3,165)	(124)	(3,288)	(2,984)	(95)	(3,078)
新規の／増加した個別減損総額	(4,611)	(124)	(4,735)	(3,806)	(95)	(3,901)
過年度の個別減損の再査定	890	88	978	1,007	238	1,245
以前償却された貸出金及び保証の戻入[2)]	1,742		1,742	677		677
個別減損純額	(1,979)	(36)	(2,015)	(2,123)	143	(1,980)
貸出金に係る集合的減損の変動	(255)		(255)	341		341
貸出金及び保証に係る減損	**(2,234)**	**(36)**	**(2,270)**	**(1,782)**	**143**	**(1,639)**
過年度に行われた個別減損でカバーされた償却	3,749	0	3,749	2,422		2,422

1）公正価値で測定された貸出金に係る減損を含む。
2）2015年の回収には、主としてノルウェーの収益不計上貸出金ポートフォリオの売却に関する、Lindorff Capital AS との合意による影響が反映されている。

注10　主要顧客グループ別の貸出金及び保証に係る減損1)

DNBバンク　エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度 新規の個別減損	2015年度 再査定された個別減損	2015年度 以前償却された貸出金及び保証の戻入2)	2015年度 純減損	2014年度 新規の個別減損	2014年度 再査定された個別減損	2014年度 以前償却された貸出金及び保証の戻入	2014年度 純減損
個人	(636)	46	1,622	1,032	(829)	143	519	(167)
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	(856)	117	1	(737)	(477)	263	81	(133)
不動産	(237)	102	2	(132)	(466)	145	4	(317)
製造	(773)	117	12	(644)	(585)	70	11	(504)
サービス	(145)	41	17	(87)	(240)	50	3	(187)
貿易	(219)	51	8	(160)	(343)	22	12	(309)
石油・ガス	(0)			(0)	(36)	20	0	(16)
運輸及び通信	(245)	53	24	(168)	(69)	84	4	19
建設	(402)	71	25	(306)	(115)	40	3	(72)
電力及び水道	(60)	0	1	(58)	(13)	1	0	(12)
水産業	(8)	49	0	41	(85)	3	0	(82)
ホテル及びレストラン	(16)	7	1	(8)	(11)	1	0	(10)
農林業	(15)	17	2	5	(25)	8	1	(16)
中央及び地方政府	(0)	0	0	(0)	(0)	0		(0)
その他のセクター	(123)	1	0	(122)	(11)	1	7	(2)
顧客向合計	(3,733)	672	1,715	(1,346)	(3,304)	850	645	(1,809)
金融機関向					4			4
貸出金に係る集合的減損の変動				(292)				80
貸出金及び保証に係る減損	**(3,733)**	**672**	**1,715**	**(1,638)**	**(3,300)**	**850**	**645**	**(1,725)**
うち保証に係る個別減損	*(121)*	*82*		*(40)*	*(92)*	*237*		*145*

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2015年度 新規の個別減損	2015年度 再査定された個別減損	2015年度 以前償却された貸出金及び保証の戻入2)	2015年度 純減損	2014年度 新規の個別減損	2014年度 再査定された個別減損	2014年度 以前償却された貸出金及び保証の戻入	2014年度 純減損
個人	(835)	188	1,642	995	(1,066)	334	537	(195)
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	(1,027)	139	1	(886)	(666)	296	89	(281)
不動産	(344)	140	3	(202)	(450)	173	5	(272)
製造	(882)	154	12	(716)	(635)	116	4	(515)
サービス	(165)	64	19	(82)	(260)	62	3	(195)
貿易	(233)	69	10	(155)	(362)	34	14	(314)
石油・ガス	(0)			(0)	(36)	20		(16)
運輸及び通信	(588)	55	24	(509)	(81)	98	6	23
建設	(422)	87	27	(308)	(155)	75	9	(71)
電力及び水道	(60)	1	1	(59)	(48)	1		(47)
水産業	(8)	49	0	41	(85)	3		(82)
ホテル及びレストラン	(21)	9	1	(10)	(20)	22		2
農林業	(27)	22	3	(2)	(30)	9	1	(20)
中央及び地方政府	(0)	0	0	(0)				
その他のセクター	(124)	2	0	(121)	(11)	1	8	(2)
顧客向合計	(4,735)	978	1,742	(2,015)	(3,905)	1,245	677	(1,984)
金融機関向					4			4
貸出金に係る集合的減損の変動				(255)				341
貸出金及び保証に係る減損	**(4,735)**	**978**	**1,742**	**(2,270)**	**(3,901)**	**1,245**	**677**	**(1,639)**
うち保証に係る個別減損	*(124)*	*88*		*(36)*	*(95)*	*238*		*143*

1) 主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。
2) 2015年の回収には、主としてノルウェーの収益不計上貸出金ポートフォリオの売却に関する、Lindorff Capital AS との合意による影響が反映されている。

前へ　次へ

注11　貸出金及び保証に係る減損の推移

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度 金融機関向貸出金	2015年度 顧客向貸出金	2015年度 保証	2015年度 合計	2014年度 金融機関向貸出金	2014年度 顧客向貸出金	2014年度 保証	2014年度 合計
1月1日現在の減損	0	(7,652)	(134)	(7,785)	(78)	(8,107)	(278)	(8,463)
新規の減損		(1,550)	(121)	(1,671)		(1,535)	(64)	(1,599)
減損の増加		(654)	0	(654)		(742)	(28)	(771)
減損の再査定		590	82	672		613	237	850
従前の減損によりカバーされた償却		2,463		2,463	74	2,245		2,319
未収利息及び償却の個別減損の変動		39		39	4	26		30
集合的減損の変動		(292)		(292)		80		80
グループ体制の変更								
為替レート変動による増減		277	(3)	274		(230)	(1)	(231)
12月31日現在の減損		(6,779)	(176)	(6,955)	0	(7,652)	(134)	(7,785)
内訳：個別減損		(4,639)	(176)	(4,815)		(5,620)	(134)	(5,754)
未収利息及び償却の個別減損		(430)		(430)		(470)		(470)
集合的減損		(1,709)		(1,709)		(1,562)		(1,562)

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度 金融機関向貸出金	2015年度 顧客向貸出金	2015年度 保証	2015年度 合計	2014年度 金融機関向貸出金	2014年度 顧客向貸出金	2014年度 保証	2014年度 合計
1月1日現在の減損	(1)	(12,464)	(143)	(12,608)	(79)	(12,720)	(284)	(13,084)
新規の減損		(1,870)	(124)	(1,994)		(1,831)	(64)	(1,895)
減損の増加		(1,295)	0	(1,295)		(1,153)	(31)	(1,183)
減損の再査定		890	88	978		1,007	238	1,245
従前の減損によりカバーされた償却	1	3,748	0	3,749	74	2,348		2,422
未収利息及び償却の個別減損の変動		24		24	4	31		35
集合的減損の変動		(255)		(255)		341		341
グループ体制の変更								
為替レート変動による増減		(442)	(2)	(444)		(487)	(2)	(489)
12月31日現在の減損		(11,664)	(181)	(11,845)	(1)	(12,464)	(143)	(12,608)
内訳：個別減損		(8,484)	(181)	(8,665)	(1)	(9,646)	(143)	(9,790)
未収利息及び償却の個別減損		(656)		(656)		(680)		(680)
集合的減損		(2,524)		(2,524)		(2,139)		(2,139)

注12　市場リスク

市場リスク算定の条件

市場リスクは、市場価格及び為替レートの変動によって将来の利益が減少したり損失が生じたりすることによるリスクである。このリスクは、当行の未ヘッジ取引や、為替、資産、金利、コモディティ、信用及び株式市場に対するエクスポージャーから生じる。リスクの水準は、市場価格の変動性及び当行のポジションを反映したものである。全体として、市場リスクの占める割合はDNBバンク グループのリスク全体の9%に満たない。

DNBバンク グループは、個々のリスク・カテゴリー及びDNBバンク グループ全体のリスクに関するリスク調整後自己資本を算出することによりリスクを定量化している。（注4）リスク管理を参照のこと。市場リスクに関するリスク調整後自己資本は、信頼区間99.97%で、市場リスクに関するすべての潜在的な損失をカバーしたものでなければならない。当モデルのリスク評価期間は1年間である。モデルに含まれるエクスポージャーは、実際のエクスポージャー又は限度のいずれかであり、当行グループが当該期間中の市場の動きに対して、常に不正確なポジションを取ることを想定して保守的に見積られている。実現期間とは、非常に変動の激しい市場で損益が実現されるまでに必要なポジション保有期間であり、最も普通に取引される通貨でのポジションの2日間から、当行の投資ポートフォリオの250営業日まで多岐にわたる。

DNBバンク グループの金融商品は25のリスク・カテゴリーに分けられている。リスク・カテゴリーのリスク調整後自己資本は、ある種類の資産の価値又はリスク要因に予想されるパフォーマンスに基づき算出される。年間損失を見積るために、各原商品の価値は1年間にわたりシミュレートされる。この後、それぞれの潜在的な実現期間における損失を算出する。

生命保険事業以外のオペレーションに係る市場リスクに対応するリスク調整後自己資本は、2014年度末の9.1十億ノルウェー・クローネから2015年度末現在で6.9十億ノルウェー・クローネに減少した。これは、主に年金債務に関連した損失リスクが減少したことによるものである。ボラティリティの低下を受けてトレーディング業務に係るベーシス・スワップ・リスクが減少した。当行グループの長期資金調達に関連して締結したスワップ契約の時価調整額とベーシス・スワップは、市場リスクに対応するリスク調整後自己資本の測定には含められていない。これらの契約は四半期ごとに、勘定に大きな影響を及ぼす可能性がある。ただし、当該契約は一般的に満期保有されるので、これらの影響は時間の経過とともに調整される。

注13　金利感応度

それぞれの期間における金利感応度

オン・バランス及びオフ・バランスシート項目の数値は、金利変動に影響される。下表はすべての金利が同時に1%増減した場合の、バルト諸国及びポーランドの事業を除いたDNBバンク グループの潜在的な損失を表す。計算は、すべての通貨の金利が当行のポジションに対しDNBバンク グループにとって不利に変動するという仮定に基づく。また、それぞれの期間内のすべての金利が当行グループに不利に変動すると想定する。従って、数値はDNBバンク グループの最大損失額を示す。

計算は、12月31日現在の当行グループのポジション及び同日の市場レートに基づく。下表は、管理上の金利リスク及び無利息型資産に関する金利リスクを含まない。

DNBバンク グループ[1)]

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	合計
2015年12月31日現在						
ノルウェー・クローネ	374	35	246	545	420	218
米ドル	1	96	78	22	3	5
ユーロ	0	59	74	30	12	32
英ポンド	8	25	20	6	2	21
スウェーデン・クローナ	89	29	121	8	1	6
その他の通貨	19	20	33	8	17	50
2014年12月31日現在						
ノルウェー・クローネ	327	59	79	173	248	113
米ドル	78	29	47	72	9	65
ユーロ	44	7	2	6	20	35
英ポンド	10	15	3	8	1	8
スウェーデン・クローナ	26	17	19	5	1	19
その他の通貨	30	17	11	9	11	37

1）数値にはバルト諸国及びポーランドの事業は含まれておらず、その他の地域に関するものであり、即ちDNBバンク　エイ・エス・エイの数値と同じである。

注14　通貨ポジション

表は、ノルウェー中央銀行により定義されるデリバティブを含む12月31日現在の純通貨ポジションを示している。個々の通貨の純ポジションは、適格な第1次自己資本に対して最大15%までを占めることができる。通貨ポジション総額は、適格な第1次資本の30%以内でなければならない。子会社投資に関する為替リスクについては、帳簿に計上された金額によって通貨ポジションに含まれている。

DNBバンク　エイ・エス・エイ

純通貨ポジション 2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*
(421)	(71)	米ドル
(61)	(109)	ユーロ
11	17	英ポンド
4	(16)	スウェーデン・クローナ
(0)	(21)	デンマーク・クローネ
9	11	スイス・フラン
135	(4)	日本円
29	4	その他
(294)	(189)	外貨合計

DNBバンク グループ

純通貨ポジション 2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
(72)	(419)
(113)	(19)
18	11
(16)	4
(21)	1
11	9
(4)	135
4	29
(192)	(249)

注15　デリバティブ

デリバティブの適用に関する一般的な情報

デリバティブとは、一定期間における金利条件、為替レート及び資本性商品の価値といった形式で金融価値を取り決める契約である。コモディティの価格及び指数を取り決める、対応する契約もデリバティブと定義される。デリバティブには、スワップ、先渡契約及びオプション、並びに金利先渡契約（FRA）、金融先物及び証券譲渡契約を含むそれらの組み合わせが含まれる。DNBバンク グループのデリバティブは、当行グループの通常の事業活動により生ずる流動性リスク及び市場リスクを管理するために取引される。さらに、当行グループは、自己勘定取引でもデリバティブを用いている。

「店頭」（OTC）デリバティブは、取引所の外で締結する契約である。この契約は、対象商品、数量、価格、終了条件及び満期に関して投資家の必要性に応じてオーダーメードで行われる。OTCデリバティブのメリットは、顧客が標準契約条件に制限されることなく、必要とする正確なポジションを購入できることである。デメリットは、標準化された市場と比べて契約相手を他に見つけたり、流通市場で当該契約を売却したりすることが難しいことである。

DNBバンク グループでは、以下のデリバティブを、トレーディング及びヘッジ目的で利用している。

- *先渡契約*：金利条件、外貨金額、株式又はコモディティを将来の特定の日に、決められた価格で売買する契約。先渡契約は、店頭市場においてカウンターパーティとの間で行われるオーダーメードの取引である。
- *FRA*：将来のある期間について、合意した金額で金利を固定する契約。契約満了時には、合意した金利と実際の市場金利との差額だけが交換される。
- *金利先物*：カウンターパーティ同士が特定の金利商品を決められた価格で特定の日に交換することに合意する標準化された契約。当該契約は取引所で取引される。金利先物の価値は、原資産（金融商品）の価格推移に従っている。
- *スワップ*：契約当事者が合意した期間にわたり決められた金額でキャッシュ・フローを交換する取引。大部分のスワップはオーダーメードであり、取引所外で取引される。DNBが取引する最も重要な種類のスワップは以下のとおりである。
  - ― *金利スワップ*：固定金利が変動金利と交換されるか、若しくは変動金利が固定金利と交換される
  - ― *クロスカレンシー金利スワップ*：契約当事者は為替及び金利の支払いの両方を交換する
  - ― *株式スワップ*：金利リターンが株式リターンと交換される
- *オプション*：買い手に対し、特定の数量の金融商品又はコモディティを事前に決められた価格で、購入（コール・オプション）又は売却（プット・オプション）する権利（義務ではなく）を与える契約。買い手はこの権利に関し、売り手にプレミアムを支払う。オプションはOTC（オーダーメード）でも標準化された契約としても取引されている。

表は、デリバティブの種類別並びにプラスマイナスの市場価値別にデリバティブの想定元本を表している。プラスの市場価値は貸借対照表で資産に計上され、マイナスの市場価値は負債として計上される。デリバティブの測定に関する詳細については、（注記１）「会計方針」を参照のこと。

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在 想定元本合計	2015年12月31日現在 プラスの市場価値	2015年12月31日現在 マイナスの市場価値	2014年12月31日現在 想定元本合計	2014年12月31日現在 プラスの市場価値	2014年12月31日現在 マイナスの市場価値
金利契約						
FRA契約	2,379,037	1,310	1,282	2,813,508	2,211	2,295
スワップ	3,229,589	100,387	93,123	1,774,004	120,118	109,244
OTCオプション	42,729	441	634	62,830	1,014	695
その他のOTC契約	1,687	248		1,687	19	
金利契約合計	5,653,042	102,386	95,039	4,652,029	123,363	112,234
為替契約						
先渡契約	117,609	8,490	1,321	150,246	8,811	2,313
スワップ	2,208,817	47,976	99,501	3,163,096	66,077	100,007
OTCオプション	190,208	789	510	68,692	972	907
為替契約合計	2,516,634	57,256	101,332	3,382,034	75,860	103,227
株式関連契約						
先渡契約	7,896	1,586	375	11,737	1,956	475
OTCオプション	821	92	10	953	155	115
OTCデリバティブ合計	8,718	1,679	386	12,690	2,111	590
先物	2,897	79	108	2,971	1	1
オプション	2,795	39	67	3,862	77	90
取引所取引契約合計	5,693	118	174	6,833	78	91
株式関連契約合計	14,410	1,797	560	19,523	2,190	681
コモディティ関連契約						
スワップ	28,485	5,542	5,375	41,929	7,171	6,577
コモディティ関連契約合計	28,485	5,542	5,375	41,929	7,171	6,577
担保の差入／受入						
担保の差入／受入合計		46,817	38,211		40,184	52,127
デリバティブ合計	**8,212,572**	**213,797**	**240,518**	**8,095,515**	**248,768**	**274,846**
内訳：ヘッジ目的として適用	*147,900*	*12,405*	*830*	*143,096*	*13,323*	*891*
- 金利スワップ		*11,610*	*323*		*12,503*	*385*
- クロスカレンシー金利スワップ		*795*	*508*		*820*	*506*

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在 想定元本合計	プラスの市場価値	マイナスの市場価値	2014年12月31日現在 想定元本合計	プラスの市場価値	マイナスの市場価値
金利契約						
FRA契約	2,379,037	1,310	1,282	2,813,508	2,211	2,295
スワップ	2,843,591	97,540	66,703	1,399,266	116,788	78,917
OTCオプション	42,465	447	634	62,891	1,023	695
その他のOTC契約	1,687	248		1,687	19	
金利契約合計	5,266,781	99,546	68,618	4,277,352	120,042	81,908
為替契約						
先渡契約	118,804	8,498	1,283	152,034	8,870	2,358
スワップ	1,822,098	40,285	40,376	2,807,022	56,958	41,736
OTCオプション	190,208	789	510	68,692	972	907
為替契約合計	2,131,110	49,572	42,170	3,027,748	66,800	45,002
株式関連契約						
先渡契約	7,896	1,586	375	11,737	1,956	475
OTCオプション	821	92	10	953	155	115
OTCデリバティブ合計	8,718	1,679	386	12,690	2,111	590
先物	2,897	79	108	2,971	1	1
オプション	2,795	39	67	3,862	77	90
取引所取引契約合計	5,693	118	174	6,833	78	91
株式関連契約合計	14,410	1,797	560	19,523	2,190	681
コモディティ関連契約						
スワップ	28,486	5,542	5,375	41,930	7,172	6,576
コモディティ関連契約合計	28,486	5,542	5,375	41,930	7,172	6,576
担保の差入／受入						
担保の差入／受入合計		46,817	38,155		40,184	52,062
デリバティブ合計	**7,440,787**	**203,273**	**154,878**	**7,366,553**	**236,389**	**186,230**
内訳：ヘッジ目的として適用	*479,261*	*37,408*	*834*	*464,316*	*41,781*	*1,103*
- 金利スワップ		*36,613*	*327*		*40,960*	*597*
- クロスカレンシー金利スワップ		*795*	*508*		*820*	*506*

マーケッツ部門におけるデリバティブの利用

マーケッツ部門はマーケット・メーカーとして、特定のオプション、先渡又は先物シリーズに関して売り呼値及び買い呼値の両方、並びに売り呼値と買い呼値の価格差の最大値を、最低取引金額とともに提示する義務がある。マーケット・メーカーは常に自己の勘定で取引する。自己勘定取引の目的は、マーケット・メーキングに加え、ポジションを取ることであり、つまり価格、為替レート及び指数の有利な変動により生じる利益を獲得するために、為替、金利及び株式市場で意図的にリスクを取ることである。様々な市場での同じ商品に関する価格、為替レート及び指数の変動により利益を得る裁定取引も自己勘定取引の一部である。

顧客取引とは、顧客が既存又は予想されるリスクを移転、修正、取得又は減額できるように顧客のためにデリバティブを構築し売買することである。デリバティブ取引の大半は顧客取引に関係している。

DNBバンク グループは、外貨建ての借用金を望ましい通貨に転換するために金利及び通貨スワップを用いる。典型的な例としては、当行はユーロ建てで借り入れを行い、それをベーシス・スワップにより米ドルにスワップする。この場合、当行はスワップの利回りに基づく米ドル建ての金利を支払い、スプレッドを控除したユーロ建ての金利を受け取る。これらのデリバティブは公正価値で計上されている。ベーシス・スワップのスプレッドの変動により、ベーシス・スワップの価値は日々大幅に変動する可能性がある。このヘッジされていないリスクによって未実現損益が生じる。2015年度には、価値は2,685百万ノルウェー・クローネ増加した（利益にはプラスの影響）。2014年度には、価値は394百万ノルウェー・クローネ増加した。

DNBボーリ・クレジットにおけるデリバティブの利用

DNBボーリ・クレジットにおけるデリバティブの利用目的は、為替及び金利リスクを明らかにし、減少させることである。

デリバティブに関するリスク

デリバティブはオンバランス商品も含むポートフォリオの中で取引される。デリバティブに係る市場リスクは、これらのポートフォリオの市場リスクの不可欠な一部として取り扱われ、監視され、管理される。（注4）「リスク管理」及び（注12）「市場リスク」を参照のこと。デリバティブは多くの異なるカウンターパーティと取引され、その大部分は別の種類のDNBとの取引にも関連している。デリバティブ取引に関連して生ずる信用リスクは、DNBバンク グループの信用リスク合計に含まれる。ネッティング契約又は担保に関する双務契約が多数のカウンターパーティと締結され、信用リスクを減少させている。金融当局の自己資本規制は、そのような契約を考慮しているため、所要自己資本の減少へつながる。カウンターパーティ・リスクの詳細については（注5）「信用リスク」を参照のこと。

注16　流動性リスク

流動性リスクは、DNBバンク グループが自己の支払義務を履行できなくなるリスクである。全体として当行グループの流動性管理は、DNBバンク　エイ・エス・エイが内国子会社、並びに海外支店及び子会社の資金調達に関して責任を負っている。流動性リスクは各種の測定方法で管理・測定されている。

取締役会は様々な時間の枠組みの中で、当行の負債の短期の満期を制限する社内限度枠を承認している。また、各満期について銀行特有のリスクやシステミック・リスクやその組み合わせによるストレス・テストを実施しており、市場イベントに対処する緊急時対応計画を定めている。加えて、構造的な流動性リスクに関して限度についても承認されており、このため顧客に対する貸出金は顧客預金、劣後債及び長期借入を通じて概ね賄わなくてはならない。長期資金は主に一般的なシニア債務とカバード・ボンドによって賄われている。当行グループの預金の貸出に対する割合は2015年12月末時点で62.5%と前期末時点の65.7%を下回っている。DNBバンク　エイ・エス・エイの預金の貸出に対する割合は2015年度末時点で127.1%である。

高格付の銀行の短期資金調達市場での調達は、2015年度を通じて概ね安定していた。新しい規制に対応する必要があることから、米国のマネー・マーケット・ファンドは、長期物に関しては以前ほど魅力あるものではなくなった。借手の間に長期投資に対する需要が高まっていることと合わせ、当期の下半期には価格は上昇した。年間を通じてDNBの短期資金調達は潤沢であった。

長期資金調達市場においても、年度の上半期の資金供給は安定していた。ただし、夏が近づくにつれてギリシャの不安定が増したことにより、新発債の価格の上昇と合わせ、市場での取引量は著しく低下した。9月に入ると、スプレッドは拡大したものの取引量は持ち直した。2015年度の下半期を通じて、カバード・ボンドに関しても通常のシニア債券に関しても、総じてスプレッドは拡大した。2015年度を通じてDNBの長期資金調達は順調であったが、新規の長期資金調達コストについては2016年に向かい増加する見込みである。

短期流動性要件である流動性カバレッジ比率（LCR）は、年間を通じて100%を上回っており安定した状態であった。2015年12月末時点、ユーロ（EUR）のLCRは331%、米ドル（USD）のLCRは118%、ノルウェー・クローネ（NOK）のLCRは48%でLCR合計は133%であった。

2015年12月末現在、シニア債務及びカバード・ボンドのポートフォリオの満期までの平均残存期間は3.8年で、これは前期末の4.3年より短くなった。当行グループは今後５年間の長期資金調達に向けて健全かつ安定的な満期構成の構築を目指すつもりである。

2015年12月31日現在の残存期間[1)]　　**DNBバンク　エイ・エス・エイ**

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	16,004						16,004
金融機関向貸出金及び預け金	425,863	138,231	19,957	40,831	5,788		630,671
顧客向貸出金	160,149	74,634	71,842	203,994	197,268	(1,709)	706,177
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	3,009	6,424	24,005	142,556	33,723		209,718
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				1,695	17,467		19,162
株式						130,394	130,394
その他資産		3,056					3,056
合計	605,026	222,345	115,805	389,077	254,245	128,684	1,715,182
負債							
金融機関からの借用金及び預金	181,533	32,489	8,142	39,677	474		262,315
顧客預金	896,223						896,223
発行済負債証券	38,731	100,979	37,241	153,822	65		330,838
その他負債等	805	3,471	228				4,504
劣後債				29,721	731		30,452
合計	1,117,291	136,940	45,611	223,220	1,270		1,524,332
デリバティブ							
デリバティブ（グロス決済）							
資金流入	676,392	455,976	347,524	619,816	378,367		2,478,075
資金流出	674,056	454,792	347,929	645,953	397,510		2,520,240
デリバティブ（ネット決済）	536	1,141		3,798	2,109		7,584
デリバティブ合計	2,872	2,325	(405)	(22,339)	(17,033)		(34,581)

2014年12月31日現在の残存期間[1)]

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	53,506						53,506
金融機関向貸出金及び預け金	451,479	93,960	12,415	48,848	1,303		608,005
顧客向貸出金	153,597	78,631	63,039	204,826	225,742	(1,562)	724,272
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	10,027	3,486	20,634	139,282	34,279		207,708
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				1,244	30,684		31,927
株式						91,704	91,704
その他資産		2,774		831			3,605
合計	668,609	178,851	96,089	395,030	292,007	90,142	1,720,728
負債							
金融機関からの借用金及び預金	246,254	4,840	2,977	14,459			268,530
顧客預金	902,619						902,619
発行済負債証券	63,553	92,027	61,687	74,757	63,661		355,685
その他負債等	1,002	3,766	267				5,035
劣後債			4,937	18,747	4,792		28,476
合計	1,213,427	100,633	69,867	107,963	68,453		1,560,344
デリバティブ							
デリバティブ（グロス決済）							
資金流入	631,009	529,825	380,732	671,559	358,315		2,571,440
資金流出	611,769	521,855	381,880	704,277	381,958		2,601,738
デリバティブ（ネット決済）	832	832	(572)	4,291	3,527		8,910
デリバティブ合計	20,072	8,801	(1,720)	(28,427)	(20,115)		(21,388)

1) 経過利息を上回る将来の名目利払金額は、貸借対照表日現在含まれていない。

2015年12月31日現在の残存期間[1)]

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	19,317						19,317
金融機関向貸出金及び預け金	184,533	102,938	4,244	2,046	3,713		297,473
顧客向貸出金	182,780	104,616	99,621	335,774	811,837	(2,524)	1,532,104
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	1,609	6,425	24,628	140,115	33,853		206,629
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				1,695	17,467		19,162
株式						14,140	14,140
その他資産		3,056					3,056
合計	388,239	217,035	128,493	479,630	866,870	11,616	2,091,881
負債							
金融機関からの借用金及び預金	123,606	21,489	678	15,447	37		161,257
顧客預金	957,059						957,059
発行済負債証券	59,201	123,809	71,670	434,533	86,114		775,326
その他負債等	805	3,955	228				4,989
劣後債				29,722	731		30,453
合計	1,140,671	149,253	72,576	479,702	86,882		1,929,084
デリバティブ							
デリバティブ（グロス決済）							
資金流入	653,849	432,276	313,975	437,103	275,019		2,112,222
資金流出	650,951	430,079	314,828	449,945	276,924		2,122,727
デリバティブ（ネット決済）	1,797	2,195	3,607	21,652	12,437		41,687
デリバティブ合計	4,694	4,393	2,754	8,810	10,531		31,182

2014年12月31日現在の残存期間[1)]　　DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	58,506						58,506
金融機関向貸出金及び預け金	266,095	61,001	6,091	22,376	13		355,575
顧客向貸出金	162,980	91,886	80,904	290,737	821,645	(2,139)	1,446,013
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	11,530	3,600	17,765	119,221	31,864		183,980
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				1,244	30,684		31,927
株式				0		15,186	15,186
その他資産		2,774		831			3,605
合計	499,110	159,261	104,760	434,408	884,205	13,047	2,094,791
負債							
金融機関からの借用金及び預金	202,805	4,893	3,130	3,335	33		214,197
顧客預金	950,634						950,634
発行済負債証券	63,553	99,214	107,084	325,091	181,546		776,488
その他負債等	1,002	3,766	267				5,035
劣後債			4,937	18,747	4,792		28,476
合計	1,217,993	107,873	115,419	347,173	186,371		1,974,830
デリバティブ							
デリバティブ（グロス決済）							
資金流入	626,933	526,125	335,505	482,064	258,019		2,228,646
資金流出	608,274	518,659	332,828	494,517	267,354		2,221,632
デリバティブ（ネット決済）	1,889	1,678	4,179	21,859	14,968		44,573
デリバティブ合計	20,547	9,144	6,856	9,405	5,634		51,587

1）経過利息を上回る将来の名目利払金額は含まれていない。

DNBバンク エイ・エス・エイ　与信枠、コミットメント及び信用状　　DNBバンク グループ

2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
202,348	301,537	未使用の与信枠（1年以内）	360,109	259,843
278,642	115,958	未使用の与信枠（1年超）	244,267	351,903

前へ　次へ

注17　純利息収入

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度 公正価値で計上	2015年度 償却原価で計上[1)]	2015年度 合計	2014年度 公正価値で計上	2014年度 償却原価で計上[1)]	2014年度 合計
金融機関向貸出金及び預け金に係る利息	2,084	1,754	3,838	2,245	2,398	4,643
顧客向貸出金に係る利息	971	25,004	25,975	1,407	26,575	27,982
減損した貸出金及び保証に係る利息	17	441	459	58	497	555
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息	4,801		4,801	5,152		5,152
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息		314	314		646	646
フロントエンド・フィー等	3	290	293	1	277	278
その他の受取利息	(1,919)	4,526	2,606	(1,181)	3,832	2,651
受取利息合計	**5,957**	**32,329**	**38,287**	**7,681**	**34,225**	**41,906**
金融機関からの借用金及び預金に係る利息	(1,372)	(187)	(1,559)	(1,557)	(269)	(1,826)
顧客預金に係る利息	(497)	(8,795)	(9,292)	(619)	(13,108)	(13,728)
発行済負債証券に係る利息	(1,473)	(1,601)	(3,075)	(1,265)	(1,937)	(3,202)
劣後債に係る利息	(38)	(530)	(568)	(44)	(528)	(571)
保証金課税		(675)	(675)		(646)	(646)
その他の支払利息[2)]	1,449	(353)	1,096	244	(319)	(75)
支払利息合計	**(1,932)**	**(12,140)**	**(14,072)**	**(3,240)**	**(16,808)**	**(20,048)**
純利息収入	**4,026**	**20,189**	**24,215**	**4,441**	**17,417**	**21,859**

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度 公正価値で計上	2015年度 償却原価で計上[1)]	2015年度 合計	2014年度 公正価値で計上	2014年度 償却原価で計上[1)]	2014年度 合計
金融機関向貸出金及び預け金に係る利息	1,294	314	1,608	1,511	301	1,812
顧客向貸出金に係る利息	3,595	45,442	49,037	4,209	48,219	52,428
減損した貸出金及び保証に係る利息		619	619		643	643
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息	4,291		4,291	4,380		4,380
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息		314	314		646	646
フロントエンド・フィー等	15	323	337	5	312	316
その他の受取利息	(1,945)	3,532	1,587	(1,181)	2,637	1,456
受取利息合計	**7,249**	**50,544**	**57,793**	**8,923**	**52,759**	**61,682**
金融機関からの借用金及び預金に係る利息	(1,177)	(188)	(1,365)	(1,411)	(339)	(1,750)
顧客預金に係る利息	(497)	(8,986)	(9,483)	(617)	(13,334)	(13,951)
発行済負債証券に係る利息	(3,174)	(9,635)	(12,809)	(3,149)	(9,485)	(12,633)
劣後債に係る利息	(38)	(531)	(569)	(44)	(528)	(571)
保証金課税		(845)	(845)		(780)	(780)
その他の支払利息[2)]	3,112	(298)	2,814	814	(201)	612
支払利息合計	**(1,775)**	**(20,484)**	**(22,258)**	**(4,407)**	**(24,667)**	**(29,074)**
純利息収入	**5,475**	**30,060**	**35,535**	**4,516**	**28,091**	**32,607**

1) ヘッジ対象項目を含む。
2) その他の支払利息は締結した金利スワップに伴う金利調整額を含む。デリバティブは公正価値で計上している。

注18　貸借対照表項目（抜粋）に係る金利

DNBバンク　エイ・エス・エイ

	平均金利(%)[1)]		平均金額（百万ノルウェー・クローネ）	
	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
資産				
金融機関向貸出金及び預け金	0.41	0.61	934,924	763,802
顧客向貸出金	3.68	4.12	719,069	692,565
コマーシャル・ペーパー及び債券	2.13	2.32	225,269	221,793
負債				
金融機関からの借用金及び預金	0.38	0.53	407,055	341,420
顧客預金	0.92	1.45	1,007,870	946,702
発行済負債証券	0.77	0.87	398,935	367,269

DNBバンク グループ

	平均金利(%)[1)]		平均金額（百万ノルウェー・クローネ）	
	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
資産				
金融機関向貸出金及び預け金	0.25	0.34	647,358	527,612
顧客向貸出金	3.31	3.84	1,501,783	1,382,551
コマーシャル・ペーパー及び債券	2.14	2.33	200,597	187,608
負債				
金融機関からの借用金及び預金	0.41	0.60	331,697	291,074
顧客預金	0.89	1.41	1,062,719	990,029
発行済負債証券	1.51	1.66	847,755	759,273

1）平均金利は付属的平均資本に対応する特定の商品のノルウェー・クローネ建ての金利合計として算定される。

注19　正味手数料

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
3,274	3,378	送金手数料	3,596	3,480
260	294	資産運用サービス手数料	351	305
349	348	カストディ・サービス手数料	363	358
273	287	証券手数料	314	350
443	427	コーポレート・ファイナンス	777	740
35	29	銀行間手数料	29	35
648	625	信用仲介手数料	781	630
306	366	保険商品販売手数料	392	327
		不動産仲介手数料	1,220	1,095
525	466	その他の手数料	870	829
6,112	**6,220**	**受取手数料等合計**	**8,694**	**8,148**
(1,305)	(1,636)	送金手数料	(1,670)	(1,341)
(160)	(172)	カストディ・サービス手数料	(174)	(160)
(66)	(61)	銀行間手数料	(61)	(67)
(97)	(83)	信用仲介手数料	(27)	(56)
(18)	(95)	保険商品販売手数料	(95)	(19)
(541)	(628)	銀行サービスに係るその他の手数料	(710)	(616)
(2,186)	**(2,676)**	**支払手数料等合計**	**(2,737)**	**(2,258)**
3,926	**3,544**	**正味手数料**	**5,956**	**5,891**

注20　公正価値で測定される金融商品に係る純利得

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年度	2015年度	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
1,737	5,148	外国為替及びデリバティブ	8,169	330
1,440	(1,543)	コマーシャル・ペーパー及び債券	(1,552)	1,486
(17)	52	株式	52	(17)
(6)	56	その他の金融資産	36	3
7	140	金融負債	164	(1)
3,160	3,853	金融商品の純利得（トレーディング目的）	6,868	1,801
120	(214)	公正価値で測定される貸出金	(894)	1,556
1,782	(1,304)	コマーシャル・ペーパー及び債券	(1,021)	1,615
129	(242)	株式	(90)	135
(458)	477	金融負債	1,837	(1,478)
1,573	(1,282)	（公正価値で測定される）金融商品の純利得	(168)	1,828
2,906	(3,255)	デリバティブ（ヘッジ目的）	(8,055)	15,087
0	0	金融資産（ヘッジ対象項目）	(2)	(0)
(2,939)	3,637	金融負債（ヘッジ対象項目）	9,029	(14,605)
(33)	382	ヘッジ対象項目に係る純利得[1)2)]	972	482
856	864	金融保証	876	879
408	147	配当	156	415
5,963	**3,964**	**公正価値で測定される金融商品に係る純利得**	**8,704**	**5,404**

1) ヘッジ対象負債に係るヘッジリスクは公正価値で計上され、かかるヘッジ手段の残額は償却原価で計上される。ヘッジ目的で使用されるデリバティブは公正価値で計上される。ヘッジリスクによる公正価値の変動は「デリバティブ(ヘッジ目的)」で表示している。ヘッジ対象金融負債に係る純利得には、中止されたヘッジ関係に係る公正価値の償却が含まれている。

2) DNBグループはDNBボーリ・クレジットとDNBバンク エイ・エス・エイの外貨建長期借入金にヘッジ会計を適用している。貸出金は外部契約を通じて1対1でヘッジされ、かかる契約では通貨、金利の変動及びヘッジ手段に相関関係がある。貸出金が増加した場合には、マーケッツ部門が当行グループの外貨ポジション及びかかる貸出金の金利エクスポージャーに基づいて、かかる貸出金についてヘッジ取引を締結するか検討する。

注21　給与及びその他の人件費

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年度	2015年度	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
(5,991)	(6,175)	給与[*)]	(7,660)	(7,340)
(852)	(901)	従業員国民保険拠出金	(1,124)	(1,050)
(734)	823	年金費用[1)]	770	(802)
(235)	(345)	組織再編費用	(352)	(237)
(583)	(647)	その他の人件費	(775)	(666)
(8,394)	**(7,245)**	**給与及びその他の人件費合計**	**(9,140)**	**(10,095)**
(4,977)	*(5,269)*	**）そのうち、業績連動型給与以外の給与等*	*(6,207)*	*(5,820)*
(781)	*(737)*	*業績連動型給与*	*(1,281)*	*(1,286)*

1) 2015年度第４四半期に、DNBは当行グループの年金制度を2015年12月から確定給付年金制度から確定拠出年金制度へ変更することを決定した。この変更には、当行グループの廃止された確定給付年金制度の加入者であったノルウェーの従業員の大半が対象となっている。この変更により、当行グループとDNBバンク　エイ・エス・エイはそれぞれ1,808百万ノルウェー・クローネ及び1,778百万ノルウェー・クローネを一括で計上したため、当期の年金費用は減少した。

従業員数／常勤従業員数

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年度	2015年度[1)]		2015年度[1)]	2014年度
8,084	7,898	12月31日現在の従業員数	11,047	11,257
887	868	うち海外の従業員数	3,122	3,251
7,734	7,546	12月31日現在の常勤ベースで算定した従業員数	10,608	10,854
865	850	うち常勤ベースで算定した海外の従業員数	3,079	3,193
8,016	7,943	平均従業員数	11,130	11,344
7,663	7,583	常勤ベースで算定した平均従業員数	10,707	10,935

1) 従業員数及び常勤ベースで算定した従業員数が2014年と比べて減少しているのは、当行グループのリストラ策を反映したものである。

注22　その他の費用

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
(1,228)	(1,370)	手数料[1)]	(1,497)	(1,334)
(1,993)	(2,184)	IT費	(2,397)	(2,254)
(236)	(223)	郵便料及び通信費	(268)	(278)
(41)	(36)	事務用消耗品費	(87)	(96)
(562)	(589)	マーケティング及び広報費	(845)	(849)
(191)	(210)	旅費	(271)	(243)
(231)	(174)	履行済みの取引に係るノルウェー・ポストへの弁済	(174)	(231)
(46)	(60)	研修費	(72)	(57)
(1,248)	(1,165)	土地及び建物に係る営業費用[2)]	(1,365)	(1,483)
(68)	(67)	機械、車両及びオフィス機器に係る営業費用	(100)	(102)
(483)	(513)	その他の営業費用	(817)	(787)
(6,327)	**(6,591)**	**その他の費用合計**	**(7,892)**	**(7,714)**

1) 2015年度のシステム開発費は、DNBバンク　エイ・エス・エイで総額990百万ノルウェー・クローネ、DNBバンク グループで総額990百万ノルウェー・クローネであった。これに対して2014年度はそれぞれ889百万ノルウェー・クローネと889百万ノルウェー・クローネであった。

2) 2015年度の賃借建物の関連費用はそれぞれ、DNBバンク　エイ・エス・エイが983百万ノルウェー・クローネ、DNBバンク グループが1,042百万ノルウェー・クローネであった。これに対して2014年度は1,040百万ノルウェー・クローネと1,117百万ノルウェー・クローネであった。

注23　固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損[1)]

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
(1,316)	(1,418)	機械、車両及びオフィス機器に関する減価償却費	(1,453)	(1,348)
(421)	(375)	その他の有形資産及び無形資産の減価償却費	(522)	(570)
(4)	(66)	資産計上されたシステム開発費の減損	(66)	(4)
		のれんの減損損失		(5)
(245)	(176)	固定資産及び無形資産に係るその他の減損	(119)	(99)
(1,986)	**(2,035)**	**固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損合計**	**(2,159)**	**(2,028)**

1) （注37）「無形資産」及び（注38）「固定資産」を参照のこと。

注24　年金

年金制度の詳細

DNBバンク グループは2015年度末まで、2010年12月31日までに当行グループによって雇用されたノルウェーの全従業員向けには確定給付企業年金制度を、2011年１月１日以降に雇用された全従業員向けには確定拠出年金制度を設けていた。確定給付企業年金制度はDNBリフスフォルシクリン　エイ・エスのグループ年金基金制度の形式であった。年金給付は退職年金と障害年金を含んでいた。年金の満額受給資格の取得には最低30年の標準勤続期間が必要で、取得すると従業員給与の70%と政府年金基金からの見積給付額の差異に相当する退職年金を受給することができた。かかる企業年金制度はノルウェーの企業年金法に準拠していた。

2015年末まで、確定拠出年金制度の保険料率は以下の通りであった。

- 給与が政府年金基準額（Ｇ）の１～６倍の場合：５％
- 給与が６～12Gの場合：８％

当行グループには、12Ｇ（政府年金基準額の12倍）を超す給与に対する確定拠出年金制度はない。

また、旧Postbankenの約400名の従業員は、Norwegian Public Service Pension Fundの独立したグループ年金制度で保障される。

ノルウェーの企業年金法に準拠して設けられた確定給付企業年金制度は2015年12月31日で終了した。これは、確定給付年金制度の全加入者は確定拠出年金制度に移行され、払込済年金は取得した受給権に応じて支給されることを意味している。払込済年金は年金受給者にも支給される。疾病休暇を取得中の従業員又は一部障害を認定されている従業員は、業務に復帰したことが報告されるまで、又は退職年金の受給が開始するまでは、引き続き確定給付年金制度の受給資格がある。Norwegian Public Service Pension Fundの年金制度の加入者は、この制度変更による影響を受けない。確定給付年金制度の廃止は当行の貸借対照表上の年金債務を減少させた。DNB バンク　エイ・エス・エイと当行グループはそれぞれ1,778百万ノルウェー・クローネと1,808百万ノルウェー・クローネの非経常費用を一括計上したが、それにより損益計算書では2015年度の年金費用が減少した。

2016年１月１日から、当行グループのノルウェーの従業員は、Norwegian Public Service Pension Fundの年金制度の加入者を別として、当行グループの確定拠出年金制度の対象となることになる。新しい確定拠出年金制度の保険料率は以下のとおりである。

- 給与が０～7.1Gの場合：７％
- 給与が7.1～12Gの場合：15%

2016年１月１日から、移行日現在に独立した確定給付年金制度の受給資格者であった従業員に向けて補償制度が設けられた。補償制度は補完的な、拠出ベースの直接年金制度として構築されている。この制度には、承認された条件に基づいて、仮に確定給付年金制度が継続していた場合に67歳に達した時点で受け取っていたであろう金額と同額の年金額を、個々の従業員に与えることを目的とした積立制度が含まれている。

2016年１月１日から、障害年金に関する新しい規則が政府年金基金からの新しい障害給付に適用された。同日から、障害年金制度には以下のものが含まれる。

- 12Ｇまでの場合は年金支給対象所得の３％が支給される
- 12Ｇまでの場合は年金支給対象所得の６％を上限とするＧの25%が支給される
- ６～12Ｇの場合は年金支給対象所得の66%が支給される

また当行グループには 12Gを超す給与に係る給与及び早期退職協定に関連した一部の従業員に対する債務がある。12Gを超す給与及び早期退職協定に関連する債務は、事業を通じて積み立てられている。この年金制度については、2008年6月30日より後に当行グループに入行した従業員には適用されない。2011年4月30日からはさらに制限が強化された。同日時点で12Gを超える給与を得ていない従業員は、それ以降に給与が12Gを超えることがあってもその対象とはならない。2011年7月1日からは、12Gを超す給与を得ている従業員については、年間給与の2.9倍、最大80Gまでの範囲で、特別の終身保険でカバーされる。

当行グループに属するノルウェー企業は、民間セクター向けの年金契約(CPA)制度に加入している。また当行グループは、Public Service Pension Fundに加入する従業員に適用される公共セクターの規則に従って年金契約に係る合意を締結している。

民間CPA制度は、1Gから7.1Gの間の給与の一定割合に相当する年間保険料により積み立てられる。

雇用者による拠出額は年金費用及び年金債務に含まれる。

ノルウェー国外の子会社及び支店は、自社の従業員のために、主に確定拠出型などの年金制度を別途設けている。ノルウェー国外の従業員の年金費用は160百万ノルウェー・クローネであった。

年金費用及び年金債務の算定の際に適用される経済面での仮定

経済面での仮定　　**DNBバンク グループ**

	費用		債務	
（単位：%）	2015年度	2014年度	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
割引率	2.40	4.00	2.70	2.40
予想給与増加率	2.75	3.75	2.50	2.75
予想基準額増加率	2.50	3.50	2.25	2.50
予想年金増加率	0.50	0.60	0.50	0.50
予想CPA受給率		実際の受給率		実際の受給率
死亡率に関する人口統計上の仮定[1)]	K2013	K2013	K2013	K2013

1) 当行グループの年金費用及び年金債務は、ノルウェー財務省が作成したK2013の死亡率に基づく、最善見積りである。K2013は統計上の死亡率の仮定のために更新された算定基礎である。

年金費用

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度 積立型	2015年度 非積立型	2015年度 合計	2014年度 積立型	2014年度 非積立型	2014年度 合計
年金受給権の正味現在価値	(431)	(53)	(484)	(365)	(55)	(420)
年金債務に係る利息費用	(366)	(38)	(404)	(475)	(59)	(534)
年金基金の計算上のリターン	283		283	424		424
確定拠出年金制度への移行／制度の縮小	1,778	6	1,785	93		93
管理費	(6)		(6)	(6)		(6)
確定給付年金制度合計	1,259	(84)	1,175	(329)	(113)	(442)
年金契約（新制度）			(92)			(79)
リスク・カバレッジ・プレミアム			(68)			(64)
確定拠出年金制度			(192)			(148)
正味年金費用			822			(734)

年金費用

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度 積立型	2015年度 非積立型	2015年度 合計	2014年度 積立型	2014年度 非積立型	2014年度 合計
年金受給権の正味現在価値	(461)	(54)	(515)	(391)	(56)	(447)
年金債務に係る利息費用	(377)	(39)	(416)	(490)	(60)	(550)
年金基金の計算上のリターン	294		294	439		439
確定拠出年金制度への移行／制度の縮小	1,808		1,808	92		92
管理費	(6)		(6)	(6)		(6)
確定給付年金制度合計	1,258	(93)	1,164	(357)	(116)	(473)
年金契約（新制度）			(100)			(86)
リスク・カバレッジ・プレミアム			(75)			(71)
確定拠出年金制度			(219)			(172)
正味年金費用			770			(802)

年金債務

DNBバンク　エイ・エス・エイ　　DNBバンク グループ

2014年度	2015年度	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
13,591	16,463	期首残高	16,982	13,991
420	484	年金受給権累計額	515	448
534	404	利息費用	416	550
2,702	(859)	数理計算上の損失/（利得）純額	(867)	2,785
(88)		年金制度の変更		(88)
(82)	(10,925)	確定拠出年金制度への移行／制度の縮小	(11,381)	(73)
(742)	(733)	年金支払額	(753)	(758)
128	158	為替換算差額	162	128
16,463	4,991	期末残高	5,074	16,982

年金基金

2014年度	2015年度	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
9,999	11,150	期首残高	11,557	10,339
424	283	期待リターン	294	439
214	(10)	数理計算上の利得/（損失）純額	(26)	207
(82)	(9,140)	確定拠出年金制度への移行／制度の縮小	(9,573)	(74)
957	877	保険料支払額	940	1,016
(461)	(494)	年金支払額	(501)	(467)
(6)	(6)	管理費	(6)	(6)
103	137	為替換算差額	142	103
11,150	2,798	期末残高	2,826	11,557
5,313	2,193	正味確定給付債務	2,248	5,425
5,322	*2,246*	*うち確定給付年金債務計上額*	*2,301*	*5,434*
9	*53*	*うち確定給付年金資産計上額*	*53*	*9*

事業を通じた支払額は94百万ノルウェー・クローネと見積もっている。

その他の包括利益に計上される影響額

DNBバンク　エイ・エス・エイ				DNBバンク　グループ		
積立型	非積立型	合計	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	積立型	非積立型	合計
3,843	(29)	3,813	2014年12月31日現在の数理計算上の損失／（利得）	3,975	(35)	3,940
(583)	(10)	(593)	再測定－割引率の変動	(593)	(10)	(604)
(159)	1,411	1,252	再測定－その他の経済的仮定の変更、年金債務	(144)	1,421	1,276
(100)	(1,417)	(1,517)	再測定－その他の要因の変更、年金債務	(91)	(1,425)	(1,516)
(32)		(32)	再測定－その他の経済的仮定の変更、年金基金	(32)		(32)
(51)		(51)	再測定－その他の要因の変更、年金基金	(37)		(37)
87		87	投資運用費用	92		92
(838)	(16)	(854)	その他の包括利益における再測定による損失／（利得）合計	(807)	(15)	(822)
(2,293)		(2,293)	廃止された確定給付年金制度	(2,425)		(2,425)
712	(45)	667	2015年12月31日現在の数理計算上の損失／（利得）	744	(50)	694

過去の推移

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在	2013年12月31日現在	2012年12月31日現在	2012年１月１日現在	2011年12月31日現在
年金債務総額[1)]	5,074	16,982	13,991	13,400	16,312	16,312
年金基金総額	(2,826)	(11,557)	(10,339)	(9,959)	(9,362)	(9,362)
財務諸表に計上されていない債務						(4,181)
正味年金債務計上額	2,248	5,425	3,652	3,442	6,950	2,769

1）年金債務総額は雇用者による拠出額を含む。

年金基金の投資

ノルウェーの積立型の年金制度は通常、DNBリフスフォルシクリン　エイ・エスが資金を積み立てているため、年金基金は保険契約と連動している。保険契約には保証リターン率が含まれていることにより、DNBリフスフォルシクリンが当該年金基金のリターンに係るリスクを負っている。

以下の表は、DNBリフスフォルシクリンが管理するグループ年金制度の年金基金の内訳(%)である。DNBリフスフォルシクリンは当行グループの年金基金の合計326百万ノルウェー・クローネを管理している。

	DNBバンク　グループ	
（単位：%）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
ノルウェーの株式	0.3	1.2
海外の株式	7.8	10.2
公正価値で測定されるノルウェーの債券	5.6	9.6
公正価値で測定される海外の債券	0.9	4.7
短期金融市場商品	24.3	22.4
満期保有目的の債券	32.7	34.8
貸出金及び債権	18.0	
不動産	9.9	15.0
その他	0.3	2.1
合計	100.0	100.0

年金の算定に係る感応度分析

以下の見積は2015年12月31日現在の事実及び条件に基いており、その他のパラメーターはすべて不変と仮定している。実際の結果はかかる見積と大きく異なる場合がある。

DNBバンク グループ

変動(%)	割引率 +1%	割引率 -1%	給与／基準額の年間増加率 +1%	給与／基準額の年間増加率 -1%	年金の年間増加率 +1%	年金の年間増加率 規制0%	平均余命 +1年	平均余命 -1年
年金の変動(%)								
年金債務	13-15	15-17	6-8	6-9	10-11	5-7	2	2
当期正味年金費用	16-18	22-23	13-15	10-11	10-11	5-7	4	3

年金債務はとりわけ割引率の変動に感応する。独立要因として、割引率が低下すると結果的に年金債務が増加する。割引率が1%低下すると年金債務は15%から17%増加し、年金費用も22%から23%増加する。昇給額や年金調整額の増加も年金債務及び年金費用を増加させる。

注25　税金

税引前営業利益に係る法人所得税費用

DNBバンク エイ・エス・エイ 2014年度	DNBバンク エイ・エス・エイ 2015年度	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	DNBバンク グループ 2015年度	DNBバンク グループ 2014年度
(1,987)	(7,002)	当期税金	(5,882)	(2,935)
(1,913)	3,550	繰延税金の変動	(1,873)	(3,239)
(3,900)	**(3,452)**	**法人所得税費用**	**(7,755)**	**(6,174)**

表面税率に対する法人所得税費用の調整

		（単位：百万ノルウェー・クローネ）		
22,358	24,090	税引前営業利益	31,028	25,306
(6,037)	(6,504)	見積法人所得税費用-表面税率27%	(8,378)	(6,833)
(86)	(38)	国外の各税率の税効果	(168)	(103)
188	162	国外支店との債務利息分配に係る税効果	162	188
1,869	3,370	株式投資による非課税収入の税効果[1)]	184	192
169	119	その他の非課税収入及び損金不算入費用の税効果	(35)	225
		貸借対照表で認識されない税務上の繰越欠損金の税効果[2)]	32	7
	(489)	貸借対照表に計上された繰延税金に対する税率変更の税効果[3)]	511	
(3)	(72)	過年度超過法人所得税	(63)	150
(3,900)	**(3,452)**	**法人所得税費用**	**(7,755)**	**(6,174)**
17%	14%	実効税率	25%	24%

その他の包括利益に係る法人所得税

（単位：百万ノルウェー・クローネ）

695	(239)	年金	(236)	719
		純投資ヘッジ	2,294	1,674
695	**(239)**	**その他の包括利益に係る法人所得税合計**	**2,058**	**2,393**

1) ノルウェーでは、株式投資からの企業所得は通常非課税である。原則として、これはEU又はEEAに拠点を置く企業への投資に適用され、配当金及び実現利得／（損失）双方に対して非課税扱いとなる。ただし、非課税対象投資からの配当金のうちの3%は課税所得に含められる。

2) 子会社の将来減算差異(おもに繰越欠損金)に係る繰延税金は貸借対照表で認識されないが、かかるタックスポジションが将来利用されることを当行グループが立証できる場合はこの限りではない。

3) 2015年度のノルウェーの法人税率は27%であった。2016年度から法人税率が25%に変更されることは承認されている。2015年度末現在の一時差異は25%の法人所得税に従った課税標準の中で解消されることが見込まれているため、2015年度末現在の貸借対照表における繰延税金は25%の税率に基づき認識されている。2015年度の繰延税金の期首残高を25%へ再評価したことによる影響は、2015年度の繰延税金費用に認識されている。それに応じて、2015年度の一時差異の変動から生じる繰延税金費用は、2015年度の実勢税率が27%であっても、25%の税率に基づいて算定されている。したがって、法人税率の変更による影響は、税引前営業利益に対する27%の法人所得税費用の調整の中で調整項目となる。

国外の各税率の税効果

当行グループはノルウェーの税率（27%）とは税率が異なる多数の国で事業を行っている。

国外支店との債務利息分配に係る税効果

ノルウェーの税制にしたがって、外部に対する利息費用はノルウェー及び国外支店の業務に対し、各拠点の総資産金額に基づいて分配しなければならない。この結果、ノルウェーにおける収益の増減が発生する可能性が生じる。

実効税率に関する見通し

ノルウェーの2015年度の表面税率は27%であった。2016年度からノルウェーにおける法人税率が25%に変更されることは承認されている。ノルウェー以外の地域における事業に対する法人税率は、事業展開先の各国の現地の税制に基づいており、表面税率は12%から45%の範囲にわたっている。ノルウェー以外の地域の事業に対する実効税率は、各国の税制に加え二重課税を回避できるかどうかによって変わる。株式投資からの非課税所得により、期待される税率は25%よりも低くなる。長期的には、実効税率は約24%となることが期待されている。期間によっては、貸借対照表に認識されない繰越欠損金が原因で実効税率が変動している。また、当該資産が認識されない期間には実効税率は長期的な期待よりも高くなり、資産として認識されない欠損金が使用される期間には実効税率は低くなっている。

DNBバンク　エイ・エス・エイ　繰延税金資産／（繰延税金）　　**DNBバンク グループ**

すべての一時差異に係る繰延税金を25%（2014年度は27%）で算定（ノルウェー）

2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
		繰延税金資産／（繰延税金）の年間の変動		
4,142	2,970	１月１日現在の繰延税金資産／（繰延税金）	(3,340)	(955)
(1,913)	3,550	利益に対して計上された変動	(1,873)	(3,239)
695	(238)	包括利益に対して計上された変動	(236)	719
46	26	繰延税金に係る為替換算差額	126	135
2,970	6,308	12月31日現在の繰延税金資産／（繰延税金）	(5,323)	(3,340)

貸借対照表の繰延税金資産及び繰延税金は以下の一時差異に関連

2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
		繰延税金資産		
(656)	(952)	固定資産及び無形資産	(26)	(6)
(5,834)	(5,652)	コマーシャル・ペーパー及び債券		(15)
3,180	2,507	発行済負債証券		(7)
4,718	9,818	デリバティブ	(16)	(27)
(53)	1	その他の金融商品	(6)	9
1,500	610	年金負債純額	443	110
58	(207)	その他の正味将来減算一時差異	102	594
82	195	繰越欠損金及び繰越税額控除	641	539
2,995	**6,320**	**繰延税金資産合計**	**1,138**	**1,197**
		繰延税金		
10	11	固定資産及び無形資産	950	670
15	1	コマーシャル・ペーパー及び債券	5,650	5,850
		発行済負債証券	(8,226)	(10,663)
		デリバティブ	8,203	15,116
		その他の金融商品	264	734
		年金負債純額	(522)	(1,418)
		その他の正味将来加算一時差異	327	216
		繰越欠損金及び繰越税額控除	(185)	(5,968)
25	**12**	**繰延税金合計**	**6,461**	**4,537**

損益計算書の繰延税金は以下の一時差異に関連

2014年度	2015年度	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
1	(298)	固定資産及び無形資産	(300)	(1)
(2,795)	197	コマーシャル・ペーパー及び債券[1)2)]	215	(2,795)
1,565	(673)	発行済負債証券[1)2)]	(2,430)	5,796
165	5,100	デリバティブ[1)2)]	6,925	(11,259)
(30)	53	その他の金融商品[1)2)]	454	(231)
(207)	(652)	年金	(668)	(220)
(368)	(290)	その他の一時差異	(355)	(163)
(244)	113	繰越欠損金及び繰越税額控除[2)]	(5,714)	5,634
(1,913)	**3,550**	**繰延税金費用**	**(1,873)**	**(3,239)**

1) 金融商品の大半は財務諸表において公正価値で計上されるが、税務上、同じ金融商品が実現主義に従って発生基準で計上される。これにより、各会計年度、とりわけ金利と為替レートが大幅に変動した会計年度において財務諸表に記載される利益と税務上算定される利益に大きな差異が生じる。かかる差異は長期的には相殺される。

2) 2014年度及び2015年度の大幅な為替相場変動により、当行グループの通貨リスク及び金利リスクの管理に使用している金融商品の未実現損益に大幅な変動があった。金融商品は実現主義に従って計上されており、一方で決算日レート法は外貨建の債権債務に使用されている。一連の差額は短期間のうちに戻し入れされる見込みである。

繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産の概要

DNBバンク エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ） 繰越欠損金	2015年12月31日現在 繰越欠損金合計	 そのうち税金資産の基礎となるもの	 認識された税金資産	2014年12月31日現在 繰越欠損金合計	 そのうち税金資産の基礎となるもの	 認識された税金資産
シンガポール	236	236	59			
欠損金及び税金資産合計	236	236	59			
繰越税額控除[1)]			136			82
繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産合計			**195**			**82**

1) すべての繰越税額控除は、ノルウェーにおける納税者に関連している。

繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産の概要

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ） 繰越欠損金	2015年12月31日現在 繰越欠損金合計	2015年12月31日現在 そのうち税金資産の基礎となるもの	2015年12月31日現在 認識された税金資産	2014年12月31日現在 繰越欠損金合計	2014年12月31日現在 そのうち税金資産の基礎となるもの	2014年12月31日現在 認識された税金資産
ノルウェー	194	194	49	21,799	21,799	5 886
シンガポール	236	236	59			
ラトビア	1,797	655	98	2,020	656	99
リトアニア	372	420	63	547	351	53
デンマーク	2,461	1,681	420	2,419	1,436	388
欠損金及び税金資産合計	5,060	3,186	689	26,785	24,242	6 425
繰越税額控除[1)]			136			82
繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産合計			**825**			**6,507**

1）すべての繰越税額控除は、ノルウェーにおける納税者に関連している。

繰延税金の認識

繰延税金資産は、一時差異を利用できる課税所得をDNBバンク グループが計上すると見込まれる範囲で資産計上される。同じ納税グループ内の一時差異に係る正味繰延税金が評価され、純額で財務諸表に計上される。

前へ　次へ

注26　金融商品の分類

2015年12月31日現在

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	純損益を通じて公正価値で測定される金融商品					
	トレーディング目的	公正価値で測定されるものとして指定されたもの	ヘッジ手段として指定されたデリバティブ	償却原価で計上される金融商品[1)]	満期保有目的の投資	合計
現金及び中央銀行預け金	1,097	12,557		2,350		16,004
金融機関向貸出金及び預け金	478,799	23,929		127,972		630,700
顧客向貸出金	37,640	24,855		643,036		705,532
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	126,930	83,132				210,062
株式	6,724	781				7,504
デリバティブ	201,393		12,405			213,797
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					19,162	19,162
関連会社への投資				975		975
子会社への投資				120,473		120,473
その他資産				23,735		23,735
金融資産合計	852,583	145,254	12,405	918,541	19,162	1,947,944
金融機関からの借用金及び預金	233,605	2,449		26,275		262,330
顧客預金	42,176	2,060		852,252		896,488
デリバティブ	239,687		830			240,518
発行済負債証券	159,932	18,258		161,909		340,099
その他負債	5,359			34,079		39,438
劣後債		1,241		29,712		30,953
金融負債合計[2)]	680,760	24,008	830	1,104,226		1,809,825

1）ヘッジ負債を含む。
2）公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額23,342百万ノルウェー・クローネに上る。

2014年12月31日現在

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	純損益を通じて公正価値で測定される金融商品					
	トレーディング目的	公正価値で測定されるものとして指定されたもの	ヘッジ手段として指定されたデリバティブ	償却原価で計上される金融商品[1)]	満期保有目的の投資	合計
現金及び中央銀行預け金	515	15,034		37,956		53,505
金融機関向貸出金及び預け金	451,522	21,022		135,492		608,036
顧客向貸出金	8,120	36,953		678,383		723,456
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	125,617	86,129				211,746
株式	7,915	1,290				9,205
デリバティブ	235,445		13,323			248,768
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					31,927	31,927
関連会社への投資				975		975
子会社への投資				79,266		79,266
その他資産				16,581		16,581
金融資産合計	829,134	160,430	13,323	948,653	31,927	1,983,467
金融機関からの借用金及び預金	241,070	2,708		24,753		268,531
顧客預金	48,209	1,466		853,358		903,033
デリバティブ	273,956		891			274,846
発行済負債証券	206,669	14,171		145,365		366,205
その他負債	50			21,054		21,104
劣後債		1,261		28,058		29,319
金融負債合計[2)]	769,954	19,606	891	1,072,588		1,863,038

1）ヘッジ負債を含む。
2）公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額18,490百万ノルウェー・クローネに上る。

2015年12月31日現在　　DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	純損益を通じて公正価値で測定される金融商品					
	トレーディング目的	公正価値で測定されるものとして指定されたもの	ヘッジ手段として指定されたデリバティブ	償却原価で計上される金融商品[1]	満期保有目的の投資	合計
現金及び中央銀行預け金	1,097	12,557		5,663		19,317
金融機関向貸出金及び預け金	282,854	2		14,602		297,457
顧客向貸出金	37,640	85,777		1,408,515		1,531,932
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	125,580	81,482				207,063
株式	7,603	1,190				8,794
デリバティブ	165,866		37,408			203,273
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					19,162	19,162
その他資産				8,608		8,608
金融資産合計	620,641	181,008	37,408	1,437,388	19,162	2,295,606
金融機関からの借用金及び預金	129,082	2,449		29,735		161,267
顧客預金	42,176	2,060		913,086		957,322
デリバティブ	154,044		834			154,878
発行済負債証券	159,932	88,490		558,388		806,810
その他負債	5,359			13,050		18,409
劣後債		1,241		29,712		30,953
金融負債合計[2]	490,594	94,240	834	1,543,971		2,129,640

1) ヘッジ負債を含む。
2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額91,948百万ノルウェー・クローネに上る。

2014年12月31日現在　　DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	純損益を通じて公正価値で測定される金融商品					
	トレーディング目的	公正価値で測定されるものとして指定されたもの	ヘッジ手段として指定されたデリバティブ	償却原価で計上される金融商品[1]	満期保有目的の投資	合計
現金及び中央銀行預け金	515	15,034		42,956		58,505
金融機関向貸出金及び預け金	340,082	251		15,244		355,577
顧客向貸出金	8,120	105,700		1,333,645		1,447,465
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	123,500	64,265				187,765
株式	8,159	1,550				9,709
デリバティブ	194,609		41,781			236,389
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					31,927	31,927
その他資産				12,301		12,301
金融資産合計	674,984	186,802	41,781	1,404,145	31,927	2,339,639
金融機関からの借用金及び預金	183,865	2,708		27,637		214,211
顧客預金	48,209	1,466		901,373		951,049
デリバティブ	185,127		1,102			186,230
発行済負債証券	206,669	83,283		523,957		813,909
その他負債	50			12,790		12,840
劣後債		1,261		28,058		29,319
金融負債合計[2]	623,921	88,718	1,102	1,493,816		2,207,557

1) ヘッジ負債を含む。
2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額84,681百万ノルウェー・クローネに上る。

注27　償却原価で測定される金融商品の公正価値

DNBバンク　エイ・エス・エイ

	2015年12月31日現在		2014年12月31日現在	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
現金及び中央銀行預け金	2,350	2,350	37,956	37,956
金融機関向貸出金及び預け金	127,972	127,972	135,492	135,492
顧客向貸出金	643,036	636,275	678,383	680,479
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	19,162	18,463	31,927	31,838
金融資産合計	792,520	785,059	883,758	885,765
金融機関からの借用金及び預金	26,275	26,275	24,753	24,753
顧客預金	852,252	852,252	853,358	853,358
発行済証券	161,909	164,603	145,365	149,523
劣後債	29,712	29,711	28,058	28,233
金融負債合計	1,070,147	1,072,841	1,051,534	1,055,867

DNBバンク グループ

	2015年12月31日現在		2014年12月31日現在	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
現金及び中央銀行預け金	5,663	5,663	42,956	42,956
金融機関向貸出金及び預け金	14,602	14,602	15,244	15,244
顧客向貸出金	1,408,515	1,401,036	1,333,645	1,335,400
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	19,162	18,463	31,927	31,838
金融資産合計	1,447,942	1,439,763	1,423,772	1,425,438
金融機関からの借用金及び預金	29,735	29,735	27,637	27,637
顧客預金	913,086	913,086	901,373	901,373
発行済証券	558,388	562,620	523,957	532,557
劣後債	29,712	29,711	28,058	28,233
金融負債合計	1,530,921	1,535,153	1,481,025	1,489,801

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	活発な市場における相場価格に基づく評価 レベル１ [1)]	観察可能な市場データに基づく評価 レベル２ [1)]	観察可能な市場データ以外のインプットに基づく評価 レベル３ [1)]	未収利息	合計
2015年12月31日現在の資産					
現金及び中央銀行預け金		2,350			2,350
金融機関向貸出金及び預け金		127,964		8	127,972
顧客向貸出金			634,162	2,113	636,275
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券			18,447	15	18,463
2015年12月31日現在の負債					
金融機関からの借用金及び預金		26,269		6	26,275
顧客預金		852,232		20	852,252
発行済証券		157,467	4,457	2,678	164,603
劣後債		11,972	17,389	350	29,711

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	活発な市場における相場価格に基づく評価 レベル１[1)]	観察可能な市場データに基づく評価 レベル２[1)]	観察可能な市場データ以外のインプットに基づく評価 レベル３[1)]	未収利息	合計
2015年12月31日現在の資産					
現金及び中央銀行預け金		5,663			5,663
金融機関向貸出金及び預け金		14,541		61	14,602
顧客向貸出金			1,397,419	3,616	1,401,036
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券			18,447	15	18,463
2015年12月31日現在の負債					
金融機関からの借用金及び預金		29,699		36	29,735
顧客預金		912,991		96	913,086
発行済証券		534,959	21,036	6,625	562,620
劣後債		11,972	17,389	350	29,711

1) 各レベルの定義に関しては、（注28）「公正価値で測定される金融商品」を参照のこと。

償却原価で測定される金融商品

DNBバンク グループの貸借対照表上の、大半の資産及び負債は償却原価で計上されている。このことは主に当行グループの貸借対照表上の貸出金、預け金（預金）、及び借用金だけでなく、満期保有目的の債券への投資等にも適用されている。ノルウェー・クローネ建ての長期借用金は公正価値で計上されているが、その他の通貨建ての長期借用金は償却原価で計上されている。ヘッジ会計が適用される場合もある。

償却原価で貸借対照表項目を計上するのは、減損のために調整される可能性があることや、当初認められたキャッシュ・フローが使われることを意味する。このような評価額は必ずしも同じ金融商品の市場評価額と常に合致するものではない。かかる不一致はマクロ経済の見通し、市況、リスク面、リターン要件に関する見解の相違並びに正確な情報の入手方法の違いによるものである。上記の表は、償却原価で計上された項目の見積公正価値を表示している。

評価額は各金融商品の特性と貸借対照表日の価値に基づいている。しかし、かかる評価額は顧客関係、市場へのアクセス、ブランド、組織面、従業員、及び資本構成といった価値をすべて含んだものではない。結果として、そのような無形資産は普通、財務諸表に計上されない。加えて顧客との取引の大半は、複数の商品に対し集合的に評価され、値付けされるものであり、貸借対照表に計上される商品は顧客が利用するその他の商品及びサービスと合わせて考慮されている。そのため、貸借対照表に計上される個々の資産及び負債は当行グループの事業の全体価値を反映しつくすものではない。

金融機関向貸出金及び預け金並びに顧客向貸出金

貸出金を評価する際、貸出金ポートフォリオは次のカテゴリー、すなわち個人顧客、中小企業、北欧企業、国外の事業法人、海運／オフショア／物流及びエネルギーに分けられている。また、DNB Finans及びバルト諸国及びポーランド事業部に関しては別途算定が行われている。

評価額は12月の平均スプレッドに基づいたもので、その平均スプレッドは2015年度末に貸出が実行された場合に事業部門が必要と見込む潜在スプレッドの最善の見積と比較し考慮されている。貸出に関連する見積費用に基づき、分化した必要スプレッドが上記のカテゴリー別に算定されている。必要スプレッドは標準損失額をカバーする費用を含んでいる。標準損失額は年次財務諸表に計上される減損額とは対照的に、損失水準の長期評価額を表している。

償却原価で計上されるリテールローンは、大半が変動金利による貸出である。かかるリテールローンの公正価値は償却原価で計上されている。

減損した貸出金については、減損していない類似の貸出金に関する市況変動調整後の実効金利で割り引かれた潜在キャッシュ・フローの評価が行われている。引当金設定前の貸出金利は負債の信用リスクの上昇を反映している。公正価値の測定における一般的な不確実性を踏まえると、減損後の価値は、かかる貸出金の公正価値を適切に反映していると評価される。

顧客は、一部が償却原価、また一部が公正価値で計上されるような貸出商品をしばしば利用するであろう。顧客取引関係の収益性は総額に基づいて考察され、価値は全体的な評価に基づいて査定される。それに応じて、顧客取引関係価値の低下は商品すべての全体評価に基づく。特定の商品の価格変動以外の価値の低下は、関連する顧客取引関係の信用の全体評価に含まれる。顧客関係価値合計の低下は償却原価に基づいて測定され、貸出金の減損に基づいて計上される。

満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券

レベル２の評価は主として、債券又はコマーシャル・ペーパーの個々の信用や特徴に関連した、金利カーブ、為替レート及び信用スプレッドといった形で観察可能な市場データに基づいて行われる。レベル３に分類される債券類の評価は、モデルに基づいて行われる。詳細については（注33）「満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券」を参照のこと。

金融機関からの借用金及び預金、並びに顧客預金

金融機関からの借用金及び預金については、見積公正価値は貸借対照表価額と合致する。顧客預金については、公正価値は償却原価に合致するよう評価されている。

発行済証券及び劣後債

レベル２の評価は、入手可能な場合には、金利カーブや信用スプレッドといった形で観察可能な市場データに基づいて行われる。レベル３に分類される証券及び劣後債はモデルに基づいて評価される。これらの項目は主に外貨による資金調達で構成されている。

注28　公正価値で測定される金融商品

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	活発な市場における相場価格に基づく評価 レベル１	観察可能な市場データに基づく評価 レベル２	観察可能な市場データ以外のインプットに基づく評価 レベル３	未収利息[1)]	合計
2015年12月31日現在の資産					
中央銀行預け金		13,654		1	13,654
金融機関向貸出金及び預け金		502,618		110	502,727
顧客向貸出金		37,638	24,779	78	62,495
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	37,906	169,808	566	1,782	210,062
株式	6,675	1	828		7,504
デリバティブ	2	212,291	1,504		213,797
2015年12月31日現在の負債					
金融機関からの借用金及び預金		236,013		42	236,055
顧客預金		44,119		117	44,236
発行済負債証券		177,996		194	178,190
劣後債		1,240		1	1,241
デリバティブ	0	239,374	1,144		240,518
その他の金融負債[2)]	5,247	75		38	5,359
2014年12月31日現在の資産					
中央銀行預け金		15,545		4	15,549
金融機関向貸出金及び預け金		472,418		127	472,545
顧客向貸出金		8,118	36,825	129	45,073
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	34,112	175,561	246	1,828	211,746
株式	7,870		1,335		9,205
デリバティブ	1	246,890	1,877		248,768
2014年12月31日現在の負債					
金融機関からの借用金及び預金		243,738		40	243,778
顧客預金		49,564		111	49,675
発行済負債証券		220,707		133	220,840
劣後債		1,259		2	1,261
デリバティブ	1	273,383	1,463		274,846
その他の金融負債[2)]	50				50

1）デリバティブの未収利息はレベル２とレベル３の金額に含まれている。
2）トレーディング業務におけるショートポジション。

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	活発な市場における相場価格に基づく評価 レベル１	観察可能な市場データに基づく評価 レベル２	観察可能な市場データ以外のインプットに基づく評価 レベル３	未収利息[1)]	合計
2015年12月31日現在の資産					
中央銀行預け金		13,654		1	13,654
金融機関向貸出金及び預け金		282,842		13	282,855
顧客向貸出金		37,638	85,591	187	123,417
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	42,335	162,168	734	1,826	207,063
株式	7,564	2	1,229		8,794
デリバティブ	2	201,767	1,504		203,273
2015年12月31日現在の負債					
金融機関からの借用金及び預金		131,506		26	131,532
顧客預金		44,119		117	44,236
発行済負債証券		247,714		708	248,422
劣後債		1,240		1	1,241
デリバティブ	0	153,734	1,144		154,878
その他の金融負債[2)]	5,247	75		38	5,359
2014年12月31日現在の資産					
中央銀行預け金		15,545		4	15,549
金融機関向貸出金及び預け金		340,290		44	340,334
顧客向貸出金		8,118	105,429	273	113,820
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	38,447	147,174	251	1,893	187,765
株式	8,120	1	1,589		9,709
デリバティブ	1	234,511	1,877		236,389
2014年12月31日現在の負債					
金融機関からの借用金及び預金		186,544		30	186,574
顧客預金		49,564		111	49,675
発行済負債証券		289,360		591	289,952
劣後債		1,259		2	1,261
デリバティブ	1	184,766	1,463		186,230
その他の金融負債[2)]	50				50

1) デリバティブの未収利息はレベル２とレベル３の金額に含まれている。
2) トレーディング業務におけるショートポジション。

レベル

金融商品は、その個々の金融商品に係る市場データの品質に基づいて、異なるレベルに分類される。レベル２に分類される金融商品に関しては、市場データの品質は当該金融商品が取引されていたかどうかによって変わる可能性がある。したがって、一部の金融商品がレベル２とレベル３との間で移動することは致し方がない。これは主としてコマーシャル・ペーパー及び債券に当てはまる。

レベル１：活発な市場における相場価格に基づく評価

レベル１に分類されるのは、同一の資産又は負債に関する活発な市場の相場価格で評価される金融商品である。

このカテゴリーに分類される金融商品は、活発な市場で取引される上場株式及び投資信託、国債、並びにコマーシャル・ペーパーである。

レベル２：観察可能な市場データに基づく評価

レベル２に分類されるのは相場価格以外の情報で評価される金融商品であるが、この場合、資産若しくは負債に関する価格は、同一の資産若しくは負債に関する活発ではない市場の相場価格を含め直接又は間接に観察可能である。

このカテゴリーに含まれるのは、ロイター又はブルームバーグによる相場価格のある金利スワップ、通貨スワップ、及び先物契約といった銀行間デリバティブの他、ノルウェー・クローネ、ユーロ、米ドル、及び英ポンド間のベーシス・スワップ並びに信用スプレッドの低い顧客との通貨金利デリバティブ等である。上場オプションは、内在するボラティリティが観察可能な価格に基づき調査又は補間／推定できる場合にレベル２に分類される。

レベル３：観察可能な市場データ以外に基づく評価

レベル３に分類されるものは、直接観察可能な価格に基づいて評価することができない金融商品である。これらの金融商品に対しては、企業の資産及び負債の価値、予想キャッシュ・フロー及び主なパラメータが観察可能な市場データに基づかない他のモデルといった、他の評価手法が使用されている。

このカテゴリーに含まれるのは、信用スプレッドが市場価値に対する調整の大半を占めるような顧客向けの貸出金及び金融商品である。

見積公正価値が取引価格と異なる場合に発生する損益（初日損益）は、2015年度及び2014年度の財務諸表に重要な影響を及ぼしていない。

異なるレベルに分類された金融商品

金融機関向貸出金及び預け金（レベル２）

これは、主にマーケッツ部門に関連するものである。金融機関との貸出金及び預け金の評価は主にスワップ・カーブで測定される合意された金利期間に基づいて行われる。固定金利期間は比較的短い。

顧客向貸出金（レベル３）

貸出金は主にノルウェー・クローネ建ての固定金利の貸出金であるが、ノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸出ポートフォリオも一部ある。固定金利の貸出金の価値は必要スプレッドを調整した割引係数を使って、貸出期間にわたり契約で定められた利息を割り引くことで算出される。必要スプレッドはスプレッド貸出に関して算定され、契約されたスプレッドと実際のスプレッドの差異はスプレッド貸出の金利改定までの予想平均期間にわたって割り引かれる。

コマーシャル・ペーパー及び債券（レベル２とレベル３）

レベル２での評価は、主に個別のクレジット又は債券若しくはコマーシャル・ペーパーの特性に関連する金利カーブ、為替レート及び信用スプレッドの形で観察可能な市場データ等に基づく。レベル３に分類されるコマーシャル・ペーパーの評価は、第三者又は比較可能なコマーシャル・ペーパーの気配値に基づく。

投資信託を含む株式（レベル２とレベル３）

レベル２の株式とは、他の小規模な投資信託や上場株式を原資産とする投資信託である。レベル３に分類される金融商品は、不動産ファンド、リミテッド・パートナーシップ・ユニット、プライベート・エクイティ投資及び非上場株式投資等である。

デリバティブ（レベル２とレベル３）

レベル２に分類されるデリバティブは、主に通貨先渡契約、並びに金利及び通貨スワップ等である。その評価はスワップ・カーブに基づいており、信用スプレッドはその価値のごく一部である。またその他、コモディティに連動するデリバティブやFRA（金利先渡契約）も含んでいる。これらは観察可能な市場価格に基づいて評価される。レベル２に分類されるデリバティブには、マーケッツ部門のマーケット・メイキング業務で使われるエクイティ・デリバティブも含まれる。かかるデリバティブの大半はオスロ証券取引所で活発に取引される株式に連動し、その評価は連動する／原資産である株式の価格動向、及び観察可能又は予想ボラティリティに基づいている。レベル３に分類されるデリバティブは、主にノルウェー・クローネ建ての通貨オプションと金利オプション及び指数デリバティブ等に連動し、第三者の気配値に基づいて評価される。

金融機関からの借用金及び預金（レベル２）

上記の「金融機関向貸出金及び預け金」を参照のこと。

顧客預金（レベル２）

公正価値で計上される預金は特別条件の預金を含み、スワップ・カーブに関連した測定に基づいて評価され、信用スプレッドの変動はそれほど影響を及ぼさない。

発行済負債証券（レベル２）

発行済負債証券の評価は、金利カーブや信用スプレッドの形で観察可能な市場データ等に基づいている。かかる勘定科目はノルウェー・クローネ建ての調達資金が中心である。外貨での資金調達に関しては、ヘッジが行われている場合にはヘッジ会計を適用している。その他すべての面に関して、発行済負債証券は償却原価で計上される。

劣後債（レベル２）

公正価値で計上される劣後債はノルウェー・クローネ建ての１本であり、観察可能な金利カーブ及び信用スプレッドに基づいて評価される。

公正価値で測定される金融商品（レベル３）　DNBバンク　エイ・エス・エイ

	金融資産				金融負債
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	顧客向貸出金	コマーシャル・ペーパー及び債券	株式[1)]	デリバティブ	デリバティブ
2013年12月31日現在の帳簿価額	**50,423**	**306**	**4,007**	**1,442**	**1,248**
金融商品に係る純利得	121	(2)	432	395	176
追加／取得	1,208	389	435	474	468
売却	(1,025)	(607)	(3,539)		
決済	(13,902)	(7)		(494)	(488)
レベル１又はレベル２からの振替		333			
レベル１又はレベル２への振替		(164)			
その他		(3)		60	58
2014年12月31日現在の帳簿価額	**36,825**	**246**	**1,335**	**1,877**	**1,463**
金融商品に係る純利得	(211)	16	48	61	(24)
追加／取得	7,312	351	241	520	467
売却	(2,131)	(340)	(796)		
決済	(17,017)	0		(981)	(777)
レベル１又はレベル２からの振替		818			
レベル１又はレベル２への振替		(462)			
その他		(62)		27	15
2015年12月31日現在の帳簿価額	**24,779**	**566**	**828**	**1,504**	**1,144**

公正価値で測定される金融商品（レベル３）　DNBバンク グループ

	金融資産				金融負債
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	顧客向貸出金	コマーシャル・ペーパー及び債券	株式[1)]	デリバティブ	デリバティブ
2013年12月31日現在の帳簿価額	**128,022**	**311**	**4,235**	**1,442**	**1,248**
金融商品に係る純利得	1,554	(2)	448	395	176
追加／取得	5,541	389	443	474	468
売却		(607)	(3,539)		
決済	(29,687)	(7)		(494)	(488)
レベル１又はレベル２からの振替		333	3		
レベル１又はレベル２への振替		(164)			
その他		(3)		60	58
2014年12月31日現在の帳簿価額	**105,429**	**251**	**1,589**	**1,877**	**1,463**
金融商品に係る純利得	(896)	(9)	210	61	(24)
追加／取得	35,442	532	241	520	467
売却[2)]	(20,169)	(344)	(825)		
決済	(34,215)	0		(981)	(777)
レベル１又はレベル２からの振替		818			
レベル１又はレベル２への振替		(462)			
その他		(51)	14	27	15
2015年12月31日現在の帳簿価額	**85,591**	**734**	**1,229**	**1,504**	**1,144**

1) レベル３に分類されるエクイティには純粋なエクイティ投資に加えて、不動産ファンドのユニット、リミテッド・パートナーシップのユニット、及びプライベート・エクイティ投資が含まれる。
2) 2015年11月に、約20十億ノルウェー・クローネに上る住宅ローンポートフォリオは、DNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。

顧客向貸出金

公正価値で計上される貸出金ポートフォリオは、主にノルウェー・クローネ建ての固定金利貸出金やノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸出金の一部等である。

固定金利貸出金

固定金利貸出金の評価は必要スプレッドを調整した割引係数を用いて、貸出期間にわたり契約で定められた利息額を割り引くことにより算出される。使用する割引係数は、関連する固定金利貸出金の平均残存固定期間（lock-in period）に等しいデュレーションに基づいたスワップレートを起点としている。貸出金の必要スプレッドの算出の基礎となる仮定は、貸借対照表日現在の市況のレビューに加え、同様のポートフォリオに投資する際に外部の投資家が行った審議の評価に基づいている。公正価値で計上される固定金利貸出金は2015年度末時点で総額64,747百万ノルウェー・クローネに上る。

公正価値で計上されるスプレッド貸出金

スプレッド貸出金は参照金利とスプレッドから成る契約金利による貸出金である。参照金利は通常3ヶ月毎に設定されるが、スプレッドはかなり長い期間にわたって定められる。金利の変動が激しく、市場の流動性が乏しい時期には、金融危機の場合と同様、長期の資金調達コストが増加する。かかるコストはその算定時に銀行が使用する必要スプレッドにとって重要である。必要スプレッドは契約スプレッドに対して測定され、その差分が予想スプレッドの調整までの平均期間にわたって割り引かれる。かかる平均期間は当行グループの事業部門からの査定に基づいているが、過去の経験に基づいて重要な判断を下す必要がある。スプレッドの実際の調整までの期間がかかる計算における不確実性の最大の要素である。公正価値で計上されるスプレッド貸出金は2015年度末時点で総額20,844百万ノルウェー・クローネに上る。

コマーシャル・ペーパー及び債券

レベル３に分類される投資は、主に、流動性が低いコーポレートハイイールド債である。

投資信託を含むエクイティ

レベル３に分類される投資は、プライベート・エクイティ・ファンド、リミテッド・パートナーシップ及び非上場株式である。かかる投資に関する共通点は各部門からの情報の取得に遅れがあるということである。金融市場が混乱している時期には、かかる投資の評価に関わる不確実性が非常に大きい可能性がある。

デリバティブ、資産及び負債

レベル３に分類される金融商品は、通貨オプション、ノルウェー・クローネ建ての金利オプション、消費者物価指数に連動するデリバティブ等である。

DNBバンク　エイ・エス・エイ　公正価値の内訳（レベル3）　DNBバンク グループ

2015年12月31日現在の株式	2015年12月31日現在のコマーシャル・ペーパー及び債券	2015年12月31日現在の顧客向貸出金		2015年12月31日現在の顧客向貸出金	2015年12月31日現在のコマーシャル・ペーパー及び債券	2015年12月31日現在の株式
597	746	24,829	元本金額／購入価額	84,457	940	782
231	(180)	(50)	公正価値の調整[1)]	1,134	(206)	447
828	566	24,779	経過利息を除いた公正価値の合計	85,591	734	1,229

1) 顧客向貸出金の公正価値の変動は、主としてスワップレートの変動に起因する。対応するマイナスの調整は、ヘッジに使用される金融商品の公正価値の中で行われる。

DNBバンク　エイ・エス・エイ　株式の内訳（レベル3）　DNBバンク グループ

合計	その他	プライベート・エクイティ(PE)・ファンド	非上場株式		非上場株式	プライベート・エクイティ(PE)・ファンド	その他	合計
828	27	337	464	2015年12月31日現在の帳簿価額	865	337	27	1,229

DNBバンク　エイ・エス・エイ　感応度分析（レベル3）　DNBバンク グループ

合理的に発生の可能性のある代替的仮定の影響	2015年12月31日現在の帳簿価額		2015年12月31日現在の帳簿価額	合理的に発生の可能性のある代替的仮定の影響
(28)	24,779	顧客向貸出金	85,591	(173)
(3)	566	コマーシャル・ペーパー及び債券	734	(3)
	828	株式	1,229	
	360	デリバティブ（正味）	360	

貸出金ポートフォリオの感応度を表示するため、固定金利の貸出金の割引率とスプレッド・ベースの貸出金の必要スプレッドを10ベーシスポイント引き上げた。DNBは通常、新規固定金利貸出を実行する際、銀行の金利戦略の一環として金利スワップ契約を締結する。したがって、固定金利貸出金の公正価値へ影響を及ぼす金利の変動は、関連する金利デリバティブに相反する影響を及ぼす。

レベル３に分類される債券は主に、流動性が低いコーポレートハイイールド債である。割引率が10ベーシスポイント上昇した場合の影響は僅少である。

前へ　次へ

注29　相殺

下記の表は、金融資産と金融負債に対する当行グループのネッティング契約による潜在的な影響を示したものである。詳細な情報については（注１）「会計方針」を参照のこと。

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	総額	財政状態計算書で相殺される金額	帳簿価額	ネッティング契約	その他の担保[1)]	可能なネッティング後の金額
2015年12月31日現在の資産						
金融機関向貸出金及び預け金[2)]	279,255		279,255		279,254	
顧客向貸出金[2)]	38,545		38,545		38,545	
デリバティブ[3)]	166,980		166,980	57,498	39,532	69,950
2015年12月31日現在の負債						
金融機関からの借用金及び預金[2)]	22,001		22,001		22,001	
デリバティブ[3)]	202,307		202,307	57,498	46,635	98,174

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	総額	財政状態計算書で相殺される金額	帳簿価額	ネッティング契約	その他の担保[1)]	可能なネッティング後の金額
2014年12月31日現在の資産						
金融機関向貸出金及び預け金[2)]	332,548		332,548		332,548	
顧客向貸出金[2)]	8,855		8,855		8,855	
デリバティブ[3)]	208,584		208,584	79,156	57,480	71,948
2014年12月31日現在の負債						
金融機関からの借用金及び預金[2)]						
デリバティブ[3)]	222,719		222,719	79,156	42,247	101,316

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	総額	財政状態計算書で相殺される金額	帳簿価額	ネッティング契約	その他の担保[1)]	可能なネッティング後の金額
2015年12月31日現在の資産						
金融機関向貸出金及び預け金[2)]	279,338		279,338		279,337	
顧客向貸出金[2)]	38,546		38,546		38,546	
デリバティブ[3)]	156,456		156,456	57,533	39,532	59,391
2015年12月31日現在の負債						
金融機関からの借用金及び預金[2)]	22,001		22,001		22,001	
デリバティブ[3)]	116,723		116,723	57,533	46,579	12,610

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	総額	財政状態計算書で相殺される金額	帳簿価額	ネッティング契約	その他の担保[1)]	可能なネッティング後の金額
2014年12月31日現在の資産						
金融機関向貸出金及び預け金[2)]	332,675		332,675		332,675	
顧客向貸出金[2)]	8,948		8,948		8,948	
デリバティブ[3)]	196,205		196,205	79,178	57,480	59,547
2014年12月31日現在の負債						
金融機関からの借用金及び預金[2)]						
デリバティブ[3)]	134,167		134,167	79,178	42,247	12,742

1) 取引相手との間で受払いされた担保金及び証券、並びにクリアストリーム又はユーロクリアといった預託機関の担保として受け入れあるいは差し入れた証券が含まれている。

2) レポ及びリバース・レポ取引、証券貸借取引が含まれている。

3) 総額は、マスターネッティング契約の対象となっている、又はクレジット・サポート・アネックスに基づいて現金もしくは証券によって担保されているデリバティブの市場価値を表している。

注30　株式

株式、投資信託及びエクイティ証書への投資[1)]

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
9,205	**7,504**	**株式、投資信託及びエクイティ証書への投資合計**	**8,794**	**9,709**

2015年12月31日現在の株式、投資信託及びエクイティ証書への主要投資の内訳

	DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ		
（帳簿価額 単位：千ノルウェー・クローネ）	株式数	持株比率 (%)[2)]	帳簿価額	（帳簿価額 単位：千ノルウェー・クローネ）	株式数	持株比率 (%)[2)]	帳簿価額
金融機関				**金融機関**			
Gjensidige Forsikring[3)]	433,256		61,566	Bank of New York	100,000		879,775
Storebrand[3)]	6,830,976	2.0	238,743	Storebrand[3)]	6,830,976	1.5	238,743
その他の金融機関			358,396	VISA Europe	2		204,548
金融機関合計			**658,704**	その他の金融機関			429,530
				金融機関合計			**1,752,595**
ノルウェー企業				**ノルウェー企業**			
American Shipping Company[3)]	4,005,100		106,135	American Shipping Company[3)]	4,005,100	7.0	106,135
Grieg Seafood[3)]	22,220,738	20.0	688,843	Grieg Seafood[3)]	22,220,738	20.0	688,843
Koksa Eiendom	16,198,752	13.0	145,600	Koksa Eiendom	16,198,752	13.0	145,600
Marine Harvest[3)]	1,270,184		151,914	Marine Harvest[3)]	1,270,184		151,914
Nordic Semiconductor[3)]	4,156,929	3.0	179,787	Nordic Semiconductor[3)]	4,156,929	3.0	179,787
Norsk Hydro[3)]	9,523,085		315,500	Norsk Hydro[3)]	9,523,085		315,500
Norway Royal Salmon[3)]	2,008,940	5.0	160,715	Norway Royal Salmon[3)]	2,008,940	5.0	160,715
Norwegian Air Shuttle[3)]	303,185	1.0	98,141	Norwegian Air Shuttle[3)]	303,185	1.0	98,141
Norwegian Property[3)]	28,777,466	5.0	261,587	Norwegian Property[3)]	28,777,466	5.0	261,587
NRC Group[3)]	1,850,000	5.0	103,600	NRC Group[3)]	1,850,000	5.0	103,600
Odfjell[3)]	5,849,395	9.0	165,538	Odfjell[3)]	5,849,395	9.0	165,538
Orkla[3)]	3,094,424		216,919	Orkla[3)]	3,094,424		216,919
Statoil[3)]	3,419,549		422,998	Statoil[3)]	3,419,549		422,998
Telenor[3)]	2,474,422		366,957	Telenor[3)]	2,474,422		366,957
Yara International[3)]	436,063		166,969	Yara International[3)]	436,063		166,969
その他のノルウェー企業			1,067,858	その他のノルウェー企業			1,215,094
ノルウェー企業合計			**4,619,061**	**ノルウェー企業合計**			**4,766,297**
海外企業				**海外企業**			
Avance Gas Holding[3)]	296,672	1.0	33,821	Bakkafrost[3)]	209,224		54,775
Bakkafrost[3)]	209,224		54,775	Cape Investment Corp.	9,261	14.0	44,895
Deep Sea Supply[3)]	41,120,000	16.0	64,970	Deep Sea Supply[3)]	41,120,000	16.0	64,970
Ezra Holdings[3)]	207,000,000	7.0	130,228	Ezra Holdings[3)]	207,000,000	7.0	130,228
Frontline Ltd/Bermuda[3)]	2,028,495		51,970	Frontline Ltd/Bermuda[3)]	2,028,495		51,970
Golar LNG[3)]	3,963,000	5.0	534,837	Golar LNG[3)]	3,963,000	5.0	534,837
Hoegh Lng Holdings[3)]	416,500	1.0	39,255	Hoegh Lng Holdings[3)]	416,500	0.0	39,255
Prosafe[3)]	16,452,500	6.0	345,503	Prosafe[3)]	16,452,500	0.1	345,503
Seadrill[3)]	9,165,506	2.0	280,006	Seadrill[3)]	9,165,506	0.0	280,006
Subsea 7[3)]	1,024,150		64,573	Subsea 7[3)]	1,024,150		64,573
その他の海外企業			289,410	その他の海外企業			325,948
海外企業合計			**1,889,346**	**海外企業合計**			**1,936,959**
投資信託				**投資信託**			
投資信託				投資信託			365
プライベート・エクイティ・ファンド			337,113	プライベート・エクイティ・ファンド			337,113
その他のファンド				その他のファンド			234
投資信託合計			**337,113**	**投資信託合計**			**337,712**
株式、投資信託及びエクイティ証書への投資合計			7,504,225	株式、投資信託及びエクイティ証書への投資合計			8,793,563

1) エクイティ証書は、貯蓄銀行に対する投資である。

2) 持株比率は企業の総株主資本に基づいており、デリバティブ契約は含まれていない。

3) マーケッツ部門において公正価値で計上される株式及びファンドは2015年度末現在で総額6,724百万ノルウェー・クローネであった。マーケッツ部門のエクイティ投資は、主にマーケッツ部門のマーケット・メイキング業務の中でエクイティ・デリバティブのエクスポージャーをヘッジする際の金融商品である。マーケッツ部門のエクイティ関連業務のバリュー・アット・リスクは2015年度末現在で約3.4百万ノルウェー・クローネであった。

注31　譲渡資産又はその他の制約を受ける資産

DNBバンク　エイ・エス・エイ		貸借対照表で引続き認識されている譲渡資産	DNBバンク グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
		保証		
2,809	2,212	ノルウェー輸出金融公社へ譲渡された貸出金	2,212	2,809
		レポ取引		
2,096	5,128	コマーシャル・ペーパー及び債券	5,128	2,096
		有価証券貸付		
1,374	753	株式	753	1,374
6,279	8,094	レポ取引及び有価証券貸付合計	8,094	6,279

DNBバンク　エイ・エス・エイ		資産に伴う負債	DNBバンク グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
		保証		
2,809	2,212	ノルウェー輸出金融公社からの預金	2,212	2,809
		レポ取引		
1,890	3,707	金融機関からの借用金及び預金	3,707	1,890
	661	顧客預金	661	
		有価証券貸付		
1,379	618	金融機関からの借用金及び預金	618	1,379
65	172	顧客預金	172	65
6,142	7,370	負債合計	7,370	6,142

DNBバンク　エイ・エス・エイは、法的契約に従ってノルウェー輸出金融公社に譲渡したものの、当行が保証している貸出金を認識している。契約に基づくと、当行は当該貸出に関し、依然として金利リスク、決済リスク及び信用リスクにさらされている。当該貸出はノルウェー輸出金融公社からの預金として認識している、対応する負債を有している。

制約を受けている資産

ローカルの法定自己資本要件により、当グループが、当グループ内の他の事業体に対して自由に資産を譲渡し又は他の事業体の資産に自由にアクセスしたり、また当グループ内で負債を清算することが制限される可能性がある。

当グループが資産を使用する際に影響を及ぼす制約

- 当グループは当グループの債務を担保する担保資産（担保として差し入れられている有価証券）及び発行済カバード・ボンド（カバープール）を有する。詳細については（注48）「オフバランスシート取引及び偶発事象」を参照のこと。
- 当グループはデリバティブに関し担保を差し入れている。詳細については（注15）「デリバティブ」を参照のこと。

注32　売却又は再担保差入可能な受入有価証券[1)]

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
		リバース・レポ取引		
333,464	310,557	コマーシャル・ペーパー及び債券	310,662	333,739
		有価証券借入		
4,882	4,931	株式	4,931	4,882
338,346	315,488	受入有価証券合計	315,593	338,621
		受入後、売却又は再担保差し入れを実施した有価証券の内訳		
15,418	*9,656*	*コマーシャル・ペーパー及び債券*	*9,656*	*15,418*
3,331	*3,825*	*株式*	*3,825*	*3,331*

1) 売戻条件つきで購入した有価証券は、当該資産の所有に関するリスク及びリターンが通常は移転されていないため、認識されない。かかる取引は主に固定利付債券に関連している。担保として差し入れられた証券を含む受入有価証券は、グループが当該有価証券を売却又は再担保として差し入れる権利を有しているかどうかにかかわらず、オフ・バランスシート扱いされる。受入有価証券の売却後は、グループはただちに貸借対照表の中でその債務を計上することになる。

注33　満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
31,927	19,162	海外債券ポートフォリオ	19,162	31,927
		その他の部門		
31,927	**19,162**	**満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券**	**19,162**	**31,927**

日常的な流動性管理の一手法として、DNBバンクは有価証券のポートフォリオに投資を行っている。当該ポートフォリオは流動性要件に対応するために用いられるほか、様々な国での業務に対する担保提供の基礎としても利用されている。中でも、この有価証券は多数の中央銀行からの短期及び長期の借用金に対する担保の基礎として利用されているほか、規制要件を充足するための流動性バッファーの基礎としても用いられている。2008年７月１日から、海外債券ポートフォリオは、「純損益を通じて公正価値で測定される」カテゴリーから、「満期保有目的投資」カテゴリーへと再分類された。このカテゴリーのポートフォリオは償却原価で計上され、価値の低下を示す客観的な証拠がある場合には評価減が行われる。

IAS第39号に従って、減損の客観的な証拠の有無を特定するためにこのポートフォリオの見直しが行われた。このポートフォリオに関しては減損損失は特定されなかった。

再分類された債券ポートフォリオの測定

2014年１月１日現在、このポートフォリオの公正価値はブローカーによる相場価格を基に決定されている。仮に公正価値が2015年度のポートフォリオの価値決定に使用されていたとすれば、利益は265百万ノルウェー・クローネ減少していたことになる。

再分類による海外債券ポートフォリオへの影響

ポートフォリオを償却原価で測定することにより、2015年12月31日現在の当該ポートフォリオの価値は、従前の評価原則が適用されていたと仮定した場合よりも、0.7十億ノルウェー・クローネ増加している。再分類日の当該ポートフォリオの帳簿価額は88.0十億ノルウェー・クローネであり、2015年12月末現在の帳簿価額は14.7十億ノルウェー・クローネであった。当該ポートフォリオの平均残存期間は5.5年であり、１ベーシスポイントのクレジットスプレッドの変動から生じる価値の変動は、2015年12月末現在で8.3百万ノルウェー・クローネであった。

再分類による利益への影響

	DNBバンク グループ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
償却効果の計上額	95	106
公正価値で評価された場合の純利得	(170)	189
再分類による利益への影響	265	(83)

再分類による貸借対照表への影響

	DNBバンク グループ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
未実現損失計上額	402	497
公正価値で評価された場合の未実現損失	1,113	943
再分類による貸借対照表への影響	711	446

再分類後のポートフォリオの動向

	DNBバンク グループ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
再分類されたポートフォリオ（帳簿価額）	14,686	17,558
再分類されたポートフォリオ（公正価値で評価された場合）	13,975	17,112
再分類による貸借対照表への影響	711	446

海外債券ポートフォリオ

銀行に求められる流動性要件によると、有価証券が流動性資産に分類されるためには即時に売却可能なものでなければならない。2011年度以降に行われた海外債券ポートフォリオへの新規投資は主としてカバード・ボンド及び政府保証債であり、これらの投資は公正価値で計上されている。2015年12月31日現在、海外債券ポートフォリオは146十億ノルウェー・クローネである。かかるポートフォリオの有価証券の54.2%の格付はAAAで、38.2%の格付はAAである。ポートフォリオには合成型証券も、米国のサブプライム債や債務担保証券（CDO）への投資もない。またポルトガル、イタリア、アイルランド、ギリシャ及びスペインへの投資もない。海外債券ポートフォリオの構成は以下のとおりである。

	DNBバンク グループ	
	%	百万ノルウェー・クローネ
	2015年12月31日現在	2015年12月31日現在
資産の種類		
住宅ローン	13.81	20,230
企業向貸出金	0.00	6
政府関連	45.86	67,178
カバード・ボンド	40.33	59,078
海外債券ポートフォリオ合計（額面金額）	100.00	146,491
未収利息（償却効果と公正価値の調整を含む）		(404)
海外債券ポートフォリオ合計		146,088
満期保有目的の海外債券ポートフォリオ合計		19,162
うち、再分類されたポートフォリオ		14,686

海外債券ポートフォリオの満期までの平均期間は2.9年で、信用スプレッドを１ベーシスポイント調整した場合の価値の変動は2015年12月末時点で32百万ノルウェー・クローネであった。

注34　投資不動産

損益計算書に含まれる金額

	DNBバンク グループ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
投資不動産からの賃貸料	233	216
賃貸料収入の発生する投資不動産に関連する直接費（修繕費及び維持費を含む）	(87)	(78)
賃貸料収入の発生しない投資不動産に関連する直接費（修繕費及び維持費を含む）	(51)	(37)
合計	95	101

投資不動産は主として取得した企業に関連しており、公正価値ヒエラルキーの中ではレベル３に分類されている。

投資不動産の価値の変動

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	投資不動産
2013年12月31日現在の帳簿価額	**4,615**
追加（新しい不動産の取得）	397
追加（資産化された投資）	37
追加（被買収企業）	304
純利得	45
処分	(896)
為替レートの変動	242
2014年12月31日現在の帳簿価額	**4,743**
追加（新しい不動産の取得）	152
追加（資産化された投資）	58
追加（被買収企業）	454
純利得	269
処分	(3,430)
為替レートの変動	87
2015年12月31日現在の帳簿価額	**2,333**

2015年12月31日時点では資産化されていない投資不動産の取得又は建設に関連して約定したコミットメント	0

注35　関連会社への投資

	DNBバンク グループ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度
１月１日現在の帳簿価額	3,275	3,096
税引後利益の持分	(288)	(1,493)
ノルウェー輸出金融公社に対する所有持分の減損[1)]	199	1,719
その他の包括利益の持分[2)]	889	
追加／処分	16	(34)
配当		(14)
12月31日現在の帳簿価額[3)]	**4,091**	**3,275**

	DNBバンク グループ						
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在の資産[4)]	2015年12月31日現在の負債[4)]	2015年度の収益[4)]	2015年度の利益[4)]	2015年12月31日現在の持株比率(%)	2015年12月31日現在の帳簿価額	2014年12月31日現在の帳簿価額
ノルウェー輸出金融公社[1)]	65,142	57,732	(406)	(376)	40	3,139	3,200
Visa Norge[2)]						889	
その他の関連会社						64	75
合計						**4,091**	**3,275**

	DNBバンク　エイ・エス・エイ		
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度の配当金	2015年12月31日現在の持株比率(%)	2015年12月31日現在の帳簿価額	2014年12月31日現在の帳簿価額
ノルウェー輸出金融公社[1)]		40	919	919
その他の関連会社			56	56
合計			**975**	**975**

1) ムーディーズとスタンダード・アンド・プアーズが2011年度第4四半期にノルウェー輸出金融公社の信用格付を引き下げた結果、同社の長期性調達資金には多額の未実現利益が発生した。DNBの持分に対するかかる未実現利益の影響は、税引後で11.8十億ノルウェー・クローネとなった。年度末決算にあたって同社の公正価値を見直しした後、DNBは2011年第4四半期に、同社の自社負債の未実現利益に相当する金額の評価減を行った。2012年度、2013年度、2014年度及び2015年度に市場の期待収益率が低下し、ノルウェー輸出金融公社は自社負債に対する多額の未実現損失を計上した。2011年度第4四半期にDNBによって計上された減損損失はこれらの未実現損失に対応した金額で戻入が行われた。合計199百万ノルウェー・クローネの戻入が2015年度に行われた。残りの減損損失は2015年度末で144百万ノルウェー・クローネであった。2011年度の減損損失及びその後の戻入は、同社からの利益のうちのDNBの持分と合わせ、「持分法による投資からの利益」の項目に計上されている。

2) 2015年11月に、Visa Inc.はVisa Europe Ltd.の全株式を取得する契約を発表した。DNBは、持分法で計上されているVisa Norwayへの加入を通じて、Visa Europeの間接的な所有持分を有している。この契約の結果として、当グループの投資の見積価値は0.9十億ノルウェー・クローネ増加し、その他の包括利益に計上されている。複数国の当局の認可次第であるが、実現日に、実現利益は損益計算書の「持分法による投資からの利益」の項目に計上されることになる。

3) 当行の貸借対照表に反映されない繰延税金ポジション及び価値調整を含む。

4) 関連会社の財務諸表上の価値。暫定の未監査の財務書類を使用している。

注36　2015年12月31日現在の子会社への投資

DNBバンク　エイ・エス・エイ

金額：千ノルウェー・クローネ *ノルウェー・クローネ建ての数値* *（別途表示のある場合は除く）*		株主資本	株式数		額面金額	持株比率（%）	帳簿価額
海外子会社							
DNB Invest Denmark	デンマーク・クローネ	12,765,228	12,765,228,468	デンマーク・クローネ	12,765,228	100.00	10,684,100
DNB Bankas	ユーロ	190,205	5,710,134	ユーロ	190,205	100.00	3,550,993
DNB Banka	ユーロ	191,178	191,178,337	ユーロ	191,178	100.00	2,255,764
DNB Pank	ユーロ	9,376	937,643	ユーロ	9,376	100.00	965,233
DNB Bank Polska	ポーランド・ズロチ	1,257,200	1,257,200,000	ポーランド・ズロチ	1,257,200	100.00	1,773,565
DNB Asia[1)]	米ドル	1,500,000	150,000,000	米ドル	1,500,000	100.00	13,196,625
DNB Asia[1)]	シンガポール・ドル	20,000	20,000,000	シンガポール・ドル	20,000	100.00	100,769
DNB Brasil	ブラジル・レアル	600	600,000	ブラジル・レアル	600	100.00	2,727
DNB Capital[2)]	米ドル			米ドル		100.00	21,114,600
DNBルクセンブルグ	ユーロ	70,000	70,000	ユーロ	70,000	100.00	672,200
DNBマーケッツ インク	米ドル	1	1,000	米ドル	1	100.00	3,224
DNBスウェーデン	スウェーデン・クローナ	100,000	100,000,000	スウェーデン・クローナ	100,000	100.00	15,163,666
DNB (UK) Limited	英ポンド	200	200,000	英ポンド	200	100.00	15,041,659
国内子会社							
Aksje- og Eiendomsinvest		100	100,000		100	100.00	38,721
Bryggetorget Holding		3,250	2,500		3,250	100.00	107,076
Digital Wallet		297	2,971		297	100.00	7,500
DNBボーリ・クレジット		3,497,000	34,970,000		3,497,000	100.00	29,784,000
DNBアイェンダム		10,003	100,033		10,003	100.00	158,021
DNB Eiendomsutvikling		91,000	91,000,000		91,000	100.00	238,731
DNB Gjenstandsadministrasjon		3,000	30		3,000	100.00	3,000
DNB Invest Holding		100,000	200,000		100,000	100.00	229,480
DNB Meglerservice		1,200	12		1,200	100.00	10,221
DNBナーリングス・クレジット		550,000	550,000		550,000	100.00	5,240,942
DNBナーリングス・メグリン		1,000	10,000		1,000	100.00	24,000
DNB Polish Properties		1,200	1,200		1,200	100.00	65,113
E6 Logistikk		30	3,000		30	100.00	22,398
Godfjellet		8,030	8,030		8,030	100.00	8,447
Kongsberg Industrieiendom		100	1,000		100	100.00	10,000
子会社への投資合計							**120,472,774**

1）DNB Asia Ltdの株式の一部はシンガポール・ドル建てであり（現地で課される要件による）、他は米ドル建てである。
2）DNB Capital LLCは有限責任会社であり、その払込資本金の額は2.4十億米ドルである。

子会社投資のヘッジ

DNBバンク　エイ・エス・エイでは、外貨建子会社投資に伴う為替リスクについて公正価値ヘッジを行っている。使用しているヘッジ手段は主に、発行済負債証券である。為替レートの変動に伴う投資及びヘッジ手段の価値の変動は損益計算書に計上される。グループレベルでは、DNB バンクの子会社への純投資は、その投資額に相当する金額のキャッシュフロー・ヘッジを通じてヘッジされている。投資及びヘッジ手段の価値の変動は包括利益計算書に計上される。ヘッジ関係の非有効性は損益計算書で認識される。2015年度を通じたノルウェー・クローネの低下により、子会社投資の価値は税効果調整後8,497百万ノルウェー・クローネ増加したが、対応するヘッジ契約の価値の低下により相殺された。2014年度には、子会社投資の価値は6,200百万ノルウェー・クローネ増加している。

注37　無形資産

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
2,963	3,012	のれん	3,100	3,047
635	510	資産化されたシステム開発費	876	1,025
197	152	その他の無形資産	199	243
3,794	**3,675**	**無形資産合計**	**4,176**	**4,315**

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	のれん	資産化された システム開発費	その他の 無形資産	合計
2014年１月１日現在の原価	3,615	1,981	837	6,432
追加		182		182
他社の買収／設立による追加				
原価の増減				
処分		(6)		(6)
為替レートの変動	7		1	8
2014年12月31日現在の原価	3,622	2,157	838	6,617
2014年1月1日現在の減価償却及び減損合計	(657)	(1,271)	(591)	(2,519)
減価償却費		(256)	(50)	(306)
減損		4		4
処分		1		1
為替レートの変動	(2)	(1)		(2)
2014年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(659)	(1,522)	(641)	(2,822)
2014年12月31日現在の帳簿価額	**2,963**	**635**	**197**	**3,794**

2015年１月１日現在の原価	3,622	2,157	838	6,617
追加		137	0	138
他社の買収／設立による追加				
原価の増減				
処分	(1)	(810)	(22)	(833)
為替レートの変動	57	1	9	67
2015年12月31日現在の原価	3,678	1,486	825	5,988
2015年１月１日現在の減価償却及び減損合計	(659)	(1,522)	(641)	(2,822)
減価償却費		(197)	(48)	(245)
減損		(66)		(66)
処分	1	811	22	833
為替レートの変動	(7)	(1)	(5)	(14)
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(665)	(975)	(672)	(2,313)
2015年12月31日現在の帳簿価額	**3,012**	**510**	**152**	**3,675**

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	のれん	資産化されたシステム開発費	その他の無形資産	合計
2014年１月１日現在の原価	4,596	3,710	1,081	9,387
追加		198	47	245
他社の買収／設立による追加				
原価の増減				
処分		(19)	(27)	(46)
為替レートの変動	12	57	10	79
2014年12月31日現在の原価	4,607	3,947	1,110	9,665
2014年1月1日現在の減価償却及び減損合計	(1,555)	(2,544)	(824)	(4,924)
減価償却費		(354)	(63)	(416)
減損	(5)	3		(2)
処分		4	23	26
為替レートの変動		(31)	(3)	(34)
2014年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(1,560)	(2,922)	(867)	(5,349)
2014年12月31日現在の帳簿価額	**3,047**	**1,025**	**243**	**4,316**
2015年１月１日現在の原価	4,607	3,947	1,110	9,665
追加	12	142	51	204
他社の買収／設立による追加				
原価の増減				
処分	(11)	(811)	(119)	(941)
為替レートの変動	57	118	(64)	110
2015年12月31日現在の原価	4,665	3,395	978	9,039
2015年１月１日現在の減価償却及び減損合計	(1,560)	(2,922)	(867)	(5,349)
減価償却費		(269)	(83)	(352)
減損		(66)		(66)
処分	2	811	73	887
為替レートの変動	(7)	(73)	99	18
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(1,566)	(2,519)	(778)	(4,863)
2015年12月31日現在の帳簿価額	**3,100**	**876**	**199**	**4,176**

のれん

無リスク金利と市場リスク・プレミアムは４%に設定されており、長期成長要因はすべての資金生成単位に対し2.5%で設定されている。各資金生成単位については個別にベータ値が見積もられている。期待収益率は税引前である。のれんの回収可能価額の算定に関する方法と仮定の詳細に関しては、（注１）「会計方針」を参照のこと。

DNBバンク　エイ・エス・エイ　2015年12月31日現在の部門毎ののれん　　**DNBバンク グループ**

計上額（百万ノルウェー・クローネ）	期待収益率（%）	成長要因（%）		成長要因（%）	期待収益率（%）	計上額（百万ノルウェー・クローネ）
982	11.8	2.5	個人顧客	2.5	11.8	982
483	11.8	2.5	中小企業	2.5	11.8	483
811	11.8	2.5	DNB Finans-自動車ローン事業	2.5	11.8	811
737	11.8	2.5	その他	2.5	11.8	824
3,012			**のれん合計**			**3,100**

DNBバンク　エイ・エス・エイ　2014年12月31日現在の部門毎ののれん　　DNBバンク グループ

計上額（百万ノルウェー・クローネ）	期待収益率（%）	成長要因（%）		成長要因（%）	期待収益率（%）	計上額（百万ノルウェー・クローネ）
982	12.3	2.5	個人顧客	2.5	12.3	982
483	12.3	2.5	中小企業	2.5	12.3	483
824	12.3	2.5	DNB Finans-自動車ローン事業	2.5	12.3	824
674	12.3	2.5	その他	2.5	12.3	758
2,963			**のれん合計**			**3,047**

個人顧客部門－親銀行

個人顧客部門は、ノルウェーの地域ネットワークの個人顧客向け銀行事業（貸出及び預金）を対象としており、主として DnB と Gjensidige NORの合併に加え Nordlandsbankenの買収から生じたのれんを計上している。それに加え、Gjensidige NORの過去に買収した事務所からの一部ののれんも含んでいる。計画期間中のキャッシュ・フローに関する主要な仮定に使われているのは貸出金のスプレッド、残高、及び減損の動向である。

中小企業部門－親銀行

中小企業部門は、ノルウェーの地域ネットワークの中小企業向け銀行事業（貸出及び預金）を対象としており、主として DnB とGjensidige NOR から生じたのれんを計上している。計画期間中のキャッシュ・フローに関する主要な仮定に使われているのは貸出金のスプレッド、残高、及び減損の動向である。

DNB Finans－自動車ローン事業

同部門はDNBのノルウェーとスウェーデンの自動車ローン事業を行っており、のれんは2008年からのDNBによるSkandiaBankenの自動車ローン事業の取得により生じたものである。計画期間中のキャッシュ・フローに関する重要な仮定は自動車販売台数、重要な自動車販売業者との取引関係維持に関するDNB Finansの能力、並びに長期的なスプレッドの動向及び貸出金の減損の水準である。

注38　固定資産

DNBバンク　エイ・エス・エイ　　DNBバンク グループ

2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
324	167	当行建物及びその他の不動産	588	850
1,394	1,578	機械、装置及び車両	1,680	1,558
5,568	5,721	オペレーティング・リースに供している固定資産	5,721	5,569
104	13	その他の固定資産	71	152
7,390	**7,480**	**固定資産合計**	**8,059**	**8,128**

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	当行建物及びその他の不動産	機械、装置及び車両	オペレーティング・リースに供している固定資産	合計[1)]
2014年12月31日現在の原価	411	3,265	8,258	11,933
再分類された固定資産	(97)	97		
追加	2	450	2,221	2,673
他社の合併／買収／設立による追加				
再評価	(42)	(195)		(238)
固定資産（売却目的保有に再分類）				
処分	(82)	(540)	(2,147)	(2,769)
為替レートの変動	9	25	316	350
2015年12月31日現在の原価	200	3,101	8,648	11,950
2014年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(87)	(1,870)	(2,690)	(4,647)
他社の合併／買収／設立による追加				
処分	66	723	1,117	1,905
減価償却費[2)]	(11)	(363)	(1,230)	(1,604)
減損				
為替レートの変動	(1)	(12)	(124)	(138)
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(33)	(1,523)	(2,927)	(4,484)
2015年12月31日現在の帳簿価額	167	1,578	5,721	7,466

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	当行建物及びその他の不動産	機械、装置及び車両	オペレーティング・リースに供している固定資産	合計[1)]
2014年12月31日現在の原価	1,084	3,725	8,263	13,072
再分類された固定資産	(111)	111		
追加	11	470	2,222	2,702
他社の合併／買収／設立による追加				
再評価	(42)	(209)		(251)
固定資産（売却目的保有に再分類）				
処分	(190)	(647)	(2,153)	(2,989)
為替レートの変動	47	50	317	414
2015年12月31日現在の原価	798	3,501	8,648	12,947
2014年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(234)	(2,167)	(2,694)	(5,095)
他社の合併／買収／設立による追加				
処分	92	789	1,121	2,001
減価償却費[2)]	(29)	(405)	(1,231)	(1,665)
減損	(26)	(7)		(33)
為替レートの変動	(13)	(31)	(124)	(168)
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(210)	(1,821)	(2,928)	(4,959)
2015年12月31日現在の帳簿価額	588	1,680	5,721	7,988

1) 合計は「その他の固定資産」を含まない。

2) 残存価値控除後の原価に基づき、その他の資産は以下の限度内の予想耐用年数にわたって定額法が適用される。

機械設備	*10年*
機械	*３～10年*
備品及び付属品	*５～10年*
コンピュータ機器	*３～５年*
運搬具	*５～７年*

DNBバンク　エイ・エス・エイは不動産を含む固定資産に関する借入／資金調達に担保を差し入れていない。

注39　リース

DNBバンク　エイ・エス・エイ		ファイナンス・リース（貸手）	DNBバンク グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
		リース総投資額		
9,726	11,098	１年以内に期限が到来するもの	12,292	11,051
25,063	28,599	１～５年以内に期限が到来するもの	32,324	28,230
2,619	2,988	５年を超えて期限が到来するもの	3,042	2,673
37,408	42,685	リース総投資額合計	47,659	41,955
		最低リース料支払額の現在価値		
9,425	10,754	１年以内に期限が到来するもの	11,789	10,436
20,176	23,022	１～５年以内に期限が到来するもの	26,595	23,145
1,736	1,981	５年を超えて期限が到来するもの	2,027	1,787
31,337	35,757	リース料支払額の現在価値合計	40,410	35,368
6,071	6,928	未収金融収入	7,249	6,586
52	128	貸手に生じる無保証残存価額	128	52
1,514	1,728	貸倒損失引当金累計額	1,742	1,613
41	46	期中に収益として認識された変動リース料支払額	119	95

DNBバンク　エイ・エス・エイ		オペレーティング・リース（貸手）	DNBバンク グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
		中途解約不能リースの将来最低リース料支払額		
355	354	１年以内に期限が到来するもの	354	355
1,734	1,769	１～５年以内に期限が到来するもの	1,779	1,722
35	35	５年を超えて期限が到来するもの	35	34
2,124	2,157	中途解約不能リースの将来最低リース料支払額合計	2,167	2,110

DNBバンク　エイ・エス・エイ		オペレーティング・リース（借手）	DNBバンク グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
		中途解約不能リースの将来最低リース料支払額		
61	22	１年以内に期限が到来するもの	36	88
837	593	１～５年以内に期限が到来するもの	670	853
6,328	6,125	５年を超えて期限が到来するもの	6,142	6,328
7,226	6,740	中途解約不能リースの将来最低リース料支払額合計	6,848	7,269
473	399	中途解約不能サブリースの受取見込みの将来最低サブリース料支払額	225	303

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
		期中に費用として認識されたリース料支払額合計		
936	895	最低リース料支払額	843	898
		変動リース料支払額		
936	895	期中に費用として認識されたリース料支払額合計	843	898
33	(0)	リースの減損額	(0)	33

ファイナンス・リース（貸手）

DNBバンク グループのファイナンス・リース事業は、DNBバンク　エイ・エス・エイ及びバルト諸国・ポーランドにおけるDNBの事業が該当する。

オペレーティング・リース（貸手）

DNBバンク　エイ・エス・エイ及びバルト諸国・ポーランドのDNBの事業におけるオペレーティング・リース事業である。

オペレーティング・リース（借手）

主なものは、DNBバンク　エイ・エス・エイがリースした土地等である。

注40　その他資産

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
430	526	未払費用及び前受収益	688	570
1,128	1,404	信用状及びその他の決済サービスに関する残高	1,480	1,156
3,994	993	未決済の売買証書	1,148	4,298
11,029	20,812	その他の残高[1)]	5,292	6,276
16,581	**23,735**	**その他の資産合計[2)]**	**8,608**	**12,301**

1）DNBバンク　エイ・エス・エイは2015年12月31日現在、総額16,224百万ノルウェー・クローネのグループ配当残高がある。
2）その他の資産は通常短期のものである。

注41　主要顧客グループ別の顧客預金 1)

DNBバンク　エイ・エス・エイ			DNBバンク　グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
318,417	334,154	個人	353,110	343,765
61,773	64,816	海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	65,040	61,909
40,273	44,001	不動産	44,782	41,309
60,351	54,160	製造	57,701	63,669
146,660	120,811	サービス	126,262	154,339
34,369	30,011	貿易	32,743	37,190
31,594	23,749	石油・ガス	23,777	31,648
43,773	45,328	運輸及び通信	50,144	45,873
18,574	19,546	建設	21,023	20,143
27,109	20,049	電力及び水道	21,787	29,096
4,427	5,274	水産業	5,301	4,446
2,419	2,266	ホテル及びレストラン	2,395	2,573
3,284	2,416	農林業	4,317	4,735
44,687	48,908	中央及び地方政府	52,253	45,693
64,773	80,600	金融	96,210	64,074
902,484	896,087	顧客預金合計（額面金額）	956,846	950,461
550	400	調整	476	587
903,033	**896,488**	**顧客預金**	**957,322**	**951,049**

1）主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

注42　発行済負債証券

	DNBバンク　エイ・エス・エイ	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
発行済コマーシャル・ペーパー（額面金額）	159,988	206,715
債券（額面金額）[1)]	167,978	146,308
調整	12,133	13,182
発行済負債証券合計	**340,099**	**366,205**

発行済負債証券の変動

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在の貸借対照表残高	2015年度中の発行額	2015年度中の満期到来額／償還額	2015年度中の為替レートの変動	2015年度中のその他の調整	2014年12月31日現在の残高
発行済コマーシャル・ペーパー（額面金額）	159,988	3,057,350	3,092,740	(11,338)		206,715
債券（額面金額）1)	167,978	14,815	9,040	15,896		146,308
調整	12,133				(1,049)	13,182
発行済負債証券合計	**340,099**	**3,072,165**	**3,101,780**	**4,558**	**(1,049)**	**366,205**

2015年12月31日現在の償却原価で計上された発行済負債証券の満期構成 1)2)

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	ノルウェー・クローネ建て	外貨建て	合計
2016年		12,091	12,091
2017年		31,377	31,377
2018年		16,344	16,344
2019年		13,529	13,529
2020年		32,739	32,739
2021年		44,508	44,508
2022年及びそれ以降			
償却原価で計上された債券合計（額面金額）		150,587	150,587

2015年12月31日現在の公正価値で計上された発行済負債証券の満期構成 1)

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	ノルウェー・クローネ建て	外貨建て	合計
2016年	133	159,854	159,988
発行済コマーシャル・ペーパー合計（額面金額）	133	159,854	159,988
2016年	2,000		2,000
2017年	3,155		3,155
2018年	3,500		3,500
2019年	2,250		2,250
2020年	2,001		2,001
2021年	4,330		4,330
2022年及びそれ以降	154		154
債券合計（額面金額）	17,391		17,391
公正価値で計上された発行済負債証券合計（額面金額）	17,524	159,854	177,378
調整	826	11,307	12,133
発行済負債証券	18,350	321,749	340,099

1) 自己の債券を差し引く。
2) ヘッジ対象項目を含む。

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
発行済コマーシャル・ペーパー（額面金額）	159,988	206,715
債券（額面金額）1)	608,004	562,483
調整	38,819	44,711
発行済負債証券合計	**806,810**	**813,909**

発行済負債証券の変動

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在の貸借対照表残高	2015年度中の発行額	2015年度中の満期到来額／償還額	2015年度中の為替レートの変動	2015年度中のその他の調整	2014年12月31日現在の残高
発行済コマーシャル・ペーパー（額面金額）	159,988	3,057,350	3,092,740	(11,338)		206,715
債券（額面金額）1)	608,004	85,100	53,118	13,539		562,483
調整	38,819				(5,892)	44,711
発行済負債証券合計	**806,810**	**3,142,451**	**3,145,858**	**2,201**	**(5,892)**	**813,909**

2015年12月31日現在の償却原価で計上された発行済負債証券の満期構成 1)2)

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	ノルウェー・クローネ建て	外貨建て	合計
2016年		79,537	79,537
2017年		83,503	83,503
2018年		76,411	76,411
2019年		55,320	55,320
2020年		69,404	69,404
2021年		78,387	78,387
2022年及びそれ以降		79,686	79,686
償却原価で計上された債券合計（額面金額）		522,247	522,247

2015年12月31日現在の公正価値で計上された発行済負債証券の満期構成 1)

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	ノルウェー・クローネ建て	外貨建て	合計
2016年	133	159,854	159,988
発行済コマーシャル・ペーパー合計（額面金額）	133	159,854	159,988
2016年	6,947		6,947
2017年	13,799		13,799
2018年	16,794		16,794
2019年	18,745		18,745
2020年	10,043		10,043
2021年	14,283		14,283
2022年及びそれ以降	5,146		5,146
債券合計（額面金額）	85,757		85,757
公正価値で計上された発行済負債証券合計（額面金額）	85,890	159,854	245,744
調整	2,924	35,894	38,819
発行済負債証券	88,814	717,996	806,810

1) 自己の債券を差し引く。DNB ボーリ・クレジットのカバー・ボンド残高の額面金額は2015年12月31日現在で総額446.4十億ノルウェー・クローネに上る。カバード・プールの市場価値は561.5十億ノルウェー・クローネである。

2) ヘッジ対象項目を含む。

前へ　次へ

注43　劣後債及び永久劣後証券

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
期限付劣後債（額面金額）	19,838	19,322
永久劣後債（額面金額）	5,702	4,792
永久劣後証券（額面金額）	4,561	4,028
調整	853	1,176
劣後債及び永久劣後証券合計	**30,953**	**29,319**

劣後債及び永久劣後証券の変動

DNBバンク　エイ・エス・エイ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在の貸借対照表残高	2015年度中の発行額	2015年度中の満期到来額／償還額	2015年度中の為替レートの変動	2015年度中のその他の調整	2014年12月31日現在の貸借対照表残高
期限付劣後債（額面金額）	19,838	3,805	4,604	1,314		19,322
永久劣後債（額面金額）	5,702			909		4,792
永久劣後証券（額面金額）	4,561			533		4,028
調整	853				(323)	1,176
劣後債及び永久劣後証券合計	**30,954**	**3,805**	**4,604**	**2,756**	**(323)**	**29,319**

DNBバンク　エイ・エス・エイ

資金調達年	外貨での帳簿価額		金利	満期	繰上償還日	ノルウェー・クローネでの帳簿価額
期限付劣後債						
2012年	ユーロ	750	年4.75%	2022年	2017年	7,202
2013年	ノルウェー・クローネ	1,250	3ヶ月NIBORプラス1.70%	2023年	2018年	1,250
2013年	ユーロ	750	年3.00%	2023年	2018年	7,202
2015年	スウェーデン・クローナ	1,000	年1.97%	2025年	2020年	1,046
2015年	スウェーデン・クローナ	3,000	3ヶ月STIBORプラス1.40%	2025年	2020年	3,137
合計（額面金額）						19,838
永久劣後債						
1985年	米ドル	215	3ヶ月LIBORプラス0.25%			1,760
1986年	米ドル	200	6ヶ月LIBORプラス0.13%			1,892
1986年	米ドル	150	6ヶ月LIBORプラス0.15%			1,320
1999年	日本円	10,000	年4.51%		2029年	731
合計（額面金額）						5,702
永久劣後証券						
2007年	英ポンド	350	年6.01%		2017年	4,561
合計（額面金額）						4,561

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
期限付劣後債（額面金額）	19,838	19,322
永久劣後債（額面金額）	5,702	4,792
永久劣後証券（額面金額）	4,561	4,028
調整	853	1,176
劣後債及び永久劣後証券合計	**30,953**	**29,319**

劣後債及び永久劣後証券の変動

DNBバンク グループ

（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在の貸借対照表残高	2015年度中の発行額	2015年度中の満期到来額／償還額	2015年度中の為替レートの変動	2015年度中のその他の調整	2014年12月31日現在の貸借対照表残高
期限付劣後債（額面金額）	19,838	3,805	4,604	1,314		19,322
永久劣後債（額面金額）	5,702			909		4,792
永久劣後証券（額面金額）	4,561			533		4,028
調整	853				(323)	1,176
劣後債及び永久劣後証券合計	**30,953**	**3,805**	**4,604**	**2,756**	**(323)**	**29,319**

DNBバンク グループ

資金調達年	外貨での帳簿価額		金利	満期	繰上償還日	ノルウェー・クローネでの帳簿価額
期限付劣後債						
2012年	ユーロ	750	年4.75%	2022年	2017年	7,202
2013年	ノルウェー・クローネ	1,250	3ヶ月NIBORプラス1.70%	2023年	2018年	1,250
2013年	ユーロ	750	年3.00%	2023年	2018年	7,202
2015年	スウェーデン・クローナ	1,000	年1.97%	2025年	2020年	1,046
2015年	スウェーデン・クローナ	3,000	3ヶ月STIBORプラス1.40%	2025年	2020年	3,137
合計（額面金額）						19,838
永久劣後債						
1985年	米ドル	215	3ヶ月LIBORプラス0.25%			1,760
1986年	米ドル	200	6ヶ月LIBORプラス0.13%			1,892
1986年	米ドル	150	6ヶ月LIBORプラス0.15%			1,320
1999年	日本円	10,000	年4.51%		2029年	731
合計（額面金額）						5,702
永久劣後証券						
2007年	英ポンド	350	年6.01%		2017年	4,561
合計（額面金額）						4,561

注44　その他負債

DNBバンク　エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
1,002	805	短期資金調達	805	1,002
50	5,359	ショートポジション取引	5,359	50
3,889	3,471	未払費用及び前受収益	3,955	4,247
1,230	1,599	信用状、小切手及びその他の決済業務	1,666	1,230
3,311	3,264	未決済の契約証書	3,288	3,311
9,730	22,864	グループ配当／配当	(0)	0
450	735	未払金	932	522
217	246	一般従業員向けボーナス	246	217
1,225	1,095	その他の負債	2,156	2,262
21,104	**39,438**	**その他負債合計[1)]**	**18,409**	**12,840**

1）その他負債は通常、短期のものである。

注45　資本

資本金

DNBバンク　エイ・エス・エイは、オスロ証券取引所(Oslo Børs) に上場しているノルウェーの公開有限責任会社であるDNBエイ・エス・エイの完全子会社である。2015年12月31日および2014年12月31日時点のDNBバンク　エイ・エス・エイの資本金は183,143,110株に分割された18,314,311,000ノルウェー・クローネであり、一株当たりの額面は100ノルウェー・クローネであった。

その他Tier１資本

2015年第１四半期にDNBバンク　エイ・エス・エイは、２種類のその他Tier１資本調達手段を発行した。この資本調達手段の額面金額はそれぞれ2,150百万ノルウェー・クローネと750百万米ドル（5,903百万ノルウェー・クローネ）である。この資本調達手段の償還期限は定められていないものの、当行は発行後初めて５年を経過する日から特定の日に元本を返済することが可能になっている。支払金利はそれぞれ３ヶ月ものNIBORプラス3.25パーセントの変動金利と5.75パーセントの固定金利である。ノルウェー・クローネ建ての発行については四半期払であり、米ドル建ての発行については年払となっている。2015年の累積金利は374百万ノルウェー・クローネであり、うち75百万ノルウェー・クローネが2015年に支払われた。詳細については、（注１）「会計方針」を参照のこと。

未実現利益積立額

DNBバンク　エイ・エス・エイの利益剰余金の配当制限額（未実現利益積立額）は、2015年12月31日現在で合計1,036百万ノルウェー・クローネ、2014年12月31日現在では1,523ノルウェー・クローネであった。

注46　報酬等

ノルウェー公開有限責任会社法の第6-16a節に従い、取締役会は以下の報酬基準書を投票の資料として年次株主総会に提出する。

DNBの報酬制度に関する情報

2010年12月１日にノルウェー財務省が公表した金融機関等の報酬制度に関する規則及びその後の改訂に従って、企業は報酬決定に関する主な方針、変動報酬の規定に関する基準及び、経営幹部に対する報酬に関する量的情報を公表することが求められる。本注記の情報は、以下に記載されている給与の規定及び経営幹部に対して支払われる他の報酬に関する取締役会の声明書を含めて、報酬に関する規則で規定されている情報を表示するものである。

DNBグループの報酬に関するグループ・ガイドラインは、DNBグループの正社員全員に対し、その報酬全体に適用され、金銭的報酬（固定給、短期及び長期のインセンティブ報酬）、従業員給付関係（年金、従業員の賠償責任保険及び他の従業員給付）、従業員のキャリア形成支援策（コース及び研修育成プログラム、キャリア・プログアム及び他の非金銭的報酬）などから成る。

ガイドラインによれば、報酬額は、当該従業員が属する部門の業績及び、企業価値形成に対する個々人の貢献度だけでなく、グループの業績に関する全体的な評価に基づいている。報酬全体はグループを無用なリスクにさらすことがないように構成されていなければならない。報酬は競争力があるものであることが必要であるが、グループにとって費用効率が良いものであることが求められている。

さらに、金銭的報酬には、固定報酬部分と変動報酬部分が適宜含まれている。固定給は各ポジションに割り当てられた責任と要件の実行、及びその複雑さに対する報酬である。一方で変動報酬は優れた業績と望ましい行動の遂行を奨励するものでなければならない。

変動報酬に対するグループ・ガイドライン

金融機関、投資企業及び投資信託運用会社における報酬制度についてのFinanstilsynetの報酬に関する規制及びサーキュラーを遵守するために、DNBは、2011年度に変動報酬に関する新しいグループ・ガイドラインを別個に設定した。これには経営幹部、企業のリスク・エクスポージャーに対して重大な責任を有する従業員（リスク・テイカー）及び独立した統制部門の責任者である従業員に対する変動報酬についての特別ガイドラインが盛り込まれている。

変動報酬に関するDNBのガイドラインの目的は、行動に対する見返りを与え、長期的な企業価値の創出を可能にする企業風土を整備することにある。この変動報酬に関するガイドラインは取締役会の報酬委員会により承認されている。

変動報酬は、当グループのビジョン、価値観、倫理規定及びリーダーシップ原則の遵守状況に加え、当グループ、部門及び個人に対して定められた目標領域の中での成果に対する全体的な評価に基づき決定される。変動報酬は、当グループに不要なリスクをもたらさない形での成果給でなければならない。また、変動報酬は、過剰なリスクテイキングを防ぎ、DNBの健全かつ実効的なリスク管理を後押しするものでなければならない。経営幹部に対する変動給（賞与）は固定給の50%を超えてはならないものとする。

DNBの変動報酬制度は全世界で適用されているものの、ノルウェー国外の支店及び子会社は現地の法規制やガイドラインを遵守することが求められている。ノルウェーの規則が金融機関の報酬に関する海外の現地法や規則と一致していない場合には、法的な問題に直面する可能性がある。このような場合には、当グループは、当グループの業務がノルウェー及び現地の規制の両方を確実に遵守できるよう、関連当局及び海外の専門家から助言を得る。

経営幹部の給与及びその他の報酬の規定に関する取締役会声明書

グループ最高責任者及びグループ経営陣のその他のメンバーの報酬を決定するDNBのガイドラインは、当グループの目標達成に貢献する一方で、常に、主な戦略及び価値観を裏付ける内容でなければならない。報酬は、業績及び利益の方向性に沿った望ましい企業文化を構築する行動を起こさせるものでなければならない。前年度の声明書と比較して、変動報酬規定の原則に関する変更は行われなかった。

意思決定プロセス

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、取締役会長、副会長及び取締役１名の計３名から構成される報酬委員会を設立した。

報酬委員会は、取締役会向けに議論が必要な資料を準備し、主に以下の責任を有する。

- グループ最高責任者に支払われる報酬総額を毎年評価し、提言を行う。
- グループ最高責任者への目標の提言を毎年まとめる。
- グループ最高責任者の提案に基づき、グループ監査担当EVPに支払われる報酬額及びその他の主な手当を決定する。
- グループ経営陣のメンバー及び、（該当者がいる場合は）グループ最高責任者の直属の部下の報酬額及びその他の主な手当について、グループ最高責任者に助言を行う。
- 取締役会と報酬委員会の双方又はそのいずれかが決定したその他の事項を検討する。
- グループの評判に大きなリスクをもたらすと考えられるその他の人事関連の問題を検討する。

A. 次会計年度のガイドライン

グループ最高責任者の報酬

グループ最高責任者の報酬総額は、固定給（主な要素）、現物給付、変動給、年金及び保険制度から構成される。報酬総額は全体評価に基づいて決定され、報酬の変動部分は、主に、自己資本利益率、普通株式等Tier１資本比率及び収益に対する費用の比率に関するグループの財務目標に基づいて決定される。財務目標に加え、グループの顧客満足度、自社の評判及び、グループのコーポレートカルチャーに関する主要業績評価指標が考慮されるほか、全体評価には、当グループのビジョン、価値観、倫理規定及びリーダーシップ原則の遵守状況が反映される。

固定給は年次評価が行われ、労働市場全般及び特に金融業界の給与水準並びに類似する役職の報酬水準に基づいて決定される。

グループ最高責任者の変動給は、定められている目標分野での成果に対する全体評価に基づき決定される。変動給は固定給の50%を超えてはならないものとする。グループ最高責任者には、既に記載した変動報酬以外の成果給は支払われないものとする。

変動報酬に加え、グループ最高責任者には、社用車、新聞／雑誌及び電話／その他の通信費といった現物給付が認められる。現物給付は、グループ最高責任者の職務に関連しているか、市場の慣行に即したものでなければならず、グループ最高責任者の固定給と比較して多額にのぼってはならないものとする。

取締役会は、退職年齢が60歳であり、固定給の70%に相当する年金を支給するという内容の、グループ最高責任者と締結した契約を遵守する。60歳前に退職となった場合、年金は、60歳の誕生日までの各年について年金額の14分の１を差し引いた額が60歳から支払われることになる。契約によると、60歳前に退職となった場合、グループ最高責任者は2年間にわたり退職金を受け取る権利がある。この期間中に、グループ最高責任者が他の雇用から収入を得ている場合は、当該雇用から得ている給与に相当する額を差し引いた退職金が支払われることになる。現物給付は３ヶ月間継続される。

その他の経営幹部の報酬

経営幹部の報酬は、取締役会長との合意に基づき、グループ最高責任者が決定する。取締役会は、法的効力のある既存の契約を尊重する。

経営幹部の報酬総額は、固定給（主な要素）、現物給付、変動給、年金及び保険制度から構成される。報酬総額は、多様な事業部門において競争力のある条件を提供する必要性に基づいて決定される。報酬は、関連する労働市場における当グループの競争力並びに収益と費用のバランスを含む当グループの収益力を高めるものでなければならない。報酬総額は、DNBの評判に相応しいものであり、DNBが必要とするスキルや経験を備えた経営幹部を確実に雇用し続けられる内容のものでなければならない。

固定給は年次評価が行われ、労働市場全般及び特に金融業界の給与水準に基づいて決定されるものとする。

現物給付は、当グループにおける経営幹部の職務に関連しているか、市場の慣行に即した範囲で経営幹部に支給される場合がある。現物給付は、経営幹部の固定給と比較して多額にのぼってはならないものとする。

2016年度の目標内容

報酬委員会は、変動報酬に関する主な基準、方針及び限度について承認する。報酬委員会は、グループの自己資本利益率、普通株式等Tier1資本比率及び収益に対する費用の比率を2016年度の目標数値とすることを決定した。財務上の目標数値に加え、グループの顧客満足度、自社の評判及び、グループのコーポレートカルチャーに関する主要業績評価指標が考慮される。

グループが目標とする財務上の数値は、新しい自己資本規制及び流動性規制の導入に最適対応できるよう、さまざまな事業部門、職員及びサポート部門などの関連する目標値に細分化されている。

上記の目標値は、2016年度の変動報酬の算定及び支払を行う際の重要な要素となるものである。すべての財務上の目標値は決定後、2016年度の目標値に関連する作業とフォローアップの一環として、関係する事業部門、職員及びサポート部門に通知される。

2016年度の変動報酬の決定

2016年度の変動報酬は、予め定められた業績目標への達成度に対する定量的評価と目標達成方法に対する定性的な評価を組み合わせた、全体的な業績評価によって決定される。

取締役会は、当グループの財務力とその他の重要なパラメータに対する総合的な評価を勘案しつつ、過去２年間のグループの目標に対する達成度に基づいて、DNBマーケッツ及びDNBアイェンダムを除く当グループのボーナス総額に対する上限を決定する。限度額合計は個々の部門の目標達成度及び、グループの業績に対する貢献度に基づいて各組織に配分される。DNBマーケッツに関しては、部門が稼得したリスク調整後利益と全体的な評価に基づいて、変動報酬に対する特別な上限が決定されており、これは同種の事業における市場慣行と一致している。同様にDNBアイェンダムの報酬モデルも、市場慣行と一致しており、個人の業績に基づく変動報酬の占める割合が高くなっている。

経営幹部、特定のリスク・テイカー及び独立した統制部門の責任者たる従業員に対する特別な規則

DNBは、特定のリスク・テイカー、独立した統制部門の責任者たる従業員及び経営幹部（以下「リスク・テイカー」と総称する）に対し、特別の規則を整備し導入した。この特別な規則は、変動報酬に関するグループの一般的な指針を補完するものであり、Finanstilsynetの報酬に関する規制及び関連するサーキュラーに準拠して整備されている。

DNBは、現行の規制に準拠して、サーキュラー及びEUの規制から生じた要件に基づきリスク・テイカーを特定するために、組織全体を対象として調査を行った。

リスク・テイカーの変動報酬に対しては、下記の原則が適用される。

- ２年間の期間に稼得した報酬
- 変動報酬は同意済の固定報酬を超えない。
- 稼得した変動報酬の最低50%に相当する額は、DNBの株式の形で、条件付きの繰延支払とする。株式の形で支払われる報酬には最低保有期間（条件付きの繰延支払）が設けられているほか、当該株式の３分の１ずつが毎年、３年間で３度に分けて支払われる。条件付きの繰延支払という条件は、報酬に関する規則の規定に準拠したものである。

年金制度等

年金制度及び退職金等に関するあらゆる契約は、その他の報酬と比較して検討し、競争力のある条件を含むものでなければならない。年金制度及び退職手当のあらゆる要素は、単独でも総合的にも、DNBの評判を脅かす可能性のあるものであってはならない。

原則として、経営幹部は65歳から年金を受け取ることができるが、例外も認められる。確定給付年金の支給額は固定給の70%を超えてはならず、政府年金基準額の最大12倍までとする。しかし、DNBグループは、既存の契約を尊重する。2011年１月１日以降に発効するグループ向けの確定拠出年金制度が設立された。この制度では、年金支給対象所得の上限は政府年金基準額（Ｇ）の12倍となる。2015年12月31日に当グループは、給与が12Ｇ未満のノルウェーの従業員向けの確定給付年金制度を廃止した。確定給付年金制度の対象であったノルウェーの従業員は、2016年１月１日付で確定拠出年金制度に移管された。

原則として、退職手当に関する契約は締結しない。しかし、当グループは既存の契約を尊重する。

新たな契約を締結する際には、一般に本ガイドラインが適用され、すべての経営幹部が対象となる。

経営幹部の報酬については、以下の表を参照のこと。

B．次会計年度の株式、新株引受権、オプション等に関する拘束力のあるガイドライン

グループ最高責任者、経営幹部及びリスク・テイカーが稼得した変動報酬の50%に相当する額が、DNB エイ・エス・エイの株式に投資される。最低保有期間は、当該株式の３分の１については１年間、次の３分の１については２年間そして残りの３分の１については３年間である。

追加の株式、新株引受権、オプション、又は当社又は当グループ内の他の企業の株価のみに連動するその他の形態の報酬が、グループ最高責任者又は経営幹部に支給されることはない。しかし、グループ最高責任者及び経営幹部は、DNBグループの他の従業員と同じ条件下で株式取得制度に参加する機会が与えられる。

C．前会計年度の経営幹部給与方針に関する声明書

2015年度に発効した変更を含む、2011年度用に決定されたガイドラインに従っている。

D．株式、新株引受権、オプション等の支給に関する報酬契約が当社及び株主に及ぼす影響に関する声明書

2015年度にグループ最高責任者及び経営幹部が得た変動報酬総額の50%に相当する額が、DNB エイ・エス・エイの株式に投資される。取締役会は、経営幹部に支給する株式が当社の株式総数と比較して、当社又は株主に悪影響を及ぼすことはないと考えている。

取締役会長の報酬額

Anne Carine TanumがDNBバンク　エイ・エス・エイの取締役会長として2015年度に得た報酬総額は、420,000ノルウェー・クローネ、2014年度は413,431ノルウェー・クローネであった。また、DNB エイ・エス・エイの取締役会長として得た報酬は、2014年度が511,023ノルウェー・クローネであったのに対し、2015年度は526,200ノルウェー・クローネであった。

グループ最高責任者の報酬額

Rune Bjerkeが得た報酬は、2014年度が5,426,576ノルウェー・クローネであったのに対し、2015年度は5,627,505ノルウェー・クローネであった。また、DNB エイ・エス・エイの取締役会は、グループ最高責任者の賞与は、2014年度の2,170,000ノルウェー・クローネに対して、2015年度は2,332,000ノルウェー・クローネと定めた。2015年度の賞与は2016年度に支払われる。現物給付は、2014年度が261,689ノルウェー・クローネであったのに対し、2015年度は349,096ノルウェー・クローネと見積もられた。グループ最高責任者の年金制度に関連する費用は、2014年度の3,715,825ノルウェー・クローネに対して、2015年度は4,586,497ノルウェー・クローネであった。費用は、DNB エイ・エス・エイとDNBバンク　エイ・エス・エイで分担する。

以下の表では、当該年度に稼得した権利等を示すよう表示されている。

2015年度の報酬等

DNBバンク グループ

単位：千ノルウェー・クローネ	2015年12月31日現在の年間固定給[1]	2015年度の支払報酬[2]	2015年度の支払給与[3]	2015年度に稼得した賞与[4]	2015年度の現物支給等	2015年度の報酬総額	2015年12月31日現在の貸出[5]	未払年金費用[6]
DNBバンク　エイ・エス・エイの取締役会								
Anne Carine Tanum（会長）		946			12	958		
Jarle Bergo（副会長）		614			5	619		
Sverre Finstad	659	614	669	22	60	1,365	549	57
Vigdis Mathisen	719	614	721	22	27	1,384	3,763	82
Kai Nyland[7]		307			187	494	1	
Torill Rambjør		307			695	1,002	20	
Kim Wahl		307				307	53	
グループ経営陣								
Rune Bjerke、最高経営責任者	5,420		5,628	2,332	349	8,309	9,549	4,586
Bjørn Erik Næss、最高財務責任者	3,795		3,956	1,642	208	5,806	376	4,927
Trond Bentestuen、グループEVP	2,970		3,076	1,322	224	4,622	6,532	675
Kjerstin Braathen、グループ EVP	2,895		3,010	1,272	205	4,486	35	553
Ottar Ertzeid、グループEVP	8,620		8,972	4,012	205	13,189	37	489
Liv Fiksdahl、グループEVP	2,970		3,082	1,322	207	4,611	1,450	846
Solveig Hellebust、グループEVP	2,385		2,478	1,052	200	3,731	11	290
Kari Olrud Moen、グループEVP	2,750		2,861	1,172	201	4,235	18	701
Tom Rathke、グループEVP	3,325		3,610	1,502	251	5,364	6,349	2,162
Harald Serch-Hanssen、グループ EVP	4,020		4,188	1,712	245	6,144	5,478	959
Thomas Midteide、グループEVP	1,900		1,973	832	210	3,015	5,776	188
Terje Tumes、グループEVP（2015年２月７日から）	3,850		3,725	742	201	4,667	63	474
Trygve Young、グループ EVP（2015年２月７日まで）[7]			902		1,996	2,898	1	
管理委員会								
Frode Hassel（会長）		438				438		
Karl Olav Hovden（副会長）[7]		364			307	671		
Ida Helliesen		292				292		
Ida Espolin Johnson		292				292	161	
Ole Trasti		292				292	3,631	
監督委員会合計	5,471	703	5,663	373	223	6,962	38,349	277
その他の従業員への貸出合計							17,273,913	

1) 当期における取締役会又はグループ経営陣のメンバーであった従業員向けの年度末現在の年間固定給。

2) 取締役会及び委員会での勤務に対してDNBグループのすべての企業から得た報酬を含む。2015年度に複数の役職について報酬を得た人物について、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会の役職に関連する報酬額は以下のとおりである：

Anne Carine Tanum：　420,000ノルウェー・クローネ
Jarle Berge：　307,000ノルウェー・クローネ
Sverre Finstad:　307,000ノルウェー・クローネ
Vigdis Mathisen：　307,000ノルウェー・クローネ

上記のうちの一部は複数の組織で兼務している。

3) 通年の支払給与及び賞与に対する休日手当を含む。従業員の一部は、１年のうち一部の期間のみ取締役会及びグループ経営陣のメンバーを務めていた。

4) 休日手当は賞与に含まれていない。

5) 株主が選出した代表者への貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。DNBの従業員に対する貸出は、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。

6) 未払年金費用には期中に獲得した年金権（勤務費用）が含まれており、年金受給権の計算は（注24）「年金」で使用されているものと同一の経済的仮定と年金数理的仮定に基づいている。

7) 現物支給等には年金の支払が含まれている。

以下の表では、当該年度に稼得した権利等を示すよう表示されている。

2014年度の報酬等

DNBバンク グループ

単位：千ノルウェー・クローネ	2014年12月31日現在の年間固定給[1]	2014年度の支払報酬[2]	2014年度の支払給与[3]	2014年度に稼得した賞与[4]	2014年度の現物支給等	2014年度の報酬総額	2014年12月31日現在の貸出[5]	未払年金費用[6]
DNBバンク　エイ・エス・エイの取締役会								
Anne Carine Tanum（会長）		924				924		
Jarle Bergo（副会長）		604			3	607		
Sverre Finstad	645	604	654	20	59	1,337	568	47
Vigdis Mathisen	692	604	693	20	22	1,339	3,873	60
Kai Nyland[7]		302			184	486	1	
Torill Rambjør		302				302	9	
Kim Wahl		302				302	35	
グループ経営陣								
Rune Bjerke、最高経営責任者	5,250		5,427	2,170	262	7,858	72	3,716
Bjørn Erik Næss、最高財務責任者	3,688		3,835	1,505	204	5,545	1,367	4,168
Trond Bentestuen、グループEVP	2,835		2,912	1,210	206	4,329	6,697	517
Kjerstin Braathen、グループ EVP	2,795		2,903	1,195	203	4,301	1,165	418
Ottar Ertzeid、グループEVP	8,382		8,692	3,830	210	12,732	45	396
Liv Fiksdahl、グループEVP	2,835		2,914	1,230	203	4,347	1,694	714
Solveig Hellebust、グループEVP	2,322		2,404	940	202	3,546	15	221
Kari Olrud Moen、グループEVP	2,683		2,764	1,065	203	4,032	0	540
Tom Rathke、グループEVP	3,235		3,504	1,340	209	5,054	10,600	1,820
Harald Serch-Hanssen、グループ EVP	3,921		4,091	1,640	205	5,936	5,575	749
Leif Teksum、グループEVP（2014年７月２日まで）[7]		97	2,661	810	1,189	4,757	4,040	580
Trygve Young、グループ EVP	3,048		3,092	500	203	3,795	2	
管理委員会								
Frode Hassel（会長）		427				427		
Karl Olav Hovden（副会長）[7]		212			296	509	1	
Vigdis Merete Almestad（2014年４月24日まで）		149				149		
Ida Helliesen（2014年４月24日から）		196				196	3	
Ida Espolin Johnson		343				343	171	
Ole Trasti（2014年４月24日から）		196				196	2,001	
Thorstein Øverland（2014年４月24日まで）[7]		91			22	112	5	
監督委員会合計	5,298	1,140	6,675	200	253	8,268	67,519	390
その他の従業員への貸出合計							16,946,323	

1) 当期における取締役会又はグループ経営陣のメンバーであった従業員向けの年度末現在の年間固定給。

2) 取締役会及び委員会での勤務に対してDNBグループのすべての企業から得た報酬を含む。2014年度に複数の役職について報酬を得た人物について、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会の役職に関連する報酬額は以下のとおりである：

Anne Carine Tanum：　413,431ノルウェー・クローネ
Jarle Berge：　302,073ノルウェー・クローネ
Sverre Finstad:　302,073ノルウェー・クローネ
Vigdis Mathisen：　302,073ノルウェー・クローネ

上記のうちの一部は複数の組織で兼務している。

3) 通年の支払給与及び賞与に対する休日手当を含む。従業員の一部は、１年のうち一部の期間のみ取締役会及びグループ経営陣のメンバーを務めていた。

4) 休日手当は賞与に含まれていない。

5) 株主が選出した代表者への貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。DNBの従業員に対する貸出は、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。

6) 未払年金費用には期中に獲得した年金権（勤務費用）が含まれており、年金受給権の計算は（注24）「年金」で使用されているものと同一の経済的仮定と年金数理的仮定に基づいている。

7) 現物支給等には年金の支払が含まれている。

年金契約に関するその他の情報

Rune Bjerkeは、60歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を保証する年金契約を締結している。Bjorn Erik Naess、Liv Fiksdahl、Kari Oirud Moen及びTom Rathkeは、62歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。Trygve Youngは、62歳から年金を受給する権利を得ているが、62歳からは年金支給対象所得の90%、63歳からはその80%、又64歳からはその70%へと次第に減額されている。Trygve Youngとの年金契約は2015年２月６日に効力を生じており、Terje Tumesは同日に当グループ経営陣に加わった。Terje Tumesは、67歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。Trond Bentestuen、Kjerstin Braathen及びHarald Serck-Hanssenは、65歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。Ottar Ertzeidは、遅くとも65歳、又は62歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を保証する年金契約を締結している。2015年１月１日付でTomas Midteideはグループ経営陣のメンバーとなった。Tomas Midteide 及びSolveig Hellebustは、65歳から67歳までの間の受給額削減はなく、65歳から固定給の70%を年金として受給する権利を保証する年金契約を締結している。彼らの年金支給対象所得は、政府年金基準額の12倍が上限となっている。2016年１月１日に、ノルウェーの企業年金法に従って設立された確定給付企業年金制度に加入していた全てのグループEVPは、ノルウェーの全てのその他の従業員と同様に確定拠出年金法に従った確定拠出制度に加入するよう移管された。

従業員向新株引受権プログラム

2015年度末現在、DNBバンク グループの従業員向新株引受権プログラムは存在しない。

DNBバンク　エイ・エス・エイ		法定監査人の報酬	DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：千ノルウェー・クローネ、付加価値税は除く）*	2015年度	2014年度
(7,342)	(7,967)	法定監査業務[1)]	(20,865)	(19,844)
(886)	(569)	その他証明業務	(1,414)	(1,914)
(2,973)	(4,959)	税金関連助言業務[2)]	(6,159)	(3,933)
(415)	(9,690)	その他の業務[3)]	(9,875)	(791)
(11,616)	**(23,185)**	**法定監査人の報酬合計**	**(38,313)**	**(26,482)**

1) 期中監査およびDNBが管理する基金の監査の費用が含まれている。
2) 主に、海外ユニットの税務報告に関連する業務とノルウェー国外の従業員の税務サポートに関連する。
3) 2015年度の増加は主に、トランザクションに固有の助言に関連していた。

注47　関連当事者に関する情報

DNBバンク　エイ・エス・エイは、DNB エイ・エス・エイの完全子会社である。DNBグループの最大所有者はノルウェー政府（通商産業省）であり、親会社であるDNB エイ・エス・エイの34%の株式を所有している。

当行グループは、通常の商取引の一環として、関連当事者との間で融資、預金及び為替取引等からなる非常に多くの取引を行っている。これらの取引は、市場条件に基づいて行われている。下表は、年度末（貸借対照表日）現在における関連当事者との取引及び当該年度における関連費用及び収益をまとめたものである。表にある関連企業は、関連会社及び DNB NOR Savings Bank Foundationである。関連会社の詳細については（注35）を参照のこと。取締役、その配偶者／パートナー及び未成年である子供に対する貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。グループ経営陣に対する貸出は、その他のグループ従業員に対する貸出と同様、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。他のDNBバンク グループ企業との取引は、別表に記載されている。

関連当事者との取引　　**DNBバンク グループ**

	グループ経営陣及び取締役会		関連企業	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
１月１日現在の貸出	41	40	1,294	2,062
年度中の新規貸出／返済	(3)	5	(381)	(752)
関連当事者の変化	6	(4)		(16)
12月31日現在の貸出	**44**	**41**	**913**	**1,294**
受取利息	**1**	**1**	**24**	**37**
１月１日現在の預金	105	34	3,106	1,746
年度中の預金／引出し	131	87	(2,363)	1,278
関連当事者の変化	(2)	(15)	(42)	82
12月31日現在の預金	**235**	**105**	**702**	**3,106**
支払利息	**(1)**	**(1)**	**(16)**	**(22)**
保証[1)]	**-**	**-**	**11,323**	**14,083**

1) DNBバンク　エイ・エス・エイの貸借対照表には、法的契約によってノルウェー輸出金融公社に譲渡され、DNBバンク　エイ・エス・エイが保証している貸出金が含まれる。かかる契約によると、DNBバンクは、譲渡されたポートフォリオに関連する金利リスク及び信用リスクに依然としてさらされている。2015年度末及び2014年度末における当該ポートフォリオの総額は、それぞれ2,212百万ノルウェー・クローネ及び2,809百万ノルウェー・クローネであった。当該貸出は、ノルウェー輸出金融公社からの預金／支払と相殺される。DNBバンク　エイ・エス・エイは、ノルウェー輸出金融公社の他の貸出金に関する保証も行っている。

2014年度及び2015年度には、関連当事者への貸出に関する減損は計上されなかった。グループ経営陣及び取締役に対する貸出に関する情報については、（注46）で触れられている。取締役会の代理メンバーとの取引は、上表に含まれていない。一般に、DNBの従業員向貸出は、月賦払いで自動引落としにより後払いで返済が行われなければならない。従業員向貸出は、一般の顧客関係に適用される条件の範囲内で行われる。法規定に従い、従業員向貸出には担保が供与されている。

DNBバンク　エイ・エス・エイ		その他のDNBグループ企業との取引[1]	DNBバンク グループ	
2014年度	2015年度	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年度	2014年度
268,717	349,169	12月31日現在の貸出金	17,608	11,182
21,030	29,784	12月31日現在のその他の未収入金[2]	2,450	2,684
69,308	122,593	12月31日現在の預金	12,903	9,515
101,114	109,470	12月31日現在のその他の負債[2]	411	1,689
4,992	4,360	受取利息	350	345
(1,145)	(1,970)	支払利息	(90)	(125)
7,605	5,517	その他の営業収益純額[3]	1,920	1,883
(211)	(268)	営業費用	(257)	(206)

1) DNBバンク　エイ・エス・エイに関して、上表には子会社、兄弟会社及びDNB エイ・エス・エイとの取引が含まれる。当行グループに関しては、上表には兄弟会社及びDNB エイ・エス・エイとの取引が含まれる。関連当事者により発行された債券への投資は以下に記載されており、上記の表には含まれていない。

2) 2014年12月31日及び2015年12月31日現在のDNBバンク エイ・エス・エイのその他の未収入金及びその他の負債は、主にDNBボーリ・クレジットをカウンターパーティーとしたデリバティブ取引及びグループ配当であった。

3) DNBバンク　エイ・エス・エイが2015年度及び2014年度に子会社からのグループ配当として計上したのは、それぞれ4,571百万ノルウェー・クローネ及び1,285百万ノルウェー・クローネであった。

関連当事者との主な取引及び契約

ノルウェー輸出金融公社

DNBバンク　エイ・エス・エイは、ノルウェー輸出金融公社の40%の株主持分を所有している。金融市場の混乱により、2008年度第1四半期にノルウェー輸出金融公社の流動性ポートフォリオに関する多額の未実現損失が発生した。同社の適切な資本基盤を確保するため、同社の取締役会は以下の3つの対策を講じた。

- 同社の株主を対象として1.2十億ノルウェー・クローネ相当の株式を発行し、すべての株主は各自の持分割合に基づき参加した。
- ポートフォリオ・ヘッジ契約が締結され、同社の株主に参加を要請した。当該契約におけるDNBバンク　エイ・エス・エイの割合は40.43%に相当する。当該契約は、2008年２月29日以降、5十億ノルウェー・クローネを上限とし、ポートフォリオ価値のさらなる下落からノルウェー輸出金融公社を保護するものである。名目価値と比較した場合の価値の回復は、ポートフォリオ・ヘッジ契約の参加者のコミットメントに対する支払いとして、当該参加者が獲得する。
- 2008年度第１四半期中、ノルウェー輸出金融公社の最大株主であるDNBバンク　エイ・エス・エイ、Nordea Bank AB及びDanske Bank A/Sは、同社に流動性確保に備えた4十億米ドルを上限とするコミットメント与信枠を承認した。当該合意書は毎年更新されている。2010年の更新では、流動性準備金の上限額が2十億米ドルに引き下げられた。当該合意書に対するDNBバンク　エイ・エス・エイの割合は、約1.1十億米ドルに相当する。ノルウェー輸出金融公社は当該与信枠を利用していない。

DNBバンク　エイ・エス・エイは、法的契約に基づいてノルウェー輸出金融公社に譲渡したがDNBバンク　エイ・エス・エイが保証している貸出金を貸借対照表上に計上している。当該契約に基づくと、DNBバンク　エイ・エス・エイは依然として譲渡したポートフォリオに関連した金利リスクと信用リスクを負っている。IFRSの規制に従い、かかる貸出金は当行の貸借対照表から除外していない。2015年12月末現在、これらのポートフォリオの金額は2.2十億ノルウェー・クローネとなった。これらの貸出金はノルウェー輸出金融公社の預金又は支払によってしか相殺されない。またDNBバンク　エイ・エス・エイは、ノルウェー輸出金融公社の他の貸出金に対しても保証を行っている。

ノルウェー輸出金融公社との取引は、独立当事者間との取引と同様の通常の市場での取引条件に基づいて行われている。

DNBボーリ・クレジット

DNBボーリ・クレジットは、DNBバンク　エイ・エス・エイの完全子会社である。通常の商取引の一環として、ボーリ・クレジットと当行の間で貸出、預金並びに為替リスク管理及び金利リスク管理で用いられるデリバティブをはじめとする数多くの銀行取引が行われている。取引は市場での取引条件に基づいて行われ、「当行及びDNBボーリ・クレジット　エイ・エス間の貸出債権の譲渡に関する契約」（譲渡契約）及び「管理サービスの購入に関する当行とDNBボーリ・クレジット　エイ・エス間の契約」（サービス契約）に則っている。

譲渡契約は、カバード・ボンド発行の際の担保となり得る貸出債権の譲渡を管理するものである。2008年度の開始以来当行からボーリ・クレジットにかなりの額の貸出金が譲渡されている。2015年12月末現在、ボーリ・クレジットへの貸出金の総額は、564.7十億ノルウェー・クローネであり、これは個人顧客セグメントの貸出総額の82パーセント近くに相当する。2015年度中に、23.2十億ノルウェー・クローネに上る貸出債権が当行からボーリ・クレジットに譲渡された。譲渡は、市場での取引条件に基づいて行われる。

サービス契約に従い、ボーリ・クレジットは、事務管理、銀行プロダクト、物流、顧客対応、IT業務、財務及び流動性管理等のサービスを当行から購入する。ボーリ・クレジットは、これらのサービスに対し年間管理手数料を支払う。2015年度に支払われた手数料は、3.3十億ノルウェー・クローネであった。

2015年12月末現在、当行は、ボーリ・クレジットが発行したカバード・ボンドに8.0十億ノルウェー・クローネを投資していた。

2013年度第４四半期に、ボーリ・クレジットは、DNBバンク　エイ・エス・エイとの間で「リボルビング・クレジット・ファシリティ契約（RCF）」を締結した。このRCFの条件に従って、DNBバンクはボーリ・クレジットに対し、発行されたカバード・ボンド及び関連するデリバティブヘッジ契約のために今後12か月にわたってボーリ・クレジットのノルウェー・クローネでの支払債務と同額のリボルビング・クレジット・ファシリティを常に提供する。ボーリ・クレジットはこのRCFに基づいて借り入れた全額を、カバード・ボンド及び当該カバード・ボンドのヘッジのために締結した関連するデリバティブ契約に基づく支払に充てなければならない。

ボーリ・クレジットはカバード・ボンドの通常の（再）購入及び当該カバード・ボンドに関連したデリバティブ契約に関連した支払義務の履行に当該RCFを利用してはならない。RCFに基づくボーリ・クレジットに対するDNBバンクの債務は、カバード・ボンドに係る要支払額であるという点で保証には当たらない。

DNBナーリングス・クレジット　エイ・エス

DNBナーリングス・クレジット（ナーリングス・クレジット）は、DNBバンク　エイ・エス・エイの完全子会社である。この抵当証券機関は、商業用不動産で構成されるプールを担保とするカバード・ボンドを発行するために設立された。

同社は、2009年度第3四半期に業務を開始した。2015年12月末現在、総額26.7十億ノルウェー・クローネのコミットメントが当行からナーリングス・クレジットに譲渡された。当該ポートフォリオは、物件の種類、規模及び立地が多岐にわたっている。2015年度中に、7.0十億ノルウェー・クローネに上るポートフォリオが当行からナーリングス・クレジットに譲渡された。この譲渡は、顧客との同意に従い、市場での取引条件に基づいて行われる。ボーリ・クレジットと同様、ナーリングス・クレジットも、当行から管理サービス及び事務サービスを購入している。また、同社の業務に関連する事務サービスは、ボーリ・クレジットからも購入している。2015年度に当行及びボーリ・クレジットに支払われた手数料総額は98.5百万ノルウェー・クローネであった。

ナーリングス・クレジットの貸借対照表の中の「金融機関向貸出金及び預け金」及び「金融機関からの借用金及び預金」は、すべてDNBバンクとの間の取引残高である。2015年12月末現在、当行は、ナーリングス・クレジットが発行したカバード・ボンドのうちの0.5十億ノルウェー・クローネに投資している。

DNBリフスフォルシクリン　エイ・エス

同社の通常の投資活動の一環として、DNBリフスフォルシクリンは、ボーリ・クレジットが発行するカバード・ボンドを引き受けてきた。ボーリ・クレジットへのDNBリフスフォルシクリンの投資は、上場されたカバード・ボンドに限定されている。DNBリフスフォルシクリンが保有するボーリ・クレジットの債券総額は、2015年12月末現在で1.9十億ノルウェー・クローネであった。

2015年11月に、合計約20十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオが、DNBボーリ・クレジットから、DNBリフスフォルシクリンに売却された。DNBリフスフォルシクリンの代わりにノルウェーの個人顧客部門が引き続き当該ポートフォリオを管理する予定である。

DNBリフスフォルシクリンとの取引は、独立当事者間の取引と同様の通常の市場での取引条件に基づいて行われた。

DNBシンガポール支店及びDNBアジア・リミテッド

2013年度第１四半期に、DNBシンガポール支店とDNBアジア・リミテッドとの間で契約が締結された。これは、DNBアジア・リミテッドが、新規及び既存顧客に向けて貸出を行うシンガポール支店の権利を継承したことを意味している。既存の貸出金は、実現可能で合理性のある範囲でDNBアジア・リミテッドへ譲渡された。シンガポール支店は依然として、DNBアジア・リミテッドへの譲渡が完了するまでは、当該貸出金に関するリスクとリターンに責任を負う。2015年12月末現在、合計金額で2.4十億米ドルとなる既存の貸出金が譲渡された。DNBシンガポール支店の残存貸出金残高は0.9十億米ドルにのぼる。この契約は市場条件で行われている。

DNBニューヨーク支店及びDNBキャピタルLLC

2013年度第３四半期に、DNBニューヨーク支店とDNBキャピタルLLCとの間で契約が締結された。これは、DNBキャピタルLLCが、新規及び既存顧客に向けて貸出を行うニューヨーク支店の権利を継承したことを意味している。既存の貸出金は、実現可能で合理性のある範囲でDNBキャピタルLLCへ譲渡された。ニューヨーク支店は依然として、DNBキャピタルLLCへの譲渡が完了するまでは、当該貸出金に関するリスクとリターンに責任を負う。2015年12月末現在、合計金額で7.4十億米ドルとなる既存の貸出金が譲渡された。この契約は市場条件で行われている。

DNBロンドン支店及びDNB (UK)リミテッド

2015年度第２四半期中に、DNBロンドン支店とDNB(UK)リミテッド（旧Den Norske Syndicates Ltd）の間で契約が締結された。これは、DNB(UK)リミテッドが同支店の新規および既存顧客への貸出を行う権利を継承したことを意味する。既存の貸出金は実現可能かつ合理的とみなされる範囲でDNB(UK)リミテッドに譲渡される。DNB(UK)リミテッドへの譲渡が完了するまで、同支店は引き続き関連する貸出金に係るリスクとリターンに責任を負う。2015年12月31日現在、合計3.4十億ポンドの既存の貸出金がDNB(UK)リミテッドに譲渡された。依然としてDNBロンドン支店が保有する貸出金は0.1十億ポンドである。当該契約に関連して、DNB(UK)リミテッドの資本金は1.2十億ポンド増加した。この契約は市場条件で行われている。

DNBスウェーデン支店及びDNBスウェーデン　エイ・ビー

2015年度第３四半期中に、DNBスウェーデン支店とDNBスウェーデン　エイ・ビーの間で契約が締結された。これは、DNBスウェーデン　エイ・ビーが同支店の新規及び既存顧客への貸出を行う権利を継承したことを意味する。既存の貸出金は実現可能かつ合理的とみなされる範囲でDNBスウェーデン　エイ・ビーに譲渡される。DNBスウェーデン　エイ・ビーへの譲渡が完了するまで、同支店は引き続き関連する貸出金に係るリスクとリターンに責任を負う。2015年12月31日現在、合計23.3十億スウェーデン・クローナの既存の貸出金がDNBスウェーデン　エイ・ビーに譲渡された。依然としてDNBスウェーデン支店が保有する貸出金は13.9十億スウェーデン・クローナである。当該契約に関連して、DNBスウェーデン　エイ・ビーの資本金は50,000スウェーデン・クローナから100百万スウェーデン・クローナに増加した。自己資本は、2015年10月９日と11月９日に行われた、それぞれ7.2十億スウェーデン・クローナ、合計14.5十億スウェーデン・クローナの追加出資により増加した。この契約は市場条件で行われている。

DNBインベスト・デンマーク　エイ/エス

2015年度第３四半期に、DNBインベスト・デンマーク・エイ/エスはそれぞれ2.5十億ノルウェー・クローネと3十億ノルウェー・クローネの２つの劣後ローンをDNBリフスフォルシクリンに実行した。この2.5十億ノルウェー・クローネのローンの償還期限は定められていないものの、契約後10年を経過する日以後の合意日に返済することが可能になっている。3十億ノルウェー・クローネのローンの償還期限は10年後であるが、５年経過後から返済可能になっている。この契約は市場条件で行われている。

注48　オフ・バランスシート取引及び偶発事象

DNBバンク　エイ・エス・エイ		オフ・バランスシート取引及び追加情報	DNBバンク　グループ	
2014年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	*（単位：百万ノルウェー・クローネ）*	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
45,402	32,568	履行保証	33,712	46,603
28,488	36,375	支払保証	37,544	29,930
17,497	16,715	貸出保証[1)]	16,629	17,417
6,667	7,253	税金等の保証	7,271	6,684
1,875	2,780	その他保証	3,258	2,384
99,929	95,692	保証合計	98,414	103,017
		支援協定	11,827	13,202
99,929	95,692	保証等合計[*)]	110,241	116,220
995,350	963,486	未使用の与信枠及び貸出枠[2)]	600,523	606,912
4,212	4,576	信用状	4,790	4,432
		その他コミットメント	51	90
999,562	968,062	コミットメント合計	605,364	611,434
1,099,491	1,063,754	保証及びオフ・バランス・コミットメント合計	715,605	727,654
20,907	17,828	担保として差入れられている有価証券		393
		**) そのうち、金融機関による再保証が行われているもの*	*311*	*299*

1) DNBバンク　エイ・エス・エイは、法的契約に基づきノルウェー輸出金融公社に譲渡され、当行が保証を行っている貸出を貸借対照表に計上している。当該契約に従い、DNBバンク　エイ・エス・エイは依然として、譲渡されたポートフォリオの金利リスク及び信用リスクにさらされている。2015年12月31日現在、貸借対照表に計上されているポートフォリオに含まれる顧客向貸出金総額は2.2十億ノルウェー・クローネに達する。当該貸出金は、上表の保証には含まれていない。
2) 当行のDNBボーリ・クレジットへのリボルビング・クレジット・ファシリティによる増加。

DNBバンク　エイ・エス・エイは、多通貨同時決済銀行（CLS銀行）の会員であり株主でもある。株主としてDNBバンク　エイ・エス・エイは、会員銀行のためのCLS銀行の中央決済勘定に資金不足が生じた場合、他の会員銀行がデフォルトを引き起こしたとしても、当該資金不足を補填するために資金を拠出する義務がある。まず、会員銀行の中でCLS銀行の当該資金不足を引き起こすことになった銀行と取引を行った各行が当該資金不足を補填するものとされている。それだけで補填しきれない不足がある場合、当該欠損は、CLS銀行の国際規則第９条「損失配分」に従い、CLSの会員銀行が按分負担することになる。CLSと会員銀行間の契約によると、残余不足額のこうした補填に関連する按分支払いの義務は、会員銀行当たり30百万米ドルを上限とする。2015年度末現在、DNBは、CLSに関連する債務を計上していない。

DNBボーリ・クレジット　エイ・エス（ボーリ・クレジット）

2015年12月末現在、ボーリ・クレジットは、額面金額が446十億ノルウェー・クローネにのぼるカバード・ボンドを発行していた。万一破産した場合は、その債券保有者は同社のカバープール（カバー担保）に対する優先権を有する。

カバード・ボンド

	DNBボーリ・クレジット	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
上場カバード・ボンド合計	386,944	382,788
債券プログラムにおける私募合計	59,419	57,238
調整		
未払利息	4,602	4,768
未実現利益／損失	22,780	27,574
発行済負債証券合計	473,745	472,368

カバープール（カバー担保）

	DNBボーリ・クレジット	
（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在
適格貸出プール	561,517	551,598
デリバティブの時価	74,932	76,438
補足資産		
担保に差入れられている資産合計	636,449	628,036
超過担保(%)	134.2	133.2

偶発事象

ノルウェー国内外での広範囲な業務により、当行グループは、恒常的に数多くの法的手続の当事者になると考えられる。現在係争中の紛争は、いずれも当行グループの財政状態に重大な影響を及ぼすことはないとみられる。

当行グループは、仕組商品及びその他投資商品に関するいくつかの苦情及び訴訟の当事者となっている。

市場での取引条件で行われた金利スワップの決済に関し、ノルウェーの７つの自治体に対して提起した訴訟は2015年度第２四半期中に解決に至り、その結果として当行の税引前営業利益は159百万ノルウェー・クローネ減少した。

DNBマーケッツ・インク（Minc）及び他のアレンジャーは、2010年に行われたオーバーシーズ・シップホールディング・グループ（OSG）による300百万米ドルのシニア債発行の引受けに関して、米国司法裁判所において民事訴訟を提起された。この訴訟は2015年度第３四半期に和解が成立した。和解金におけるMincの負担額は250,000米ドルであった。

前へ　　次へ

Income statement

DNB Bank ASA				DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	Note	2015	2014
41 906	38 287	Total interest income	17	57 793	61 682
(20 048)	(14 072)	Total interest expenses	17	(22 258)	(29 074)
21 859	**24 215**	**Net interest income**	17	**35 535**	**32 607**
6 112	6 220	Commission and fee income etc.	19	8 694	8 148
(2 186)	(2 676)	Commission and fee expenses etc.	19	(2 737)	(2 258)
5 963	3 964	Net gains on financial instruments at fair value	20	8 704	5 404
		Profit from investments accounted for by the equity method	35	(72)	226
		Net gains on investment property		269	82
8 811	9 786	Other income		2 051	2 519
18 699	**17 294**	**Net other operating income**		**16 909**	**14 122**
40 558	**41 509**	**Total income**		**52 444**	**46 729**
(8 394)	(7 245)	Salaries and other personnel expenses	21	(9 140)	(10 095)
(6 327)	(6 591)	Other expenses	22	(7 892)	(7 714)
(1 986)	(2 035)	Depreciation and impairment of fixed and intangible assets	23	(2 159)	(2 028)
(16 708)	**(15 871)**	**Total operating expenses**		**(19 191)**	**(19 836)**
23 850	**25 638**	**Pre-tax operating profit before impairment**		**33 253**	**26 893**
233	91	Net gains on fixed and intangible assets		45	52
(1 725)	(1 638)	Impairment of loans and guarantees	9, 10	(2 270)	(1 639)
22 358	**24 090**	**Pre-tax operating profit**		**31 028**	**25 306**
(3 900)	(3 452)	Tax expense	25	(7 755)	(6 174)
		Profit from operations held for sale, after taxes		(51)	(22)
18 458	**20 638**	**Profit for the year**		**23 222**	**19 110**
18 458	20 264	Portion attributable to shareholders		22 848	19 110
	374	Portion attributable to additional Tier 1 capital holders		374	
18 458	**20 638**	**Profit for the year**		**23 222**	**19 110**
100.78	112.69	Earnings/diluted earnings per share (NOK)		126.79	104.34
		Earnings per share for operations held for sale (NOK)		(0.28)	(0.12)
100.78	112.69	Earnings per share for continuing operations excluding operations held for sale (NOK)		127.07	104.46

Comprehensive income statement

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
18 458	**20 638**	**Profit for the year**	**23 222**	**19 110**
(1 812)	615	Actuarial gains and losses, net of tax	592	(1 877)
(1 812)	615	Other comprehensive income that will not be reclassified to profit or loss, net of tax	592	(1 877)
460	238	Currency translation of foreign operations	9 618	7 145
		Hedging of net investment, net of tax	(6 203)	(4 526)
		Other comprehensive income investments according to the equity method	889	
460	238	Other comprehensive income that may subsequently be reclassified to profit of loss, net of tax	4 304	2 619
(1 352)	**853**	**Other comprehensive income for the year**	**4 896**	**742**
17 106	**21 492**	**Comprehensive income for the year**	**28 118**	**19 851**

1) *DNB has indirect ownership interests in Visa Europe through its membership in Visa Norge. In connection with the valuation of the holdings in Visa Europe as at 31 December 2015 a gain of NOK 889 million was recognised in other comprehensive income. On the realisation date, the increase in value of other comprehensive income will be recorded in profit and loss as "Profit from investments accounted for by the equity method". Cf. note 36.*

Balance sheet

DNB Bank ASA				DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	Note	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
		Assets			
53 505	16 004	Cash and deposits with central banks	26, 27, 28	19 317	58 505
608 036	630 700	Due from credit institutions	6, 7, 26, 27, 28	297 457	355 577
723 456	705 532	Loans to customers	6, 7, 26, 27, 28	1 531 932	1 447 465
211 746	210 062	Commercial paper and bonds at fair value	26, 28, 30	207 063	187 765
9 205	7 504	Shareholdings	26, 28, 30, 31	8 794	9 709
248 788	213 797	Financial derivatives	15, 26, 28	203 273	236 389
31 927	19 162	Commercial paper and bonds, held to maturity	26, 27, 33	19 162	31 927
		Investment property	34	2 333	4 743
975	975	Investments accounted for by the equity method	35	4 091	3 275
79 266	120 473	Investments in subsidiaries	36	0	0
3 794	3 675	Intangible assets	37	4 176	4 315
2 995	6 320	Deferred tax assets	25	1 138	1 197
7 390	7 480	Fixed assets	38	8 059	8 128
		Assets held for sale		200	692
16 561	23 735	Other assets	40	8 608	12 301
1 997 646	**1 965 419**	**Total assets**		**2 315 603**	**2 361 990**
		Liabilities and equity			
268 531	262 330	Due to credit institutions	26, 27, 28	161 267	214 211
903 033	896 488	Deposits from customers	26, 27, 28, 41	957 322	951 049
274 846	240 518	Financial derivatives	15, 26, 28	154 878	186 230
366 205	340 099	Debt securities issued	26, 27, 28, 42	806 610	813 909
537	703	Payable taxes	25	2 493	1 920
25	12	Deferred taxes	25	6 461	4 537
21 104	39 438	Other liabilities	26, 44	18 409	12 840
		Liabilities held for sale		71	100
1 003	1 101	Provisions		1 225	1 133
5 322	2 246	Pension commitments	24	2 301	5 434
29 319	30 953	Subordinated loan capital	26, 27, 28, 43	30 953	29 319
1 869 926	**1 813 886**	**Total liabilities**		**2 142 191**	**2 220 681**
18 314	18 314	Share capital		18 314	18 314
19 895	19 895	Share premium		20 611	20 611
	8 353	Additional Tier 1 capital		8 353	
89 511	104 970	Other equity		126 133	102 383
127 720	**151 533**	**Total equity**	45	**173 412**	**141 309**
1 997 646	**1 965 419**	**Total liabilities and equity**		**2 315 603**	**2 361 990**
		Off-balance sheet transactions, contingencies and post-balance sheet events	46		

Statement of changes in equity

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Share capital	Share premium	Additional Tier 1 capital	Actuarial gains and losses	Currency translation reserve	Other equity	Total equity
Balance sheet as at 31 December 2013	**18 314**	**19 895**		**(929)**	**(71)**	**77 381**	**114 591**
Profit for the year						18 458	18 458
Other comprehensive income				(1 812)	460		(1 352)
Comprehensive income for the period				(1 812)	460	18 458	17 106
Currency translation reserve taken to income					25		25
Group contribution for 2014 to DNB ASA						(4 001)	(4 001)
Balance sheet as at 31 December 2014	**18 314**	**19 895**		**(2 741)**	**414**	**91 838**	**127 720**
Profit for the year			374			20 264	20 638
Other comprehensive income				615	238		853
Comprehensive income for the period			374	615	238	20 264	21 492
Defined-benefit pension discontinued [1]				1 667		(1 667)	
Additional Tier 1 capital issued			8 053			(31)	8 023
Interest payments additional Tier 1 capital			(75)				(75)
Transfer of lending portfolio to subsidiary (continuity)						(627)	(627)
Group contribution for 2015 to DNB ASA						(5 000)	(5 000)
Balance sheet as at 31 December 2015	**18 314**	**19 895**	**8 353**	**(459)**	**652**	**104 777**	**151 533**

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Share capital	Share premium	Additional Tier 1 capital	Actuarial gains and losses	Currency translation reserve	Net investment hedge reserve	Other equity	Total equity
Balance sheet as at 31 December 2013	**18 314**	**20 611**		**(957)**	**1 412**	**(1 119)**	**88 146**	**126 407**
Profit for the year							19 110	19 110
Other comprehensive income				(1 877)	7 145	(4 526)		742
Comprehensive income for the period				(1 877)	7 145	(4 526)	19 110	19 851
Currency translation reserve taken to income					80		(29)	51
Group contribution for 2013 to DNB ASA							(5 000)	(5 000)
Balance sheet as at 31 December 2014	**18 314**	**20 611**		**(2 834)**	**8 637**	**(5 645)**	**102 226**	**141 309**
Profit for the year			374				22 848	23 222
Other comprehensive income				592	9 618	(6 203)	889	4 896
Comprehensive income for the period			374	592	9 618	(6 203)	23 736	28 118
Defined-benefit pension discontinued [1]				1 763			(1 763)	
Currency translation reserve taken to income					34		4	38
Additional Tier 1 capital issued			8 053				(31)	8 023
Interest payments additional Tier 1 capital			(75)					(75)
Group contribution for 2014 to DNB ASA							(4 001)	(4 001)
Balance sheet as at 31 December 2015	**18 314**	**20 611**	**8 353**	**(479)**	**18 289**	**(11 848)**	**120 171**	**173 412**

1) In the fourth quarter of 2015 DNB decided to change the Group's pension scheme from a defined-benefit to a defined contribution scheme with effect from 31 December 2015. The change includes the majority of its employees in Norway who were members of the Group's closed defined-benefit scheme.

Cash flow statement

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
		Operating activities		
(13 240)	50 461	Net receipts/payments on loans to customers	(32 213)	(49 290)
31 586	30 885	Interest received from customers	51 863	55 209
15 685	(44 221)	Net receipts/payments on deposits from customers	(34 447)	18 692
(14 481)	(10 485)	Interest paid to customers	(7 475)	(14 171)
(225 502)	(20 697)	Net payments on loans to credit institutions	3 917	(210 787)
4 616	3 870	Interest received from credit institutions	1 617	1 785
(2 199)	(1 558)	Interest paid to credit institutions	(1 355)	(2 119)
97 652	16 386	Net receipts/payments on the sale of financial assets for investment or trading	(16 600)	63 856
5 757	5 080	Interest received on bonds and commercial paper	4 592	4 962
3 932	3 553	Net receipts on commissions and fees	5 965	5 880
(16 141)	(16 346)	Payments to operations	(19 210)	(20 037)
(1 733)	(800)	Taxes paid	(2 473)	(1 903)
11 643	9 595	Other receipts	5 433	5 554
(102 423)	**25 723**	**Net cash flow from operating activities**	**(40 387)**	**(142 368)**
		Investment activities		
(1 978)	(1 866)	Net payments on the acquisition of fixed assets	(1 853)	(2 133)
		Net receipts, investment property	2 833	566
463	223	Receipts on the sale of long-term investments in shares	76	463
(3 754)	(33 124)	Payments on the acquisition of long-term investments in shares		(50)
164	104	Dividends received on long-term investments in shares	6	164
(5 105)	**(34 662)**	**Net cash flow from investment activities**	**1 062**	**(989)**
		Funding activities		
1 409 586	3 072 165	Receipts on issued bonds and commercial paper (see note 42)	3 142 451	1 461 093
(1 412 585)	(3 110 990)	Payments on redeemed bonds and commercial paper (see note 42)	(3 145 857)	(1 423 956)
(3 400)	(5 097)	Interest payment on issued bonds and commercial paper	(15 129)	(12 511)
	3 805	Receipts on the raising of subordinated loan capital (see note 43)	3 805	
	(4 604)	Redemptions of subordinated loan capital (see note 43)	(4 604)	
(1 053)	(1 027)	Interest payments on subordinated loan capital	(1 029)	(1 053)
	8 023	Receipts on issued additional Tier 1 capital	8 023	
	(75)	Interest payments on additional Tier 1 capital	(75)	
(11 840)	(4 729)	Dividend/group contributions payment/receipts	(4 001)	(6 944)
(18 891)	**(42 529)**	**Net cash flow from funding activities**	**(16 415)**	**16 629**
17 819	**13 547**	**Effects of exchange rate changes on cash and cashs equivalents**	**14 622**	**19 269**
(108 601)	**(37 921)**	**Net cash flow**	**(41 118)**	**(107 460)**
166 406	57 805	Cash as at 1 January	64 312	171 771
(108 601)	(37 921)	Net payments of cash	(41 118)	(107 460)
57 805	19 884	Cash as at 31 December *)	23 194	64 312
		*) *Of which:*		
53 505	*16 004*	*Cash and deposits with central banks*	*19 317*	*58 505*
4 300	*3 880*	*Deposits with credit institutions with no agreed period of notice* [1]	*3 876*	*5 807*

1) Recorded under "Due from credit institutions" in the balance sheet.

The cash flow statement shows receipts and payments of cash and cash equivalents during the year. The statement has been prepared in accordance with the direct method. Cash flows are classified as operating activities, investment activities or funding activities. Balance sheet items are adjusted for the effects of exchange rate movements. Cash is defined as cash and deposits with central banks, and deposits with credit institutions with no agreed period of notice.

Note 1 Accounting principles

Corporate information

DNB Bank ASA is subsidiary of DNB ASA, which is a Norwegian public limited company listed on the Oslo Stock Exchange (Oslo Børs). The consolidated financial statements for 2015 were approved by the Board of Directors on 16 March 2016.

The banking group offers banking services and securities and investment services in the Norwegian and international retail and corporate markets.

The visiting address to the banking group's head office is Dronning Eufemias gate 30, Bjørvika, Oslo, Norway.

Basis for preparation

DNB Bank group has prepared the consolidated financial statements for 2015 in accordance with International Financial Reporting Standards (IFRSs), as issued by the International Accounting Standards Board (IASB) and endorsed by the European Union (EU).

DNB Bank ASA has prepared its stand-alone financial statements according to the Norwegian Ministry of Finance's regulations on annual accounts, Section 1-6, on the use of IFRS, hereinafter called the Norwegian IFRS regulations, which implies that recognition and measurements are in accordance with IFRS. The only exception is that the Norwegian IFRS regulations also give permission to recognise provisions for dividends and group contributions in subsidiaries as income and recognise the Board of Directors' proposed dividends and group contributions as liabilities on the balance sheet date. According to IFRS, dividends should be presented as equity until approved by the general meeting. DNB Bank ASA presents disclosure information in accordance with IFRS.

The consolidated financial statements are based on the historic cost principle, with the following exceptions: financial assets and liabilities measured at fair value and investment properties. The consolidated financial statements are presented in Norwegian kroner. Unless otherwise specified, all amounts are rounded to the nearest million.

The banking group's consolidated balance sheets are primarily based on an assessment of the liquidity of the assets and liabilities.

Consolidation

The consolidated financial statements for DNB Bank ASA ("DNB Bank" or "the banking group") include DNB Bank and subsidiaries.

The accounting principles are applied consistently when consolidating ownership interests in subsidiaries and are based on the same reporting periods as those used for the parent company.

When preparing the consolidated financial statements, intra-group transactions and balances, along with gains and losses on transactions between group units, are eliminated.

Subsidiaries

Subsidiaries are defined as companies in which DNB Bank, directly or indirectly, has control. Control over an entity is evidenced by the banking group's ability to exercise its power in order to affect any variable returns that the banking group is exposed to through its involvement with the entity. Where voting rights are relevant, the banking group is deemed to have control where it holds, directly or indirectly, more than half of the voting rights in an entity, unless there is evidence that another investor has the practical ability to unilaterally direct the relevant activities. With respect to companies where the banking group's holding represent less than half of the rights, it makes an assessment of whether other factors indicate de facto control. Subsidiaries are fully consolidated from the date on which control is obtained and until control ceases.

Associated companies

Associated companies are companies in which DNB Bank has a significant influence, that is the power to participate in the financial and operating policy decisions of the companies, but is not in control or joint control of the companies. DNB Bank assumes that significant influence exists when the banking group holds between 20 and 50 per cent of the voting share capital or primary capital in another entity.

Associated companies are recognised in the consolidated financial statements according to the equity method. The investment is recognised at cost at the time of acquisition and is adjusted for subsequent changes in the banking group's share of equity in the associated company. Any goodwill is included in the acquisition cost. The banking group's share of profits or losses is recognised in the income statement and added to the cost price of the investment along with other changes in equity which have not been reflected in the income statement. The banking group's share of losses is not reflected in the income statement if the carrying amount of the investment will be negative, unless the banking group has taken on commitments or issued guarantees for the commitments of the associated company.

At the end of each reporting period the banking group will assess whether any indication of impairment exists. If such indication exists, the investment will be tested for impairment. The carrying value of the investment will be compared with the recoverable amount (the higher of fair value less costs to sell and value in use). If necessary, the carrying value will be written down to the recoverable amount.

The banking group's share of unrealised gains on transactions between the banking group and its associated companies is eliminated. The same applies to unrealised losses unless the transaction indicates an impairment of the transferred assets.

Conversion of transactions in foreign currency

The presentation currency in the banking group's consolidated financial statements is Norwegian kroner. The parent entity in the banking group, DNB Bank ASA, has Norwegian kroner as its functional currency. Balance sheet items of foreign branches and subsidiaries in other functional currencies are translated into the presentation currency, Norwegian kroner, according to the exchange rates prevailing on the balance sheet date, while profit or loss items are translated according to exchange rates on the transaction date. Changes in net assets resulting from exchange rate movements are recognised in other comprehensive income.

Monetary assets and liabilities in foreign currency are translated into the entities' functional currency at the exchange rates prevailing on the balance sheet date. Changes in the carrying amount of such assets due to exchange rate movements between the transaction date and the balance sheet date, are recognised in the income statement.

Note 1　Accounting principles (continued)

Segment information

Financial governance in DNB Bank is adapted to the different customer segments. The follow-up of total customer relationships and segment profitability are two important dimensions when making strategic priorities and deciding where to allocate the banking group's resources. Reported figures for the various segments reflect the banking group's total sales of products and services to the specific segment.

The segment information has been prepared on the basis of internal financial reporting to the banking group management team (chief operating decision-making body) for an assessment of developments and the allocation of resources. Figures for the operating segments are based on DNB Bank's management model and the banking group's accounting principles. The figures are based on a number of assumptions, estimates and judgmental distribution.

According to DNB Bank's management model, the operating segments are independent profit centres that are fully responsible for their profit after tax and for achieving the targeted returns on allocated capital. All of the banking group's customer activities are divided among the operating segments, along with the related balance-sheet items, income and expenses.

Excess liquidity and liquidity deficits in the operating segments are placed in or borrowed from the bank's Treasury at market terms, where interest rates are based on duration and the banking group's financial position.

When operating segments cooperate on the delivery of financial services to customers, internal deliveries are based on market prices.

Services provided by group services and staff units are charged to the operating segments in accordance with service agreements. Joint expenses which are indirectly linked to activities in the operating segments, are charged to the operating segments on the basis of distribution formulas.

A number of key functions and profits from activities not related to the operating segments' strategic operations are presented within the Group units. This item comprises income and expenses relating to the banking group's liquidity management, income from investments in equity instruments not included in the trading portfolio, interest income assigned to the banking group's unallocated capital, ownership-related expenses and income from the management of the bank's real estate portfolio.

Net profits from repossessed operations which are fully consolidated in the banking group are presented as "Profit from repossessed operations" in the segment reporting. The effect of consolidation of the repossessed companies is presented within the Group units.

Return on capital is estimated on the basis of internal measurement of risk-adjusted capital requirements. See note 2 Segments for further information about the principles for allocation of capital.

Recognition in the income statement and in other comprehensive income

Interest income is recognised using the effective interest method. This implies that interest is recognised when incurred, with the addition of amortised front-end fees and any other fees which are regarded as an integral part of the effective interest rate.

The effective interest rate is set by discounting contractual cash flows based on the expected life of the asset. Cash flows include front-end fees and direct transaction costs which are not paid directly by the customer.

Interest is recognised according to the effective interest method with respect to both balance sheet items carried at amortised cost and balance sheet items carried at fair value in the income statement, with the exception of front-end fees on loans at fair value, which are recognised when earned. Interest on impaired loans corresponds to the effective interest rate on the book value, net of impairment.

Interest income on financial instruments presented as lending is recognised in "Net interest income".

"Net other operating income" includes, among others, fees and commissions relating to money transfers, success fees, credit broking, real estate broking, corporate finance and securities services. Credit broking commissions include syndication income in the form of fees and commissions from transactions where DNB Bank arranges the loans without retaining parts of the loan itself or participates in a loan syndicate and receives compensation in excess of the effective interest received by the other participants. Fees which are not included in effective interest rate calculations, as well as commissions, are recognised during the period when the services are rendered or the transactions are completed.

Success fees are recognised when the fees with a high degree of certainty have been earned and can be measured in a reliable manner.

Fees that are incurred when establishing financial guarantees are recognised over the term of the contract within the line item "Net gains on financial instruments at fair value".

Dividends on investments are recognised from the date the dividends are approved at the general meeting.

Income from net profit on financial instruments carried at fair value through profit or loss is described under Financial instruments, while income from investment property is described under Investment property and fixed assets.

Items of income and expense in other comprehensive income are grouped based on whether or not they can be reclassified to the income statement at a future date.

Financial instruments

Recognition and derecognition

Recognition of assets and liabilities

Financial assets and liabilities are recognised in the balance sheet on the trading date, i.e. the date that the banking group becomes a party to the contractual provisions of the financial instrument.

Note 1 Accounting principles (continued)

Derecognition of financial assets

Financial assets are derecognised when the right to receive and retain cash flows from the asset has expired or been transferred. The banking group enters into certain transactions where it transfers assets recognised on its balance sheet, but retains either all or parts the risks and rewards of the transferred asset. If all or substantially all of the risks and rewards are retained, the transferred financial asset is not derecognised from the balance sheet, but reclassified to separate assets or liabilities reflecting the rights and obligations created or retained in the transfer. Such transactions could entail the transfer of a loan portfolio where the banking group retains the risks and returns associated with the transferred portfolio by guaranteeing for all risks in the portfolio or entering into a total return swap.

Derecognition of financial liabilities

Financial liabilities are derecognised when the contractual obligations have been discharged, cancelled or have expired.

Repurchase and reverse repurchase agreements

Securities purchased under agreements to resell are generally not recognised in the financial statements as the risk and returns are normally not taken over by the banking group. This is done irrespective of whether the banking group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the banking group recognises an obligation in the balance sheet. For more information, see note 32 Securities received which can be sold or repledged.

Securities sold under agreements to repurchase are generally not derecognised as the risk and returns are normally not transferred. This is done irrespective of whether the recipient is entitled to sell or repledge the securities. These securities are presented as securities in the Group's balance sheet and are specified in note 31 Transferred assets or assets with other restrictions.

Securities borrowing and lending agreements

Transactions mainly include equity borrowing or lending. Agreements on securities borrowing and lending are generally based on collateral in the form of cash or securities.

Equities which have been received or transferred in such transactions, are generally not recognised or derecognised, as risks and returns associated with ownership of the assets are normally not taken over or transferred.

Equities received, including equities received as collateral, are registered off the balance sheet irrespective of whether the banking group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the banking group will recognise an obligation in the balance sheet. For more information, see note 32 Securities received which can be sold or repledged.

Transferred equities and collateral which the recipient is entitled to sell or repledge, are presented as equities or securities in the banking group's balance sheet and are specified in note 31 Transferred assets or assets with other restrictions.

Classification and presentation

On initial recognition financial assets are classified in one of the following categories according to the type of instrument and the purpose of the investment:

- financial assets held for trading and derivatives carried at fair value with changes in value recognised in profit or loss (trading portfolio)
- financial assets designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss
- financial derivatives designated as hedging instruments
- loans and receivables, carried at amortised cost
- held-to-maturity investments, carried at amortised cost
- financial assets available for sale carried at fair value with changes in value recognised in other comprehensive income

On initial recognition financial liabilities are classified in one of the following categories:

- financial liabilities held for trading and derivatives carried at fair value with changes in value recognised in profit or loss (trading portfolio)
- financial liabilities designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss
- financial derivatives designated as hedging instruments
- other financial liabilities carried at amortised cost

Guidelines for classification in the various portfolios of the banking group are given below.

Financial assets and liabilities in the trading portfolio

Financial instruments in the trading portfolio are initially recognised at fair value. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation.

Changes in the fair value of the financial instruments are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement. Interest income and interest expenses from interest bearing securities are presented within "Net interest income". Financial derivatives are presented as an asset if the fair value is positive and as a liability if the fair value is negative.

The trading portfolio mainly includes financial assets and liabilities in Markets and financial derivatives not used for hedge accounting purposes. In addition, the portfolio includes securities borrowing and deposits that are used actively in interest rate and liquidity management and have a short remaining maturity.

Note 1 Accounting principles (continued)

Financial assets and liabilities designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss

Financial instruments in the portfolio are recognised at fair value. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation. Financial instruments are classified in this category if one of the following criteria is fulfilled:

- The classification eliminates or significantly reduces measurement or recognition inconsistency that would otherwise arise from measuring financial assets or liabilities or recognising the gains and losses on them on different bases
- The financial instruments are part of a portfolio that is managed and evaluated on a fair value basis, in accordance with a documented risk management or investment strategy

Changes in fair value of the financial instruments are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement. Interest income and interest expenses on loans designated as at fair value and other fixed-income securities are presented within "Net interest income".

The portfolios include commercial paper, bonds, equities, fixed-rate loans in Norwegian kroner, fixed-rate securities issued in Norwegian kroner, such as index-linked bonds and equity-linked bank deposits and other fixed-rate deposits in Norwegian kroner.

Financial derivatives designated as hedging instruments

The baking group enters into hedging transactions to manage interest rate risk on long-term borrowings and deposits in foreign currencies. These transactions are recognised as fair value hedges. See item Hedge accounting.

Loans and receivables carried at amortised cost

Loans and receivables carried at amortised cost are recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Recognition and subsequent measurement follow the effective interest method. The effective interest method is described under Recognition in the income statement and in other comprehensive income. Upon subsequent measurement, amortised cost is set at the net present value of contractual cash flows based on the expected life of the financial instrument, discounted by the effective interest rate.

Interest income on financial instruments classified as lending is presented within "Net interest income" using the effective interest method.

A decrease in value on the balance sheet date based on objective indications of impairment for loans valued at amortised cost and in the portfolios of fixed-rate loans measured at fair value, are presented within "Impairment of loans and guarantees".

Other changes in value of the portfolios of fixed-rate loans measured at fair value, and changes in value of loans included in the trading portfolio are presented within "Net gains on financial instruments at fair value".

Held-to-maturity investments carried at amortised cost

Held-to-maturity investments are carried at amortised cost and recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Recognition and subsequent measurement follow the effective interest method. The effective interest method is described under Recognition in the income statement and in other comprehensive income.

Upon subsequent measurement, amortised cost is set at the net present value of contractual cash flows based on the expected life of the financial instrument, discounted by the effective interest rate.

Interest income relating to the instruments is presented within "Net interest income". This category mainly comprises the international bond portfolio in DNB Markets.

Financial assets available for sale carried at fair value with changes in value recognised in other comprehensive income

Financial assets in the available for sale category are recognised at fair value with the subsequent change in fair value presented in other comprehensive income. See below about the determination of fair value. At the time of realisation the change in fair value shall be included as a part of the gain that is presented in the income statement. Financial assets are classified in this category due to the fact that they do not meet the criteria for being classified in any of the other categories presented above.

Other financial liabilities carried at amortised cost

Financial liabilities carried at amortised cost are recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Interest expenses on such instruments are presented within "Net interest income" using the effective interest method. This category includes deposits from customers and credit institutions, commercial paper issued, bonds, subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities.

Issued financial guarantees

Contracts resulting in the banking group having to reimburse the holder for a loss incurred because a specific debtor fails to make payment when due, are classified as issued financial guarantees.

On initial recognition, issued financial guarantees are recognised at the consideration received for the guarantee.

Issued financial guarantees are subsequently measured at the higher of the consideration received for the guarantee excluding any amortised amounts recognised in the income statement and the best estimate of the consideration due if the guarantee is honoured.

When issuing financial guarantees, the consideration for the guarantee is presented within the line item "Provisions" in the balance sheet. Changes in the carrying amount of financial guarantees are recognised within the line item "Net gains on financial instruments at fair value", except for changes related to guarantees which are part of loans which are individually impaired. Changes in the value of such guarantee contracts are recognised within the line item "Impairment of loans and guarantees".

Note 1 Accounting principles (continued)

Financial instruments with the characteristics of equity

Issued additional Tier 1 capital instruments are instruments where DNB has a unilateral right not to repay interest or the principal to the investors. As a consequence of these terms, the instruments do not meet the requirements for a liability and are therefore presented on the line Additional Tier 1 capital within the Group's equity. Transaction expenses and accrued interest are presented as a reduction in Other equity, while the advantage of the tax deduction for the interest will give an increase in Other equity.

Equity in foreign currency shall be converted to Norwegian kroner based on the exchange rate on the transaction date and is not subject to subsequent revaluation.

Offsetting

Financial assets and financial liabilities are offset and presented net in the balance sheet when the banking group has a legally enforceable right to offset recognised amounts and has agreed to settle the balances on a net basis or to realise the asset and settle the liability simultaneously. Master netting agreements or similar agreements give the right to offset in the event of default. Such agreements reduce the baking group's exposure in the event of default, but do not on their own qualify for offsetting in accordance with IFRS, as there also needs, to be an intention to settle the contractual cash flows net on an ongoing basis. See note 29 Offsetting for details about the financial assets and financial liabilities subject to offsetting agreements.

Determination of fair value

Fair value is the price that would be received by selling an asset or paid to transfer a liability in an orderly transaction between market participants at the measurement date. Financial assets and liabilities in active markets are measured at the price within the bid-ask spread that is most representative of the fair value at the measurement date. In most cases bid or asking prices for these instruments are the most representative price for assets and liabilities respectively. Derivatives which are carried net are recognised at midmarket prices at the balance sheet date.

Financial instruments measured at fair value are valued on a daily basis with the exception of a few financial instruments that are valued on a monthly or quarterly basis. As far as possible, directly observable market prices are used. Valuations of the various types of financial instruments are based on well-acknowledged techniques and models. The prices and input parameters used are controlled and assessed based on established routines and control procedures.

The control environment for fair value measurement of financial instruments is an integrated part of the company's financial reporting. A number of controls are carried out on a daily basis, including controls of the day-one results on traded positions and controls of the key input parameters in the valuation. At the end of each month and quarter, extended controls are carried out to ensure that the valuations are consistent with the accounting policy for fair value including variation analyses. Special emphasis is placed on valuations in the level 3 in the valuation hierarchy, where the effects may be significant or particularly challenging. In addition, a description of valuation principles, quarterly effects and valuation challenges is prepared for key assets in this category and presented to the group management team, the Group Audit and the Audit Committee.

Instruments traded in an active market

With respect to instruments traded in an active market, quoted prices are used, obtained from a stock exchange, a broker or a price-setting agency.

A market is considered active if it is possible to obtain external, observable prices, exchange rates or interest rates and these prices represent actual and frequent market transactions.

Some investments in equities and commercial paper and bonds are traded in active markets.

Instruments not traded in an active market

Financial instruments not traded in an active market are valued according to different valuation techniques and are divided into two categories:

Valuation based on observable market data:

- recently observed transactions in the relevant instrument between informed, willing and independent parties
- instruments traded in an active market which are substantially similar to the instrument that is valued
- other valuation techniques where key parameters are based on observable market data.

Valuation based on other factors than observable market data:

- estimated cash flows
- valuation of assets and liabilities in companies
- models where key parameters are not based on observable market data
- possible industry standards.

When using valuation techniques, the estimated fair values of financial OTC derivatives are adjusted for the counterparty's credit risk (CVA) or the banking group's own credit risk (DVA). The banking group estimates CVA as a function of a simulated expected positive exposure, the counterparty's probability of default and loss given default. The majority of the banking group's derivative counterparties have no market-implied credit spread and no external rating. Internal ratings are therefore combined with historical credit default swap (CDS) spreads as well as current CDS indices to arrive at estimated CDS spreads. This means that the banking Group exploits its own credit models and their discriminatory power, but calibrates against pricing levels for similar credit risk among market participants. The DVA is based on the same approach, using an assessment of the banking group's credit spread.

Note 1 Accounting principles (continued)

For financial instruments measured by using valuation techniques, a gain or loss might from time to time occur at initial recognition when the estimated fair value is different from the actual transaction price. When the measurement is based on non-observable input parameters (level 3), the gain or loss is deferred and therefore not recognised at day one. Fair value changes in later period are only recognised to the extent the change is caused by factors that market participants would take into account.

Impairment of financial assets

At end of each reporting period, the banking group consider whether any objective evidence of impairment exists. A financial asset or group of financial assets is impaired if there is any objective evidence of impairment. Objective evidence of impairment includes;

- serious financial problems on the part of the debtor,
- non-payment or other serious breaches of contract,
- the probability that the debtor will enter into debt negotiations or
- other special circumstances that have occurred.

Renegotiation of loan terms to ease the position of the borrower qualifies as objective indications of impairment.

Individual impairment of loans

If objective evidence of impairment exists, impairment on loans are calculated as the difference between the carrying amount and the net present value of estimated future cash flows discounted by the original effective interest rate.

Individual impairment of loans reduces the carrying amount of loans and guarantees. Impairment during the period is recognised as "Impairment of loans and guarantees" in the profit or loss.

Collective impairment of loans

Loans which are not individually impaired are assessed collectively for impairment. The assessment is based on whether objective evidence of impairment exists that can be related to a group of financial assets.

Loans are grouped on the basis of similar credit risk characteristics and in accordance with the division of customers into sectors or industries and risk categories. Impairment is estimated per group of financial assets based on estimates of the general economic situation and loss experience for the respective groups.

Collective impairment reduces the carrying amount of the line item "Loans to customers" in the balance sheet. Changes during the period are recognised within the line item "Impairment of loans and guarantees" in the income statement. Like individual impairment, collective impairment is discounted. The discount factor is based on statistics derived from individual impairment. Interest is calculated on loans subject to collective impairment according to the same principles and experience base as for loans evaluated on an individual basis.

Repossession of assets

Assets which are repossessed as part of the management of non-performing and impaired loans are recognised at fair value at the time of acquisition. Such assets are recognised in the balance sheet according to the nature of the asset. Any difference between the carrying amount of the loan and the fair value of the asset is presented within the line item "Impairment of loans and guarantees" in the income statement. Subsequent valuations and presentation of the impact to the income statement follow the principles for the relevant balance sheet item.

Hedge accounting

When instruments are individually hedged, there is a clear, direct and documented correlation between changes in the value of the hedged item resulting from the hedged risk and changes in the value of the financial derivative (hedging instrument).

Upon entering into the hedging relationship, the correlation between the hedged item and the hedging instrument is documented. In addition, the underlying risk management objective and strategy are documented. Changes in fair value related to the hedged risk of the hedged item and instrument are evaluated periodically to ensure the necessary hedge effectiveness. Hedging instruments are recognised at fair value in the financial statements and changes in the fair value are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement.

Changes in the fair value of the hedged item attributable to the hedged risk will be recognised as an addition to or deduction from the balance sheet value of financial liabilities and assets and presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement.

If the hedge relationship ceases or adequate hedge effectiveness cannot be verified, the accumulated change in fair value of the hedged item is amortised over the remaining maturity.

The banking group undertakes hedging of investments in foreign subsidiaries to eliminate the currency risk on the invested amount. Hedging transactions are in the form of currency swaps or long-term borrowings in foreign currency. In the consolidated financial statement, the hedge relationships are presented as hedging of net investments in international operations.

Investment property and fixed assets

Properties held to generate profits through rental income or for an increase in value, are presented in the balance sheet as investment property. Other tangible assets are presented as fixed assets in the balance sheet.

On initial recognition, investment properties are measured at cost including acquisition costs.

Note 1　Accounting principles (continued)

In subsequent periods, investment properties are measured at fair value. No annual depreciation is made on an investment property. Investment properties are valued at fair value using well-acknowledged valuation techniques. Internal and external expertise is used for valuations. A selection of external appraisals are obtained and compared with internal valuations for control purposes. Providers of valuations are also followed up on an ongoing basis through dialogue and enquiries concerning the valuation of individual properties. A memo is prepared each quarter, describing the valuation of key investment properties. The memo is presented to the group management team, the Group Audit and the Audit Committee. Changes in fair value of investment property are recognised within the line item "Net gains on investment property" in the income statement.

Other tangible assets are measured at cost less accumulated depreciation and impairment losses. Cost includes expenses directly related to the acquisition of the asset. Subsequent expenses are capitalised on the relevant assets when it is probable that future economic benefits associated with the expenditure will flow to DNB Bank and can be measured reliably. Expenses for repairs and maintenance are recognised in the income statement as they occur.

The residual values and useful lives of the assets are reviewed annually and adjusted if required. Gains and losses on the sale of fixed assets are recognised within the line item "Net gain on fixed and intangible assets" in the income statement.

Intangible assets

Goodwill

Goodwill is initially measured at the acquisition date, as the excess of the aggregate of the consideration transferred and the amount recognised for any non-controlling interest over the fair value of the identifiable assets acquired and liabilities assumed in a business combination. Goodwill acquired is allocated to each cash generating unit, or group of units, expected to benefit from the combination's synergies. Following initial recognition, goodwill is measured at cost less any accumulated impairment losses.

Development of IT systems and software

Acquired software is recognised at cost with the addition of expenses incurred to make the software ready for use. Identifiable costs for internally developed software controlled by the banking group where it is probable that economic benefits will cover development expenses at the balance sheet date, are recognised as intangible assets. When assessing balance sheet values, the economic benefits are evaluated on the basis of profitability analyses. Development expenses include expenses covering pay to employees directly involved in the project, materials and a share of directly related overhead expenses. Expenses relating to maintenance of software and IT systems are charged to the income statement as they occur. Software expenses recognised in the balance sheet are depreciated according to a straight line principle over their expected useful life, usually five years. The assessment for whether there is a need for impairment is considered according to the principles described below.

Impairment of fixed and intangible assets

At end of each reporting period the banking group considers whether any indication of impairment of fixed or intangible assets exists. If such indication exists, the recoverable amount of the asset is calculated to estimate possible impairment. Goodwill and intangible assets with an indefinite useful life are tested for impairment minimum once a year even if no indication of impairment exists. DNB has chosen to perform this annual test in the fourth quarter.

The recoverable amount represents the higher of an asset's fair value less costs to sell and its value in use. If the asset's carrying amount exceeds the estimated recoverable amount, the asset is written down to its recoverable amount. See note 37 Intangible assets for description of impairment testing.

The following relevant criteria are considered when assessing whether indications of impairment exists:

- a decline in the asset's market value
- changes in the long-term return requirement which may affect the discount rate used in the calculation of the asset's value in use
- plans to restructure or liquidate the asset
- the asset generates less income than anticipated.

When performing impairment tests for goodwill, the assessment of the appropriate cash-generating unit is based on where it is possible to identify and separate independent cash inflows relating to operations. A cash-generating unit may include goodwill from several transactions, and the impairment test of the unit includes all goodwill allocated to the unit.

Calculations of value in use are based on historical results and plan figures approved by management. On the basis of plan figures for the cash-generating units, a future cash flow is estimated, defined as the potential return to the owner. The return includes profits from operations adjusted for the need to build sufficient capital to meet expected future capital adequacy requirements. Higher capital requirements due to expanded operations could make it necessary to retain part of the profits or to inject more capital from the owner, if profits from operations are not adequate to build the necessary capital. Beyond the plan period, which is three years, cash flow trends are assumed to reflect market expectations for the type of operations carried out by the cash-generating unit. Future expected cash flows are established for a 10 year period where the Gordons growth formula is used to estimate the terminal value to be included.

The required rate of return is based on an assessment of the market's required rate of return for the type of operations carried out by the cash-generating unit. The required rate of return reflects the risk of the operations. Goodwill from the acquisition of companies generating cash flows in foreign currencies is translated at exchange rates at the balance sheet date.

Note 1 Accounting principles (continued)

Pensions

Defined-benefit pension schemes

In a defined-benefit scheme, the employer is committed to paying future specified pension benefits.

The basis for calculating pension expenses is a linear distribution of pension entitlements measured against estimated accumulated commitments at the time of retirement. Pension commitments which are administered through life insurance companies, are matched against funds within the scheme. When total pension funds exceed estimated pension commitments on the balance sheet date, the net value is classified as an asset in the balance sheet if it has been rendered probable that the overfunding can be utilised to cover future commitments. When pension commitments exceed pension funds, the net commitments are classified under liabilities in the balance sheet. Each scheme is considered separately.

Pension commitments are estimated based on the present value of estimated future pension payments at the balance sheet date. The calculation of the pension commitments is based on actuarial and economic assumptions about life expectancy, rise in salaries and early retirement. The discount rate used is determined by reference to the yield on covered bonds at the balance sheet date, plus an add-on that takes into account the relevant duration of the pension commitments.

The financial effects of changes in pension schemes are recognised as an expense at the earlier of the following dates:

- when the plan amendment or curtailment occurs; and
- when the entity recognises related restructuring costs or termination benefits, if any

Pension expenses are based on assumptions determined at the start of the period. When calculating pension expenses, the discount rate is used on the net pension commitment. The pension expenses are presented as follows:

- the service cost for the current and previous periods, gains and losses in connection with settlement and net interest income/expenses are recognised in profit or loss as salaries and other personnel expenses, and
- remeasurements which include actuarial gains and losses are recognised in other comprehensive income in the period in which they occur.

Employer's contributions are included in pension expenses and pension commitments. The Group's life insurance company, DNB Livsforsikring AS, largely administers the banking group's pension schemes in Norway. See note 24 Pensions for more information regarding pensions.

Defined-contribution pension schemes

Under defined-contribution pension schemes, the banking group does not commit itself to paying specified future pension benefits, but makes annual contributions to the employees' pension savings. Future pensions will depend on the size of annual contributions and the annual return on pension savings. After paying annual contributions, the banking group has no further commitments linked to employees' work performance. The expenses following from the defined-contribution pension schemes are recognised in the income statement.

Income tax

Taxes for the year comprise payable taxes for the financial year, any payable taxes for previous years and changes in deferred taxes on temporary differences. Temporary differences are differences between the carrying amount of an asset or liability and the taxable value of the asset or liability. The most significant temporary differences refer to changes in the fair value of financial assets and liabilities, pension obligations, depreciation of fixed assets and properties and impairment losses for goodwill. Deferred taxes are calculated on the basis of tax rates and tax rules that are applied on the balance sheet date or are highly likely to be approved and are expected to be applicable when the deferred tax asset is realised or the deferred tax liability settled.

Deferred tax assets are recognised in the balance sheet to the extent that it is probable that future taxable income will be available against which they can be utilised. Deferred taxes and deferred tax assets within the same tax group are presented net in the balance sheet.

Tax payable and deferred taxes relating to elements of other comprehensive income are presented net along with the related income or cost in the comprehensive income statement.

Restructuring

If restructuring plans that change the scope of the banking group's operation or the way the banking group carries out its operation are approved and communicated to the affected employees, the need for restructuring provisions is considered. This includes provisions for agreements on severance packages with employees when used as part of the restructuring. The provisions are reviewed on each reporting date and are reversed as expenses are incurred.

Leasing

A lease is classified as a finance lease if it transfers substantially all the risks and rewards incidental to ownership. Other leases are classified as operating leases.

DNB Bank as lessor

Operating leases

Operating leases are leases where not an insignificant share of the risk and rewards relating to the investment in the leased object accrues to DNB Bank at the end of the lease period. Operating assets are recognised as fixed assets in the balance sheet. Income from operating leases is recognised over the lease term on a straight-line basis. Depreciation of the fixed assets is presented as ordinary depreciation in the income statement.

Note 1 Accounting principles (continued)

Financial leases

Financial leases are presented as lending in the balance sheet, and at inception the lease is measured at an amount equal to the net investment in the lease. The net investment represents minimum lease payments, unguaranteed residual values and any direct expenses incurred by the lessor in negotiating the lease, discounted by the implicit interest rate (internal rate of return). Leasing income is recognised in the income statement according to the annuity method, where the interest component is recognised within the line item "Net interest income" while instalments reduce the balance sheet value of the loan.

DNB Bank as lessee

Operating leases

Lease payments are recognised in the income statement as an expense on a straight-line basis over the lease term unless another systematic basis is more representative of the time pattern of DNB Bank's use of the asset.

Cash flow statements

The cash flow statements show cash flows grouped according to source and use. The cash flows are presented as operating activities, investment activities or funding activities. Cash is defined as cash, deposits with central banks and deposits with credit institutions with no agreed period of notice. The cash flow statement has been prepared in accordance with the direct method.

Dividends

Proposed dividends are part of equity until approved by the general meeting. At that time, the dividend is presented as liability in the financial statement. Proposed dividends are not included in capital adequacy calculations.

Approved standards and interpretations that have not entered into force

By the end of 2015 the IASB had published a number of amendments to current regulations which have not entered into force. Below is a description of the amendments which may affect the banking group's future reporting.

IFRS 9 Financial Instruments

In July 2014, the IASB issued the new standard for financial instruments IFRS 9 Financial Instruments, which will replace the current IAS 39. The new standard introduces a business model oriented approach for classification of financial assets, an expected loss model for impairment and a new general hedge accounting model. IASB is still working on a new requirement related to macro hedge accounting. This work has been established as a separate project and is expected to be finalised at a later point in time.

IFRS 9 is effective from 1 January 2018, but earlier adoption is permitted. The standard has not yet been endorsed by the EU but it is expected that this will be done during 2016. DNB Bank will not utilise the opportunity for early adoption.

Under IFRS 9, financial assets are classified on the basis of the business model adopted for managing the assets and their contractual cash flow characteristics, including any embedded derivatives. Assets held with the objective of collecting contractual cash flows that are solely payments of principal and interest, are measured at amortised cost. Assets held with the objective of both collecting contractual cash flows and selling, and at the same time have contractual cash flows that are solely payments of principal and interest, are measured at fair value through other comprehensive income. This results in assets recognised at fair value in the balance sheet and at amortised cost in the income statement. Other financial assets are measured at fair value through profit or loss. The option in IAS 39 to designate assets as being held at fair value through profit or loss if certain criteria are fulfilled has been retained in the new standard.

For financial liabilities the requirements are generally unchanged compared to the current IAS 39. As the main rule, financial liabilities are still to be measured at amortised cost with the exception of financial derivatives measured at fair value, financial instruments being part of the trading portfolio and financial liabilities designated as being held at fair value through profit or loss. With respect to financial liabilities designated as at fair value through profit or loss changes in fair value relating to the company's own credit risk shall, however, be recognised in other comprehensive income.

According to prevailing rules, impairment for credit losses shall only be recognised when objective evidence of impairment losses exists. This model has, in the aftermath of the financial crisis, been criticised for recognising impairments losses too late and with too small amounts. Impairment provisions according to IFRS 9 shall be measured using an expected loss model, instead of an incurred loss model as in IAS 39. The impairment rules in IFRS 9 will be applicable to all financial assets measured at amortised cost or at fair value with the changes in fair value recognised in other comprehensive income. In addition, loan commitments, financial guarantee contracts and lease receivables are within the scope of the standard.

The measurement of the provision for expected credit losses on financial assets depends on whether the credit risk has increased significantly since initial recognition. At initial recognition and if the credit risk has not increased significantly, the provision should equal 12-month expected credit losses. If the credit risk has increased significantly, the provision should equal lifetime expected credit losses. This dual approach replaces today's collective impairment model. For individual impairment there are no significant changes in the rules compared with the current rules.

During 2015, DNB Bank continued the process to analyse the need for changes to the bank's models and IT systems following the implementation of the new rules for impairment provisions. Even though the bank expects to build on today's IRB framework, IFRS 9 introduces new rules and concepts that require further development of the bank's models and IT systems. The work has started and is expected to continue throughout 2016 and into 2017. It is currently too early to estimate the expected impact to the Group's financial statements. Preliminary expectations are that the implementation of IFRS 9 could lead to increased provisions for credit loss due to the change from an incurred loss model to an expected loss model.

Note 1 Accounting principles (continued)

IFRS 15 Revenue from contracts with customers

IFRS 15 was issued by the IASB in May 2014 and establishes a new five-step model that will apply to revenue arising from contracts with customers. Under IFRS 15, revenue is recognised at an amount that reflects the consideration to which an entity expects to be entitled in exchange for transferring goods or services to a customer. The principles in IFRS 15 provide a more structured approach to measuring and recognising revenue.

The new revenue standard is applicable to all entities and will supersede all current revenue recognition requirements under IFRS. Contracts with customers that will be accounted for in accordance with the IFRS 9 Financial instruments shall however follow the requirements in IFRS 9 as they are scoped out of IFRS 15.

IFRS 15 is effective for annual periods beginning on or after 1 January 2018. Earlier application is permitted. The banking group is currently assessing the impact of IFRS 15 and it is still too early to give an estimate of the expected impact on the banking group's financial statements.

Important accounting estimates, judgments and assumptions

When preparing the consolidated financial statements, management makes estimates, judgment and assumptions that affect the application of the accounting principles and the carrying amount of assets, liabilities, income and expenses. Estimates and assumptions are subject to continual evaluation and are based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be probable on the balance sheet date.

Impairment of loans

Estimates of future cash flows are based on empirical data and management's judgment of future macroeconomic developments and developments in the performance of the actual loans and on the situation at the balance sheet date. The estimates are the result of a process which involves the business areas and central credit units and represents management's best estimate. When considering impairment of loans, there will be several elements of uncertainty with respect to the identification of objective evidence of impairment, the estimation of amounts and the timing of future cash flows, including the valuation of collateral.

Individual impairment

When estimating impairment of individual loans and guarantees, both the current and the future financial positions of the customer are considered. For corporate customers, the prevailing market situation is also reviewed, along with market conditions within the relevant industry and general market conditions which could affect the customers' ability to repay the loans. In addition, potential restructuring, refinancing and recapitalisation are taken into account. An overall assessment of these factors forms the basis for estimating the future cash flow. The discount period is estimated on an individual basis or based on empirical data about the period it normally takes to reach a solution to the problems that caused the objective indication of impairment.

Collective impairment

The expected future cash flow is estimated on the basis of expected losses and the anticipated economic situation for the respective groups. Expected losses are based on historical loss experience for the relevant groups. The economic situation is assessed by means of economic indicators for each group based on external information about the markets. Various parameters are used depending on the group in question. Key parameters are production gaps, which give an indication of capacity utilisation in the economy, housing prices, oil prices, salmon prices and shipping freight rates. The economic indicators that are used show a high degree of correlation with historical impairment. To estimate the net present value of expected future cash flows for loans subject to collective impairment, a discount factor based on observed empirical data from individually evaluated loans is used.

Fair value of financial derivatives and other financial instruments

The fair value of financial instruments that are not traded in an active market is determined by using different valuation techniques. The banking group considers and chooses techniques and assumptions that as far as possible are based on observable market data representing the market conditions on the balance sheet date. When measuring financial instruments for which observable market data are not available, the banking group makes assumptions regarding what market participants would use as the basis for valuing similar financial instruments. The valuations require application of significant judgment when calculating liquidity risk, credit risk and volatility among others. Changes in these factors would affect the estimated fair value of the banking group's financial instruments. For more information see note 28 Financial instruments at fair value.

Income taxes, including deferred tax assets and uncertain tax liabilities

The banking group is subject to income taxes in a number of jurisdictions. Significant judgment is required in determining the income tax in the consolidated financial statements, including assessments of recognised deferred tax assets and uncertain tax liabilities.

Deferred tax assets are recognised to the extent it is probable that the banking group will have future taxable income against which they can be utilised. Extensive assessments must be made to determine the amount which can be recognised, included the expected time of utilisation, the level of profits computed for tax purposes as well as strategies for tax planning and the existence of taxable temporary differences.

There will be uncertainty related to the final tax liability for many transactions and calculations. The banking group recognises liabilities related to the future outcome of tax disputes based on estimates of changed income taxes. When assessing the uncertain tax liabilities to be recognised in the balance sheet, the probability of the liability arising is considered. If the final outcome of the tax disputes deviates from the amounts recognised in the balance sheet, the deviations will impact the income tax expense in the income statement for the applicable period.

Note 2 Segments

Financial governance in DNB is geared to the different customer segments. The follow-up of total customer relationships and segment profitability are two important dimensions when making strategic priorities and deciding where to allocate the banking group's resources. Special product areas are responsible for production and development for parts of the product range and for ensuring that the banking group meets the needs of the various customer segments. Reported figures for the different segments will reflect the banking group's total sales of products and services to the relevant customer segments. The customer segments have recently been redefined. As of 1 January 2015, DNB Finans' operations in Sweden and Denmark are included in the large corporates and international customers segment. Previously, these operations were divided between the small and medium-sized enterprises segment and the personal customer segment. Figures for previous periods have been adjusted correspondingly.

Personal customers - includes the banking group's total products and activities to private customers in all channels, both digital and physical. DNB offers a wide range of products through Norway's largest distribution network, comprising branches, telephone banking (24/7), digital banking, real estate broking as well as external channels (post offices and in-store postal and banking outlets).

Small and medium-sized enterprises - is responsible for product sales and advisory services to small and medium-sized enterprises in Norway. DNB aspires to be a local bank for the whole of Norway, while offering the products and expertise of a large bank. Customers in this segment range from small businesses and start-up companies to relatively large corporate customers, and the product offerings are adapted to the customers' different needs. Small and medium-sized enterprises are served through the banking group's large physical distribution network throughout Norway as well as digital and telephone banking (24/7).

Large corporates and international customers - includes large Norwegian and international corporate customers and all customers served by DNB's subsidiary banks in the Baltics and Poland. Operations are based on sound industry expertise and long-term customer relationships.

Trading - includes market making and other trading activities in fixed income, currencies and commodities (FICC) as well as equities, including risk management of the risk inherent in customer transactions. Markets' trading activities support the customer activities.

The income statement and balance sheet for the segments have been prepared on the basis of internal financial reporting for the functional organisation of the DNB Bank Group into segments, as reported to group management (chief operating decision maker) for an assessment of current developments and the allocation of resources. Figures for the segments are based on DNB's management model and accounting principles. The figures have been restated in accordance with the banking group's current principles for allocating costs and capital between segments and are based on a number of assumptions, estimates and discretionary distributions.

Capital allocated to the segments is calculated on the basis of the banking group's common equity Tier 1 capital and long-term capitalisation ambition. The allocation of capital to all units is based on the banking group's adaptation to Basel III, full IRB, and the capital allocated in 2015 corresponds to a common equity Tier 1 capital ratio of 14.5 per cent. The allocation of credit risk is based on the banking group's internal measurement of risk-adjusted capital requirements for credit. Capital requirements for market risk are allocated directly in accordance with risk-weighted volume, and operational risk is allocated based on the respective units' total income.

Income statement — **DNB Bank Group**

Amounts in NOK million	Personal customers		Small and medium-sized enterprises		Large corporates and international customers		Trading		Other operations/ eliminations [1]		DNB Bank Group	
	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014
Net interest income	13 655	13 484	6 131	5 643	15 186	13 553	59	429	464	(502)	35 536	32 607
Net other operating income	3 691	3 528	1 190	1 103	5 232	4 893	1 503	1 584	5 292	3 014	16 909	14 122
Total income	17 346	17 012	7 322	6 745	20 427	18 446	1 562	2 013	5 756	2 512	52 444	46 729
Operating expenses	(8 178)	(7 862)	(2 521)	(2 478)	(6 341)	(5 746)	(504)	(504)	510	(1 220)	(17 032)	(17 809)
Depreciation and impairment of fixed and intangible assets	(131)	(88)	(320)	(301)	(1 135)	(1 021)	(2)	(9)	(572)	(608)	(2 159)	(2 028)
Total operating expenses	(8 307)	(7 949)	(2 840)	(2 779)	(7 476)	(6 767)	(505)	(513)	(62)	(1 828)	(19 191)	(19 836)
Pre-tax operating profit before impairment	9 039	9 062	4 481	3 966	12 951	11 679	1 057	1 500	5 694	685	33 253	26 893
Net gains on fixed and intangible assets	0	(3)	(2)	42	53	21		(0)	(7)	(7)	45	52
Impairment of loans and guarantees [2]	939	(110)	(1 068)	(869)	(2 108)	(674)		0	(33)	13	(2 270)	(1 639)
Profit from repossessed operations			3	(23)	(67)	(102)			64	125		
Pre-tax operating profit	9 979	8 949	3 414	3 117	10 829	10 924	1 057	1 500	5 719	816	31 028	25 306
Tax expense	(2 694)	(2 416)	(922)	(842)	(3 140)	(3 367)	(283)	(405)	(716)	875	(7 755)	(6 174)
Profit from operations held for sale, after taxes	2					2			(53)	(24)	(51)	(22)
Profit for the year	7 286	6 533	2 492	2 275	7 689	7 540	804	1 095	4 951	1 667	23 222	19 110

1) See the tables below for more information about other operations/eliminations.
2) See note 10 Impairment of loans and guarantees for principal customer groups for an analysis of the gross change in impairment for the banking group.

Note 2 Segments (continued)

Balance sheets

DNB Bank Group

Amounts in NOK billion	Personal customers		Small and medium-sized enterprises		Large corporates and international customers		Trading		Other operations/ eliminations		DNB Bank Group	
	31.12.15	31.12.14	31.12.15	31.12.14	31.12.15	31.12.14	31.12.15	31.12.14	31.12.15	31.12.14	31.12.15	31.12.14
Loans to customers [1]	685	679	220	209	570	541	33	10	24	10	1 532	1 447
Assets held for sale	0	0			0	0			0	1	0	1
Other assets	27	16	7	4	125	143	1 241	1 067	(617)	(316)	783	914
Total assets	713	695	227	213	695	684	1 274	1 077	(593)	(305)	2 316	2 362
Deposits from customers [1]	393	366	167	166	380	380	13	31	4	8	957	951
Liabilities held for sale					(0)				0	0	0	0
Other liabilities	289	300	40	27	246	242	1 253	1 039	(644)	(339)	1 185	1 270
Total liabilities	682	666	207	193	626	623	1 266	1 070	(640)	(331)	2 142	2 221
Allocated capital [2]	31	28	20	20	69	61	7	6	47	26	173	141
Total liabilities and equity	713	695	227	213	695	684	1 274	1 077	(593)	(305)	2 316	2 362

1) *Loans to customers include accrued interest, impairment and value adjustments. Correspondingly, deposits from customers include accrued interest and value adjustments. In November 2015, a portfolio of residential mortgages amounting to approximately NOK 20 billion was sold from DNB Boligkreditt to DNB Livsforsikring, the lifeinsurance company owned by DNB ASA. Personal Banking Norway will continue to manage the portfolio on behalf of DNB Livsforsikring.*
2) *Allocated capital for the segments is calculated based on the external capital adequacy requirement (Basel II) which must be met by the banking group. Allocated capital for the banking group is recorded equity. In consequence of stricter external capital requirements and the authorities' signals of additional capital requirements for home mortgages, allocated capital to Personal customers were adjusted upwards in 2015. This resulted in a lower return on capital compared with the preceding periods.*

Key figures

DNB Bank Group

Per cent	Personal customers		Small and medium-sized enterprises		Large corporates and international customers		Trading		Other operations/ eliminations		DNB Bank Group	
	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014	2015	2014
Cost/income ratio [1]	47.9	46.7	38.8	41.2	36.6	36.7	31.7	25.5			36.6	42.4
Ratio of deposits to loans as at 31 December [2]	57.3	53.9	75.8	79.2	66.8	70.4					62.5	65.7
Return on allocated capital [3]	22.7	23.3	12.0	11.8	10.9	13.8	11.2	16.1			15.1	14.5

1) *Total operating expenses relative to total income.*
2) *Deposits from customers relative to loans to customers.*
3) *Allocated capital for the segments is calculated based on the external capital adequacy requirement (Basel II) which must be met by the banking group. Recorded capital is used for the banking group. In consequence of stricter external capital requirements and the authorities' signals of additional capital requirements for home mortgages, allocated capital to Personal customers were adjusted upwards in 2015.This resulted in a lower return on capital compared with the preceding periods.*

Other operations/eliminations

Other operations/eliminations include IT and Operations, HR (Human Resources), Group Finance including Group Treasury, Risk Management, Corporate Communications, the partially owned company Eksportfinans, investments in IT infrastructure and shareholder-related costs. In addition, Other operations/eliminations include that part of the banking group's equity that is not allocated to the segments. Profits from repossessed operations which are fully consolidated in the DNB Bank Group are presented net under "Profit from repossessed operations" in the internal reporting of segments. The acquired companies and all intra-group eliminations are included in Other operations/eliminations.

Pre-tax operating profit

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	2015	2014
Unallocated interest income	148	(707)
Investments in Nets Holding		913
Income from equity investments (see note 20)	126	(125)
Gains on fixed and intangible assets	(6)	(7)
Mark to market adjustments Group Treasury and fair value of loans (see note 20)	1 000	(222)
Basis swaps (see note 20)	2 685	394
Eksportfinans ASA	(45)	248
Net gains on investment property	312	78
Profit from repossessed operations	64	125
Unallocated impairment of loans and guarantees	(32)	14
Unallocated personnel expenses (see note 21)	1 450	(188)
Unallocated it and Operations expenses	278	234
Funding costs on goodwill	(27)	(36)
Impairment losses for goodwill and capitalised systems development (see notes 37, 38)	(21)	(1)
IT restructuring	(234)	(21)
Reversal of provisions (see note 22)	46	73
Impairment of investment property and fixed assets	(60)	(61)
Other	35	105
Pre-tax operating profit	5 719	816

Note 2 Segments (continued)

Geographic areas

Income statement — DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Baltics and Poland 2015	Baltics and Poland 2014	Other international operations 2015	Other international operations 2014	Norway 2015	Norway 2014	DNB Bank Group 2015	DNB Bank Group 2014
Net interest income	1 388	1 252	8 933	5 329	27 214	26 026	35 536	32 607
Net other operating income	837	700	3 048	2 536	13 024	10 886	16 909	14 122
Total income	2 225	1 952	9 981	7 865	40 237	36 912	52 444	46 729

Balance sheet items — DNB Bank Group

Amounts in NOK billion	Baltics and Poland 31.12.15	Baltics and Poland 31.12.14	Other international operations 31.12.15	Other international operations 31.12.14	Norway 31.12.15	Norway 31.12.14	DNB Bank Group 31.12.15	DNB Bank Group 31.12.14
Loans to customers	66	62	233	207	1 233	1 179	1 532	1 447
Total assets	77	91	283	581	1 975	1 690	2 316	2 362
Guarantees	2	2	35	32	74	69	110	103

Product information

See note 17 Net interest income, note 18 Interest rates on selected balance sheet items, note 19 Net commission and fee for further information on products.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy

The Basel Committee proposed a new international regulatory framework for capital and liquidity for banks in 2010 (Basel III). The EU has implemented the regulations in its capital requirements directive, CRD IV, and capital requirements regulation, CRR. The regulations entered into force as from 1 January 2014. Important parts of the Basel III regulations were transposed into Norwegian legislation as of 1 July 2013. As part of the Group's Internal Capital Adequacy Assessment Process, ICAAP, the Board of Directors is in dialogue with Finanstilsynet regarding the capitalisation of the Group.

On its Capital Markets Day in November 2015, DNB presented a higher common equity Tier 1 capital ratio target of minimum 15 per cent from year-end 2016 and approximately 15.5 per cent from year-end 2017. The capitalisation targets relate to the Group's risk-weighted assets at any given time.

The DNB Group's capitalisation level shall support the bank's AA level rating target for ordinary long-term funding. The DNB Group had a common equity Tier 1 capital ratio of 14.4 per cent and a capital adequacy ratio of 17.6 per cent at year-end 2015, compared with 12.7 and 15.2 per cent, respectively, at year-end 2014.

The DNB Bank Group had a common equity Tier 1 capital ratio of 14.3 per cent and a capital adequacy ratio of 17.9 per cent at year-end 2015, compared with 12.5 and 15.2 per cent, respectively, a year earlier. In addition, a separate requirement from the US authorities to the banking group relating to the operations of the subsidiary DNB Markets Inc. in New York must be fulfilled, whereby the Tier 1 capital ratio for the banking group must be 6 per cent and the total capital adequacy ratio 10 per cent. At year-end 2015, this requirement was fulfilled by a wide margin.

DNB Bank ASA had a common equity Tier 1 capital ratio of 15.1 per cent and a capital adequacy ratio of 19.3 per cent at year-end 2015, compared to 13.2 per cent and 16.3, respectively, at year-end 2014.

At year-end 2015, DNB Boligkreditt AS had a common equity Tier 1 capital ratio of 15.2 per cent and a capital ratio of 17.3 per cent, calculated according to the transitional rules.

In addition to the regulatory assessment and allocation of capital to the banking group's legal units, an allocation of capital to the operative business areas is made for governance purposes. The banking group's entire equity is allocated to the business areas. The allocation reflects both regulatory requirements and the calculation of risk-adjusted capital requirements.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Capital adequacy

Capital adequacy is reported in accordance with the EU's new capital adequacy regulations for banks and investment firms (CRD IV/CRR). Valuation rules used in the statutory accounts form the basis for the consolidation, which is subject to special consolidation rules governed by the Consolidation Regulations.

DNB Bank ASA		Primary capital	DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
127 720	151 533	Total equity	173 412	141 309
		Effect from regulatory consolidation	(541)	(56)
	(8 053)	Additional Tier 1 capital instruments included in total equity	(8 053)	
	(219)	Net accrued interest on additional Tier 1 capital instruments	(219)	
127 720	143 261	Common equity Tier 1 capital instruments	164 599	141 253
		Deductions		
(7)	(38)	Pension funds above pension commitments	(38)	(7)
(2 963)	(3 012)	Goodwill	(3 029)	(2 979)
	(195)	Deferred tax assets that are not due to temporary differences	(640)	(514)
(831)	(663)	Other intangible assets	(1 075)	(1 224)
		Group contribution, payable	(5 000)	(4 000)
(1 466)	(1 383)	Expected losses exceeding actual losses, IRB portfolios	(2 309)	(2 075)
(509)	(671)	Value adjustments due to the requirements for prudent valuation (AVA)	(1 055)	(917)
278	(15)	Adjustments for unrealised losses/(gains) on debt recorded at fair value	(412)	646
(821)	(785)	Adjustments for unrealised losses/(gains) arising from the institution's own credit risk related to derivative liabilities (DVA)	(150)	(268)
121 402	136 499	Common equity Tier 1 capital	150 889	129 915
4 028	10 267	Additional Tier 1 capital instruments	10 267	4 028
125 430	146 766	Tier 1 capital	161 156	133 944
4 792	5 702	Perpetual subordinated loan capital	5 702	4 792
19 322	22 185	Term subordinated loan capital	22 185	19 322
24 115	27 887	Tier 2 capital	27 887	24 115
149 545	174 653	Total eligible capital	189 043	158 058
919 238	906 084	Risk-weighted volume, transitional rules	1 056 731	1 038 396
73 539	72 487	Minimum capital requirement, transitional rules	84 539	83 072
13.2	15.1	Common equity Tier 1 capital ratio, transitional rules (%)	14.3	12.5
13.6	16.2	Tier 1 capital ratio, transitional rules (%)	15.3	12.9
16.3	19.3	Capital ratio, transitional rules (%)	17.9	15.2

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Basel III

The majority of the credit portfolios are reported according to the IRB approach. However, one portfolio, banks and financial institutions (DNB Bank) is still subject to final IRB approval from Finanstilsynet. The portfolio Large corporate clients rated by simulation models (DNB Bank) was approved in December 2015.

Specification of risk-weighted volume and capital requirements — DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Nominal exposure 31 Dec. 2015	EAD [1] 31 Dec. 2015	Average risk weights in per cent 31 Dec. 2015	Risk-weighted volume 31 Dec. 2015	Capital requirements 31 Dec. 2015	Capital requirements 31 Dec. 2014
IRB approach						
Corporate	798 955	640 170	48.3	309 397	24 752	25 158
Specialised Lending (SL)	8 946	8 175	60.6	4 955	396	134
Retail - mortgage loans	86 769	86 769	29.5	25 565	2 045	1 402
Retail - other exposures	111 886	92 132	26.7	24 568	1 965	2 016
Securitisation	19 162	19 162	78.3	15 007	1 201	1 620
Total credit risk, IRB approach	1 025 717	846 407	44.8	379 493	30 359	30 529
Standardised approach						
Central government	50 761	61 162	0.6	374	30	3
Institutions	1 063 569	804 772	21.0	169 311	13 545	13 357
Corporate	115 485	90 237	93.0	83 915	6 713	12 060
Retail - mortgage loans	5 915	5 447	40.5	2 206	177	146
Retail - other exposures	71 793	26 672	74.4	19 836	1 587	1 573
Equity positions	122 228	122 228	100.3	122 589	9 807	6 543
Other assets	12 109	12 109	175.9	21 297	1 704	1 059
Total credit risk, standardised approach	1 441 860	1 122 627	37.4	419 528	33 562	34 740
Total credit risk	2 467 578	1 969 034	40.6	799 021	63 922	65 269
Market risk						
Position risk, debt instruments				23 116	1 849	1 661
Position risk, equity instruments				243	19	39
Currency risk						
Commodity risk				38	3	9
Credit value adjustment risk (CVA)				11 832	947	1 016
Total market risk				35 230	2 818	2 725
Operational risk				71 833	5 747	5 545
Total risk-weighted volume and capital requirements before transitional rule				906 084	72 487	73 539
Additional capital requirements according to transitional rules						
Total risk-weighted volume and capital requirements				906 084	72 487	73 539

1) *EAD, exposure at default.*

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Specification of risk-weighted volume and capital requirements — DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Nominal exposure 31 Dec. 2015	EAD [1] 31 Dec. 2015	Average risk weights in per cent 31 Dec. 2015	Risk-weighted volume 31 Dec. 2015	Capital requirements 31 Dec. 2015	Capital requirements 31 Dec. 2014
IRB approach						
Corporate	1 108 681	903 210	46.3	417 760	33 421	29 699
Specialised Lending (SL)	10 813	10 042	58.2	5 844	468	179
Retail - mortgage loans	667 612	667 612	22.9	153 008	12 241	8 705
Retail - other exposures	111 886	92 132	26.7	24 568	1 965	2 016
Securitisation	19 162	19 162	78.3	15 007	1 201	1 820
Total credit risk, IRB approach	1 918 154	1 692 158	36.4	616 187	49 295	42 419
Standardised approach						
Central government	60 174	74 103	0.6	411	33	18
Institutions	356 867	121 152	24.7	29 874	2 390	2 899
Corporate	183 450	145 598	87.3	127 046	10 164	16 196
Retail - mortgage loans	48 496	46 475	47.4	22 046	1 764	1 657
Retail - other exposures	93 085	43 513	75.9	33 024	2 642	2 757
Equity positions	2 921	2 921	112.4	3 281	263	228
Securitisation	2 474	2 474	30.2	748	60	66
Other assets	8 779	8 779	108.7	9 539	763	774
Total credit risk, standardised approach	756 247	445 015	50.8	225 970	18 078	24 596
Total credit risk	2 674 401	2 137 172	39.4	842 157	67 373	67 014
Market risk						
Position risk, debt instruments				14 261	1 141	1 380
Position risk, equity instruments				456	36	39
Currency risk						
Commodity risk				38	3	9
Credit value adjustment risk (CVA)				6 429	514	602
Total market risk				21 184	1 695	2 030
Operational risk				84 261	6 742	6 558
Total risk-weighted volume and capital requirements before transitional rule				947 622	75 810	75 603
Additional capital requirements according to transitional rules [2]				109 110	8 729	7 469
Total risk-weighted volume and capital requirements				1 056 731	84 539	83 072

1) EAD, exposure at default
2) Due to transitional rules, the minimum capital adequacy requirements cannot be reduced below 80 per cent of the corresponding figure calculated according to the Basel I regulations.

Note 4 Risk management

Risk management in DNB Bank Group

The Board of Directors of DNB ASA has a clearly stated goal to maintain a low overall risk profile, which is reflected in the DNB Bank ASA's aim to maintain at least an AA level rating for ordinary long-term debt. The profitability of the DNB Bank Group will depend on the ability to identify, manage and accurately price risk arising in connection with financial services.

Organisation and authorisation structure

- *Board of Directors.* The Board of Directors of DNB ASA sets long-term targets for the Group's risk profile. The risk profile is operationalised through the risk management framework, including the establishment of authorisations. Risk-taking should take place within established limits.
- *Authorisations.* Authorisations must be in place for the extension of credit and for position and trading limits in all critical financial areas.
- *All authorisations are personal.* Authorisations and group limits are determined by the Board of Directors and can be delegated in the organisation, though any further delegation requires approval by an immediate superior.
- *Annual review of limits.* Risk limits are reviewed at least annually in connection with budget and planning processes.
- *Independent risk management functions.* Risk management functions and the development of risk management tools are undertaken by units that are independent of operations in the individual business areas.

Monitoring and use

- *Accountability.* All executives are responsible for risk within their own area of responsibility and must consequently be fully updated on the risk situation at all times.
- *Risk reporting.* Risk reporting in the DNB Group ensures that all executives have the necessary information about current risk levels and future developments. To ensure high-quality, independent risk reports, responsibility for reporting is assigned to units that are independent of the operative units.
- *Capital assessment.* A summary and analysis of the DNB Group's capital and risk situation is presented in a quarterly risk report to DNB ASA's Board of Directors.
- *Use of risk information.* Risk is an integral part of the management and monitoring of business areas. Return on risk-adjusted capital is reflected in product pricing, profit calculations and in monitoring performance in the business areas.

Relevant risk measures

- *Risk appetite.* As from January 2013, the DNB Group has monitored risk through defined targets. The risk appetite framework consists of 16 statements covering the risk dimensions which are considered to be significant for the DNB Group, and which added up give a good view of the total risk. Developments in the target figures are monitored and reported monthly to the group management team and quarterly to DNB's Board of Directors. See the paragraph on "Risk appetite" for more information.
- *A common risk measure for the banking group.* The banking group's risk is measured in the form of risk-adjusted capital, calculated for all of the banking group's business areas and main risk categories, with the exception of liquidity risk. See the paragraph on "Risk-adjusted capital for the DNB Bank Group" for more information.
- *Supplementary risk measure.* In addition, risk is followed up through supplementary risk measures adapted to operations in the various business areas, for example monitoring of positions relative to limits, key figures and portfolio risk targets.

Risk categories

For risk management purposes, the banking group distinguishes between the following risk categories:

- *Credit risk* (or counterparty risk) is the risk of financial losses due to failure on the part of the banking group's customers (counterparties) to meet their payment obligations towards DNB Bank Group. Credit risk refers to all claims against customers/counterparties, principally loans, but also obligations related to other approved credits, guarantees, fixed-income securities, undrawn credits and interbank deposits, as well as counterparty risk incurred in connection with derivative trading. In addition, there are significant elements of counterparty risk in the settlement risk which arises in connection with payment transfers and the settlement of contracts. Credit risk also includes concentration risk, including risk associated with large exposures to one and the same customer, concentration within a geographic area or industry or exposures to homogeneous customer groups. Residual risk is the risk that the collateral provided for a credit exposure fails to meet expectations. Note 5 includes an assessment of the DNB Bank Group's credit risk at year-end 2014 and 2015.
- *Market risk* is the risk of losses due to unhedged positions in the foreign exchange, interest rate, commodity and equity markets. The risk arises in consequence of fluctuations in profits due to changes in market prices or exchange rates. Market risk includes both risk that arises through ordinary trading activities and risk that arises as part of banking activities and other business operations. Notes 12-15 include an assessment of the DNB Bank Group's market risk at year-end 2014 and 2015.
- *Operational risk* is the risk of losses due to deficiencies or errors in internal processes and systems, human errors or external events. Operational risk also includes compliance risk, which is the risk of losses caused by violation of laws and regulations or similar obligations, as well as legal risk, which often arises in connection with the documentation and interpretation of contracts and different legal practices in locations where the DNB Bank Group has operations.
- *Liquidity risk* is the risk that the DNB Bank Group will be unable to meet its obligations as they fall due, and the risk that the DNB Bank Group will be unable to meet its liquidity obligations without a substantial rise in appurtenant costs. Liquidity is vital to financial operations, though this risk category will often be conditional in the respect that it will not materialise until other events give rise to concern regarding the DNB Bank Group's ability to meet its obligations. Note 16 includes an assessment of the DNB Bank Group's liquidity risk at year-end 2014 and 2015.

Note 4 Risk management (continued)

- *Business risk* relates to fluctuations in profits due to changes in external factors such as the market situation, government regulations or the loss of income due to a weakened reputation. Reputational risk is often a consequence of other risk categories. The DNB Bank Group's business risk is primarily handled through the strategy process and ongoing efforts to safeguard and improve the DNB Bank Group's reputation. When determining and following up the DNB Bank Group's risk appetite, reputational risk is defined as a separate risk dimension.

In addition to the above-mentioned risk categories the DNB Bank Group is exposed to strategic risk, which can be defined as the risk of a decline in profits if the DNB Bank Group fails to exploit existing strategic opportunities. The DNB Bank Group's strategic risk is not measured or reported individually, but is discussed as part of the annual strategy process.

Risk appetite

The Board of Directors of DNB ASA sets long-term targets for the DNB Group's risk profile through the risk appetite framework, which was developed in 2012 and taken into use as of 1 January 2013. The risk appetite framework aims to ensure that risk is managed and integrated with the DNB Group's governance processes in a practical, structured, transparent and synchronised manner. The risk appetite framework should provide a holistic and balanced view of the risk in the business. In 2015, the framework consisted of 16 statements which establish targets for risk dimensions and levels. To support the framework a set of governance principles and operational procedures and responsibilities within the DNB Group have been defined. The targeted risk profile will also be reflected in other parts of the risk management framework, including the establishment of authorisations and business limits. The risk appetite framework will be reviewed at least annually. The Board of Directors also regularly reviews risk levels, the framework structure and the reporting of relevant risk categories.

Risk appetite statements

The risk appetite framework consists of statements covering the risk dimensions which are considered to the most significant for the DNB Group, and which added up give a good view of the total risk. The statements have been formulated along the following dimensions:

- Profitability and earnings
- Capitalisation
- Market risk
- Insurance risk
- Credit risk
- Liquidity risk
- Operational risk
- Reputational risk
- AML (anti-money laundering)

Limits determined on the basis of the DNB Group's risk appetite are operationalised in the business areas and support units. In the DNB Group's governance system, risk appetite is expressed in the form of target figures for selected indicators. Monitoring risk indicators that reflect the operations they cover enables the DNB Group to ascertain whether risk remains within the targeted level. Risk indicators will typically be expressed as limits (for quantifiable risk) or qualitative assessments of the risk level. They may not necessarily be expressed by using the same measurement parameters as those used for the DNB Group, though they must support the same risk topics and trends. Continual monitoring of these target figures ensures that the risk topics that are defined as the most important are also monitored and discussed in the operative parts of the organisation.

Governance principles

To support the framework a set of governance principles and operational procedures and responsibilities within the DNB Group have been defined. These are vital to ensure that risk appetite contributes to risk being managed and integrated with other key governance processes in the organisation, while maintaining the required independence to function as a reference point for risk consequences of the organisation's strategic and financial planning:

- **Ownership:** Ownership of the framework rests with the Board of Directors. All changes to the framework and the governance principles are to be approved by the Board of Directors.
- **Annual review:** The risk appetite framework is to be reviewed at least once a year in a process initiated by the DNB Group's chief risk officer, CRO. The annual review is to take place independent of the strategic and financial planning process.
- **Reporting:** There will be monthly reporting of actual risk exposure within the DNB Group in the form of a "traffic light" representation. Based on this reporting structure there are pre-defined procedures for following up and handling risks that are approaching critical levels vis-à-vis the risk appetite statements, and for risk elements that have exceeded such levels.
- **Responsibilities:** A designated person is responsible for each risk appetite statement and will follow up risk and prepare action plans if risk levels are exceeded.

Risk-adjusted capital for the DNB Bank Group

Risk-adjusted capital is a measure of the risk of losses generated by various business operations. Risk-adjusted capital makes it possible to compare risk across risk categories. Average losses over a normal business cycle represent expected costs which should primarily be covered through correct pricing of the banking group's products. Risk-adjusted capital should cover unexpected losses. The quantification of risk-adjusted capital is based on statistical probability calculations for the various risk categories on the basis of historical data. As it is impossible to guard against all potential losses, the DNB Group has stipulated that risk-adjusted capital should cover 99.97 per cent of potential losses within a one-year horizon. This level is in accordance with an AA level rating target for the ordinary long-term debt in DNB Bank ASA.

Note 4 Risk management (continued)

Risk-adjusted capital and average losses over a normal business cycle are elements in calculations of risk-adjusted return, which is a key financial management parameter in the internal management of the DNB Bank Group. The calculations are included in the financial planning for the business areas and are reported each month. Risk-adjusted return is a measurement parameter in the pricing models and is reported monthly in automated management systems. Risk-adjusted capital is also used as decision support for risk management.

The similarities between the framework for risk-adjusted capital and the capital adequacy regulations gradually become greater as a larger part of the banking group's exposures are reported according to the IRB approach. The underlying risk drivers for credit, and partly for operational risk, are largely the same. However, there are different confidence levels.

The DNB Bank Group quantifies risk-adjusted capital for the following risk categories: credit risk, market risk, operational risk and business risk. A significant diversification or portfolio effect arises when the various risks are considered together, as it is unlikely that all losses will occur at the same time. An economic downturn will normally have a negative effect on most areas, but there will be a diversification effect, as not all areas will be hit equally hard. The diversification effect between risk categories and business areas implies that the DNB Bank Group's risk-adjusted capital will be much lower than if the business areas had been independent companies.

At end-December 2015, net risk-adjusted capital for the DNB Bank Group was estimated at NOK 68.5 billion, a reduction of NOK 4.3 billion from end-December 2014.

	DNB Bank Group	
Amounts in NOK billion	2015	2014
Credit risk	55.5	58.8
Market risk	6.9	9.1
Operational risk	8.4	8.2
Business risk	6.2	6.0
Gross risk-adjusted capital	77.0	82.1
Diversification effect [1]	(8.5)	(9.3)
Net risk-adjusted capital	68.5	72.8
Diversification effect in per cent of gross risk-adjusted capital [1]	11.1	11.4

1) *The diversification effect refers to the effect achieved by the banking group in reducing risk by operating within several risk categories where unexpected losses are unlikely to occur at the same time.*

Main reasons for the reduction in risk-adjusted capital

The risk-adjusted capital requirement for credit declined by NOK 3.3 billion in 2015, mainly due to a reduction in credit volumes in the large corporate portfolio. Even though there was a negative trend in credit quality in some sectors through the year, the general credit quality was more or less unchanged.

Market risk exposure was reduced by NOK 2.2 billion in 2015, reflecting the sale of property investments and the transition from a defined-benefit to a defined-contribution pension scheme for the Group's employees.

Concentrations of risk

Concentrations of financial risk arise when financial instruments with identical characteristics are influenced in the same way by changes in economic or other factors. The identification of risk concentrations is subject to discretionary assessment. The general purpose of risk management in the DNB Bank Group is to reduce and control risk concentrations. The DNB Bank Group aims to avoid large credit risk concentrations, including large exposures to a customer or customer group as well as clusters of loans in high-risk categories, industries and geographical areas, cf. notes 2, 6 and 7. Total credit risk as at 31 December 2015 is presented in note 5. With respect to market risk, concentration risk is restricted by limits ensuring that exposure is divided among a number of instruments, securing sound diversification to meet changes in share prices, exchange rates, commodity prices and interest rate levels. Concentrations of interest rate risk are presented in note 13. Currency risk is specified in note 14. The DNB Bank Group's largest investments in shares, mutual funds and equity certificates are specified in note 30. The DNB Bank Group has not identified material risk concentrations apart from in its core operations, including strategic priority areas, which are referred to above.

Note 5 Credit risk

Credit risk or counterparty risk is the risk of financial losses due to failure on the part of the banking group's customers/counterparties to meet their payment obligations towards the banking group. Credit risk refers to all claims against customers/counterparties, mainly loans, but also commitments in the form of other extended credits, guarantees, interest-bearing securities, unutilised credit lines, interbank deposits and loan offers, as well as counterparty risk arising through trading in currency and interest rate derivatives. In addition, counterparty risk is a major element of the settlement risk that arises in connection with payment transfers and the settlement of contracts.

Credit risk also includes concentration risk, including risk relating to large exposures to a particular customer, as well as clusters of loans in geographical areas or industries or to homogeneous customer groups. Residual risk is the risk that the collateral backing a loan is less effective than expected. Credit risk management and measurement is described in further detail in the Risk and Capital Management (Pillar 3) report. The banking group guidelines for credit activity are approved by the Boards of Directors of DNB Bank ASA. The principal objective of credit activity is to ensure that the quality and composition of the loan portfolio provide a good basis for the banking group's short and long-term profitability. The quality of the portfolio should be consistent with DNB's aim of maintaining a low risk profile. See also note 4 Risk management, in which credit risk for the banking group is quantified in the form of risk-adjusted capital requirements.

The maximum credit risk exposure will be the carrying amount of financial assets plus unrecorded exposure, which mainly includes guarantees, unutilised credit lines and loan offers. Guarantees, unutilised credit lines and loan offers are specified in note 48 Off-balance sheet transactions and contingencies. The maximum credit risk exposure and related collateral are shown below.

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2015 — **DNB Bank ASA**

Amounts in NOK million	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral [1]
Deposits with central banks	14 748			
Due from credit institutions	630 700		278 973	2
Loans to customers	705 532	239 554	43 429	238 366
Commercial paper and bonds	229 224			
Financial derivatives	213 797		1 675	86 785
Other assets	23 209			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	1 817 210	239 554	324 078	325 153
Guarantees	95 867	10 827	227	31 498
Unutilised credit lines and loan offers	963 486	8 704	97	57 588
Other commitments	4 576			
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	1 063 930	19 531	323	101 167
Total	2 881 140	259 085	324 401	426 320

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2014 — **DNB Bank ASA**

Amounts in NOK million	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral [1]
Deposits with central banks	52 370			
Due from credit institutions	608 036		332 548	121
Loans to customers	723 456	249 628	13 071	258 594
Commercial paper and bonds	243 673			
Financial derivatives	248 768		1 536	135 099
Other assets	12 136			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	1 888 440	249 628	347 155	393 814
Guarantees	99 929	8 173	154	30 525
Unutilised credit lines and loan offers	995 350	9 276	56	73 009
Other commitments	4 212			
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	1 099 491	17 448	210	103 534
Total	2 987 931	267 076	347 365	497 348

Note 5 Credit risk (continued)

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2015

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral [1]
Deposits with central banks	16 911			
Due from credit institutions	297 457		279 056	44
Loans to customers	1 531 932	877 625	44 559	346 155
Commercial paper and bonds	226 224			331
Financial derivatives	203 273		1 675	86 821
Other assets	7 920			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	2 283 719	877 625	325 291	433 351
Guarantees	98 595	11 077	227	31 710
Unutilised credit lines and loan offers	600 523	61 667	97	91 169
Other commitments	4 841			
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	703 959	72 745	324	134 960
Total	2 987 677	950 370	325 615	568 311

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2014

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral [1]
Deposits with central banks	56 316			
Due from credit institutions	355 577		332 675	121
Loans to customers	1 447 465	872 441	14 273	312 282
Commercial paper and bonds	219 693			
Financial derivatives	236 389		1 536	135 121
Other assets	11 730			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	2 327 171	872 441	348 485	447 524
Guarantees	103 017	8 230	154	30 813
Unutilised credit lines and loan offers	606 912	55 270	75	85 158
Other commitments	4 522	1		43
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	714 451	63 501	229	116 013
Total	3 041 622	935 942	348 714	563 537

1) *Other collateral includes the assessed fair value of movables, sureties, ships and cash as well as other credit enhancements, such as netting agreements and guarantees received.*

The table above includes on and off-balance sheet items which entail credit risk and the assessed value of related collateral. If available, fair values are used. In general, fair values are estimated according to different techniques depending on the type of collateral. With respect to properties, models estimating the value of collateral based on market parameters for similar properties, are used. Corresponding techniques are used for other non-financial collateral. In order to reflect the effective available collateral value, the fair value of collateral included in the table is limited to the maximum credit exposure of the individual loan or exposure.

Comments to the main items as at 31 December 2015:

- *Deposits with central banks:* Deposits with Norges Bank totalled NOK 12 556 million. DNB engages only in short-term transactions with central banks outside Norway, mainly in OECD countries.
- *Loans to customers:* See further description under "Guidelines for credit activity".
- *Commercial paper and bonds:* See further description under "Credit exposure of other financial assets".
- *Financial derivatives:* Other collateral represents netting opportunities against other outstanding balances with customers and cash collateral received.
- *Guarantees:* See further description under "Guidelines for credit activity".
- *Unutilised credit lines and loan offers:* Offers of loans, credits and credit lines totalling NOK 78 832 million for the DNB Bank Group and 78 079 million for DNB Bank ASA were included in the maximum credit exposure. No formal collateral has been established for such exposure, and the assessed value is not included in the table. Collateral is established once the offers are accepted by the customers. The assessment of the value of any collateral established in connection with such offers follows the procedure and criteria described under "Guidelines for credit activity".

Note 5 Credit risk (continued)

Credit risk exposure of loans and commitments

Notes 6 and 7 show the banking group's credit risk exposure for principal customer groups and according to geographic location. Notes 8 through 11 show impaired loans and guarantees and impairment of loans and guarantees.

Classification of loans and commitments

DNB's internal models for risk classification of customers are subject to continual improvement and testing. The models are adapted to different industries and segments and are regularly upgraded to ensure that the variables used in the models have high explanatory power at all times based on key risk drivers for the individual parameters included in the models. DNB has been granted permission to use IRBA models in capital adequacy calculations. The same classifications are used in calculations of capital requirements and in risk management.

All corporate customers granted credit must be classified according to risk in connection with every significant credit approval and, unless otherwise decided, at least once a year. In the personal banking market, where there is a large number of customers, the majority of credit decisions should be made on the basis of automated scoring and decision support systems. Risk classification should reflect long-term risk associated with each customer and the customer's credit commitment.

The risk classification systems are used as decision support, monitoring and reporting. The risk parameters used in the classification systems are an integrated part of the credit process and ongoing risk monitoring, including the follow-up of credit strategies.

Probability of default, PD, is used to measure quality. The bank divides its portfolio into ten risk classes based on the probability of default for each credit commitment.

DNB's risk classification [1]

	Probability of default (per cent)		External rating	
Risk class	As from	Up to	Moody's	Standard & Poor's
1	0.01	0.10	Aaa – A3	AAA – A-
2	0.10	0.25	Baa1 – Baa2	BBB+ – BBB
3	0.25	0.50	Baa3	BBB-
4	0.50	0.75	Ba1	BB+
5	0.75	1.25	Ba2	BB
6	1.25	2.00		
7	2.00	3.00	Ba3	BB-
8	3.00	5.00	B1	B+
9	5.00	8.00	B2	B
10	8.00	impaired	B3, Caa/C	B-, CCC/C

1) DNB's risk classification system, where 1 represents the lowest risk and 10 the highest risk.

Loans and commitments according to risk classification

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Gross loans to customers	Guarantee commitments	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Risk category based on probability of default				
1 - 4	385 382	66 055	349 040	800 477
5 - 6	221 782	20 242	81 060	323 084
7 - 10	104 677	5 438	19 992	130 107
Non-performing and impaired loans and guarantees	17 573	289		17 862
Total loans and commitments as at 31 December 2014 [1)]	729 414	92 024	450 092	1 271 530
Risk category based on probability of default				
1 - 4	417 736	65 665	298 095	781 495
5 - 6	156 660	11 024	45 850	213 534
7 - 10	124 398	8 605	21 974	154 976
Non-performing and impaired loans and guarantees	11 972	647		12 619
Total loans and commitments as at 31 December 2015 [1)]	710 766	85 941	365 918	1 162 625

1) Based on nominal amounts.

Loan-loss level [1]

Amounts in NOK million	2015	2014
Normalised losses including loss of interest income in per cent of net loans	0.34	0.36

1) The calculation of the loan-loss level is based on an evaluation of the probability of future losses (default frequency), exposure at default and the size of the estimated loss (loss ratio). Calculations are based on a certain level of discretion and estimation.

Note 5 Credit risk (continued)

Loans and commitments according to risk classification

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Gross loans to customers	Guarantee commitments	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Risk category based on probability of default				
1 - 4	916 794	68 512	464 456	1 449 762
5 - 6	363 476	21 071	94 487	479 034
7 - 10	147 298	5 922	22 106	175 326
Non-performing and impaired loans and guarantees	26 744	306		27 051
Total loans and commitments as at 31 December 2014 [1]	1 454 312	95 811	581 049	2 131 173
Risk category based on probability of default				
1 - 4	1 014 114	68 542	458 666	1 541 321
5 - 6	327 057	11 519	66 033	404 609
7 - 10	176 823	8 742	29 143	214 708
Non-performing and impaired loans and guarantees	21 970	675		22 645
Total loans and commitments as at 31 December 2015 [1]	1 539 964	89 479	553 841	2 183 284

1) Based on nominal amount.

Loan-loss level [1]

Amounts in NOK million	2015	2014
Normalised losses including loss of interest income in per cent of net loans	0.25	0.27

1) The calculation of the loan-loss level is based on an evaluation of the probability of future losses (default frequency), exposure at default and the size of the estimated loss (loss ratio). Calculations are based on a certain level of discretion and estimation.

Guidelines for credit activity

DNB's guidelines and processes for approving credits are described in the group guidelines for credit activity. The guidelines describe how DNB shall grant and follow up credit exposures in the various segments. Detailed descriptions are given of the assessment of new customers, follow-up of healthy credit exposures, follow-up of customers in financial difficulty and procedures for handling doubtful and non-performing loans.

The granting of credit in DNB is based on authorisation and approval matrices. As a fundamental principle, one person makes a recommendation and another one approves it, which takes place through the authorisation and approval matrices. The matrices are differentiated on the basis of volume, risk and, if relevant, industry. While only two persons may be involved in (recommending and approving) a low-risk exposure in the form of a home mortgage, recommendations for large/complex exposures must be endorsed by a senior credit officer. In addition, advice will be sought from credit committees, and the involvement of industry specialists may be required.

A decisive element when granting credit is the customers' debt servicing capacity in the form of ongoing future cash flows, such as earned income or income from the business operations which are being financed. The bank seeks to further mitigate the risk of losses in connection with a possible future reduction in cash flows or default by requiring that collateral be furnished. Only in exceptional cases will credit be granted if the customer has provided no collateral.

Collateral can be in the form of physical assets, guarantees, cash deposits or netting agreements. As a rule, physical collateral shall be insured. Negative pledges, whereby customers undertake to keep their assets free from encumbrances vis-à-vis other lenders, are also used as a risk-mitigating measure.

In addition to collateral, most corporate credit agreements will include financial covenants, which represent an additional risk-mitigating element to ensure that DNB becomes aware of and involved in any financial challenges at an early stage. Examples of financial covenants are minimum net cash flow and equity ratio requirements.

Monitoring credit risk

Performing customers

According to the guidelines for credit activity for corporate customers, a credit assessment shall be made of all customers at least once a year. This is a complete review of all risks identified by DNB relating to the customer. A new evaluation of all collateral (provided) is an integral part of the annual review. The decision-making and authorisation matrices shall also be used in connection with the renewal of all existing credits and thus ensure that persons with relevant expertise are always involved when considering large and complicated exposures.

Personal customers are followed up through a systematic portfolio management system. Exposures are followed up individually if heightened risk has been identified.

Watchlist

The watchlist is the Group's primary tool for following up corporate customers when a risk has arisen which requires special monitoring. If customers breach financial covenants or a loss event requiring special monitoring has occurred, it will be considered whether to place the exposure on the watchlist. Loss events include serious financial problems or major changes in market conditions. In addition, all customers in the high-risk segment (risk grades 8-10) will be watchlist candidates. It is an integral part of credit activity to consider whether to place high-risk customers on the watchlist. Watchlisted customers are subject to special monitoring. More frequent, often quarterly risk assessments are required, including an updated valuation of collateral. In addition, an action plan must be prepared to get out of the risk situation that has arisen. The particularly close follow-up of customers facing greater challenges is based on the bank's experience that special monitoring both reduces the risk that losses will occur and minimises the losses that actually materialise. Each time watchlisted exposures are reviewed, the need for impairment losses will be considered.

Note 5 Credit risk (continued)

Granting concessionary treatment of customers
If a customer gets into financial difficulties, DNB may in some cases grant voluntary concessions in the form of less stringent financial covenants or reduced/deferred interest and instalment payments. Such measures are offered in accordance with the Group's credit guidelines, thus aiming to help customers through a tough financial period when it is expected that they will meet their obligations on a later date. This is part of DNB's strategy to reduce losses.

Loss and non-performing portfolio
In the event of losses or non-performance, customers are closely monitored. In the bank's experience, other supplementary resources are required during this stage than for performing customers. Customer exposures which fall into this category will either be transferred in their entirety to a separate unit with special expertise in this field, or persons from this unit will join the customer team.

Repossessed companies and assets
In connection with the follow-up of impaired and non-performing exposures, DNB will in some cases take over assets provided as collateral for loans and guarantees. All acquired companies are followed up by the Group Investment unit, whose main target is to secure/recover values for DNB's shareholders through financial restructuring when companies and properties are repossessed due to default. See separate paragraph below for details on repossessed assets.

Past due loans not subject to impairment
The table below shows overdue amounts on loans and overdrafts on credits/deposits and the total residual debt for these loans broken down on the number of days after the due date, assuming a deterioration of customer solvency or unwillingness to pay. Past due loans and overdrafts on credits/deposits are subject to continual monitoring. Loans and guarantees where any objective evidence of impairment exists are reviewed for impairment. Such reviews have also been carried out for the loans and guarantees included in the table for which no need for impairment has been identified. Past due loans subject to impairment are not included in the table but are included in tables showing impaired loans and guarantees, see note 8 Impaired loans and guarantees for principal customer groups.

DNB Bank ASA

	31 December 2015		31 December 2014	
Amounts in NOK million	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans
10-29 days	90	2 719	630	5 784
30-59 days	73	1 369	501	2 260
60-89 days	7	365	139	328
> 90 days	1 353	3 756	24	863
Total	1 523	8 208	1 294	9 235

DNB Bank Group

	31 December 2015		31 December 2014	
Amounts in NOK million	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans
10-29 days	129	8 278	697	12 458
30-59 days	272	2 743	526	3 347
60-89 days	32	758	149	608
> 90 days	1 706	5 076	203	960
Total	2 139	16 855	1 575	17 373

Credit exposure of other financial assets
The Group's investments in other financial assets, including commercial paper and bonds, are within risk limits approved by the Board of Directors. See note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity, for a description of Markets' international bond portfolio.

Note 5 Credit risk (continued)

Counterparty risk for derivatives

DNB enters into derivative transactions on the basis of customer demand and to hedge positions resulting from such activity. In addition, derivatives are used to hedge positions in the trading portfolio and take positions in the interest rate, currency, commodity and equity markets. Derivatives are traded in portfolios where balance sheet products are also traded. Derivatives are generally traded "over the counter" (OTC), which means that individual contracts are agreed upon by the parties.

Derivatives are traded with a number of different counterparties, and most of these are also engaged in other types of business. The credit risk that arises in connection with derivative trading is included in the DNB Group's overall credit risk measurement. Such measurement and follow-ups take place on a daily basis. In order to minimise counterparty risk for individual counterparties, netting agreements and bilateral guarantee agreements have been entered into. In addition, various interest rate products are cleared via so-called clearing houses, such as LCH.Clearnet. The counterparty risk for an individual party is thus transferred to LCH.

CSA agreements (Credit Support Annex) have been entered into with most major bank counterparties and a large number of other counterparties. This means that the market value of all derivatives entered into between DNB and the counterparty is settled either daily or weekly, whereby counterparty risk is largely eliminated. These transactions are generally backed by cash collateral, though Treasury bills and covered bonds are also used. The collateral agreements are normally not based on rating triggers, but for a few agreements, the minimum exposure level will be reduced if DNB is downgraded. The effects of a possible downgrade are very limited. Equity forward contracts, securities issues and currency trading for private individuals are monitored and margined on a daily basis.

Repossessed properties and other assets – carrying amount

Repossessed assets are assets acquired by units within the banking group as part of the management of non-performing and impaired loans and guarantees. At the time of acquisition, such assets are valued at their estimated realisable value. Any deviation from the carrying amount of non-performing and impaired loans and guarantees at the time of acquisition is classified as impairment on loans. Repossessed assets are recorded in the balance sheet according to the type of asset. When acquiring shares or mutual fund holdings, the assets are evaluated according to the principles described in note 1 Accounting principles. Upon final sale, the difference relative to carrying amount is recognised in the income statement according to the type of asset. Property additions in 2014 mainly included the acquisition by the companies Polish Properties AS. Other asset additions included the acquisition by the companies BRPH Top Holding AB. Property disposals in 2014 mainly related to the sale of parts of the company Propinvest. Property additions in 2015 mainly related to the residential market in Latvia and Lithuania. Property disposals in 2015 related to the sale of the company København Ejendomme and BRPH Top Holding AB's subsidiary Komanditbolaget Europahuset Building.

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
83	71	Repossessed properties and other repossessed assets as at 1 January	5 185	4 838
1		Property additions	620	750
		Other asset additions	33	482
(13)	(20)	Property disposals	(3 426)	(883)
		Other asset disposals	(14)	(63)
		Net gains/losses resulting from adjustment to fair value (investment properties)	(68)	61
71	50	Repossessed properties and other repossessed assets as at 31 December	2 330	5 185

Companies/parts of companies acquired in 2015

Handelspark Invest I AS

In connection with the wind-up of Fortin, DNB Bank ASA took over the company Handelspark Invest I AS. Through a subsidiary, the company owns 75 per cent of a shopping center in Tockstors, Sweden. The shopping center was valued at SEK 240 million at year-end 2015. The value of the property is included in the above table.

The bank's strategy is to sell these operations as soon as possible within a 12-month period from the takeover date. The operations were classified as held for sale in the Group's accounts at end-December 2015. The asset values are included in the above table.

Companies/parts of companies acquired in 2014

Polish Properties AS

As a result of a liquidation in Poland, the bank repossessed three properties. The properties are organised in three companies in Poland and are 100 per cent owned by DNB Polish Properties AS. DNB Bank ASA owns 100 per cent of DNB Polish Properties AS. The properties were taken over for a total of EUR 32 million. At year-end 2014, the properties were valued at NOK 232 million. The property values are included in the above table.

BRPH Top Holding AB

In connection with the restructuring of DNB's loan to Bastuban 1 AB in Sweden in the fourth quarter of 2014, the bank took over all shares in the subsidiary BRPH Top Holding AB on 18 December 2014 at the price of SEK 1. The BRPH Top Holding Group owns a commercial property in Melndal in Sweden valued at SEK 427 million.

The bank's strategy is to sell these operations as soon as possible within a 12-month period from the takeover date. The operations were classified as held for sale in the group accounts as at 31 December 2014. The asset values are included in the above table.

Note 5 Credit risk (continued)

Loans and deposits designated as at fair value [1]

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
57 976	48 784	Loans and deposits designated as at fair value	85 779	105 952
57 976	48 784	Total exposure to credit risk	85 779	105 952
253	185	Value adjustment from credit risk [2]	231	334
(68)	(68)	Value adjustment from change in credit risk [2]	(103)	(160)

1) *In November 2015, a portfolio of residential mortgages amounting to approximately NOK 20 billion was sold from DNB Boligkreditt AS to DNB Livsforsikring AS.*

2) *Credit risk reflected in fair value measurement is based on normalised losses and changes in normalised losses in the relevant portfolio.*

Effects of changes in credit margins

The markets for short-term funding were generally sound in 2015 for banks with high credit ratings. DNB had ample access to short-term funding throughout the year. In the long term funding markets, there was also a healthy supply of capital in the first half of the year. However, as the unrest in Greece increased as summer approached, the level of activity in the market dropped significantly, accompanied by rising prices on new issues. In September the level of activity picked up, though margins widened. There was a general increase in margins for both covered bonds and ordinary senior debt in the second half of 2015. DNB had good access to long-term funding throughout 2015. Changes in credit margins affected a number of items in the banking group's balance sheet.

As part of ongoing liquidity management, Markets invests in an international covered bond portfolio. The holding of such bonds increased through 2015. Unrealised losses in this portfolio amounted to NOK 172 million at end-December 2015, compared with unrealised gains of NOK 620 million at year-end 2014. The unrealised losses will be reversed over the remaining term to maturity, provided that there are no changes in the credit status of the bonds. There was considerable turnover in the portfolio in 2015.

Moody's and Standard & Poor's downgrades of Eksportfinans' credit rating in the fourth quarter of 2011 resulted in sizeable unrealised gains on the company's long-term funding. The effect of these unrealised gains on DNB's holding, after tax, represented NOK 11.8 billion. After reviewing the fair value of the company in connection with the closing of the annual accounts, DNB wrote down the value by an amount corresponding to unrealised gains on Eksportfinans' own debt in the fourth quarter of 2011. In 2012, 2013, 2014 and 2015, the required rate of return in the market was reduced, and Eksportfinans had sizeable unrealised losses on own debt. The impairment loss recorded by DNB in the fourth quarter of 2011 was reversed by an amount corresponding to these unrealised losses. Reversals totalling NOK 199 million were made in 2015. The remaining impairment loss was NOK 144 million at year-end 2015. The impairment loss in 2011 and subsequent reversals have been reported on the line "Profit from investments accounted for by the equity method" along with DNB's share of profits from the company.

The DNB Bank Group's long-term borrowings in Norwegian kroner are carried at fair value through profit or loss. Margin requirements increased in the second half of 2015: At end-December 2015, there were unrealised gains of NOK 116 million on long-term borrowings, compared with unrealised losses of NOK 1 348 million at year-end 2014. Unrealised gains on the DNB Bank Group's liabilities will be reversed over the remaining term to maturity.

The DNB Bank Group's fixed-rate loans in Norwegian kroner and parts of the portfolio of margin loans in Norwegian kroner are carried at fair value through profit or loss. Unrealised losses resulting from increased margin requirements, measured relative to swap rates on these loans, came to NOK 773 million at year-end 2015, compared with unrealised losses of NOK 397 million at end-December 2014. The unrealised losses will be reversed over the remaining term to maturity, provided that there are no changes in the credit status of the loans.

Note 6 Loans and commitments for principal customer groups [1)]

Loans and commitments as at 31 December 2015

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	DNB Bank ASA Total loans and commitments
Private individuals	144 472	262	145 259	289 993
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	56 187	9 725	15 499	81 411
Real estate	148 038	2 282	25 950	176 269
Manufacturing	52 025	23 736	32 578	108 339
Services	80 255	5 370	18 382	104 007
Trade	32 500	5 025	20 278	57 803
Oil and gas	21 659	4 135	11 543	37 337
Transportation and communication	36 081	8 375	11 918	56 374
Building and construction	44 812	12 916	24 133	81 861
Power and water supply	27 823	8 261	16 365	52 449
Seafood	15 127	264	4 459	19 850
Hotels and restaurants	6 375	408	2 343	9 126
Agriculture and forestry	4 938	52	2 467	7 457
Central and local government	9 213	347	8 839	18 398
Other sectors	26 621	4 607	25 907	57 135
Total customers, nominal amount after individual impairment	706 126	85 765	365 918	1 157 810
– Collective impairment, customers	(1 709)			(1 709)
+ Other adjustments	1 115	(186)		929
Loans to customers	**705 532**	**85 579**	**365 918**	**1 157 029**
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	630 553	9 751	597 568	1 237 872
+ Other adjustments	146			146
Loans to and due from credit institutions	**630 700**	**9 751**	**597 568**	**1 238 018**

Loans and commitments as at 31 December 2014

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	DNB Bank ASA Total loans and commitments
Private individuals	145 282	305	135 640	281 227
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	81 315	11 358	30 603	123 276
Real estate	152 541	2 643	22 042	177 225
Manufacturing	59 962	25 488	39 876	125 325
Services	63 207	6 801	25 711	95 719
Trade	31 409	4 860	25 217	61 486
Oil and gas	17 412	4 986	25 079	47 478
Transportation and communication	42 057	8 747	27 419	78 223
Building and construction	42 848	12 777	26 556	82 182
Power and water supply	29 724	11 930	23 689	65 343
Seafood	16 613	177	6 603	23 392
Hotels and restaurants	5 134	306	1 245	6 685
Agriculture and forestry	5 815	64	3 479	9 358
Central and local government	8 598	304	6 981	15 883
Other sectors	21 877	1 279	49 953	73 109
Total customers, nominal amount after individual impairment	723 794	92 024	450 092	1 265 910
– Collective impairment, customers	(1 562)			(1 562)
+ Other adjustments	1 224	(150)		1 074
Loans to customers	**723 456**	**91 875**	**450 092**	**1 265 423**
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	607 856	7 771	545 258	1 160 885
+ Other adjustments	180			180
Loans to and due from credit institutions	**608 036**	**7 771**	**545 258**	**1 161 066**

1) The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 6 Loans and commitments for principal customer groups [1] (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2015

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Private individuals	724 094	284	199 188	923 567
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	126 222	9 933	42 701	178 856
Real estate	196 336	2 341	26 165	224 841
Manufacturing	92 767	24 229	72 416	189 412
Services	97 914	6 074	25 566	129 554
Trade	41 006	5 451	25 756	72 212
Oil and gas	31 906	4 554	38 117	74 577
Transportation and communication	59 283	8 555	26 733	94 571
Building and construction	48 737	13 674	25 180	87 590
Power and water supply	33 784	8 386	23 860	66 010
Seafood	16 289	266	5 075	21 630
Hotels and restaurants	8 896	421	2 588	11 905
Agriculture and forestry	6 846	56	2 657	9 559
Central and local government	14 440	483	10 870	25 793
Other sectors	32 962	4 609	26 970	64 542
Total customers, nominal amount after individual impairment	1 531 480	89 297	553 841	2 174 619
– Collective impairment, customers	(2 524)			(2 524)
+ Other adjustments	2 976	(196)		2 778
Loans to customers	**1 531 932**	**89 099**	**553 841**	**2 174 873**
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	297 399	8 935	46 682	353 016
+ Other adjustments	58			58
Loans to and due from credit institutions	**297 457**	**8 935**	**46 682**	**353 074**

Loans and commitments as at 31 December 2014

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Private individuals	709 947	330	182 428	892 705
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	121 413	11 730	47 544	180 687
Real estate	193 984	2 679	22 225	218 888
Manufacturing	77 414	26 660	59 522	163 596
Services	79 583	7 182	30 769	117 533
Trade	36 710	5 330	26 771	68 812
Oil and gas	28 591	4 987	58 512	92 089
Transportation and communication	45 280	9 033	28 690	83 003
Building and construction	49 160	13 584	27 774	90 518
Power and water supply	35 100	12 122	26 191	73 413
Seafood	17 405	202	7 011	24 618
Hotels and restaurants	6 961	321	2 331	9 613
Agriculture and forestry	8 359	89	3 664	12 091
Central and local government	13 020	304	7 054	20 379
Other sectors	21 739	1 279	50 563	73 581
Total customers, nominal amount after individual impairment	1 444 666	95 811	581 049	2 121 527
– Collective impairment, customers	(2 139)			(2 139)
+ Other adjustments	4 937	(154)		4 783
Loans to customers	**1 447 465**	**95 657**	**581 049**	**2 124 171**
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	355 494	7 063	25 863	388 420
+ Other adjustments	84			84
Loans to and due from credit institutions	**355 577**	**7 063**	**25 863**	**388 503**

1) The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev 2.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location [1)]

Loans and commitments as at 31 December 2015

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	DNB Bank ASA Total loans and commitments
Oslo	271 914	12 539	703 277	987 729
Eastern and southern Norway	180 434	18 918	89 470	288 822
Western Norway	105 454	8 505	43 201	157 160
Northern and central Norway	113 135	9 142	33 033	155 310
Total Norway	670 938	49 104	868 981	1 589 022
Sweden	63 596	7 336	17 008	87 941
United Kingdom	152 946	2 997	1 884	157 827
Other Western European countries	274 207	4 956	24 891	304 054
Russia	184	4	5	194
Estonia	2 090		1	2 090
Latvia	7 193	654	2	7 849
Lithuania	7 201	341	27	7 569
Poland	12 818	124	163	13 105
Other Eastern European countries	618	261	31	911
Total Europe outside Norway	520 852	16 674	44 013	581 539
USA and Canada	69 352	16 316	13 131	98 799
Bermuda and Panama [2)]	18 315	2 658	3 000	23 972
Other South and Central American countries	14 091	2 635	3 004	19 730
Total America	101 758	21 609	19 135	142 502
Singapore [2)]	25 087	1 952	27 365	54 404
Hong Kong	2 623		2	2 625
Other Asian countries	14 280	3 852	2 395	20 527
Total Asia	41 990	5 804	29 762	77 556
Liberia [2)]	455	2 043		2 498
Other African countries	370	89	546	1 005
Oceania [2)]	4 962	369	1 050	6 381
Commitments [3)]	1 341 324	95 692	963 486	2 400 502
– Individual impairment	(4 639)	(176)		(4 815)
– Collective impairment	(1 709)			(1 709)
+ Other adjustments	1 261	(186)		1 075
Net loans and commitments	**1 336 231**	**95 330**	**963 486**	**2 395 048**

1) *Based on the customer's address.*
2) *Represents shipping loans and commitments.*
3) *All amounts represent gross loans and guarantees respectively before individual impairment.*

Note 7 Loans and commitments according to geographical location [1] (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2014

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Oslo	272 700	12 455	684 027	969 182
Eastern and southern Norway	182 562	19 501	111 660	313 722
Western Norway	97 789	10 064	46 446	154 300
Northern and central Norway	112 585	10 428	35 393	158 405
Total Norway	665 636	52 448	877 527	1 595 609
Sweden	67 220	6 437	31 724	105 382
United Kingdom	141 622	5 085	17 566	164 273
Other Western European countries	274 115	10 109	30 982	315 206
Russia	554	162	7	722
Estonia	1 465	0	2	1 467
Latvia	8 040	575	636	9 252
Lithuania	10 816	309	2 326	13 451
Poland	11 040	87	582	11 709
Other Eastern European countries	901	218	32	1 151
Total Europe outside Norway	515 774	22 982	83 858	622 615
USA and Canada	64 570	13 481	26 252	104 303
Bermuda and Panama [2]	17 322	2 275	1 554	21 151
Other South and Central American countries	7 867	2 268	1 961	12 096
Total America	89 758	18 024	29 767	137 550
Singapore [2]	29 430	1 247	106	30 783
Hong Kong	2 961		10	2 970
Other Asian countries	15 349	2 830	2 622	20 802
Total Asia	47 739	4 078	2 738	54 555
Liberia [2]	8 332	1 970	503	10 805
Other African countries	741	93	148	983
Oceania [2]	9 289	337	808	10 434
Commitments [3]	1 337 271	99 929	995 350	2 432 550
– Individual impairment	(5 620)	(134)		(5 754)
– Collective impairment	(1 562)			(1 562)
+ Other adjustments	1 404	(150)		1 255
Net loans and commitments	**1 331 493**	**99 646**	**995 350**	**2 426 489**

1) Based on the customer's address.
2) Represents shipping loans and commitments.
3) All amounts represent gross loans and guarantees respectively before individual impairment.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location [1] (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2015

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Oslo	268 847	12 527	190 376	471 750
Eastern and southern Norway	460 311	18 918	115 592	594 821
Western Norway	194 641	8 515	52 410	255 565
Northern and central Norway	201 741	9 142	39 898	250 781
Total Norway	1 125 540	49 101	398 275	1 572 917
Sweden	61 739	7 337	38 139	107 215
United Kingdom	118 315	3 536	17 597	139 448
Other Western European countries	296 492	5 430	34 741	336 663
Russia	926	4	5	935
Estonia	5 132	110	184	5 425
Latvia	16 798	395	1 451	18 644
Lithuania	28 951	849	3 301	33 101
Poland	18 680	732	3 090	22 502
Other Eastern European countries	801	262	33	1 095
Total Europe outside Norway	547 834	18 653	98 541	665 029
USA and Canada	47 033	17 046	80 907	144 985
Bermuda and Panama [2]	29 861	2 665	5 647	38 174
Other South and Central American countries	18 891	2 638	6 585	28 115
Total America	95 785	22 349	93 139	211 273
Singapore [2]	14 204	1 952	505	16 661
Hong Kong	3 452		702	4 154
Other Asian countries	16 768	3 854	3 493	24 115
Total Asia	34 425	5 806	4 700	44 930
Liberia [2]	10 044	2 043	601	12 688
Other African countries	1 093	90	551	1 733
Oceania [2]	22 649	372	4 715	27 736
Commitments [3]	1 837 370	98 414	600 523	2 536 300
– Individual impairment	(8 484)	(181)		(8 665)
– Collective impairment	(2 524)			(2 524)
+ Other adjustments	3 034	(198)		2 836
Net loans and commitments	**1 829 390**	**98 034**	**600 523**	**2 527 947**

1) Based on the customer's address.
2) Represents shipping loans and commitments.
3) All amounts represent gross loans and guarantees respectively before individual impairment.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location [1] (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2014

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Oslo	262 349	12 451	173 744	448 544
Eastern and southern Norway	460 017	19 475	137 478	616 970
Western Norway	183 794	10 064	53 693	247 551
Northern and central Norway	197 774	10 426	40 388	248 588
Total Norway	1 103 934	52 416	405 303	1 561 653
Sweden	67 408	6 438	31 736	105 582
United Kingdom	142 020	5 087	19 338	166 445
Other Western European countries	274 681	10 329	39 241	324 251
Russia	1 456	162	253	1 912
Estonia	4 801	187	356	5 344
Latvia	16 575	395	2 511	19 482
Lithuania	26 893	1 010	5 160	33 063
Poland	18 133	709	2 626	21 812
Other Eastern European countries	937	218	36	1 191
Total Europe outside Norway	552 946	24 535	101 601	679 083
USA and Canada	56 164	15 041	80 054	151 259
Bermuda and Panama [2]	22 384	2 278	3 026	27 688
Other South and Central American countries	10 104	2 268	4 388	16 760
Total America	88 651	19 585	87 468	195 704
Singapore [2]	13 426	1 247	1 526	16 200
Hong Kong	5 835		65	5 901
Other Asian countries	20 258	2 832	4 361	27 451
Total Asia	39 520	4 079	5 952	49 551
Liberia [2]	9 590	1 970	504	12 064
Other African countries	765	95	165	1 025
Oceania [2]	14 401	337	5 918	20 656
Commitments [3]	1 809 807	103 017	606 912	2 519 736
– Individual impairment	(9 647)	(143)		(9 790)
– Collective impairment	(2 139)			(2 139)
+ Other adjustments	5 021	(154)		4 867
Net loans and commitments	**1 803 042**	**102 720**	**606 912**	**2 512 675**

1) Based on the customer's address.
2) Represents shipping loans and commitments.
3) All amounts represent gross loans and guarantees respectively before individual impairment.

Note 8 Impaired loans and guarantees for principal customer groups [1)]

DNB Bank ASA

	Gross impaired loans and guarantees		Total individual impairment		Net impaired loans and guarantees	
Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Private individuals	1 833	2 316	(712)	(1 102)	1 121	1 213
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	2 454	4 370	(1 075)	(1 095)	1 379	3 276
Real estate	1 792	2 516	(656)	(868)	1 137	1 649
Manufacturing	1 298	1 443	(689)	(746)	609	697
Services	851	1 116	(528)	(527)	323	590
Trade	747	1 544	(362)	(372)	385	1 172
Oil and gas		42		(41)		
Transportation and communication	799	727	(311)	(281)	488	446
Building and construction	586	1 095	(252)	(484)	333	612
Power and water supply	389	41	(75)	(14)	314	27
Seafood	13	146	(8)	(119)	5	26
Hotels and restaurants	54	52	(17)	(20)	36	32
Agriculture and forestry	112	177	(44)	(62)	67	115
Central and local government	11		(5)		7	
Other sectors	99	37	(81)	(22)	19	15
Total customers	11 038	15 623	(4 815)	(5 754)	6 223	9 869
Credit institutions						
Total impaired loans and guarantees	11 038	15 623	(4 815)	(5 754)	6 223	9 869
Non-performing loans and guarantees not subject to impairment	1 582	2 240			1 582	2 240
Total non-performing and impaired loans and guarantees	12 619	17 862	(4 815)	(5 754)	7 804	12 109

DNB Bank Group

	Gross impaired loans and guarantees		Total individual impairment		Net impaired loans and guarantees	
Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Private individuals	4 502	5 368	(1 841)	(2 297)	2 661	3 071
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	3 665	5 753	(1 620)	(1 891)	2 045	3 862
Real estate	3 716	3 864	(1 426)	(1 347)	2 289	2 517
Manufacturing	2 643	2 149	(1 113)	(1 373)	1 530	776
Services	952	1 293	(593)	(620)	359	673
Trade	977	1 855	(502)	(590)	476	1 265
Oil and gas		42		(41)		
Transportation and communication	1 825	859	(726)	(363)	1 099	495
Building and construction	1 020	1 899	(550)	(937)	470	962
Power and water supply	394	45	(77)	(16)	317	29
Seafood	13	146	(8)	(120)	5	26
Hotels and restaurants	167	160	(49)	(57)	118	103
Agriculture and forestry	172	231	(63)	(87)	110	144
Central and local government	11		(5)		7	
Other sectors	126	68	(92)	(49)	34	19
Total customers	20 184	23 733	(8 665)	(9 790)	11 519	13 943
Credit institutions						
Total impaired loans and guarantees	20 184	23 733	(8 665)	(9 790)	11 519	13 943
Non-performing loans and guarantees not subject to impairment	2 461	3 318			2 461	3 318
Total non-performing and impaired loans and guarantees	22 645	27 051	(8 665)	(9 790)	13 980	17 261

1) *Includes loans and guarantees subject to individual impairment and total non-performing loans and guarantees not subject to impairment. The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev 2.*

Note 9 Impairment of loans and guarantees

DNB Bank ASA

	2015			2014		
Amounts in NOK million	Loans [1]	Guarantees	Total	Loans [1]	Guarantees	Total
Write-offs	(1 407)		(1 407)	(930)	(0)	(930)
New/increased individual impairment	(2 205)	(121)	(2 326)	(2 277)	(92)	(2 370)
Total new/increased individual impairment	(3 612)	(121)	(3 733)	(3 208)	(92)	(3 300)
Reassessed individual impairment previous years	590	82	672	613	237	850
Recoveries on loans and guarantees previously written off [2]	1 715		1 715	645		645
Net individual impairment	(1 306)	(40)	(1 346)	(1 950)	145	(1 805)
Changes in collective impairment of loans	(292)		(292)	80		80
Impairment of loans and guarantees	**(1 599)**	**(40)**	**(1 638)**	**(1 870)**	**145**	**(1 725)**
Write-offs covered by individual impairment made in previous years	2 463		2 463	2 319		2 319

DNB Bank Group

	2015			2014		
Amounts in NOK million	Loans [1]	Guarantees	Total	Loans [1]	Guarantees	Total
Write-offs	(1 446)		(1 446)	(823)	(0)	(823)
New/increased individual impairment	(3 165)	(124)	(3 288)	(2 984)	(95)	(3 078)
Total new/increased individual impairment	(4 611)	(124)	(4 735)	(3 806)	(95)	(3 901)
Reassessed individual impairment previous years	890	88	978	1 007	238	1 245
Recoveries on loans and guarantees previously written off [2]	1 742		1 742	677		677
Net individual impairment	(1 979)	(36)	(2 015)	(2 123)	143	(1 980)
Changes in collective impairment of loans	(255)		(255)	341		341
Impairment of loans and guarantees	**(2 234)**	**(36)**	**(2 270)**	**(1 782)**	**143**	**(1 639)**
Write-offs covered by individual impairment made in previous years	3 749	0	3 749	2 422		2 422

1) Including impairment of loans at fair value.

2) Recoveries in 2015 largely reflected the effects of the agreement with Lindorff Capital AS on the sale of portfolios of non-performing loans in Norway

Note 10 Impairment of loans and guarantees for principal customer groups [1)]

DNB Bank ASA

	2015				2014			
Amounts in NOK million	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off [2)]	Net impairment	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off	Net impairment
Private individuals	(636)	46	1 622	1 032	(829)	143	519	(167)
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	(656)	117	1	(737)	(477)	263	81	(133)
Real estate	(237)	102	2	(132)	(466)	145	4	(317)
Manufacturing	(773)	117	12	(644)	(585)	70	11	(504)
Services	(145)	41	17	(87)	(240)	50	3	(187)
Trade	(219)	51	8	(160)	(343)	22	12	(309)
Oil and gas	(0)			(0)	(36)	20	0	(16)
Transportation and communication	(245)	53	24	(168)	(69)	84	4	19
Building and construction	(402)	71	25	(306)	(115)	40	3	(72)
Power and water supply	(60)	0	1	(58)	(13)	1	0	(12)
Seafood	(8)	49	0	41	(85)	3	0	(82)
Hotels and restaurants	(16)	7	1	(8)	(11)	1	0	(10)
Agriculture and forestry	(15)	17	2	5	(25)	6	1	(16)
Central and local government	(0)	0	0	(0)	(0)	0		(0)
Other sectors	(123)	1	0	(122)	(11)	1	7	(2)
Total customers	(3 733)	672	1 715	(1 346)	(3 304)	850	645	(1 809)
Credit institutions					4			4
Changes in collective impairment of loans				(292)				80
Impairment of loans and guarantees	**(3 733)**	**672**	**1 715**	**(1 638)**	**(3 300)**	**850**	**645**	**(1 725)**
Of which individual impairment of guarantees	*(121)*	*82*		*(40)*	*(92)*	*237*		*145*

DNB Bank Group

	2015				2014			
Amounts in NOK million	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off [2)]	Net impairment	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off	Net impairment
Private individuals	(835)	188	1 642	995	(1 066)	334	537	(195)
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	(1 027)	139	1	(886)	(666)	296	89	(281)
Real estate	(344)	140	3	(202)	(450)	173	5	(272)
Manufacturing	(882)	154	12	(716)	(635)	116	4	(515)
Services	(165)	64	19	(82)	(260)	62	3	(195)
Trade	(233)	69	10	(155)	(362)	34	14	(314)
Oil and gas	(0)			(0)	(36)	20		(16)
Transportation and communication	(588)	55	24	(509)	(81)	98	6	23
Building and construction	(422)	87	27	(308)	(155)	75	9	(71)
Power and water supply	(60)	1	1	(59)	(48)	1		(47)
Seafood	(8)	49	0	41	(85)	3		(82)
Hotels and restaurants	(21)	9	1	(10)	(20)	22		2
Agriculture and forestry	(27)	22	3	(2)	(30)	9	1	(20)
Central and local government	(0)	0	0	(0)				
Other sectors	(124)	2	0	(121)	(11)	1	8	(2)
Total customers	(4 735)	978	1 742	(2 015)	(3 905)	1 245	677	(1 984)
Credit institutions					4			4
Changes in collective impairment of loans				(255)				341
Impairment of loans and guarantees	**(4 735)**	**978**	**1 742**	**(2 270)**	**(3 901)**	**1 245**	**677**	**(1 639)**
Of which individual impairment of guarantees	*(124)*	*88*		*(36)*	*(95)*	*238*		*143*

1) The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

2) Recoveries in 2015 largely reflected the effects of the agreement with Lindorff Capital AS on the sale of portfolios of non-performing loans in Norway.

Note 11 Developments in impairment of loans and guarantees

DNB Bank ASA

	2015				2014			
Amounts in NOK million	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total
Impairment as at 1 January	0	(7 652)	(134)	(7 785)	(78)	(5 107)	(278)	(5 463)
New impairment		(1 550)	(121)	(1 671)		(1 535)	(64)	(1 599)
Increased impairment		(654)	0	(654)		(742)	(28)	(771)
Reassessed impairment		590	82	672		613	237	850
Write-offs covered by previous impairment		2 463		2 463	74	2 245		2 319
Changes in individual impairment of accrued interest and amortisation		39		39	4	26		30
Changes in collective impairment		(292)		(292)		80		80
Changes in group structure								
Changes due to exchange rate movement		277	(3)	274		(230)	(1)	(231)
Impairment as at 31 December		(6 779)	(176)	(6 955)	0	(7 652)	(134)	(7 785)
Of which: Individual impairment		(4 639)	(176)	(4 815)		(5 620)	(134)	(5 754)
Individual impairment of accrued interest and amortisation		(430)		(430)		(470)		(470)
Collective impairment		(1 709)		(1 709)		(1 562)		(1 562)

DNB Bank Group

	2015				2014			
Amounts in NOK million	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total
Impairment as at 1 January	(1)	(12 484)	(143)	(12 608)	(79)	(12 720)	(284)	(13 084)
New impairment		(1 870)	(124)	(1 994)		(1 831)	(64)	(1 895)
Increased impairment		(1 295)	0	(1 295)		(1 153)	(31)	(1 183)
Reassessed impairment		890	88	978		1 007	238	1 245
Write-offs covered by previous impairment	1	3 748	0	3 749	74	2 348		2 422
Changes in individual impairment of accrued interest and amortisation		24		24	4	31		35
Changes in collective impairment		(255)		(255)		341		341
Changes in group structure								
Changes due to exchange rate movement		(442)	(2)	(444)		(487)	(2)	(489)
Impairment as at 31 December		(11 664)	(181)	(11 845)	(1)	(12 484)	(143)	(12 608)
Of which: Individual impairment		(8 484)	(181)	(8 665)	(1)	(9 646)	(143)	(9 790)
Individual impairment of accrued interest and amortisation		(656)		(656)		(680)		(680)
Collective impairment		(2 524)		(2 524)		(2 139)		(2 139)

Note 12 Market risk

Conditions for calculating market risk

Market risk is the risk of losses or reduced future income due to fluctuations in market prices or exchange rates. The risk arises as a consequence of the bank's unhedged transactions and exposure in the foreign exchange, property, interest rate, commodity, credit and equity markets. The risk level reflects market price volatility and the positions taken. Overall, market risk represents 9 per cent of the DNB Bank Group's total risk.

The DNB Bank Group quantifies risk by calculating risk-adjusted capital for individual risk categories and for the DNB Bank Group's overall risk, see note 4 Risk management. The risk-adjusted capital for market risk should, at a confidence level of 99.97 per cent, cover all potential losses related to market risk. The model has a one-year time horizon. Exposure included in the model could be either actual exposure or limits and is a conservative estimate where the Group is assumed to be incorrectly positioned relative to market developments. The realisation period is the time required to realise positions in highly volatile markets and varies from two days for positions in the most commonly traded currencies to 250 trading days for the bank's investment portfolio.

Financial instruments in the DNB Bank Group are divided into 25 risk categories. Risk-adjusted capital for the risk categories is calculated on the basis of expected developments in the value of an asset class or risk factor. To estimate annual losses, the value of each underlying instrument is simulated over a period of one year. Subsequent to this, losses for each potential realisation period are estimated.

The risk-adjusted capital for market risk in operations other than life insurance decreased from NOK 9.1 billion at year-end 2014 to NOK 6.9 billion at year-end 2015. The main reason is reduced risk of losses related to the bank's pension commitments. There was a decline in basis swap risk from trading activities due to lower volatility. Mark-to-market adjustments of swap contracts entered into in connection with the Group's long-term financing of loans, basis swaps, are not included in the measurement of risk-adjusted capital for market risk. These contracts may have significant effects on the accounts from one quarter to the next. However, as the contracts are generally held to maturity, these effects will be balanced out over time.

Note 13 Interest rate sensitivity

Interest rate sensitivity for different time intervals

The value of items on and off the balance sheet is affected by interest rate movements. The table shows potential losses for the DNB Bank Group excluding Baltics and Poland resulting from parallel one percentage point changes in all interest rates. The calculations are based on a hypothetical situation where interest rate movements in all currencies are unfavourable for the DNB Bank Group relative to the bank's positions. Also, all interest rate movements within the same interval will be unfavourable for the banking group. The figures will thus reflect maximum losses for the DNB Bank Group.

The calculations are based on the banking group's positions as at 31 December and market rates on the same date. The table does not include administrative interest rate risk and interest rate risk tied to non-interest-earning assets.

						DNB Bank Group [1]
Amounts in NOK million	Up to 1 month	From 1 months to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	Total
31 December 2015						
NOK	374	35	246	545	420	218
USD	1	98	78	22	3	5
EUR	0	59	74	30	12	32
GBP	8	25	20	6	2	21
SEK	89	29	121	8	1	6
Other currencies	19	20	33	8	17	50
31 December 2014						
NOK	327	59	79	173	248	113
USD	78	29	47	72	9	65
EUR	44	7	2	6	20	35
GBP	10	15	3	8	1	8
SEK	26	17	19	5	1	19
Other currencies	30	17	11	9	11	37

1) The figures do not include the operations in Baltics and Poland, and are for the rest identical for DNB Bank ASA.

Note 14 Currency positions

The table shows net currency positions as at 31 December, including financial derivatives as defined by Norges Bank. Net positions in individual currencies may represent up to 15 per cent of eligible primary capital. Aggregate currency positions must be within 30 per cent of eligible primary capital. Foreign exchange risk related to investments in subsidiaries is included in the currency position by the amount recorded in the accounts.

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
Net currency positions			Net currency positions	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
(421)	(71)	USD	(72)	(419)
(61)	(109)	EUR	(113)	(19)
11	17	GBP	18	11
4	(16)	SEK	(16)	4
(0)	(21)	DKK	(21)	1
9	11	CHF	11	9
135	(4)	JPY	(4)	135
29	4	Other	4	29
(294)	(189)	Total foreign currencies	(192)	(249)

Note 15 Financial derivatives

General information on application of financial derivatives

Financial derivatives are contracts stipulating financial values in the form of interest rate terms, exchange rates and the value of equity instruments for fixed periods of time. Corresponding contracts stipulating prices on commodities and indexes are also defined as financial derivatives. Derivatives include swaps, forward contracts and options as well as combinations thereof, including forward rate agreements (FRAs), financial futures and agreements on the transfer of securities. Financial derivatives in the DNB Bank Group are traded to manage liquidity and market risk arising from the banking group's ordinary operations. In addition, the banking group employs financial derivatives in its own account trading.

"Over the counter" (OTC) derivatives are contracts entered into outside an exchange. The contracts are tailor-made according to investor requirements with respect to the underlying object, quantity, price, expiration terms and maturity. The advantage of OTC derivatives is that customers are not limited to standardised contracts and can buy the precise position they wish. The disadvantage compared with the standardised market is that it can be difficult to find other contracting parties and to sell the contracts in the secondary market.

The following derivatives are employed for both trading and hedging purposes in the DNB Bank Group:

- *Forward contracts:* a contract to buy or sell interest rate terms, amounts in foreign currencies, shares or commodities on a specified future date at a fixed price. Forward contracts are tailor-made contracts traded between counterparties in the OTC market.
- *FRAs:* agreements that fix the interest rate for a future period for an agreed amount. When the contract matures, only the difference between the agreed interest rate and the actual market interest rate is exchanged.
- *Interest rate futures:* standardised contracts where the counterparties agree to exchange specific interest rate instruments at a fixed price on a specified date. The contracts are traded on an exchange. The value of interest rate futures follows the price trend on underlying interest rate instruments.
- *Swaps:* transactions where two parties exchange cash flows on a fixed amount over an agreed period. The majority of swaps are tailor-made and traded outside exchanges. The most important types of swaps traded by DNB are:
  - interest rate swaps in which fixed interest rates are exchanged for floating rates or floating rates are exchanged for fixed rates
  - cross-currency interest rate swaps in which parties exchange both currency and interest payments
  - equity swaps in which interest rate returns are exchanged for equity returns
- *Options:* agreements giving the buyer the right, but not the obligation, to either buy (call option) or sell (put option) a specific quantity of a financial instrument or commodity at a predetermined and fixed price. The buyer pays a premium to the seller for this right. Options are traded both as OTCs (tailor-made) and as standardised contracts.

Note 15 Financial derivatives (continued)

The tables show nominal values on financial derivatives according to type of derivative as well as positive and negative market values. Positive market values are entered as assets in the balance sheet, whereas negative market values are entered as liabilities. See note 1 Accounting principles for a more detailed description of measurement of financial derivatives.

DNB Bank ASA

	31 December 2015			31 December 2014		
Amounts in NOK million	Total nominal values	Positive market value	Negative market value	Total nominal values	Positive market value	Negative market value
Interest rate contracts						
FRA-contracts	2 379 037	1 310	1 282	2 813 506	2 211	2 295
Swaps	3 229 589	100 387	93 123	1 774 004	120 118	109 244
OTC options	42 729	441	634	62 830	1 014	695
Other OTC contracts	1 687	248		1 687	19	
Total interest rate contracts	5 653 042	102 386	95 039	4 652 029	123 363	112 234
Foreign exchange contracts						
Forward contracts	117 609	8 490	1 321	150 246	8 811	2 313
Swaps	2 208 817	47 976	99 501	3 163 096	66 077	100 007
OTC options	190 208	789	510	68 692	972	907
Total foreign exchange contracts	2 516 634	57 256	101 332	3 382 034	75 860	103 227
Equity-related contracts						
Forward contracts	7 896	1 586	375	11 737	1 956	475
OTC options	821	92	10	953	155	115
Total OTC derivatives	8 718	1 679	386	12 690	2 111	590
Futures	2 897	79	108	2 971	1	1
Options	2 795	39	67	3 862	77	90
Total exchange-traded contracts	5 693	118	174	6 833	78	91
Total equity-related contracts	14 410	1 797	560	19 523	2 190	681
Commodity-related contracts						
Swaps	28 485	5 542	5 375	41 929	7 171	6 577
Total commodity related contracts	28 485	5 542	5 375	41 929	7 171	6 577
Collateral pledged/received						
Total collateral pledged/received		46 817	38 211		40 184	52 127
Total financial derivatives	**8 212 572**	**213 797**	**240 518**	**8 095 515**	**248 768**	**274 846**
Of which: Applied for hedging purposes	*147 900*	*12 405*	*830*	*143 096*	*13 323*	*891*
- Interest rate swaps		*11 610*	*323*		*12 503*	*385*
- Cross-currency interest rate swaps		*795*	*508*		*820*	*506*

Note 15 Financial derivatives (continued)

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	31 December 2015 Total nominal values	Positive market value	Negative market value	31 December 2014 Total nominal values	Positive market value	Negative market value
Interest rate contracts						
FRA-contracts	2 379 037	1 310	1 282	2 813 508	2 211	2 295
Swaps	2 843 591	97 540	66 703	1 399 266	116 788	78 917
OTC options	42 465	447	634	62 891	1 023	695
Other OTC contracts	1 687	248		1 687	19	
Total interest rate contracts	5 266 781	99 546	68 618	4 277 352	120 042	81 908
Foreign exchange contracts						
Forward contracts	118 804	8 498	1 283	152 034	8 670	2 358
Swaps	1 822 098	40 285	40 376	2 807 022	56 958	41 736
OTC options	190 208	789	510	68 692	972	907
Total foreign exchange contracts	2 131 110	49 572	42 170	3 027 748	66 800	45 002
Equity-related contracts						
Forward contracts	7 896	1 586	375	11 737	1 956	475
OTC options	821	92	10	953	155	115
Total OTC derivatives	8 718	1 679	386	12 690	2 111	590
Futures	2 897	79	108	2 971	1	1
Options	2 795	39	67	3 862	77	90
Total exchange-traded contracts	5 693	118	174	6 833	78	91
Total equity-related contracts	14 410	1 797	560	19 523	2 190	681
Commodity-related contracts						
Swaps	28 486	5 542	5 375	41 930	7 172	6 576
Total commodity related contracts	28 486	5 542	5 375	41 930	7 172	6 576
Collateral pledged/received						
Total collateral pledged/received		46 617	38 155		40 184	52 062
Total financial derivatives	**7 440 787**	**203 273**	**154 878**	**7 366 553**	**236 389**	**186 230**
Of which: Applied for hedging purposes	*479 261*	*37 408*	*834*	*464 316*	*41 781*	*1 103*
- Interest rate swaps		*36 613*	*327*		*40 960*	*597*
- Cross-currency interest rate swaps		*795*	*508*		*820*	*506*

Use of financial derivatives in Markets

Markets acts as market maker and is obliged to furnish both offer and bid prices for specified option, forward or futures series with a maximum differential between the offer and bid price, together with a minimum volume. Market makers always trade for their own account. The purpose of own account trading, in addition to being a market maker, is position taking, which means intentional risk-taking within the foreign exchange, interest rate and equity markets to achieve profits arising from favourable price, exchange rate and index fluctuations. Arbitrage, that is profit taking from fluctuations in prices, exchange rates and indices for the same product in various markets, is also part of own-account trading.

Customer trading entails structuring and marketing financial derivatives for customers, enabling them to transfer, modify, take or reduce prevailing or expected risk. The majority of derivative transactions relate to customer trading.

The DNB Bank Group uses interest rate and currency swaps to convert foreign currency borrowings into the desired currency. As a typical example, the bank raises a loan in euro, which is swapped to US dollars through a basis swap. In this case, the bank will pay a US dollar interest rate based on a swap curve and receive a euro interest rate reduced or increased by a margin. These derivatives are carried at fair value. There may be significant variations in the value of the basis swaps from day to day, due to changes in basis swap spreads. This unhedged risk causes unrealised gains and losses. For the year 2015, there was a NOK 2 685 million increase in value (positive effect on profits), compared with a NOK 394 million increase in value in 2014.

Use of financial derivatives in DNB Boligkreditt

The purpose of employing financial derivatives in DNB Boligkreditt is to uncover and reduce foreign exchange and interest rate risk.

Risk related to financial derivatives

Derivatives are traded in portfolios which also include balance sheet products. The market risk on derivatives is handled, monitored and controlled as an integral part of the market risk of these portfolios. See notes 4 Risk management and 12 Market risk. Derivatives are traded with many different counterparties and most of these are also engaged in other types of business with DNB. The credit risk arising in connection with derivatives trading is included in the total credit risk of the DNB Bank Group. Netting agreements or bilateral agreements on collateral are entered into with a number of counterparties, thus reducing credit risk. The authorities' capital adequacy requirements take into account such agreements, resulting in a reduction of capital adequacy requirements. See note 5 Credit risk for a description of counter-party risk.

Note 16 Liquidity risk

Liquidity risk is the risk that the DNB Bank Group will be unable to meet its payment obligations. Overall liquidity management in the Group implies that DNB Bank ASA is responsible for funding domestic subsidiaries, as well as international branches and subsidiaries. Liquidity risk is managed and measured by means of various measurement techniques.

The Board of Directors has approved internal limits which restrict the short-term maturity of liabilities within different time frames. The various maturities are subject to stress testing based on a bank-specific crisis and a systemic crisis and a combination thereof, and a contingency plan has been established to handle market events. In addition, limits have been approved for structural liquidity risk, which implies that lending to customers should largely be financed through customer deposits, subordinated capital and long-term funding. Ordinary senior bond debt and covered bonds are the major sources of long-term funding. The banking group's ratio of deposits to net loans was 62.5 per cent at end of 2015, down from 65.7 per cent a year earlier. The ratio of deposits to net loans in DNB Bank ASA was 127.1 per cent at end of 2015.

The short-term funding markets were generally sound in 2015 for banks with high credit ratings. As US money market funds need to adapt to upcoming regulations, long-term maturities were not as attractive as they used to be. Combined with increasing demand for long-term investments among borrowers, this resulted in an increase in prices in the second half of the year. DNB had ample access to short-term funding throughout the year.

In the long-term funding markets, there was also a healthy supply of capital in the first half of the year. However, as the unrest in Greece increased as summer approached, the level of activity in the market dropped significantly, accompanied by rising prices on new issues. In September, the level of activity picked up, though margins widened. There was a general increase in margins for both covered bonds and ordinary senior debt through the second half of 2015. DNB had good access to long-term funding throughout 2015, but the cost of new long-term funding is expected to be higher as 2016 progresses.

The short-term liquidity requirement, Liquidity Coverage Ratio (LCR), remained stable at above 100 per cent throughout the year. At end of 2015, the total LCR was 133 per cent, with an LCR of 331 per cent for euro, 118 per cent for US dollars and 48 per cent for NOK.

The average remaining term to maturity for the portfolio of senior bond debt and covered bonds was 3.8 years at end of 2015, down from 4.3 years a year earlier. The banking group aims to achieve a sound and stable maturity structure for long-term funding over the next five years.

前へ　次へ

Note 16 Liquidity risk (continued)

Residual maturity as at 31 December 2015 [1]

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	Total
Assets							
Cash and deposits with central banks	16 004						16 004
Due from credit institutions	425 863	138 231	19 957	40 831	5 788		630 671
Loans to customers	160 149	74 634	71 842	203 994	197 268	(1 709)	706 177
Commercial paper and bonds at fair value	3 009	6 424	24 005	142 556	33 723		209 718
Commercial paper and bonds, held to maturity				1 695	17 467		19 162
Shareholdings						130 394	130 394
Other assets		3 056					3 056
Total	605 026	222 345	115 805	389 077	254 245	128 684	1 715 182
Liabilities							
Due to credit institutions	181 533	32 489	8 142	39 677	474		262 315
Deposits from customers	896 223						896 223
Debt securities issued	38 731	100 979	37 241	153 822	65		330 838
Other liabilities etc.	805	3 471	228				4 504
Subordinated loan capital				29 721	731		30 452
Total	1 117 291	136 940	45 611	223 220	1 270		1 524 332
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	676 392	455 976	347 524	619 816	378 367		2 478 075
Outgoing cash flows	674 056	454 792	347 929	645 953	397 510		2 520 240
Financial derivatives, net settlement	536	1 141		3 798	2 109		7 584
Total financial derivatives	2 872	2 325	(405)	(22 339)	(17 033)		(34 581)

Residual maturity as at 31 December 2014 [1]

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	Total
Assets							
Cash and deposits with central banks	53 506						53 506
Due from credit institutions	451 479	93 960	12 415	48 848	1 303		608 005
Loans to customers	153 597	78 631	63 039	204 826	225 742	(1 562)	724 272
Commercial paper and bonds at fair value	10 027	3 486	20 634	139 282	34 279		207 708
Commercial paper and bonds, held to maturity				1 244	30 684		31 927
Shareholdings						91 704	91 704
Other assets		2 774		831			3 605
Total	668 609	178 851	96 089	395 030	292 007	90 142	1 720 728
Liabilities							
Due to credit institutions	246 254	4 840	2 977	14 459			268 530
Deposits from customers	902 619						902 619
Debt securities issued	63 553	92 027	61 687	74 757	63 661		355 685
Other liabilities etc.	1 002	3 766	267				5 035
Subordinated loan capital			4 937	18 747	4 792		28 476
Total	1 213 427	100 633	69 867	107 963	68 453		1 560 344
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	631 009	529 825	380 732	671 559	358 315		2 571 440
Outgoing cash flows	611 769	521 855	381 880	704 277	381 958		2 601 738
Financial derivatives, net settlement	832	832	(572)	4 291	3 527		8 910
Total financial derivatives	20 072	8 801	(1 720)	(28 427)	(20 115)		(21 388)

1) Nominal future interest payments in excess of accrued interest are not included on the balance sheet date.

Note 16 Liquidity risk (continued)

Residual maturity as at 31 December 2015 [1]

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	Total
Assets							
Cash and deposits with central banks	19 317						19 317
Due from credit institutions	184 533	102 938	4 244	2 046	3 713		297 473
Loans to customers	182 780	104 616	99 621	335 774	811 837	(2 524)	1 532 104
Commercial paper and bonds at fair value	1 609	6 425	24 628	140 115	33 853		206 629
Commercial paper and bonds, held to maturity				1 695	17 467		19 162
Shareholdings						14 140	14 140
Other assets		3 056					3 056
Total	388 239	217 035	128 493	479 630	866 870	11 616	2 091 881
Liabilities							
Due to credit institutions	123 606	21 489	678	15 447	37		161 257
Deposits from customers	957 059						957 059
Debt securities issued	59 201	123 809	71 670	434 533	86 114		775 326
Other liabilities etc.	805	3 955	228				4 989
Subordinated loan capital				29 722	731		30 453
Total	1 140 671	149 253	72 576	479 702	86 882		1 929 084
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	653 849	432 276	313 975	437 103	275 019		2 112 222
Outgoing cash flows	650 951	430 079	314 828	449 945	276 924		2 122 727
Financial derivatives, net settlement	1 797	2 195	3 607	21 652	12 437		41 687
Total financial derivatives	4 694	4 393	2 754	8 810	10 531		31 182

Residual maturity as at 31 December 2014 [1]

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	Total
Assets							
Cash and deposits with central banks	58 506						58 506
Due from credit institutions	266 095	61 001	6 091	22 376	13		355 575
Loans to customers	162 980	91 886	80 904	290 737	821 645	(2 139)	1 446 013
Commercial paper and bonds at fair value	11 530	3 600	17 765	119 221	31 864		183 980
Commercial paper and bonds, held to maturity				1 244	30 684		31 927
Shareholdings				0		15 186	15 186
Other assets		2 774		831			3 605
Total	499 110	159 261	104 760	434 408	884 205	13 047	2 094 791
Liabilities							
Due to credit institutions	202 805	4 893	3 130	3 335	33		214 197
Deposits from customers	950 634						950 634
Debt securities issued	63 553	99 214	107 084	325 091	181 546		776 488
Other liabilities etc.	1 002	3 766	267				5 035
Subordinated loan capital			4 937	18 747	4 792		28 476
Total	1 217 993	107 873	115 419	347 173	186 371		1 974 830
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	626 933	526 125	335 505	482 064	258 019		2 228 646
Outgoing cash flows	608 274	518 659	332 828	494 517	267 354		2 221 632
Financial derivatives, net settlement	1 889	1 678	4 179	21 859	14 968		44 573
Total financial derivatives	20 547	9 144	6 856	9 405	5 634		51 587

1) Nominal future interest payments in excess of accrued interest are not included.

Credit lines, commitments and documentary credit

DNB Bank ASA 31 Dec. 2014	DNB Bank ASA 31 Dec. 2015	Amounts in NOK million	DNB Bank Group 31 Dec. 2015	DNB Bank Group 31 Dec. 2014
202 348	301 537	Unutilised credit lines etc. under 1 year	360 109	259 843
278 642	115 958	Unutilised credit lines etc. over 1 year	244 267	351 903

Note 17 Net interest income

DNB Bank ASA

	2015			2014		
Amounts in NOK million	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost [1]	Total	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost [1]	Total
Interest on amounts due from credit institutions	2 084	1 754	3 838	2 245	2 398	4 643
Interest on loans to customers	971	25 004	25 975	1 407	26 575	27 982
Interest on impaired loans and guarantees	17	441	459	58	497	555
Interest on commercial paper and bonds at fair value	4 801		4 801	5 152		5 152
Interest on commercial paper and bonds, held to maturity		314	314		646	646
Front-end fees etc.	3	290	293	1	277	278
Other interest income	(1 919)	4 526	2 606	(1 181)	3 832	2 651
Total interest income	**5 957**	**32 329**	**38 287**	**7 681**	**34 225**	**41 906**
Interest on amounts due to credit institutions	(1 372)	(187)	(1 559)	(1 557)	(269)	(1 826)
Interest on deposits from customers	(497)	(8 795)	(9 292)	(619)	(13 108)	(13 728)
Interest on debt securities issued	(1 473)	(1 601)	(3 075)	(1 265)	(1 937)	(3 202)
Interest on subordinated loan capital	(38)	(530)	(568)	(44)	(528)	(571)
Guarantee fund levy		(675)	(675)		(646)	(646)
Other interest expenses [2]	1 449	(353)	1 096	244	(319)	(75)
Total interest expenses	**(1 932)**	**(12 140)**	**(14 072)**	**(3 240)**	**(16 808)**	**(20 048)**
Net interest income	**4 026**	**20 189**	**24 215**	**4 441**	**17 417**	**21 859**

DNB Bank Group

	2015			2014		
Amounts in NOK million	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost [1]	Total	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost [1]	Total
Interest on amounts due from credit institutions	1 294	314	1 608	1 511	301	1 812
Interest on loans to customers	3 595	45 442	49 037	4 209	48 219	52 428
Interest on impaired loans and guarantees		619	619		643	643
Interest on commercial paper and bonds at fair value	4 291		4 291	4 380		4 380
Interest on commercial paper and bonds, held to maturity		314	314		646	646
Front-end fees etc.	15	323	337	5	312	316
Other interest income	(1 945)	3 532	1 587	(1 181)	2 637	1 456
Total interest income	**7 249**	**50 544**	**57 793**	**8 923**	**52 759**	**61 682**
Interest on amounts due to credit institutions	(1 177)	(188)	(1 365)	(1 411)	(339)	(1 750)
Interest on deposits from customers	(497)	(8 986)	(9 483)	(617)	(13 334)	(13 951)
Interest on debt securities issued	(3 174)	(9 635)	(12 809)	(3 149)	(9 485)	(12 633)
Interest on subordinated loan capital	(38)	(531)	(569)	(44)	(528)	(571)
Guarantee fund levy		(845)	(845)		(780)	(780)
Other interest expenses [2]	3 112	(298)	2 814	814	(201)	612
Total interest expenses	**(1 775)**	**(20 484)**	**(22 258)**	**(4 407)**	**(24 667)**	**(29 074)**
Net interest income	**5 475**	**30 060**	**35 535**	**4 516**	**28 091**	**32 607**

1) Includes hedged items.
2) Other interest expenses include interest rate adjustments resulting from interest rate swaps entered into. Derivatives are recorded at fair value.

Note 18 Interest rates on selected balance sheet items

	DNB Bank ASA			
	Average interest rate in per cent [1]		Average volume in NOK million	
Amounts in NOK million	2015	2014	2015	2014
Assets				
Due from credit institutions	0.41	0.61	934 924	763 802
Loans to customers	3.68	4.12	719 069	692 565
Commercial paper and bonds	2.13	2.32	225 269	221 793
Liabilities				
Due to credit institutions	0.38	0.53	407 055	341 420
Deposits from customers	0.92	1.45	1 007 870	946 702
Securities issued	0.77	0.87	398 935	367 269

	DNB Bank Group			
	Average interest rate in per cent [1]		Average volume in NOK million	
Amounts in NOK million	2015	2014	2015	2014
Assets				
Due from credit institutions	0.25	0.34	647 358	527 612
Loans to customers	3.31	3.84	1 501 783	1 382 551
Commercial paper and bonds	2.14	2.33	200 597	187 608
Liabilities				
Due to credit institutions	0.41	0.60	331 697	291 074
Deposits from customers	0.89	1.41	1 062 719	990 029
Securities issued	1.51	1.66	847 755	759 273

1) Average interest rate in per cent is calculated as total interest in NOK for the specific products in relation to the appurtenant average capital

Note 19 Net commission and fee income

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
3 274	3 378	Money transfer fees	3 596	3 480
260	294	Fees on asset management services	351	305
349	348	Fees on custodial services	363	358
273	287	Fees on securities broking	314	350
443	427	Corporate finance	777	740
35	29	Interbank fees	29	35
648	625	Credit broking commissions	781	630
306	366	Sales commissions on insurance products	392	327
		Fees on real estate broking	1 220	1 095
525	466	Sundry commissions and fees	870	829
6 112	**6 220**	**Total commission and fee income etc.**	**8 694**	**8 148**
(1 305)	(1 636)	Money transfer fees	(1 670)	(1 341)
(160)	(172)	Fees on custodial services	(174)	(160)
(66)	(61)	Interbank fees	(61)	(67)
(97)	(83)	Credit broking commissions	(27)	(56)
(18)	(95)	Commissions on the sale of insurance products	(95)	(19)
(541)	(628)	Sundry commissions and fees on banking services	(710)	(616)
(2 186)	**(2 676)**	**Total commission and fee expenses etc.**	**(2 737)**	**(2 258)**
3 926	**3 544**	**Net commission and fee income**	**5 956**	**5 891**

Note 20 Net gains on financial instruments at fair value

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
1 737	5 148	Foreign exchange and financial derivatives	8 169	330
1 440	(1 543)	Commercial paper and bonds	(1 552)	1 466
(17)	52	Shareholdings	52	(17)
(6)	56	Other financial assets	36	3
7	140	Financial liabilities	164	(1)
3 160	3 853	Net gains on financial instruments, trading	6 869	1 801
120	(214)	Loans at fair value	(894)	1 556
1 782	(1 304)	Commercial paper and bonds	(1 021)	1 615
129	(242)	Shareholdings	(90)	135
(458)	477	Financial liabilities	1 837	(1 478)
1 573	(1 282)	Net gains on financial instruments, designated as at fair value	(168)	1 828
2 906	(3 255)	Financial derivatives, hedging	(8 055)	15 087
0	0	Financial assets, hedged items	(2)	(0)
(2 939)	3 637	Financial liabilities, hedged items	9 029	(14 605)
(33)	382	Net gains on hedged items [1) 2)]	972	482
856	864	Financial guarantees	876	879
408	147	Dividends	156	415
5 963	**3 964**	**Net gains on financial instruments at fair value**	**8 704**	**5 404**

1) *With respect to hedged liabilities, the hedged risk is recorded at fair value, while the rest of the instrument is recorded at amortised cost. Derivatives used for hedging are recorded at fair value. Changes in fair value arising from hedged risk are presented under Financial derivatives, hedging. Net gains on hedged financial liabilities include amortization of fair values on discontinued hedging relationships.*

2) *The DNB Group uses hedge accounting for long-term borrowings in foreign currency in DNB Boligkreditt and DNB Bank ASA. Loans are hedged 1:1 through external contracts where there is a correlation between currencies, interest rate flows and the hedging instrument. At the time the loans are raised, Markets considers whether to enter into a hedging transaction for the relevant loan based on the Group's foreign currency positions and the underlying interest rate exposure for the loan.*

Note 21 Salaries and other personnel expenses

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
(5 991)	(6 175)	Salaries [*)]	(7 660)	(7 340)
(852)	(901)	Employer's national insurance contributions	(1 124)	(1 050)
(734)	823	Pension expenses [1)]	770	(802)
(235)	(345)	Restructuring expenses	(352)	(237)
(583)	(647)	Other personnel expenses	(775)	(666)
(8 394)	**(7 245)**	**Total salaries and other personnel expenses**	**(9 140)**	**(10 095)**
(4 977)	*(5 269)*	**) Of which: Ordinary salaries*	*(6 207)*	*(5 820)*
(781)	*(737)*	*Performance-based pay*	*(1 281)*	*(1 266)*

1) *In the fourth quarter of 2015 DNB decided to change the Bank Groups pension scheme from a defined-benefit to a defined-contribution scheme with effect from December 2015. The change includes the majority of its employees in Norway who were members of the Bank Group closed defined-benefit scheme. The change resulted in a one-time effect of NOK 1 808 million and 1 778 for the Bank Group and DNB Bank ASA respectively which reduced the periods pension cost.*

DNB Bank ASA		Number of employees/full-time positions	DNB Bank Group	
2014	2015 [1)]		2015 [1)]	2014
8 084	7 898	Number of employees as at 31 December	11 047	11 257
887	868	- of which number of employees abroad	3 122	3 251
7 734	7 546	Number of employees calculated on a full-time basis as at 31 December	10 608	10 854
865	850	- of which number of employees calculated on a full-time basis abroad	3 079	3 193
8 016	7 943	Average number of employees	11 130	11 344
7 663	7 583	Average number of employees calculated on a full-time basis	10 707	10 935

1) *The reduction in number of employees and number of employees calculated on a full-time basis from 2014 reflects restructuring measures in the banking group.*

Note 22 Other expenses

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
(1 228)	(1 370)	Fees [1]	(1 497)	(1 334)
(1 993)	(2 184)	IT expenses	(2 397)	(2 254)
(236)	(223)	Postage and telecommunications	(268)	(278)
(41)	(36)	Office supplies	(87)	(96)
(562)	(589)	Marketing and public relations	(845)	(849)
(191)	(210)	Travel expenses	(271)	(243)
(231)	(174)	Reimbursement to Norway Post for transactions executed	(174)	(231)
(46)	(60)	Training expenses	(72)	(57)
(1 248)	(1 165)	Operating expenses on properties and premises [2]	(1 365)	(1 483)
(68)	(67)	Operating expenses on machinery, vehicles and office equipment	(100)	(102)
(483)	(513)	Other operating expenses	(817)	(787)
(6 327)	**(6 591)**	**Total other expenses**	**(7 892)**	**(7 714)**

1) *Systems development fees totalled NOK 990 million for DNB Bank ASA and NOK 990 million for the DNB Bank Group in 2015, compared with NOK 889 million and NOK 889 million, respectively, in 2014.*
2) *Costs relating to leased premises were NOK 983 million and NOK 1 042 million respectively for DNB Bank ASA and the DNB Bank Group in 2015, compared with NOK 1 040 million and NOK 1 117 million in 2014.*

Note 23 Depreciation and impairment of fixed and intangible assets [1]

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
(1 316)	(1 418)	Depreciation of machinery, vehicles and office equipment	(1 453)	(1 348)
(421)	(375)	Other depreciation of tangible and intangible assets	(522)	(570)
(4)	(66)	Impairment of capitalised systems development	(66)	(4)
		Impairment losses for goodwill		(5)
(245)	(176)	Other impairment of fixed and intangible assets	(119)	(99)
(1 986)	**(2 035)**	**Total depreciation and impairment of fixed and intangible assets**	**(2 159)**	**(2 028)**

1) *See note 37 Intangible assets and note 38 Fixed assets.*

Note 24 Pensions

Description of the pension schemes

Up until year-end 2015, the DNB Bank Group had a defined-benefit occupational pension scheme for all employees in Norway who were employed in the Group prior to 31 December 2010 and a defined-contribution scheme for all employees employed after 1 January 2011. The defined-benefit occupational pension scheme was in the form of a group pension scheme funded by DNB Livsforsikring AS. Pension benefits included retirement and disability pensions. Full pension entitlements required minimum 30 years of pensionable service and gave the right to a retirement pension corresponding to the difference between 70 per cent of the employee's salary and estimated benefits from the National Insurance Scheme. The pension scheme was in compliance with the Norwegian Act on Occupational Pensions.

Until year-end 2015, the contribution rates for defined-contribution pensions were (as follows):

- Salary representing 1-6 times the National Insurance basic amount, G: 5 per cent
- Salary representing 6-12 times G: 8 per cent

The banking group has no defined-contribution pension scheme for salaries exceeding 12G.

In addition, around 400 employees from the former Postbanken are covered by a closed group pension plan in the Norwegian Public Service Pension Fund.

The defined-benefit occupational pension scheme established pursuant to the Norwegian Occupational Pension Act was terminated on 31 December 2015. This implied that all members of the defined-benefit scheme were converted to the defined-contribution scheme and that paid-up policies were issued for earned entitlements. Paid-up policies are also issued to pensioners. Employees who are on sick leave or who are partially disabled will remain enrolled in the defined-benefit pension scheme until they are reported fit for work or start drawing a retirement pension. Employees who are members of the pension plan in the Norwegian Public Service Pension Fund will not be affected by the changes. The closing of the defined-benefit scheme reduced pension commitments in the bank's balance sheet, with a non-recurring effect for DNB Bank ASA and the banking group of NOK 1 778 million and NOK 1 808 million, which reduced pension expenses for 2015 in the income statement.

As of 1 January 2016, all of the banking group's employees in Norway, apart from members of the pension plan in the Norwegian Public Service Pension Fund, will be enrolled in the banking group's defined-contribution pension scheme. The contribution rates for the new defined-contribution pension are:

- Salary representing 0-7.1 times G: 7 per cent
- Salary representing 7.1-12 times G: 15 per cent

As of 1 January 2016, a compensation scheme was established for employees who were enrolled in the closed defined-benefit scheme on the conversion date. The compensation scheme is structured as a supplementary, contribution-based direct pension scheme. The scheme includes a savings plan which, based on approved terms and conditions, aims to give the individual employee a total pension capital when reaching the age of 67 corresponding to what he or she would have received if the defined-benefit pension scheme had been retained.

On 1 January 2016, new rules for disability pension adapted to the new disability benefits from the National Insurance Scheme were introduced. As of this date, the disability pension scheme was changed to include:

- 3 per cent of pensionable income up to 12G
- 25 per cent of G, maximum 6 per cent of pensionable income, up to 12 G
- 66 per cent of pensionable income in the interval between 6G and 12G

The banking group also has commitments to some employees related to salaries exceeding 12G and early retirement agreements. Commitments relating to salaries exceeding 12G and early retirement agreements are funded through operations. This pension scheme was closed for employees who joined the banking group after 30 June 2008. Further restrictions were introduced as at 30 April 2011. Those who did not have salaries exceeding 12G on that date will not be encompassed by the scheme even if their salaries exceed 12G at a later date. With effect from 1 July 2011, employees with salaries exceeding 12G are covered by a special life level term insurance which represents 2.9 times annual salary, maximum 80G.

The Norwegian companies in the banking group are part of the contractual pension (CPA) scheme for the private sector. In addition, the banking group has an agreement on contractual pensions according to public sector rules for employees who are members of the Public Service Pension Fund.

The private CPA scheme will be funded by an annual premium representing a percentage of salaries between 1 and 7.1G.

Employer's contributions are included in pension expenses and commitments.

Subsidiaries and branches outside Norway have separate schemes for their employees, mainly in the form of defined-contribution schemes. Pension expenses for employees outside Norway represented NOK 160 million.

Economic assumptions applied in calculating pension expenses and commitments:

Note 24 Pensions (continued)

Economic assumptions

DNB Bank Group

	Expenses		Commitments	
			31 Dec.	31 Dec.
Per cent	2015	2014	2015	2014
Discount rate	2.40	4.00	2.70	2.40
Anticipated rise in salaries	2.75	3.75	2.50	2.75
Anticipated increase in basic amount	2.50	3.50	2.25	2.50
Anticipated rise in pensions	0.50	0.60	0.50	0.50
Anticipated CPA acceptance		Actual acceptance		Actual acceptance
Demographic assumptions about mortality [1]	K2013	K2013	K2013	K2013

1) *The banking group's pension expenses and pension commitments are based on the mortality table K2013, best estimate, prepared by Finance Norway. K2013 is an updated calculation base for statistical mortality assumptions.*

Pension expenses

DNB Bank ASA

	2015			2014		
Amounts in NOK million	Funded	Unfunded	Total	Funded	Unfunded	Total
Net present value of pension entitlements	(431)	(53)	(484)	(365)	(55)	(420)
Interest expenses on pension commitments	(366)	(38)	(404)	(475)	(59)	(534)
Calculated return on pension funds	283		283	424		424
Converting to defined-contribution scheme/curtailment	1 778	6	1 785	93		93
Administrative expenses	(6)		(6)	(6)		(6)
Total defined benefit pension schemes	1 259	(84)	1 175	(329)	(113)	(442)
Contractual pensions, new scheme			(92)			(79)
Risk coverage premium			(68)			(64)
Defined contribution pension schemes			(192)			(148)
Net pension expenses			822			(734)

Pension expenses

DNB Bank Group

	2015			2014		
Amounts in NOK million	Funded	Unfunded	Total	Funded	Unfunded	Total
Net present value of pension entitlements	(461)	(54)	(515)	(391)	(56)	(447)
Interest expenses on pension commitments	(377)	(39)	(416)	(490)	(60)	(550)
Calculated return on pension funds	294		294	439		439
Converting to defined-contribution scheme/curtailment	1 608		1 608	92		92
Administrative expenses	(6)		(6)	(6)		(6)
Total defined benefit pension schemes	1 258	(93)	1 164	(357)	(116)	(473)
Contractual pensions, new scheme			(100)			(86)
Risk coverage premium			(75)			(71)
Defined contribution pension schemes			(219)			(172)
Net pension expenses			770			(802)

Note 24 Pensions (continued)

DNB Bank ASA			Pension commitments	DNB Bank Group	
2014	2015		*Amounts in NOK million*	2015	2014
13 591	16 463		Opening balance	16 982	13 991
420	484		Accumulated pension entitlements	515	448
534	404		Interest expenses	416	550
2 702	(859)		Actuarial losses/(gains), net	(867)	2 785
(88)			Changes in the pension schemes		(88)
(82)	(10 925)		Converting to defined-contribution scheme/curtailment	(11 381)	(73)
(742)	(733)		Pension payments	(753)	(758)
128	156		Exchange rate differences	162	128
16 463	4 991		Closing balance	5 074	16 982

			Pension funds		
2014	2015		*Amounts in NOK million*	2015	2014
9 999	11 150		Opening balance	11 557	10 339
424	283		Expected return	294	439
214	(10)		Actuarial gains/(losses), net	(26)	207
(82)	(9 140)		Converting to defined-contribution scheme/curtailment	(9 573)	(74)
957	877		Premium paid	940	1 016
(461)	(494)		Pension payments	(501)	(467)
(6)	(6)		Administrative expenses	(6)	(6)
103	137		Exchange rate differences	142	103
11 150	2 798		Closing balance	2 826	11 557
5 313	2 193		Net defined benefit obligation	2 248	5 425
5 322	*2 246*	*Of which:*	*Recorded defined benefit pension commitments*	*2 301*	*5 434*
9	*53*		*Recorded defined benefit pension assets*	*53*	*9*

Payments through operations are estimated at NOK 94 million.

DNB Bank ASA			Effects recorded in other comprehensive income	DNB Bank Group		
Funded	Unfunded	Total	*Amounts in NOK million*	Funded	Unfunded	Total
3 843	(29)	3 813	Actuarial losses/(gains) 31 December 2014	3 975	(35)	3 940
(583)	(10)	(593)	Remeasurement - changes in discount rate	(593)	(10)	(604)
(159)	1 411	1 252	Remeasurement - changes in other economic assumptions, pension commitments	(144)	1 421	1 276
(100)	(1 417)	(1 517)	Remeasurement - changes in other factors, pension commitments	(91)	(1 425)	(1 516)
(32)		(32)	Remeasurement - changes in other economic assumptions, pension funds	(32)		(32)
(51)		(51)	Remeasurement - changes in other factors, pension funds	(37)		(37)
87		87	Investment management costs	92		92
(838)	(16)	(854)	Total remeasurement losses/(gains) in other comprehensive income	(807)	(15)	(822)
(2 293)		(2 293)	Defined benefit pension scheme discontinued	(2 425)		(2 425)
712	(45)	667	Actuarial losses/(gains) 31 December 2015	744	(50)	694

Past developments — DNB Bank Group

Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014	31 Dec. 2013	31 Dec. 2012	1 Jan. 2012	31 Dec. 2011
Gross pension commitments [1]	5 074	16 982	13 991	13 400	16 312	16 312
Gross pension funds	2 826	(11 557)	(10 339)	(9 959)	(9 362)	(9 362)
Commitments not recorded in the accounts						(4 181)
Net recorded pension commitments	2 248	5 425	3 652	3 442	6 950	2 769

1) *Gross pension commitments include employer's contributions.*

Pension funds investments

The funded pension scheme in Norway is generally funded by DNB Livsforsikring AS, and the pension funds are thus linked to an insurance policy. The insurance policy includes a guaranteed rate of return, which means that DNB Livsforsikring carries the risk for the return on the pension funds.

The table below shows a percentage breakdown of pension funds in the group pension schemes administered by DNB Livsforsikring. DNB Livsforsikring has NOK 326 million of the banking group's total pension funds under management.

Note 24 Pensions (continued)

	DNB Bank Group	
Per cent	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Equities, Norwegian	0.3	1.2
Equities, international	7.8	10.2
Bonds at fair value, Norwegian	5.6	9.6
Bonds at fair value, international	0.9	4.7
Money market instruments	24.3	22.4
Bonds, held to maturity	32.7	34.8
Loans and receivables	18.0	
Real estate	9.9	15.0
Other	0.3	2.1
Total	100.0	100.0

Sensitivity analyses for pension calculations

The following estimates are based on facts and conditions prevailing on 31 December 2015, assuming that all other parameters are constant. Actual results may deviate significantly from these estimates.

	DNB Bank Group							
		Discount rate		Annual rise in salaries/ basic amount		Annual rise in pensions	Life expectancy	
Change in percentage points	+1%	-1%	+1%	-1%	+1%	0% reg.	+1 year	-1 year
Percentage change in pensions								
Pension commitments	13-15	15-17	6-8	6-9	10-11	5 - 7	2	2
Net pension expenses for the period	16-18	22-23	13-15	10-11	10-11	5 - 7	4	3

Pension commitments are particularly susceptible to changes in the discount rate. A reduction in the discount rate will, as an isolated factor, result in an increase in pension commitments. A one percentage point reduction in the discount rate will cause an increase in pension commitments in the order of 15 to 17 per cent and an increase in pension costs of 22 to 23 per cent. Higher salary increases and adjustments in pensions will also cause a rise in pension commitments and pension expenses.

Note 25 Taxes

DNB Bank ASA		Tax expense on pre-tax operating profit	DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
(1 987)	(7 002)	Current taxes	(5 882)	(2 935)
(1 913)	3 550	Changes in deferred taxes	(1 873)	(3 239)
(3 900)	**(3 452)**	**Tax expense**	**(7 755)**	**(6 174)**
		Reconciliation of tax expense against nominal tax rate		
		Amounts in NOK million		
22 358	24 080	Pre-tax operating profit	31 028	25 306
(6 037)	(6 504)	Estimated tax expense at nominal tax rate 27 per cent	(8 378)	(6 833)
(86)	(38)	Tax effect of different tax rates in other countries	(168)	(103)
188	162	Tax effect of debt interest distribution with international branches	162	188
1 869	3 370	Tax effect of tax-exempt income from shareholdings [1]	184	192
169	119	Tax effect of other tax-exempt income and non-deductible expenses	(35)	225
		Tax effect of tax losses carried forward not recognised in the balance sheet [2]	32	7
	(489)	Tax effect of changed tax rate for deferred taxes recognised in the balance sheet [3]	511	
(3)	(72)	Excess tax provision previous year	(63)	150
(3 900)	**(3 452)**	**Tax expense**	**(7 755)**	**(6 174)**
17%	14%	Effective tax rate	25%	24%
		Income tax on other comprehensive income		
		Amounts in NOK million		
695	(239)	Pensions	(236)	719
		Hedges of net investments	2 294	1 674
695	**(239)**	**Total income tax on other comprehensive income**	**2 058**	**2 393**

1) *In Norway, a company's income from share investments is normally exempt from tax. As a rule, this applies to investments in companies domiciled in the EU/EEA. The tax exemption applies to both dividends and gains/ (losses) upon realisation. However, 3 per cent of dividends from tax-exempt investments is included in taxable income.*

2) *Deferred taxes for tax-deductible differences (mainly losses carried forward) in subsidiaries are not recognised in the balance sheet unless the Group can prove that these tax positions will be utilised in the future.*

3) *The income tax rate in Norway was 27 per cent in 2015. A change in the income tax rate to 25 per cent with effect from 2016 has been approved. As temporary differences at year-end 2015 are expected to be reversed in a tax base subject to 25 per cent income tax, deferred tax in the balance sheet at year-end 2015 is recognised on the basis of a 25 per cent tax rate. The effect of re-evaluating the opening balance for deferred tax in 2015 to a 25 per cent tax rate is recognised in the 2015 deferred tax expense. Correspondingly, the deferred tax expense arising from changes in temporary differences through 2015 is calculated on the basis of a 25 per cent tax rate, even though the prevailing tax rate in 2015 was 27 per cent. The effect of changes in the income tax rate will therefore be a reconciliation item in the reconciliation of the 27 per cent tax expense against pre-tax operating profits.*

Tax effect of different tax rates in other countries

The Group has operations in a number of countries whose tax rates are different from that in Norway (27 per cent).

Tax effect of debt interest distribution with international branches

According to Norwegian tax legislation, external interest expenses shall be distributed proportionally among operations in Norway and international branches based on the respective units' total assets. This could result in additions or deductions from income in Norway.

Expectations regarding the effective tax rate

The nominal tax rate in Norway was 27 per cent in 2015. A change in the income tax rate in Norway to 25 per cent with effect from 2016 has been approved. Business operations outside Norway are subject to local tax rates in their country of operation, and nominal tax rates range from 12 to 45 per cent. The effective taxation of operations outside Norway depends on both local tax rules and on whether it is possible to avoid double taxation. Tax-exempt income from share investments contributes to a lower expected tax rate than 25 per cent. In the longer term, the effective tax rate is expected to be approximately 24 per cent. In some periods, tax losses carried forward that are not recognised in the balance sheet have caused variations in the effective tax rate. In periods when such assets have not been recognised, the effective tax rate has been higher than the long-term expectation, whereas it has been lower in periods when tax losses not recognised as assets have been utilised.

Note 25 Taxes (continued)

DNB Bank ASA		Deferred tax assets/(deferred taxes)	DNB Bank Group	
		25 per cent (27 per cent in 2014) deferred tax calculation on all temporary differences (Norway)		
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
		The year's changes in deferred tax assets/(deferred taxes)		
4 142	2 970	Deferred tax assets/(deferred taxes) as at 1 January	(3 340)	(955)
(1 913)	3 550	Changes recorded against profits	(1 873)	(3 239)
695	(238)	Changes recorded against comprehensive income	(236)	719
46	26	Currency translation differences on deferred taxes	126	135
2 970	6 308	Deferred tax assets/(deferred taxes) as at 31 December	(5 323)	(3 340)
		Deferred tax assets and deferred taxes in the balance sheet relates to the following temporary differences		
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
		Deferred tax assets		
(656)	(962)	Fixed assets and intangible assets	(26)	(6)
(5 834)	(5 652)	Commercial paper and bonds		(15)
3 180	2 507	Debt securities issued		(7)
4 718	9 818	Financial derivatives	(16)	(27)
(53)	1	Other financial instruments	(6)	9
1 500	610	Net pension liabilities	443	110
58	(207)	Net other tax-deductable temporary differences	102	594
82	195	Tax losses and tax credits carried forward	641	539
2 995	**6 320**	**Total deferred tax assets**	**1 138**	**1 197**
		Deferred taxes		
10	11	Fixed assets and intangible assets	950	670
15	1	Commercial paper and bonds	5 650	5 850
		Debt securities issued	(8 226)	(10 663)
		Financial derivatives	8 203	15 116
		Other financial instruments	264	734
		Net pension liabilities	(522)	(1 418)
		Net other taxable temporary differences	327	216
		Tax losses and tax credits carried forward	(185)	(5 968)
25	**12**	**Total deferred taxes**	**6 461**	**4 537**
		Deferred taxes in the income statement relate to the following temporary differences		
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
1	(298)	Fixed assets and intangible assets	(300)	(1)
(2 795)	197	Commercial paper and bonds [1) 2)]	215	(2 795)
1 565	(673)	Debt securities issued [1) 2)]	(2 430)	5 796
165	5 100	Financial derivatives [1) 2)]	6 925	(11 259)
(30)	53	Other financial instruments [1) 2)]	454	(231)
(207)	(652)	Pensions	(668)	(220)
(368)	(290)	Other temporary differences	(355)	(163)
(244)	113	Tax losses and tax credits carried forward [2)]	(5 714)	5 634
(1 913)	**3 550**	**Deferred tax expense**	**(1 873)**	**(3 239)**

1) *A significant share of the financial instruments are carried at fair value in the accounts, while for tax purposes, the same instruments are recorded on an accrual basis in accordance with the realisation principle. This gives rise to large differences between profits stated in the accounts and profits computed for tax purposes for the individual accounting years, especially in years with significant fluctuations in interest rate levels and exchange rates. These differences are offset in the longer term.*

2) *Due to large exchange rate fluctuations in 2015 and 2014, there were significant changes in unrealised gains and losses on financial instruments used in managing the banking group's currency and interest rate risk. Financial instruments are recorded in accordance with the realisation principle, while the current rate method is used for receivables and liabilities in foreign currency. These differences are expected to be reversed within a short period of time.*

Note 25 Taxes (continued)

Overview over tax assets from tax losses and tax credits carried forward — DNB Bank ASA

	31 December 2015			31 December 2014		
Amounts in NOK million	Total tax losses carried	Of which as basis	Recognised	Total tax losses carried	Of which as basis for	Recognised
Tax losses carried forward	forward	for tax assets	tax asset	forward	assets	tax asset
Singapore	236	236	59			
Total of tax losses and tax assets	236	236	59			
Tax credits carried forward [1]			136			82
Total of deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward			**195**			**82**

1) All tax credits carried forward relates to tax payers in Norway

Overview over deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward — DNB Bank Group

	31 December 2015			31 December 2014		
Amounts in NOK million	Total tax losses carried	Of which as basis	Recognised	Total tax losses carried	Of which as basis for	Recognised
Tax losses carried forward	forward	for tax assets	tax asset	forward	assets	tax asset
Norway	194	194	49	21 799	21 799	5 886
Singapore	236	236	59			
Latvia	1 797	655	98	2 020	656	99
Lithuania	372	420	63	547	351	53
Denmark	2 461	1 681	420	2 419	1 436	388
Total of tax losses and tax assets	5 060	3 186	689	26 785	24 242	6 425
Tax credits carried forward [1]			136			82
Total of deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward			**825**			**6 507**

1) All tax credits carried forward relates to tax payers in Norway

Recognition of deferred tax

Deferred tax assets are capitalised to the extent it is probable that the DNB Bank Group will have taxable income against which temporary differences can be utilised. Net deferred taxes on temporary differences within the same tax group are assessed and entered net in the accounts.

Note 26 Classification of financial instruments

As at 31 December 2015 — **DNB Bank ASA**

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss: Trading	Financial instruments at fair value through profit and loss: Designated at fair value	Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost [1]	Financial instruments held to maturity	Total
Cash and deposits with central banks	1 097	12 557		2 350		16 004
Due from credit institutions	478 799	23 929		127 972		630 700
Loans to customers	37 640	24 855		643 036		705 532
Commercial paper and bonds at fair value	126 930	83 132				210 062
Shareholdings	6 724	781				7 504
Financial derivatives	201 393		12 405			213 797
Commercial paper and bonds, held to maturity					19 162	19 162
Investments in associated companies				975		975
Investments in subsidiaries				120 473		120 473
Other assets				23 735		23 735
Total financial assets	852 583	145 254	12 405	918 541	19 162	1 947 944
Due to credit institutions	233 605	2 449		26 275		262 330
Deposits from customers	42 176	2 060		852 252		896 488
Financial derivatives	239 687		830			240 518
Debt securities issued	159 932	18 258		161 909		340 099
Other liabilities	5 359			34 079		39 438
Subordinated loan capital		1 241		29 712		30 953
Total financial liabilities [2]	680 760	24 008	830	1 104 226		1 809 825

1) *Includes hedged liabilities.*
2) *Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 23 342 million.*

As at 31 December 2014 — **DNB Bank ASA**

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss: Trading	Financial instruments at fair value through profit and loss: Designated at fair value	Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost [1]	Financial instruments held to maturity	Total
Cash and deposits with central banks	515	15 034		37 956		53 505
Due from credit institutions	451 522	21 022		135 492		608 036
Loans to customers	8 120	36 953		678 383		723 456
Commercial paper and bonds at fair value	125 617	86 129				211 746
Shareholdings	7 915	1 290				9 205
Financial derivatives	235 445		13 323			248 768
Commercial paper and bonds, held to maturity					31 927	31 927
Investments in associated companies				975		975
Investments in subsidiaries				79 266		79 266
Other assets				16 581		16 581
Total financial assets	829 134	160 430	13 323	948 653	31 927	1 983 467
Due to credit institutions	241 070	2 708		24 753		268 531
Deposits from customers	48 209	1 466		853 358		903 033
Financial derivatives	273 956		891			274 846
Debt securities issued	206 669	14 171		145 365		366 205
Other liabilities	50			21 054		21 104
Subordinated loan capital		1 261		28 058		29 319
Total financial liabilities [2]	769 954	19 606	891	1 072 588		1 863 038

1) *Includes hedged liabilities.*
2) *Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 18 490 million.*

Note 26 Classification of financial instruments (continued)

As at 31 December 2015 — **DNB Bank Group**

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss: Trading	Financial instruments at fair value through profit and loss: Designated at fair value	Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost [1]	Financial instruments held to maturity	Total
Cash and deposits with central banks	1 097	12 557		5 663		19 317
Due from credit institutions	282 854	2		14 602		297 457
Loans to customers	37 640	85 777		1 408 515		1 531 932
Commercial paper and bonds at fair value	125 580	81 482				207 063
Shareholdings	7 603	1 190				8 794
Financial derivatives	165 866		37 408			203 273
Commercial paper and bonds, held to maturity					19 162	19 162
Other assets				8 608		8 608
Total financial assets	620 641	181 008	37 408	1 437 388	19 162	2 295 606
Due to credit institutions	129 082	2 449		29 735		161 267
Deposits from customers	42 176	2 060		913 086		957 322
Financial derivatives	154 044		834			154 878
Debt securities issued	159 932	88 490		558 388		606 810
Other liabilities	5 359			13 050		18 409
Subordinated loan capital		1 241		29 712		30 953
Total financial liabilities [2]	490 594	94 240	834	1 543 971		2 129 640

1) Includes hedged liabilities.
2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 91 948 million.

As at 31 December 2014 — **DNB Bank Group**

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss: Trading	Financial instruments at fair value through profit and loss: Designated at fair value	Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost [1]	Financial instruments held to maturity	Total
Cash and deposits with central banks	515	15 034		42 956		58 505
Due from credit institutions	340 082	251		15 244		355 577
Loans to customers	8 120	105 700		1 333 645		1 447 465
Commercial paper and bonds at fair value	123 500	64 265				187 765
Shareholdings	8 159	1 550				9 709
Financial derivatives	194 609		41 781			236 389
Commercial paper and bonds, held to maturity					31 927	31 927
Other assets				12 301		12 301
Total financial assets	674 984	186 802	41 781	1 404 145	31 927	2 339 639
Due to credit institutions	183 865	2 708		27 637		214 211
Deposits from customers	48 209	1 466		901 373		951 049
Financial derivatives	185 127		1 102			186 230
Debt securities issued	206 669	83 283		523 957		813 909
Other liabilities	50			12 790		12 840
Subordinated loan capital		1 261		28 058		29 319
Total financial liabilities [2]	623 921	88 718	1 102	1 493 816		2 207 557

1) Includes hedged liabilities.
2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 84 681 million.

Note 27 Fair value of financial instruments at amortised cost

DNB Bank ASA

	31 December 2015		31 December 2014	
Amounts in NOK million	Carrying amount	Fair value	Carrying amount	Fair value
Cash and deposits with central banks	2 350	2 350	37 956	37 956
Due from credit institutions	127 972	127 972	135 492	135 492
Loans to customers	643 036	636 275	678 383	680 479
Commercial paper and bonds, held to maturity	19 162	18 463	31 927	31 838
Total financial assets	792 520	785 059	883 758	885 765
Due to credit institutions	26 275	26 275	24 753	24 753
Deposits from customers	852 252	852 252	853 358	853 358
Securities issued	161 909	164 603	145 385	149 523
Subordinated loan capital	29 712	29 711	28 058	28 233
Total financial liabilities	1 070 147	1 072 841	1 051 534	1 055 867

DNB Bank Group

	31 December 2015		31 December 2014	
Amounts in NOK million	Carrying amount	Fair value	Carrying amount	Fair value
Cash and deposits with central banks	5 663	5 663	42 956	42 956
Due from credit institutions	14 602	14 602	15 244	15 244
Loans to customers	1 406 515	1 401 036	1 333 645	1 335 400
Commercial paper and bonds, held to maturity	19 162	18 463	31 927	31 838
Total financial assets	1 447 942	1 439 763	1 423 772	1 425 438
Due to credit institutions	29 735	29 735	27 637	27 637
Deposits from customers	913 086	913 086	901 373	901 373
Securities issued	568 368	562 620	523 957	532 557
Subordinated loan capital	29 712	29 711	28 058	28 233
Total financial liabilities	1 530 921	1 535 153	1 481 025	1 489 801

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 [1]	Valuation based on observable market data Level 2 [1]	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 [1]	Accrued interest	Total
Assets as at 31 December 2015					
Cash and deposits with central banks		2 350			2 350
Due from credit institutions		127 964		8	127 972
Loans to customers			634 162	2 113	636 275
Commercial paper and bonds, held to maturity			18 447	15	18 463
Liabilities as at 31 December 2015					
Due to credit institutions		26 269		6	26 275
Deposits from customers		852 232		20	852 252
Securities issued		157 467	4 457	2 678	164 603
Subordinated loan capital		11 972	17 389	350	29 711

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 [1]	Valuation based on observable market data Level 2 [1]	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 [1]	Accrued interest	Total
Assets as at 31 December 2015					
Cash and deposits with central banks		5 663			5 663
Due from credit institutions		14 541		61	14 602
Loans to customers			1 397 419	3 616	1 401 036
Commercial paper and bonds, held to maturity			18 447	15	18 463
Liabilities as at 31 December 2015					
Due to credit institutions		29 699		36	29 735
Deposits from customers		912 991		96	913 086
Securities issued		534 959	21 036	6 625	562 620
Subordinated loan capital		11 972	17 389	350	29 711

1) *See note 28 Financial instruments at fair value for a definition of the levels.*

Note 27 Fair value of financial instruments at amortised cost (continued)

Financial instruments at amortised cost

Most assets and liabilities in the DNB Bank Group's balance sheet are carried at amortised cost. This primarily applies to loans, deposits and borrowings in the banking group's balance sheet, but also investments in bonds held to maturity. Long-term borrowings in Norwegian kroner are carried at fair value, while long-term borrowings in other currencies are carried at amortised cost. Hedge accounting may be applied.

Recording balance sheet items at amortised cost implies that the originally agreed cash flows are used, possibly adjusted for impairment. Such valuations will not always give values which are consistent with market assessments of the same instruments. Discrepancies may be due to diverging views on macro-economic prospects, market conditions, risk aspects and return requirements, as well as varying access to accurate information. The above table shows estimated fair values of items carried at amortised cost.

Valuations are based on the individual instruments' characteristics and values on the balance sheet date. However, these values do not include the total value of customer relationships, market access, brands, organisational aspects, employees and structural capital. Consequently, such intangible assets are generally not recorded in the accounts. In addition, most transactions with customers are assessed and priced collectively for several products, and products recorded in the balance sheet are considered along with other products and services used by the customer. Individual assets and liabilities recorded in the balance sheet thus give no adequate reflection of the total value of the Bank Group's operations.

Due from credit institutions and loans to customers

When valuing loans, the loan portfolio has been divided into the following categories: personal customers, small and medium-sized enterprises, Nordic corporates, international corporates, shipping, offshore and logistics and energy. In addition, separate calculations have been made for DNB Finans, the Baltics and Poland.

The valuations are based on average margins in December, considered relative to the business units' best estimate of the potential margin requirement at year-end 2015 if the loans had been extended at that time. Differentiated margin requirements have been calculated for each category, as specified above, based on estimated costs related to lending. The margin requirement includes costs covering normalised losses, which, as opposed to impairment recorded in the annual accounts, represent a long-term assessment of loss levels.

Retail loans carried at amortised cost are mainly loans with floating interest rate. The fair value of the retail loans has been set at amortised cost.

With respect to impaired loans, an assessment has been made of potential cash flows for the loans discounted by the effective rate of interest adjusted for changes in market conditions for corresponding non-impaired loans. Loan rates prior to provisions being made reflect the increased credit risk of the commitment. Given the general uncertainty in fair value measurements, it is evaluated that the impaired value gives a good reflection of the fair value of these loans.

Customers will often use loan products which are carried partly at amortised cost and partly at fair value. The profitability of a customer relationship is considered on an aggregate basis, and prices are set based on an overall evaluation. Correspondingly, a possible reduction in the customer relationship value is based on an overall assessment of all products. Any decline in value apart from price changes on specific products is included in the overall assessment of credits in the relevant customer relationship. Any reduction in the total customer relationship value is measured on the basis of amortised cost and reported under impairment on loans.

Commercial paper and bonds, held to maturity

The valuation in level 2 is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves, exchange rates and credit margins related to the individual credit and the characteristics of the bond or commercial paper. For papers classified as level 3, the valuation is based on models. See note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity for more information.

Due to credit institutions and deposits from customers

The estimated fair value equals the balance sheet value for credit institutions. With respect to deposits from customers, fair value is assessed to equal amortised cost.

Securities issued and subordinated loan capital

The valuation in level 2 is based on observable market data in the form of interest rate curves and credit margins when available. Securities and subordinated loan capital in level 3 are valued based on models. The items consist mainly of funding in foreign currency.

Note 28 Financial instruments at fair value

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1	Valuation based on observable market data Level 2	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3	Accrued interest [1]	Total
Assets as at 31 December 2015					
Deposits with central banks		13 654		1	13 654
Due from credit institutions		502 618		110	502 727
Loans to customers		37 638	24 779	78	62 495
Commercial paper and bonds at fair value	37 906	169 808	566	1 782	210 062
Shareholdings	6 675	1	828		7 504
Financial derivatives	2	212 291	1 504		213 797
Liabilities as at 31 December 2015					
Due to credit institutions		236 013		42	236 055
Deposits from customers		44 119		117	44 236
Debt securities issued		177 996		194	178 190
Subordinated loan capital		1 240		1	1 241
Financial derivatives	0	239 374	1 144		240 518
Other financial liabilities [2]	5 247	75		38	5 359
Assets as at 31 December 2014					
Deposits with central banks		15 545		4	15 549
Due from credit institutions		472 418		127	472 545
Loans to customers		8 118	36 825	129	45 073
Commercial paper and bonds at fair value	34 112	175 561	246	1 828	211 746
Shareholdings	7 870		1 335		9 205
Financial derivatives	1	246 890	1 877		248 768
Liabilities as at 31 December 2014					
Due to credit institutions		243 738		40	243 778
Deposits from customers		49 564		111	49 675
Debt securities issued		220 707		133	220 840
Subordinated loan capital		1 259		2	1 261
Financial derivatives	1	273 383	1 463		274 846
Other financial liabilities [2]	50				50

1) Accrued interest on financial derivatives is included in the amounts in levels 2 and 3.
2) Short positions, trading activities.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1	Valuation based on observable market data Level 2	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3	Accrued interest [1]	Total
Assets as at 31 December 2015					
Deposits with central banks		13 654		1	13 654
Due from credit institutions		282 842		13	282 855
Loans to customers		37 638	85 591	187	123 417
Commercial paper and bonds at fair value	42 335	162 168	734	1 826	207 063
Shareholdings	7 564	2	1 229		8 794
Financial derivatives	2	201 767	1 504		203 273
Liabilities as at 31 December 2015					
Due to credit institutions		131 506		26	131 532
Deposits from customers		44 119		117	44 236
Debt securities issued		247 714		708	248 422
Subordinated loan capital		1 240		1	1 241
Financial derivatives	0	153 734	1 144		154 878
Other financial liabilities [2]	5 247	75		38	5 359
Assets as at 31 December 2014					
Deposits with central banks		15 545		4	15 549
Due from credit institutions		340 290		44	340 334
Loans to customers		8 118	105 429	273	113 820
Commercial paper and bonds at fair value	38 447	147 174	251	1 893	187 765
Shareholdings	8 120	1	1 589		9 709
Financial derivatives	1	234 511	1 877		236 389
Liabilities as at 31 December 2014					
Due to credit institutions		186 544		30	186 574
Deposits from customers		49 564		111	49 675
Debt securities issued		289 360		591	289 952
Subordinated loan capital		1 259		2	1 261
Financial derivatives	1	184 766	1 463		186 230
Other financial liabilities [2]	50				50

1) Accrued interest on financial derivatives is included in the amounts in levels 2 and 3.
2) Short positions, trading activities.

The levels

Financial instruments are categorised within different levels based on the quality of the market data for the individual instruments. With respect to financial instruments categorised as level 2, the quality of market data may vary depending on whether the relevant instrument has been traded. Thus, it will be natural that some instruments are moved between level 2 and level 3. This applies primarily to commercial paper and bonds.

Level 1: Valuation based on quoted prices in an active market

Classified as level 1 are financial instruments valued by using quoted prices in active markets for identical assets or liabilities.

Instruments in this category include listed shares and mutual funds, Treasury bills and commercial paper traded in active markets.

Level 2: Valuation based on observable market data

Classified as level 2 are financial instruments which are valued by using inputs other than quoted prices, but where prices are directly or indirectly observable for the assets or liabilities, including quoted prices in non-active markets for identical assets or liabilities.

Included in this category are, among others, interbank derivatives such as interest rate swaps, currency swaps and forward contracts with prices quoted on Reuters or Bloomberg, basis swaps between the currencies NOK, EUR, USD and GBP and cross-currency interest rate derivatives with customers with insignificant credit margins. Exchange-traded options are classified as level 2 if it is possible to scan or interpolate/extrapolate implicit volatility based on observable prices.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Level 3: Valuation based on other than observable market data

Classified as level 3 are financial instruments which cannot be valued based on directly observable prices. For these instruments other valuation techniques are used, such as valuation of assets and liabilities in companies, estimated cash flows and other models where key parameters are not based on observable market data.

Included in this category are loans to customers and instruments where credit margins constitute a major part of adjustments to market value.

Gains or losses, that occur when the estimated fair value is different from the transaction price (day-one gain/loss) has not had significant impact to the financial statement neither for 2015 or 2014.

The instruments in the different levels

Due from credit institutions (level 2)

The item is primarily relevant for Markets. The valuation of loans to and deposits with credit institutions is mainly based on agreed interest rate terms measured against a swap curve. The fixed-rate period is relatively short.

Loans to customers (level 3)

Loans consist primarily of fixed-rate loans in Norwegian kroner and parts of the portfolio of margin loans in Norwegian kroner. The value of fixed-rate loans is determined by discounting agreed interest flows over the term of the loan, using a discount factor adjusted for margin requirements. A margin requirement is calculated for margin loans, and the difference between the margin requirement and the agreed margin is discounted over the average expected time to the repricing of the loan.

Commercial paper and bonds (levels 2 and 3)

The valuation in level 2 is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves, exchange rates and credit margins related to the individual credit and the characteristics of the bond or commercial paper. For paper classified as level 3, the valuation is based on indicative prices from third parties or comparable paper.

Equities including mutual fund holdings (levels 2 and 3)

Equities in level 2 comprise mutual fund holdings where the underlying investments are quoted equities, as well as a small volume of other mutual funds. Instruments which are classified as level 3 essentially comprise property funds, limited partnership units, private equity investments and investments in unquoted equities.

Financial derivatives (levels 2 and 3)

Financial derivatives classified as level 2 are primarily currency forward contracts and interest rate and currency swaps. The valuation is based on swap curves, and credit margins constitute a minor part of the value. In addition, the item comprises derivatives related to commodities and forward rate agreements. These are valued based on observable market prices. Derivatives classified as level 2 also comprise equity derivatives used in Markets' market-making activities. Most of these derivatives are related to the most traded equities on Oslo Børs, and the valuation is based on the price development of the relevant/underlying equity and observable or estimated volatility. Financial derivatives classified as level 3 are primarily connected to currency options, interest rate options in Norwegian kroner, as well as index derivatives. The valuation is based on indicative prices from third parties.

Due to credit institutions (level 2)

See "Due from credit institutions" above.

Deposits from customers (level 2)

Deposits carried at fair value include special-term deposits. The valuation is primarily based on measurement in relation to a swap curve, and changes in credit margins have an insignificant effect.

Debt securities issued (level 2)

The valuation is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves and credit margins. The item consists mainly of funding in Norwegian kroner. For foreign currency funding, hedge accounting is used where hedges are entered into. In all other respects, debt securities issued are carried at amortised cost.

Subordinated loan capital (level 2)

Subordinated loans carried at fair value consist of one loan in Norwegian kroner, and the valuation is based on observable interest rate curves and credit margins.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Financial instruments at fair value, level 3 — **DNB Bank ASA**

	Financial assets				Financial liabilities
Amounts in NOK million	Loans to customers	Commercial paper and bonds	Share-holdings [1]	Financial derivatives	Financial derivatives
Carrying amount as at 31 December 2013	**50 423**	**306**	**4 007**	**1 442**	**1 248**
Net gains on financial instruments	121	(2)	432	395	176
Additions/purchases	1 208	389	435	474	468
Sales	(1 025)	(607)	(3 539)		
Settled	(13 902)	(7)		(494)	(488)
Transferred from level 1 or level 2		333			
Transferred to level 1 or level 2		(164)			
Other		(3)		60	58
Carrying amount as at 31 December 2014	**36 825**	**246**	**1 335**	**1 877**	**1 463**
Net gains on financial instruments	(211)	16	48	61	(24)
Additions/purchases	7 312	351	241	520	467
Sales	(2 131)	(340)	(796)		
Settled	(17 017)	0		(981)	(777)
Transferred from level 1 or level 2		818			
Transferred to level 1 or level 2		(462)			
Other		(62)		27	15
Carrying amount as at 31 December 2015	**24 779**	**566**	**828**	**1 504**	**1 144**

Financial instruments at fair value, level 3 — **DNB Bank Group**

	Financial assets				Financial liabilities
Amounts in NOK million	Loans to customers	Commercial paper and bonds	Share-holdings [1]	Financial derivatives	Financial derivatives
Carrying amount as at 31 December 2013	**128 022**	**311**	**4 235**	**1 442**	**1 248**
Net gains on financial instruments	1 554	(2)	448	395	176
Additions/purchases	5 541	389	443	474	468
Sales		(607)	(3 539)		
Settled	(29 687)	(7)		(494)	(488)
Transferred from level 1 or level 2		333	3		
Transferred to level 1 or level 2		(164)			
Other		(3)		60	58
Carrying amount as at 31 December 2014	**105 429**	**251**	**1 589**	**1 877**	**1 463**
Net gains on financial instruments	(896)	(9)	210	61	(24)
Additions/purchases	35 442	532	241	520	467
Sales [2]	(20 169)	(344)	(825)		
Settled	(34 215)	0		(981)	(777)
Transferred from level 1 or level 2		818			
Transferred to level 1 or level 2		(462)			
Other		(51)	14	27	15
Carrying amount as at 31 December 2015	**85 591**	**734**	**1 229**	**1 504**	**1 144**

1) Equities classified as level 3 comprise, in addition to pure equity investments, property fund units, limited partnership units and private equity investments.
2) In November 2015, a portfolio of home mortgages amounting to approximately NOK 20 billion was sold from DNB Boligkreditt to DNB Livsforsikring.

Loans to customers

The portfolio of loans carried at fair value consists primarily of fixed-rate loans in Norwegian kroner and a share of margin loans in Norwegian kroner.

Fixed-rate loans

The value of fixed-rate loans is determined by discounting agreed interest flows over the term of the loan, using a discount factor adjusted for margin requirements. The discount factor used has as a starting point a swap rate based on a duration equal to the average remaining lock-in period for the relevant fixed-rate loans. The assumptions underlying the calculation of the margin requirement are based on a review of the market conditions on the balance sheet date and on an assessment of the deliberations made by external investors when investing in a corresponding portfolio. Fixed-rate loans carried at fair value totalled NOK 64 747 million at year-end 2015.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Margin loans carried at fair value

A margin loan has an agreed interest rate consisting of a reference interest rate and a margin add-on. Reference rates will normally be set for a period of three months, but the margin can be determined for considerably longer periods. In times of significant interest rate fluctuations and reduced liquidity in the market, as has been the case during the financial turmoil, long-term funding costs increased. This is of significance for the margin requirements used by the bank in its calculations. The margin requirements are measured against agreed margins, and discrepancies are discounted over the average period up until the expected margin adjustment. This period is based on assessments from the banking group's business areas, but will require significant judgment based on past experience. The period up until the actual adjustment of the margin represents the largest element of uncertainty in these calculations. Margin loans carried at fair value totalled NOK 20 844 million at year-end 2015.

Commercial paper and bonds

Investments classified as level 3 primarily consist of corporate high-yield bonds with limited liquidity.

Equities including mutual fund holdings

Investments classified as level 3 consist of private equity funds, limited partnerships and unquoted equities. A common denominator for these investments is that there is a lag in the access to information from the units. In times of financial market turmoil, there may be considerable uncertainty related to the valuation of these investments.

Financial derivatives, assets and liabilities

Items classified as level 3 are primarily currency options, interest rate options in Norwegian kroner and derivatives related to developments in the consumer price index.

DNB Bank ASA			Breakdown of fair value, level 3	DNB Bank Group		
Share-holdings 31 Dec. 2015	Commercial paper and bonds 31 Dec. 2015	Loans to customers 31 Dec. 2015		Loans to customers 31 Dec. 2015	Commercial paper and bonds 31 Dec. 2015	Share-holdings 31 Dec. 2015
597	746	24 829	Principal amount/purchase price	84 457	940	782
231	(180)	(50)	Fair value adjustment [1]	1 134	(206)	447
828	566	24 779	Total fair value, excluding accrued interest	85 591	734	1 229

1) *Changes in the fair value of customer loans mainly result from changes in swap rates. A corresponding negative adjustment is made in the fair value of financial instruments used for financial hedging.*

DNB Bank ASA				Breakdown of shareholdings, level 3	DNB Bank Group			
Total	Other	Private Equity (PE) funds	Unquoted equities		Unquoted equities	Private Equity (PE) funds	Other	Total
828	27	337	464	Carrying amount as at 31 December 2015	865	337	27	1 229

DNB Bank ASA			Sensitivity analysis, level 3	DNB Bank Group	
Effect of reasonably possible alternative assumptions	Carrying amount 31 Dec 15			Carrying amount 31 Dec 15	Effect of reasonably possible alternative assumptions
(28)	24 779	Loans to customers		85 591	(173)
(3)	566	Commercial paper and bonds		734	(3)
	828	Shareholdings		1 229	
	360	Financial derivatives, net		360	

In order to show the sensitivity of the loan portfolio, the discount rate on fixed-rate loans and the margin requirement on margin-based loans have been increased by 10 basis points. DNB regularly enter into interest rate swaps, as a part of the banks interest rate strategy, when issuing new fixed-rate loans. A change in the interest rate which impacts the fair value of the fixed-rate loans will therefore give the opposite impact on the related interest rate derivatives.

Level 3 bonds mainly represent corporate high-yield bonds with limited liquidity. A 10 basis point increase in the discount rate has had insignificant effects.

Note 29 Offsetting

The table below presents the potential effects of the banking group's netting arrangements on financial assets and financial liabilities. See note 1 Accounting principles for more information.

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral [1]	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2015						
Due from credit institutions [2]	279 255		279 255		279 254	
Loans to customers [2]	38 545		38 545		38 545	
Financial derivatives [3]	166 980		166 980	57 498	39 532	69 950
Liabilities as at 31 December 2015						
Due to credit institutions [2]	22 001		22 001		22 001	
Financial derivatives [3]	202 307		202 307	57 498	46 635	98 174

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral [1]	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2014						
Due from credit institutions [2]	332 548		332 548		332 548	
Loans to customers [2]	8 855		8 855		8 855	
Financial derivatives [3]	208 584		208 584	79 156	57 480	71 948
Liabilities as at 31 December 2014						
Due to credit institutions [2]						
Financial derivatives [3]	222 719		222 719	79 156	42 247	101 316

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral [1]	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2015						
Due from credit institutions [2]	279 338		279 338		279 337	
Loans to customers [2]	38 546		38 546		38 546	
Financial derivatives [3]	156 456		156 456	57 533	39 532	59 391
Liabilities as at 31 December 2015						
Due to credit institutions [2]	22 001		22 001		22 001	
Financial derivatives [3]	116 723		116 723	57 533	46 579	12 610

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral [1]	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2014						
Due from credit institutions [2]	332 675		332 675		332 675	
Loans to customers [2]	8 948		8 948		8 948	
Financial derivatives [3]	196 205		196 205	79 178	57 480	59 547
Liabilities as at 31 December 2014						
Due to credit institutions [2]						
Financial derivatives [3]	134 167		134 167	79 178	42 247	12 742

1) Includes cash collateral and securities received/transferred from/to counterparties and securities received/placed as collateral in depositories in Clearstream or Euroclear.
2) Includes repurchase and reverse repurchase agreements, securities borrowing and lending transactions.
3) Gross amounts represent the market value of the derivatives subject to master netting agreements or collateralized by cash or securities under Credit Support Annex.

Note 30 Shareholdings

Investments in shares, mutual funds and equity certificates [1]

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
9 205	7 504	Total investments in shares, mutual funds and equity certificates	8 794	9 709

Specification of the largest investments in shares, mutual funds and equity certificates as at 31 December 2015

	DNB Bank ASA				DNB Bank Group		
Carrying amount in NOK 1 000	Number of shares	Ownership share in per cent [2]	Recorded value	Carrying amount in NOK 1 000	Number of shares	Ownership share in per cent [2]	Recorded value
Financial institutions				**Financial institutions**			
Gjensidige Forsikring [3]	433 256		61 566	Bank of New York	100 000		879 775
Storebrand [3]	6 830 976	2.0	238 743	Storebrand [3]	6 830 976	1.5	238 743
Other financial institutions			358 396	VISA Europe	2		204 548
Total financial institutions			**658 704**	Other financial institutions			429 530
				Total financial institutions			**1 752 596**
Norwegian companies				**Norwegian companies**			
American Shipping Company [3]	4 005 100		106 135	American Shipping Company 3)	4 005 100	7.0	106 135
Grieg Seafood [3]	22 220 738	20.0	888 843	Grieg Seafood [3]	22 220 738	20.0	888 843
Kokka Eiendom	16 186 752	13.0	145 600	Kokka Eiendom	16 186 752	13.0	145 600
Marine Harvest [3]	1 270 184		151 914	Marine Harvest [3]	1 270 184		151 914
Nordic Semiconductor [3]	4 156 929	3.0	179 787	Nordic Semiconductor [3]	4 156 929	3.0	179 787
Norsk Hydro [3]	9 533 085		315 500	Norsk Hydro [3]	9 533 085		315 500
Norway Royal Salmon [3]	2 008 940	5.0	160 715	Norway Royal Salmon [3]	2 008 940	5.0	160 715
Norwegian Air Shuttle [3]	303 185	1.0	98 141	Norwegian Air Shuttle [3]	303 185	1.0	98 141
Norwegian Property [3]	28 777 466	5.0	261 587	Norwegian Property [3]	28 777 466	5.0	261 587
NRC Group [3]	1 850 000	5.0	103 600	NRC Group [3]	1 850 000	5.0	103 600
Odfjell [3]	5 849 395	9.0	165 538	Odfjell [3]	5 849 395	9.0	165 538
Orkla [3]	3 094 424		216 919	Orkla [3]	3 094 424		216 919
Statoil [3]	3 419 549		422 998	Statoil [3]	3 419 549		422 998
Telenor [3]	2 474 422		366 957	Telenor [3]	2 474 422		366 957
Yara International [3]	436 063		188 969	Yara International [3]	436 063		188 969
Other Norwegian companies			1 067 658	Other Norwegian companies			1 213 094
Total Norwegian companies			**4 619 061**	**Total Norwegian companies**			**4 766 287**
Companies based abroad				**Companies based abroad**			
Avance Gas Holding [3]	296 672	1.0	33 821	Bakkafrost [3]	209 234		54 775
Bakkafrost [3]	209 224		54 775	Cape Investment Corp.	9 261	14.0	44 895
Deep Sea Supply [3]	41 120 000	16.0	64 970	Deep Sea Supply [3]	41 120 000	16.0	64 970
Ezra Holdings [3]	207 000 000	7.0	130 228	Ezra Holdings [3]	207 000 000	7.0	130 228
Frontline Ltd/Bermuda [3]	2 028 495		51 970	Frontline Ltd/Bermuda [3]	2 028 495		51 970
Golar LNG [3]	3 963 000	5.0	534 837	Golar LNG [3]	3 963 000	5.0	534 837
Hoegh Lng Holdings [3]	416 500	1.0	39 255	Hoegh Lng Holdings [3]	416 500	0.0	39 255
Prosafe [3]	16 452 500	6.0	345 503	Prosafe [3]	16 452 500	0.1	345 503
Seadrill [3]	9 165 506	2.0	280 006	Seadrill [3]	9 165 506	0.0	280 006
Subsea 7 [3]	1 024 150		64 573	Subsea 7 [3]	1 024 150		64 573
Other companies based abroad			289 410	Other companies based abroad			325 948
Total companies based abroad			**1 889 346**	**Total companies based abroad**			**1 936 959**
Mutual funds				**Mutual funds**			
Mutual funds				Mutual funds			365
Private equity funds			337 113	Private equity funds			337 113
Other funds				Other funds			234
Total mutual funds			**337 113**	**Total mutual funds**			**337 712**
Total investments in shares, mutual funds and equity certificates			7 504 225	Total investments in shares, mutual funds and equity certificates			8 793 563

1) *Equity certificates represent investments in savings banks.*
2) *Ownership share in per cent is based on the company's total share capital and does not include derivative contracts.*
3) *Shares and funds carried at fair value in Markets totalled NOK 6 724 million at year-end 2015. Markets' equity investments are mainly an instrument in hedging its equity derivative exposure through the business area's market making activities. Value at Risk for the equity operations in Markets represented approximately NOK 3.4 million at year-end 2015.*

Note 31 Transferred assets or assets with other restrictions

DNB Bank ASA		Transferred assets still recognised in the balance sheet	DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
		Guarantees		
2 809	2 212	Loans transferred to Eksportfinans	2 212	2 809
		Repurchase agreements		
2 096	5 128	Commercial paper and bonds	5 128	2 096
		Securities lending		
1 374	753	Shares	753	1 374
6 279	8 094	Total repurchase agreements and securities lending	8 094	6 279

DNB Bank ASA		Liabilities associated with the assets	DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
		Guarantees		
2 809	2 212	Deposits from Eksportfinans	2 212	2 809
		Repurchase agreements		
1 890	3 707	Due to credit institutions	3 707	1 890
	661	Deposits from customers	661	
		Securities lending		
1 379	618	Due to credit institutions	618	1 379
65	172	Deposits from customers	172	65
6 142	7 370	Total liabilities	7 370	6 142

DNB Bank ASA has recognised loans which according to a legal agreement have been transferred to Eksportfinans ASA, but that are guaranteed for by the bank. According to the agreement, the bank still carries interest rate, settlement and credit risk associated with the transferred loans. The loans have a corresponding liability recognised as deposits from Eksportfinans.

Restricted assets

Local statutory capital requirements might restrict the ability of the Group to access or transfer assets freely to or from other entities within the Group and to settle liabilities within the Group.

Restrictions affecting the Group's ability to use assets:

- The Group has pledged assets to collateralise its obligations (pledged securities) and issued covered bonds (cover pool), see note 48 Off-balance sheet transactions and contingencies for further information.
- The Group has pledged collateral in connection with derivative instruments, see note 15 Financial derivatives for further information.

Note 32 Securities received which can be sold or repledged [1)]

DNB Bank ASA		Securities received	DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
		Reverse repurchase agreements		
333 464	310 557	Commercial paper and bonds	310 662	333 739
		Securities borrowing		
4 882	4 931	Shares	4 931	4 882
338 346	315 488	Total securities received	315 593	338 621
		Of which securities received and subsequently sold or repledged:		
15 418	*9 656*	*Commercial paper and bonds*	*9 656*	*15 418*
3 331	*3 825*	*Shares*	*3 825*	*3 331*

1) *Securities which have been purchased under an agreement to resell are generally not recognised, as the risk and returns associated with ownership of the assets are normally not transferred. Such transactions primarily involve fixed-income securities. Securities received, including securities received as collateral, are registered off the balance sheet irrespective of whether the Group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the Group will record an obligation in the balance sheet.*

Note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
31 927	19 162	International bond portfolio	19 162	31 927
		Other units		
31 927	**19 162**	**Commercial paper and bonds, held to maturity**	**19 162**	**31 927**

As part of ongoing liquidity management, DNB Bank has invested in a portfolio of securities. The portfolio can be used to regulate the liquidity requirement and as a basis for furnishing collateral for operations in various countries. Among other things, the securities serve as collateral for short and long-term borrowing in a number of central banks and as a basis for liquidity buffers to meet regulatory requirements. With effect from 1 July 2008, the international bond portfolio was reclassified from the category "fair value through profit or loss" to "held-to-maturity investments". Portfolios in this category are recorded at amortised cost and written down if there is objective evidence of a decrease in value.

In line with IAS 39, the portfolio has been reviewed to identify objective indications of impairment. No impairment losses have been identified in the portfolio.

Measurement of the reclassified bond portfolio

As of 1 January 2014, the fair value of the portfolio is determined based on broker quotes. If fair value had been used to determine the value of the portfolio in 2015, there would have been a NOK 265 million decrease in profits.

Effects of the reclassifications of the international bond portfolio

By measuring the portfolio at amortised cost, the value of the portfolio as at 31 December 2015 was NOK 0.7 billion higher than if the previous valuation principle had been retained. On the reclassification date, the carrying amount of the portfolio was NOK 88.0 billion, compared with NOK 14.7 billion at end-December 2015. The average term to maturity of the portfolio was 5.5 years, and the change in value resulting from a credit spread adjustment of one basis point was NOK 8.3 million at end-December 2015.

Note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity (continued)

Effects on profits of the reclassification	DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	2015	2014
Recorded amortisation effect	95	106
Net gain, if valued at fair value	(170)	189
Effects of reclassification on profits	265	(83)

Effects on the balanse sheet of the reclassification	DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Recorded unrealised losses	402	497
Unrealised losses, if valued at fair value	1 113	943
Effects of reclassification on the balance sheet	711	446

Development in the portfolio after the reclassification	DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Reclassified portfolio, carrying amount	14 686	17 558
Reclassified portfolio, if valued at fair value	13 975	17 112
Effects of reclassification on the balance sheet	711	446

International bond portfolio

According to liquidity requirements for banks, in order for the securities to be classified as liquid funds, they must qualify for immediate sale. New investments in the international bond portfolio as from 2011 mainly represent covered and government-guaranteed bonds, these investments are carried at fair value. As at 31 December 2015 the international bond portfolio represented NOK 146 billion. 54.2 per cent of the securities in the portfolio had an AAA rating, while 38.2 per cent were rated AA. There were no synthetic securities in the portfolio and no investments in US sub-prime bonds or Collateralised Debt Obligations, CDOs. Nor were any investments made in Portugal, Italy, Ireland, Greece or Spain. The structure of the international bond portfolio is shown below.

	DNB Bank Group	
	Per cent 31 Dec. 2015	NOK million 31 Dec. 2015
Asset class		
Residential mortgages	13.81	20 230
Corporate loans	0.00	6
Government related	45.86	67 178
Covered bonds	40.33	59 078
Total international bond portfolio, nominal values	100.00	146 491
Accrued interest, amortisation effects and fair value adjustments		(404)
Total international bond portfolio		146 088
Total international bond portfolio, held to maturity		19 162
Of which reclassified portfolio		14 686

The average term to maturity of the international bond portfolio is 2.9 years, and the change in value resulting from a credit spread adjustment of one basis point was NOK 32 million at end-December 2015.

Note 34 Investment properties

Amounts included in the income statement	DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	2015	2014
Rental income from investment properties	233	216
Direct expenses (including repairs and maintenance) related to investment properties generating rental income	(87)	(78)
Direct expenses (including repairs and maintenance) related to investment properties not generating rental income	(51)	(37)
Total	95	101

Investment properties are mainly related to acquired companies and are classified at level 3 in the valuation hierarchy.

Changes in the value of investment properties	DNB Bank Group
Amounts in NOK million	Investment properties
Carrying amount as at 31 December 2013	**4 615**
Additions, purchases of new properties	397
Additions, capitalised investments	37
Additions, acquired companies	304
Net gains	45
Disposals	(896)
Exchange rate movements	242
Carrying amount as at 31 December 2014	**4 743**
Additions, purchases of new properties	152
Additions, capitalised investments	58
Additions, acquired companies	454
Net gains	269
Disposals	(3 430)
Exchange rate movements	87
Carrying amount as at 31 December 2015	**2 333**

Contractual commitments related to the acquisition or construction of investment properties, not capitalised as at 31 December 2015.

Note 35 Investments accounted for by the equity method

	DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	2015	2014
Carrying amount as at 1 January	3 275	3 096
Share of profits after tax	(288)	(1 493)
Impairment of the ownership interest in Eksportfinans AS [1]	199	1 719
Share of other comprehensive income [2]	889	
Additions/disposals	16	(34)
Dividends		(14)
Carrying amount as at 31 December [3]	**4 091**	**3 275**

						DNB Bank Group	
	Assets 31 Dec.	Liabilities 31 Dec.	Income	Profit	Ownership share (%) 31 Dec.	Carrying amount 31 Dec.	Carrying amount 31 Dec.
Amounts in NOK million	2015 [4]	2015 [4]	2015 [4]	2015 [4]	2015	2015	2014
Eksportfinans AS [1]	65 142	57 732	(406)	(376)	40	3 139	3 200
Visa Norge [2]						889	
Other associated companies						64	75
Total						**4 091**	**3 275**

			DNB Bank ASA	
	Dividend	Ownership share (%) 31 Dec.	Carrying amount 31 Dec.	Carrying amount 31 Dec.
Amounts in NOK million	2015	2015	2015	2014
Eksportfinans AS [1]		40	919	919
Other associated companies			56	56
Total			**975**	**975**

1) Moody's and Standard & Poor's downgrades of Eksportfinans' credit rating in the fourth quarter of 2011 resulted in sizeable unrealised gains on the company's long-term funding. The effect of these unrealised gains on DNB's holding, after tax, represented NOK 11.8 billion. After reviewing the fair value of the company in connection with the closing of the annual accounts, DNB wrote down the value by an amount corresponding to unrealised gains on Eksportfinans' own debt in the fourth quarter of 2011. In 2012, 2013, 2014 and 2015, the required rate of return in the market was reduced, and Eksportfinans had sizeable unrealised losses on own debt. The impairment loss recorded by DNB in the fourth quarter of 2011 was reversed by an amount corresponding to these unrealised losses. Reversals totalling NOK 199 million were made in 2015. The remaining impairment loss was NOK 144 million at year-end 2015. The impairment loss in 2011 and subsequent reversals have been reported on the line "Profit from investments accounted for by the equity method" along with DNB's share of profits from the company.

2) In November 2015, Visa Inc. announced the agreement to acquire all shares in Visa Europe Ltd. DNB has indirect ownership interests in Visa Europe through its membership in Visa Norway, which are accounted for by the equity method. As a result of the agreement, the estimated value of the Group's investment increased by NOK 0.9 billion, which was recognised in other comprehensive income. On the realisation date, which will depend on approval by the competition authorities in a number of countries, the realised gain will be recorded in the income statement on the line "Profit from investments accounted for by the equity method".

3) Include deferred tax positions and value adjustments not reflected in the company's balance sheet.

4) Values in the accounts of associated companies. Preliminary and unaudited accounts have been used.

Note 36 Investments in subsidiaries as at 31 December 2015

						DNB Bank ASA	
Amounts in NOK 1 000 *Values in NOK unless otherwise indicated*		Share capital	Number of shares		Nominal value	Ownership share in per cent	Carrying amount
Foreign subsidiaries							
DNB Invest Denmark	DKK	12 765 228	12 765 228 468	DKK	12 765 228	100.00	10 684 100
DNB Bankas	EUR	190 205	5 710 134	EUR	190 205	100.00	3 550 993
DNB Banka	EUR	191 178	191 178 337	EUR	191 178	100.00	2 255 764
DNB Pank	EUR	9 376	937 643	EUR	9 376	100.00	965 233
DNB Bank Polska	PLN	1 257 200	1 257 200 000	PLN	1 257 200	100.00	1 773 565
DNB Asia [1]	USD	1 500 000	150 000 000	USD	1 500 000	100.00	13 196 625
DNB Asia [1]	SGD	20 000	20 000 000	SGD	20 000	100.00	100 769
DNB Brasil	BRL	600	600 000	BRL	600	100.00	2 727
DNB Capital [2]	USD			USD		100.00	21 114 600
DNB Luxembourg	EUR	70 000	70 000	EUR	70 000	100.00	672 200
DNB Markets Inc.	USD	1	1 000	USD	1	100.00	3 224
DNB Sweden	SEK	100 000	100 000 000	SEK	100 000	100.00	15 163 666
DNB (UK) Limited	GBP	200	200 000	GBP	200	100.00	15 041 659
Domestic subsidiaries							
Aksje- og Eiendomsinvest		100	100 000		100	100.00	38 721
Bryggetorget Holding		3 250	2 500		3 250	100.00	107 076
Digital Wallet		297	2 971		297	100.00	7 500
DNB Boligkreditt		3 497 000	34 970 000		3 497 000	100.00	29 784 000
DNB Eiendom		10 003	100 033		10 003	100.00	158 021
DNB Eiendomsutvikling		91 000	91 000 000		91 000	100.00	238 731
DNB Gjenstandsadministrasjon		3 000	30		3 000	100.00	3 000
DNB Invest Holding		100 000	200 000		100 000	100.00	229 480
DNB Meglerservice		1 200	12		1 200	100.00	10 221
DNB Næringskreditt		550 000	550 000		550 000	100.00	5 240 942
DNB Næringsmegling		1 000	10 000		1 000	100.00	24 000
DNB Polish Properties		1 200	1 200		1 200	100.00	65 113
E6 Logistikk		30	3 000		30	100.00	22 398
Godfjellet		8 030	8 030		8 030	100.00	8 447
Kongsberg Industrieiendom		100	1 000		100	100.00	10 000
Total investments in subsidiaries							**120 472 774**

1) DNB Asia Ltd has part of its share capital denominated in SGD (due to local requirements) and a part of its share capital denominated in USD.
2) DNB Capital LLC, a limited liability company, has paid-in capital of USD 2.4 billion.

Hedging of investments in subsidiaries

In DNB Bank ASA, currency risk associated with foreign currency investments in subsidiaries is subject to fair value hedging. The hedging instruments used are mainly debt securities issued. Changes in the value of the investments and hedging instruments resulting from exchange rate movements are recorded in the income statement. At group level, net investments in subsidiaries are hedged through cash flow hedges for an amount corresponding to DNB Bank's investments. Changes in the value of investments and hedging instruments are recorded in the comprehensive income statement. Ineffectiveness in the hedging relationship is recognised in the income statement. The weakening of the Norwegian krone though 2015 increased the value of investments in subsidiaries by NOK 8 497 million, which was offset by a corresponding reduction in the value of hedging contracts, adjusted for tax effects. In 2014, there was an increase in the value of investments in subsidiaries by NOK 6 200 million.

Note 37 Intangible assets

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
2 963	3 012	Goodwill	3 100	3 047
635	510	Capitalised systems development	876	1 025
197	152	Sundry intangible assets	199	243
3 794	**3 675**	**Total intangible assets**	**4 176**	**4 315**

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Goodwill	Capitalised systems development	Other intangible assets	Total
Cost as at 1 January 2014	3 615	1 981	837	6 432
Additions		182		182
Additions from the acquisition/establishment of other companies				
Increase/reduction in cost price				
Disposals		(6)		(6)
Exchange rate movements	7		1	8
Cost as at 31 December 2014	3 622	2 157	838	6 617
Total depreciation and impairment as at 1 January 2014	(657)	(1 271)	(591)	(2 519)
Depreciation		(256)	(50)	(306)
Impairment		4		4
Disposals		1		1
Exchange rate movements	(2)	(1)		(2)
Total depreciation and impairment as at 31 December 2014	(659)	(1 522)	(641)	(2 822)
Carrying amount as at 31 December 2014	**2 963**	**635**	**197**	**3 794**
Cost as at 1 January 2015	3 622	2 157	838	6 617
Additions		137	0	138
Additions from the acquisition/establishment of other companies				
Increase/reduction in cost price				
Disposals	(1)	(810)	(22)	(833)
Exchange rate movements	57	1	9	67
Cost as at 31 December 2015	3 678	1 486	825	5 988
Total depreciation and impairment as at 1 January 2015	(659)	(1 522)	(641)	(2 822)
Depreciation		(197)	(48)	(245)
Impairment		(66)		(66)
Disposals	1	811	22	833
Exchange rate movements	(7)	(1)	(5)	(14)
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(665)	(975)	(672)	(2 313)
Carrying amount as at 31 December 2015	**3 012**	**510**	**152**	**3 675**

Note 37 Intangible assets (continued)

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Goodwill	Capitalised systems development	Other intangible assets	Total
Cost as at 1 January 2014	4 596	3 710	1 081	9 387
Additions		198	47	245
Additions from the acquisition/establishment of other companies				
Increase/reduction in cost price				
Disposals		(19)	(27)	(46)
Exchange rate movements	12	57	10	79
Cost as at 31 December 2014	4 607	3 947	1 110	9 665
Total depreciation and impairment as at 1 January 2014	(1 555)	(2 544)	(824)	(4 924)
Depreciation		(354)	(63)	(416)
Impairment	(5)	3		(2)
Disposals		4	23	26
Exchange rate movements		(31)	(3)	(34)
Total depreciation and impairment as at 31 December 2014	(1 560)	(2 922)	(867)	(5 349)
Carrying amount as at 31 December 2014	**3 047**	**1 025**	**243**	**4 316**
Cost as at 1 January 2015	4 607	3 947	1 110	9 665
Additions	12	142	51	204
Additions from the acquisition/establishment of other companies				
Increase/reduction in cost price				
Disposals	(11)	(811)	(119)	(941)
Exchange rate movements	57	118	(64)	110
Cost as at 31 December 2015	4 665	3 395	978	9 039
Total depreciation and impairment as at 1 January 2015	(1 560)	(2 922)	(867)	(5 349)
Depreciation		(269)	(83)	(352)
Impairment		(66)		(66)
Disposals	2	811	73	887
Exchange rate movements	(7)	(73)	99	18
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(1 566)	(2 519)	(778)	(4 863)
Carrying amount as at 31 December 2015	**3 100**	**876**	**199**	**4 176**

Goodwill

The risk-free interest rate and the market risk premium are set at 4 per cent, and the long-term growth factor is set at 2.5 per cent for all cash-generating units. Beta values are estimated separately for each cash-generating unit. Required rate of return is before tax. For a detailed description of methods and assumptions used in the calculation of the recoverable amount for goodwill, see note 1 Accounting principles.

Note 37 Intangible assets (continued)

DNB Bank ASA			Goodwill per unit as at 31 December 2015			DNB Bank Group
Recorded (NOK million)	Required rate of return (per cent)	Growth factor (per cent)	*Amounts in NOK million*	Growth factor (per cent)	Required rate of return (per cent)	Recorded (NOK million)
982	11.8	2.5	Personal customers	2.5	11.8	982
483	11.8	2.5	Small and medium sized enterprises	2.5	11.8	483
811	11.8	2.5	DNB Finans - car financing	2.5	11.8	811
737	11.8	2.5	Other	2.5	11.8	824
3 012			**Total goodwill**			**3 100**

DNB Bank ASA			Goodwill per unit as at 31 December 2014			DNB Bank Group
Recorded (NOK million)	Required rate of return (per cent)	Growth factor (per cent)	*Amounts in NOK million*	Growth factor (per cent)	Required rate of return (per cent)	Recorded (NOK million)
982	12.3	2.5	Personal customers	2.5	12.3	982
483	12.3	2.5	Small and medium sized enterprises	2.5	12.3	483
824	12.3	2.5	DNB Finans - car financing	2.5	12.3	824
674	12.3	2.5	Other	2.5	12.3	758
2 963			**Total goodwill**			**3 047**

Personal customers – parent bank

This unit encompasses banking operations (loans and deposits) for personal customers in the regional network in Norway, and recorded goodwill mainly stems from the merger between DnB and Gjensidige NOR and the acquisition of Nordlandsbanken. In addition, some goodwill remains from previously acquired offices in Gjensidige NOR. Key assumptions for cash flows during the plan period are developments in margins, volumes and impairment of loans.

Small and medium sized enterprises – parent bank

This unit encompasses banking operations (loans and deposits) for corporate customers in the regional network in Norway, and recorded goodwill mainly stems from the merger between DnB and Gjensidige NOR. Key assumptions for cash flows during the plan period are developments in margins, volumes and impairment of loans.

DNB Finans – car financing

The unit encompasses DNB's car financing operations in Norway and Sweden, and goodwill stems from DNB's acquisition of Skandiabanken's car financing operations with effect from 2008. Critical assumptions for cash flows during the plan period are car sales figures and DNB Finans' ability to retain customer relations with important car dealers, along with long-term margin developments and the level of impairment of loans.

Note 38 Fixed assets

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
324	167	Bank buildings and other properties	588	850
1 394	1 578	Machinery, equipment and vehicles	1 680	1 558
5 568	5 721	Fixed assets operating leases	5 721	5 569
104	13	Other fixed assets	71	152
7 390	**7 480**	**Total fixed assets**	**8 059**	**8 128**

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Bank buildings and other properties	Machinery, equipment and vehicles	Fixed assets operating leases	Total [1]
Accumulated cost as at 31 December 2014	411	3 265	8 258	11 933
Reclassified fixed assets	(97)	97		
Additions	2	450	2 221	2 673
Additions from the mergers/aquisitions/establishment of other companies				
Revaluation	(42)	(196)		(238)
Fixed assets, reclassified as held for sale				
Disposals	(82)	(540)	(2 147)	(2 769)
Exchange rate movements	9	25	316	350
Cost as at 31 December 2015	200	3 101	8 648	11 950
Total depreciation and impairment as at 31 December 2014	(87)	(1 870)	(2 690)	(4 647)
Additions from the mergers/aquisitions/establishment of other companies				
Disposals	66	723	1 117	1 905
Depreciation [2]	(11)	(363)	(1 230)	(1 604)
Impairment				
Exchange rate movements	(1)	(12)	(124)	(138)
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(33)	(1 523)	(2 927)	(4 484)
Carrying amount as at 31 December 2015	167	1 578	5 721	7 466

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Bank buildings and other properties	Machinery, equipment and vehicles	Fixed assets operating leases	Total [1]
Accumulated cost as at 31 December 2014	1 084	3 725	8 263	13 072
Reclassified fixed assets	(111)	111		
Additions	11	470	2 222	2 702
Additions from the mergers/aquisitions/establishment of other companies				
Revaluation	(42)	(209)		(251)
Fixed assets, reclassified as held for sale				
Disposals	(190)	(647)	(2 153)	(2 989)
Exchange rate movements	47	50	317	414
Cost as at 31 December 2015	798	3 501	8 648	12 947
Total depreciation and impairment as at 31 December 2014	(234)	(2 167)	(2 694)	(5 095)
Additions from the mergers/aquisitions/establishment of other companies				
Disposals	92	789	1 121	2 001
Depreciation [2]	(29)	(405)	(1 231)	(1 665)
Impairment	(26)	(7)		(33)
Exchange rate movements	(13)	(31)	(124)	(168)
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(210)	(1 821)	(2 928)	(4 959)
Carrying amount as at 31 December 2015	588	1 680	5 721	7 988

1) *The total does not include "Other fixed assets".*
2) *Based on cost less any residual value, other assets are subject to straight-line depreciation over their expected useful life within the following limits:*

Technical installations	*10 years*
Machinery	*3-10 years*
Fixtures and fittings	*5-10 years*
Computer equipment	*3-5 years*
Means of transport	*5-7 years*

The DNB Bank ASA has not placed any collateral for loans/funding of fixed assets, including property.

Note 39 Leasing

DNB Bank ASA 31 Dec. 2014	DNB Bank ASA 31 Dec. 2015	Financial leases (as lessor) *Amounts in NOK million*	DNB Bank Group 31 Dec. 2015	DNB Bank Group 31 Dec. 2014
		Gross investment in the lease		
9 726	11 096	Due within 1 year	12 292	11 051
25 063	28 599	Due in 1-5 years	32 324	28 230
2 619	2 988	Due in more than 5 years	3 042	2 673
37 408	42 685	Total gross investment in the lease	47 659	41 955
		Present value of minimum lease payments		
9 425	10 754	Due within 1 year	11 789	10 436
20 176	23 022	Due in 1-5 years	26 595	23 145
1 736	1 981	Due in more than 5 years	2 027	1 787
31 337	35 757	Total present value of lease payments	40 410	35 368
6 071	6 928	Unearned financial income	7 249	6 586
52	128	Unguaranteed residual values accruing to the lessor	128	52
1 514	1 728	Accumulated loan-loss provisions	1 742	1 613
41	46	Variable lease payments recognised as income during the period	119	95

DNB Bank ASA 31 Dec. 2014	DNB Bank ASA 31 Dec. 2015	Operational leases (as lessor) *Amounts in NOK million*	DNB Bank Group 31 Dec. 2015	DNB Bank Group 31 Dec. 2014
		Future minimum lease payments under non-cancellable leases		
355	354	Due within 1 year	354	355
1 734	1 769	Due in 1-5 years	1 779	1 722
35	35	Due in more than 5 years	35	34
2 124	2 157	Total future minimum lease payments under non-cancellable leases	2 167	2 110

DNB Bank ASA 31 Dec. 2014	DNB Bank ASA 31 Dec. 2015	Operational leases (as lessee) *Amounts in NOK million*	DNB Bank Group 31 Dec. 2015	DNB Bank Group 31 Dec. 2014
		Minimum future lease payments under non-cancellable leases		
61	22	Due within 1 year	36	88
837	583	Due in 1-5 years	670	853
6 328	6 135	Due in more than 5 years	6 142	6 328
7 226	6 740	Total minimum future lease payments under non-cancellable leases	6 848	7 269
473	399	Total minimum future sublease payments expected to be received under non-cancellable subleases	225	303

DNB Bank ASA 2014	DNB Bank ASA 2015	*Amounts in NOK million*	DNB Bank Group 2015	DNB Bank Group 2014
		Leases recognised as an expense during the period		
936	895	Minimum lease payments	843	898
		Variable lease payments		
936	895	Total leases recognised as an expense during the period	843	898
33	(0)	Impairment of leases	(0)	33

Financial leases (as lessor)
The DNB Bank Group's financial leasing operations apply to DNB Bank ASA and DNB's operations in Baltics and Poland.

Operational leases (as lessor)
Comprises operational leasing operations in DNB Bank ASA and DNB's operations in Baltics and Poland.

Operational leases (as lessee)
Mainly comprises premises leased by DNB Bank ASA.

Note 40 Other assets

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
430	526	Accrued expenses and prepaid revenues	688	570
1 128	1 404	Amounts outstanding on documentary credits and other payment services	1 480	1 156
3 994	993	Unsettled contract notes	1 148	4 298
11 029	20 812	Other amounts outstanding [1]	5 292	6 276
16 581	**23 735**	**Total other assets [2]**	**8 608**	**12 301**

1) *DNB Bank ASA had outstanding group contributions totaling NOK 18 224 million as at 31 December 2015.*
2) *Other assets are generally of a short-term nature.*

Note 41 Deposits from customers for principal customer groups [1]

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
318 417	334 154	Private individuals	353 110	343 765
61 773	64 816	Transportation by sea and pipelines and vessel construction	65 040	61 909
40 273	44 001	Real estate	44 782	41 309
60 351	54 160	Manufacturing	57 701	63 669
146 660	120 811	Services	126 262	154 339
34 369	30 011	Trade	32 743	37 190
31 594	23 749	Oil and gas	23 777	31 648
43 773	45 328	Transportation and communication	50 144	45 873
18 574	19 546	Building and construction	21 023	20 143
27 109	20 049	Power and water supply	21 787	29 096
4 427	5 274	Seafood	5 301	4 446
2 419	2 266	Hotels and restaurants	2 395	2 573
3 284	2 416	Agriculture and forestry	4 317	4 735
44 687	48 908	Central and local government	52 253	45 693
64 773	80 600	Finance	96 210	64 074
902 484	896 087	Total deposits from customers, nominal amount	956 846	950 461
550	400	Adjustments	476	587
903 033	**896 488**	**Deposits from customers**	**957 322**	**951 049**

1) *The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.*

Note 42 Debt securities issued

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Commercial paper issued, nominal amount	159 988	206 715
Bond debt, nominal amount [1]	167 978	146 308
Adjustments	12 133	13 182
Total debt securities issued	**340 099**	**366 205**

Changes in debt securities issued

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Balance sheet 31 Dec. 2015	Issued 2015	Matured/ redeemed 2015	Exchange rate movements 2015	Other adjustments 2015	31 Dec. 2014
Commercial paper issued, nominal amount	159 988	3 057 350	3 092 740	(11 338)		206 715
Bond debt, nominal amount [1]	167 978	14 815	9 040	15 896		146 308
Adjustments	12 133				(1 049)	13 182
Total debt securities issued	**340 099**	**3 072 165**	**3 101 780**	**4 558**	**(1 049)**	**366 205**

Maturity of debt securities issued recorded at amortised cost as at 31 December 2015 [1,2]

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	NOK	Foreign currency	Total
2016		12 091	12 091
2017		31 377	31 377
2018		16 344	16 344
2019		13 529	13 529
2020		32 739	32 739
2021		44 508	44 508
2022 and later			
Total bond debt, recorded at amortised cost, nominal amount		150 587	150 587

Maturity of debt securities issued recorded at fair value as at 31 December 2015 [1]

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	NOK	Foreign currency	Total
2016	133	159 854	159 988
Total commercial paper issued, nominal amount	133	159 854	159 988
2016	2 000		2 000
2017	3 155		3 155
2018	3 500		3 500
2019	2 250		2 250
2020	2 001		2 001
2021	4 330		4 330
2022 and later	154		154
Total bond debt, nominal amount	17 391		17 391
Total debt securities issued recorded at fair value, nominal amount	17 524	159 854	177 378
Adjustments	826	11 307	12 133
Debt securities issued	18 350	321 749	340 099

1) *Minus own bonds.*
2) *Includes hedged items.*

Note 42 Debt securities issued (continued)

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Commercial paper issued, nominal amount	159 988	206 715
Bond debt, nominal amount [1]	608 004	562 483
Adjustments	38 819	44 711
Total debt securities issued	**806 810**	**813 909**

Changes in debt securities issued

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Balance sheet 31 Dec. 2015	Issued 2015	Matured/ redeemed 2015	Exchange rate movements 2015	Other adjustments 2015	31 Dec. 2014
Commercial paper issued, nominal amount	159 988	3 057 350	3 092 740	(11 338)		206 715
Bond debt, nominal amount [1]	608 004	85 100	53 118	13 539		562 483
Adjustments	38 819				(5 892)	44 711
Total debt securities issued	**806 810**	**3 142 451**	**3 145 858**	**2 201**	**(5 892)**	**813 909**

Maturity of debt securities issued recorded at amortised cost as at 31 December 2015 [1] [2]

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	NOK	Foreign currency	Total
2016		79 537	79 537
2017		83 503	83 503
2018		76 411	76 411
2019		55 320	55 320
2020		69 404	69 404
2021		78 387	78 387
2022 and later		79 686	79 686
Total bond debt, recorded at amortised cost, nominal amount		522 247	522 247

Maturity of debt securities issued recorded at fair value as at 31 December 2015 [1]

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	NOK	Foreign currency	Total
2016	133	159 854	159 988
Total commercial paper issued, nominal amount	133	159 854	159 988
2016	6 947		6 947
2017	13 799		13 799
2018	16 794		16 794
2019	18 745		18 745
2020	10 043		10 043
2021	14 283		14 283
2022 and later	5 146		5 146
Total bond debt, nominal amount	85 757		85 757
Total debt securities issued recorded at fair value, nominal amount	85 890	159 854	245 744
Adjustments	2 924	35 894	38 819
Debt securities issued	88 814	717 996	806 810

1) *Minus own bonds. Nominal amount of outstanding covered bonds in DNB Boligkreditt totalled NOK 446.4 billion as at 31 December 2015. The cover pool market value represented NOK 561.5 billion.*
2) *Includes hedged items.*

Note 43 Subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Term subordinated loan capital, nominal amount	19 838	19 322
Perpetual subordinated loan capital, nominal amount	5 702	4 792
Perpetual subordinated loan capital securities, nominal amount	4 561	4 028
Adjustments	853	1 176
Total subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities	**30 953**	**29 319**

Changes in subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Balance sheet 31 Dec. 2015	Issued 2015	Matured/ redeemed 2015	Exchange rate movements 2015	Other adjustments 2015	Balance sheet 31 Dec. 2014
Term subordinated loan capital, nominal amount	19 838	3 805	4 604	1 314		19 322
Perpetual subordinated loan capital, nominal amount	5 702			909		4 792
Perpetual subordinated loan capital securities, nominal amount	4 561			533		4 028
Adjustments	853				(323)	1 176
Total subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities	**30 954**	**3 805**	**4 604**	**2 756**	**(323)**	**29 319**

DNB Bank ASA

Year raised	Carrying amount in foreign currency		Interest rate	Maturity	Call date	Carrying amount in NOK
Term subordinated loan capital						
2012	EUR	750	4.75 % p.a.	2022	2017	7 202
2013	NOK	1 250	3-month NIBOR + 1.70 %	2023	2018	1 250
2013	EUR	750	3.00 % p.a.	2023	2018	7 202
2015	SEK	1 000	1.97 % p.a.	2025	2020	1 046
2015	SEK	3 000	3-month STIBOR + 1.40 %	2025	2020	3 137
Total, nominal amount						19 838
Perpetual subordinated loan capital						
1985	USD	215	3-month LIBOR + 0.25 %			1 760
1986	USD	200	6-month LIBOR + 0.13 %			1 892
1986	USD	150	6-month LIBOR + 0.15 %			1 320
1999	JPY	10 000	4.51 % p.a.		2029	731
Total, nominal amount						5 702
Perpetual subordinated loan capital securities						
2007	GBP	350	6.01 % p.a.		2017	4 561
Total, nominal amount						4 561

Note 43 Subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities (continued)

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Term subordinated loan capital, nominal amount	19 838	19 322
Perpetual subordinated loan capital, nominal amount	5 702	4 792
Perpetual subordinated loan capital securities, nominal amount	4 561	4 028
Adjustments	853	1 176
Total subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities	**30 953**	**29 319**

Changes in subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Balance sheet 31 Dec. 2015	Issued 2015	Matured/ redeemed 2015	Exchange rate movements 2015	Other adjustments 2015	Balance sheet 31 Dec. 2014
Term subordinated loan capital, nominal amount	19 838	3 805	4 604	1 314		19 322
Perpetual subordinated loan capital, nominal amount	5 702			909		4 792
Perpetual subordinated loan capital securities, nominal amount	4 561			533		4 028
Adjustments	853				(323)	1 176
Total subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities	**30 953**	**3 805**	**4 604**	**2 756**	**(323)**	**29 319**

DNB Bank Group

Year raised	Carrying amount in foreign currency		Interest rate	Maturity	Call date	Carrying amount in NOK
Term subordinated loan capital						
2012	EUR	750	4.75% p.a.	2022	2017	7 202
2013	NOK	1 250	3-month NIBOR + 1.70%	2023	2018	1 250
2013	EUR	750	3.00% p.a.	2023	2018	7 202
2015	SEK	1 000	1.97% p.a.	2025	2020	1 046
2015	SEK	3 000	3-month STIBOR + 1.40%	2025	2020	3 137
Total, nominal amount						19 838
Perpetual subordinated loan capital						
1985	USD	215	3-month LIBOR + 0.25%			1 760
1986	USD	200	6-month LIBOR + 0.13%			1 892
1986	USD	150	6-month LIBOR + 0.15%			1 320
1999	JPY	10 000	4.51% p.a.		2029	731
Total, nominal amount						5 702
Perpetual subordinated loan capital securities						
2007	GBP	350	6.01% p.a.		2017	4 561
Total, nominal amount						4 561

Note 44 Other liabilities

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
1 002	805	Short-term funding	805	1 002
50	5 359	Short positions trading	5 359	50
3 889	3 471	Accrued expenses and prepaid revenues	3 955	4 247
1 230	1 599	Documentary credits, cheques and other payment services	1 666	1 230
3 311	3 264	Unsettled contract notes	3 288	3 311
9 730	22 864	Group contribution/dividends	(0)	0
450	735	Accounts payable	932	522
217	246	General employee bonus	246	217
1 225	1 095	Other liabilities	2 156	2 282
21 104	**39 438**	**Total other liabilities** [1]	**18 409**	**12 840**

1) *Other liabilities are generally of a short-term nature.*

Note 45 Equity

Share capital

DNB Bank ASA is wholly owned subsidiary of DNB ASA, which is a Norwegian public limited company listed on the Oslo Stock Exchange (Oslo Børs). The share capital of DNB Bank ASA at 31 December 2015 and 31 December 2014 was NOK 18 314 311 000 divided into 183 143 110 shares, each with a nominal value of NOK 100.

Additional Tier 1 capital

During the first quarter of 2015 DNB Bank ASA issued two additional Tier 1 capital instruments. The instruments have a nominal value of NOK 2 150 million and USD 750 million (NOK 5 903 million). The instruments are perpetual but the bank can repay the capital on specific dates, first time five years after the issuing. The interest rates to be paid are floating 3 months NIBOR plus 3.25 per cent and fixed 5.75 per cent respectively. The issue in Norwegian kroner has quarterly payments while the issue in US dollar has annual payments. Accumulated interest for 2015 totaled NOK 374 million, of which NOK 75 million was paid out during the year. For more information, see Note 1 Accounting principles.

Fund for unrealised gains

The restricted share of retained earnings (fund for unrealised gains) in DNB Bank ASA totalled NOK 1 036 million at 31 December 2015 and NOK 1 523 million at 31 December 2014.

Note 46 Remunerations etc.

Pursuant to Section 6-16a of the Norwegian Public Limited Companies Act, the Board of Directors will present the following statement on remunerations to the Annual General Meeting for voting:

"Information about DNB's remuneration scheme

Pursuant to the regulations on remuneration schemes in financial institutions etc., issued by the Norwegian Ministry of Finance on 1 December 2010 and subsequent amendments, companies are required to publish information about the main principles for determining remunerations, criteria for the stipulation of any variable remunerations and quantitative information on remuneration to senior executives. The information in this note, including the Board of Directors' statement on the stipulation of salaries and other remunerations to senior executives below, represents such information, as stipulated in the remuneration regulations.

The group guidelines for remuneration in the DNB Group apply to the total remuneration to all permanent employees in the DNB Group and comprise monetary remuneration (fixed salary, short and long-term incentives), employee benefits (pensions, employer's liability insurance and other employee benefits) and employee development and career measures (courses and development programmes, career programmes and other non-monetary remuneration).

According to the guidelines, total remuneration is to be based on a total evaluation of the performance of the Group, as well as the unit's and each individual's contributions to value creation. Total remuneration should be structured to ensure that it does not expose the Group to unwanted risk. The remuneration should be competitive, but also cost-effective for the Group.

Furthermore, monetary remuneration should consist of a fixed and a variable part where this is appropriate. Fixed salary should be a compensation for the responsibilities and requirements assigned to each position, as well as its complexity, while variable salary should encourage strong performance and desired conduct.

Group guidelines for variable remuneration

To ensure compliance with the remuneration regulations and the circular from Finanstilsynet on remuneration schemes in financial institutions, investment firms and management companies for mutual funds, DNB has had separate group guidelines for variable remuneration since 2011, including special guidelines for variable remuneration to senior executives, employees with responsibilities which are of great importance to the company's risk exposure ("risk takers") and employees who are responsible for independent control functions.

The purpose of DNB's guidelines for variable remuneration is to reward conduct and develop a corporate culture which ensures long-term value generation. The guidelines for variable remuneration have been approved by the Board of Directors' Compensation Committee.

Variable remuneration is based on an overall assessment of the results achieved within defined target areas for the Group, the unit and the individual, as well as compliance with the Group's vision, values, code of ethics and leadership principles. The variable remuneration should be performance-based without exposing the Group to unwanted risk. Furthermore, it should counteract excessive risk taking and promote sound and effective risk management in DNB. Variable remuneration (bonus) for senior executives cannot exceed 50 per cent of fixed salary.

DNB's variable remuneration scheme applies globally, though non-Norwegian branches and subsidiaries will also be required to comply with local legislation, regulations and guidelines. There may be challenges of a legal nature in cases where the Norwegian regulations do not correspond to local legislation and local rules concerning remunerations in financial institutions. In such cases, the Group will seek advice from the relevant authorities and international experts to ensure that the Group's practices are in compliance with both Norwegian and local regulations.

The Board of Directors' statement on the stipulation of salaries and other remunerations to senior executives

DNB's guidelines for determining remunerations to the group chief executive and other members of the group management team should, at all times, support prevailing strategy and values, while contributing to the attainment of the Group's targets. The remuneration should inspire conduct to build the desired corporate culture with respect to performance and profit orientation. No changes have been made in the principles for the stipulation of variable remunerations compared with the statement for the previous year.

Decision-making process

The Board of Directors in DNB ASA has established a compensation committee consisting of three members: the chairman of the Board, the vice-chairman and one board member.

The Compensation Committee prepares matters for the Board of Directors and has the following main responsibilities:

- Annually evaluate and present its recommendations regarding the total remuneration awarded to the group chief executive
- Annually prepare recommended targets for the group chief executive
- Based on suggestions from the group chief executive, decide the remuneration and other key benefits awarded to the group executive vice president, Group Audit
- Act in an advisory capacity to the group chief executive regarding remunerations and other key benefits for members of the group management team and, when applicable, for others who report to the group chief executive
- Consider other matters as decided by the Board of Directors and/or the Compensation Committee
- Evaluate other personnel-related issues which can be assumed to entail great risk to the Group's reputation

Note 46 Remunerations etc. (continued)

A. Guidelines for the coming accounting year

Remuneration to the group chief executive

The total remuneration to the group chief executive consists of fixed salary (main element), benefits in kind, variable remuneration, and pension and insurance schemes. The total remuneration is determined based on a total evaluation, and the variable part of the remuneration is primarily based on the Group's financial targets for return on equity, the common equity Tier 1 capital ratio and cost/income ratio. In addition to the financial targets, the Group's customer satisfaction, corporate reputation scores and developments in key performance indicators relating to the Group's corporate culture will be taken into consideration. In addition, the total evaluation will reflect compliance with the Group's vision, values, code of ethics and leadership principles.

The fixed salary is subject to an annual evaluation and is determined based on salary levels in the labour market in general and in the financial industry in particular, and on remuneration levels for comparable positions.

Variable salary to the group chief executive is determined based on an overall assessment of the results achieved within defined target areas. Variable salary cannot exceed 50 per cent of fixed salary. The group chief executive is not awarded performance-based payments other than the stated variable remuneration.

In addition to variable remuneration, the group chief executive can be granted benefits in kind such as company car, newspapers/periodicals and telephone/ other communication. Benefits in kind should be relevant to the group chief executive's function or in line with market practice, and should not be significant relative to the group chief executive's fixed salary.

The Board of Directors will respect the agreement entered into with the group chief executive, whereby his retirement age is 60 years with a pension representing 70 per cent of fixed salary. If employment is terminated prior to the age of 60, he will still be entitled to a pension from the age of 60 with the deduction of 1/14 of the pension amount for each full year remaining to his 60th birthday. According to the agreement, the group chief executive is entitled to a termination payment for two years if employment is terminated prior to the age of 60. If, during this period, the group chief executive receives income from other employment, the termination payment will be reduced by an amount corresponding to the salary received from this employment. Benefits in kind will be maintained for a period of three months.

Remuneration to other senior executives

The group chief executive determines the remunerations to senior executives in agreement with the chairman of the Board of Directors. The Board of Directors will honour existing binding agreements.

The total remuneration to senior executives consists of fixed salary (main element), benefits in kind, variable salary, and pension and insurance schemes. The total remuneration is determined based on the need to offer competitive terms in the various business areas. The remunerations should promote the Group's competitiveness in the relevant labour market, as well as the Group's profitability, including the desired trend in income and costs. The total remuneration should take DNB's reputation into consideration and ensure that DNB attracts and retains senior executives with the desired skills and experience.

The fixed salary is subject to an annual evaluation and is determined based on salary levels in the labour market in general and in the financial industry in particular.

Benefits in kind may be offered to senior executives to the extent the benefits have a relevant connection to the employee's function in the Group or are in line with market practice. The benefits should not be significant relative to the employee's fixed salary.

Target structure 2016

The Compensation Committee approves principal criteria, principles and limits for variable remuneration. The Compensation Committee has decided that the Group's return on equity, common equity Tier 1 capital ratio and cost/income ratio should constitute the financial target figures for 2016. In addition to the financial target figures, the Group's customer satisfaction, corporate reputation scores and developments in key performance indicators relating to the Group's corporate culture will be taken into consideration.

The Group's financial target figures have been broken down into relevant targets for the various business areas and staff and support units in order to offer optimal support for the implementation of new capital adequacy and liquidity regulations.

The above targets will be key elements when calculating and paying out the variable remuneration for 2016. All financial targets have been defined and communicated to the relevant business areas and staff and support units as part of the work with and follow-up of the targets for 2016.

Determination of variable remuneration for 2016

The variable remuneration for 2016 will be determined by means of an overall assessment of performance, based on a combination of quantitative attainment of pre-set performance targets and qualitative assessments of how the targets were achieved.

The Board of Directors will determine a maximum limit for total bonuses for the Group, excluding DNB Markets and DNB Eiendom, based on the attainment of group targets over the last two years, combined with a general assessment of other important parameters and the Group's financial capacity. The total limit will be allocated to the organisation based on the individual units' target attainment and contributions to the Group's performance. With respect to DNB Markets, a special limit will be determined for variable remuneration based on the risk-adjusted profits achieved by the unit and an overall assessment, which is in line with market practice for this type of operations. Correspondingly, the remuneration model in DNB Eiendom is consistent with market practice, with a high share of variable remuneration based on individual performance.

Note 46 Remunerations etc. (continued)

Special rules for senior executives, identified risk takers and employees responsible for independent control functions

DNB has prepared and implemented special rules for identified risk takers, employees responsible for independent control functions and senior executives, hereinafter called risk takers. The special rules supplement the general group guidelines for variable remuneration and have been formulated in compliance with the remuneration regulations and the related circular from Finanstilsynet.

In accordance with prevailing requirements, DNB has surveyed the entire organisation to identify risk takers based on the criteria resulting from the circular and the EU regulation.

For risk takers, the following main principles apply to variable remuneration:

- The remuneration is earned over a period of two years.
- Variable remuneration cannot exceed the agreed fixed remuneration.
- Deferred and conditional payment of minimum 50 per cent of the earned variable remuneration in the form of DNB shares. The remuneration paid in the form of shares will be divided into three, subject to minimum holding periods (deferred and conditional), with one-third payable each year over a period of three years. The deferred and conditional payments will be in compliance with the stipulations in the remuneration regulations.

Pensions etc.

Pension schemes and any agreements on termination payments etc. should be considered relative to other remuneration and should ensure competitive terms. The various components in pension schemes and severance pay, either alone or together, must not be such that they could pose a threat to DNB's reputation.

As a main rule, senior executives are entitled to a pension at the age of 65, though this can be deviated from. Pension entitlements should not exceed 70 per cent of fixed salary and should constitute maximum 12 times the National Insurance basic amount. However, the DNB Group will honour existing agreements. A defined contribution scheme was established for the Group with effect from 1 January 2011, whereby pensionable income will be limited to 12 times the National Insurance basic amount, G. On 31 December 2015, the Group terminated the defined-benefit pension scheme for employees in Norway with salaries below 12G. Employees in Norway with defined-benefit pensions were transferred to the defined-contribution pension scheme as from 1 January 2016.

As a main rule, no termination payment agreements will be signed. However, the Group will honour existing agreements.

When entering into new agreements, the guidelines generally apply and comprise all senior executives.

See table of remunerations for senior executives below.

B. Binding guidelines for shares, subscription rights, options etc. for the coming accounting year

An amount corresponding to 50 per cent of the earned variable remuneration of the group chief executive, senior executives and risk takers is invested in shares in DNB ASA. The minimum holding periods are one year for one-third of the shares, two years for one-third of the shares and three years for the final one-third of the shares.

No additional shares, subscription rights, options or other forms of remuneration only linked to shares or only to developments in the share price of the company or other companies within the Group, will be awarded to the group chief executive or senior executives. The group chief executive and senior executives are, however, given the opportunity to participate in a share subscription scheme on the same terms as other employees in the DNB Group.

C. Statement on the senior executive salary policy in the previous account year

The group guidelines determined for 2011, including changes effective as from 2015, have been followed.

D. Statement on the effects for the company and the shareholders of remuneration agreements awarding shares, subscription rights, options etc.

An amount corresponding to 50 per cent of the gross variable remuneration earned by the group chief executive and senior executives in 2015 is invested in shares in DNB ASA. The Board of Directors believes that the awarding of shares to senior-executives, in view of the total number of shares in the company, will have no negative consequences for the company or the shareholders."

Terms for the chairman of the Board of Directors

Anne Carine Tanum received a remuneration of NOK 420 000 in 2015 as chairman of the Board of Directors of DNB Bank ASA, compared with NOK 413 431 in 2014. In addition, she received NOK 526 200 as chairman of the Board of Directors of DNB ASA, compared with NOK 511 023 in 2014.

Terms for the group chief executive

Rune Bjerke received an ordinary salary of NOK 5 627 505 in 2015, compared with NOK 5 426 576 in 2014. The Board of Directors of DNB ASA stipulated the group chief executive's bonus payment for 2015 at NOK 2 332 000, compared with NOK 2 170 000 in 2014. The bonus for 2015 will be paid in 2016. Benefits in kind were estimated at NOK 349 096, compared with NOK 261 689 in 2014. Costs in connection with the group chief executive's pension scheme of NOK 4 586 497 were recorded for the 2015 accounting year, compared with NOK 3 715 825 in 2014. Costs are divided between DNB ASA and DNB Bank ASA.

Note 46 Remunerations etc. (continued)

The table has been constructed to show rights earned during the period.

Remunerations etc. in 2015 — **DNB Bank Group**

Amounts in NOK 1 000	Fixed annual salary as at 31 Dec. 2015 [1]	Remuneration earned in 2015 [2]	Paid salaries in 2015 [3]	Bonus earned in 2015 [4]	Benefits in kind and other benefits in 2015	Total remuneration earned in 2015	Loans as at 31 Dec. 2015 [5]	Accrued pension expenses [6]
The Board of Directors of DNB Bank ASA								
Anne Carine Tanum (chairman)		946			12	958		
Jarle Bergo (vice-chairman)		614			5	619		
Sverre Finstad	659	614	669	22	60	1 365	549	57
Vigdis Mathisen	719	614	721	22	27	1 384	3 763	82
Kai Nyland [7]		307			187	494	1	
Torill Rambjør		307			695	1 002	20	
Kim Wahl		307				307	53	
Group management								
Rune Bjerke, CEO	5 420		5 628	2 332	349	8 309	9 549	4 586
Bjørn Erik Næss, CFO	3 795		3 956	1 642	208	5 806	376	4 927
Trond Bentestuen, group EVP	2 970		3 076	1 322	224	4 622	6 532	675
Kjerstin Braathen, group EVP	2 895		3 010	1 272	205	4 486	35	553
Ottar Ertzeid, group EVP	8 620		8 972	4 012	205	13 189	37	489
Liv Fiksdahl, group EVP	2 970		3 082	1 322	207	4 611	1 450	846
Solveig Hellebust, group EVP	2 385		2 476	1 052	200	3 731	11	290
Kari Olrud Moen, group EVP	2 750		2 861	1 172	201	4 235	18	701
Tom Rathke, group EVP	3 325		3 610	1 502	251	5 364	6 349	2 162
Harald Serck-Hanssen, group EVP	4 020		4 186	1 712	245	6 144	5 478	959
Thomas Midteide, group EVP	1 900		1 973	832	210	3 015	5 776	188
Terje Turnes, group EVP (from 7 February 2015)	3 850		3 725	742	201	4 667	63	474
Trygve Young, group EVP (to 7 February 2015) [7]			902		1 996	2 898	1	
Control Committee								
Frode Hassel (chairman)		438				438		
Kari Olav Hovden (vice-chairman) [7]		364			307	671		
Ida Hellesen		292				292		
Ida Espolin Johnson		292				292	161	
Ole Trasti		292				292	3 631	
Supervisory Board	5 471	703	5 663	373	223	6 962	38 349	277
Loans to other employees							17 273 913	

1) *Fixed annual salary at year-end for employees who were members of the Board of Directors or the group management team during the year.*
2) *Includes remuneration received from all companies within the DNB Group for service on Boards of Directors and committees. For those who have received remuneration for more than one position in 2015, the following amounts are related to their board positions in DNB Bank ASA:*
   Anne Carine Tanum: NOK 420 000
   Jarle Bergo: NOK 307 000
   Sverre Finstad: NOK 307 000
   Vigdis Mathisen: NOK 307 000
   Some persons are members of more than one body.
3) *Includes salary payments for the entire year and holiday pay on bonuses. Some employees were members of the Board of Directors or the group management team for only parts of the year.*
4) *Bonus earned excluding holiday pay.*
5) *Loans to shareholder-elected representatives are extended on ordinary customer terms. Loans to DNB employees are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms.*
6) *Accrued pension expenses include pension rights earned during the year (service cost). The calculation of pension entitlements is based on the same economic and actuarial assumptions as those used in note 24 Pensions.*
7) *Benefits in kind and other benefits include pension payments.*

Note 46 Remunerations etc. (continued)

The table has been constructed to show rights earned during the period.

Remunerations etc. in 2014 — **DNB Bank Group**

Amounts in NOK 1 000	Fixed annual salary as at 31 Dec. 2014 [1]	Paid remunera-tion in 2014 [2]	Paid salaries in 2014 [3]	Bonus earned in 2014 [4]	Benefits in kind and other benefits in 2014	Total remunera-tion earned in 2014	Loans as at 31 Dec. 2014 [5]	Accrued pension expenses [6]
The Board of Directors of DNB Bank ASA								
Anne Carine Tanum (chairman)		924				924		
Jarle Bergo (vice-chairman)		604			3	607		
Sverre Finstad	645	604	654	20	59	1 337	568	47
Vigdis Mathisen	692	604	693	20	22	1 339	3 873	60
Kai Nyland [7]		302			184	486	1	
Torill Rambjør		302				302	9	
Kim Wahl		302				302	35	
Group management								
Rune Bjerke, CEO	5 250		5 427	2 170	262	7 858	72	3 716
Bjørn Erik Næss, CFO	3 688		3 835	1 505	204	5 545	1 367	4 168
Trond Bentestuen, group EVP	2 835		2 912	1 210	206	4 329	6 697	517
Kjerstin Braathen, group EVP	2 795		2 903	1 195	203	4 301	1 165	418
Ottar Ertzeid, group EVP	8 382		8 692	3 830	210	12 732	45	396
Liv Fiksdahl, group EVP	2 835		2 914	1 230	203	4 347	1 694	714
Solveig Hellebust, group EVP	2 322		2 404	940	202	3 546	15	221
Kari Olrud Moen, group EVP	2 683		2 764	1 065	203	4 032	0	540
Tom Rathke, group EVP	3 235		3 504	1 340	209	5 054	10 600	1 820
Harald Serck-Hanssen, group EVP	3 921		4 091	1 640	205	5 936	5 575	749
Leif Teksum, group EVP (until 2 July 2014) [7]		97	2 661	810	1 189	4 757	4 040	580
Trygve Young, group EVP	3 048		3 092	500	203	3 795	2	
Control Committee								
Frode Hassel (chairman)		427				427		
Karl Olav Hovden (vice-chairman) [7]		212			296	509	1	
Vigdis Mereta Almestad (until 24 April 2014)		149				149		
Ida Helliesen (from 24 April 2014)		196				196	3	
Ida Espolin Johnson		343				343	171	
Ole Trasti (from 24 April 2014)		196				196	2 001	
Thorstein Øverland (until 24 April 2014) [7]		91			22	112	5	
Supervisory Board	5 298	1 140	6 675	200	253	8 268	67 519	390
Loans to other employees							16 946 323	

1) *Fixed annual salary at year-end for employees who were members of the Board of Directors or the group management team during the year.*
2) *Includes remuneration received from all companies within the DNB Group for service on Boards of Directors and committees. For those who have received remuneration for more than one position in 2014, the following amounts are related to their board positions in DNB Bank ASA:*
   Anne Carine Tanum: NOK 413 431
   Jarle Bergo: NOK 302 073
   Sverre Finstad: NOK 302 073
   Vigdis Mathisen: NOK 302 073
   Some persons are members of more than one body.
3) *Includes salary payments for the entire year and holiday pay on bonuses. Some employees were members of the Board of Directors or the group management team for only parts of the year.*
4) *Bonus earned excluding holiday pay.*
5) *Loans to shareholder-elected representatives are extended on ordinary customer terms. Loans to DNB employees are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms.*
6) *Accrued pension expenses include pension rights earned during the year (service cost). The calculation of pension entitlements is based on the same economic and actuarial assumptions as those used in note 24 Pensions.*
7) *Benefits in kind and other benefits includes pension payments.*

Note 46 Remunerations etc. (continued)

Other information on pension agreements

Rune Bjerke has a pension agreement entitling him to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 60. Bjørn Erik Næss, Liv Fiksdahl, Kari Olrud Moen and Tom Rathke are entitled to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 62. Trygve Young was entitled to a pension from the age of 62, with a gradual reduction in pension benefits from 90 per cent of pensionable income from the age of 62, 80 per cent from the age of 63 and 70 per cent from the age of 64. The pension agreement of Trygve Young entered into force on 6 February 2015, and Terje Turnes joined the group management team on the same day. Terje Turnes is entitled to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 67. Trond Bentestuen, Kjerstin Braathen and Harald Serck-Hanssen are entitled to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 65. Ottar Ertzeid has a pension agreement entitling him to pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 62, or 65 at the latest. As of 1 January 2015, Thomas Midteide became a member of the group management team. Thomas Midteide and Solveig Hellebust are entitled to a pension representing 70 per cent of fixed salary from the age of 65, with no curtailment from the age of 65 through 67. Their pensionable income is limited to 12 times the National Insurance basic amount. On 1 January 2016, the membership of all the group executive vice presidents in the defined-benefit occupational pension scheme, established pursuant to the Norwegian Occupational Pension Act, was transferred to membership in the defined-contribution scheme pursuant to the Defined-contribution Pension Act in line with all other employees in Norway.

Subscription rights programme for employees

There was no subscription rights programme for employees in the DNB Bank Group at year-end 2015.

DNB Bank ASA		Remuneration to the statutory auditor	DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK 1 000, excluding VAT*	2015	2014
(7 342)	(7 967)	Statutory audit [1]	(20 865)	(19 844)
(886)	(569)	Other certification services	(1 414)	(1 914)
(2 973)	(4 959)	Tax-related advice [2]	(6 159)	(3 933)
(415)	(9 690)	Other services [3]	(9 875)	(791)
(11 616)	**(23 185)**	**Total remuneration to the statutory auditor**	**(38 313)**	**(26 482)**

1) Includes fees for interim audit and auditing funds managed by DNB.
2) Mainly refers to services provided in connection with tax reporting in international units and assistance in tax matters for employees outside Norway.
3) The increase in 2015 mainly related to transaction specific advice.

Note 47 Information on related parties

DNB Bank ASA is 100 per cent owned by DNB ASA. The largest owner of the DNB Group is the Norwegian government, represented by the Ministry of Trade and Industry, which owns and controls 34 per cent of the shares in the parent company DNB ASA.

A large number of bank transactions are entered into with related parties as part of ordinary business transactions, comprising loans, deposits and foreign exchange transactions. These transactions are based on market terms. The table below shows transactions with related parties, including balance sheets at year-end and related expenses and income for the year. Related companies in the table are associated companies plus DNB Savings Bank Foundation. See note 35 for a specification of associated companies. Loans to board members and their spouses/ partners and under-age children are extended on ordinary customer terms. Loans to group management, like loans to other group employees, are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms. Transactions with other DNB Bank Group companies are shown in a separate table.

Transactions with related parties

	Group management and Board of Directors		DNB Bank Group Related companies	
Amounts in NOK million	2015	2014	2015	2014
Loans as at 1 January	41	40	1 294	2 062
New loans/repayments during the year	(3)	5	(381)	(752)
Changes in related parties	6	(4)		(16)
Loans as at 31 December	**44**	**41**	**913**	**1 294**
Interest income	**1**	**1**	**24**	**37**
Deposits as at 1 January	105	34	3 106	1 746
Deposits/withdrawals during the year	131	87	(2 363)	1 278
Changes in related parties	(2)	(15)	(42)	82
Deposits as at 31 December	**235**	**105**	**702**	**3 106**
Interest expenses	**(1)**	**(1)**	**(16)**	**(22)**
Guarantees [1]	**-**	**-**	**11 323**	**14 083**

1) *DNB Bank ASA carries loans in its balance sheets which according to a legal agreement have been transferred to Eksportfinans and are guaranteed by DNB Bank ASA. According to the agreement, DNB still carries interest rate risk and credit risk associated with the transferred portfolio. These portfolios totalled NOK 2 212 million and NOK 2 809 million respectively at year-end 2015 and 2014. The loans are set off by deposits/payments from Eksportfinans. DNB Bank ASA has also issued guarantees for other loans in Eksportfinans.*

No impairments were made on loans to related parties in 2014 and 2015. Reference is made to note 46 for information on loans to group management members and directors. Transactions with deputy members of the Board of Directors are not included in the table above. In general, DNB employee loans should be paid by automatic debit in monthly instalments in arrear. Employee loans are within the term limits applying to general customer relationships. Security is furnished for employee loans in accordance with legal requirements.

DNB Bank ASA		**Transactions with other DNB Group companies** [1]	DNB Bank Group	
2014	2015	*Amounts in NOK million*	2015	2014
268 717	349 169	Loans as at 31 December	17 606	11 182
21 030	29 784	Other receiveables as at 31 December [2]	2 450	2 684
69 308	122 593	Deposits as at 31 December	12 903	9 515
101 114	109 470	Other liabilities as at 31 December [2]	411	1 689
4 992	4 360	Interest income	350	345
(1 145)	(1 970)	Interest expenses	(90)	(125)
7 605	5 517	Net other operating income [3]	1 920	1 883
(211)	(268)	Operating expenses	(257)	(206)

1) *For DNB Bank ASA, the table includes transactions with subsidiaries, sister companies and DNB ASA. For the banking group, the table includes transactions with sister companies and DNB ASA. Investments in bonds issued by related parties are described below and are not included in the table.*
2) *Other receivables and other liabilities in DNB Bank ASA as at 31 December 2014 and 2015 were mainly financial derivative contracts with DNB Boligkreditt as counterparty and group contributions.*
3) *DNB Bank ASA recorded NOK 4 571 million and NOK 1 285 million in group contributions from subsidiaries in 2015 and 2014, respectively.*

Note 47 Information on related parties (continued)

Major transactions and agreements with related parties

Eksportfinans ASA

DNB Bank ASA has a 40 per cent ownership interest in Eksportfinans. Financial market turbulence resulted in sizeable unrealised losses in Eksportfinans' liquidity portfolio in the first quarter of 2008. In order to ensure an adequate capital base for the company, its Board of Directors implemented three measures:

- A share issue of NOK 1.2 billion aimed at the company's owners was implemented, and all owners participated based on their proportional shares.
- A portfolio hedge agreement was entered into, and the owners were invited to participate. DNB Bank ASA's share of the agree-ment corresponded to 40.43 per cent. The agreement secures Eksportfinans against further decreases in portfolio values of up to NOK 5 billion effective from 29 February 2008. Any recovery of values relative to nominal values will accrue to the participants in the portfolio hedge agreement as payment for their hedging commitment.
- During the first quarter of 2008, Eksportfinans' largest owner banks, DNB Bank ASA, Nordea Bank AB and Danske Bank A/S, approved a committed credit line giving the company access to a liquidity reserve of up to USD 4 billion. The agreement is renewed yearly. The renewal in 2010 resulted in a reduction in the limit for the liquidity reserve to USD 2 billion. DNB Bank ASA's share of this agreement represents approximately USD 1.1 billion. Eksportfinans has not availed itself of this credit line.

DNB Bank ASA carries loans in its balance sheets which according to a legal agreement have been transferred to Eksportfinans and are guaranteed by DNB Bank ASA. Pursuant to the agreement, the bank still carries interest rate risk and credit risk associated with the transferred portfolio. According to the IFRS regulations, the loans have therefore not been removed from the balance sheet of the bank. These portfolios totalled NOK 2.2 billion at end-December 2015. The loans are set off by deposits/payments from Eksportfinans. DNB Bank ASA has also issued guarantees for other loans in Eksportfinans.

The transactions with Eksportfinans have been entered into on ordinary market terms as if they had taken place between independent parties.

DNB Boligkreditt AS

DNB Boligkreditt (Boligkreditt) is 100 per cent owned by DNB Bank ASA. As part of ordinary business transactions, a large number of banking transactions are entered into between Boligkreditt and the bank, including loans, deposits and financial derivatives used in currency and interest rate risk management. Transactions are carried out on market terms and are regulated in the "Agreement relating to transfer of loan portfolio between DNB Bank ASA and DNB Boligkreditt AS" (the transfer agreement) and the "Contract between DNB Bank ASA and DNB Boligkreditt AS concerning purchase of management services" (the servicing agreement).

The transfer agreement regulates the transfer of loan portfolios qualifying as collateral for the issue of covered bonds. Since the start in 2008 substantial volumes of loans have been transferred from DNB Bank ASA to Boligkreditt. At end-December 2015, loans in Boligkreditt totalled NOK 564.7 billion, which represented close to 82 per cent of total lending within the personal customer segment. During 2015, portfolios of NOK 23.2 billion were transferred from the bank to Boligkreditt. The transfers are based on market terms.

Pursuant to the servicing agreement, Boligkreditt purchases services from the bank, including administration, bank production, distribution, customer contact, IT operations and financial and liquidity management. Boligkreditt pays an annual management fee for these services. The fee paid in 2015 totalled NOK 3.3 billion.

At end-December 2015 the bank had invested NOK 8.0 billion in covered bonds issued by Boligkreditt.

In the fourth quarter of 2013, Boligkreditt entered into a "Revolving Credit Facility Agreement (RCF)" with DNB Bank ASA. Subject to the terms of this RCF, DNB Bank makes available to Boligkreditt a revolving credit facility at all times equal to Boligkreditt's payment obligations in NOK for the next 12 months in respect of issued Covered Bonds and related derivative hedge agreements. Boligkreditt shall apply all amounts borrowed by it under the RCF towards payments under Covered Bonds and related derivative contracts entered into for hedging purposes for those Covered Bonds.

Boligkreditt may not make use of the RCF for the fulfilment of payment obligations related to the ordinary (re-)purchase of Covered Bonds (if any), or to derivative agreements related to such Covered Bonds. The obligations of DNB Bank towards Boligkreditt under the RCF do not constitute a guarantee in respect of amounts due and payable under the Covered Bonds.

DNB Næringskreditt AS

DNB Næringskreditt (Næringskreditt) is 100 per cent owned by DNB Bank ASA. The mortgage institution was established to issue covered bonds secured by a cover pool comprising commercial property.

The company started operations in the third quarter of 2009. At end-December 2015, commitments with a total value of NOK 26.7 billion had been transferred from the bank to Næringskreditt. The portfolio is diversified with respect to property types, sizes and locations. During 2015, portfolios of NOK 7.0 billion were transferred from the bank to Næringskreditt. The transfers are made in agreement with the customers and are based on market terms. Like Boligkreditt, Næringskreditt purchases management and administrative services from the bank. In addition, administrative services relating to the company's operations are purchased from Boligkreditt. The fee paid to the bank and Boligkreditt for 2015 totalled NOK 98.5 million.

In the balance sheet of Næringskreditt "Loans to and deposits with credit institutions" and "Due to credit institutions" are solely outstandings with DNB Bank. At end-December 2015, the bank had invested NOK 0.5 billion in covered bonds issued by Næringskreditt.

Note 47 Information on related parties (continued)

DNB Livsforsikring AS

As part of the company's ordinary investment activity, DNB Livsforsikring has subscribed for covered bonds issued by Boligkreditt. DNB Livsforsikring's investments in Boligkreditt are limited to listed covered bonds. DNB Livsforsikring's holding of Boligkreditt bonds was valued at NOK 1.9 billion at end-December 2015.

In November 2015, a portfolio of residential mortgages amounting to approximately NOK 20 billion was sold from DNB Boligkreditt AS to DNB Livsforsikring AS. Personal Banking Norway will continue to manage the portfolio on behalf of DNB Livsforsikring AS.

The transactions with DNB Livsforsikring have been entered into on ordinary market terms as if they had taken place between independent parties.

DNB Singapore Branch and DNB Asia Ltd.

During the first quarter of 2013, an agreement was entered into between DNB Singapore Branch and DNB Asia Ltd. which implied that DNB Asia Ltd. took over the right to extend loans to the branch's new and existing customers. Existing loans have been transferred to DNB Asia Ltd to the extent deemed feasible and rational. The branch will remain responsible for risk and returns related to the relevant loans until the transfer to DNB Asia Ltd. takes place. At end-December 2015, loans with a total value of USD 2.4 billion had been transferred. Remaining loans in DNB Singapore Branch totalled USD 0.9 billion. The agreement was entered into on market terms.

DNB New York Branch and DNB Capital LLC

During the third quarter of 2013, an agreement was entered into between DNB New York Branch and DNB Capital LLC, which implied that DNB Capital LLC took over the right to extend loans to the branch's new and existing customers. Existing loans have been transferred to DNB Capital LLC to the extent deemed feasible and rational. The branch will remain responsible for risk and returns related to the relevant loans until the transfer to DNB Capital LLC takes place. At end-December 2015, loans with a total value of USD 7.4 billion had been transferred. The agreement was entered into on market terms.

DNB London Branch and DNB (UK) Ltd.

During the second quarter of 2015, an agreement was entered into between DNB London Branch and DNB (UK) Ltd., formerly known as Den Norske Syndicates Ltd., which implies that DNB (UK) Ltd. will take over the right to extend loans to the branch's new and existing customers. Existing loans will be transferred to DNB (UK) Ltd. to the extent deemed feasible and rational. The branch will remain responsible for risk and returns related to the relevant loans until the transfer to DNB (UK) Ltd. takes place. At end-December 2015, existing loans with a total value of GBP 3.4 billion had been transferred to DNB (UK) Ltd. Remaining loans in DNB London Branch amounted to GBP 0.1 billion. In connection with the agreement the share capital of DNB (UK) Ltd. was increased by GBP 1.2 billion. The agreement was entered into on market terms.

DNB Sweden Branch and DNB Sweden AB

During the third quarter of 2015, an agreement was entered into between DNB Sweden Branch and DNB Sweden AB, which implies that DNB Sweden AB will take over the right to extend loans to the branch's new and existing customers. Existing loans will be transferred to DNB Sweden AB to the extent deemed feasible and rational. The branch will remain responsible for risk and returns related to the relevant loans until the transfer to DNB Sweden AB takes place. At end-December 2015, existing loans with a total value of SEK 23.3 billion had been transferred to DNB Sweden AB. Remaining loans in DNB Sweden Branch amounted to SEK 13.9 billion. In connection with the agreement the share capital of DNB Sweden AB was increased from SEK 50 000 to SEK 100 million. The equity capital was increased by an additional SEK 7.2 billion on 9 October 2015 and by SEK 7.2 billion on 9 November, giving a total paid-in capital of SEK 14.5 billion. The agreement was entered into on market terms.

DNB Invest Denmark A/S

In the third quarter of 2015, DNB Invest Denmark A/S extended two subordinated loans of NOK 2.5 billion and NOK 3 billion, respectively, to DNB Livsforsikring AS. The loan of NOK 2.5 billion is perpetual, but can be repaid on agreed dates, the first being ten years after the contract date. The loan of NOK 3 billion has a term of ten years, but can be repaid after five years. The contracts have been entered into on market terms.

Note 48 Off-balance sheet transactions and contingencies

Off-balance sheet transactions and additional information

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	*Amounts in NOK million*	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
45 402	32 568	Performance guarantees	33 712	46 603
28 488	36 375	Payment guarantees	37 544	29 930
17 497	16 715	Loan guarantees [1]	16 629	17 417
6 667	7 253	Guarantees for taxes etc.	7 271	6 684
1 875	2 780	Other guarantee commitments	3 258	2 384
99 929	95 692	Total guarantee commitments	98 414	103 017
		Support agreements	11 827	13 202
99 929	95 692	Total guarantee commitments etc. [*]	110 241	116 220
995 350	963 486	Unutilised credit lines and loan offers [2]	600 523	606 912
4 212	4 576	Documentary credit commitments	4 790	4 432
		Other commitments	51	90
999 562	968 062	Total commitments	605 364	611 434
1 099 491	1 063 754	Total guarantee and off-balance commitments	715 605	727 654
20 907	17 828	Pledged securities		393
		*) *Of which counter-guaranteed by financial institutions*	*311*	*299*

1) DNB Bank ASA carries loans in its balance sheet that subject to legal agreement have been transferred to Eksportfinans and for which the bank has issued guarantees. According to the agreement, DNB Bank ASA still carries interest rate risk and credit risk for the transferred portfolio. Customer loans in the portfolio totalling NOK 2.2 billion were recorded in the balance sheet as at 31 December 2015. These loans are not included under guarantees in the table.

2) The increase is due to a revolving credit facility issued by the bank to DNB Boligkreditt.

DNB Bank ASA is a member and shareholder of the settlement system Continuous Linked Settlement (CLS). As a shareholder, DNB Bank ASA has an obligation to contribute to cover any deficit in CLS Bank's central settlement account for member banks, even if the default is caused by another member bank. Initially, such deficit will be sought covered by other member banks based on transactions the respective banks have had with the member bank which has caused the deficit in CLS Bank. Should there remain an uncovered deficit in CLS Bank, this will be covered pro rata by the member banks in CLS, according to Article 9 "Loss Allocations" of CLS Bank's International Rules. According to the agreements between CLS and the member banks, the pro rata payment obligations related to such coverage of any remaining deficit are limited to USD 30 million per member bank. At the end of 2015, DNB had not recorded any obligations in relation to CLS.

DNB Boligkreditt AS (Boligkreditt)

At end-December 2015, Boligkreditt had issued covered bonds with a nominal value of NOK 446 billion. In the event of bankruptcy, the bond-holders have preferential rights to the company's cover pool.

Covered bonds	DNB Boligkreditt	
Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Total listed covered bonds	386 944	382 788
Total private placements under the bond programme	59 419	57 238
Adjustment		
Accrued interest	4 602	4 768
Unrealised gains/losses	22 780	27 574
Total debt securities issued	473 745	472 368

Cover pool	DNB Boligkreditt	
Amounts in NOK million	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014
Pool of eligible loans	561 517	551 598
Market value of derivatives	74 932	76 438
Supplementary assets		
Total collateralised assets	636 449	628 036
Over-collateralisation (per cent)	134.2	133.2

Note 48 Off-balance sheet transactions and contingences (continued)

Contingencies

Due to its extensive operations in Norway and abroad, the DNB banking group will regularly be party to a number of legal actions. None of the current disputes are expected to have any material impact on the banking group's financial position.

The DNB banking group is subject to a number of complaints and disputes relating to structured products and other investment products.

The action against seven Norwegian municipalities for the settlement of interest rate swaps on commercial terms was settled in the second quarter of 2015, resulting in a reduction in the bank's pre-tax operating profit of NOK 159 million.

A civil action was brought before a US court of law against DNB Markets Inc. (Minc) and the other arrangers of a USD 300 million Senior Note issue in 2010 on behalf of Overseas Shipholding Group (OSG). In the third quarter of 2015 the case was settled. Minc's share of the settlement was USD 250 000.

前へ

２【主な資産・負債及び収支の内容】

連結財務書類の注記を参照のこと。

３【その他】

(1)訴訟及び規制手続

ノルウェー国内外での広範囲な業務により、当行グループは、恒常的に数多くの法的手続の当事者になると考えられる。現在係争中の紛争は、いずれも当行グループの財政状態に重大な影響を及ぼすことはないとみられる。

当行グループは、仕組み商品及びその他の投資商品に関する数々の申立て及び訴訟の当事者となっている。

商業上の条件付き金利スワップの決済に関するノルウェーの7つの自治体に対する訴訟は2015年度第2四半期に和解が成立したが、その結果当行の税引前営業利益は159百万ノルウェー・クローネ減少した。

オーバーシーズ・シップホールディング・グループ(OSG)のための2010年における300百万米ドルのシニア債券の発行について、DNBマーケッツ・インク(ミンク)及びその他のアレンジャーに対する民事訴訟が米国の裁判所に提起された。訴訟は2015年度第3四半期に和解し、ミンクの和解分担金は、250,000米ドルであった。

2016年1月、ノルウェー消費者審議会は、DNBエイ・エス・エイの100%子会社であり資産運用サービスを提供するDNBアセット・マネジメントに対し集団訴訟を計画していると発表した。同審議会は、ファンドが実際は単に指数を追跡しているだけにもかかわらず、積極的な運用のための高額な手数料を課している旨の主張について、DNBアセット・マネジメントが運用するファンドの137,000名の投資家に対する補償を求める予定であり、DNBアセット・マネジメントが運用する別のファンドの投資家についても補償を求める可能性がある。DNBアセット・マネジメントは、将来の訴訟の根拠について記載されたノルウェー消費者審議会からの書面への回答でかかる主張を否定した。ノルウェー消費者審議会の法的手段は、裁判所を通じた解決には相当な時間を要すると見込まれ、DNBグループの負債は不確定である。DNBアセット・マネジメントは、ノルウェー消費者審議会により提起された法的手段に断固として対抗する予定である。

(2)後発事象

該当事項なし。

４【ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違】

a. 日本とIFRSとの会計原則の相違

添付の財務諸表は、EUにより採用されたIFRSに準拠して作成されている。これらは日本において一般に公正妥当と認められた会計原則（以下「日本の会計原則」という。）とは、いくつかの点で異なる。直近期の財務諸表に関する主な相違点は以下のとおりである。

(1) 連結の範囲

IFRSでは、連結財務諸表には、報告会社及びグループによって支配されている会社（一定の特別目的事業体を含む。）（すなわち子会社）の財務諸表が含まれている。

IFRS第10号に基づき、以下の要件をすべて満たす場合に支配を有するものと判断される。

・投資先に対してパワーを有している。
・投資先への関与から生じる変動リターンにさらされている、若しくは変動リターンに対する権利を有している。
・投資先のリターンの金額に影響を与えるようなパワーを、投資先に対して行使することができる。

企業が他の企業体に対して支配できる力を有しているか否かを判断するにあたり、他者により保有されているものを含め、実質的な潜在的議決権の存在を考慮している。

日本では、実質支配力基準により連結範囲が決定され、支配を有する会社の財務諸表は連結される。

財務上又は営業上若しくは事業上の関係からみて他の企業の意思決定機関を支配している場合には、親会社は当該他の企業に対して支配を有しているといえる。

特別目的会社については、「連結財務諸表に関する会計基準」において、特別目的会社が、適正な価額で譲り受けた資産から生ずる収益を当該特別目的会社が発行する証券の所有者に享受させることを目的として設立され、当該特別目的会社の事業がその目的に従って適切に遂行されているときは、当該特別目的会社に資産を譲渡した会社から独立しているものと認め、当該特別目的会社に資産を譲渡した会社の子会社に該当しないものと推定され連結の対象となっていない。

(2) 会計方針の統一

IFRSでは、連結財務諸表は、同様の状況における類似の取引及びその他の事象について、統一的な会計方針を用いて作成される。グループのメンバーが、同様の状況における類似の取引及びその他の事象に関して連結財務諸表で採用している会計方針とは異なるものを使用している場合、連結財務諸表作成時に適切な修正が行われる。

日本の会計原則では、連結財務諸表を作成する場合、同一環境下で行われた同一の性質の取引等について、親会社及び子会社が採用する会計処理の原則及び手続は、原則として統一しなければならない。ただし、改正実務対応報告第18号「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」により、在外子会社の財務諸表がIFRS又は米国会計基準（US GAAP）に準拠して作成されている場合は、一定の項目の修正（のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理、研究開発費の支出時費用処理など）を条件に、これを連結決算手続上利用することができる。

関連会社については、企業会計基準第16号「持分法に関する会計基準」により、同一環境下で行われた同一の性質の取引等について、投資会社（その子会社を含む。）及び持分法を適用する被投資会社が採用する会計処理の原則及び手続を原則として統一することと規定されている。ただし、実務対応報告第24号「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」により、在外関連会社については、実務対応報告第18号で規定される在外子会社に対する当面の取扱いに準じて行うことができる。

(3) のれんの当初認識と非支配持分の測定方法

IFRSでは、取得企業は，次の(a)が(b)を超過する額として測定される取得日時点ののれんを認識する。

(a) 次の総計

(i)　譲渡対価（IFRS第３号「企業結合」に従い、通常は取得日における公正価値にて測定される。）

(ii)　被取得企業のすべての非支配持分の金額

(iii) 段階的に達成される企業結合の場合には、取得企業が以前に保有していた被取得企業の資本持分の取得日における公正価値

(b)取得した識別可能な資産及び引き受けた負債の取得日における公正価値の純額

IFRSでは、IFRS第３号に基づき、非支配持分の認識について次の2つの方法のうちいずれかの方法の選択適用が認められている。

- 非支配持分を取得日に公正価値により測定する。その結果、のれんは非支配持分に帰属する部分も含めて認識する。(いわゆる、全部のれんアプローチ)
- 非支配持分を被取得企業の識別可能純資産の公正価値に対する非支配持分割合相当額により測定する。その結果、のれんは取得企業の持ち分相当額についてのみ認識する。(いわゆる、購入のれんアプローチ)

日本では、子会社の資産及び負債は取得日において公正価値により測定され(いわゆる、全部時価評価法)、非支配株主持分は取得日における純資産の公正価値の非支配株主持分割合相当額により認識される。のれんは取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額に対する持分相当額を超過する額として算定される(いわゆる、購入のれんアプローチ)。

(4) のれんの償却

IFRSでは、のれんは償却されず、年１回若しくは事象や状況の変化が減損の可能性を示唆する場合はより頻繁に、減損テストが実施される。

日本では、のれんは20年以内のその効果が及ぶ期間にわたり定額法その他の合理的な方法により規則的に償却され、必要に応じて減損処理の対象となる。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、当該のれんが生じた事業年度の費用として処理することができる。

(5) 金融商品の評価

IFRSでは、IAS第39号「金融商品：認識と測定」に基づき金融資産及び金融負債は以下のように測定される。

- トレーディング目的として分類される金融資産及び金融負債は公正価値で測定し、公正価値の変動は純損益に認識される。
- IFRS第３号「企業結合」の適用を受ける企業結合における、取得者の条件付対価たる金融資産及び金融負債については、純損益を通じて公正価値で測定される。
- 純損益を通じて公正価値で測定すると指定された金融資産及び金融負債は公正価値で測定し、利得及び損失は純損益に認識される（いわゆる、公正価値オプション）。純損益を通じて公正価値で測定する金融商品として指定できるのは、その指定が(a)測定又は認識の不一致を解消又は著しく減少させる場合、(b)公正価値に基づいて管理し評価する金融資産グループ又は金融負債グループ若しくはその両方に適用される場合に限られている。
- 売却可能（以下「AFS」という。）金融資産は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される。減損損失及び外貨建貨幣性AFS金融資産の償却原価の換算から生じる外国為替差額は、実効金利法を適用して計算した利息とともに純損益に認識される。AFS金融資産の公正価値のその他の変動は、その他の包括利益に認識され、売却により累積利得又は損失が純損益に再分類されて認識されるまでは、資本の区分項目として計上されている。
- 貸出金及び債権は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- 満期保有投資は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- トレーディング目的又は純損益を通じて公正価値で測定すると指定された金融負債以外の金融負債は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- ヘッジ手段として指定されたデリバティブ以外のデリバティブは、純損益を通じて公正価値で測定される。

日本では、企業会計基準第10号「金融商品会計に関する会計基準」に従い、金融資産及び金融負債は以下のように測定される。

- 売買目的有価証券は、公正価値で測定し、公正価値の変動は損益認識される。
- 満期保有目的の債券は取得原価又は償却原価で測定される。
- 売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券（「その他有価証券」）は、公正価値で測定し、公正価値の変動額は、a) 純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される、若しくはb) 個々の証券について、公正価値が原価を上回る場合には純資産に計上し、下回る場合には損益計算書に計上する。

・　時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券については、それぞれ次の方法による。(1) 社債その他の債券の貸借対照表価額は、債権の貸借対照表価額に準ずる。(2) 社債その他の債券以外の有価証券は取得原価をもって貸借対照表価額とする。
・　貸出金及び債権は取得原価又は償却原価で測定される。
・　金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法に基づいて算定された価額で評価される。
・　IFRSで認められる公正価値オプションに関する規定はない。

(6) 金融資産の減損

IFRSでは、報告企業が、満期保有目的、売却可能又は貸出金及び債権に分類される金融資産又は金融資産グループが減損しているという客観的証拠の有無について各報告日に評価する。

貸出金及び債権並びに満期保有目的投資：貸出金及び債権並びに満期保有目的に分類される金融資産又は金融資産グループに減損損失が生じているという客観的証拠がある場合、損失の額は、資産又は資産グループの帳簿価額と資産又は資産グループから生じる将来キャッシュ・フローの見積額を当初認識時に商品に適用される実効金利で割り引いた現在価値との差額として測定される。

売却可能金融資産：売却可能に分類される金融資産の公正価値の減少がその他の包括利益に認識されていて、当該資産が減損している客観的証拠がある場合、損失の累計額は資本から再分類され、純損益に認識されることになる。損失は、金融資産の償却原価額とその直近の公正価値との差額として測定される。売却可能な資本性金融商品に係る減損損失の戻入は行えないが、売却可能な負債性金融商品に係る減損損失は、その後の事象に客観的に関連して公正価値が増加した場合に戻入が行われる。資本性金融商品に対する投資の取得価額を下回る公正価値の著しい下落又は長期的にわたる下落は減損の客観的証拠と認められる。

個別には減損が発生していない顧客向貸出金は、典型的には特性が似通った貸出金群をまとめて、集合的に減損を査定している。この評価では、内外の格付けシステム、見積デフォルト確率、見積損失率、及び貸出残高を用いる。集合的減損は当該資産の帳簿価額から控除され、減損の変動は損益計算書の「貸倒引当金繰入／戻入（純額）」に算入される。

日本では、公正価値が入手可能な金融資産（売買目的有価証券を除く。）について、取得原価又は償却原価で計上される金融資産（貸出金及び債権を除く。）の公正価値が帳簿価額（償却原価）を下回って著しく下落した場合、当該資産の帳簿価額は公正価値まで減額される。また、減損損失の戻入は認められない。

貸出金及び債権については、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて債権を3つ（一般債権、貸倒懸念債権及び破産更生債権等）（金融機関では5つ）に区分し、区分ごとに定められた方法に従い貸倒見積高を算定する。

(7) 金融資産の認識の中止

IFRSでは、金融資産から生じるキャッシュ・フローを受取る契約上の権利が消滅し、又は、金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。譲渡においては、報告企業は、(a)資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は(b)資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けること（一定の要件を満たす場合）、のいずれかが要求される。譲渡が行われた後、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスク及び経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスク及び経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き財政状態計算書に計上される。実質的にすべてのリスク及び経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。実質的にすべてのリスク及び経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が当該資産の支配を留保している場合、継続的関与の程度に応じて、引続きその資産を認識している。

日本では、譲渡金融資産の財務構成要素ごとに、支配が第三者に移転しているかどうかの判断に基づいて、当該金融資産の認識の中止がなされる。

(8) 金融商品の分類変更

IFRSでは、貸出金及び債権の定義（支払額が固定的又は決定可能で、活発な市場において相場がない非デリバティブ金融資産）を満たすトレーディング目的保有金融資産及び売却可能金融資産は、企業が当該金融商品を予見可能な将来又は満期まで保有する意思及び能力がある場合、貸出金及び債権に分類変更することができる。さらに、貸出金及び債権の定義を満たさないトレーディング目的保有金融資産は、ごく稀な状況で、売却可能金融資産又は満期保有目的投資に変更される可能性がある。分類変更は、分類変更日現在の公正価値で行われる。当該公正価値は、適宜、当該資産の新たな取得原価又は償却原価となる。

日本では、売買目的有価証券又はその他有価証券から満期保有目的の債券への分類変更は認められていない。

(9) ヘッジ会計

IFRSでは、IAS第39号に基づき、下記のタイプのヘッジ関係が認められている。

・公正価値ヘッジ－公正価値ヘッジにおいては、公正価値によるヘッジ手段の再測定から生じる利得又は損失は純損益に認識されている。ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象に関する利得又は損失は純損益に認識され、ヘッジ対象の帳簿価額が調整されている。
・キャッシュ・フロー・ヘッジ－デリバティブ金融商品が、認識された資産若しくは負債又は発生の可能性の高い予定取引からのキャッシュ・フローの変動のヘッジとして指定される場合、ヘッジ手段の利得又は損失の有効部分は、その他の包括利益に認識され、また非有効部分は、純損益に認識されている。

・在外営業活動体に対する純投資のヘッジ－在外営業活動体に対する純投資をヘッジしている場合、有効なヘッジと判断されるヘッジ手段から生じる為替換算差額は、その他の包括利益に認識されている。非有効部分については、純損益に認識されている。

日本では、デリバティブ取引について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」（時価評価されているヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで純資産の部において繰り延べる方法）を適用し、ヘッジ対象である資産又は負債に係る相場変動等を会計基準に基づき損益に反映させることができる場合には、「時価ヘッジ会計」（ヘッジ対象である資産又は負債に係る相場変動等の損益とヘッジ手段に係る損益とを同一の会計期間に認識する。）を適用できる。

(10) 退職後給付

IFRSでは、IAS第19号に基づき、数理計算上の差異はその他の包括利益で即時認識し、その後の期間において純損益に組み替えることは認められない。また、過去勤務費用は、その全額を純損益で認識する。さらに、確定給付負債（資産）の純額に割引率を乗じて利息純額を算定する。

日本では、企業会計基準第26号「退職給付に関する会計基準」に従い、以下のように会計処理される。

- 数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。また、当期に発生した未認識数理計算上の差異は税効果を調整の上、その他の包括利益を通じて純資産の部に計上する。また、当期に費用処理された未認識数理計算上の差異については、組替調整を行う。
- 過去勤務費用は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。また、当期に発生した未認識過去勤務費用は税効果を調整の上、その他の包括利益を通じて純資産の部に計上する。また、当期に費用処理された未認識過去勤務費用については、組替調整を行う。
- 期待運用収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算する。

(11) 有給休暇引当金

IFRSでは、IAS第19号に基づき、有給休暇引当金を計上することが要求されている。

日本においては、該当する規定はない。

(12) リース

IFRSでは、IAS第17号「リース」に基づき、リース契約は、所有権移転の有無に関わらず資産の所有に伴う実質的にすべてのリスク及び経済価値が借手に移転する場合、ファイナンス・リースとして分類されている。

リースがファイナンス・リースであるか、オペレーティング・リースであるかは、契約の形式よりも取引の実質を見て判断される。

ファイナンス・リースについては、リース期間の開始時点において、リース資産の公正価値と最低リース料総額の現在価値のいずれか低い方の金額で、資産及び負債として認識する。

なお、日本基準のような簡便的な取扱いは定められていない。

日本では、ファイナンス・リース取引とは、解約不能かつフルペイアウトの要件を満たすものをいい、ファイナンス・リース取引に該当するかどうかについてはその経済的実質に基づいて判断すべきものであるが、解約不能リース期間が、リース物件の経済的耐用年数の概ね75%以上又は解約不能のリース期間中のリース料総額の現在価値が、リース物件を借手が現金で購入するものと仮定した場合の合理的見積金額の概ね90%以上のいずれかに該当する場合は、ファイナンス・リースと判定され、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件及びこれに係る債務をリース資産及びリース債務として借手の財務諸表に計上する。ただし、少額（リース契約１件当たりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース）又は短期（１年以内）のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができる。

(13) 無形資産及び有形固定資産の減損

IFRSでは、各報告日において有形固定資産又は無形資産の減損の兆候の有無について評価している。そのような兆候が存在する場合、会社は当該資産又は資金生成単位の回収可能価額を見積り、必要な場合には減損損失を認識している。のれんについては、年１回若しくは事象や状況の変化が減損の兆候を示す場合はより頻繁に、減損テストが実施される。無形資産（のれんを除く。）又は有形固定資産に係る減損損失の戻入は、過年度において認識された減損損失が存在しないか、又は減少している可能性を示す兆候がある場合に認識されている。ただし、増加した帳簿価額は、減損損失計上前の帳簿価額を超えてはならない。なお、のれんに係る減損損失の戻入は行われない。

日本では、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、資産の減損の兆候が認められ、かつ割引前将来キャッシュ・フローの総額（20年以内の合理的な期間に基づく）が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額（正味売却価額と使用価値（継続的使用と使用後の処分によって生ずると見込まれる将来キャッシュ・フローの現在価値）のいずれか高い方の金額）と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(14) 引当金の計上基準

IFRSでは、以下の要件すべてを満たす場合に認識しなければならない。

- **企業が過去の事象の結果として現在の債務（法的又は推定的）を有している。**
- **当該債務を決済するために経済的便益を有する資源の流出が必要となる可能性が高い。**
- **当該債務の金額について信頼できる見積りができる。**

引当金として認識される金額は、報告期間の末日における現在の債務を決済するために必要な支出の、最善の見積りでなければならない。

貨幣の時間価値による影響が重要な場合には、引当金額は債務の決済に必要と見込まれる支出の現在価値としなければならない。

日本では、以下のすべてを満たす場合に認識しなければならない。

- **将来の特定の費用又は損失である。**
- **その発生が当期以前の事象に起因する。**
- **発生の可能性が高い。**
- **その金額を合理的に見積もることができる。**

引当金の割引計算について該当する基準はない。資産除去債務は割引現在価値で算定する。割引率は、貨幣の時間的価値を反映した無リスクの税引前の利率である。

(15)実行手数料及びコミットメントフィー

実行手数料及びコミットメントフィーは、融資枠残高に対する割合により決定されている。

IFRSでは、前者については関連する取引コストとともに繰り延べられ、実効利回りの修正として認識される。後者については、特定の融資契約がを実行される可能性が高い場合には、前者と同様に処理される。一方、特定の融資契約が実行される見込みが低い場合には、そのコミットメントの期間にわたり按分して収益として認識する。

日本では、コミットメントフィー及び実行手数料は、発生主義に基づき、当期に対応する部分を収益として認識する。

(16)投資不動産の事後測定

IFRSでは、IAS第40号「投資不動産」に従い、投資不動産の当初認識後の評価方法として原価モデル又は公正価値モデルの選択が可能である。公正価値モデルを選択する企業は一定の場合を除き、すべての投資不動産を公正価値で測定しなければならない。投資不動産の公正価値の変動は発生した期の損益として処理される。

日本では、取得原価に基づく会計処理を行う（原価モデルを適用）。投資不動産の時価は開示のみ行われる。

ｂ．ノルウェーと日本における単体の会計原則の主要な相違（ノルウェーの単体の会計原則に係るもの）

添付の個別財務諸表は、IFRSの適用に関するノルウェー財務省規則セクション1-6に準拠して作成されている（「ノルウェーIFRS規則」）。ノルウェーIFRS規則とEUにより採用されたIFRSはいくつかの点で異なっており、これらは上記a.に加え日本の会計原則との相違点となる。直近期の財務諸表に関する主な相違点は以下のとおりである。

(1) 未払配当金の認識

ノルウェーIFRS規則では、報告期間後に決議された子会社からの予定配当金額及び予定グループ配当金額を、受け取る親会社の収益として認識するという会計方針を選択することが認められている。同様に子会社においても、取締役会の親会社への予定配当金額及び予定グループ配当金額を、財政状態計算書日において負債として認識するという会計方針を選択することが認められている。

日本では、株主総会又は取締役会で決議されるまでは、配当金やグループへの配当を負債に分類することはできない。

第７【外国為替相場の推移】

１【最近５年間の事業年度別為替相場の推移】

(1ノルウェー・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	15.75	15.56	17.75	17.46	16.31
最低	12.91	12.67	15.54	15.66	13.80
平均	14.25	13.73	16.62	16.80	15.03
期末	12.96	15.56	17.18	16.17	13.84

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

２【最近６月間の月別最高・最低為替相場】

(1ノルウェー・クローネ当たり、単位：円)

月別	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月
最高	14.42	14.02	13.94	13.56	13.65	13.39
最低	13.80	13.20	12.94	12.93	13.02	13.08
平均	14.03	13.41	13.37	13.31	13.34	13.23

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

３【最近日の為替相場】

1ノルウェー・クローネ＝11.81円　(2016年6月24日)

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第８【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第９【提出会社の参考情報】

１【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

２【その他の参考情報】

当該事業年度の開始からこの有価証券報告書の提出までの期間において提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

(1)　有価証券報告書及びその添付書類
平成27年6月29日　関東財務局長に提出

(2)　訂正発行登録書及びその添付書類
平成27年6月29日　平成25年9月27日提出の発行登録書(募集)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

(3)　訂正発行登録書及びその添付書類
平成27年6月29日　平成25年9月27日提出の発行登録書(売出し)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

(4)　半期報告書及びその添付書類
平成27年9月29日　関東財務局長に提出

(5)　訂正発行登録書及びその添付書類
平成27年9月29日　平成25年9月27日提出の発行登録書(募集)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

(6)　訂正発行登録書及びその添付書類
平成27年9月29日　平成25年9月27日提出の発行登録書(売出し)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

(7)　発行登録書(募集)及びその添付書類
平成27年9月29日　関東財務局長に提出

(8)　発行登録書(売出し)及びその添付書類
平成27年9月29日　関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第１【保証会社情報】

該当事項なし。

第２【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第３【指数等の情報】

該当事項なし。

監査報告書

DNB バンク　エイ・エス・エイの年次株主総会の皆様へ

財務諸表に関する報告

我々は、DNB バンク　エイ・エス・エイの添付の財務諸表を監査した。当該財務諸表は親会社及びグループの財務諸表から構成される。親会社及びグループの財務諸表は、2015年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了する年度における損益計算書、包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び持分変動計算書並びに重要な会計方針の概要及びその他の説明情報から構成される。

財務諸表に関する取締役会及びグループ最高責任者の責任

取締役会及びグループ最高責任者は、ノルウェー会計法並びにノルウェーで一般に認められている会計基準及び会計実務に従った親会社の財務諸表の作成と公正な表示、EUが採用している国際財務報告基準に従ったグループの財務諸表の作成と公正な表示、また故意によるか過失によるかにかかわらず、重大な虚偽記載のない財務諸表の作成を可能にするために必要であると取締役会及びグループ最高責任者が考える内部統制に対する責任を負う。

監査人の責任

我々の責任は、我々が実施した監査に基づき当該財務諸表に関する意見を表明することである。我々は、ノルウェーの法律及び規制、並びに国際監査基準を含むノルウェーで一般に認められている監査基準及び監査実務に従い監査を実施した。これらの基準において、我々は、倫理上の要件を遵守し、財務諸表に重大な虚偽記載がないかについて合理的な保証を得るために監査を計画、実施することがもとめられている。

監査では、財務諸表に記載されている金額及び開示内容に関する監査証拠を入手するための手続を実施する。どの手続を実施するかは当監査人が判断し、その中には、故意によるか過失によるかにかかわらず、財務諸表に重大な虚偽記載が含まれるリスクの評価もある。こうしたリスク評価を行う際、監査人は、状況に適合した監査手続を実施するために、財務諸表の作成及び公正な表示に関連する内部統制を検討するが、これは、内部統制の有効性に関する意見を表明することが目的ではない。また、監査には、経営者が採用する会計方針の適切性及び経営者が行う会計上の見積りの妥当性の評価並びに財務諸表の全体的な表示の検討が含まれる。

我々は、我々が入手した監査証拠が、親会社及びグループの財務諸表に関する監査意見の根拠として十分かつ適切であると考える。

親会社の財務諸表に関する意見

我々の意見では、DNBバンク　エイ・エス・エイの財務諸表は法令及び規制に従い作成され、すべての重要な点において、ノルウェー会計法及びノルウェーで一般に認められている会計基準及び会計実務に従い、2015年12月31日現在の親会社の財政状態及び同日に終了する年度における経営成績及びキャッシュ・フローを公正に表示している。

グループの財務諸表に関する意見

我々の意見では、グループの財務諸表は法令及び規制に従い作成され、すべての重要な点において、EUが採用している国際財務報告基準に従い、2015年12月31日現在のグループの財政状態及び同日に終了する年度における経営成績及びキャッシュ・フローを公正に表示している。

その他の法的及び規制上の要件

取締役会報告書並びにコーポレートガバナンス及び企業の社会的責任に関するステートメントに関する意見

我々の意見では、上記の財務諸表の監査に基づき、財務諸表、継続企業の前提及び利益分配案に関する取締役会報告書並びにコーポレートガバナンス及び企業の社会的責任に関するステートメントに記載された情報は、財務諸表と整合しており、かつ法律及び規制を遵守している。

記録及び文書化に関する意見

我々の意見では、上記の財務諸表の監査及び国際保証業務基準(ISAE)3000「過去の財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」に従って我々が必要とみなした手続に基づき、会社の会計情報が、ノルウェーの法律及びノルウェーで一般に認められている簿記実務でもとめられるとおり、適切に記録、文書化されることを保証するという義務を取締役会及びグループ最高責任者は遂行している。

オスロ、2016年3月16日
アーンスト・アンド・ヤング　エイ・エス

Anders Gøbel
公認会計士（ノルウェー）

次へ

Statsautoriserte revisorer
Ernst & Young AS

Dronning Eufemias gate 6, NO-0191 Oslo
Oslo Atrium, P.O.Box 20, NO-0051 Oslo

Foretaksregisteret: NO 976 389 387 MVA
Tlf: +47 24 00 24 00
Fax: +47 24 00 24 01
www.ey.no
Medlemmer av Den norske revisorforening

To the Annual General Meeting DNB Bank ASA

AUDITOR'S REPORT

Report on the financial statements

We have audited the accompanying financial statements of DNB Bank ASA, comprising the financial statements for the Parent Company and the Grop. The financial statements of the Parent Company and the Group comprise the balance sheet as at 31 December 2015, the statements of income, the statements of comprehensive income, cash flows and changes in equity for the year then ended as well as a summary of significant accounting policies and other explanatory information.

The Board of Directors' and Group Chief Executive's responsibility for the financial statements
The Board of Directors and Group Chief Executive are responsible for the preparation and fair presentation of these financial statements in accordance with the Norwegian Accounting Act and accounting standards and practices generally accepted in Norway for the financial statements of the Parent Company and the International Financial Reporting Standards as adopted by the EU for the financial statements of the Group, and for such internal control as the Board of Directors and Group Chief Executive determine is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

Auditor's responsibility
Our responsibility is to express an opinion on these financial statements based on our audit. We conducted our audit in accordance with laws, regulations, and auditing standards and practices generally accepted in Norway, including International Standards on Auditing. Those standards require that we comply with ethical requirements and plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial statements are free from material misstatement.

An audit involves performing procedures to obtain audit evidence about the amounts and disclosures in the financial statements. The procedures selected depend on the auditor's judgment, including the assessment of the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error. In making those risk assessments, the auditor considers internal control relevant to the entity's preparation and fair presentation of the financial statements in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the entity's internal control. An audit also includes evaluating the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the financial statements.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our audit opinion on the financial statements for the Parent Company and the Group.

Opinion on the financial statements of the Parent Company
In our opinion, the financial statements of DNB Bank ASA have been prepared in accordance with laws and regulations and present fairly, in all material respects, the financial position of the Company as at 31 December 2015 and its financial performance and cash flows for the year then ended in accordance with the Norwegian Accounting Act and accounting standards and practices generally accepted in Norway.

Opinion on the financial statements of the Group
In our opinion, the financial statements of the Group have been prepared in accordance with laws and regulations and present fairly, in all material respects, the financial position of the Group as at 31 December 2015 and its financial performance and cash flows for the year then ended in accordance with the International Financial Reporting Standards as adopted by the EU.

Report on other legal and regulatory requirements

Opinion on the Board of Directors' report and on the statements on corporate governance and corporate social responsibility
Based on our audit of the financial statements as described above, it is our opinion that the information presented in the Directors' report and in the statements on corporate governance and corporate social responsibility concerning the financial statements, the going concern assumption and the proposal for the allocation of the result is consistent with the financial statements and complies with the law and regulations.

Opinion on registration and documentation
Based on our audit of the financial statements as described above, and control procedures we have considered necessary in accordance with the International Standard on Assurance Engagements (ISAE) 3000, «Assurance Engagements Other than Audits or Reviews of Historical Financial Information», it is our opinion that the Board of Directors and Group Chief Executive have fulfilled their duty to ensure that the Company's accounting information is properly recorded and documented as required by law and generally accepted bookkeeping practice in Norway.

Oslo, 16 March 2016
Ernst & Young AS

Anders Gøbel
State Authorised Public Accountant (Norway)